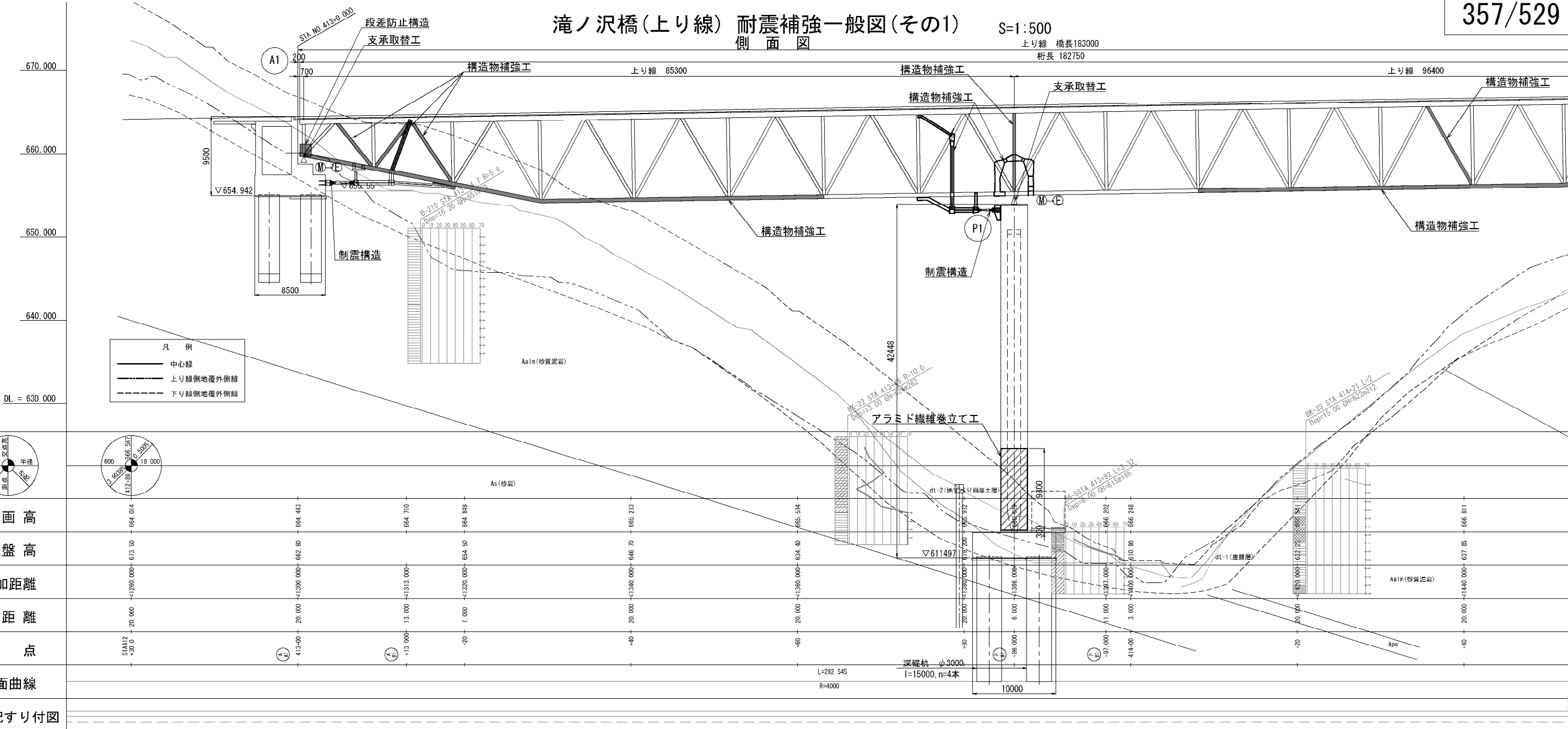


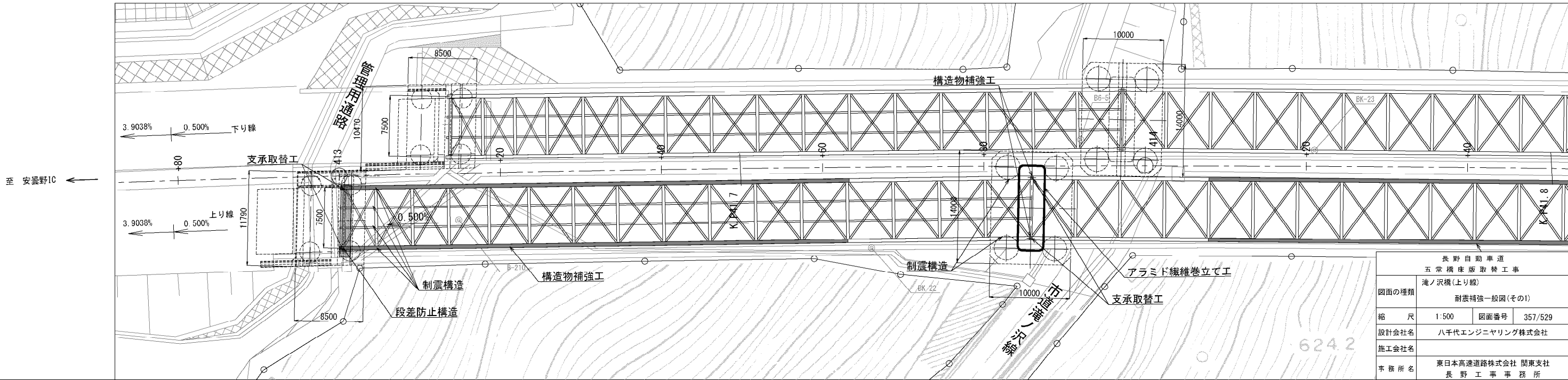
# 滝ノ沢橋 (耐震補強)

滝ノ沢橋(上り線) 耐震補強一般図(その1)  
側面図

S=1:500  
上り線 橋長183000  
桁長 182750



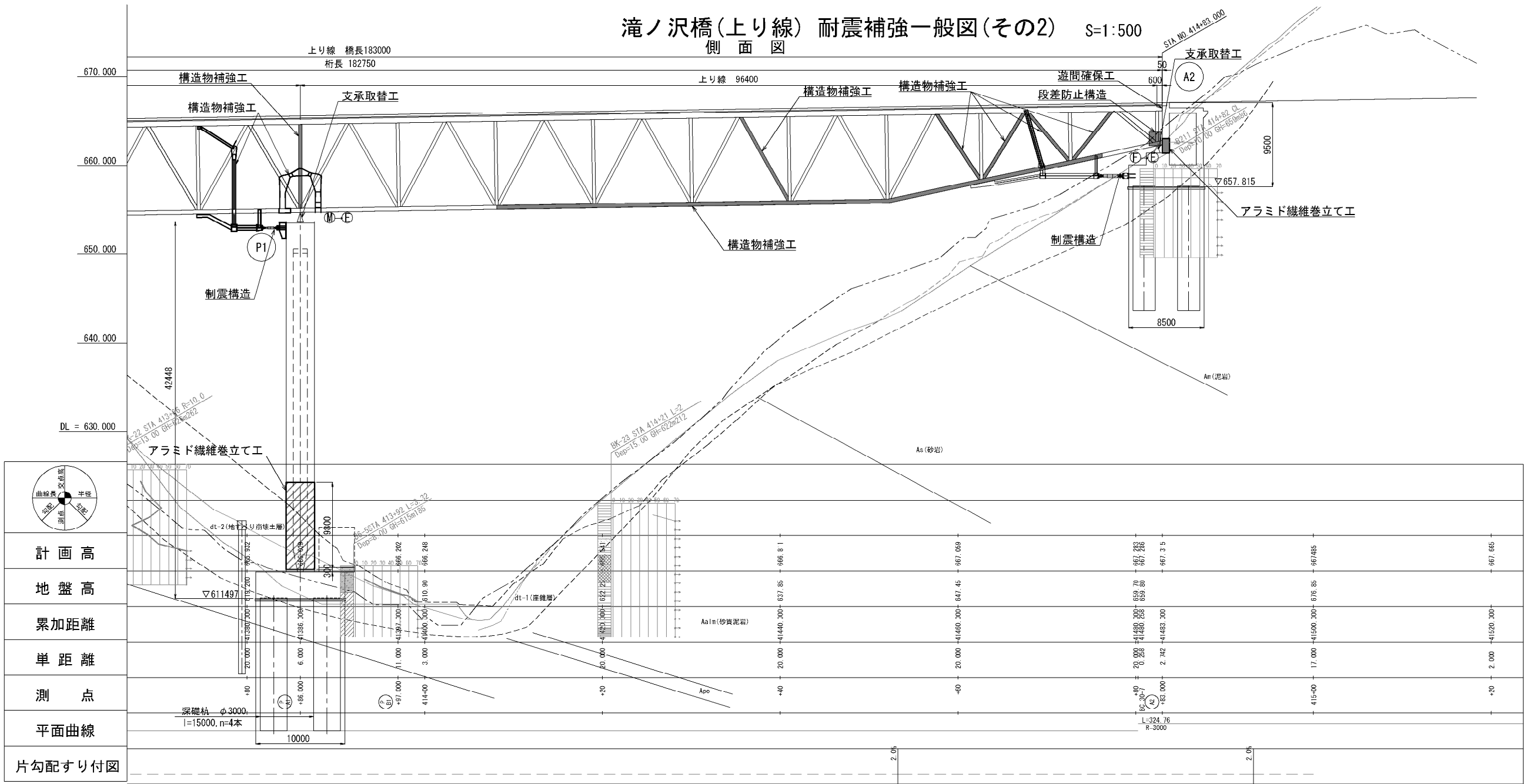
平面図



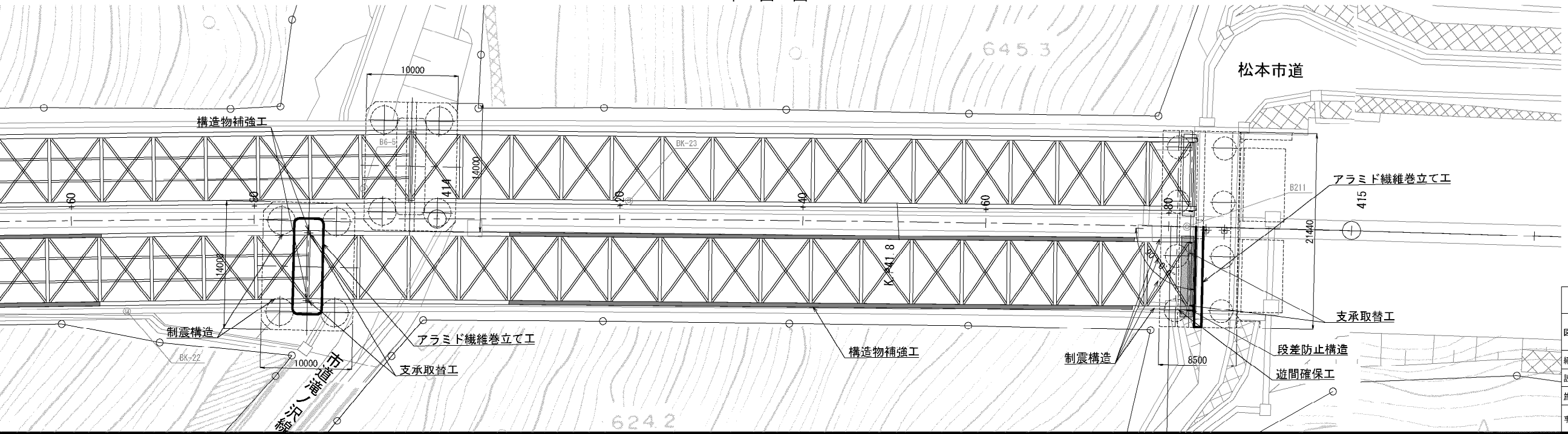
長野自動車道 五等橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 耐震補強一般図(その1)		
縮尺	1:500	図面番号	357/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



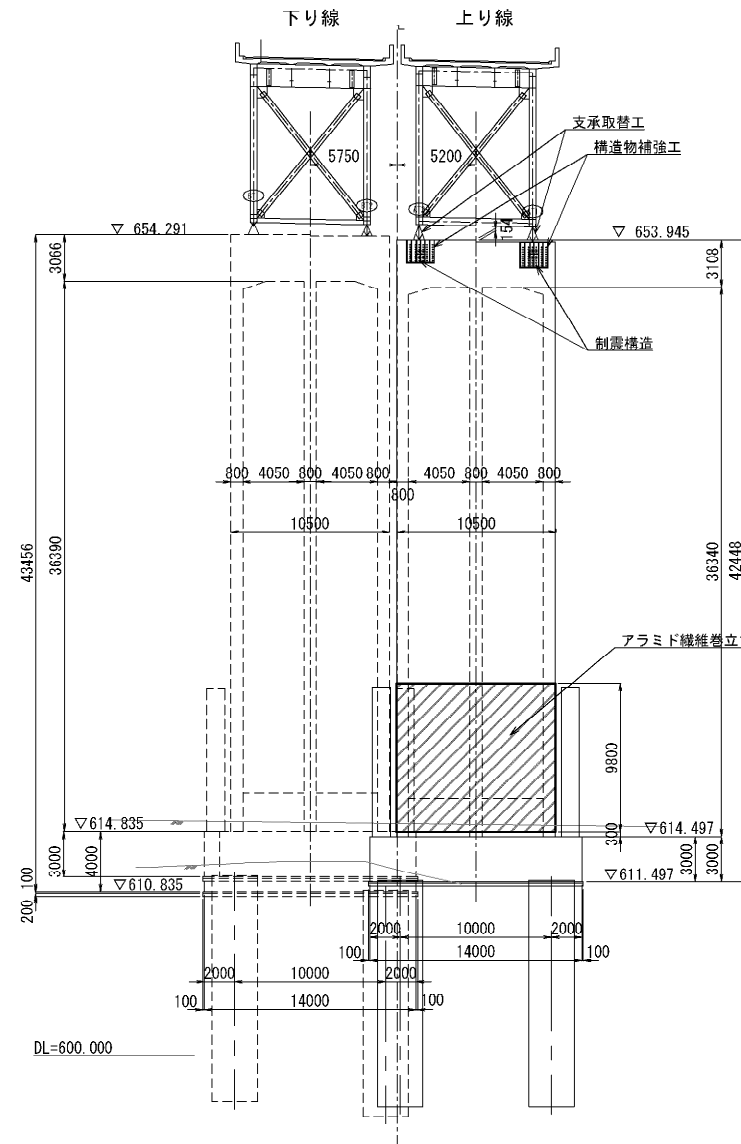
滝ノ沢橋(上り線) 耐震補強一般図(その2) S=1:500  
側 面 図



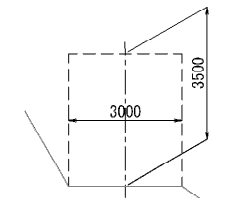
平 面 図



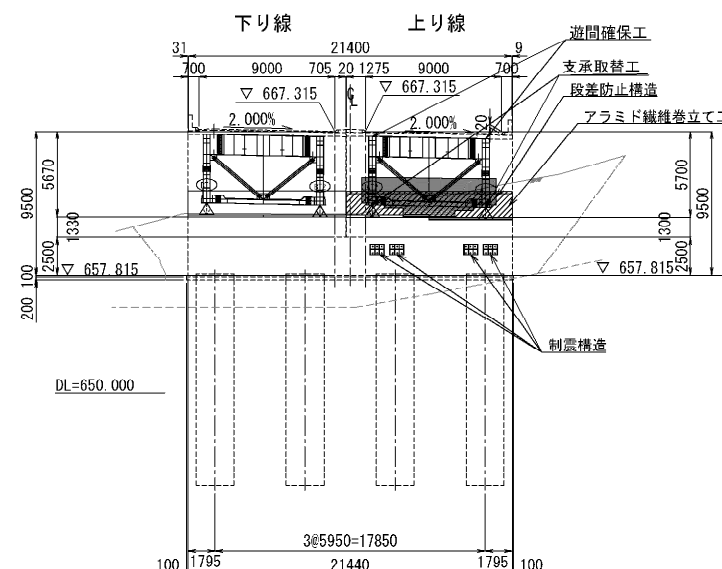
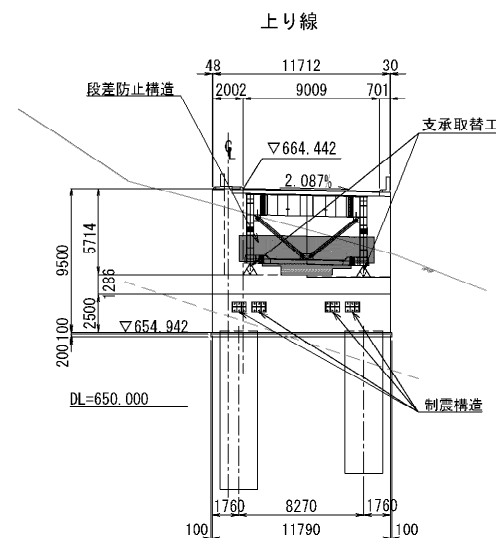
P1橋脚 S=1:500



管理用通路



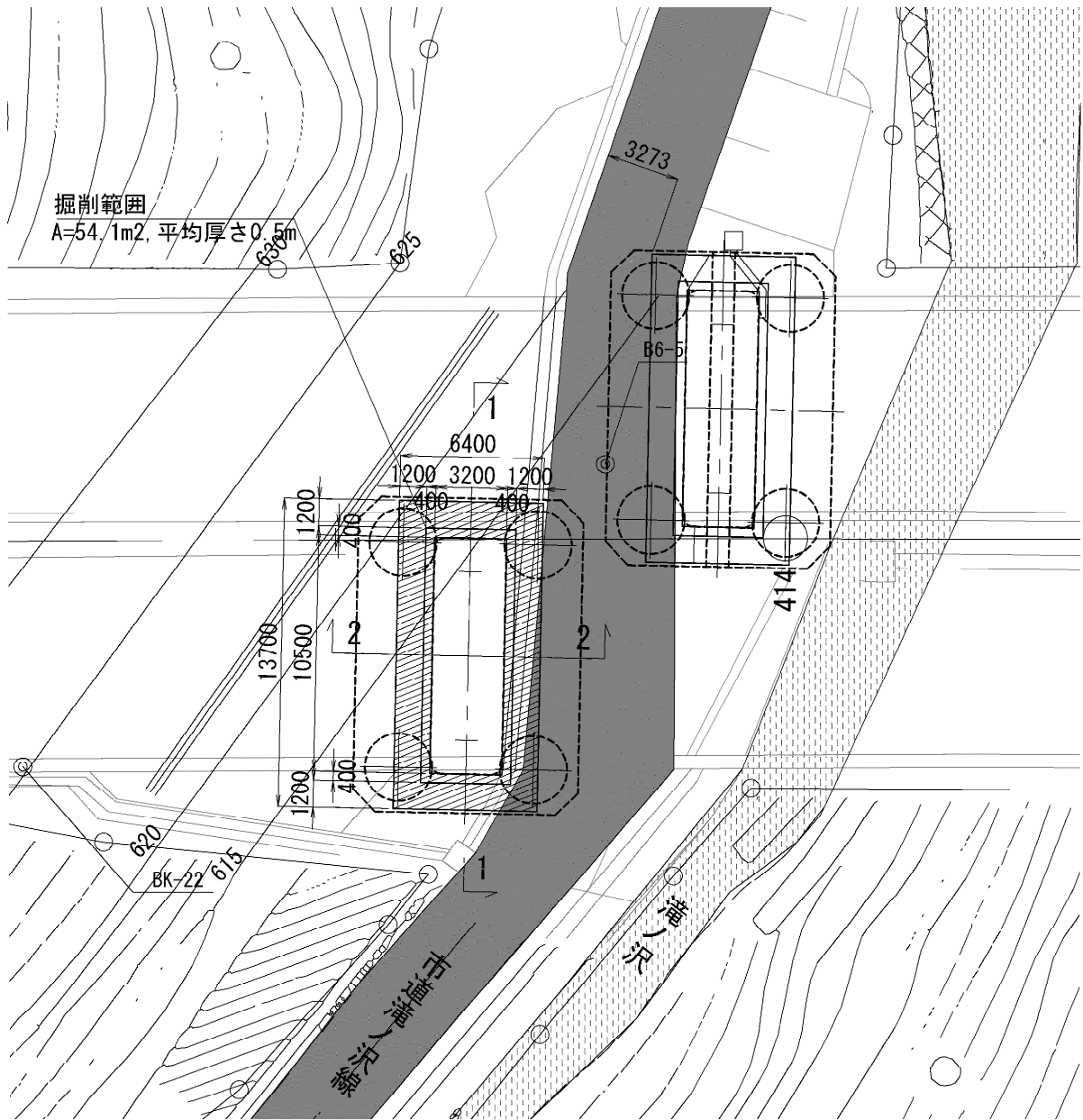
A2橋台 S=1:500




今回耐震補強設計条件	
設計基準	R2設計要領 第二集 橋梁安全編 H24道路標示方書・同解説 IV下部構造編 H24道路標示方書・同解説 V耐震設計編
活荷重	B活荷重
使用材料	コンクリート 床版： $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 下部工： $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 鉄筋 床版：SD345 下部工：SD345
補強内容	橋脚 アラミド繊維巻立て工
	橋台 アラミド繊維巻立て工
	上部工 支保取替工：免震支保(A1, P1, A2) 段差防止構造：RC段差防止(A1, A2) 制震構造：制震ダンパー(A1, P1, A2) 当て板補強

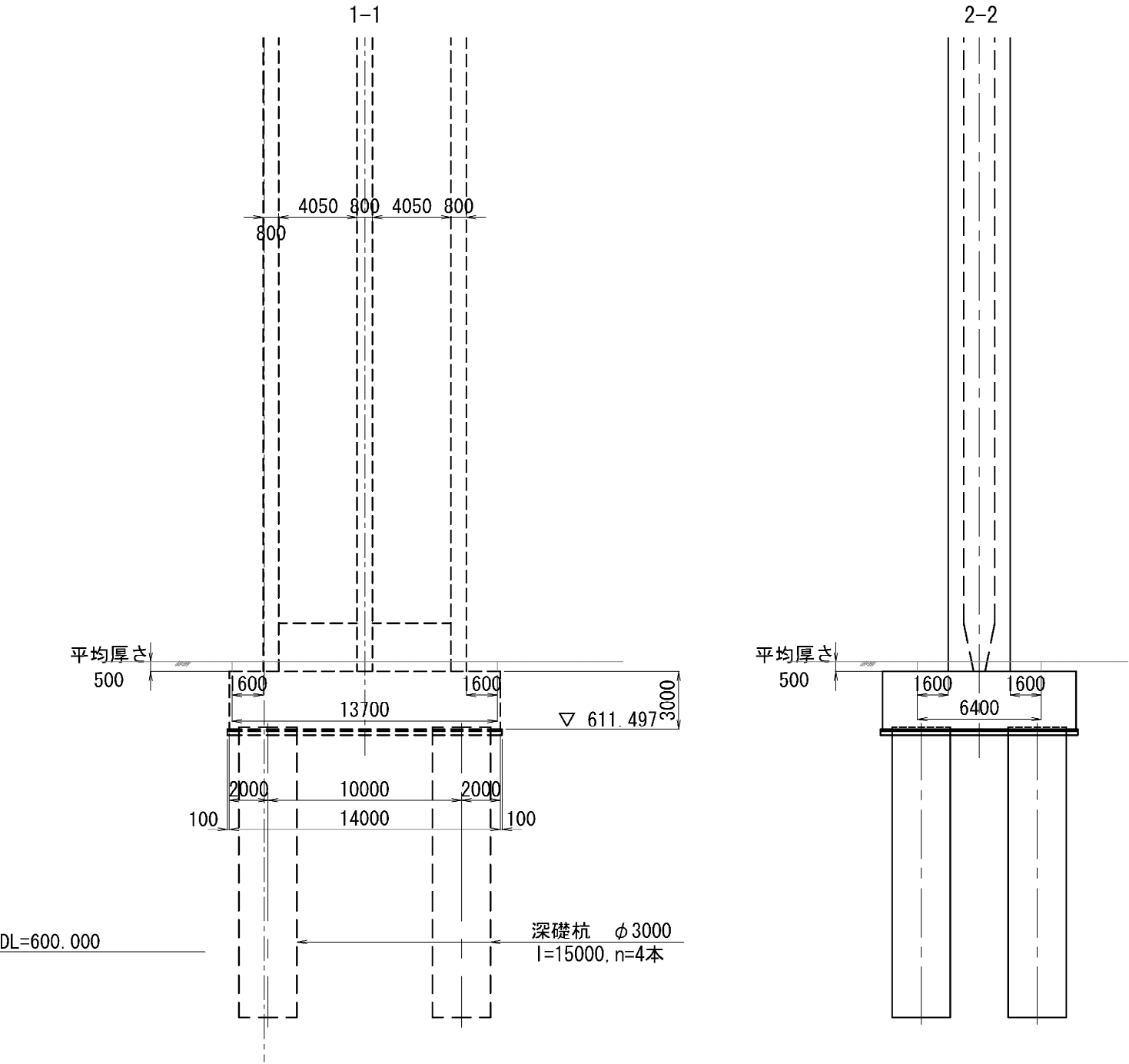
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	耐震補強一般図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	359/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

平面図 S=1:300



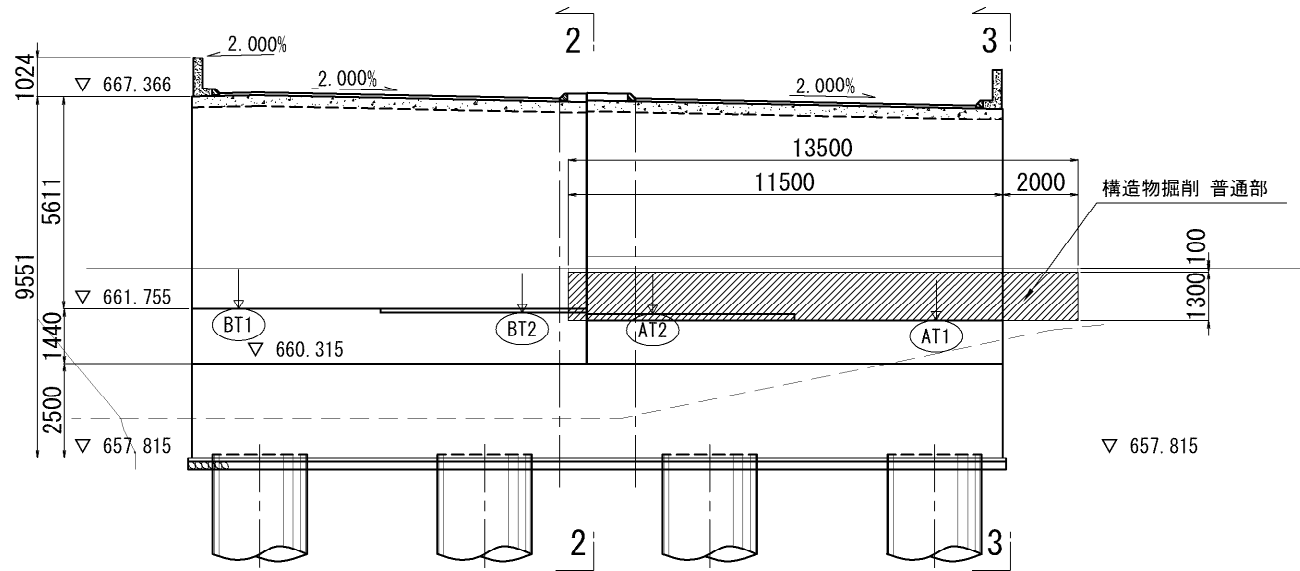
凡例  : 掘削範囲

正面図 S=1:300

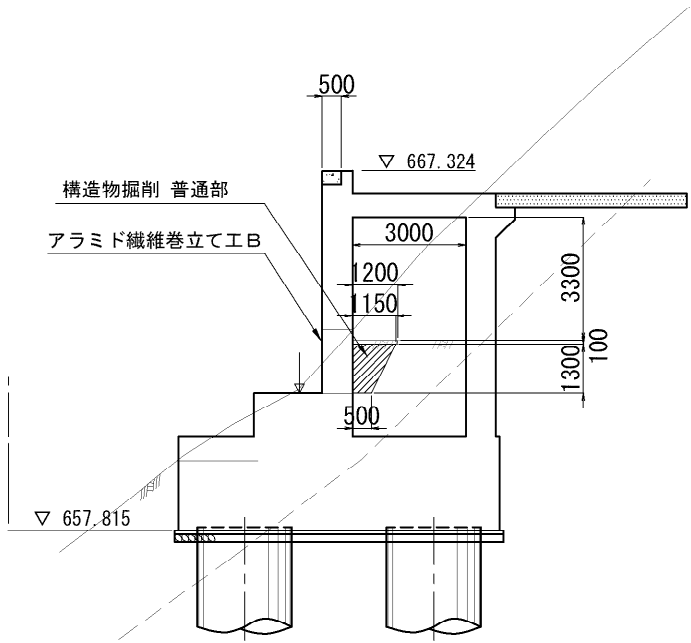


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	P1橋脚 構造物掘削図 普通部		
縮 尺	図示	図面番号	360/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

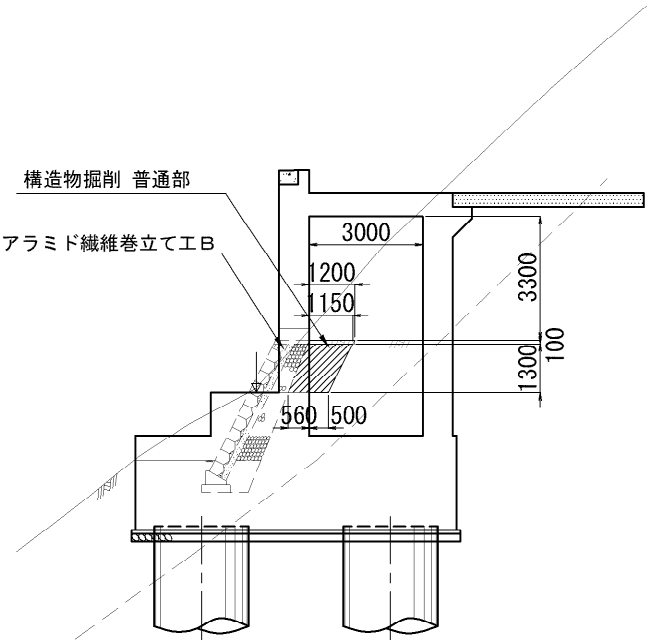
下り線 正面図 1-1 上り線



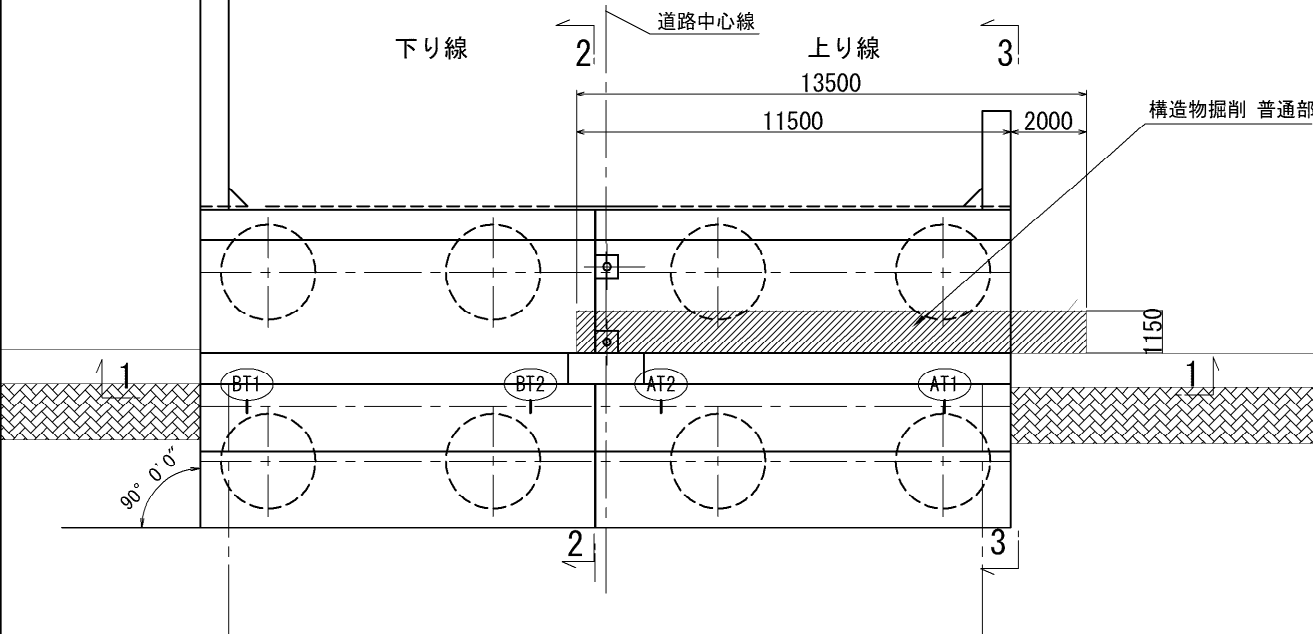
2-2



3-3



平面図

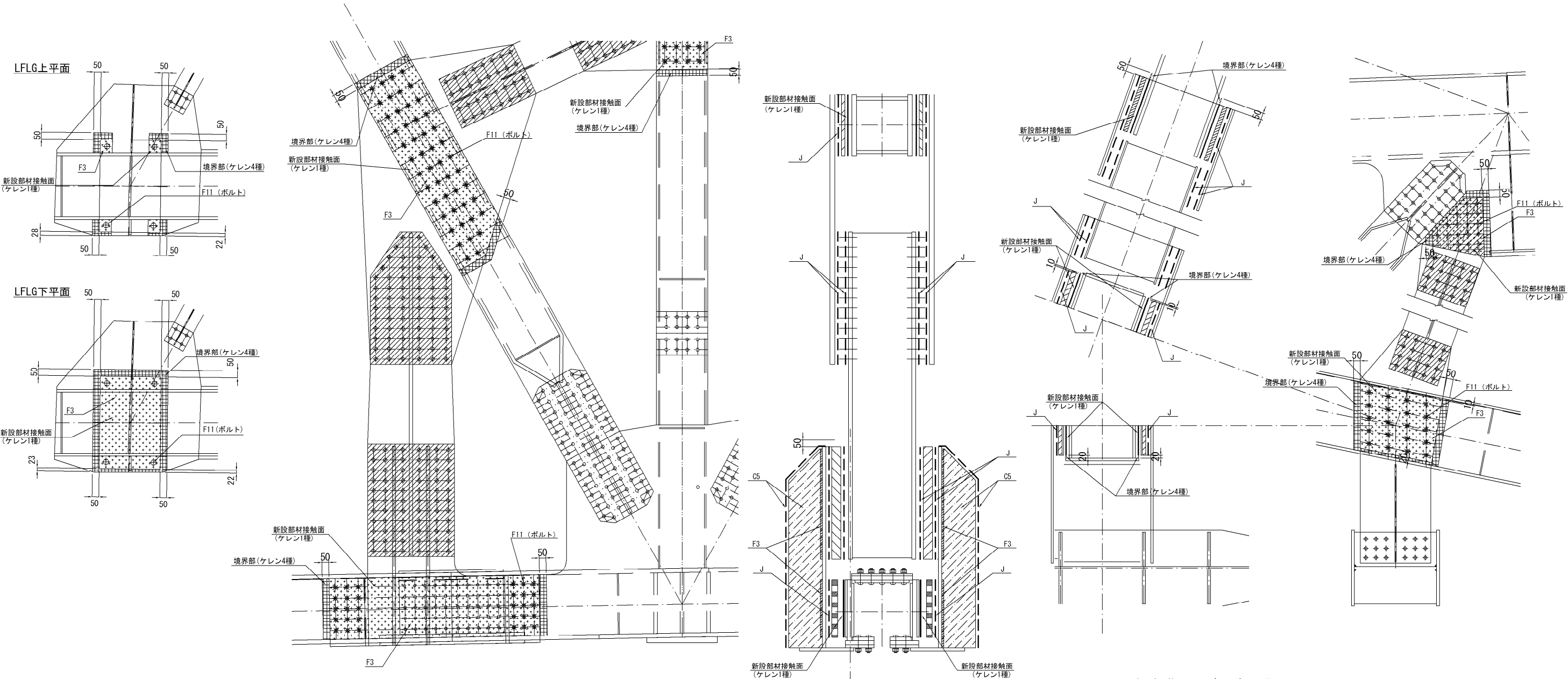


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 構造物掘削図 普通部		
	縮尺	図示	図面番号 361/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務所		

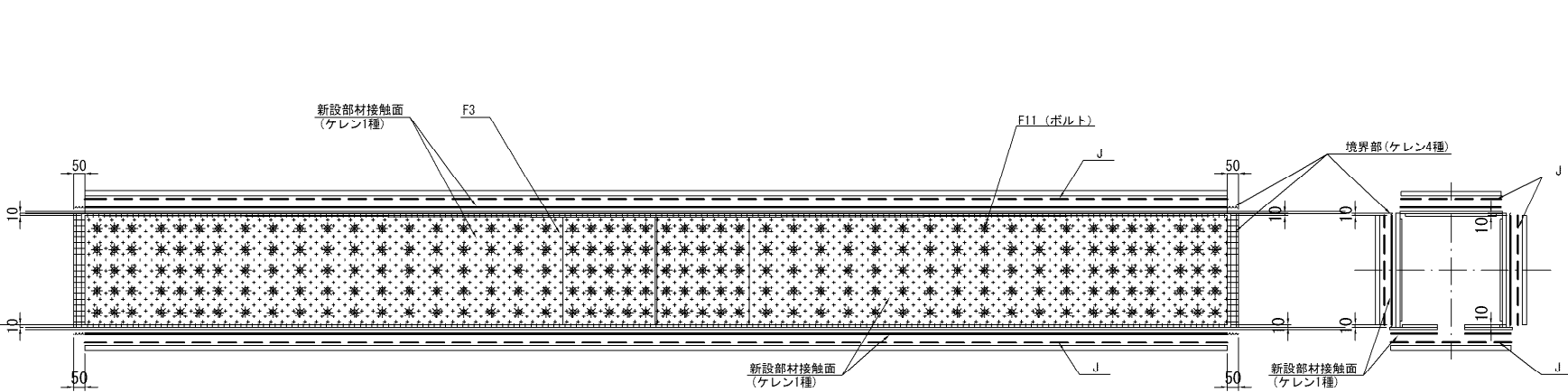
支承取替

構造物補強工(支承取替)

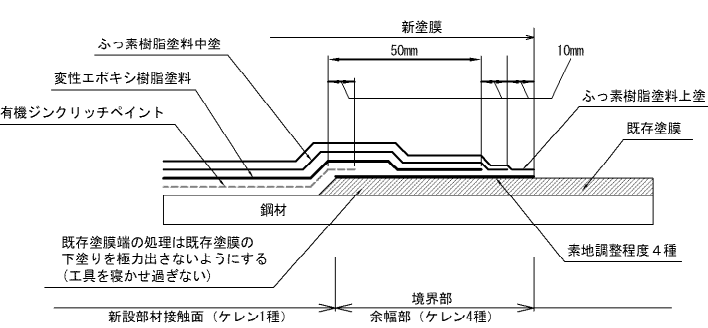
制震構造



構造物補強工(当板補強)



既存塗膜との境界部の処理



ケレン区分の凡例	
	新設部材接触面(ケレン1種)
	境界部(ケレン4種)
	・・・各部材の現場塗装

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 塗替塗装工 塗分け区分図(その1)		
縮尺	1:30	図面番号	362/529
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

塗 装 仕 様

一般外面の塗装系（新設）

記 号	工 程		塗料または素地調整程度	標 準 使用量 (g/m2)	塗装間隔	標準 膜厚 (μ m)
C (C5)	前 処 理	素地調整	G-a	-	2hr以内	-
		プライマー	無機ジンクリッチプライマー	ｽﾌﾟﾚｰ 160	～ 6ヶ月	(15)
	工場塗装	2次素地調整	G-a	-	2hr以内	-
		下塗り第1層	無機ジンクリッチペイント	ｽﾌﾟﾚｰ 600	2～ 10日	75
		ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗りあるいは厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗り(120μ m)	ｽﾌﾟﾚｰ 160	1～ 10日	-
		下塗り第2層	厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗り(120μ m)	ｽﾌﾟﾚｰ 540	1～ 10日	120
		中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	ｽﾌﾟﾚｰ 170	1～ 10日	30
		上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗	ｽﾌﾟﾚｰ 140		25

高力ボルト接合部および現場溶接部（熱影響部以外）の塗装系（新設）

記 号	工 程		塗料または素地調整程度	標 準 使用量 (g/m2)	塗装間隔	標準 膜厚 (μ m)
F3	前 処 理	素地調整	G-a	-	2hr以内	-
		プライマー	無機ジンクリッチプライマー	ｽﾌﾟﾚｰ 160	～ 6ヶ月	(15)
	工場塗装	2次素地調整	G-a	-	2hr以内	-
		下塗り第1層	無機ジンクリッチペイント	ｽﾌﾟﾚｰ 600	2日 ～12ヶ月	75
	現場塗装	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗りあるいは厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(120μ m)	(ｽﾌﾟﾚｰ160) ﾊｹ 130	1～ 10日	-
		下塗り第2層	厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(120μ m)	(ｽﾌﾟﾚｰ360) ﾊｹ 300	1～ 10日	90
		下塗り第3層	厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(120μ m)	(ｽﾌﾟﾚｰ360) ﾊｹ 300	1～ 10日	90
		中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗り	(ｽﾌﾟﾚｰ170) ﾊｹ 140	1～ 10日	30
		上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗り	(ｽﾌﾟﾚｰ140) ﾊｹ 120		25

高力ボルト接合部（接触面）の塗装系（新設）

記 号	工 程		塗料または素地調整程度	標 準 使用量 (g/m2)	塗装間隔	標準 膜厚 (μ m)
J	前 処 理	素地調整	G-a	-	2hr以内	-
		プライマー	無機ジンクリッチプライマー	ｽﾌﾟﾚｰ 160	～ 6ヶ月	(15)
	工場塗装	2次素地調整	G-a	-	2hr以内	-
		下塗り	無機ジンクリッチペイント	ｽﾌﾟﾚｰ 600		75

一般部（外面）の塗装系（境界部塗装）

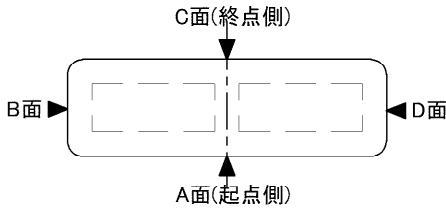
記 号	工 程		塗料または素地調整程度	標 準 使用量 (g/m2)	塗装間隔	標準 膜厚 (μ m)
境界部	現場塗装 (4種)	素地調整	4種	-	4hr以内	-
		下塗り	変性エポキシ樹脂塗料下塗り	ﾊｹ 200	1～ 10日	60
		中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	ﾊｹ 140	1～ 10日	30
		上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗	ﾊｹ 120		25

高力ボルト頭部および現場溶接部（熱影響部）の塗装系（新設）

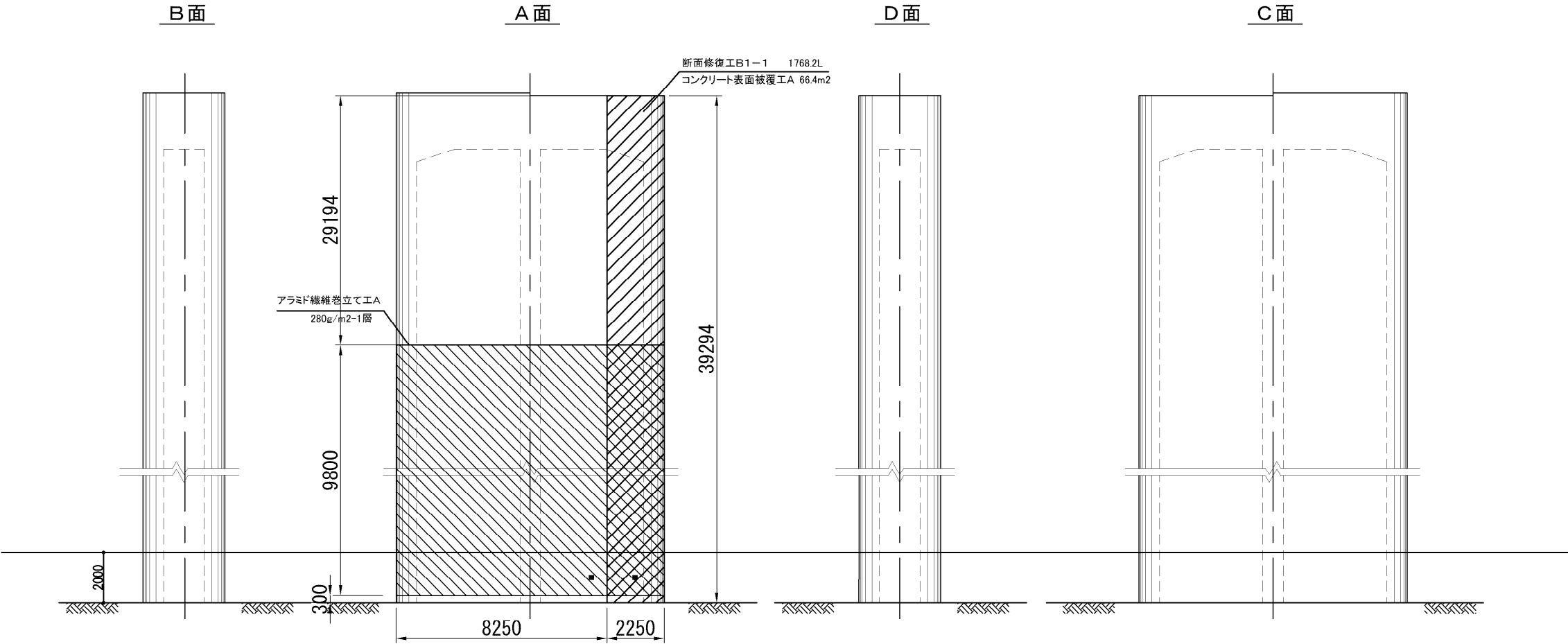
記 号	工 程		塗料または素地調整程度	標 準 使用量 (g/m2)	塗装間隔	標準 膜厚 (μ m)
F11	現場塗装	素地調整	G-c	-	2hr以内	-
		下塗り第1層	有機ジンクリッチペイント	ﾊｹ 240	1～ 10日	30
		下塗り第2層	有機ジンクリッチペイント	ﾊｹ 240	1～ 10日	30
		下塗り第3層	厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(120μ m)	(ｽﾌﾟﾚｰ360) ﾊｹ 300	1～ 10日	90
		下塗り第4層	厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(120μ m)	(ｽﾌﾟﾚｰ360) ﾊｹ 300	1～ 10日	90
		中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗り	(ｽﾌﾟﾚｰ170) ﾊｹ 140	1～ 10日	30
		上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗り	(ｽﾌﾟﾚｰ140) ﾊｹ 120		25

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 塗替塗装工 塗分け区分図(その2)		
縮 尺	—	図面番号	363/529
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補修工 一般図



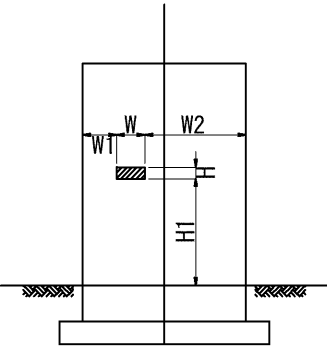
橋脚展開図 S=1:70



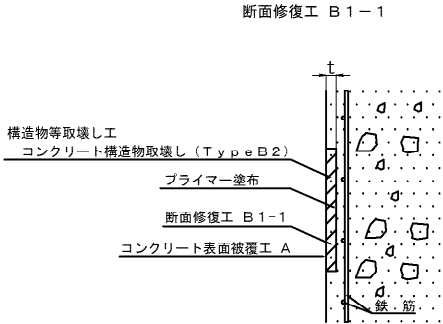
断面修復工 数量表

番 号	項 目	位 置							算 定 式(mm)			断 面 修 復 工 (L)
		方向	W	W1	W2	H	H1	t	W	H	t	
①	B1-1	A面	2250	8250	0	39294	0	20	2250 X 39294 X 20 =		1,768,230,000 mm3	1768.2
									X	X	=	
									X	X	=	
									X	X	=	
									X	X	=	
									X	X	=	
									X	X	=	

断面修復工・表面被覆工施工箇所 凡例



補修断面図

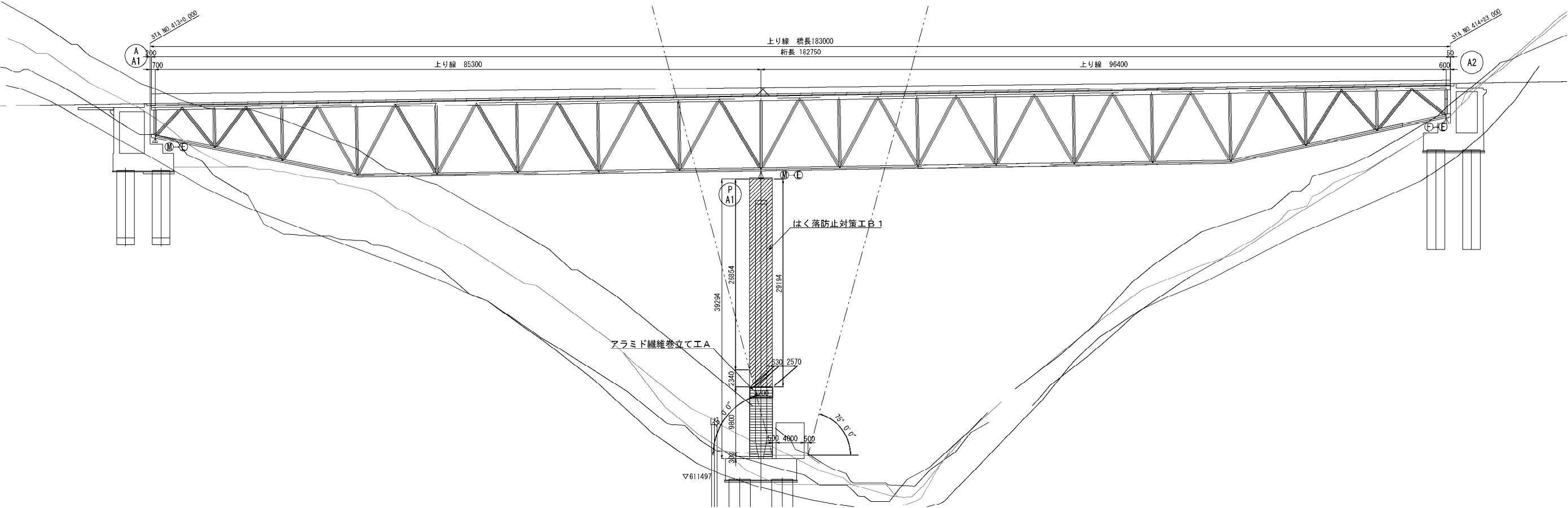


注記  
1. 対策範囲については、現地調査を行い、監督員と協議の上決定すること。  
2. 対策深さについては、現地で変状深さを確認し、監督員と協議の上決定すること。  
3. 使用する断面修復材の設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。

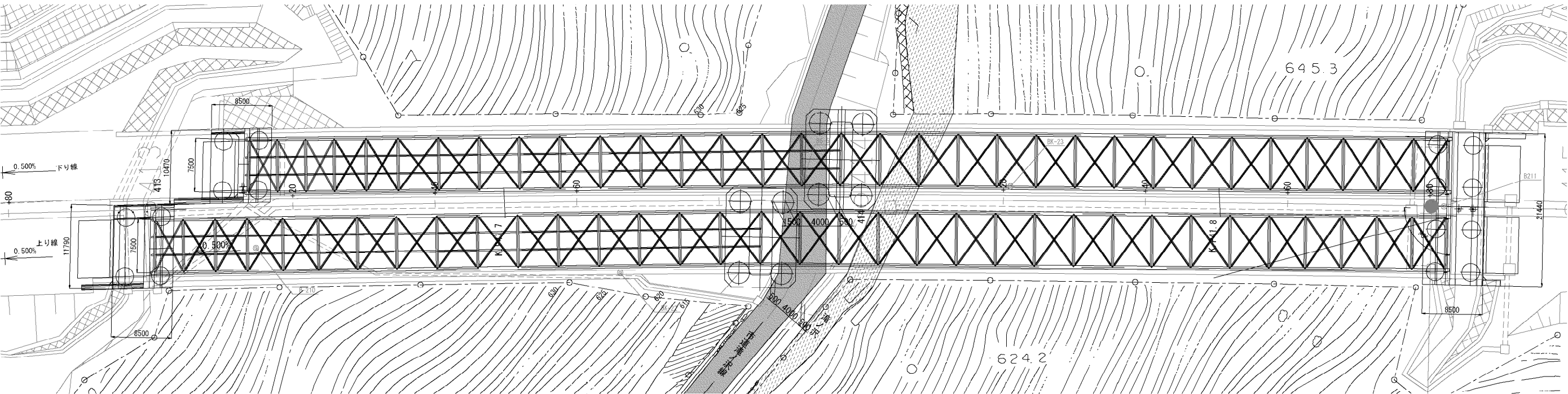
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補修工 一般図		
縮 尺	図示	図面番号	364/529
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 はく落防止対策工B 1 一般図(その1) S=1:600  
側 面 図

365/529



平 面 図



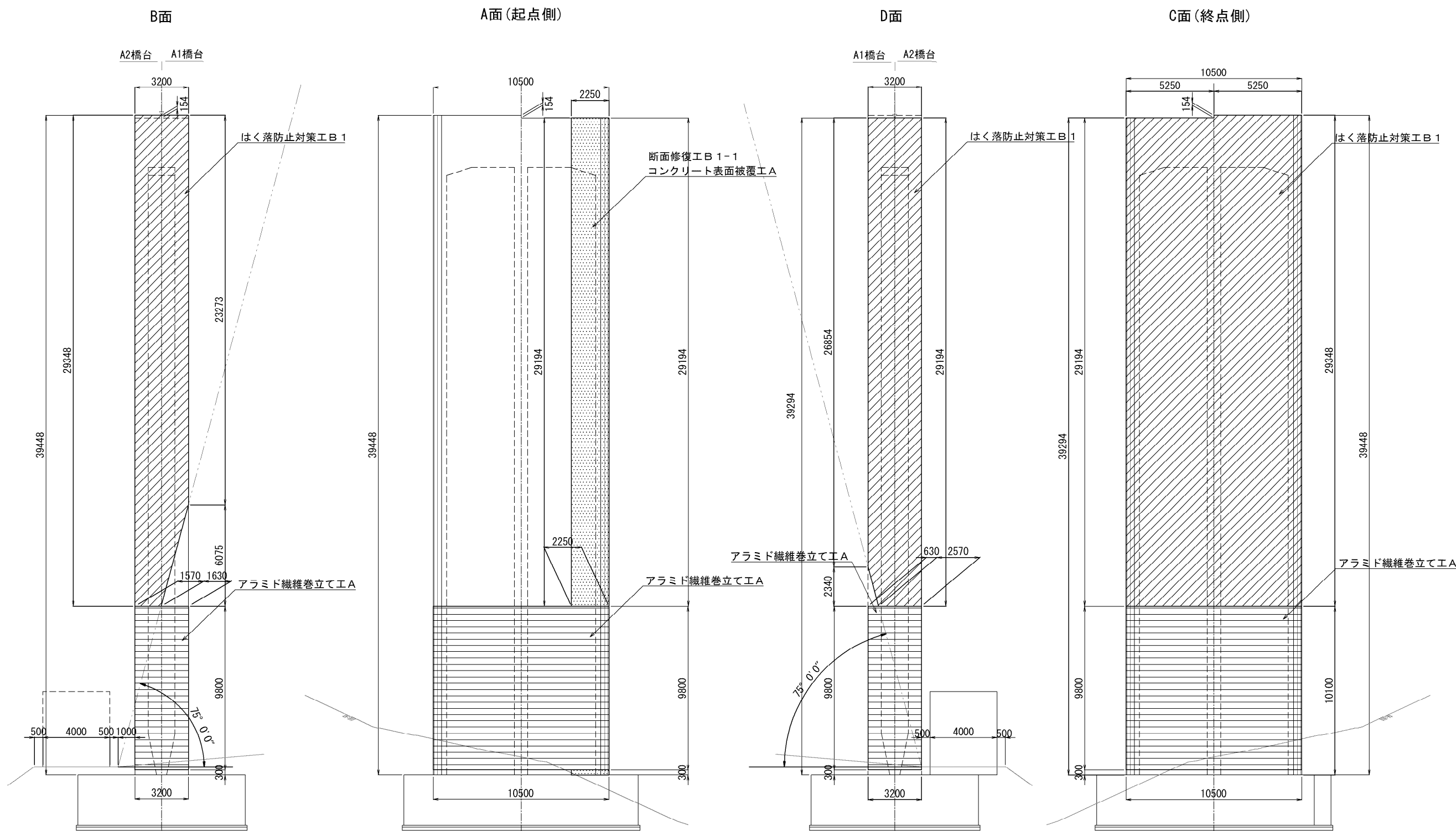
凡例  
はく落防止対策工B 1  
アラミド繊維巻立て工A

注記

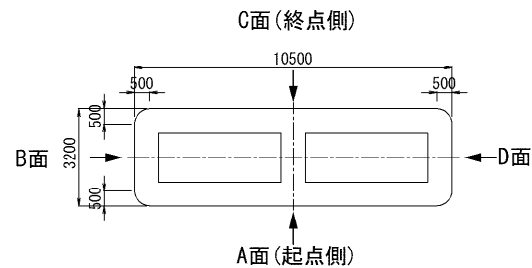
1) 対策範囲については、現地調査を行い、  
監督員と協議の上決定すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 はく落防止対策工B 1 一般図(その1)		
縮 尺	1:600	図面番号	365/529
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

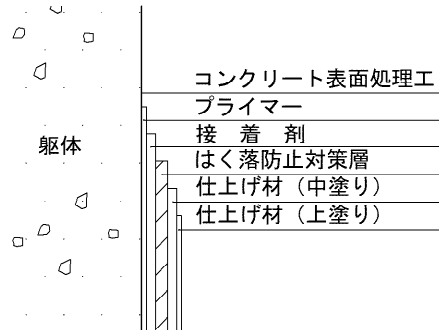




位置図



はく落防止対策工B 1 標準図



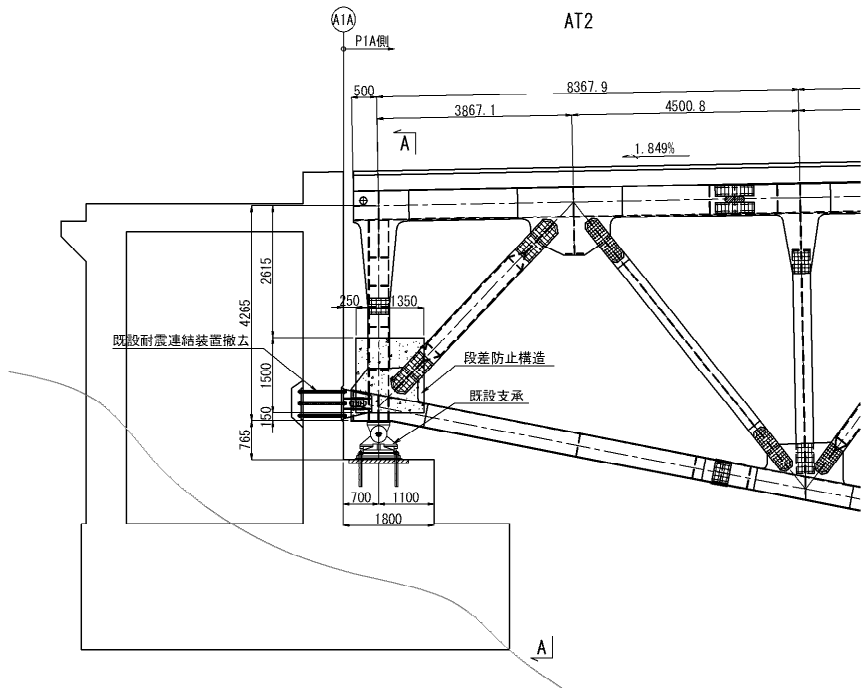
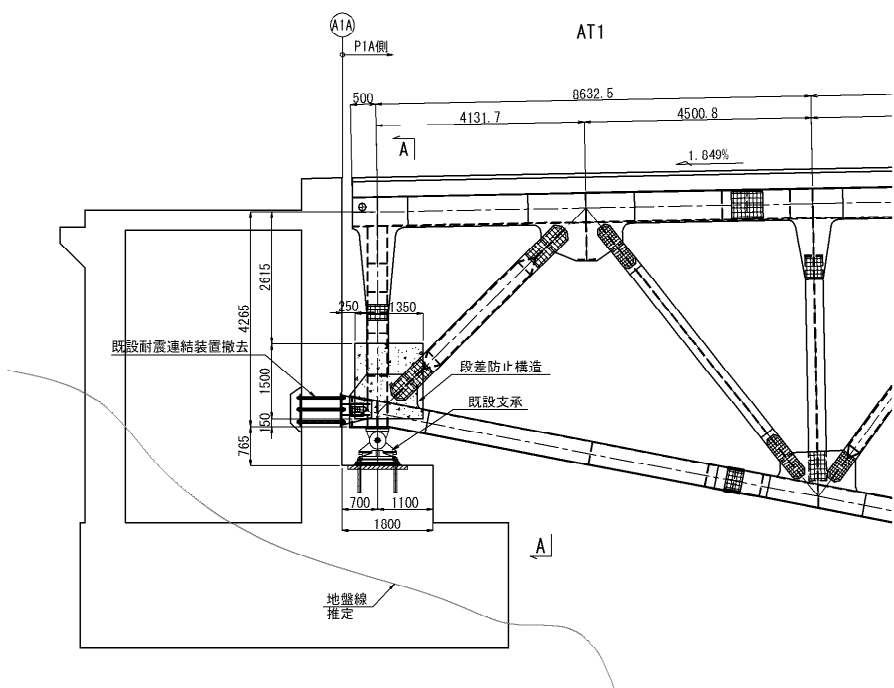
- 凡例
- はく落防止対策工B 1
  - 断面修復工B 1-1、コンクリート表面被覆工A
  - アラミド繊維巻立て工A

注記  
1) 対策範囲については、現地調査を行い、監督員と協議の上決定すること。

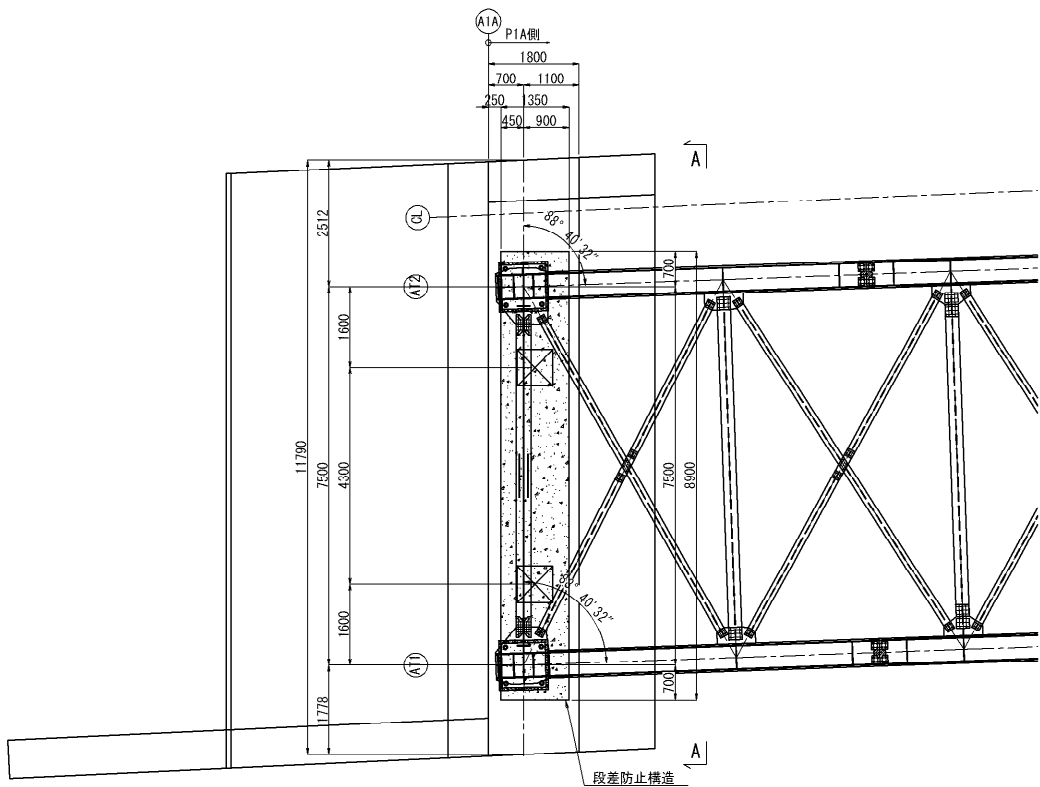
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 はく落防止対策工B 1 一般図(その2)		
縮尺	1:250	図面番号	366/529
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

ジャッキアップ時

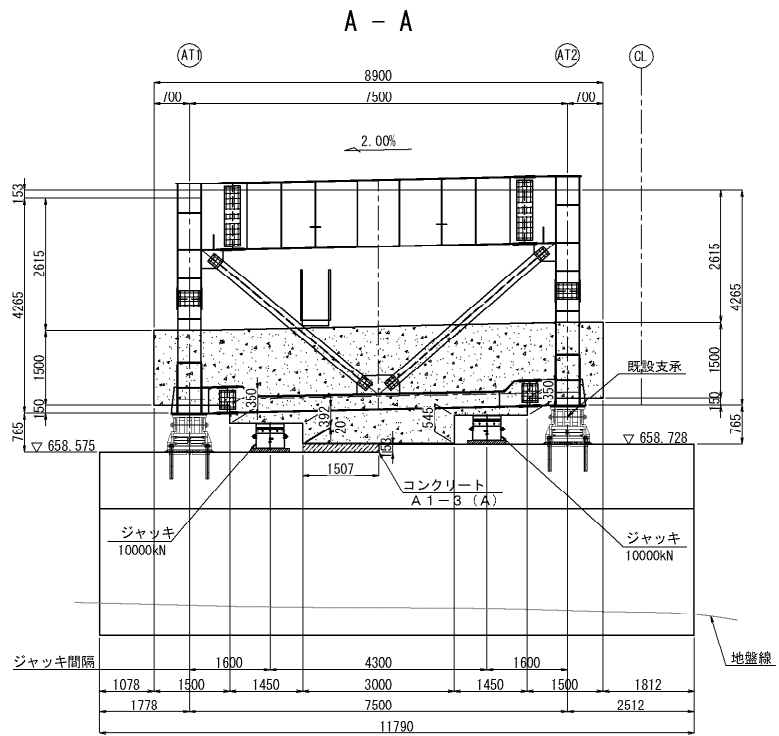
側面図



平面図



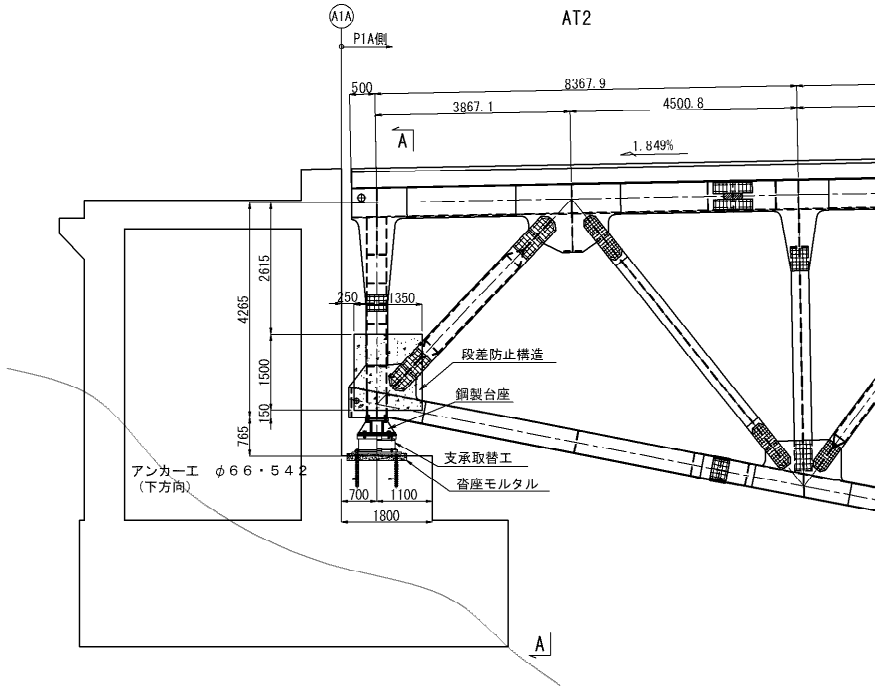
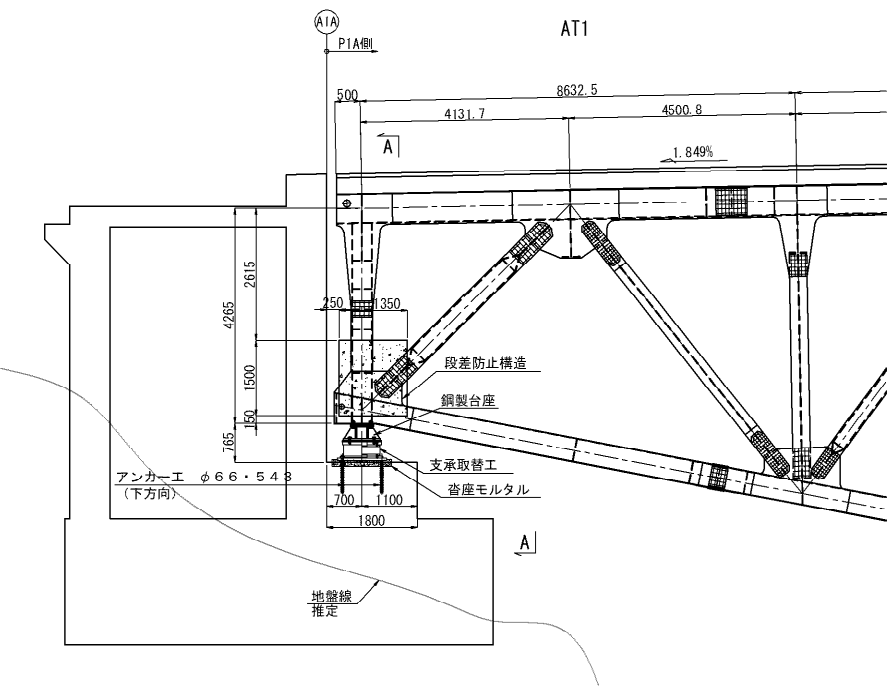
正面図



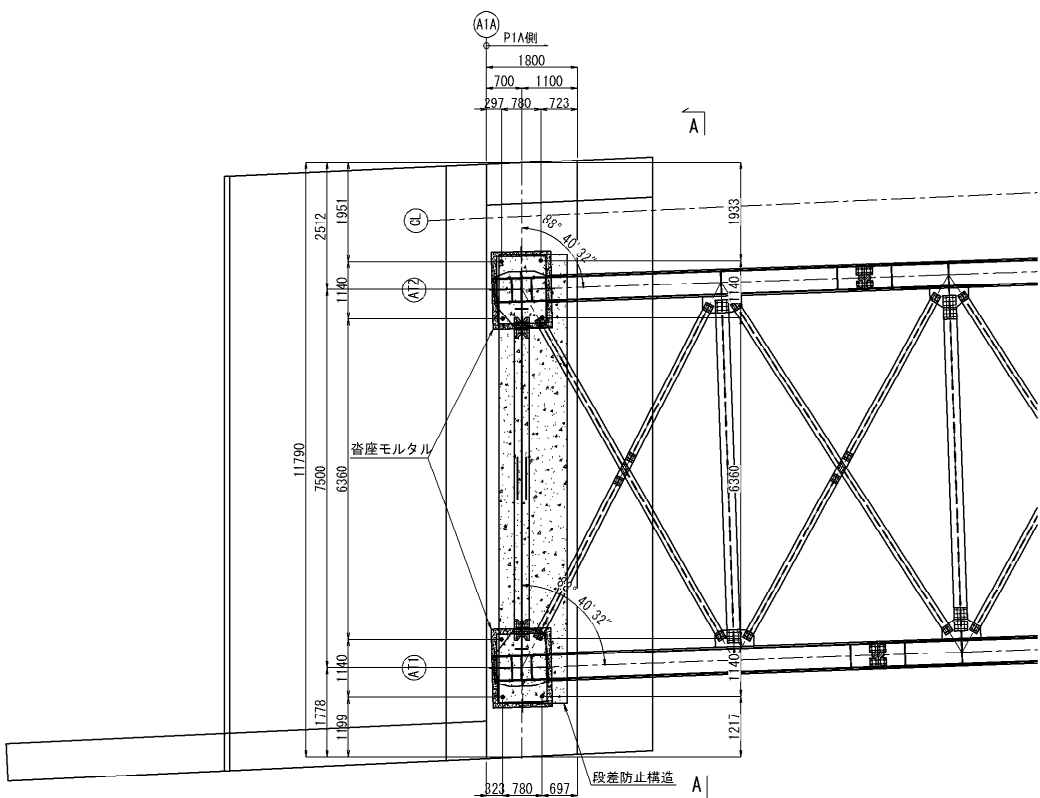
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台		
	支承取替工配置図(その1)		
縮 尺	1:150	図面番号	367/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

支承取替工

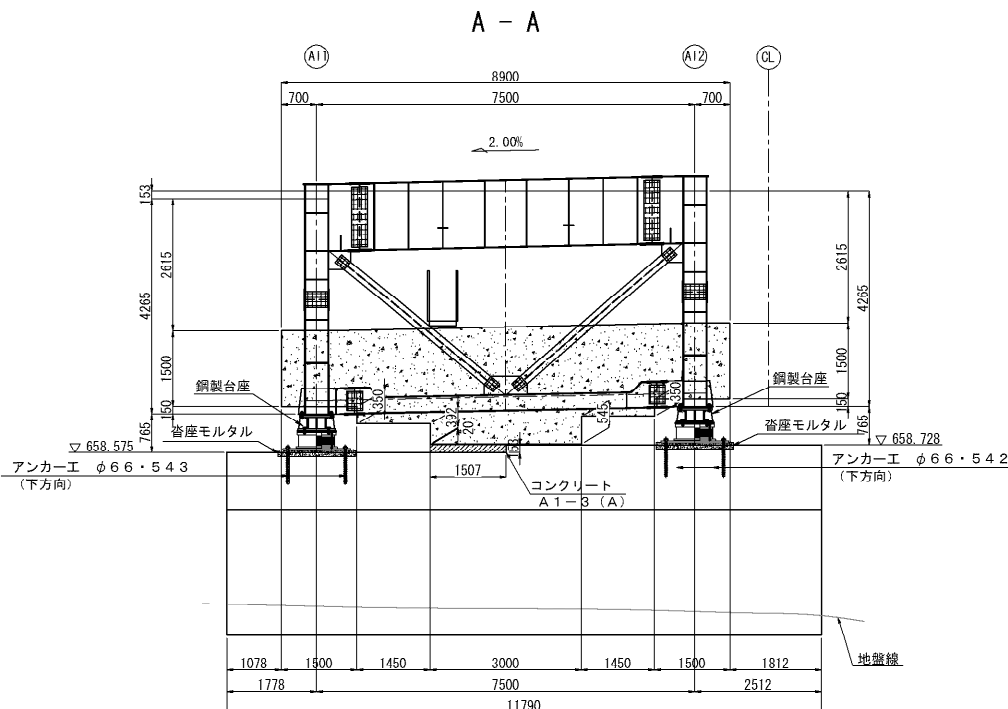
側面図



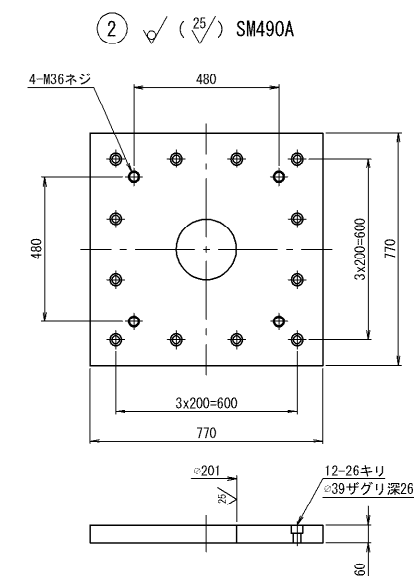
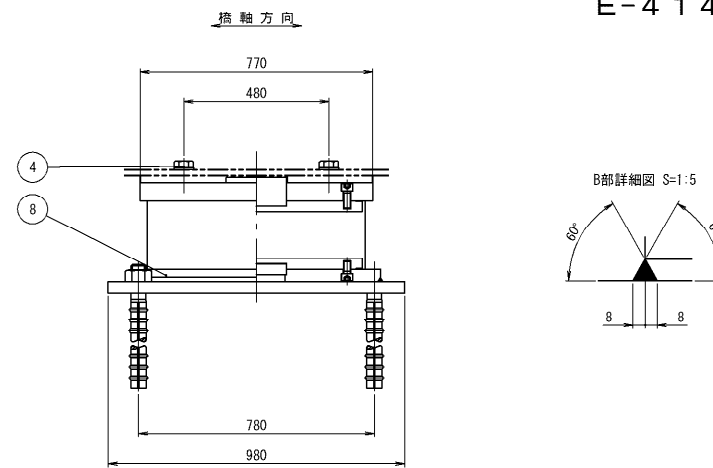
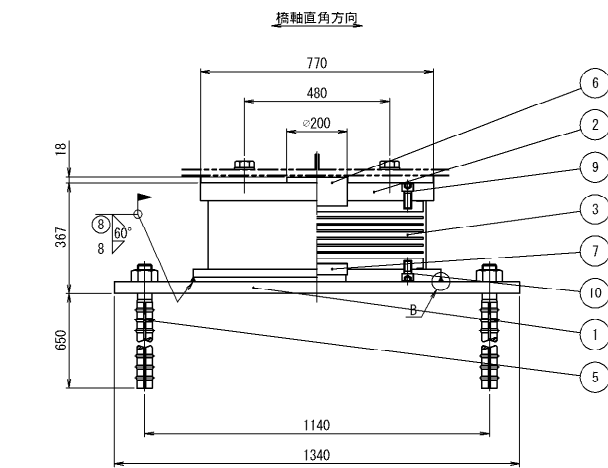
平面図



正面図



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台		
	支承取替工配置図(その2)		
縮尺	1:150	図面番号	368/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



免震支設計条件			
反		力	
全	力	R	4142 kN
死	荷重反力	Rd	2961 kN
橋軸方向水平力 (地震時)		Rh1e	555 kN
橋軸直角方向水平力 (地震時)		Rh2e	1004 kN
上	揚力 (地震時)	V	888 kN
移動量			
最大変位量 (地震時)	UB	±	232 mm
ゴ ム 倉			
せん断弾性係数		Ge	1.0 N/mm <sup>2</sup>
破壊ひずみ		γ <sub>u</sub>	600 %
試験変位量		ΔL	± 208 mm
等価剛性		KB	4.272 kN/mm
等価減衰定数		hδ	17.3 %
許容せん断ひずみ		γ <sub>s</sub>	250 %
2次形状係数		S2	5.88
照査荷重		R1L	590.4 kN
照査荷重時圧縮変位量		δ <sub>cL</sub>	0.310 mm
支 承 部 支 持 条 件			
橋軸方向： 免震		橋軸直角方向： 免震	

注) 上記の等価剛性・等価減衰定数は試験変位量に対する値を示す。

## 材料表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
①	ベースプレート	SM490A	1	409. 9	
②	上 弁	SM490A	1	25. 9	
3	ゴ ム 垫	HDR-S+SM490A +SS400	1	478. 7	
④	六角ボルト座金	_____	4	5. 1	JIS B 1180
⑤	アンカーボルト・ナット	SD345	4	50. 5	JIS B 1181
⑥	せん断キー	SM490A	1	23. 7	
⑦	せん断キー	SM490A	1	8. 6	
⑧	下 弁	SM490A	1	198. 2	
9	六角穴付ボルト	_____	12	3. 9	JIS B 1176
10	六角穴付ボルト	_____	12	3. 2	JIS B 1176
全 重 量				1439. 7	(kg)
一 般 外 面 の 防 食 処 理					
溶融亜鉛めっき					
材料表部番の○印部品をめっきのこと。 JIS H 8641 HDZT77、HDZT49(ギルメ類)					

注1) 製作会社において、不要な場合は設けなくてもよい。

注2) 必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。

注3) ゴム支承の上下鋼板露出部は、金属亜鉛末を70%以上含む高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと(塗膜厚75 $\mu$ m以上)。

注4) 六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。

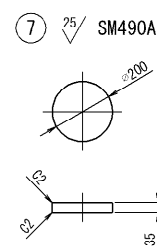
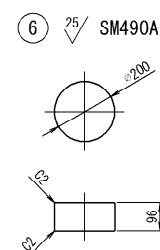
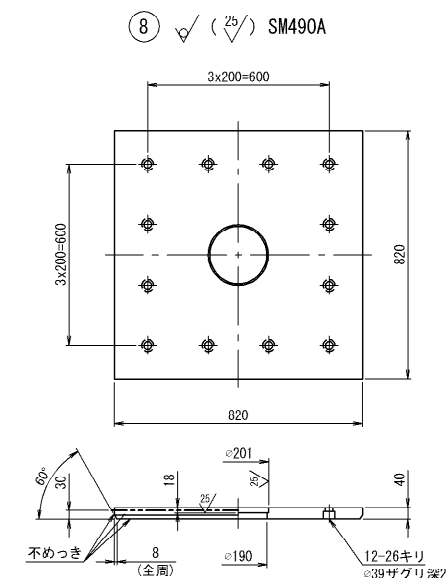
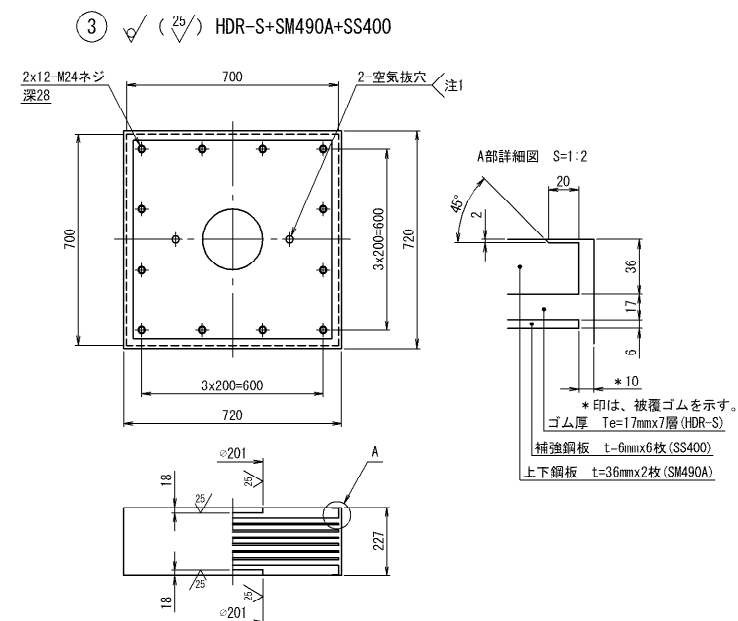
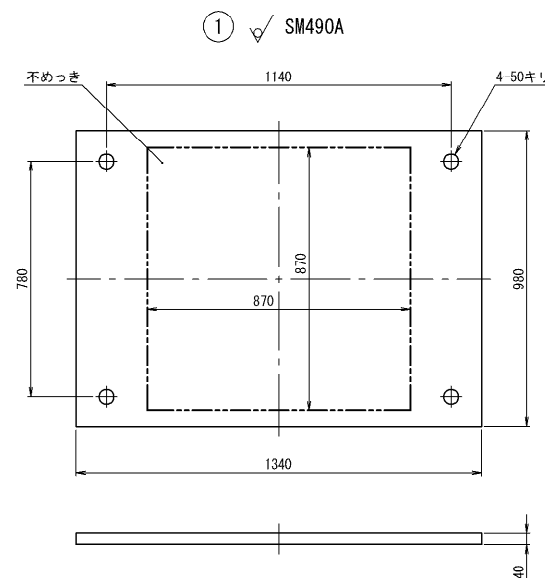
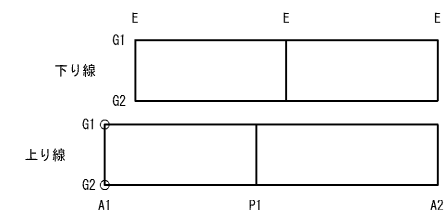
注5) ゴム沓側面は、クロロスルホン化ポリエチレン系塗料を塗布のこと。

注6) 部番4の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。

注7) 現場溶接部付近は不めっきとして開先防錆塗料を塗布し、溶接後高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。

注8) アンカーボルト配置は、現場実測後決定のこと。

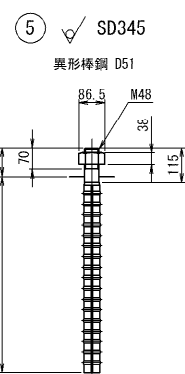
## 配置図



④ 六角ボルト 中 M36x 8.8  
(平座金付き)

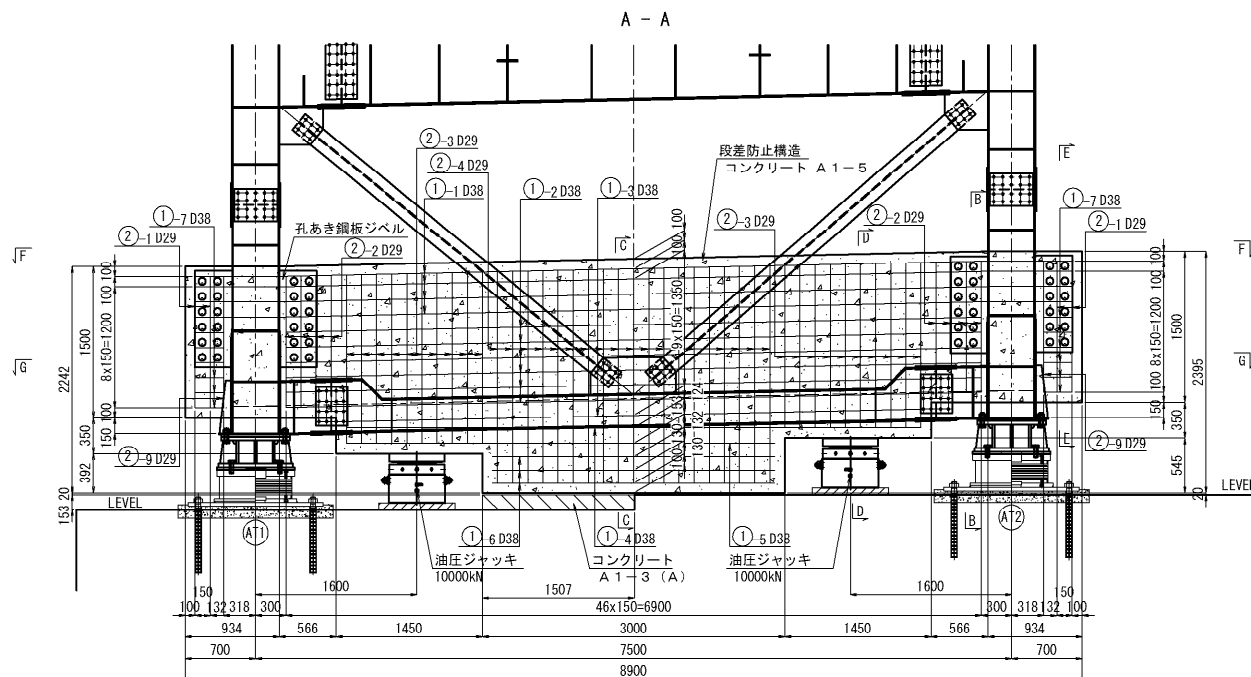
⑨ 六角穴付ボルト M24x60 10.9

(10) 六角穴付ボルト M24x40 10.9

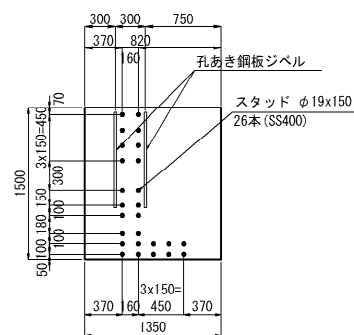


<p align="center"><b>長 野 自 動 車 道</b> <b>五 常 橋 床 版 取 替 工 事</b></p>			
図面の種類	<p>滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 文庫取替工詳細図(その1) (参考図)</p>		
縮 尺	1:25	図面番号	369/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

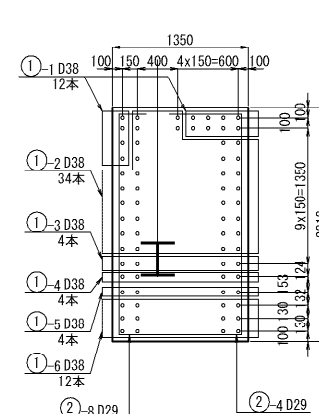
### 段差防止構造



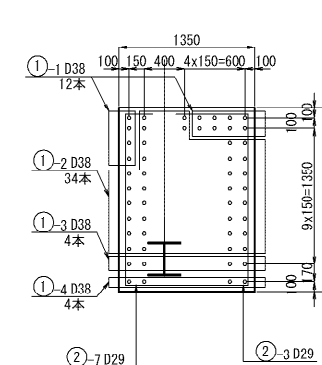
B - B (スタッド)



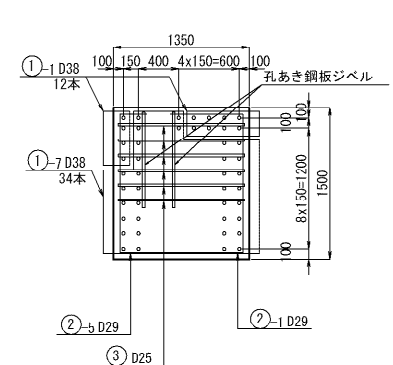
C - C (構造中心)



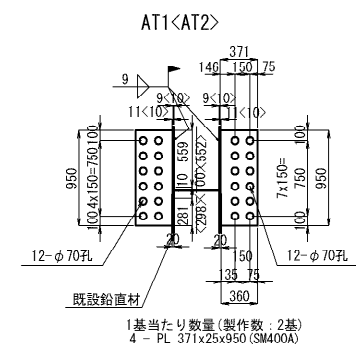
D - D (ジャッキ)



E - E (鋼板ジベル)



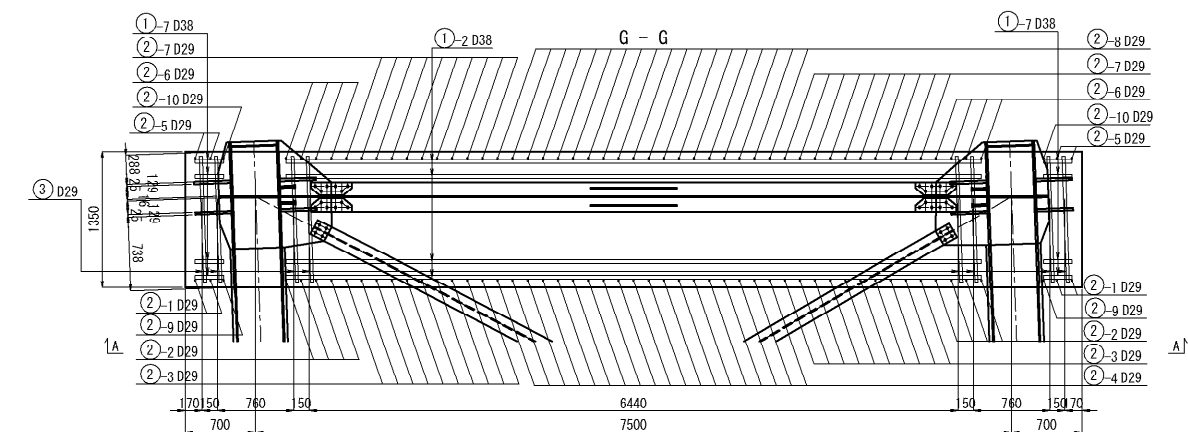
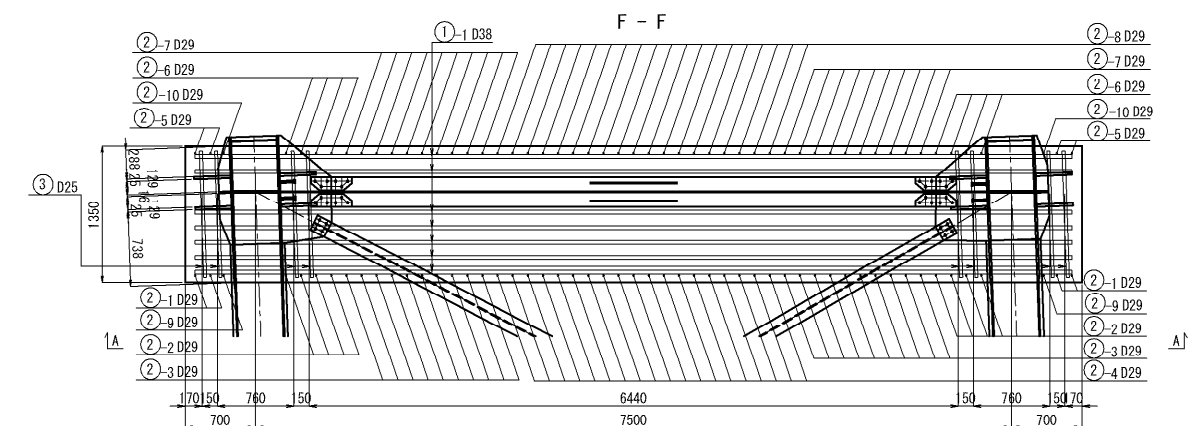
## 孔あき鋼板ジベル詳細



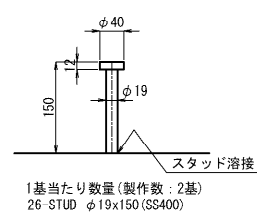
### 材 料 表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘 要
A1橋台							
1-1	D38	8710	12	8.95	78.0	936	――
1-2	D38	6910	34	8.95	61.8	2101	――
1-3	D38	5710	4	8.95	51.1	204	――
1-4	D38	5700	4	8.95	51.0	204	――
1-5	D38	4250	4	8.95	38.0	152	――
1-6	D38	2800	12	8.95	25.1	301	――
1-7	D38	290	34	8.95	2.60	88	――
2-1	D29	3050	4	5.04	15.4	62	〔
2-2	D29	2730	8	5.04	13.8	110	〔
2-3	D29	3400	20	5.04	17.1	342	〔 平均長
2-4	D29	3870	19	5.04	19.5	371	〔 平均長
2-5	D29	2600	4	5.04	13.1	52	〔
2-6	D29	1830	8	5.04	9.22	74	〔
2-7	D29	2950	20	5.04	14.9	298	〔 平均長
2-8	D29	3470	19	5.04	17.2	327	〔 平均長
2-9	D29	2730	2	5.04	13.8	28	〔
2-10	D29	1830	2	5.04	9.22	18	〔
3	D25	1250	48	3.98	4.98	239	――
						5907 kg	
鉄筋質量				SD345	D38	3986 kg	
				SD345	D29	1682 kg	
				SD345	D25	239 kg	
現場打ちコンクリート本数				φ19×150(SS400)		52 本	
コンクリート体積						22.7 m <sup>3</sup>	
型 枠 面 積						51.9 m <sup>2</sup>	

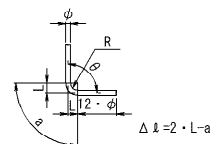
(一箇所当たり)



### 現場打ち頭付きスタッド詳細

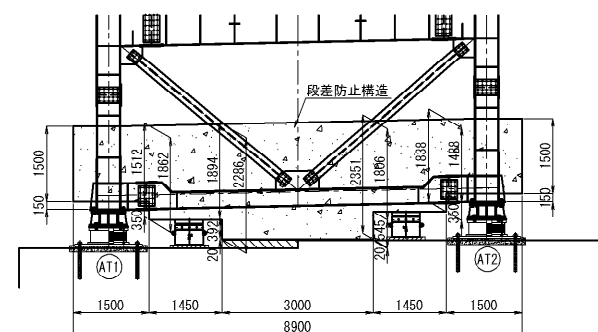


鉄筋曲げ加工表



主 筋				
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0 $\phi$	$\theta > 90^\circ$ R=5.5 $\phi$	$\theta = 90^\circ$	
			a	$\Delta L$
D25	75	137.5	118	32
D29	87	159.5	137	37
D38	114	209	179	49

段差防止構造詳細図 S=1:150

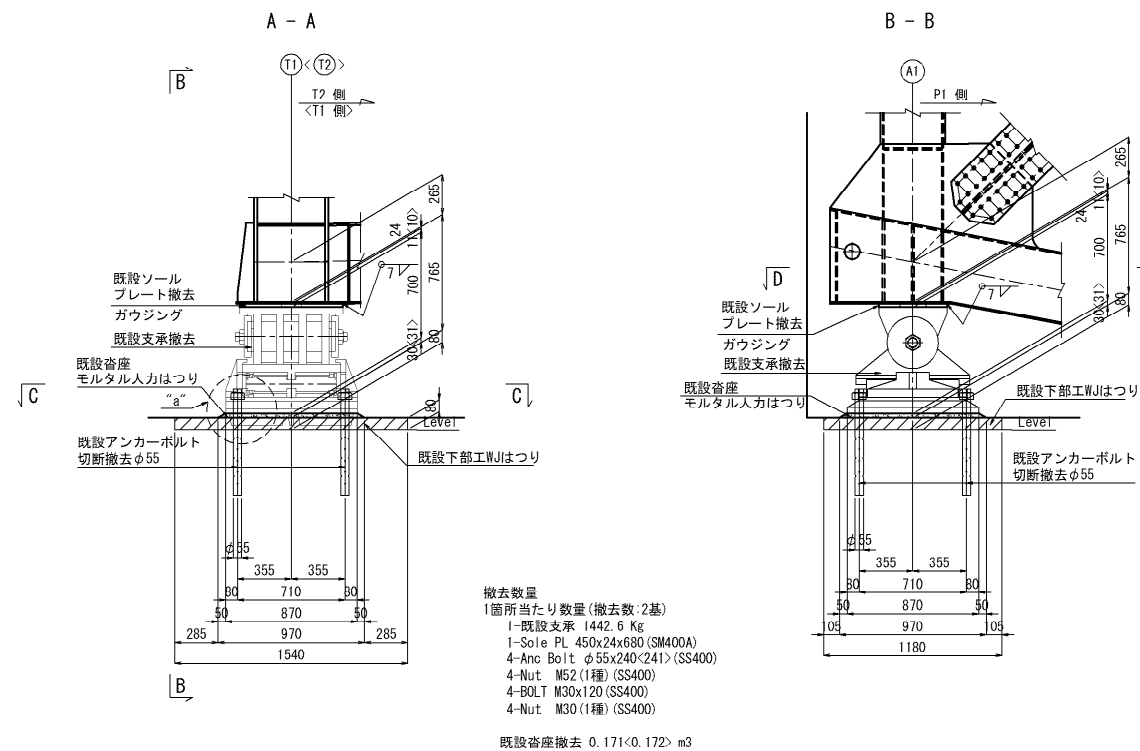


注記

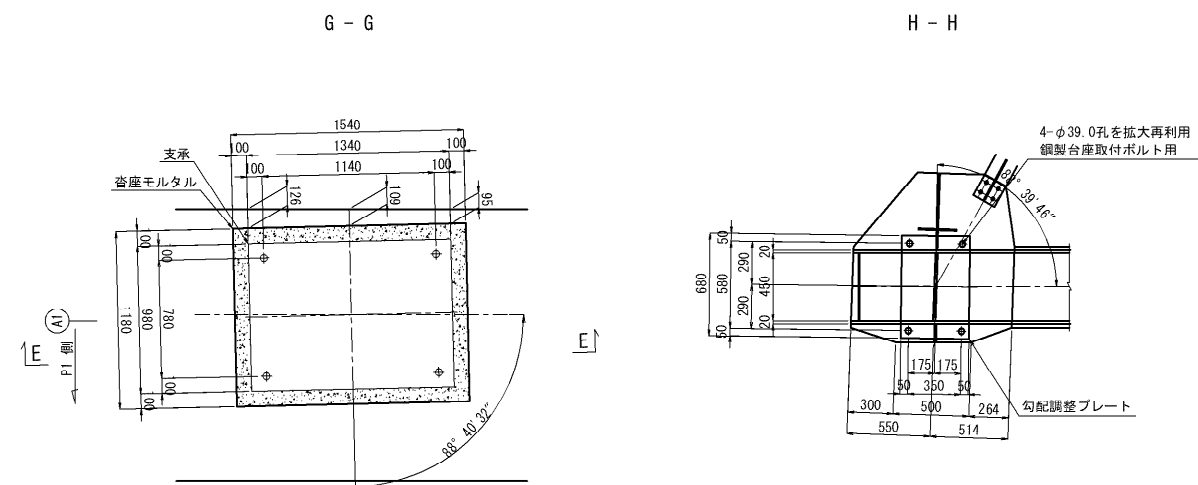
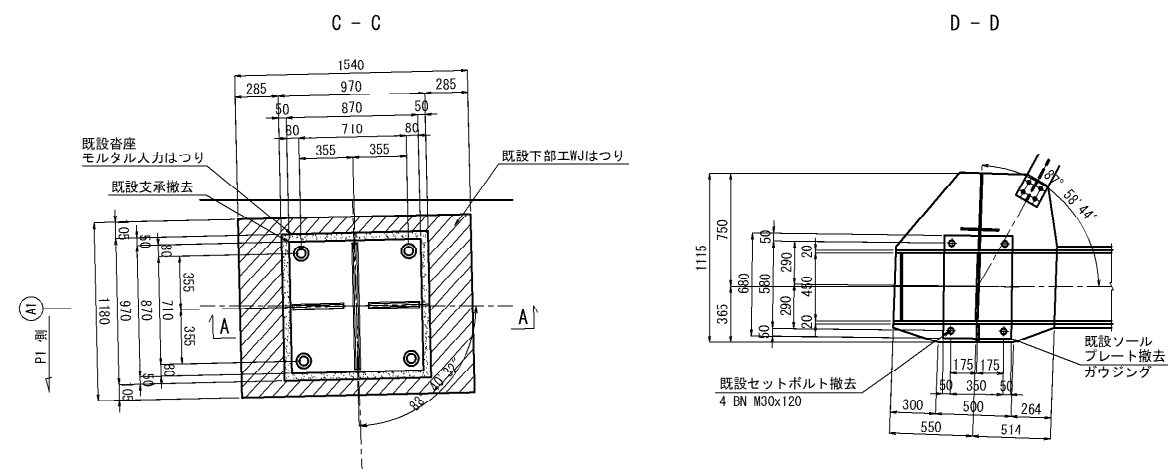
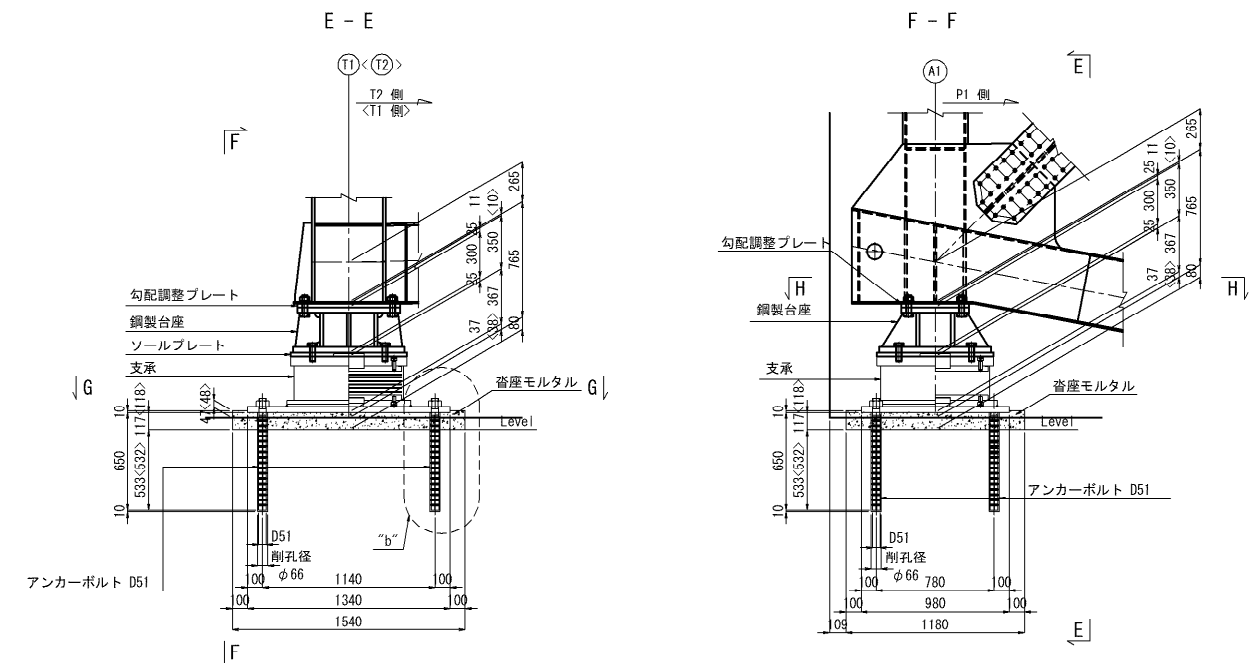
- 注記
1. 段差防止構造のコンクリート強度は  $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 、橋座部のコンクリート強度は  $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$  とする。
  2. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法等を再確認すること。

<p style="text-align: center;">長 野 自 動 車 道 五 常 橋 床 版 取 替 工 事</p>			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支取代替工詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	370/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

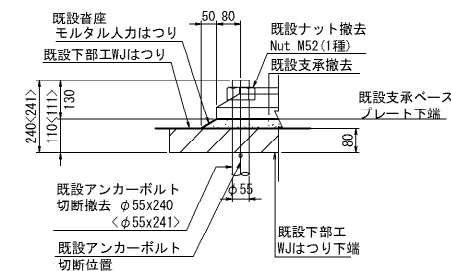
既設支承撤去図



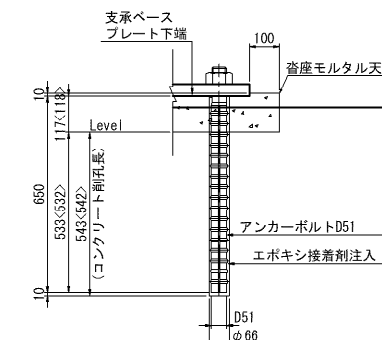
支取取付図



"a"部詳細 s=1:25



“b”部詳細 S=1:25

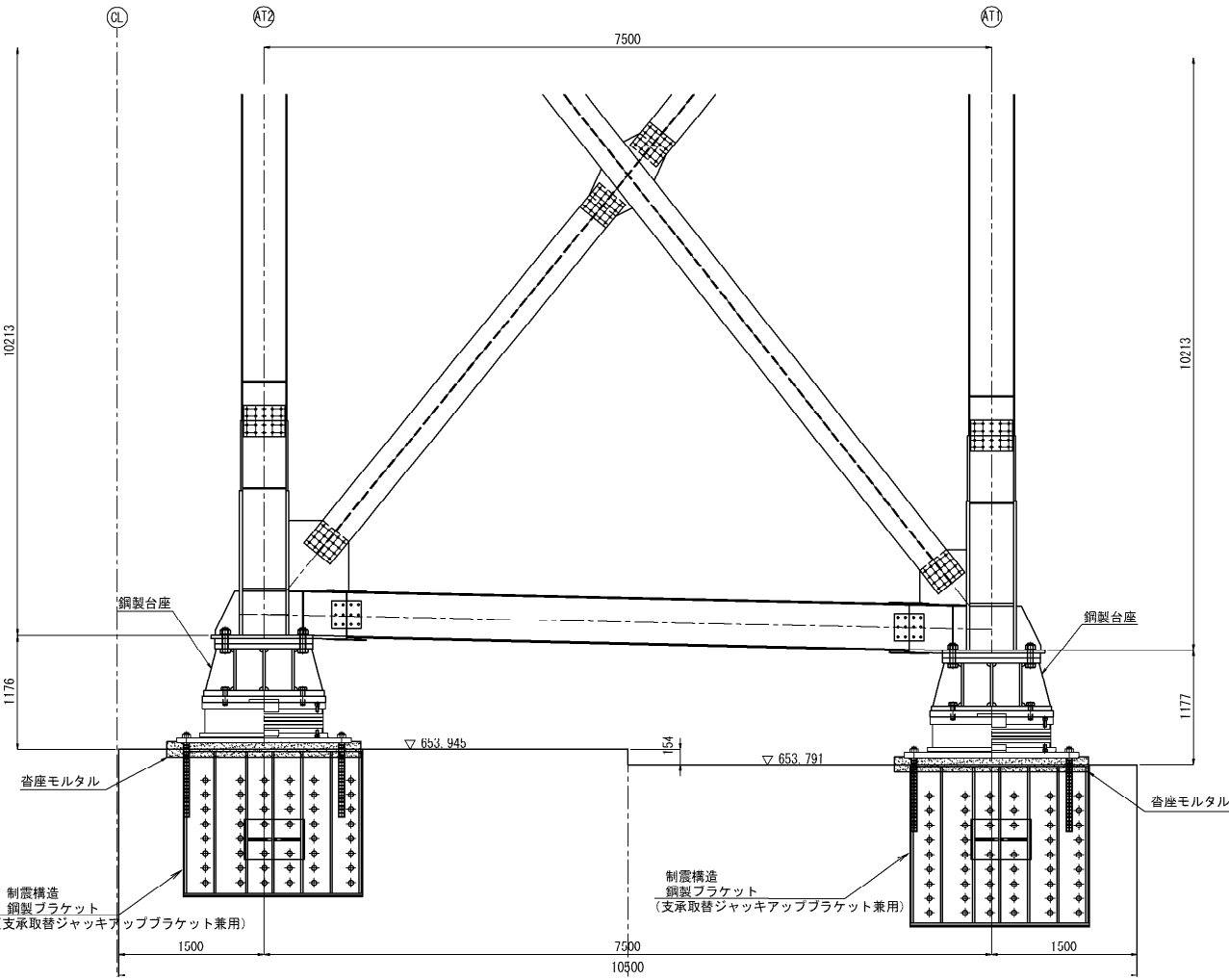


- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 既設のコンクリート構造物に削孔を行う場合は既設の鉄筋に損傷を与えないように事前に急に調査を行い示すこと。
  3. < 内は、12桁を示す。
  4. 現場でのセットボルト及びアンカーボルト位置測定後に支保組込に反映すること。

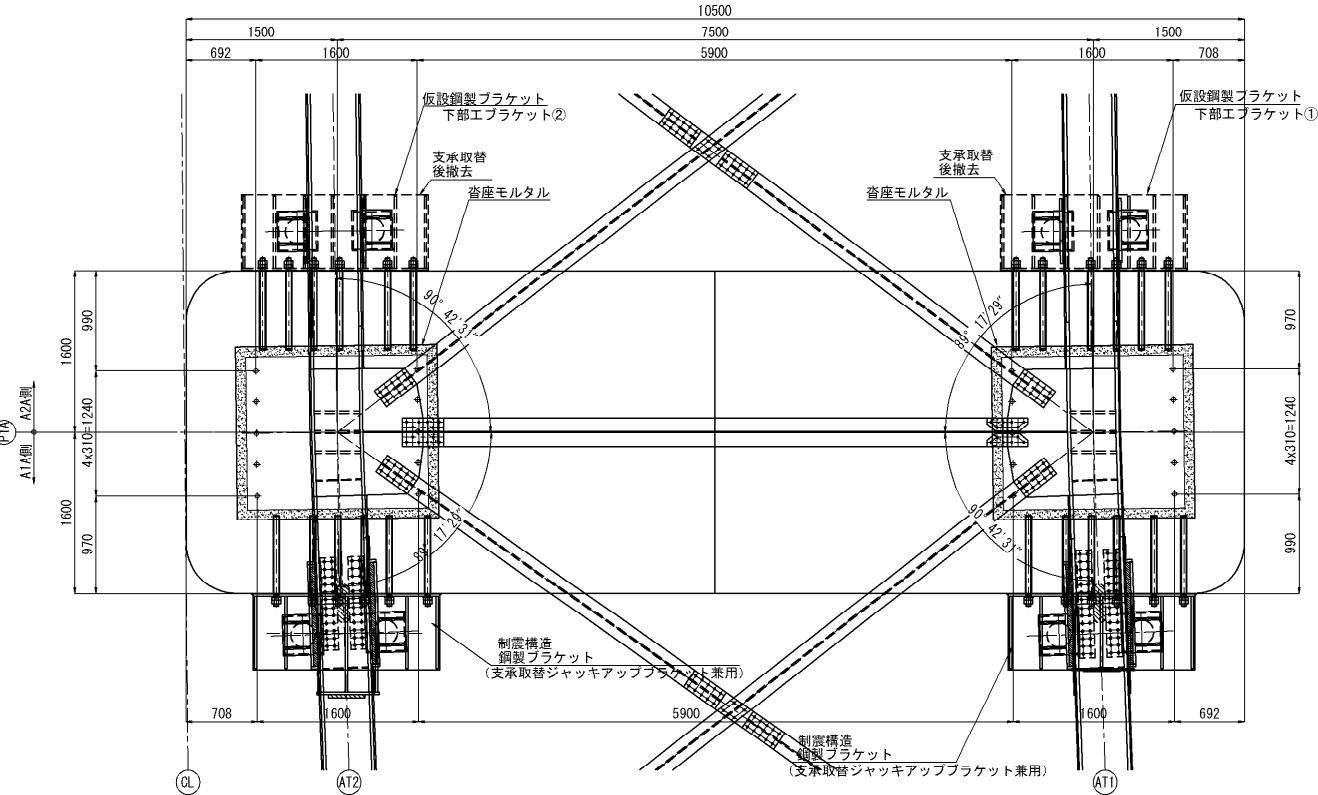
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)A1橋台 文承取替詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	371/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) AI橋台 文承取替工詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	372/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支所 長野工事事務所		

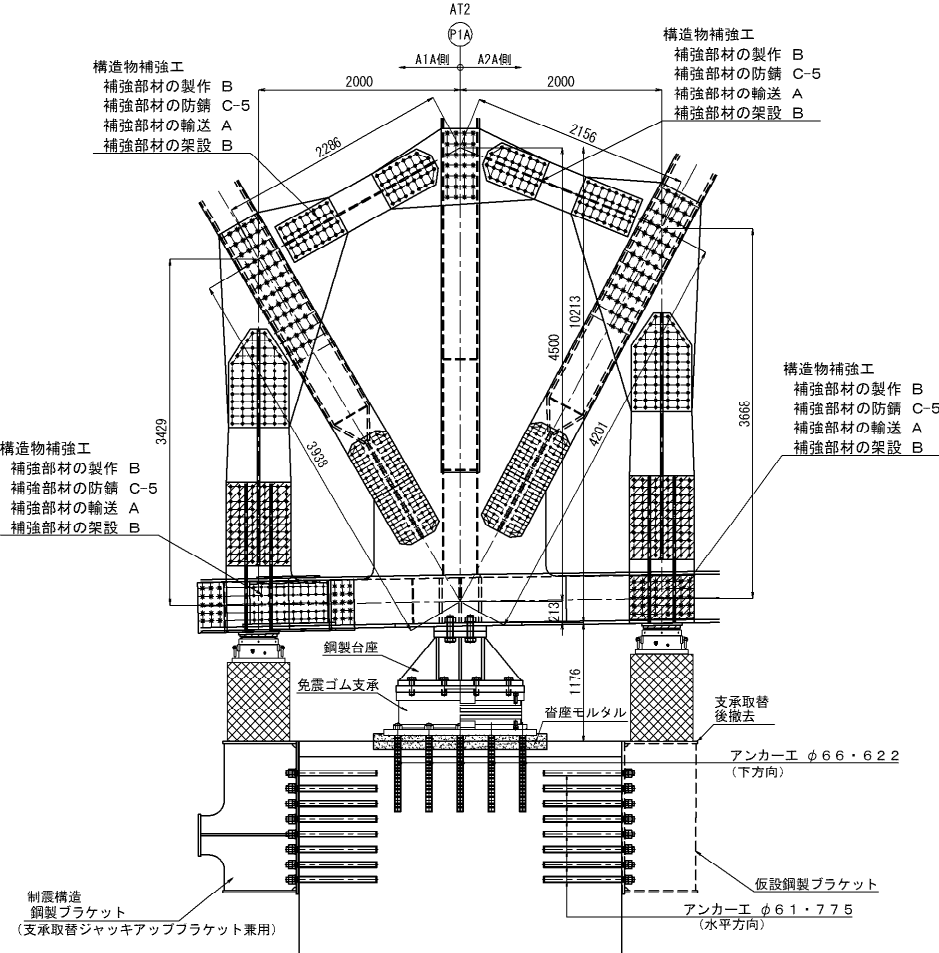
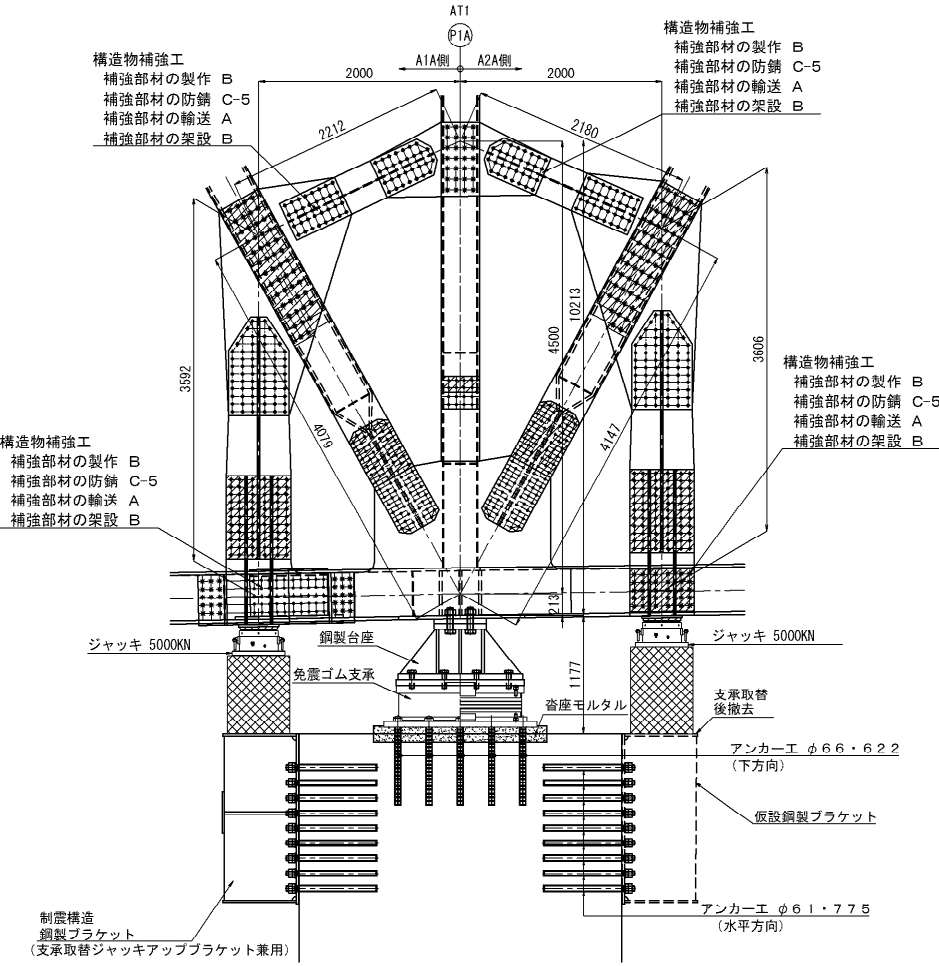
正面図



平面図

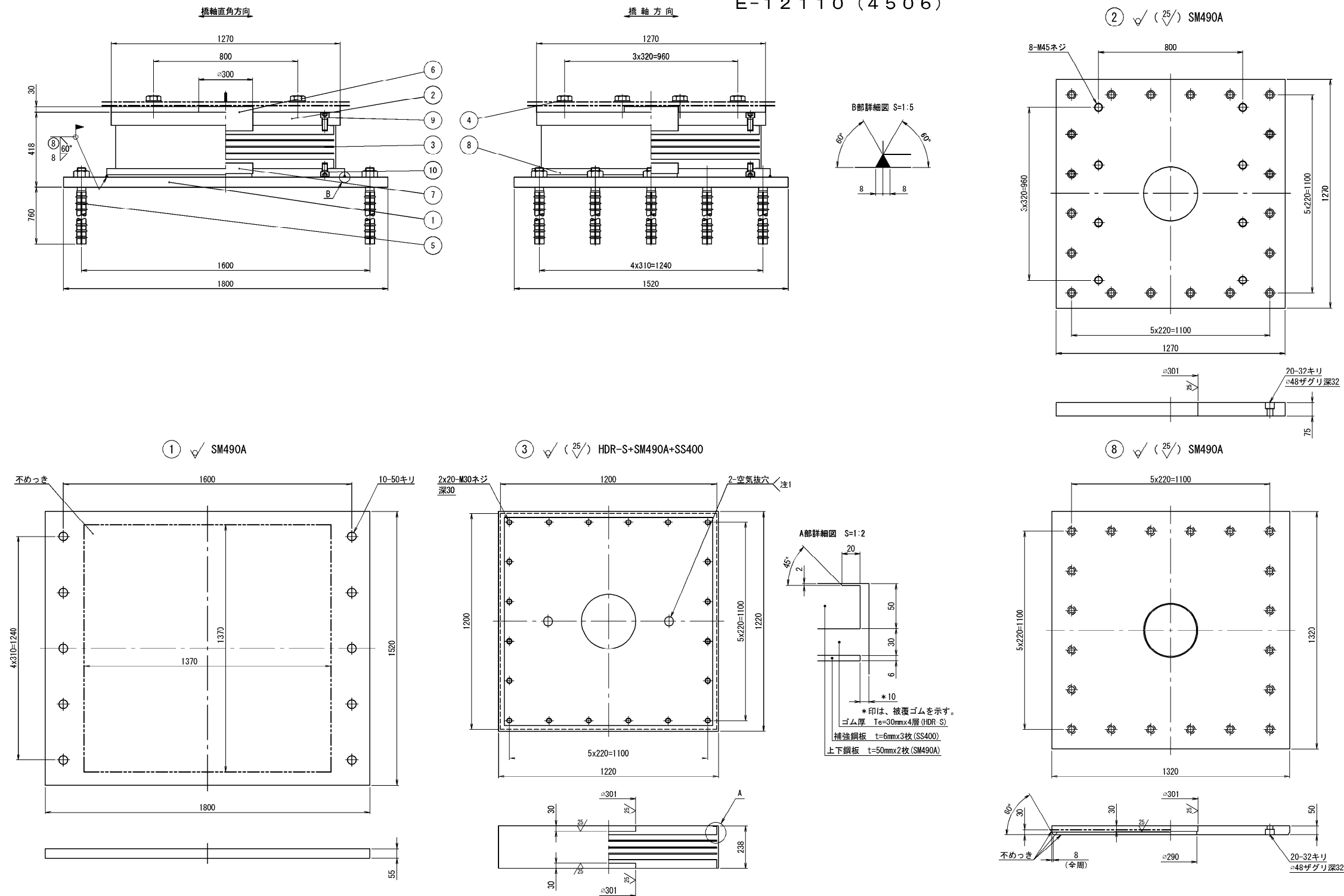


側面図



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工配置図		
縮 尺	1:75	図面番号	373/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		





⑥  $\frac{25}{\sqrt{}}$  SM490A

⑦  $\frac{25}{\sqrt{}}$  SM490A

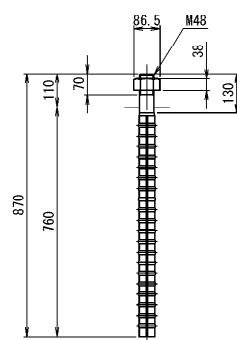
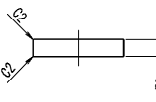
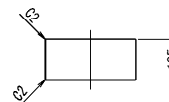
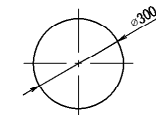
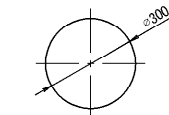
④ 六角ボルト 中 M45x 8.8  
(平座金付き)

⑨ 六角穴付ボルト M30x70 10.9

⑩ 六角穴付ボルト M30x45 10.9

⑤ ✓ SD345

異形棒鋼 D51



### 免震支承設計条件

反		力	
全	反	R	12110 kN
死	荷	Rd	9350 kN
橋軸方向水平力 (地震時)		Rh1e	2545 kN
橋軸直角方向水平力 (地震時)		Rh2e	2743 kN
上	揚	V	2805 kN
移 動 量			
最 大 変 位 量 (地震時)		UB	± 220 mm
ゴ ム 弁			
せん断弾性係数		Ge	1.0 N/mm <sup>2</sup>
破断ひずみ		γu	600 %
試験変位量		ΔL	± 210 mm
等価剛性		KB	12.449 kN/mm
等価減衰定数		hB	17.3 %
許容せん断ひずみ		γs	250 %
2次形状係数		S2	10.00
支 承 部 支 持 条 件			
橋軸方向： 免震		橋軸直角方向： 免震	

注) 上記の等価剛性・等価減衰定数は試験変位量に対する値を示す。

### 材 料 表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量 (kg)	備 考
①	ベースプレート	SM490A	1	1172.8	
2	上 蓋	SM490A	1	886.0	
3	ゴ ム 蓋	HDR-S-SM490A S3401	1	1505.7	
④	六角ボルト座金	—	8	18.9	JIS B 1180
5	アンカーボルト・ナット	SD345	10	145.9	JIS B 1181
⑥	せん断キー	SM490A	1	74.9	
⑦	せん断キー	SM490A	1	32.7	
⑧	下 蓋	SM490A	1	645.5	
9	六角穴付ボルト	—	20	12.9	JIS B 1176
10	六角穴付ボルト	—	20	10.5	JIS B 1176

全重量	4505.8	(kg)
-----	--------	------

## 一般外面の防食処理

溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。
	JIS H 8641 HDZT77、HDZT49(ホルル類)

注1) 製作会社において、不要な場合は設けなくてもよい。

注2) 必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。

注3) ゴム支承の上下鋼板露出部は、金属亜鉛末を70%以上含む高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと(塗膜厚75 $\mu$ m以上)。

注4) 六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。

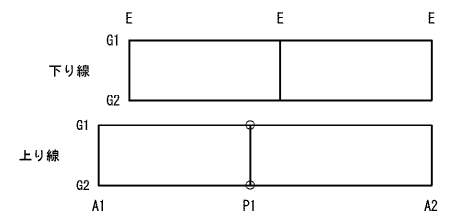
注5) ゴム沓側面は、クロロスルホン化ポリエチレン系塗料を塗布のこと。

注6) 部番4の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。

注7) 現場溶接部付近は不めっきとして開先防錆塗料を塗布し、溶接後高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。

注8) アンカーボルト配置は、現場実測後決定のこと。

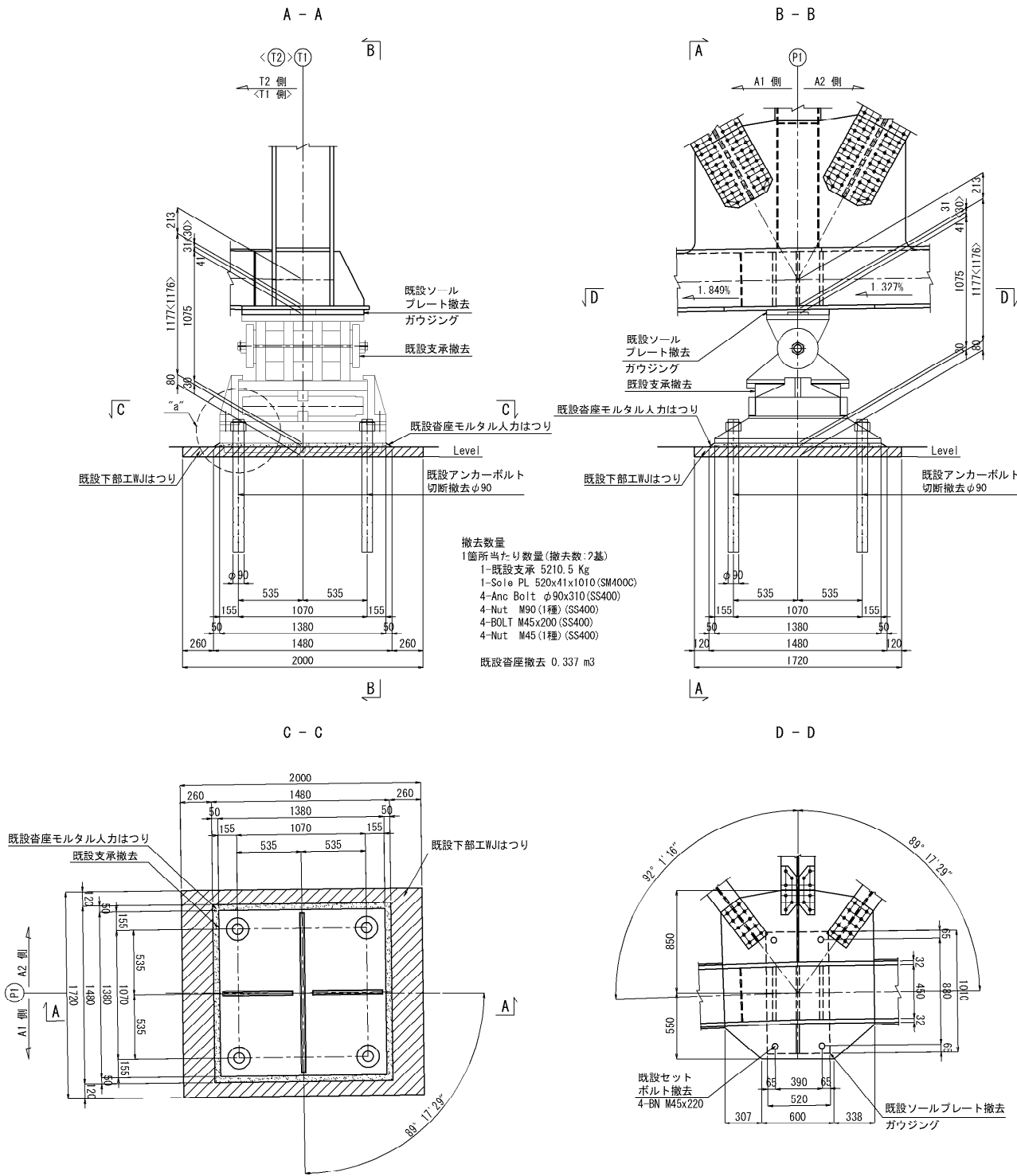
## 配置図



長 野 自 動 車 道 五 常 橋 仮 版 取 替 工 事			
図面の種類	濠ノり橋(上り橋) P1橋脚 支承替工詳細図(その1) (参考図)		
縮 尺	1 : 25	図面番号	374/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

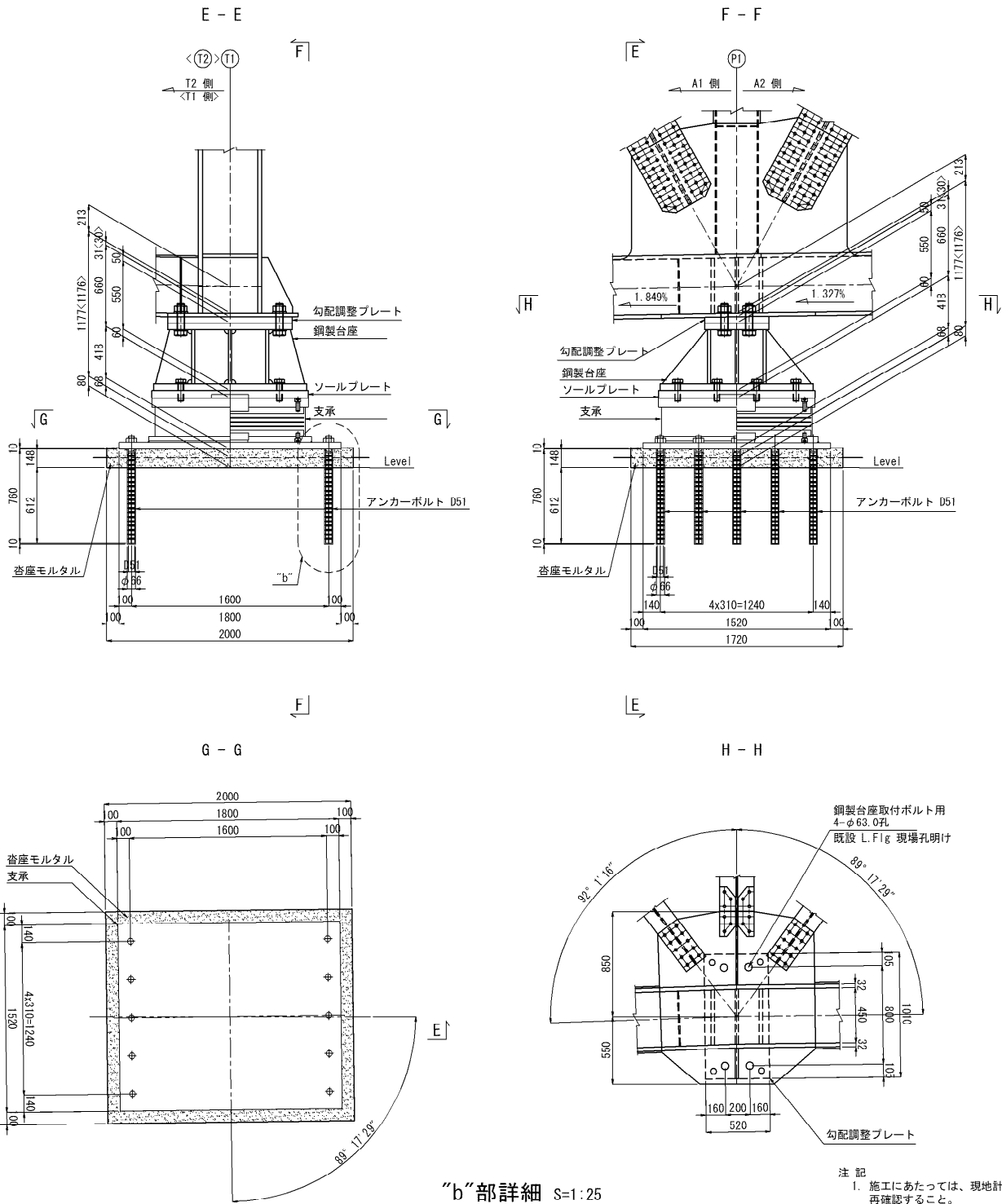
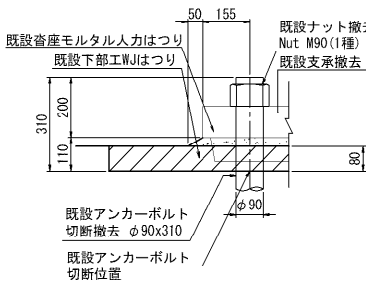
既設支承撤去図

支承取付図

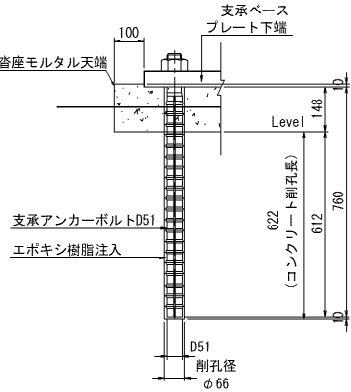


撤去数量  
1箇所当たり数量(撤去数:2基)  
1-既設支承 5210.5 Kg  
1-Sole PL 520x41x1010 (SM400C)  
4-Anc Bolt φ90x310 (SS400)  
4-Nut M90 (1種) (SS400)  
4-BOLT M45x200 (SS400)  
4-Nut M45 (1種) (SS400)  
既設寄座モルタル人力はつり  
既設アンカーボルト切断撤去φ90  
既設下部工WJはつり  
既設アンカーボルト切断撤去φ90  
既設アンカーボルト切断位置  
既設アンカーボルト切断撤去φ90x310  
既設アンカーボルト切断位置

“a”部詳細 S=1:25



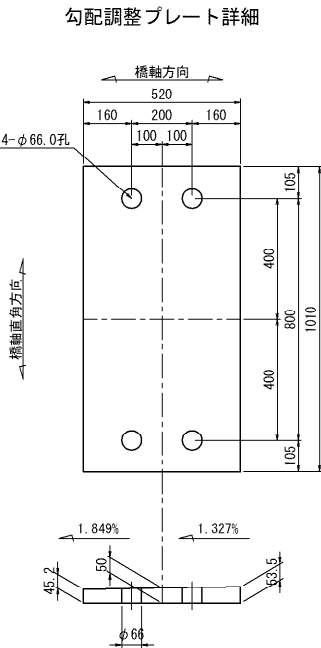
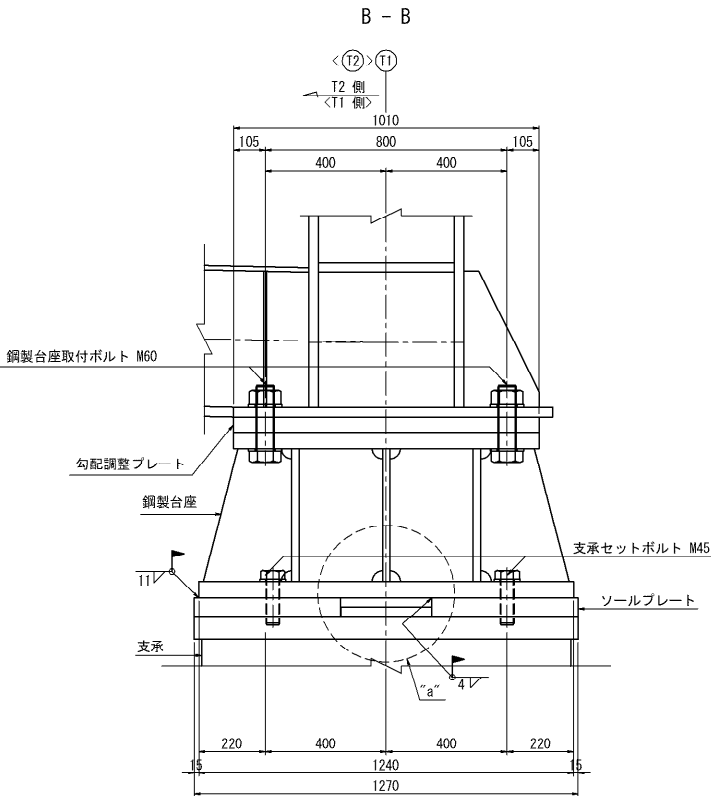
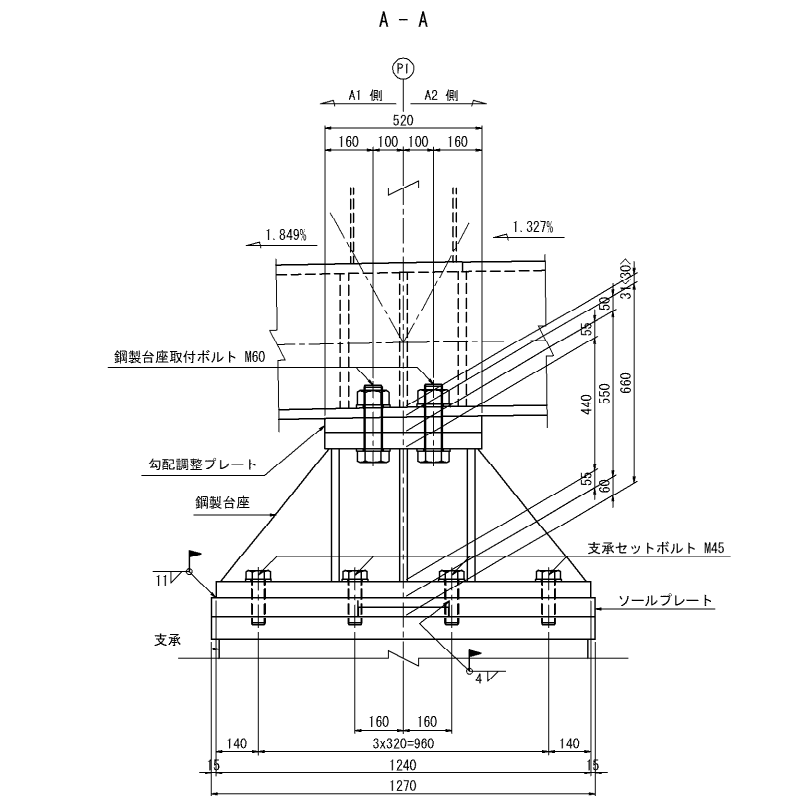
“b”部詳細 S=1:25



- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 既設のコンクリート構造物に削孔を行う場合は既設の鉄筋に損傷を与えないように事前に入念に調査を行い施工すること。
  3. < >内は、12桁を示す。
  4. コンクリート強度σ<sub>ck</sub>=30N/mm<sup>2</sup>とする。
  5. 現場でのセットボルト及びアンカーボルト位置測定後に支承設計に反映すること。

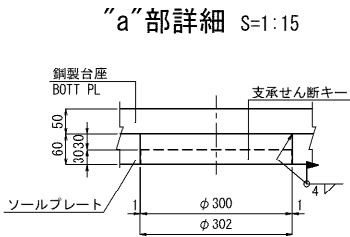
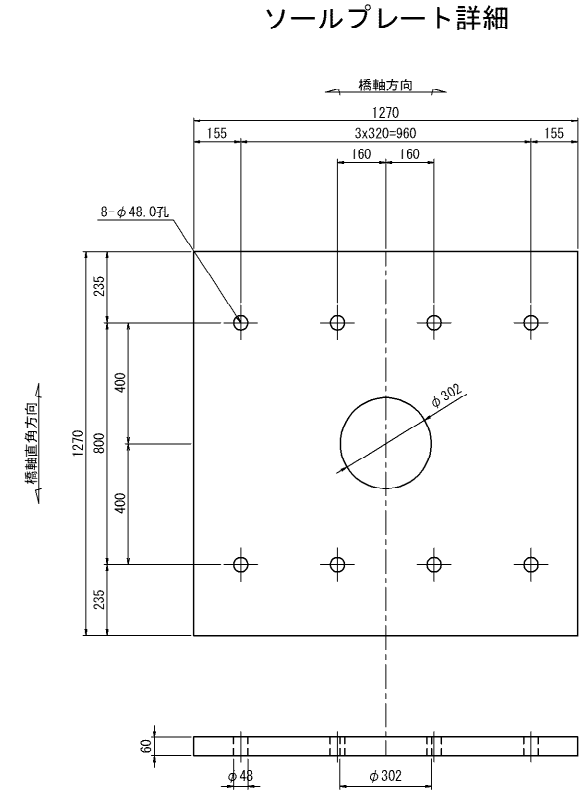
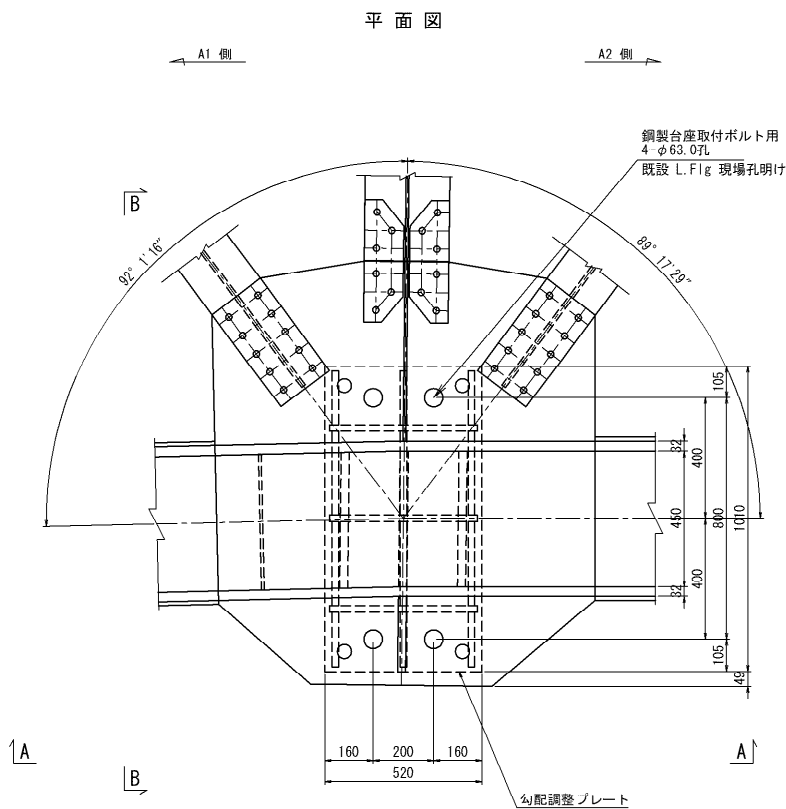
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	375/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

上部工側取付部詳細

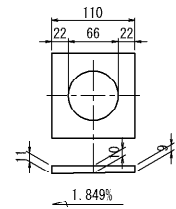


1主構当たり数量(製作数:2基)  
1-調整 PL 520x56x1010 (SM400C-H)  
1-SOLE PL 1270x60x1270 (SM400C-H)  
4-BOLT M60x250 (SS400) (強度区分8, 8)  
4-Nut M60 (1種) (SS400)  
4-座金 M60 (SS400)  
4-PL 110x11x110 (SS400)

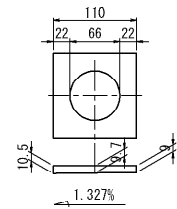
現場孔明け工  
1主構当たり数量(全:2箇所)  
φ63.0 x4箇所



テーパ座金詳細 S=1:10



テーパ座金詳細 S=1:10

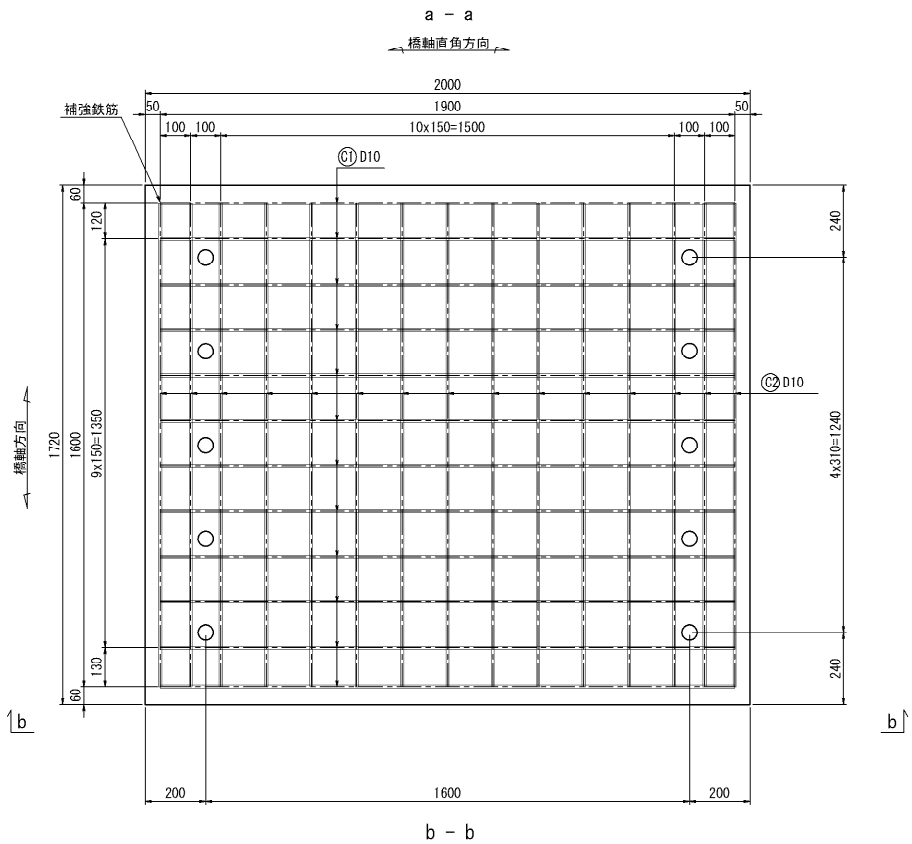
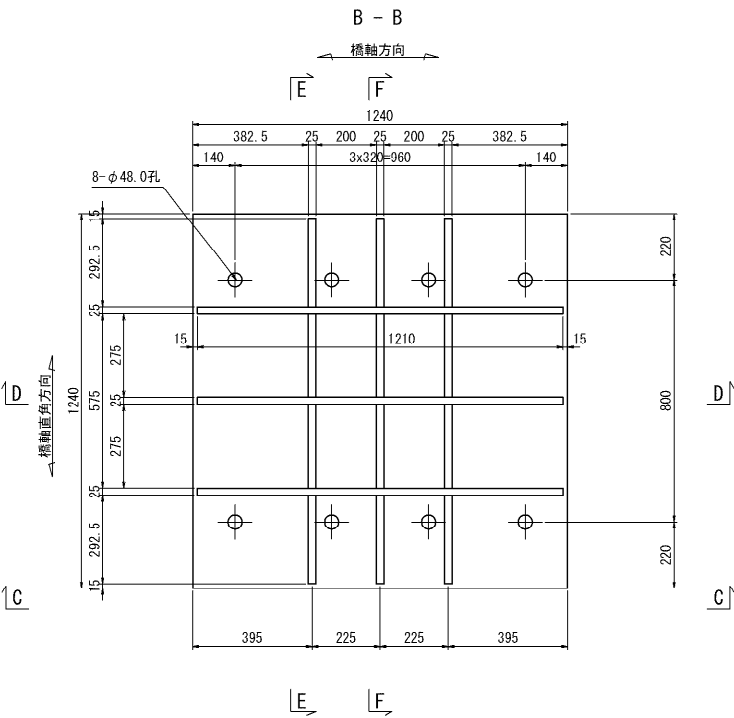
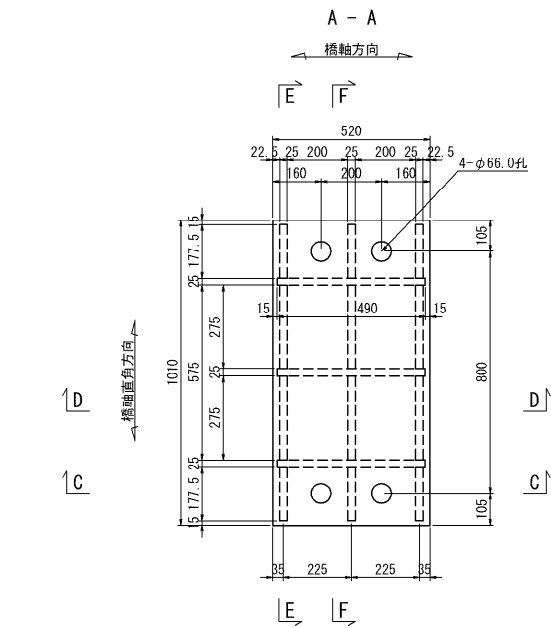


- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なきスカーラップは50mmとする。
  5. < >内は、T2桁を示す。
  6. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
  8. 現場でのセットボルト及びアンカーボルト位置測定後に支承設計に反映すること。

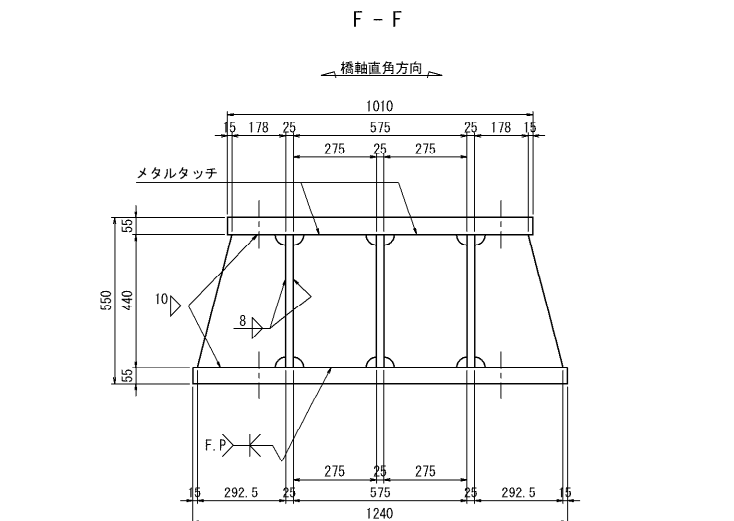
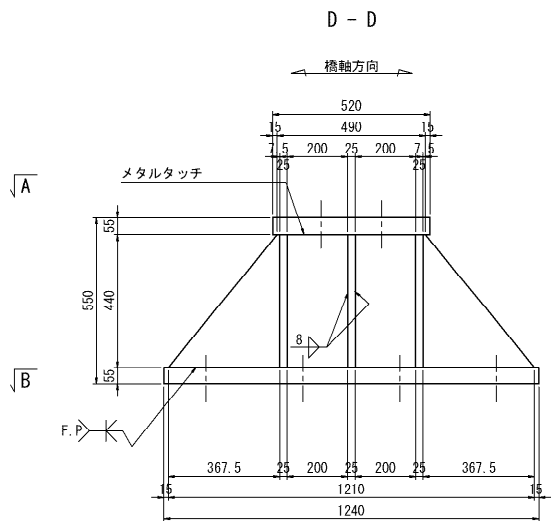
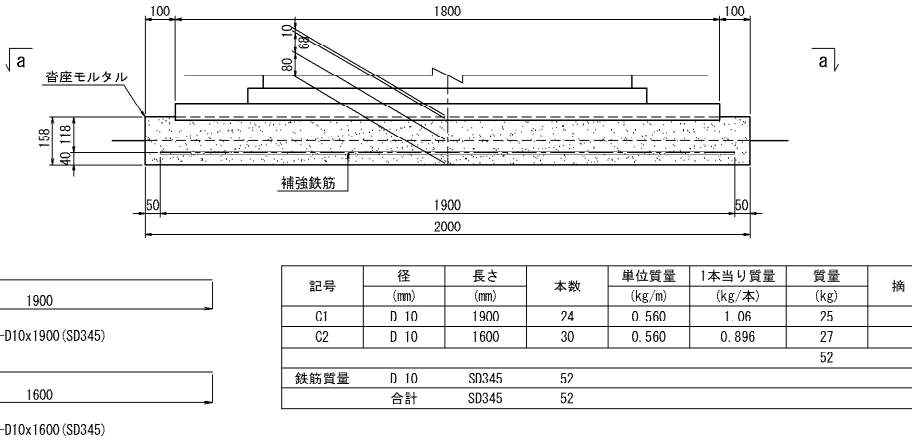
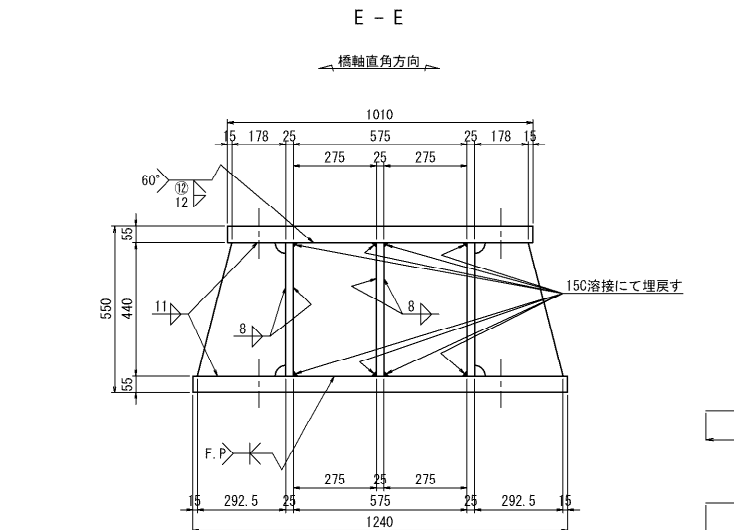
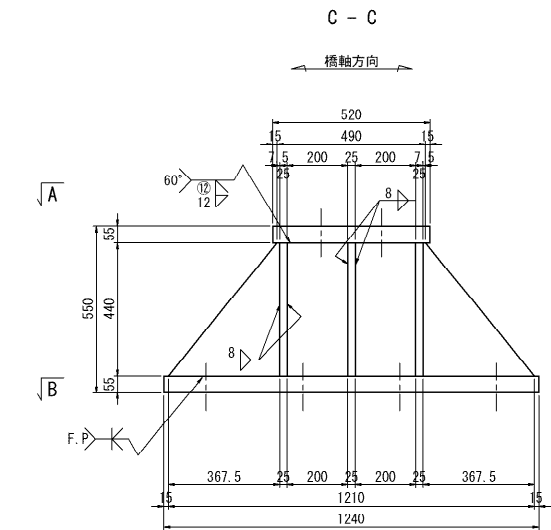
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	376/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

鋼製台座詳細

下部工側取付部詳細



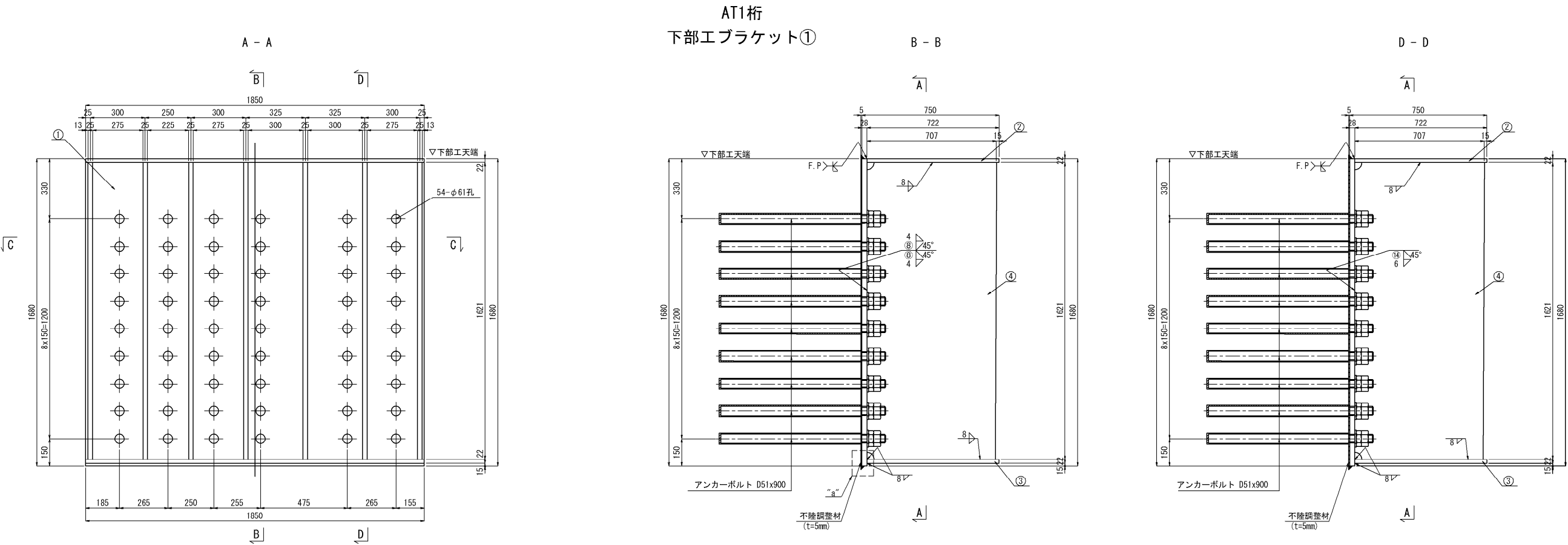
鋼製台座  
1基当たり数量(製作数:2基)  
1-TOP PL 520x55x1010 (SM400C-H)  
1-BOTT PL 1240x55x1240 (SM400C-H)  
3-WEB PL 440x25x1210 (SM400A)  
6-WEB PL 440x25x 275 (SM400A)  
6-RIB PL 440x25x 293 (SM400A)



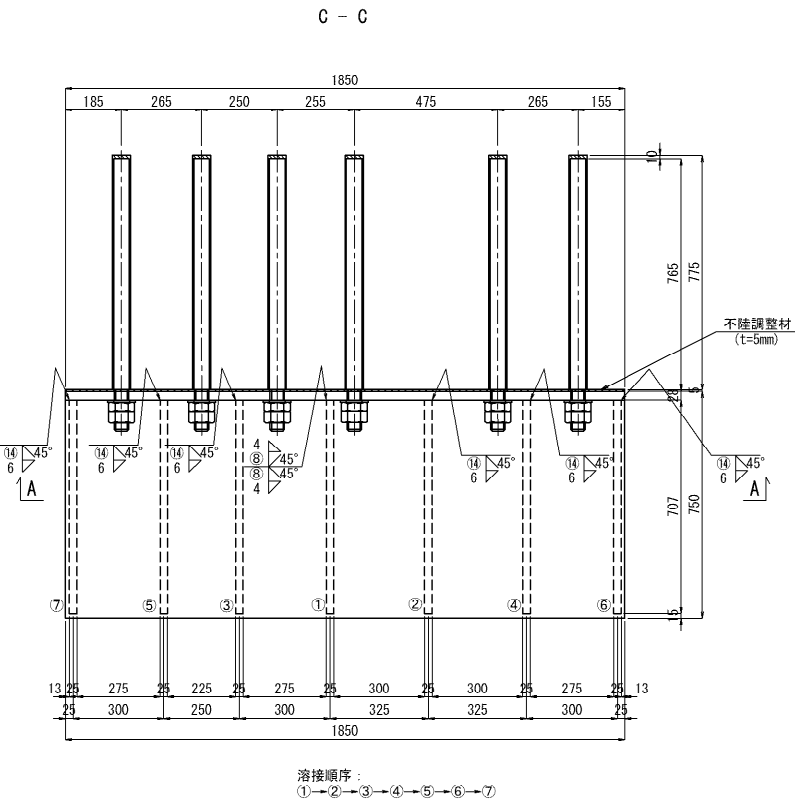
- 注 記
1. 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。
  2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なきスカーラップは50Rとする。
  5. < >内は、T2桁を示す。
  6. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	377/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

下部エブラケット詳細図 (A2側)



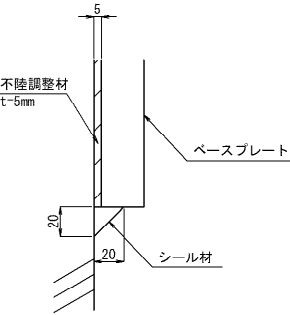
- 新設材料  
下部エブラケット①  
1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 1-BASE PL 1680 x28 x1850
  - ② 1-UFLG PL 722 x22 x1850
  - ③ 1-LFLG PL 722 x22 x1850
  - ④ 7-R1B PL 707 x25 x1621
  - 54 ANG D51x900 (SD345)
  - 54-NUT M48 (1種) (SS400)
  - 54-NUT M48 (3種) (SS400)
  - 54-WASHER M48 (SS400)
- 撤去材料  
下部エブラケット①  
1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 1-BASE PL 1680 x28 x1850
  - ② 1-UFLG PL 722 x22 x1850
  - ③ 1-LFLG PL 722 x22 x1850
  - ④ 7-R1B PL 707 x25 x1621
  - 54 ANG D51x900 (SD345)
  - 54-NUT M48 (1種) (SS400)
  - 54-NUT M48 (3種) (SS400)
  - 54-WASHER M48 (SS400)



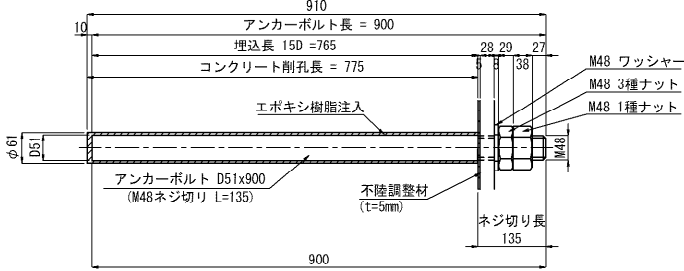
溶接順序:  
①→②→③→④→⑤→⑥→⑦

※ ①～⑦はあくまで案である。実際の製作時に工場に確認する必要あり。

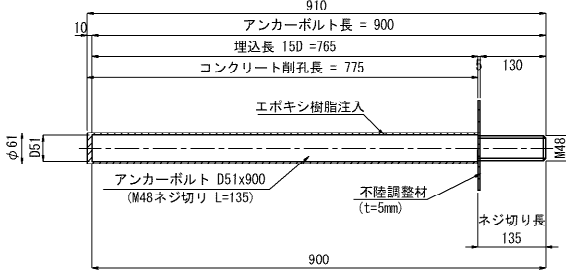
“a”部詳細 S=1:5



新設アンカーボルト詳細図 S=1:15



撤去後のアンカーボルト詳細図 S=1:15

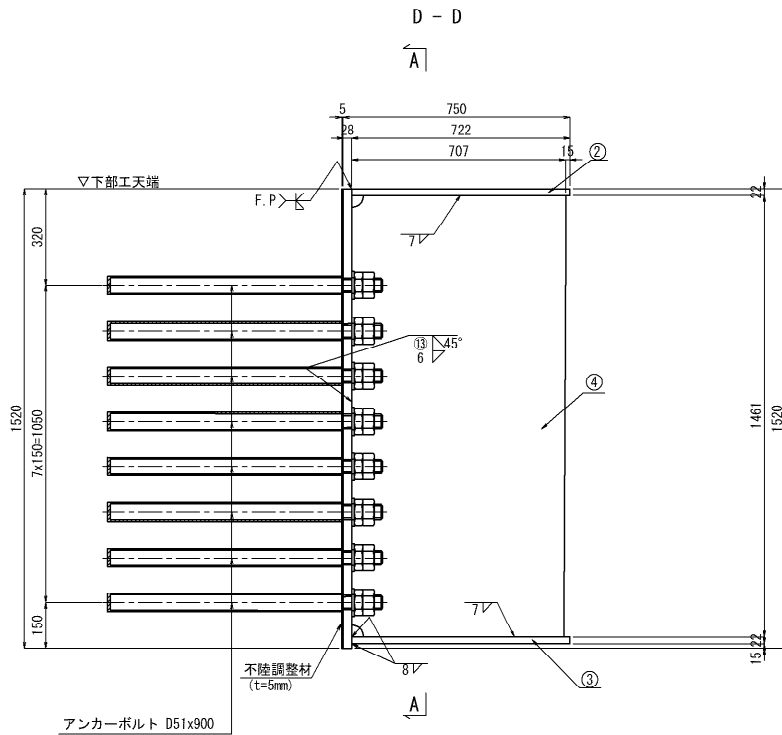
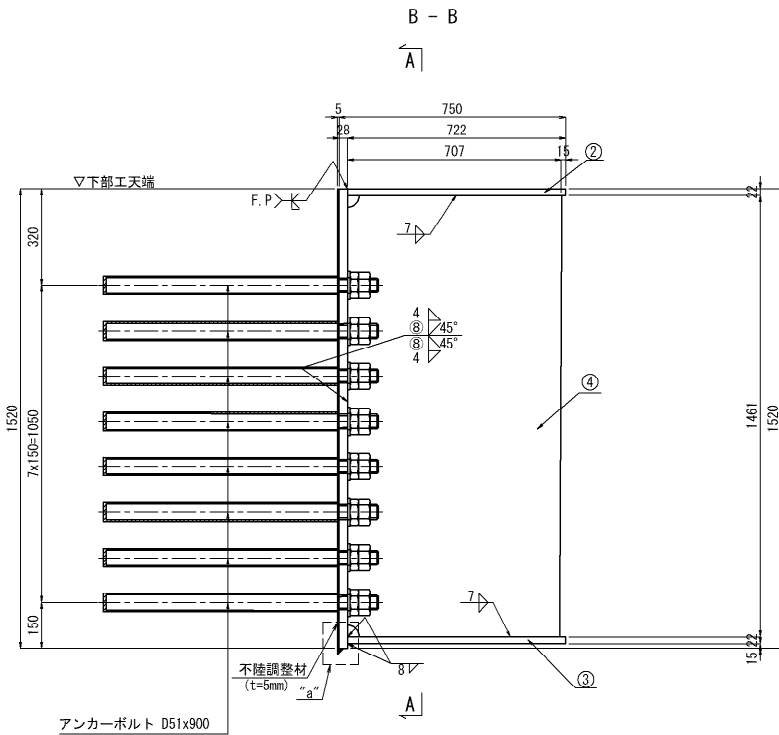
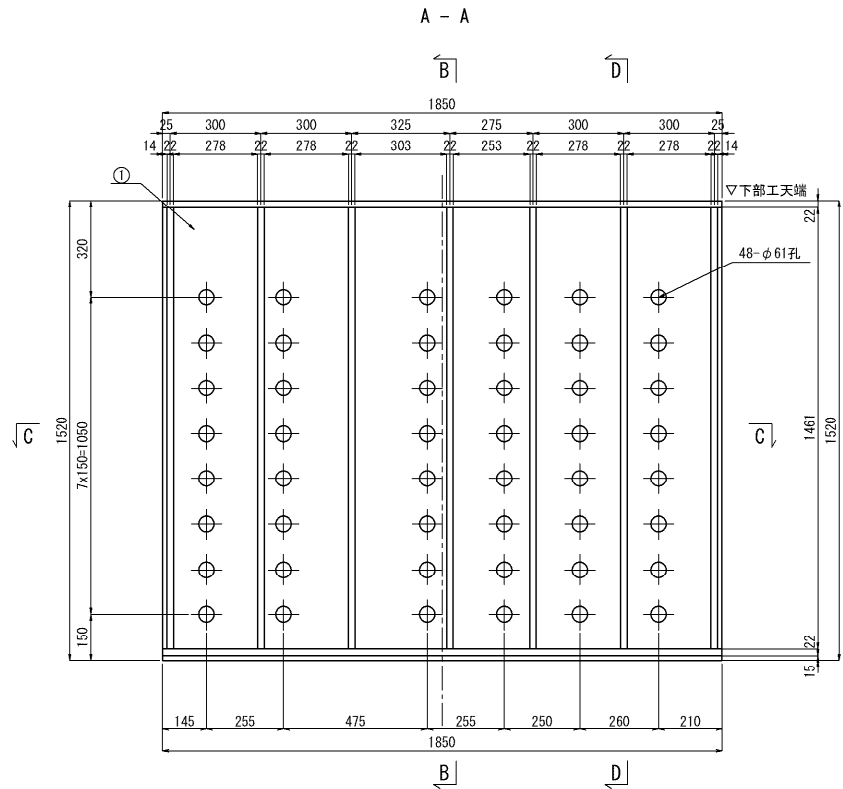


- 注 記
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  - 支承取替完了後、ワット材を撤去する。
  - 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
  - アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めつきを施すものとする。(垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD149 とする。)
  - 撤去部材は無塗装とする。
  - アンカーボルト孔位置は鉄筋探索後決定のこと。
  - 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶け込み溶接とする。
  - 仮設鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面はチッピングを行うものとする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 仮設鋼製ブラケット 構造図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	378/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

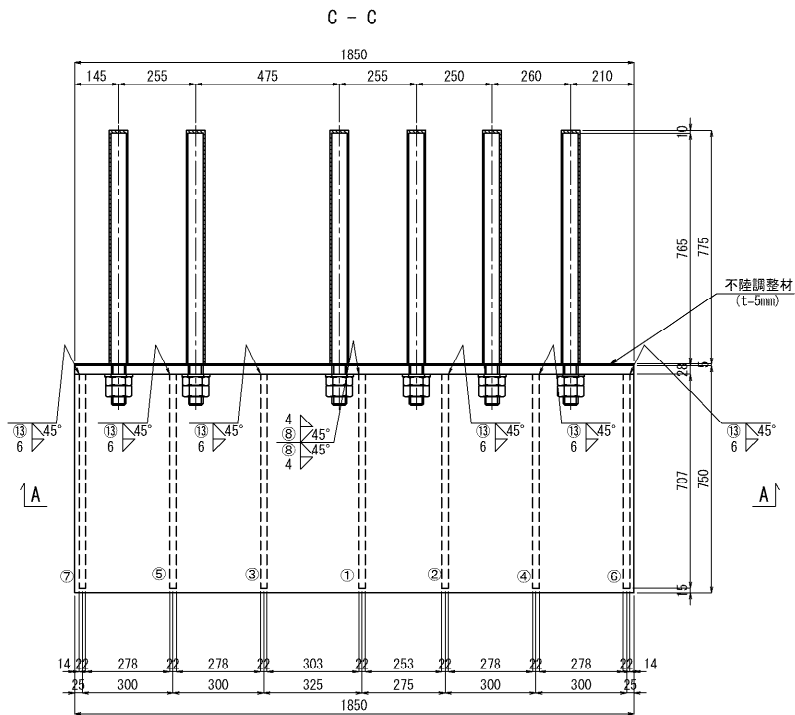
下部エブラケット詳細図 (A2側)

AT2桁  
下部エブラケット②

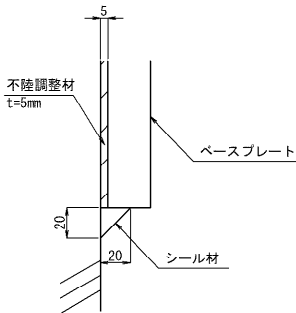


新設材料  
下部エブラケット②  
1基当たり数量(製作数:1基)  
①1-BASE PL 1520 x28 x1850  
②1-UFLG PL 722 x22 x1850  
③1-LFLG PL 722 x22 x1850  
④7-R1B PL 707 x22 x1461  
48-ANC D51x900 (SD345)  
48-NUT M48 (1種) (SS400)  
48-NUT M48 (3種) (SS400)  
48-WASHER M48 (SS400)

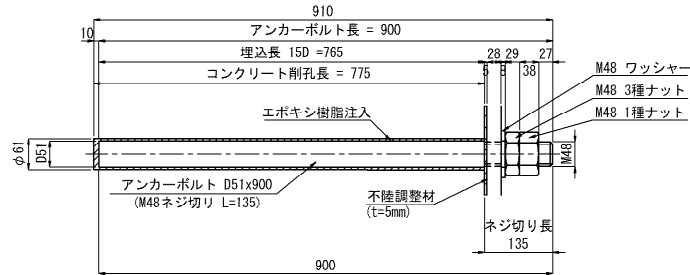
撤去材料  
下部エブラケット②  
1基当たり数量(製作数:1基)  
①1-BASE PL 1520 x28 x1850  
②1-UFLG PL 722 x22 x1850  
③1-LFLG PL 722 x22 x1850  
④7-R1B PL 707 x22 x1461  
48-NUT M48 (1種) (SS400)  
48-NUT M48 (3種) (SS400)  
48-WASHER M48 (SS400)



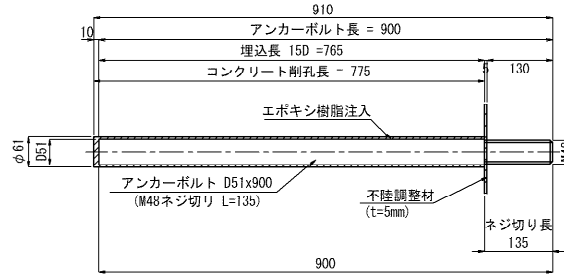
“a”部詳細 S=1:5



新設アンカーボルト詳細図 S=1:15



撤去後のアンカーボルト詳細図 S=1:15



- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. 支承取替完了後、ワット材を撤去する。
  4. 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
  5. アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 H2D149 とする。)
  6. 撤去部材は無塗装とする。
  7. アンカーボルト孔位置は鉄筋探索後決定のこと。
  8. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶け込み溶接とする。
  9. 仮設鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面はチッピングを行うものとする。

溶接順序:  
①→②→③→④→⑤→⑥→⑦

※ ①～⑦はあくまで案である。実際の製作時に工場に確認する必要あり。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 仮設鋼製ブラケット 構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	379/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

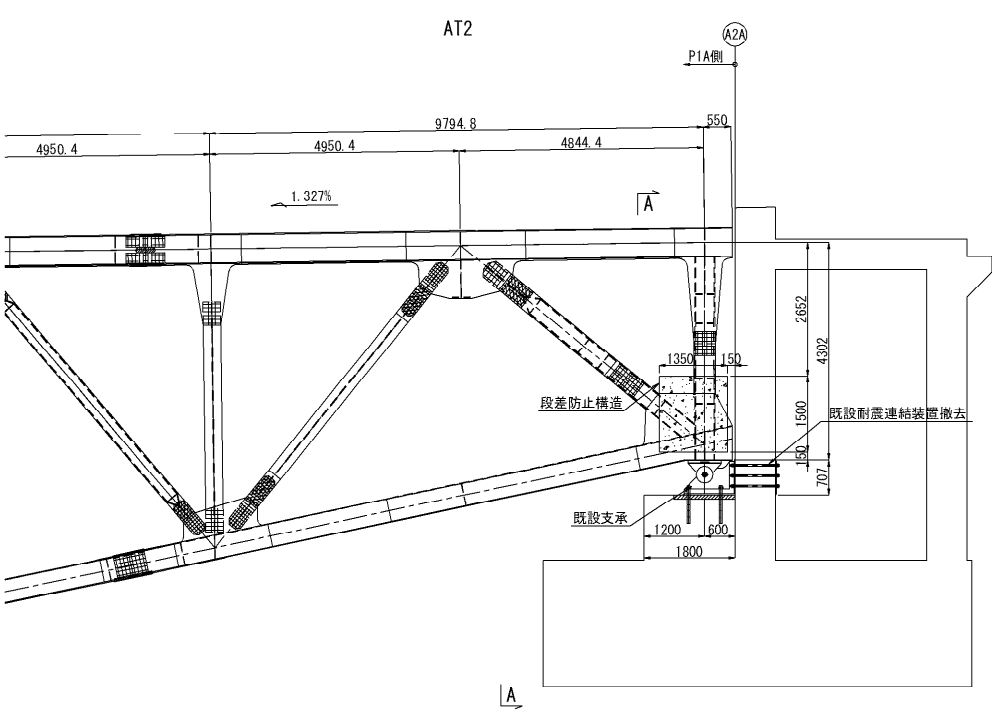
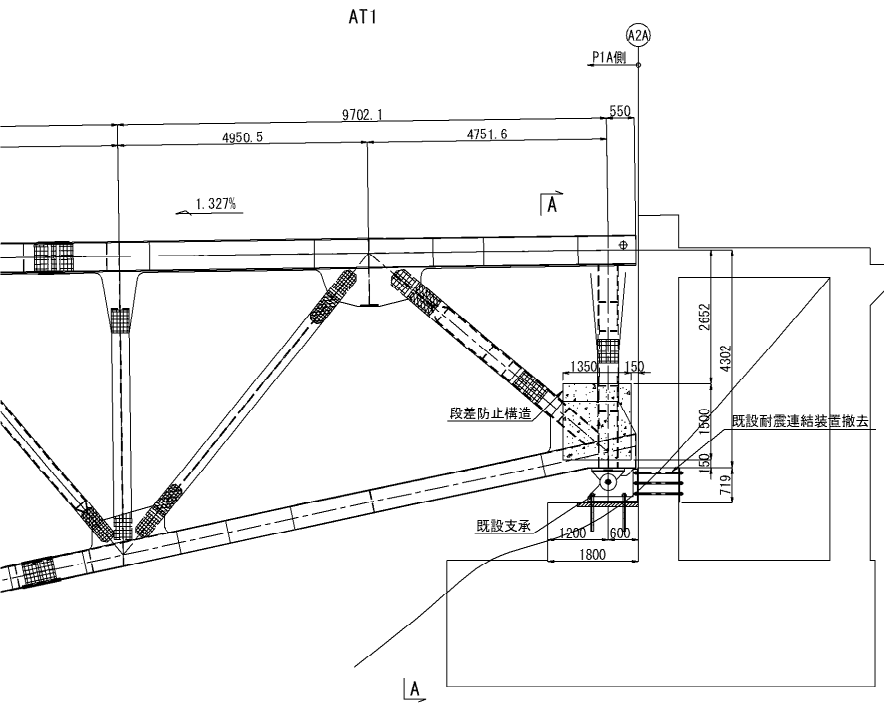
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工配置図(その1)

S=1:150

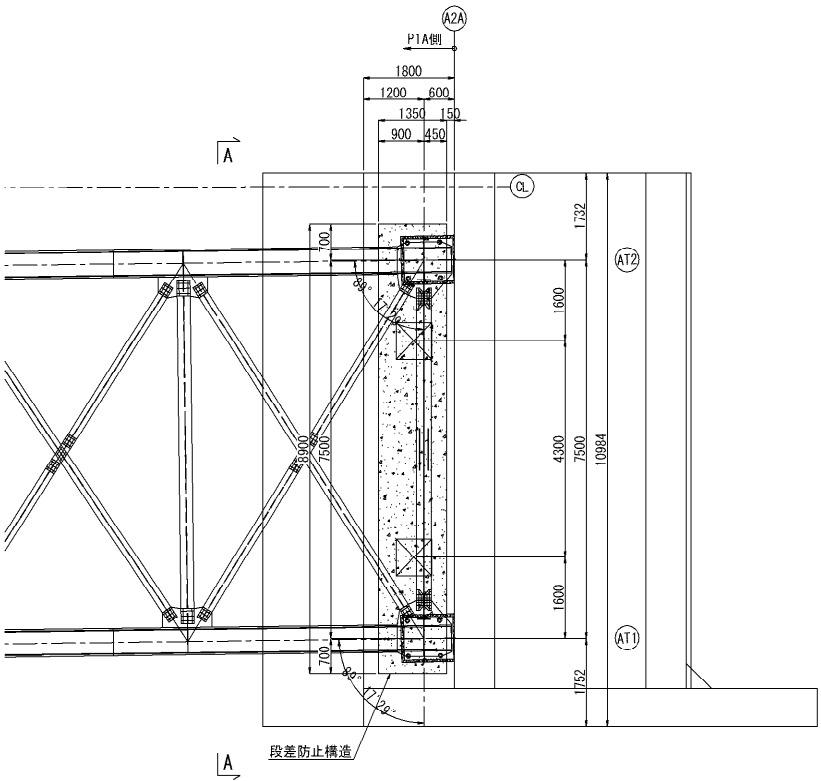
380/529

ジャッキアップ時

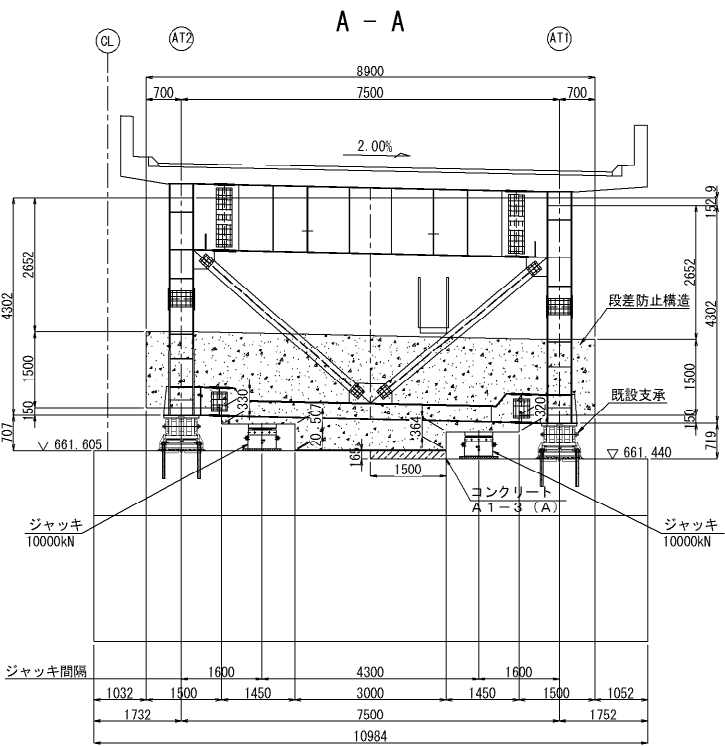
側面図



平面図



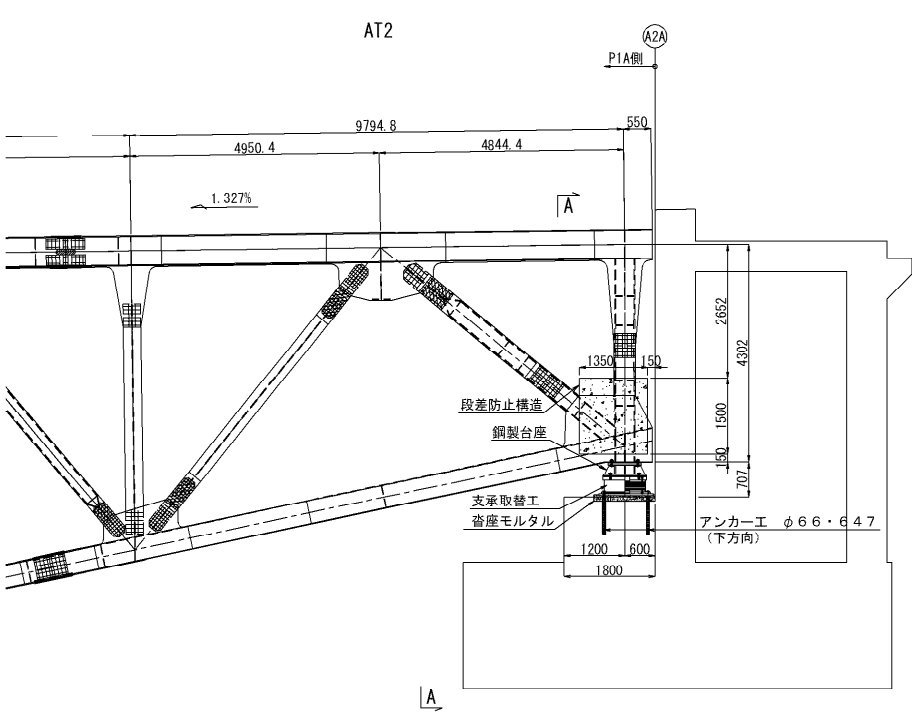
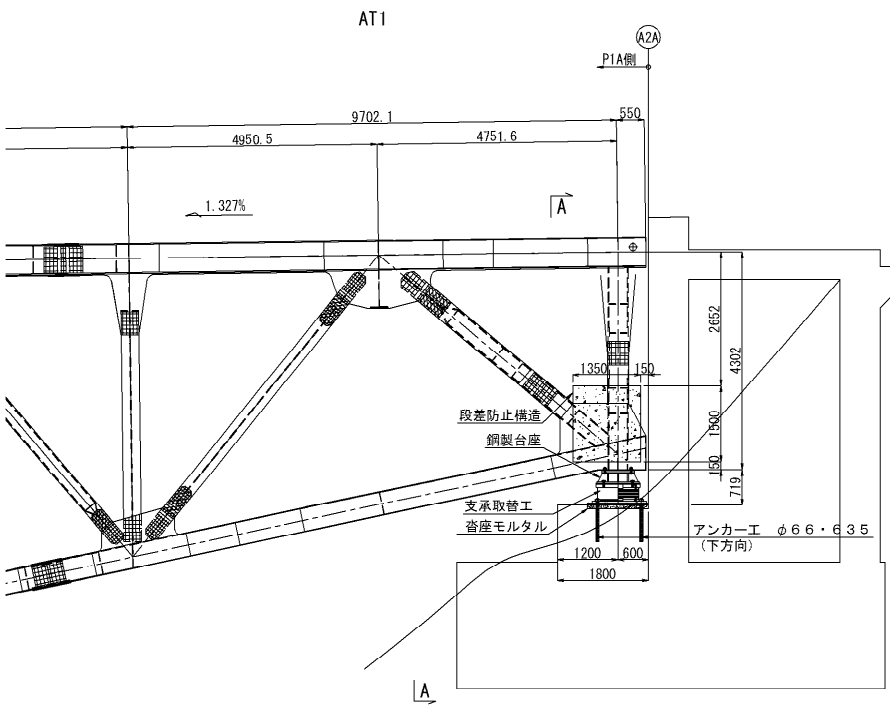
正面図



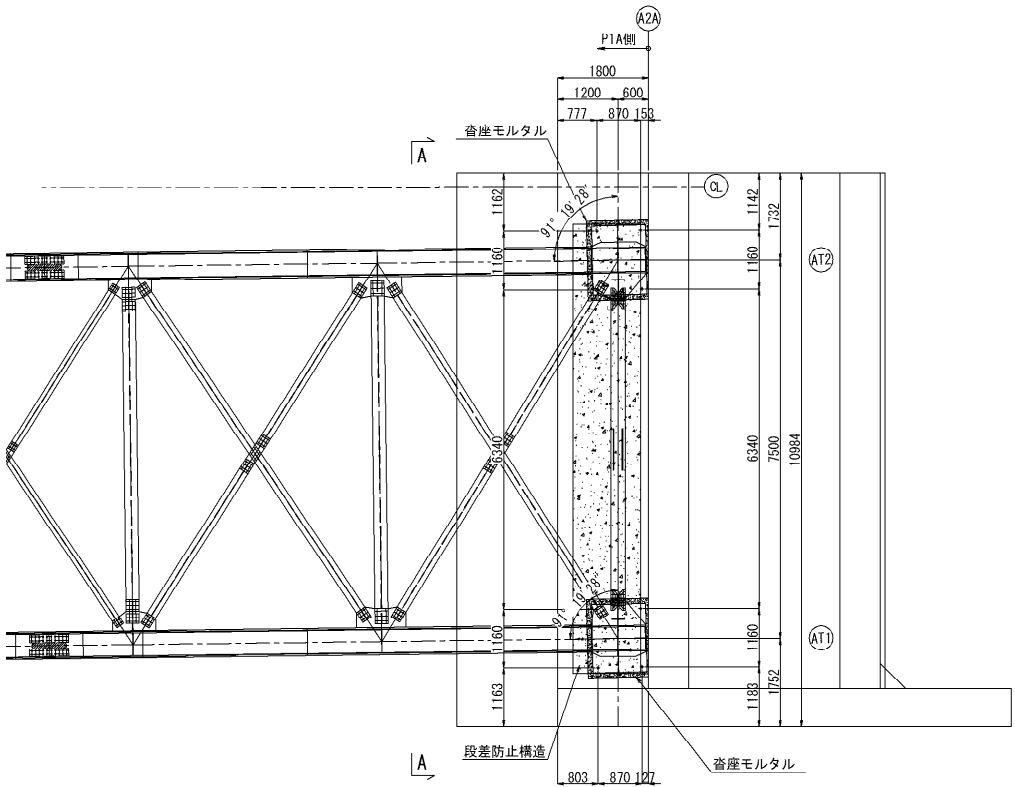
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台		
	支承取替工配置図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	380/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

支承取替工

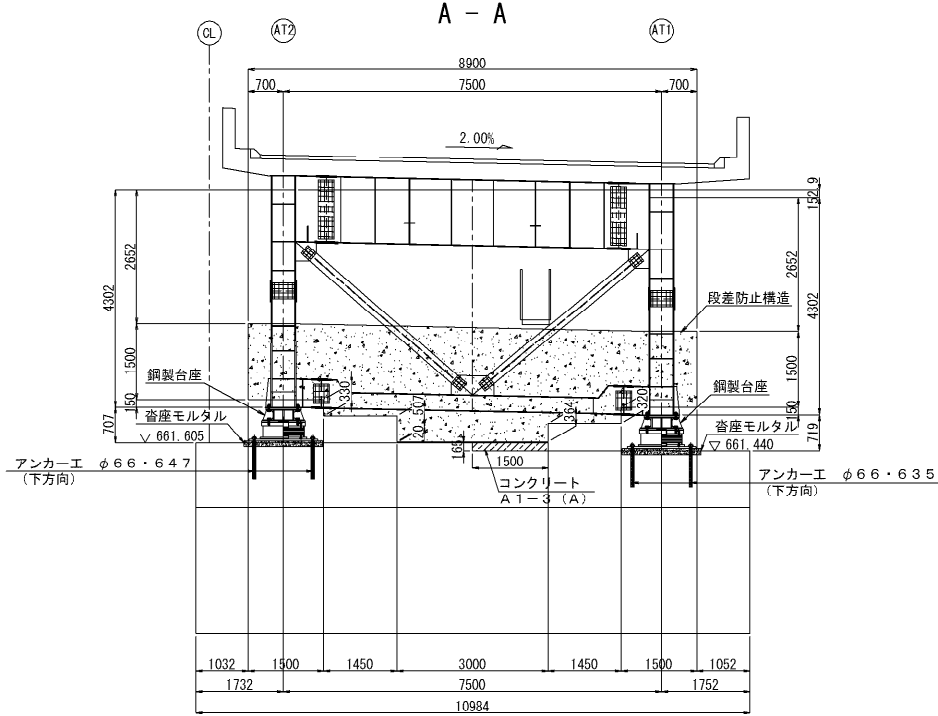
側面図



平面図



正面図

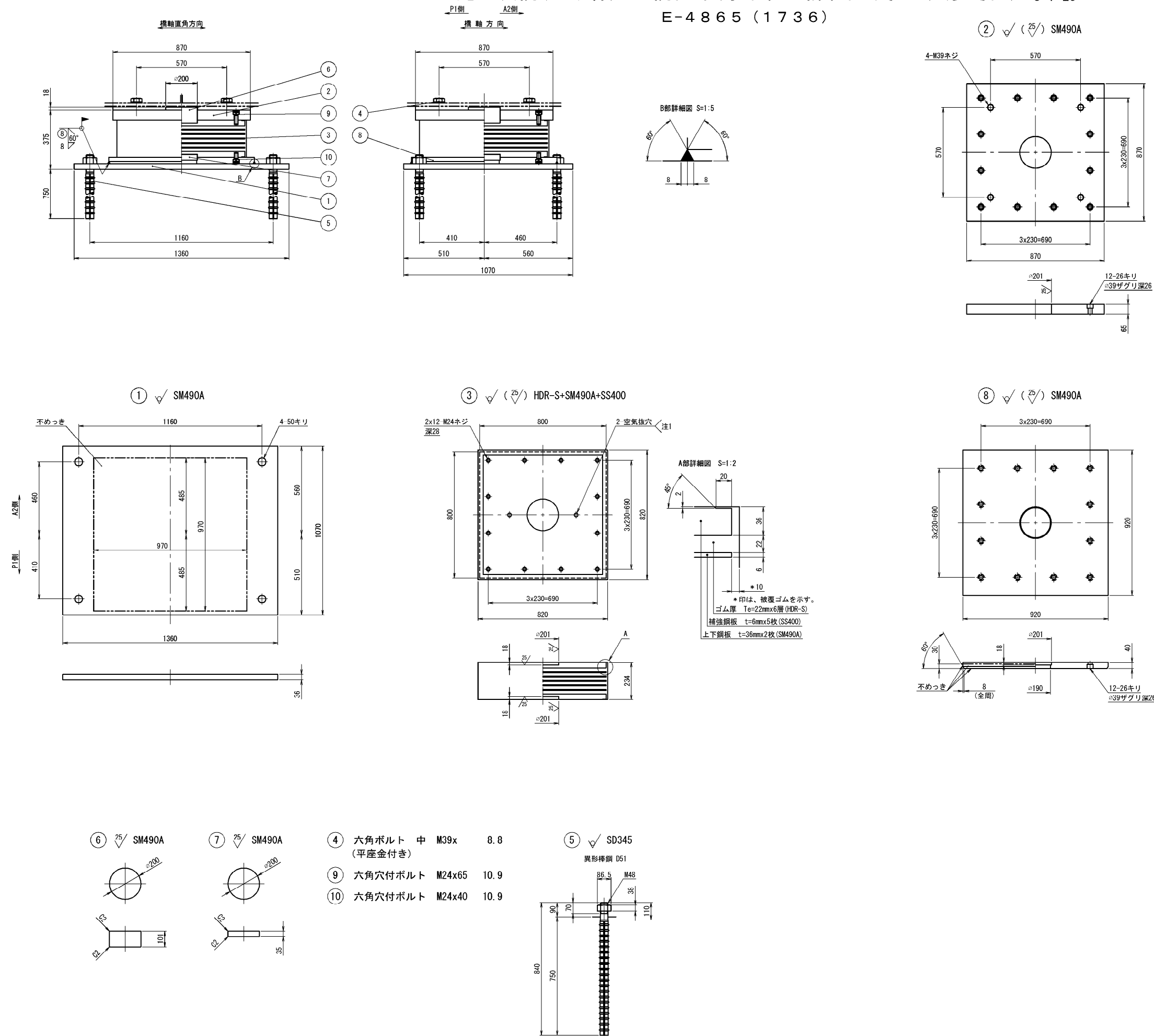


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台		
	支承取替工配置図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	381/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		



滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工詳細図(その1)(参考図) S=1:25

E-4 8 6 5 (1 7 3 6)



### 免震支承設計条件

反		力	
全	反 力	R	4865 kN
死	荷 重	Rd	3595 kN
橋軸方向水平力 (地震時)		Rh1e	705 kN
橋軸直角方向水平力 (地震時)		Rh2e	1080 kN
上	揚 力 (地震時)	V	1079 kN
移 動 量			
最 大 変 位 量 (地震時)		UB	± 213 mm
ゴ ム 管			
せん	断 弾 性 係 数	Ge	1.0 N/mm <sup>2</sup>
破	断 ひ ズ み	γu	600 %
試	験 変 位 量	ΔL	± 231 mm
等	価 剛 性	KB	5.030 kN/mm
等	価 減 衰 定 数	hB	17.3 %
許容	せん断ひずみ	γs	250 %
2 次 形 状 係 数		S2	6.06
照	査 荷 重	R1L	634.8 kN
照	査 荷 重 時 圧 縮 変 位 量	δdL	0.320 mm
支 承 部 支 持 条 件			
橋軸方向: 免震		橋軸直角方向: 免震	

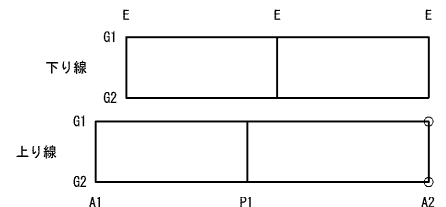
注) 上記の等価剛性・等価減衰定数は試験変位量に対する値を示す。

## 材料表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
①	ベースプレート	SM490A	1	409.0	
②	上	SM490A	1	362.9	
3	ゴ ム 密	HDR-S+SM490A +SS400	1	607.1	
④	六角ボルト・座金	—	4	6.5	JIS B 1180
⑤	アンカーボルト・ナット	SD345	4	56.6	JIS B 1181
⑥	せん断キー	SM490A	1	24.9	
⑦	せん断キー	SM490A	1	8.6	
⑧	下	SM490A	1	252.8	
9	六角穴付ボルト	—	12	4.2	JIS B 1176
10	六角穴付ボルト	—	12	3.2	JIS B 1176
全 重 量				1735.8	(kg)
一 般 外 面 の 防 食 処 理					
材料表部番の○印部品をめっきのこと。					
溶融亜鉛めっき	JIS H 8641 HDZ777、HDZ749(未焼)				

- 注1) 製作会社において、不要な場合は設けなくてもよい。
- 注2) 必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてよい。
- 注3) ゴム文庫の上下網継露出部は、金属垂鉛末を70%以上含む高濃度垂鉛末塗料を塗布のこと（塗膜厚75μm以上）。
- 注4) 六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度垂鉛末塗料を塗布のこと。
- 注5) ゴム管側面は、クロスルホン化ポリエチレン系塗料を塗布のこと。
- 注6) 部裏4の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。
- 注7) 現場溶接部付近は不めくことと開先防錆塗料を塗布し、溶接後高濃度垂鉛末塗料を塗布のこと。
- 注8) アンカーボルト配置は、現場実測後決定のこと。

## 配置図

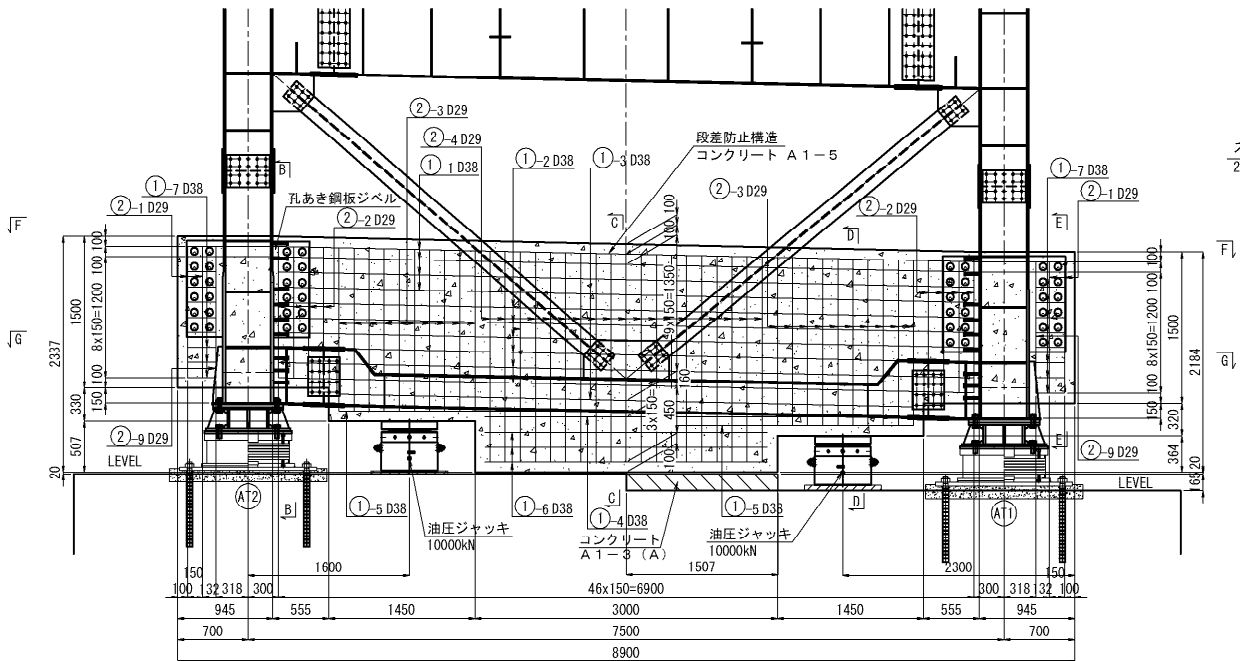


長野自動車道 五常橋床版区轉工工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り橋) A2橋台 支取取扱工詳細図(その1) (参考図)		
縮 尺	1:25	図面番号	382/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野 工事 事務所		

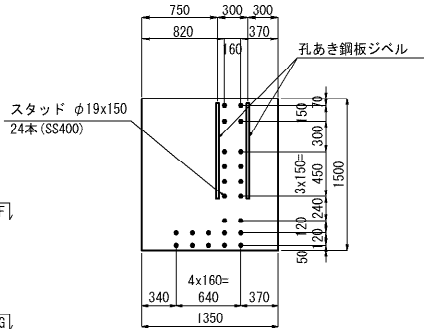
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工詳細図(その2) S=1:75

A - A

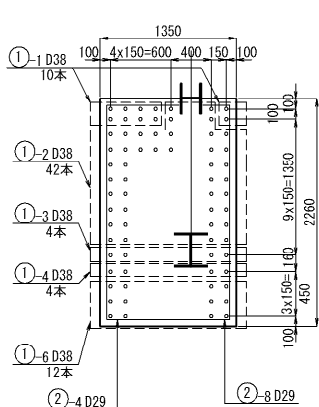
段差防止構造



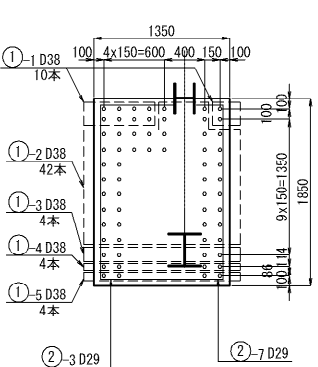
B - B (スタッド)



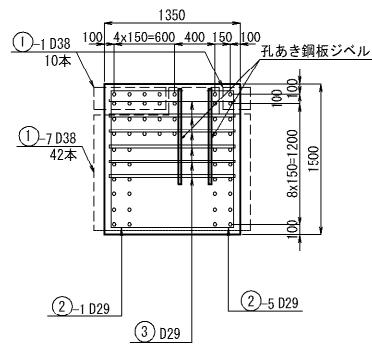
C - C (構造中心)



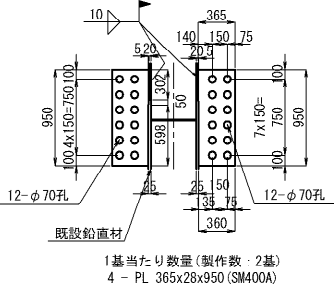
D - D (ジャッキ)



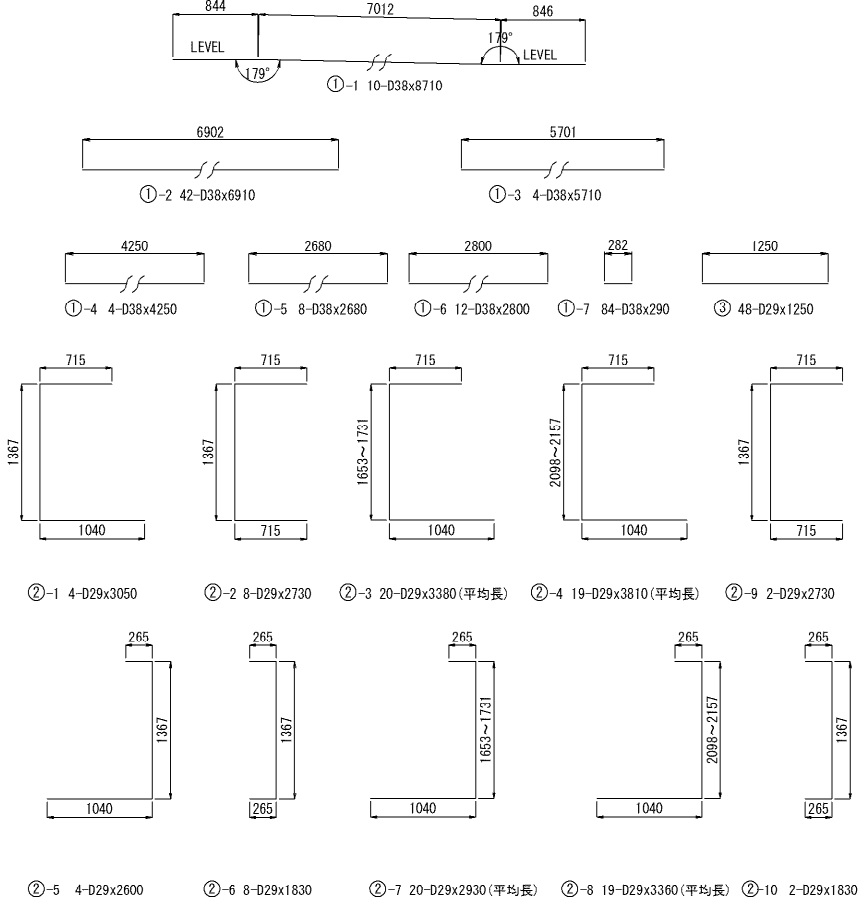
E - E (鋼板ジベル)



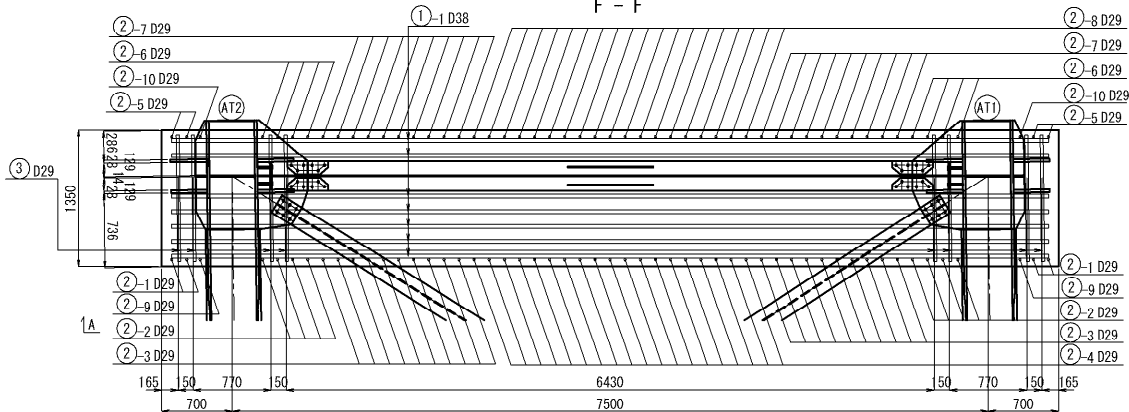
孔あき鋼板ジベル詳細



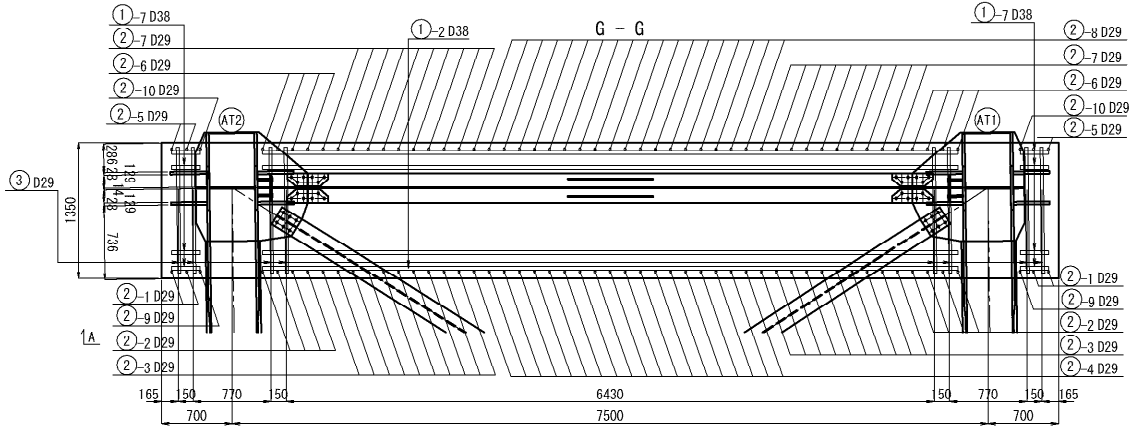
鉄筋加工図



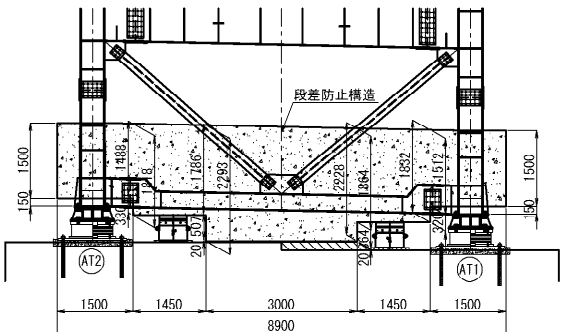
F - F



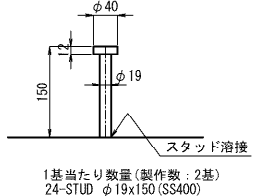
G - G



段差防止構造詳細図 S=1:150



現場打ち頭付きスタッド詳細 S=1:12.5



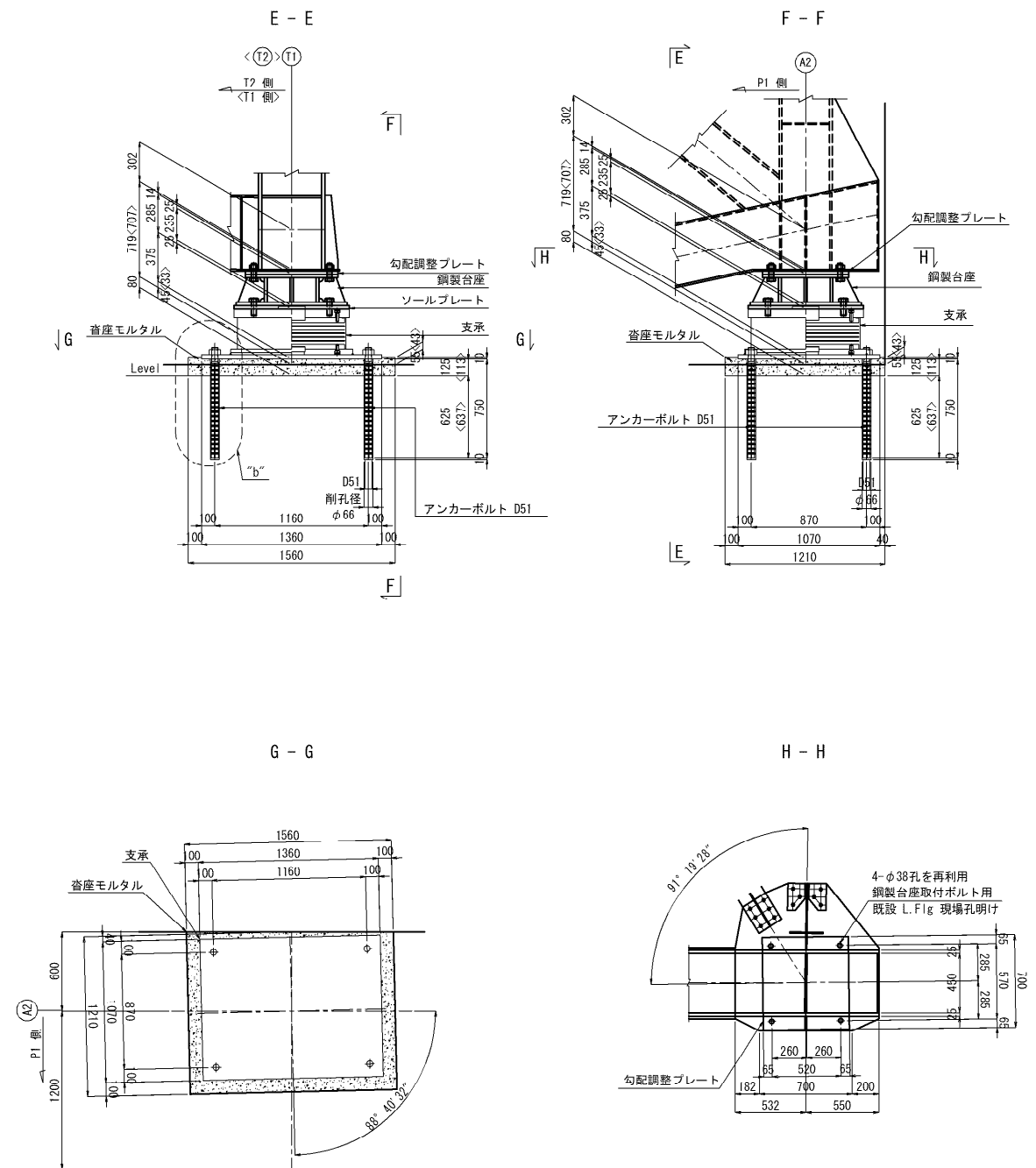
鉄筋曲げ加工表

注記  
1. 段差防止構造のコンクリート強度は  $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$   
橋床部のコンクリート強度は  $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。  
2. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法等を再確認すること。

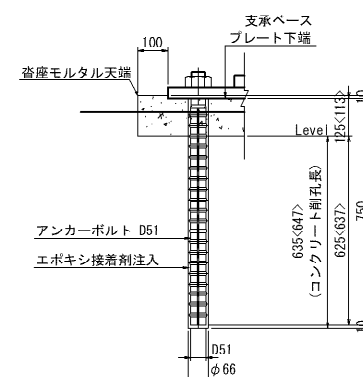
主筋	径	$\theta \leq 90^\circ$		$\theta > 90^\circ$	
		R=3.0φ	R=5.5φ	a	ΔL
D29	87	159.5	137	37	
D38	114	209	179	49	

図面の種類	長野自動車道 五常橋床版取替工事		
	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台		
	支承取替工詳細図(その2)		
	図面番号 383/529		
縮尺	図示	図面番号	383/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

支取取付図



"b"部詳細 s=1:25

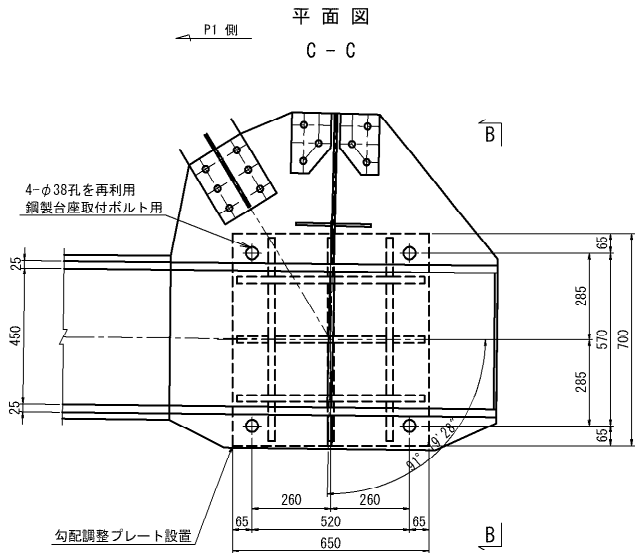


- |                    |                                 |      |         |
|--------------------|---------------------------------|------|---------|
| 長野自動車道<br>五常橋版取替工事 |                                 |      |         |
| 図面の種類              | 滝ノ沢橋(上り線) A2橋台<br>文取代替工詳細図(その3) |      |         |
| 縮 尺                | 図示                              | 図面番号 | 384/529 |
| 設計会社名              | 八千代エンジニアリング株式会社                 |      |         |
| 施工会社名              |                                 |      |         |
| 事務所名               | 東日本高速道路株式会社 関東支所<br>長野工務事務所     |      |         |

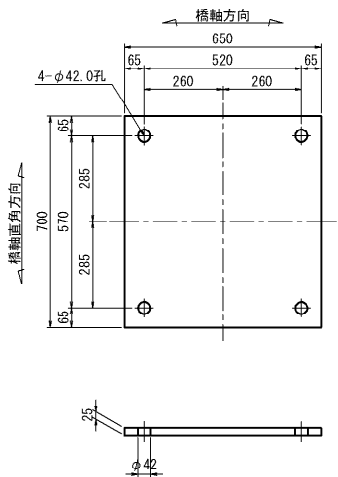
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工詳細図(その4) S=1:25

AT1・AT2

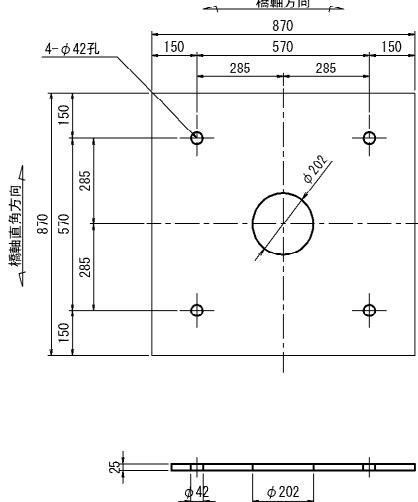
上部工側取付部詳細



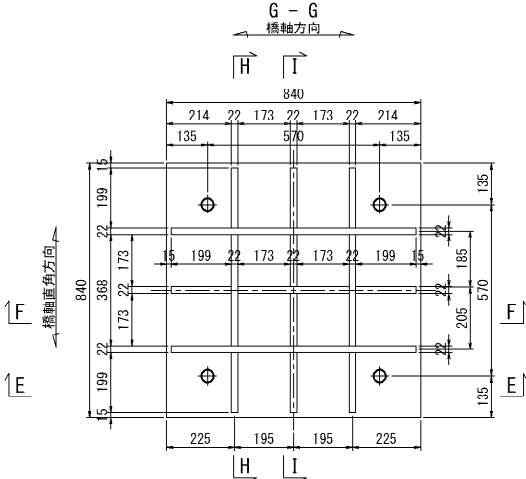
勾配調整プレート詳細



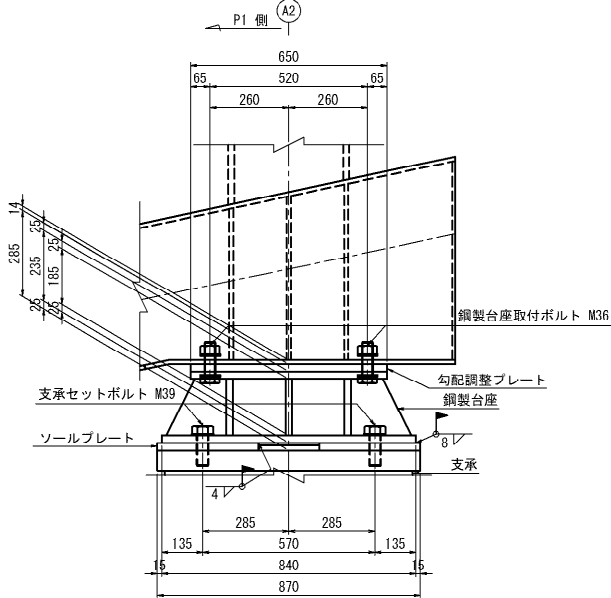
ソールプレート詳細



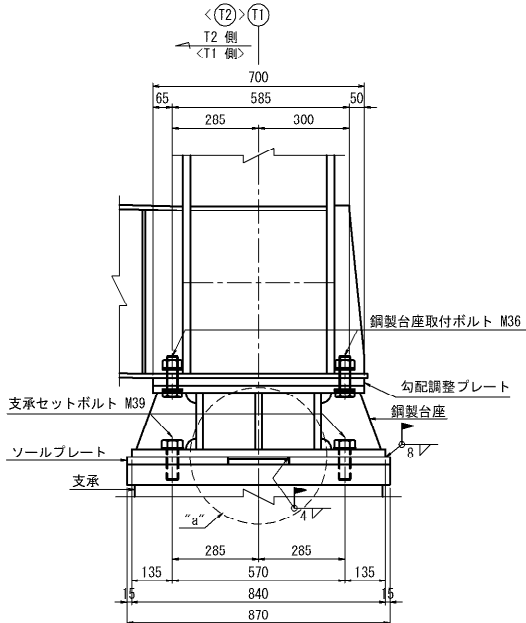
鋼製台座詳細



A - A



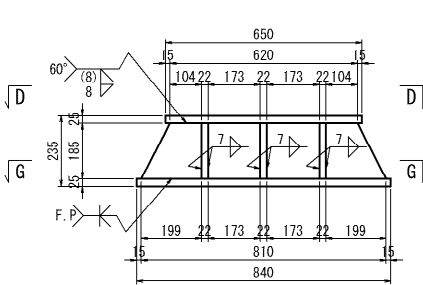
B - B



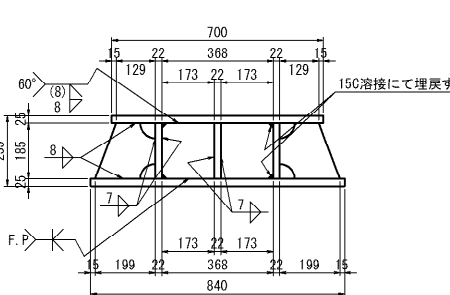
- 1主構当たり数量(製作数: 2基)
- 1-調整 PL 650x25x700 (SM400A)
  - 1-SOLE PL 870x25x870 (SM400A)
  - 4-BOLT M36x120 (SS400) (強度区分8.8)
  - 4-Nut M36 (1種) (SS400)
  - 8-座金 M36 (SS400)

- 鋼製台座  
1基当たり数量(製作数: 2基)
- 1-TOP PL 650x25x700 (SM400A)
  - 1-BOTT PL 840x25x840 (SM400A)
  - 2-WEB PL 185x22x810 (SM400A)
  - 2-WEB PL 185x22x368 (SM400A)
  - 2-RIB PL 185x22x173 (SM400A)
  - 8-RIB PL 185x22x199 (SM400A)
  - 1-RIB PL 185x22x368 (SM400A)

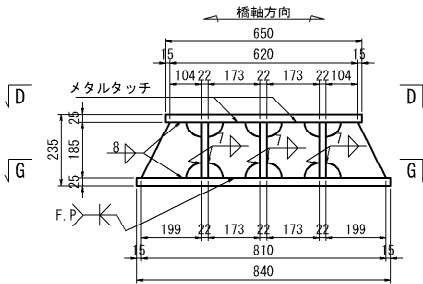
E - E



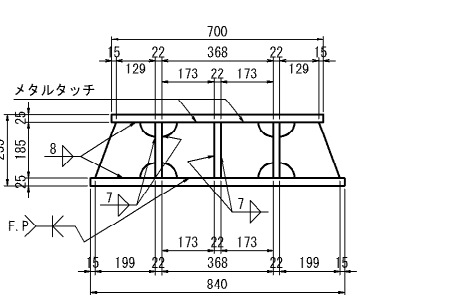
H - H



F - F

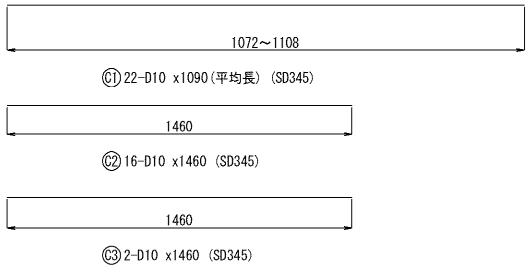
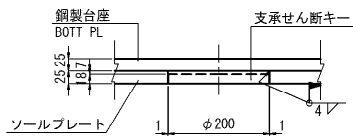


I - I

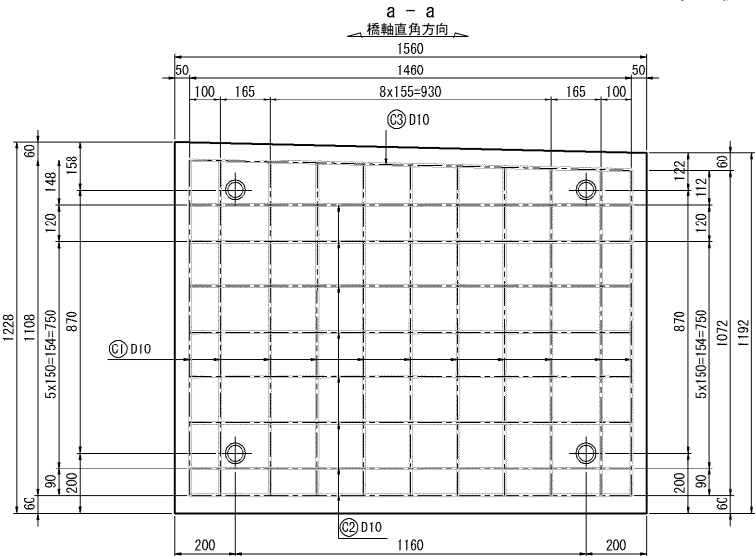


下部工側取付部詳細

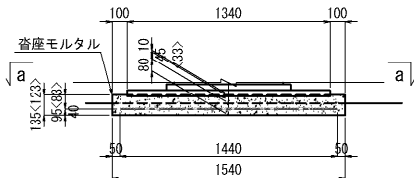
"a"部詳細 S=1:15



記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
	(mm)	(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
C1	D10	1100	22	0.560	0.616	14	平均長
C2	D10	1460	16	0.560	0.818	13	
C3	D10	1460	2	0.560	0.818	2	
29							
鉄筋質量							
D10		SD345	29				
合計		SD345	29				



b - b S=1:50

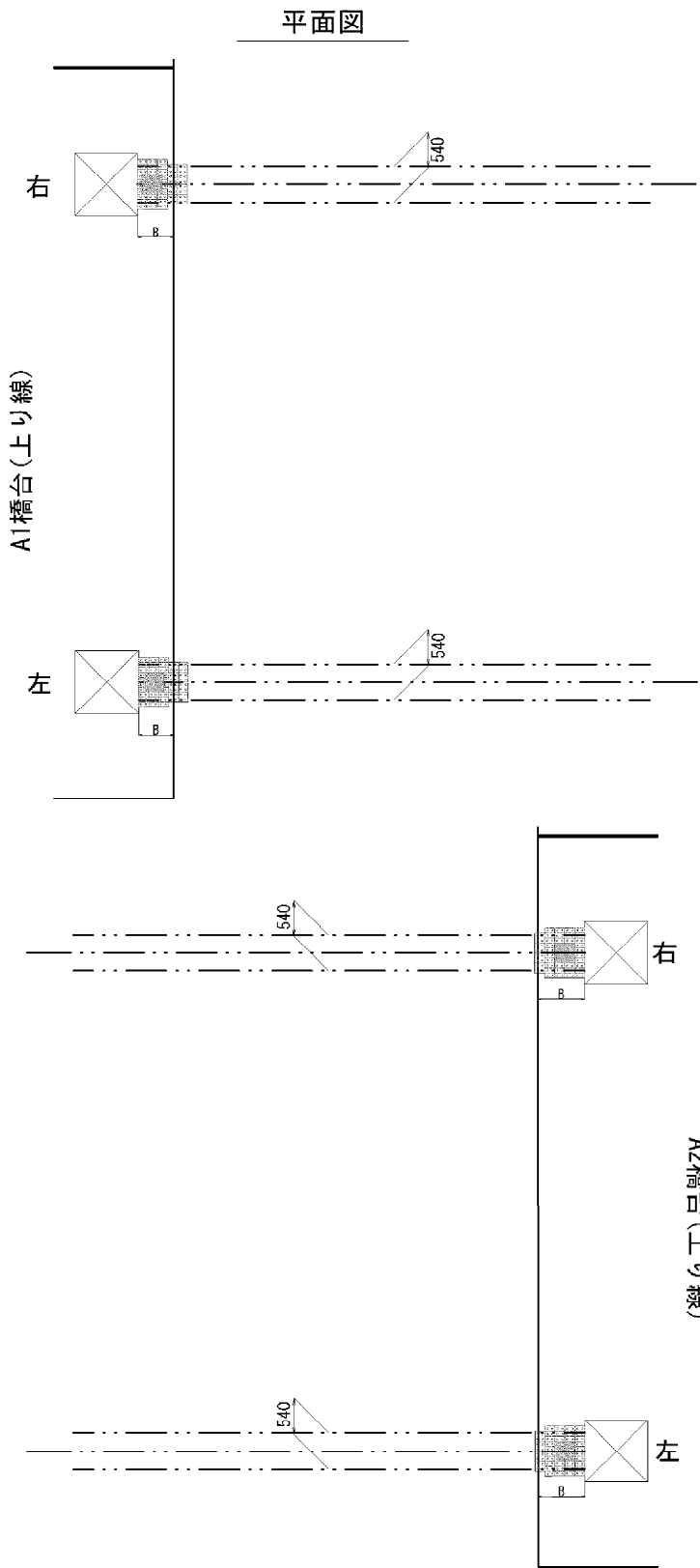


- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なきスカーラップは50%とする。
  5. <>内は、T2桁を示す。
  6. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
  8. 現場でのセットボルト及びアンカーボルト位置測定後に支承設計に反映すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	385/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

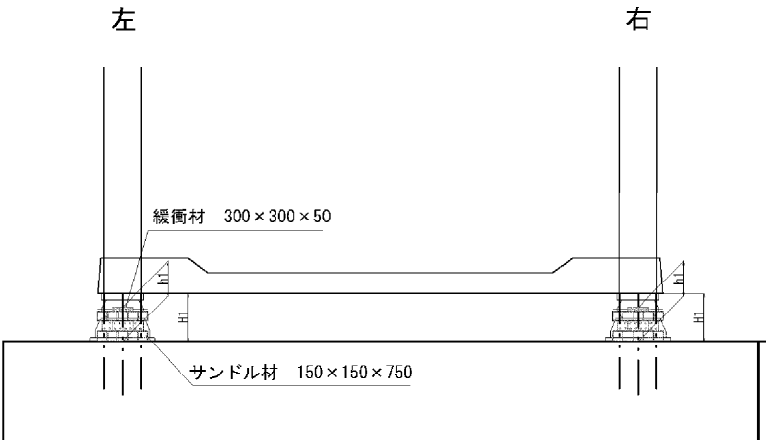
滝ノ沢橋(上り線) 既設段差防止構造配置図

A1橋台・A2橋台

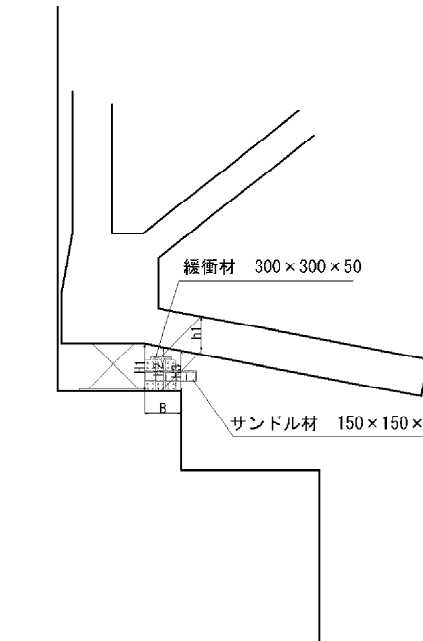


正面図

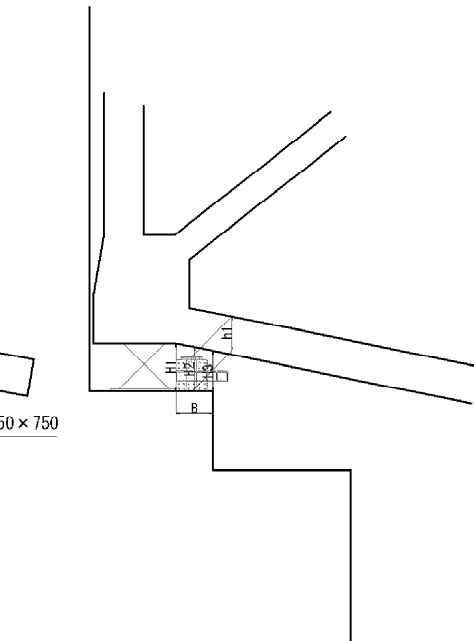
A1橋台(上り線)



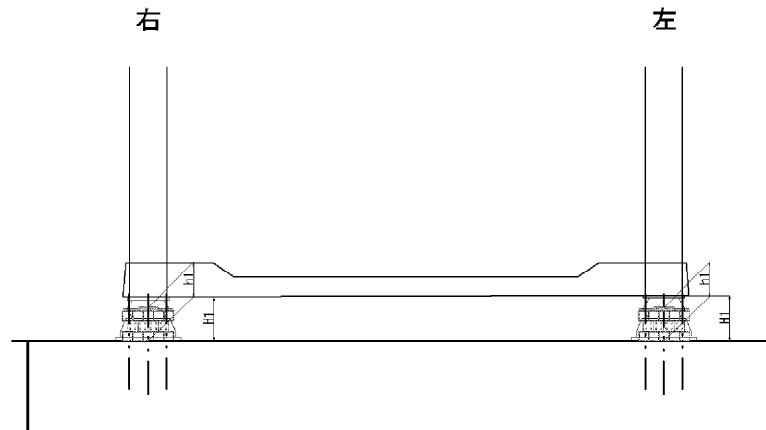
A1橋台(上り線)  
左側



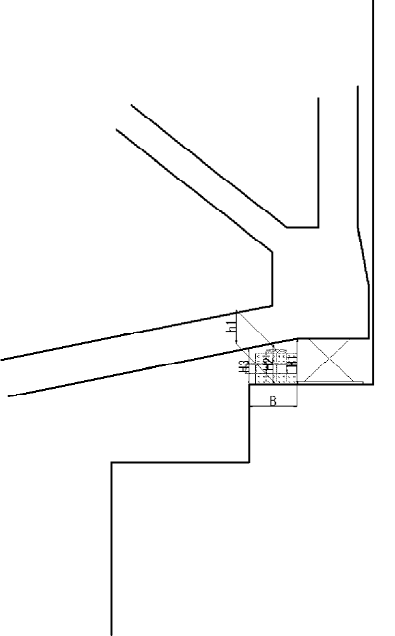
A1橋台(上り線)  
右側



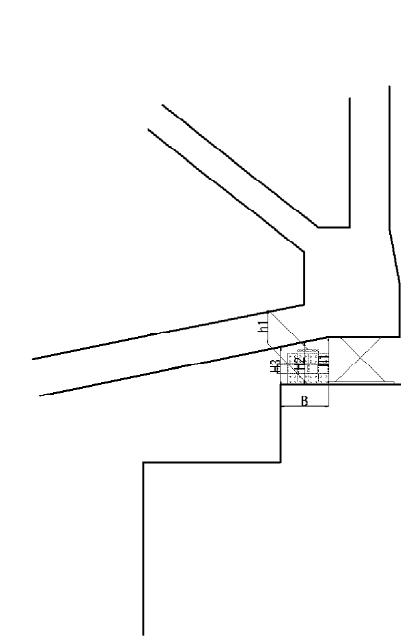
A2橋台(上り線)



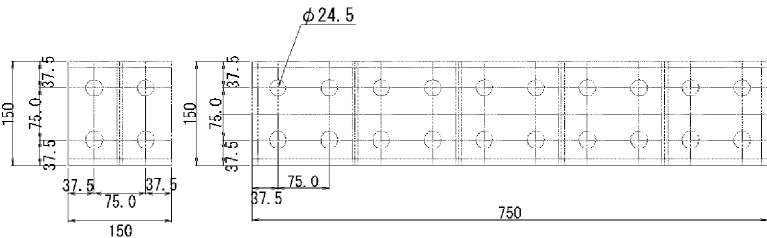
A2橋台(上り線)  
右側



A2橋台(上り線)  
左側



サンドル材 S=1:10



測定箇所		桁下高(mm)			沓座モルタル端から 橋台端までの距離(mm)	段差防止タイプ 直角×橋軸	サンドル段数 (H=150mm)	サンドル高さ+ 緩衝材高さ合計(mm)	桁下と緩衝材まで の高さ(mm)	規定 200mm 未満	サンドル 本数	備考
		H1	H2	H3								
滝ノ沢橋 (上り線)	A1	右	695	645	590	540	3列×4列	3	3@150 = 450+50 = 500	195~90	10	
		左	695	640	590	530	3列×4列	3	3@150 = 450+50 = 500	195~90	10	
	A2	右	660	595	525	700	4列×4列	3	3@150 = 450+50 = 500	160~25	12	
		左	680	610	540	700	4列×4列	3	3@150 = 450+50 = 500	180~40	12	

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 既設段差防止構造配置図		
縮尺	-	図面番号	386/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工ステップ図(その1)(参考図)

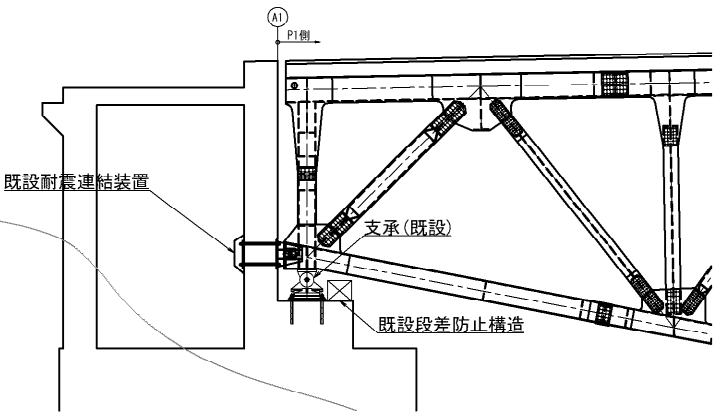
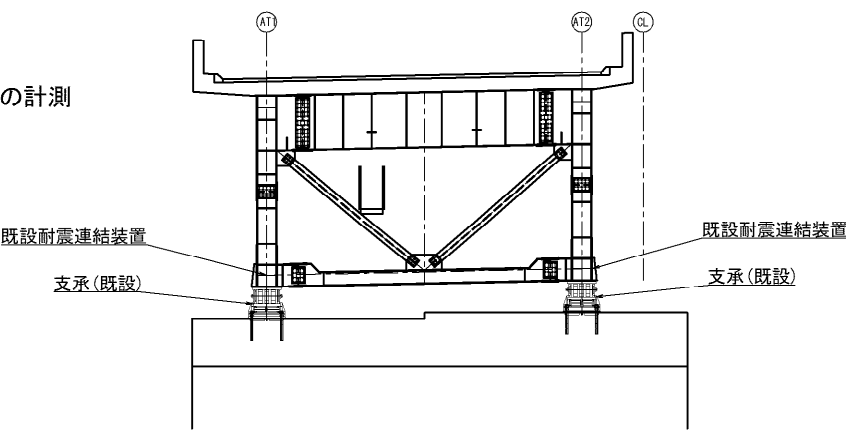
正面図

側面図

施工フロー

STEP1

- ・鉄筋探査
- ・躯体形状、支承等の計測



鉄筋探査、躯体形状、支承等の計測

既設耐震連結装置撤去

段差防止構造

既設段差防止構造撤去  
ジャッキアップ

支承取替工(既設撤去)

支承アンカー工

支承取替工(設置)

沓座モルタル

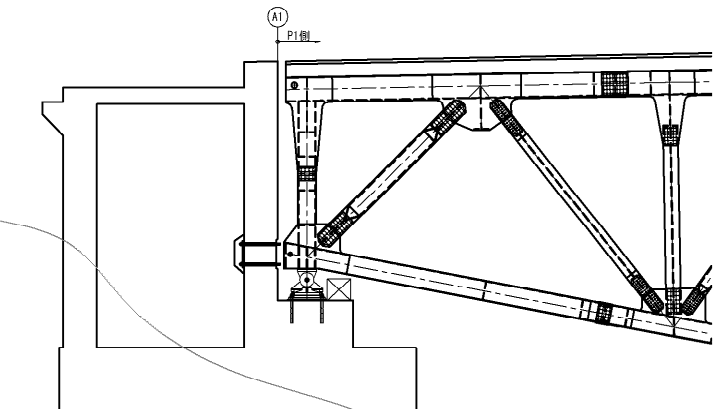
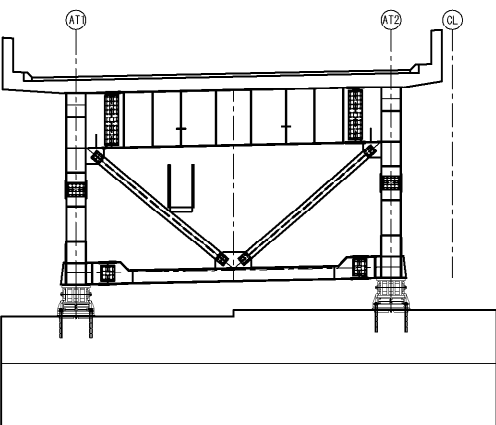
ジャッキダウン

ジャッキの撤去

躯体変状確認

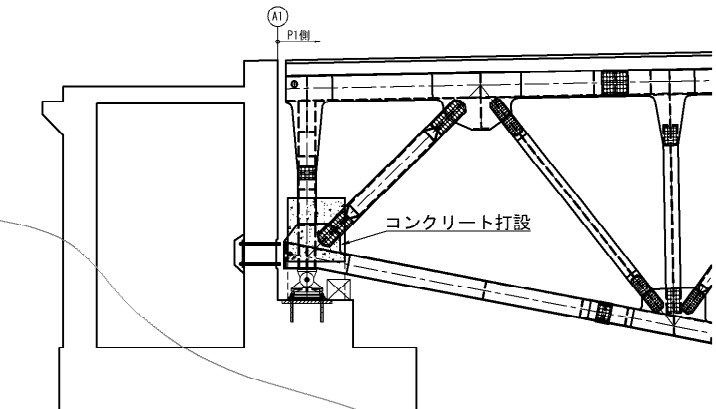
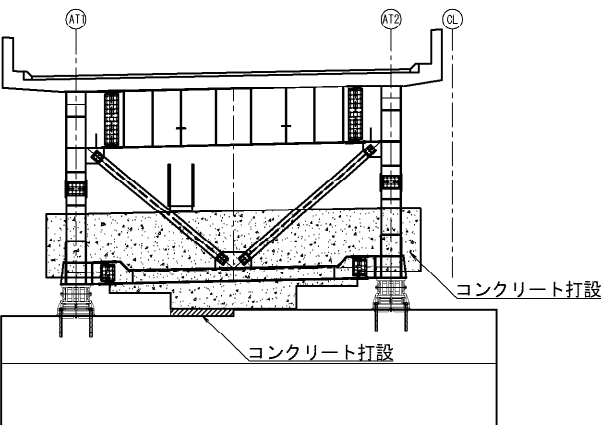
STEP2

- 既設耐震連結装置撤去



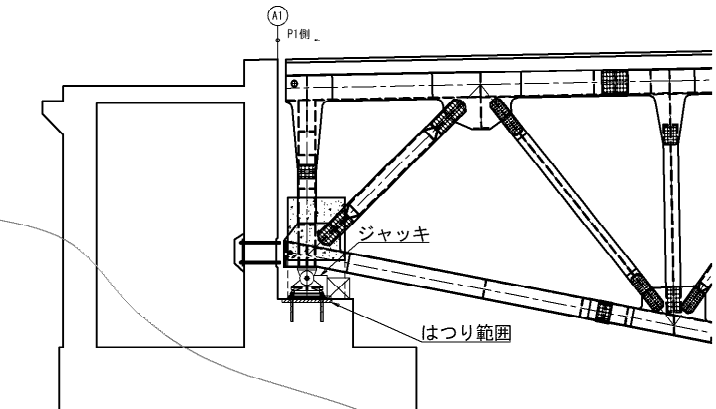
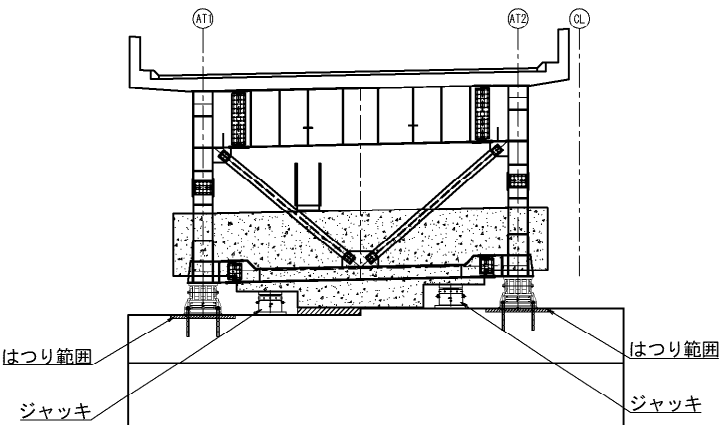
STEP3

- 段差防止構造
- ・RC巻き立てコンクリート打設
- ・段差解消コンクリート打設



STEP4

- 既設段差防止構造撤去
- ジャッキアップ
- 支承取替工(撤去)
- ・沓座はつり
- ・既設支承アンカー切断



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工ステップ図(その1)(参考図)		
縮 尺	—	図面番号	387/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工ステップ図(その2) (参考図)

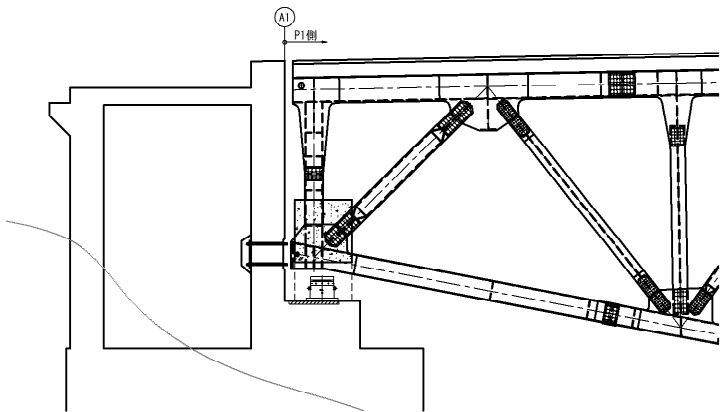
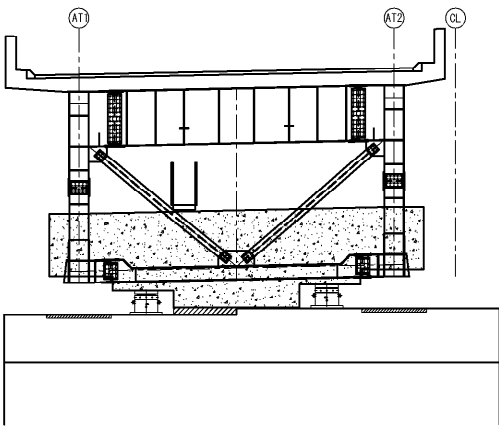
正面図

側面図

施工フロー

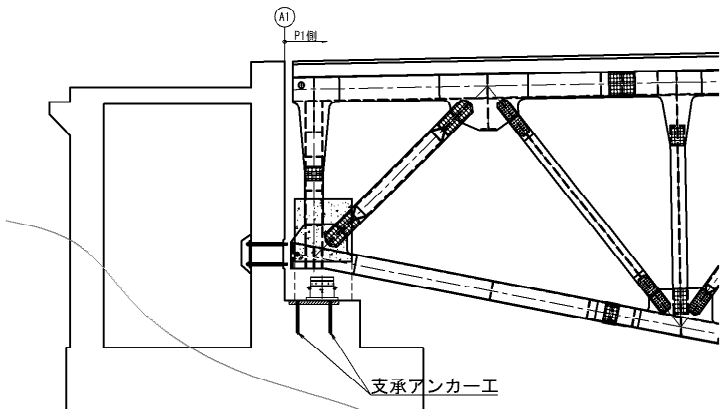
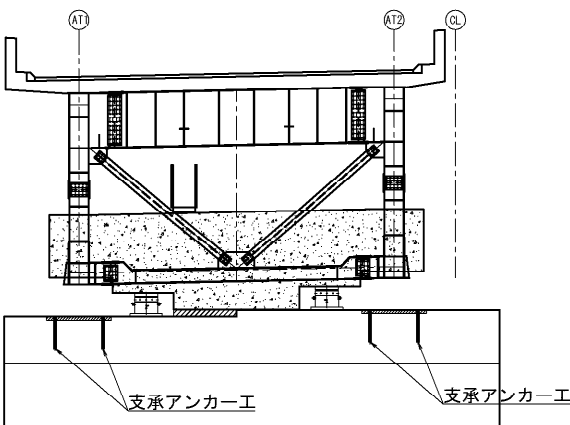
STEP5

- 支承取替工(撤去)
- ・ 支承撤去
- ・ 清掃、表面処理



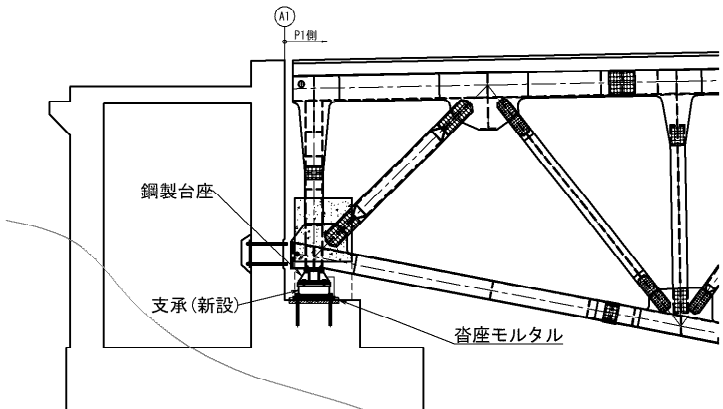
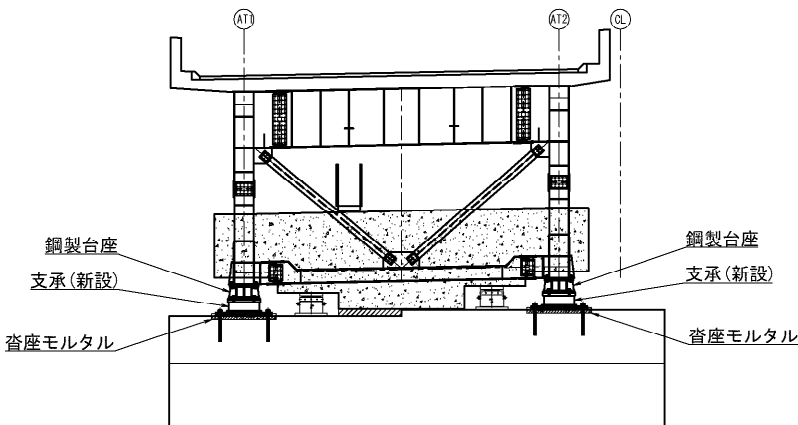
STEP6

- 支承アンカー工



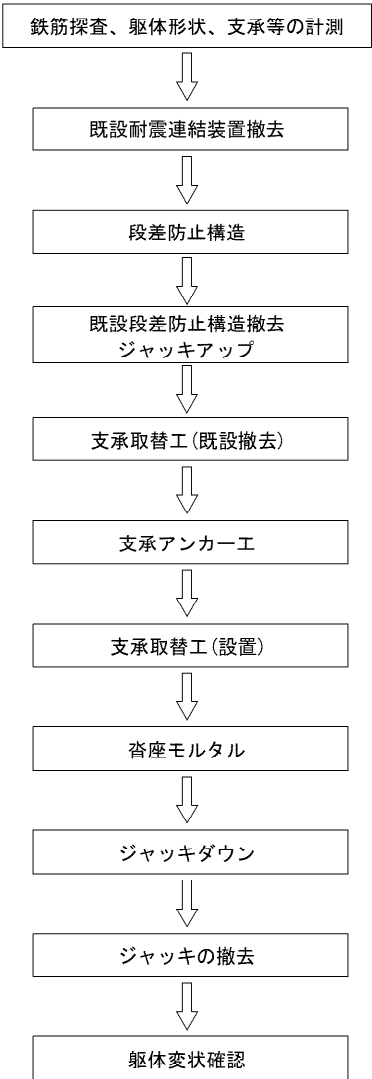
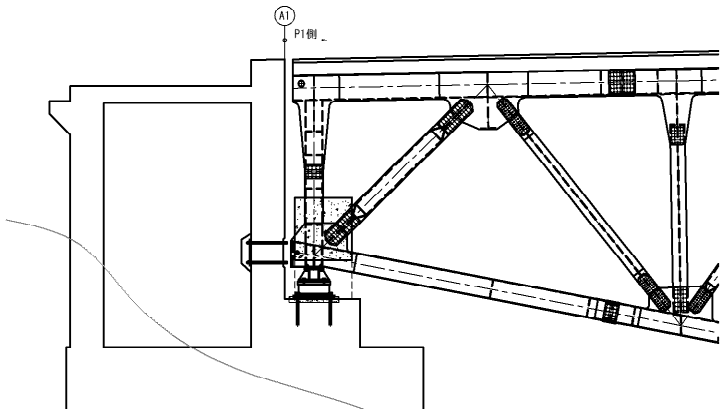
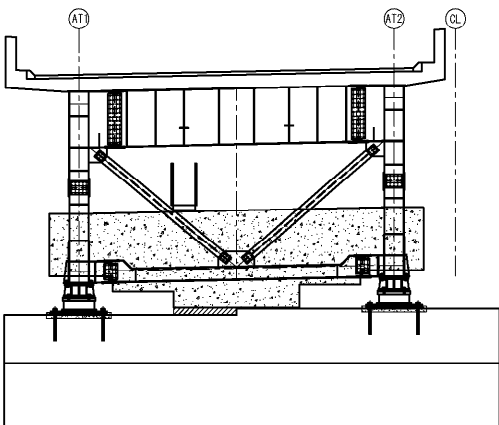
STEP7

- 支承取替工(設置)
- 沓座モルタル
- ジャッキダウン



STEP8

- ・ ジャッキの撤去
- ・ 躯体変状確認



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台		
	支承取替工 施工ステップ図(その2) (参考図)		
縮 尺	—	図面番号	388/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工ステップ図(その1)(参考図)

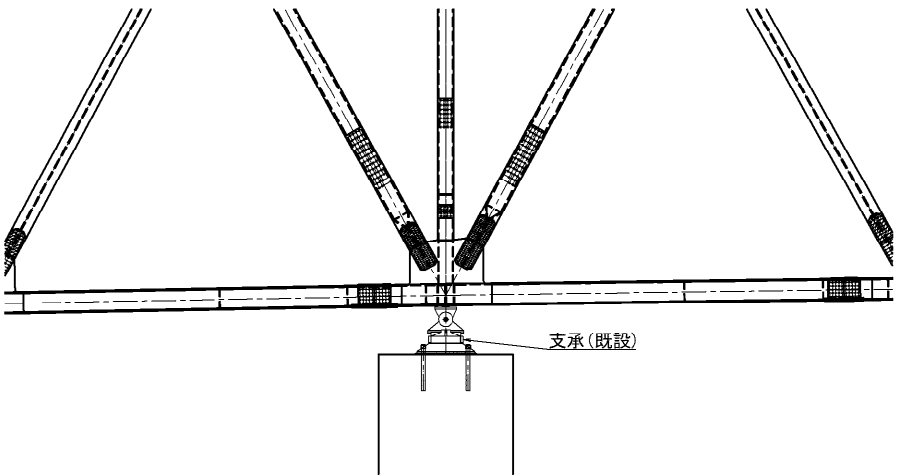
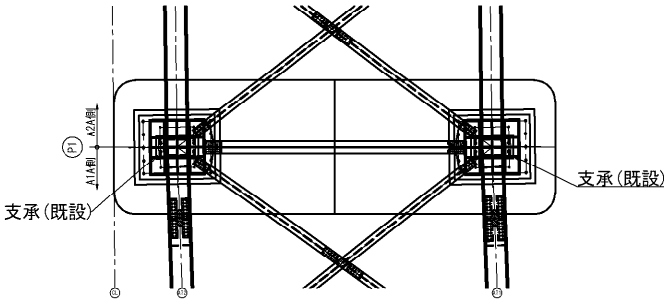
平面図

側面図

施工フロー

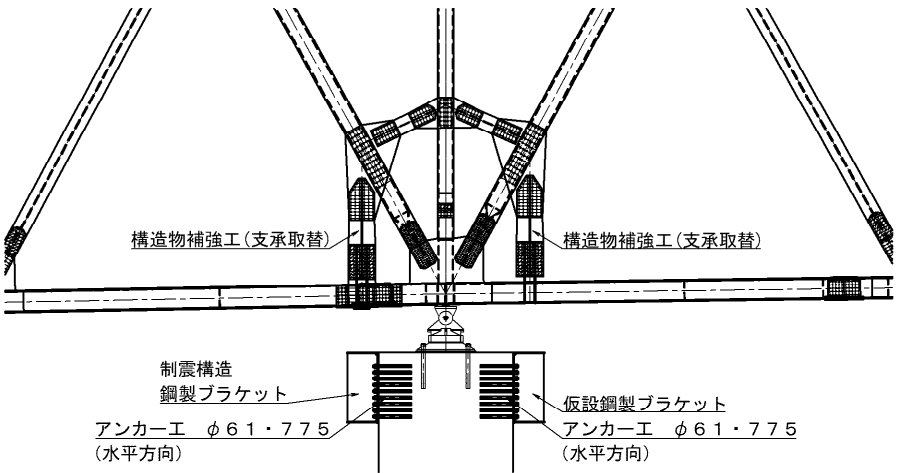
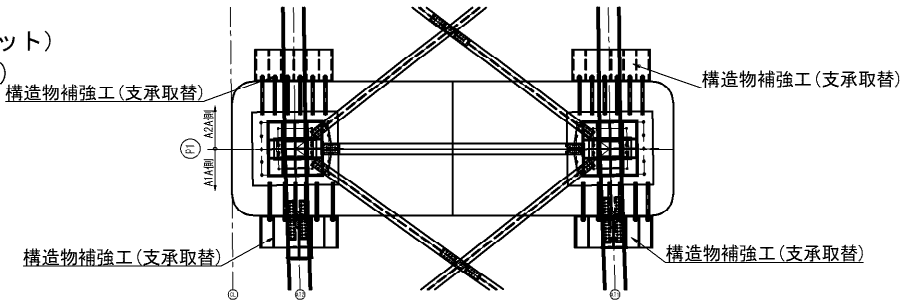
STEP1

- 鉄筋探査
- 躯体形状、支承等の計測



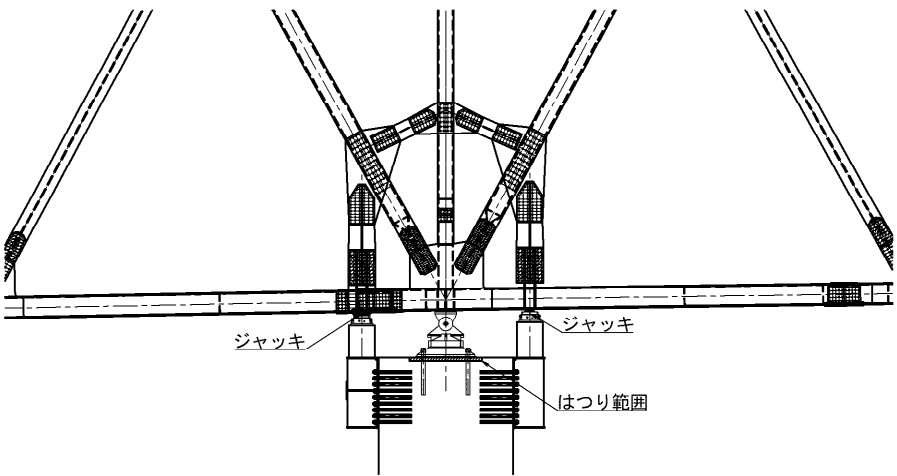
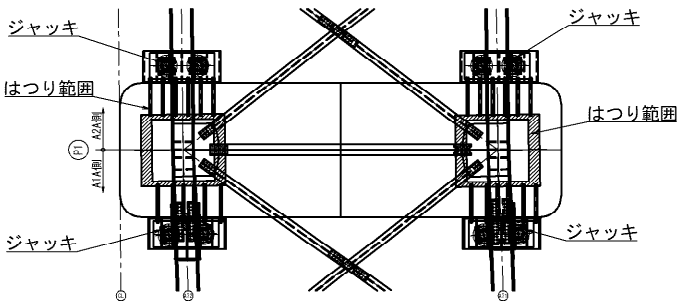
STEP2

- 仮設鋼製ブラケット  
(制震構造 鋼製ブラケット)
- 構造物補強工(支承取替)



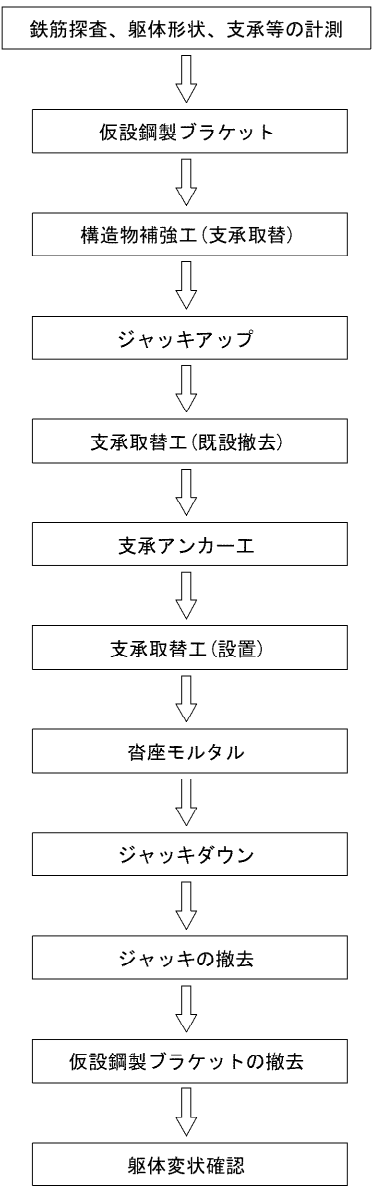
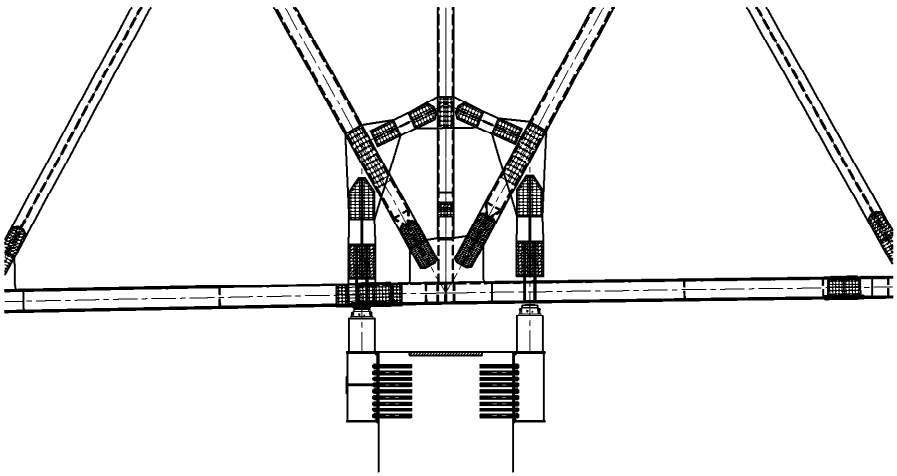
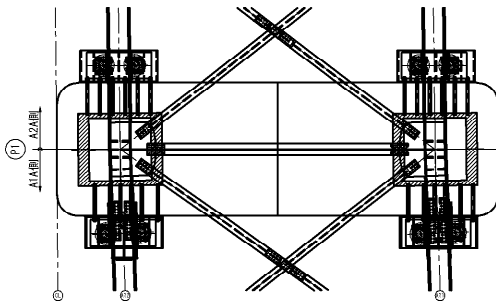
STEP3

- ジャッキアップ
- 支承取替工(撤去)
  - ・沓座はつり
  - ・既設支承アンカー切断



STEP4

- 支承取替工(撤去)
  - ・支承撤去
  - ・清掃、表面処理



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工ステップ図(その1)(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	389/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



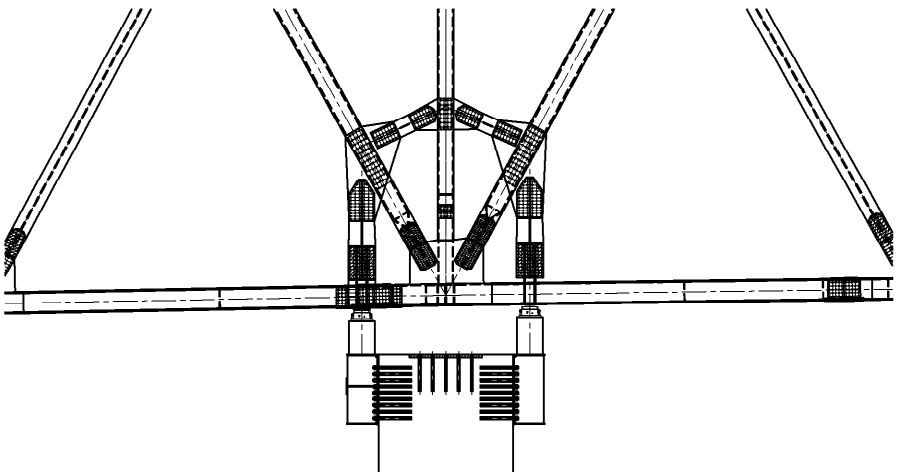
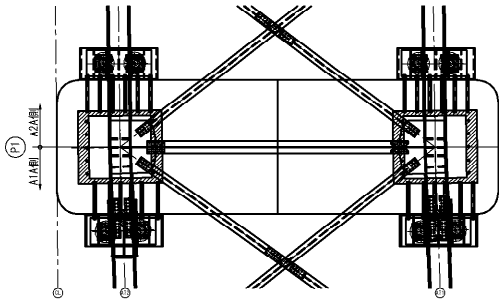
滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工ステップ図(その2)(参考図)

平面図

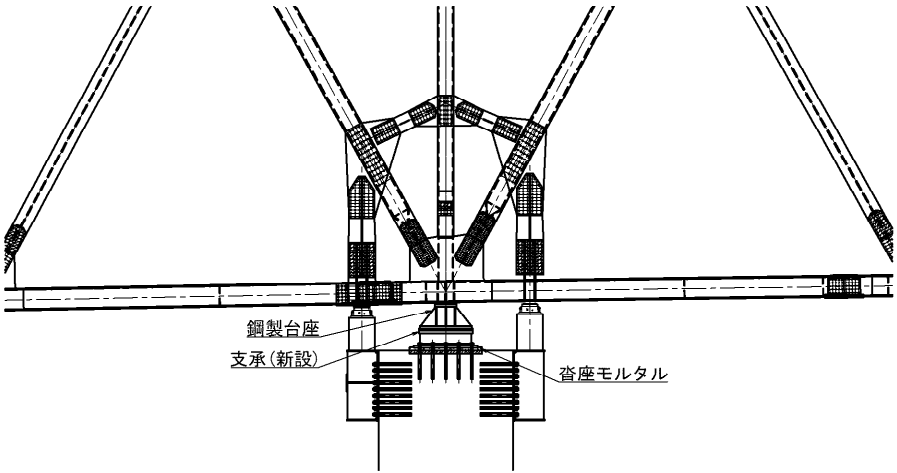
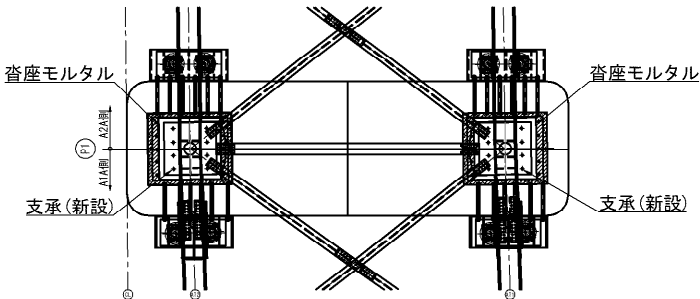
側面図

施工フロー

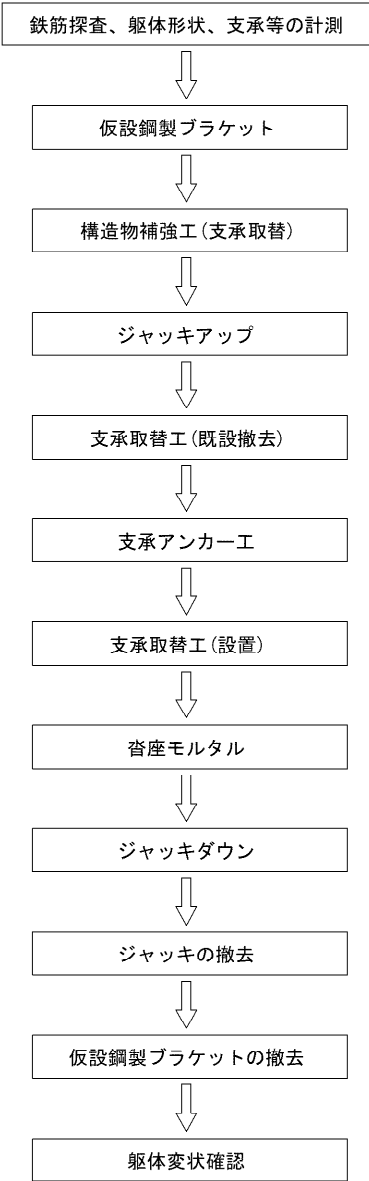
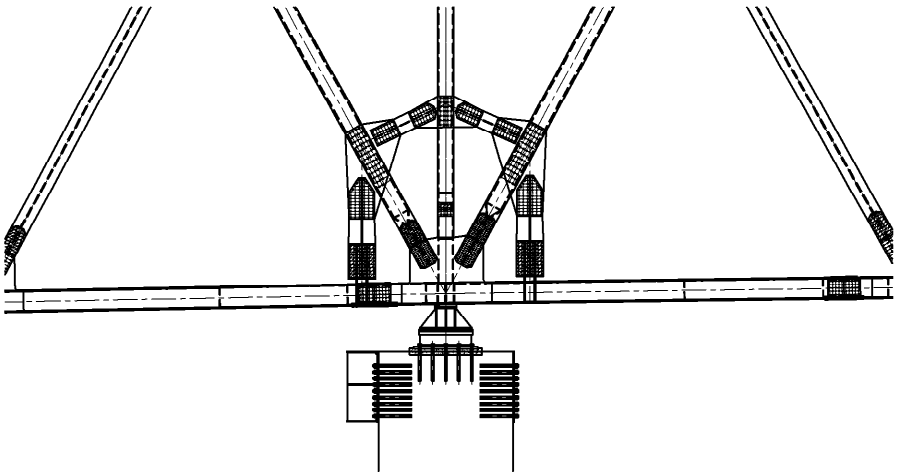
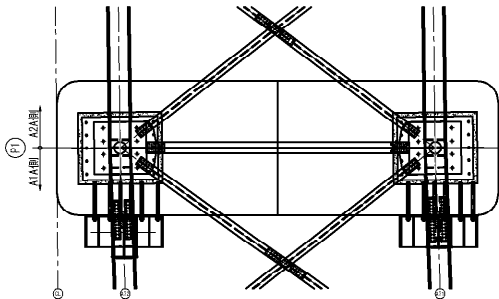
STEP5  
○支承アンカー工



STEP6  
○支承取替工(設置)  
○沓座モルタル  
○ジャッキダウン



STEP7  
○ジャッキの撤去  
○仮設鋼製ブラケットの撤去  
○躯体変状確認

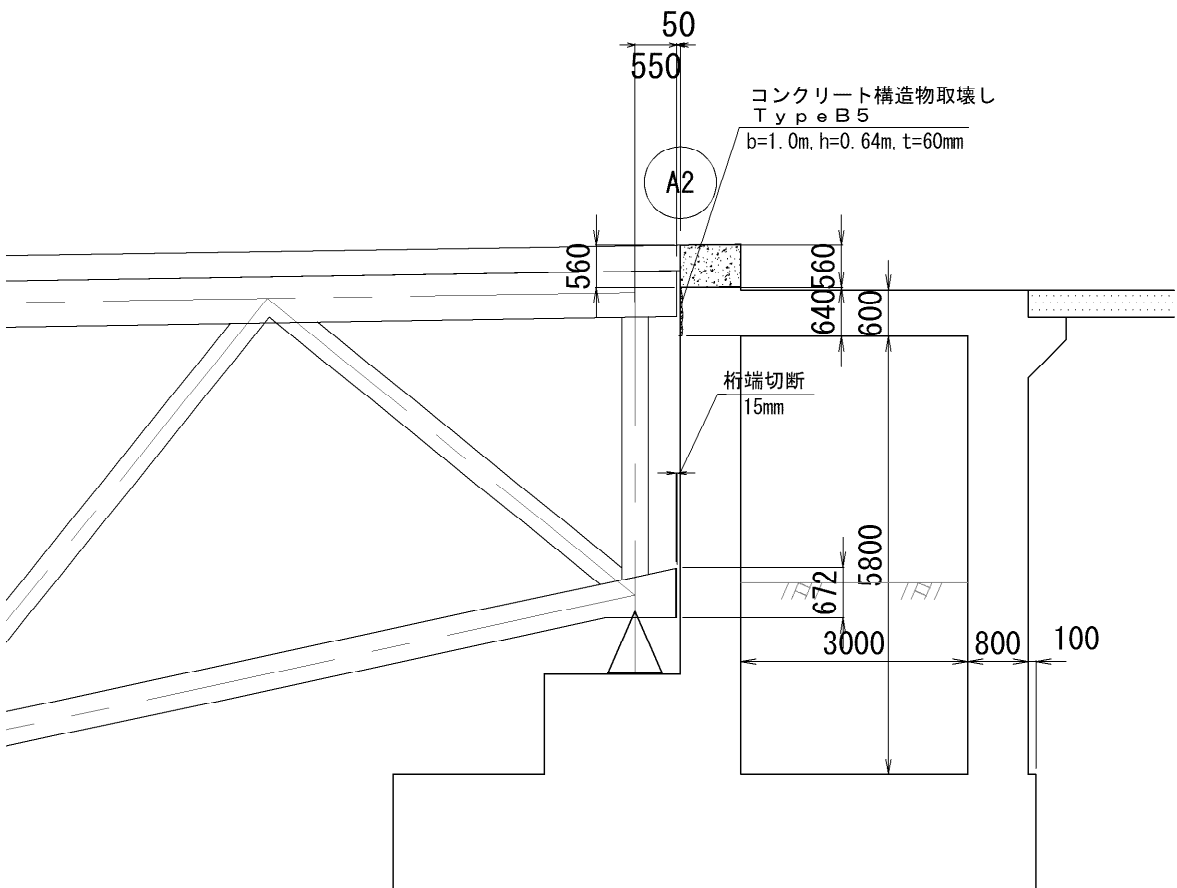


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工ステップ図(その2)(参考図)		
縮尺	-	図面番号	390/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

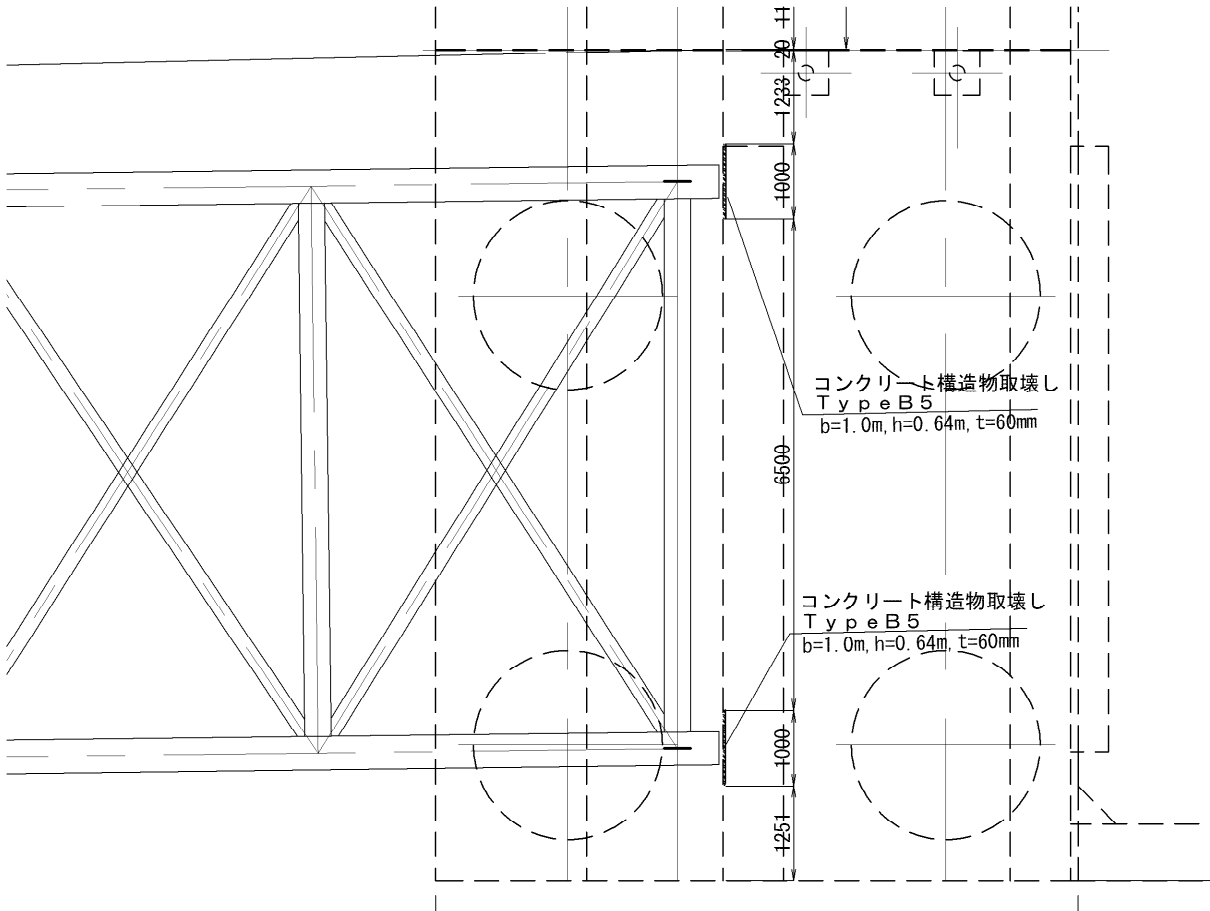
滝ノ沢橋(上り線) コンクリート構造物取壊し(T y p e B 5)詳細図

側 面 図 S=1:100

A2橋台



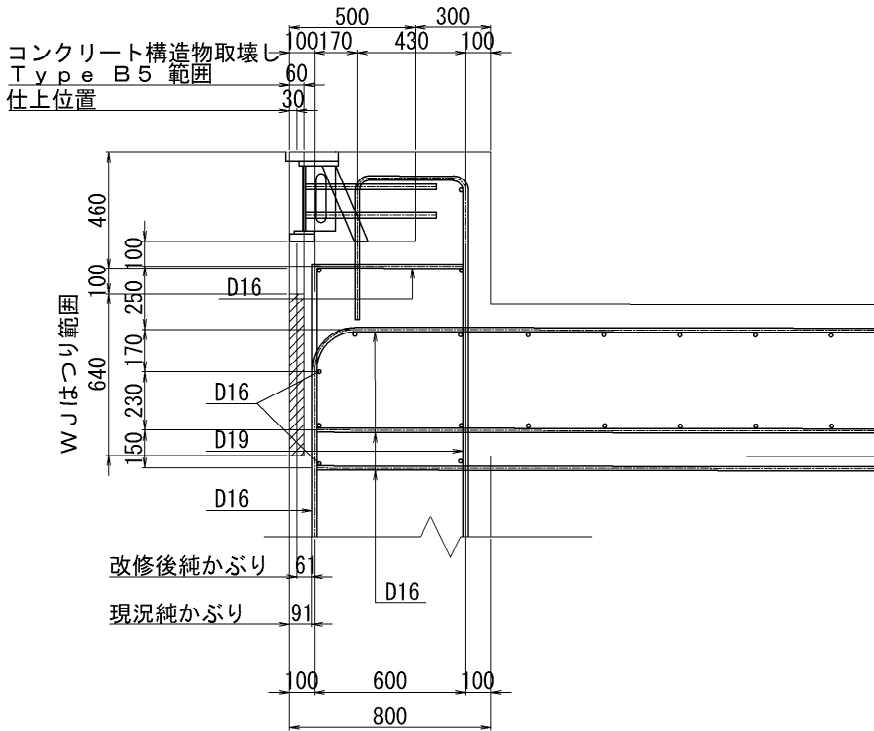
平 面 図 S=1:100



かぶり詳細図 S=1:30

前面側

背面側



- 注1) 遊間確保のため、ジョイント下端をはつる必要があるため、ジョイントの取替えも必要となる。  
注2) はつり量は施工性、復旧性を考慮し60mmとした。  
注3) 遊間量は現況50mmを80mmに変更する。(設計値は71mm以上)  
注4) 仕上後の鉄筋の純かぶりは40mm以上確保する。(本設計図では61mm)

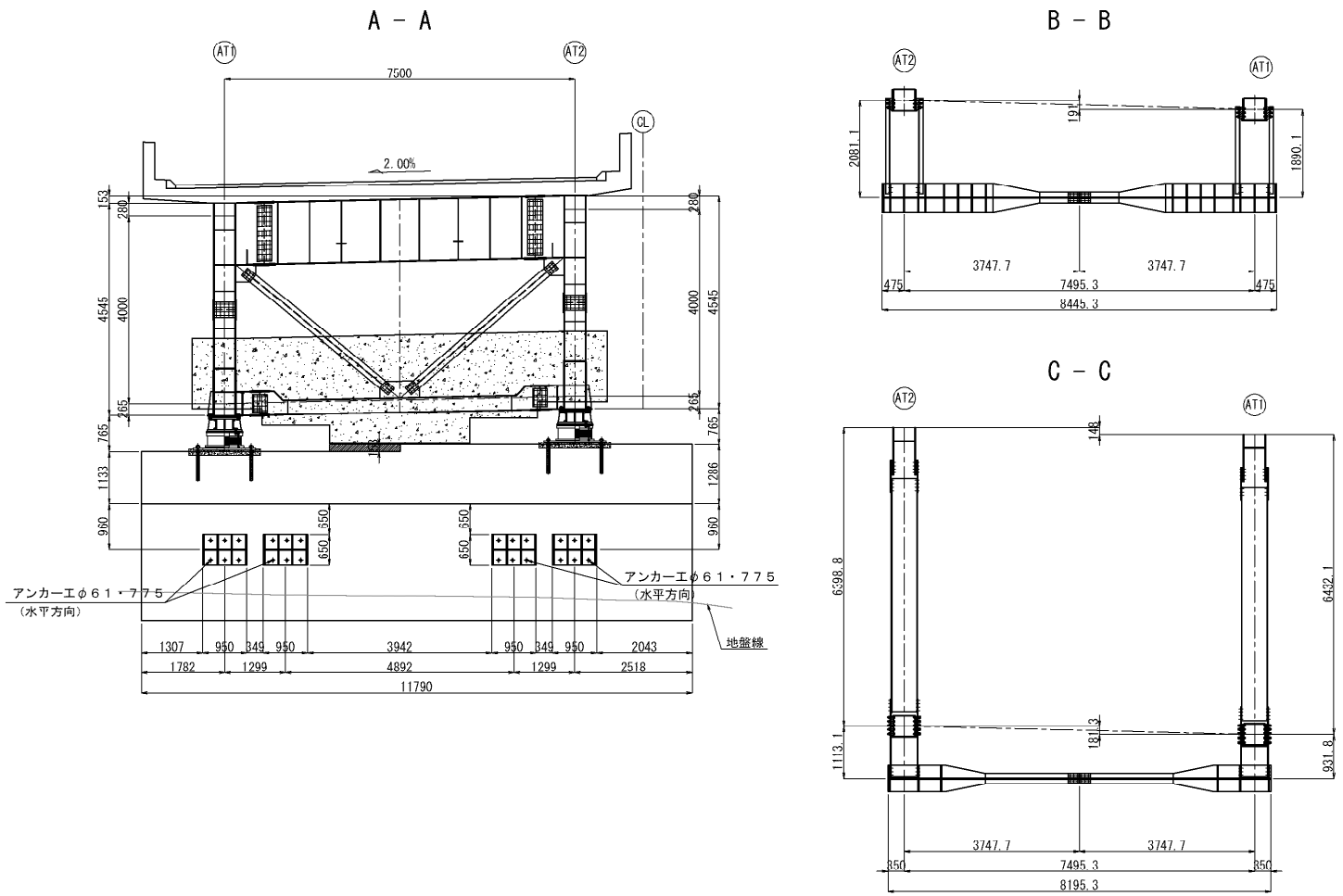
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) コンクリート構造物取壊し (T y p e B 5)詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	391/529
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造配置図  
制震ダンパー2000 (±200)

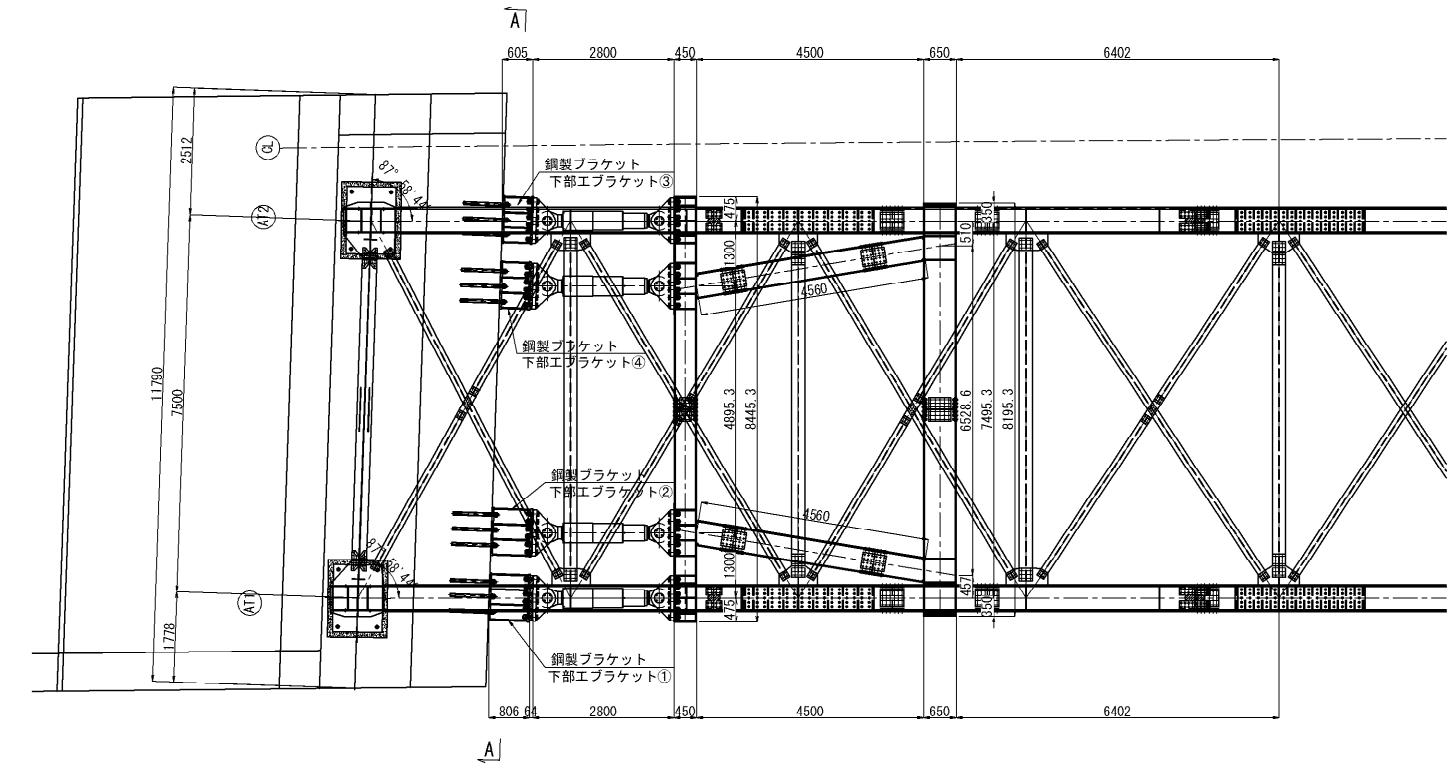
S=1:150

392/529

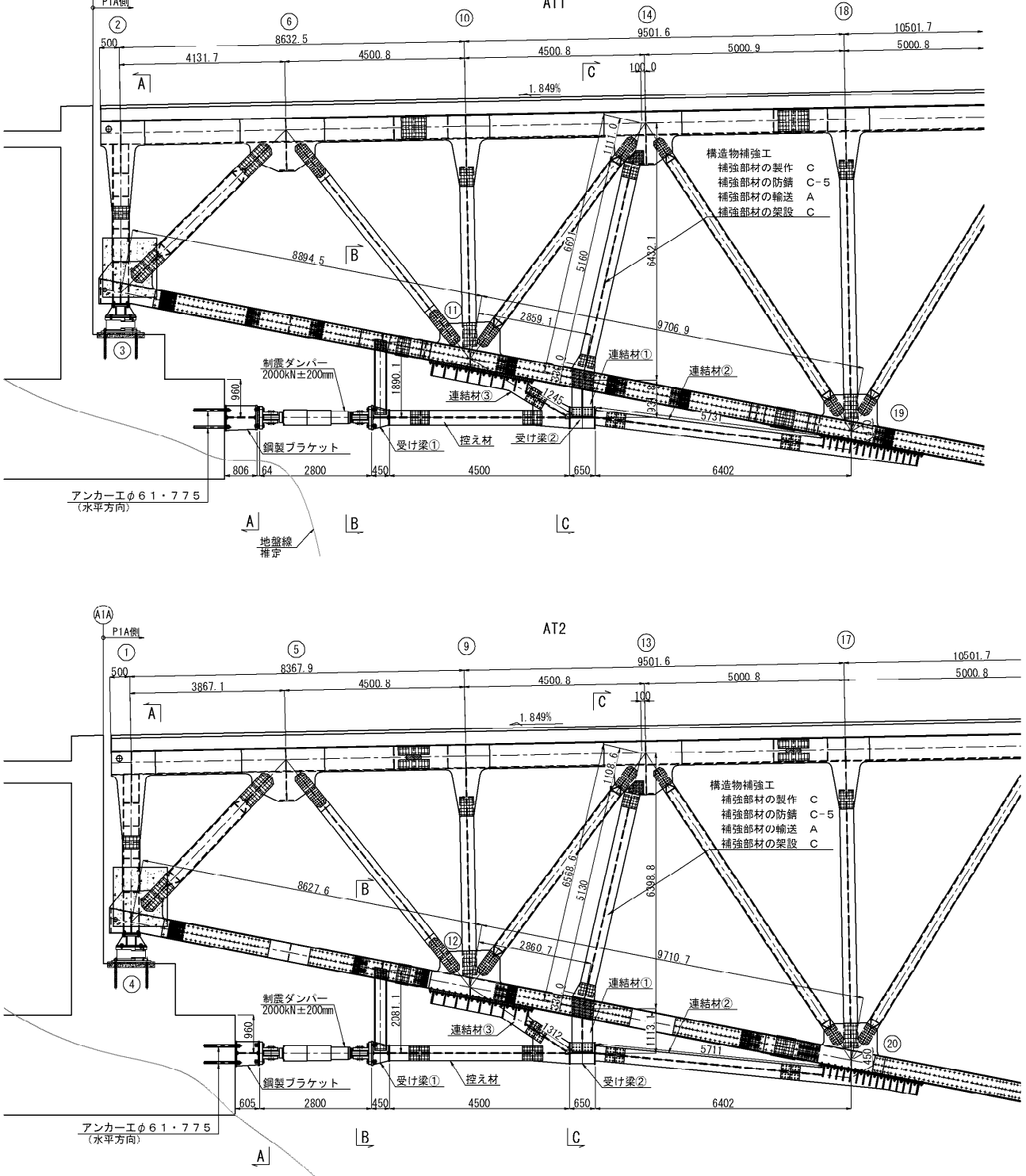
正面図



平面図



側面図

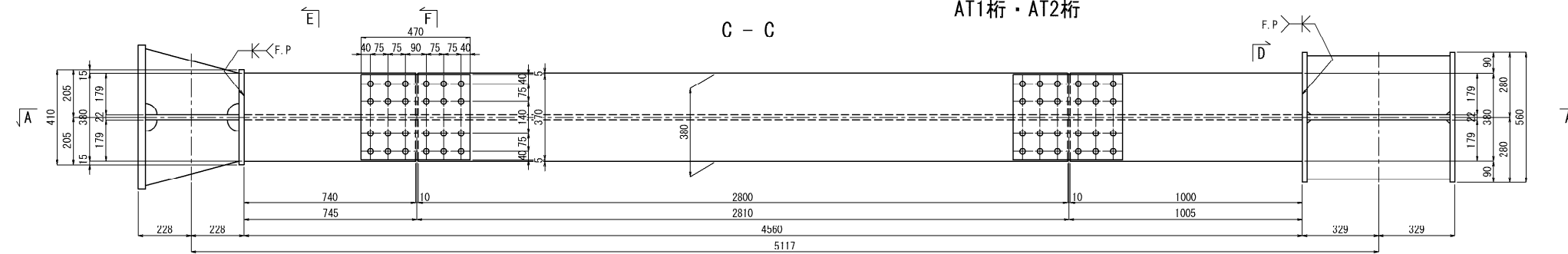


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造配置図		
縮 尺	1:150	図面番号	392/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

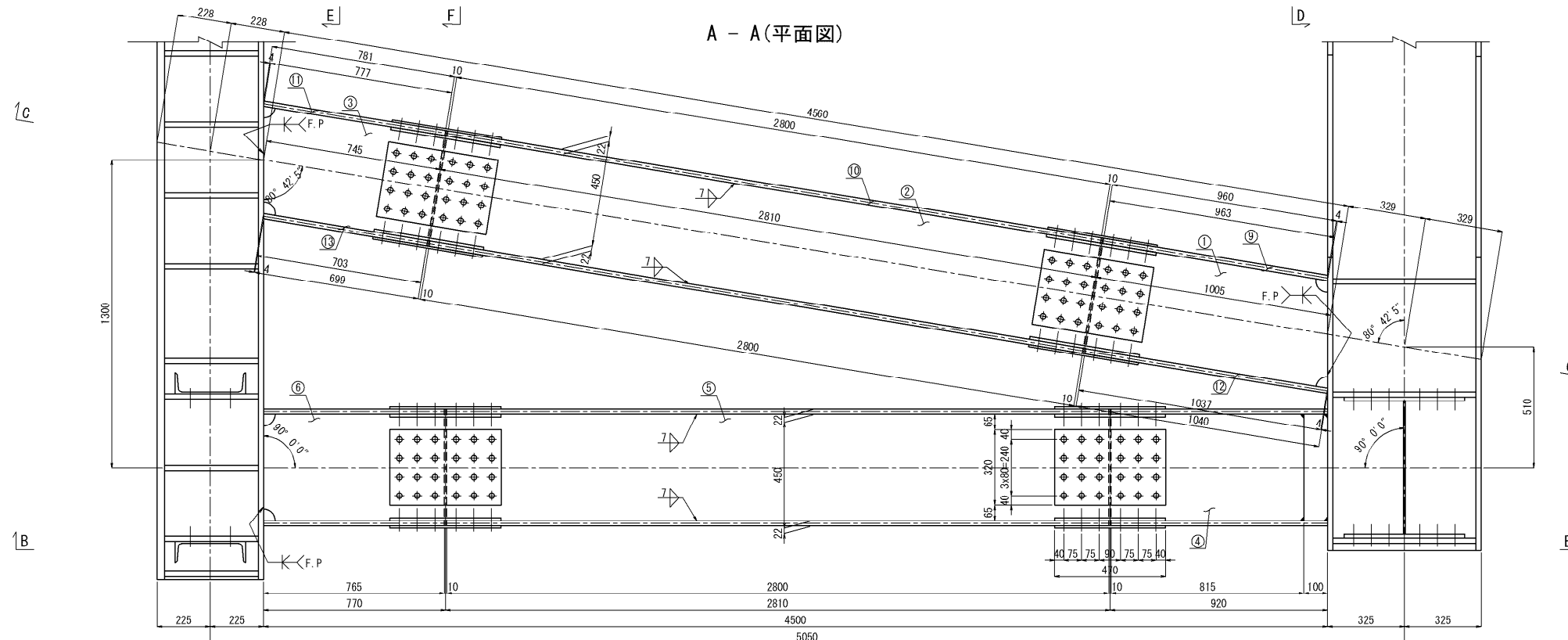
## 制震ダンパー2000 (±200)

## 控え材

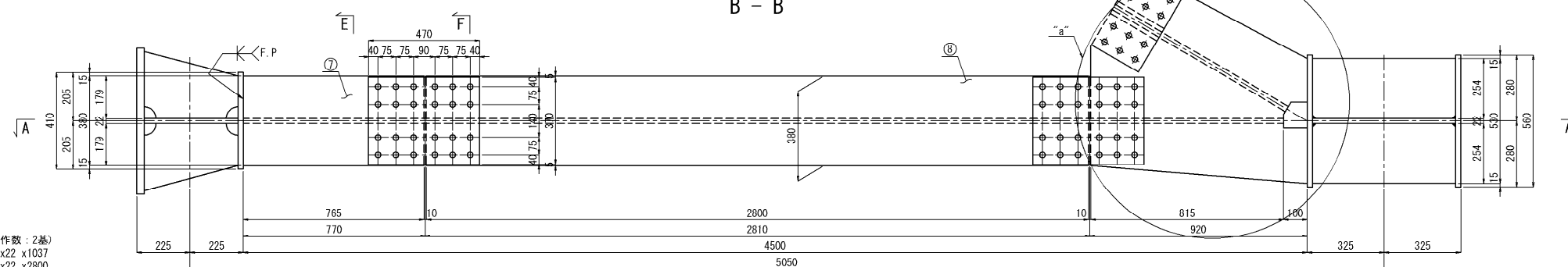
AT1桁・AT2桁



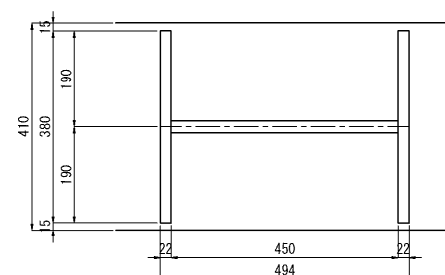
A - A(平面図)



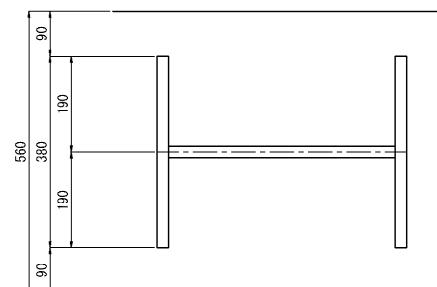
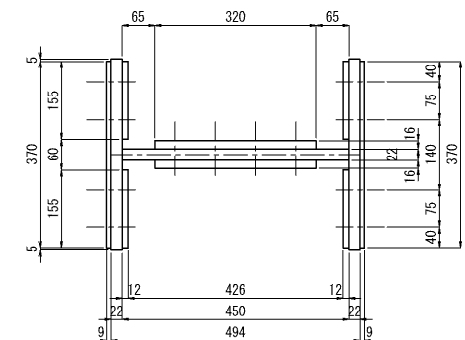
B - B



E - E s=1:15



D - D S=1:15


$$F - F_{S=1:15}$$


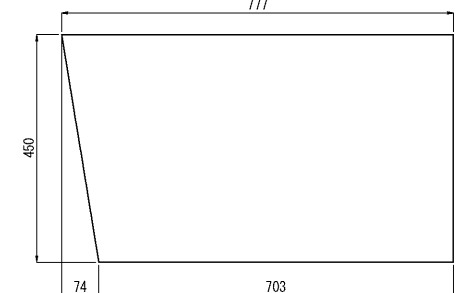
1基当たり数量(製作数: 8基)

2-SPL PL	370x9	x470 (SS400)
4-SPL PL	155x12	x470 (SS400)
2-SPL PL	320x16	x470 (SS400)
48-TCB	M22x80	(S10T)
24-TCB	M22x90	(S10T)

① 詳細 S=1:15



③ 詳細 S=1:15



注記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を調査すること。
2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決定してから行うこと。
3. 現場の調査・計測による構造物の形状を変更する場合は必要に応じて力学計算を行うこと。
4. 特記なき材質はすべてSM400Aとする。
5. 特記なきスカーラップはすべてR50とする。
6.  $\Phi$ 印はT08 M22 (S107) を示し、ボルト孔は既設  $\phi$  24.5 新設  $\phi$  26.5 とする。
7. 「F」印の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
8. 新設鋼材はすべて塗装を実施すること。
9. “a”詳細図は、「海ノ沢(宮沢)上り線」A橋合制鋼橋造詳細図(同5/15)を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り橋) A1橋台 制震構造詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	393/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

(基当たり数量(製作数:2基))

①	1-WEB	PL 450	x22	x1037
②	1-WEB	PL 450	x22	x2800
③	1-WEB	PL 450	x22	x 777
④	1-WEB	PL 450	x22	x 815
⑤	1-WFR	PI 450	x27	x2800
⑥	1-WEB	PL 450	x22	x 765
⑦	2-FLG	PL 380	x22	x 765
⑧	2-FLG	PL 380	x22	x2800
⑨	1 FLG	PL 380	x22	x 963
⑩	2-FLG	PL 380	x22	x2800
⑪	1-FLG	PL 380	x22	x 781
⑫	1-FLG	PL 380	x22	x1040
⑬	1-FLG	PL 380	x22	x 703

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その2)

S=1:50

394/529

制震ダンパー2000 (±200)

受け梁① AT1桁<AT2桁>

A - A

E

E - E

F - F

I - I S=1:25

G - G S=1:25

H - H S=1:25

"a"部詳細 S=1:15

FILL PL 詳細 S=1:15

"b"部詳細 S=1:15

"c"部詳細 S=1:15

- 1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 2-FLG PL 620 x32 x2375
  - ② 2-FLG PL 620 x22 x1000
  - ③ 4-FLG PL 220 x22 x 843
  - ④ Z+L6 PL 410 x22 x33/5
  - ⑤ 2-WEB PL 396 x22 x4218
  - ⑥ 36-RIB PL 284 x22 x 396
  - ⑦ 2-CH 300x90x9x13x2093 (SS400)
  - ⑧ 2-CH 300x90x9x13x1901 (SS400)
  - ⑨ 2-FILL PL 244x51x 351 (SS400)
  - ⑩ Z+ILL PL 245x49x 352 (SS400)
  - ⑪ 24-ワンサイドボルト MUTF24-95 (SCM440)
  - ⑫ 24-TCB M22x70 (S10T)

現場孔明け工  
1基当たり数量(製作数:1基)  
φ 25.5 x 24箇所

- 注 記
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  - 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  - 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  - 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  - 特記なきスカーラップは全てR50とする。
  - φ印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUTF 24 (高力ワンサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
  - 印はフィラープレートを示す。
  - "F.P."の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	394/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その3)

S=1:50

395/529

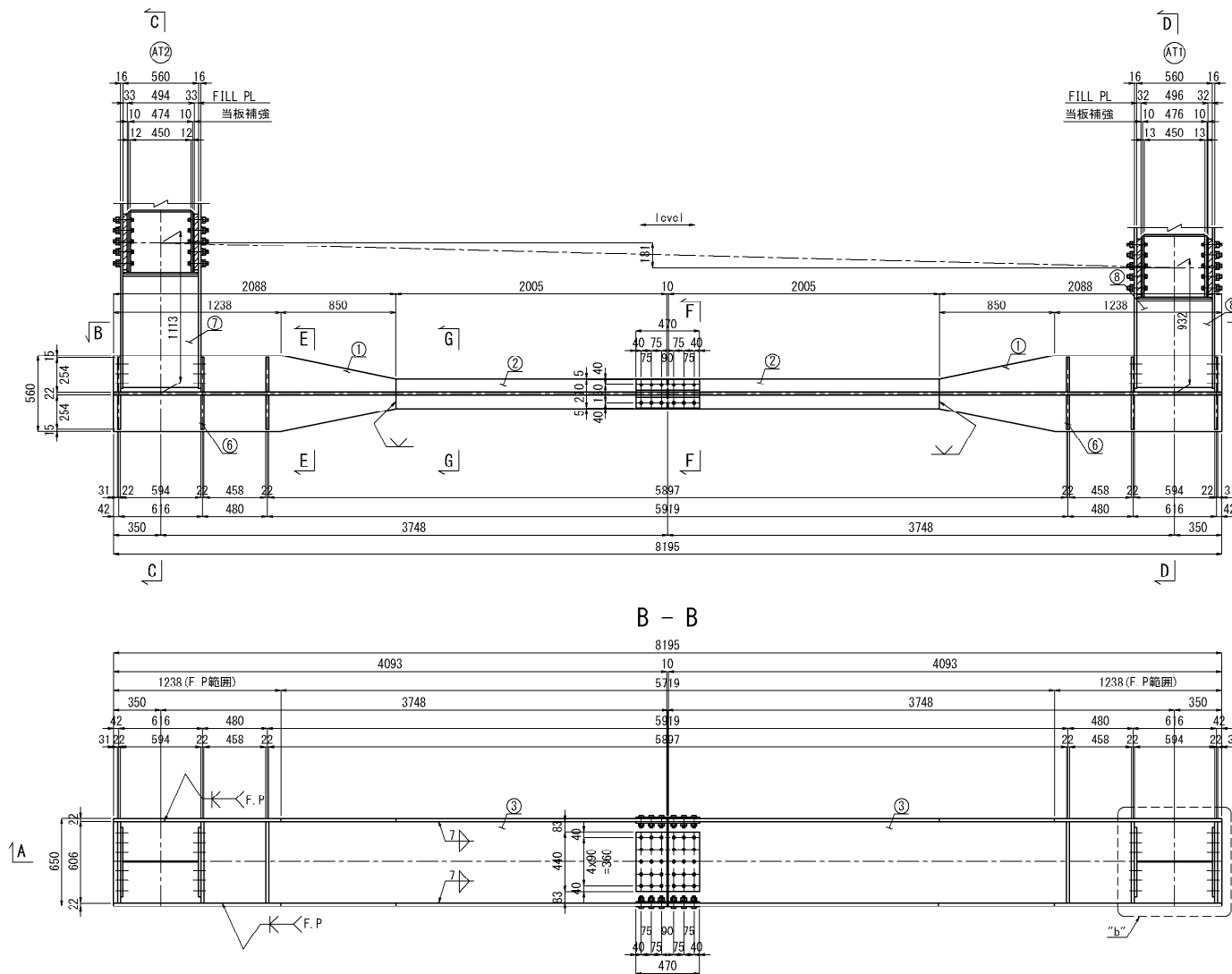
制震ダンパー2000 (±200)

受け梁②・連結材①

C - C S=1:25

D - D S=1:25

A - A



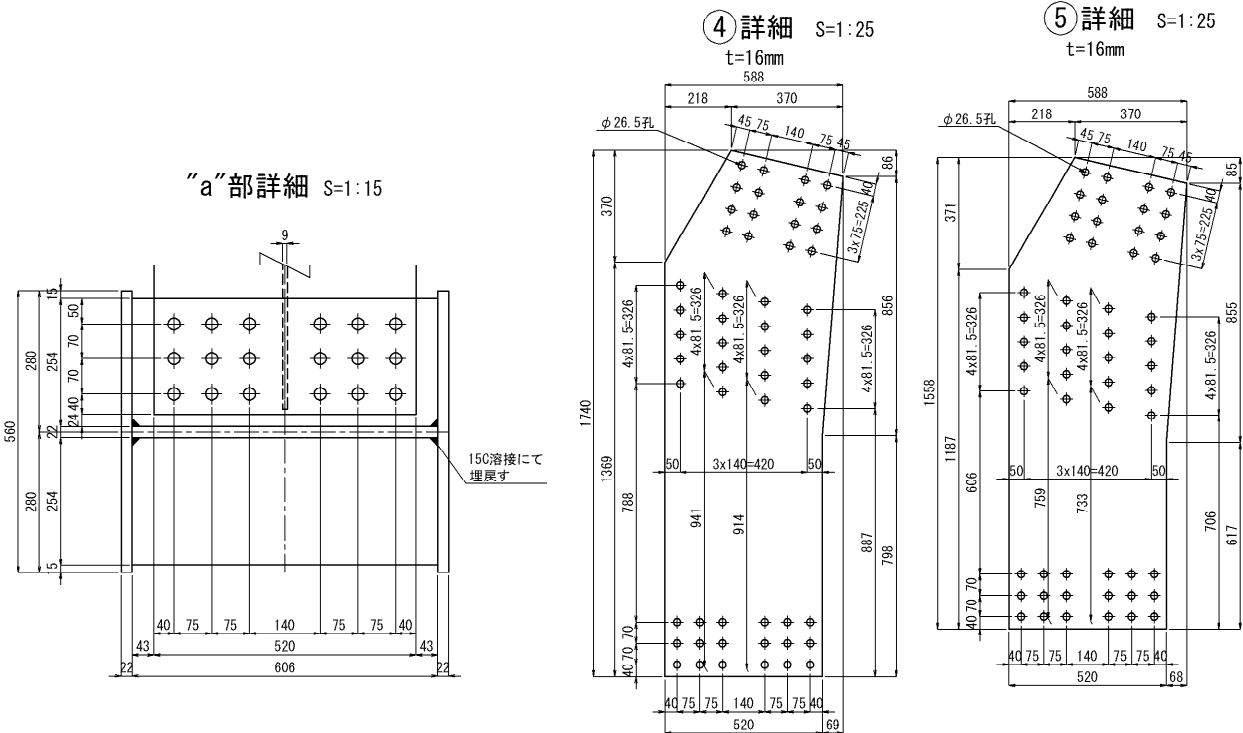
- 1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 4-FLG PL 560 x22 x2088
  - ② 4-FLG PL 220 x22 x2005
  - ③ 2-WEB PL 606 x22 x4093
  - ④ 2-GUSS PL 588 x16 x1740
  - ⑤ 2-GUSS PL 588 x16 x1558
  - ⑥ 12-RIB PL 254 x22 x606
  - ⑦ 1-WEB PL 560 x9 x820
  - ⑧ 1-WEB PL 560 x9 x640
  - ⑨ 2-FILL PL 410 x33 x611(SS400)
  - ⑩ 2-FILL PL 410 x32 x610(SS400)
  - ⑪ 72-TCB M22x75(S10T)
  - ⑫ 80-ワンサイドボルト MUTF24-75(SCM440)
- 現場孔明けT  
1基当たり数量(製作数:1基)  
φ 25.5 x 80箇所

E - E S=1:25

F - F S=1:25

"b"部詳細 S=1:25

"a"部詳細 S=1:15



- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. 特記なきスカーップは全てR50とする。
  6. φ印はTCB M22(S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUTF 24(高カウンスайдボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、BN M48[2W付]を示す。
  7. 斜線印はフィラープレートを示す。
  8. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  9. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	395/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その4)

S=1:25

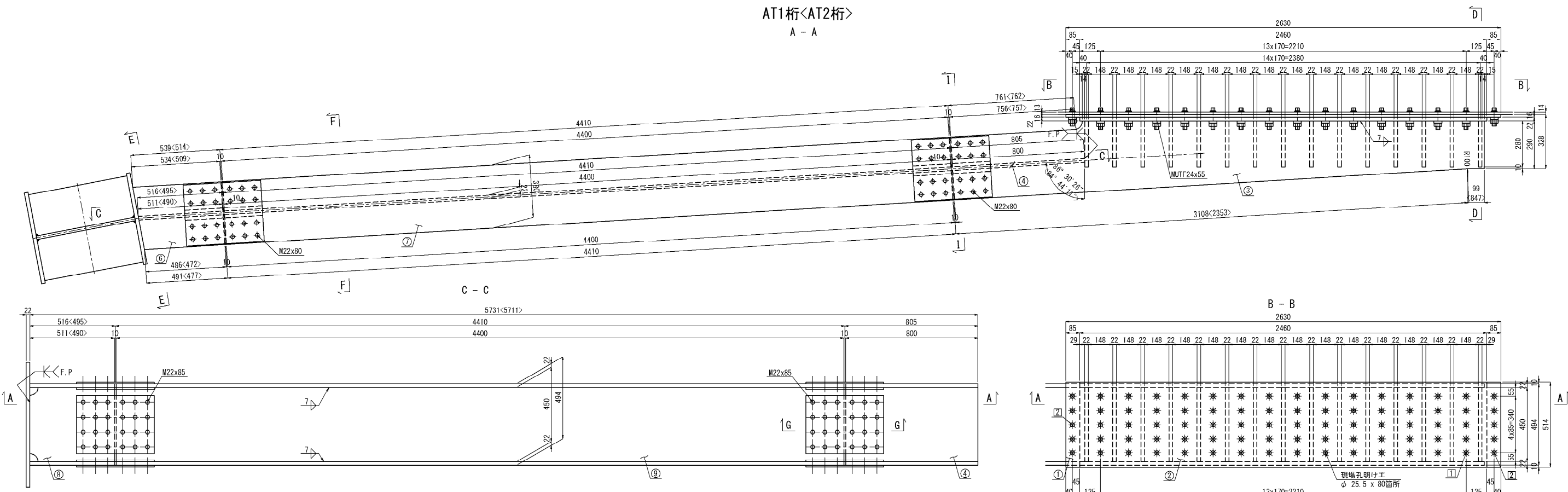
396/529

制震ダンパー2000 (±200)

連結材②

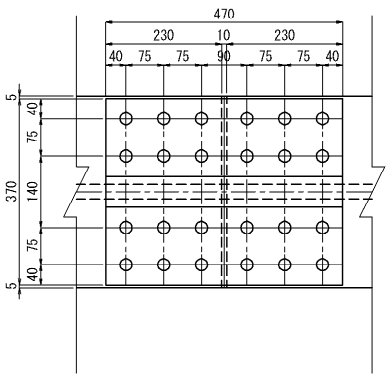
AT1桁<AT2桁>

A - A

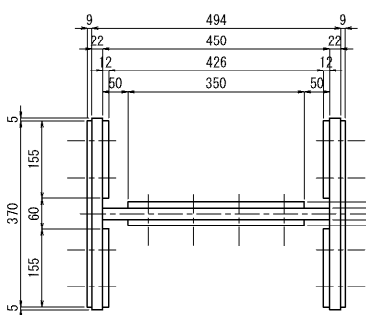


添接部詳細 S=1:15

側面図



断面図



AT1

- 1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 1-BASE PL 514 x16 x2630 (SM490YA)
  - ② 1-BASE PL 514 x22 x2460
  - ③ 2-FLG PL 479 x22 x3225
  - ④ 1-WEB PL 450 x22 x800
  - ⑤ 15-RIB PL 450 x22 x280
  - ⑥ 2-FLG PL 380 x22 x534
  - ⑦ 2-FLG PL 380 x22 x4400
  - ⑧ 1-WEB PL 450 x22 x511
  - ⑨ 1-WEB PL 450 x22 x4400
  - ⑪ 70-ワンサイドボルト MUTF24-55 (SOM440)
  - ⑫ 10-ワンサイドボルト MUTF24-30 (SOM440)

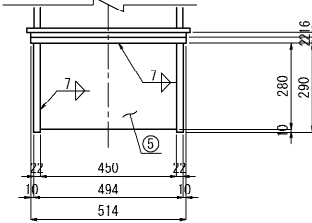
現場孔明け工  
1基当たり数量(製作数:1基)  
φ 25.5 x 80箇所

AT2

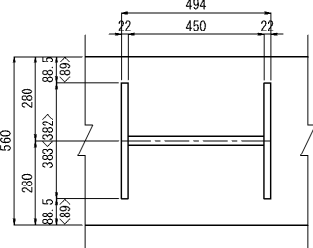
- 1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 1-BASE PL 514 x16 x2630 (SM490YA)
  - ② 1-BASE PL 514 x22 x2460
  - ③ 2-FLG PL 506 x22 x3229
  - ④ 1-WEB PL 450 x22 x800
  - ⑤ 15-RIB PL 450 x22 x280
  - ⑥ 2-FLG PL 380 x22 x509
  - ⑦ 2-FLG PL 380 x22 x4400
  - ⑧ 1-WEB PL 450 x22 x490
  - ⑨ 1-WEB PL 450 x22 x4400
  - ⑪ 70-ワンサイドボルト MUTF24-55 (SOM440)
  - ⑫ 10-ワンサイドボルト MUTF24-30 (SOM440)

現場孔明け工  
1基当たり数量(製作数:1基)  
φ 25.5 x 80箇所

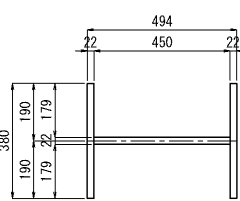
D - D



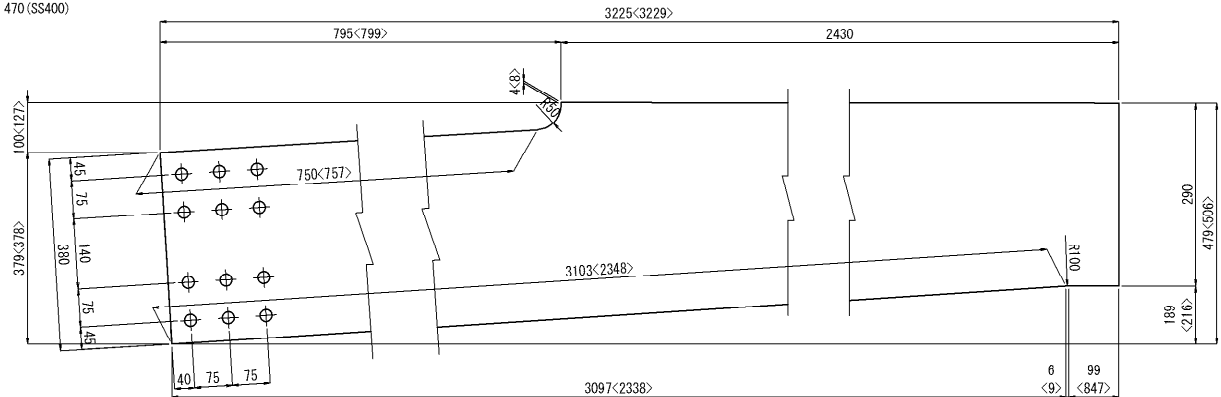
E - E



F - F



③ 詳細 S=1:15



注 記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 特記なきスカラーアップは全てR50とする。
6. ④印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUTF 24 (高力ワンサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	396/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

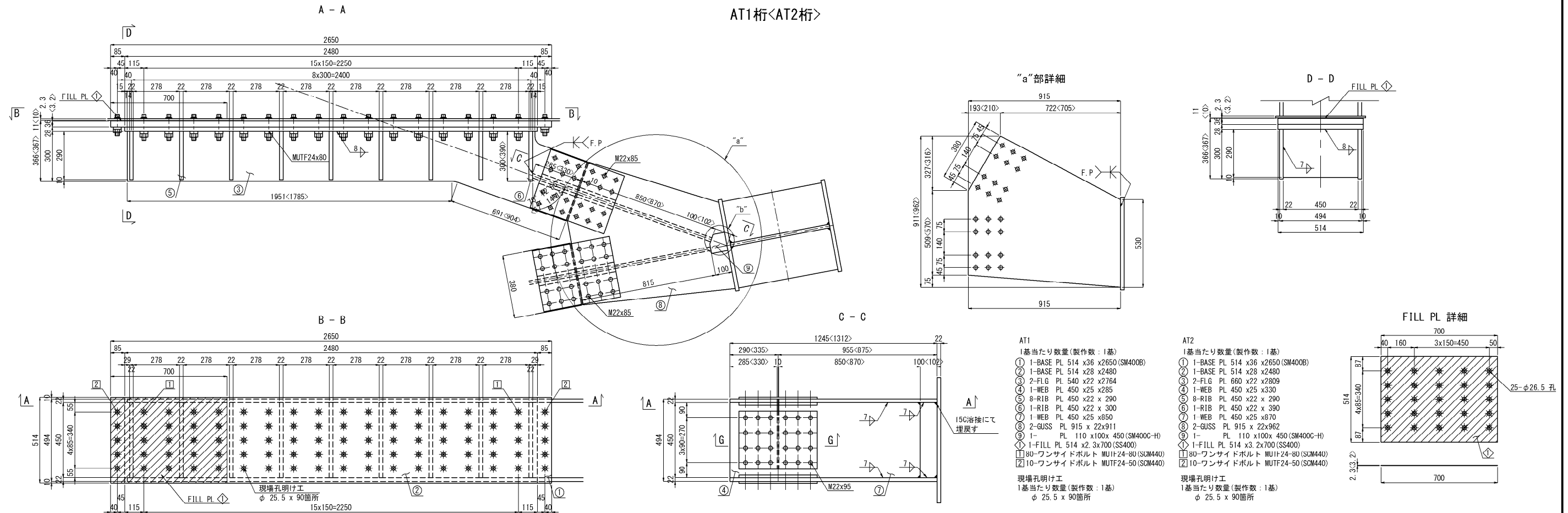
滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造詳細図(その5)

S=1 : 25

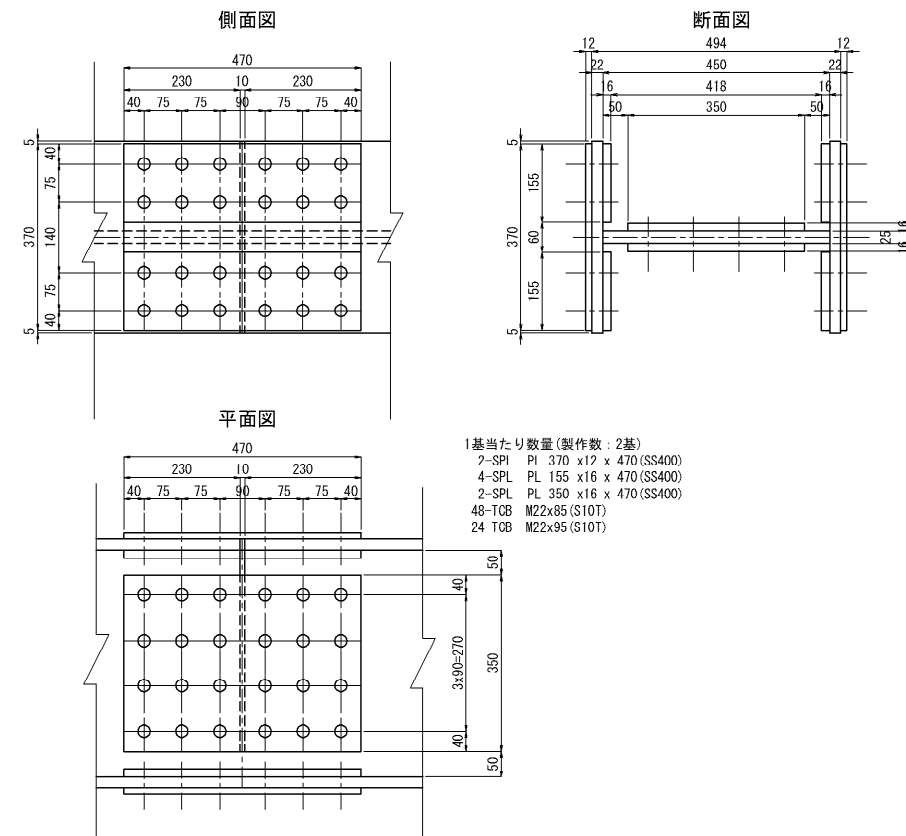
制震ダンパー2000 (±200)

### 連結材③

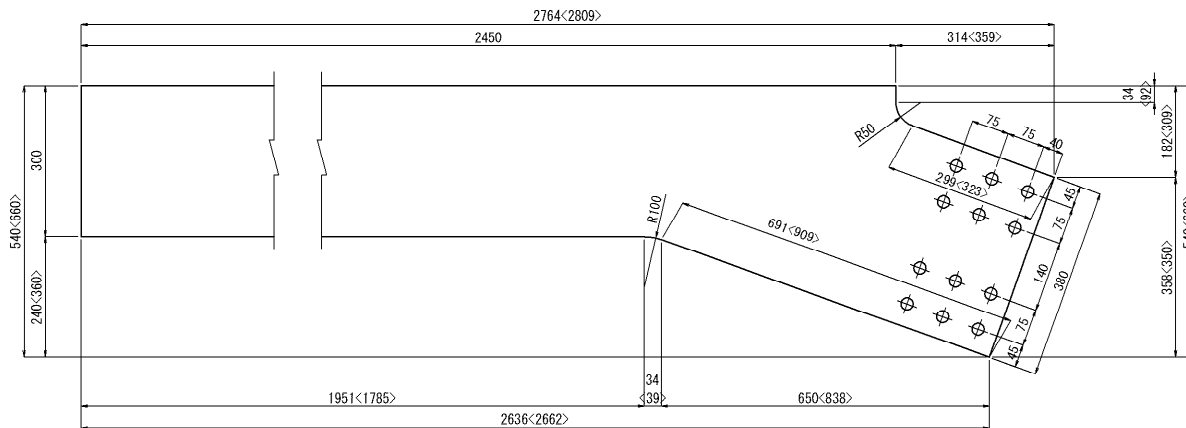
AT1桁&lt;AT2桁&gt;



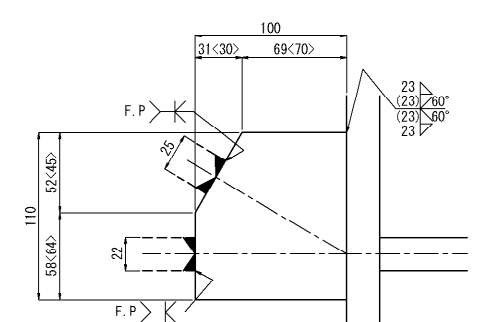
添接部詳細 S=1:1



③ 詳細 S=1:15



“b”部詳細 S=1:5



注記

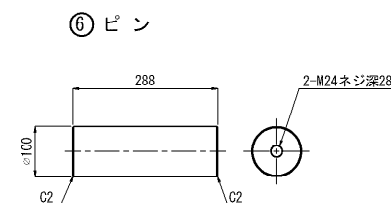
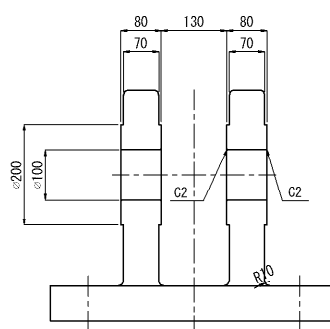
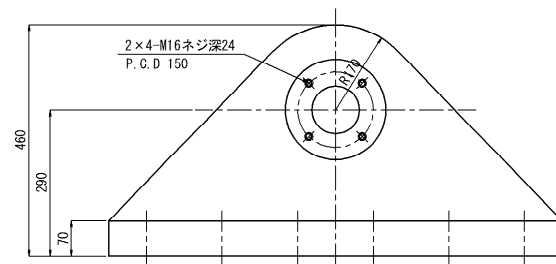
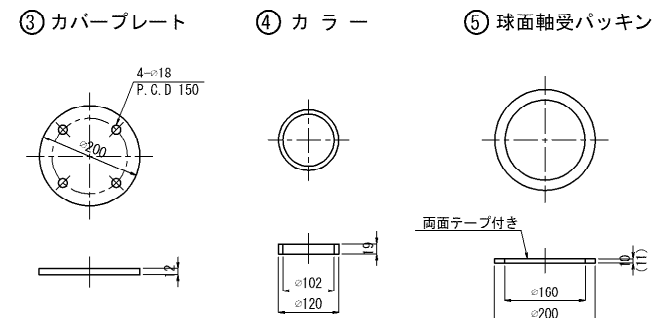
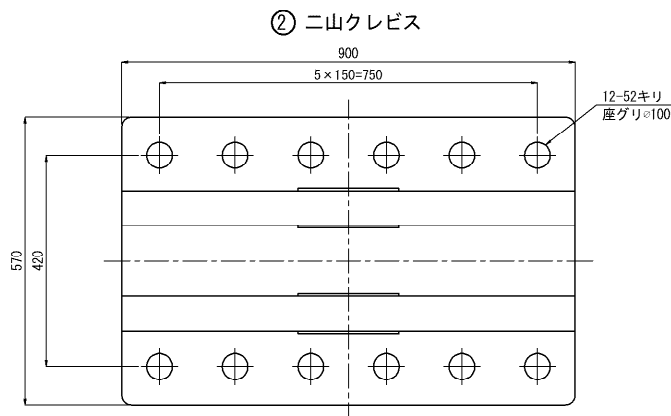
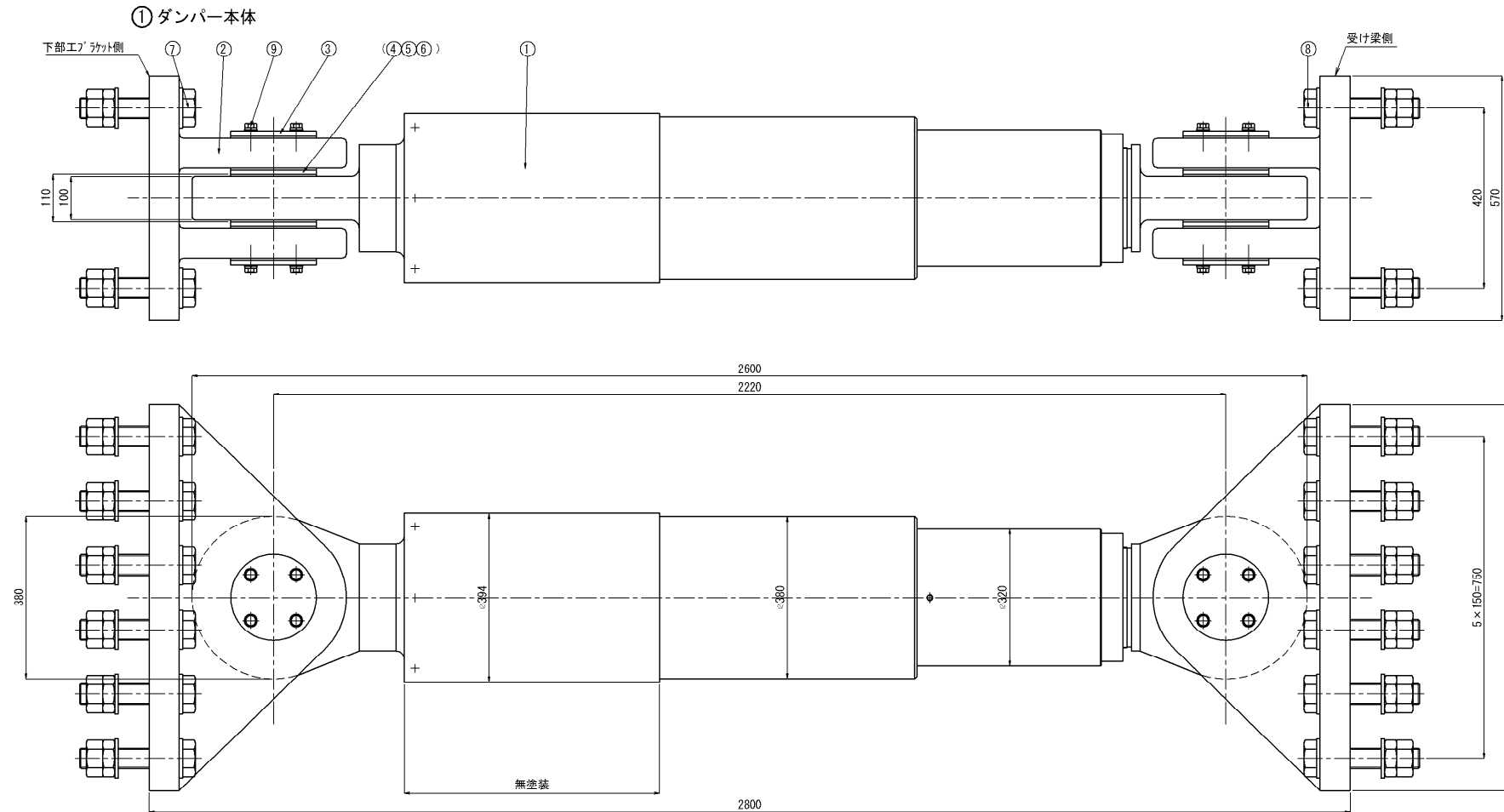
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 鋼材の加工は現機の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現機の調査・計測で元々構造物の形状を変更する場合は必要に応じ応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 特記なきスカーリングは全てR50とする。
6. 中印はTQB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUTF 24 (高力ワンサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
8. 新設鋼材はすべて塗装を施工すること。
9. 印はフイラボルトを示す。

長野自動車道 五常橋床版代替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)A1橋合 制震構造詳細図(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	397/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



制震ダンパー 2000 (±200)

製作数:4組



### 規格表

ダンパー仕様		
抵抗力	F	2000 kN
ストローク	$\delta$	$\pm 200$ mm
移動量		
L2地震時最大変位	$\delta e$	$\pm 66$ mm
片温度変化移動量	$\Delta t$	$\pm 65.79$ mm
施工誤差吸収量	$\delta o$	$\pm 5$ mm
桁回転移動量	Z	$\pm 18$ mm

注) ストロークは  
 1) 地震時最大移動量+片温度変化移動量+施工誤差吸収量+桁回転移動量以上を確保することを基本とする。  
 必要ストローク  $\delta_{req} = \delta_e + \Delta t \cdot \alpha \cdot \Delta T = 66 + 65 \cdot 79 \cdot 5 + 18 = 154.79 \text{mm} < 200 \text{mm}$   
 片温度変化移動量  $\Delta t = 91.375 \times 0.72 = 65.79 \text{mm}$

### 材料表

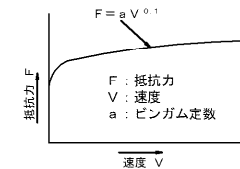
部番	部 品 名 称	材 質	個数	質量 (kg)	備 考
①	ダンパー本体	-	1	1318.6	
②	二山クレビス	SCW480N	2	973.4	
③	カバープレート	SS400	4	11.5	
④	カラー	SS400	4	1.9	
5	球面軸受バックシン	クロロブレンスポンジゴム	4	0.1	
6	ピン	SUS630	2	35.1	
⑦	六角ボルト・ナット	-	12		JIS B 1180 JIS B 1181 (平座金)
⑧	六角ボルト・ナット	-	12		JIS B 1180 JIS B 1181 (2-平座金)
⑨	六角ボルト	-	16	1.9	JIS B 1180 (平座金 平座金)
				2342.2	( kg )

注1) △印は塗装仕様、○印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。

注2) 上部工とダンパー本体を結ぶ上部工架台および下部工とダンパー本体を結ぶ下部工架台は、⑥六角ボルト締付け完了後に上下部工架台と上下部工を本固定すること。

注3) ダンパー本体長さ寸法は、ストローク中立位置（伸びる側にも縮む側にも、表記ストローク値だけ伸縮可能なセンター位置）での長さ寸法。

⑦ 六角ボルト 六角ナット (2- 平座金)	中 中	M48 × M48	L	8.8 8 (1種, 3種)
⑧ 六角ボルト 六角ナット (2- 平座金)	中 中	M48 × M48	200	8.8 8 (1種, 3種)
⑨ 六角ボルト (1- ばね座金, 平座金)	中	M16 × 40		8.8



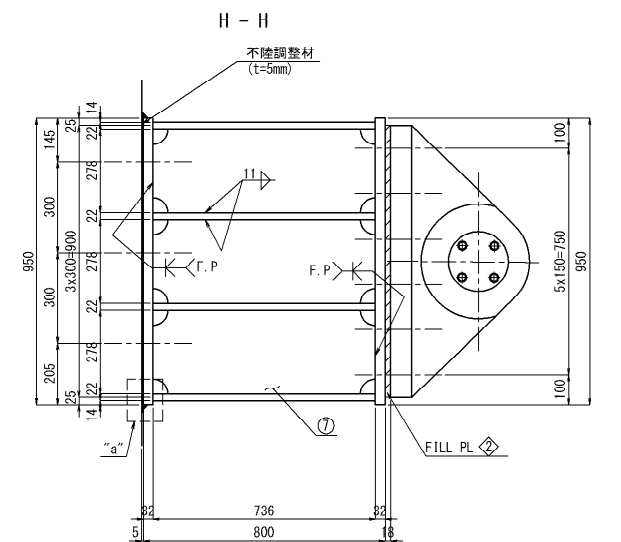
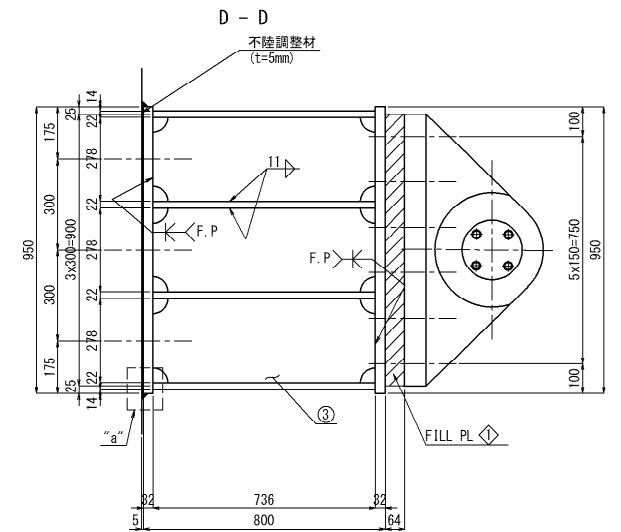
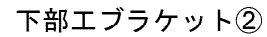
### 材料表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	質量 (kg)	備 考
⑦	六角ボルト・ナット	-	n	m	JIS B 1180 JIS B 1181 (平座金)
⑧	六角ボルト・ナット	-	12	73.068	JIS B 1180 JIS B 1181 (2-平座金)

部番	部 品 名 称	個数	質量 (kg)	L (mm)
②	AT1桁 下部エブラケット①	12	89.820	300
	AT1桁 下部エブラケット②	12	81.300	250
	AT2桁 下部エブラケット③	12	73.068	200
	AT2桁 下部エブラケット④	12	81.300	250

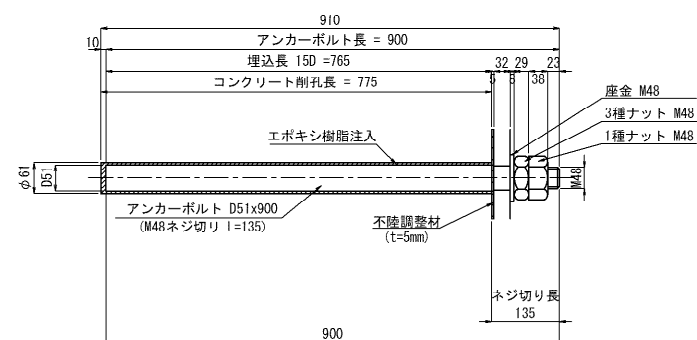
長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類		滝ノ沢橋(上り線)A1橋台 制震構造詳細図(その6)(参考図)	
縮 尺	1:25	図面番号	398/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

下部エブラケット①



Technical drawing of a rectangular plate. The plate has a total width of 64 and a total height of 570. A central rectangular hole is shown with a width of 420 and a height of 75. The hole is positioned 75 units from the top and bottom edges of the plate. The drawing includes dimension lines and arrows indicating the measurements.

S=1:15



- 注 記
1. アンカーボルト孔位置は鉄筋探査後決定のこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. 特記なきスーラフは全てR50とする。
  4. 部材は全て溶融亜鉛メッキを施す。  
アンカーボルトはネジ切り部、ナット類のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。  
(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD777 とする。ただし、  
部材・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD749 とする。)
  5. 工場製作はアンカーボルト剛孔位置等、  
現場実測確認のうえ行うものとする。
- 印のボルトは、BM 8412W付を示す。
- [F、P] の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
- ▨ 印はフッ素塗料を示す。
- 鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面は  
パッキングを行うものとする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事	
滝ノ沢橋(上り線) AI橋合 制鋼構造 鋼製ブラケット 構造図 (その1)	
図面の種類	
縮 尺	図示 図面番号 399/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

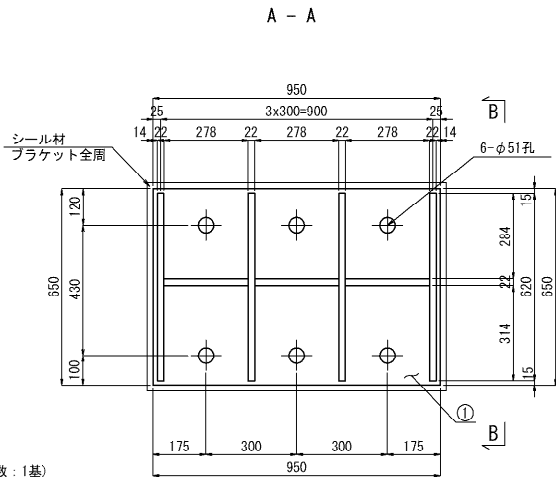
滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その2) S=1:25  
制震ダンパー2000 (±200)

400/529

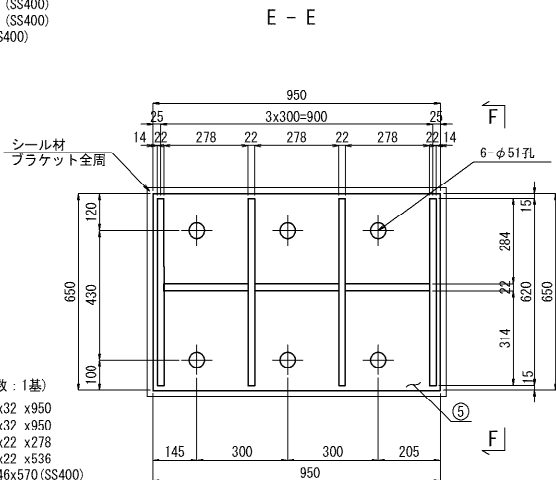
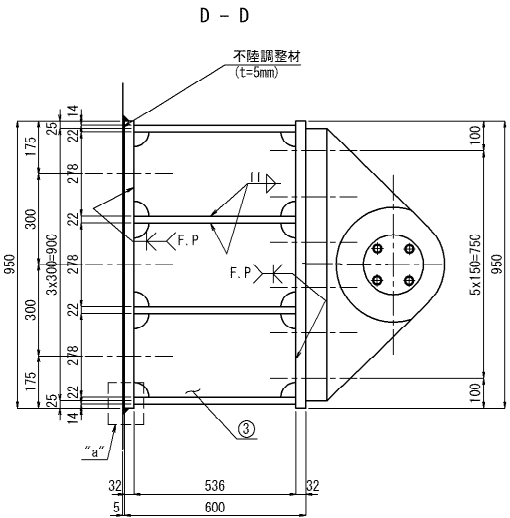
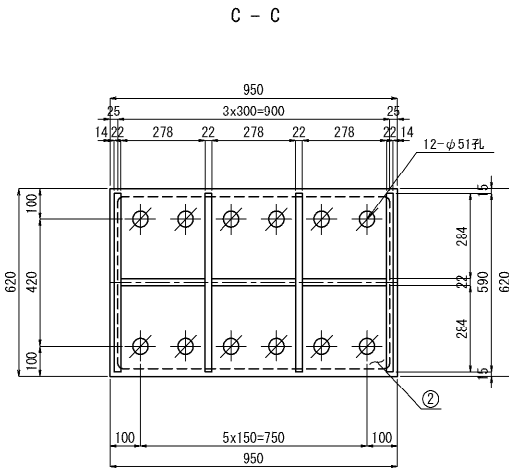
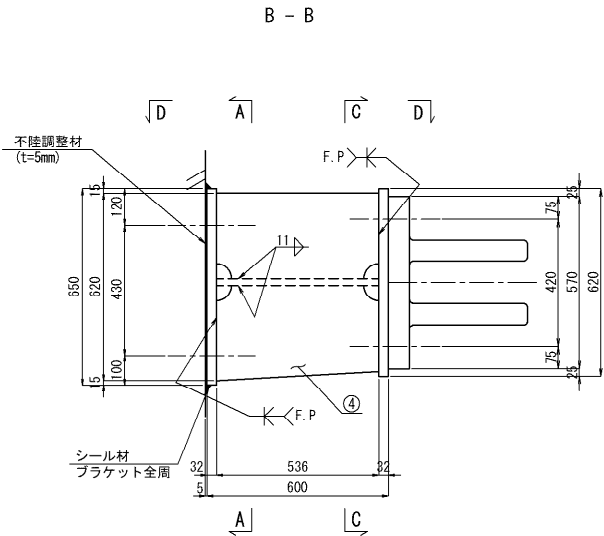
下部エブラケット詳細図

AT2桁

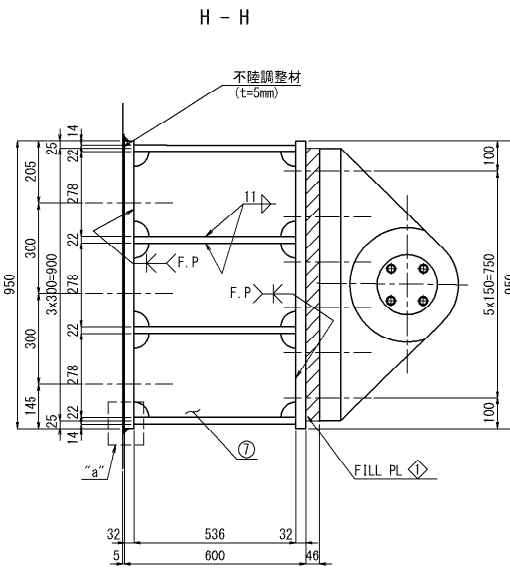
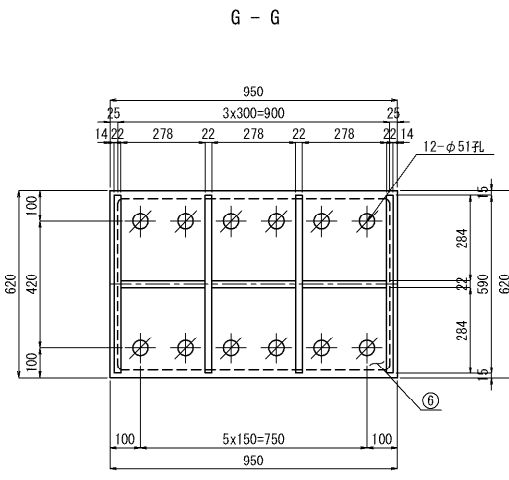
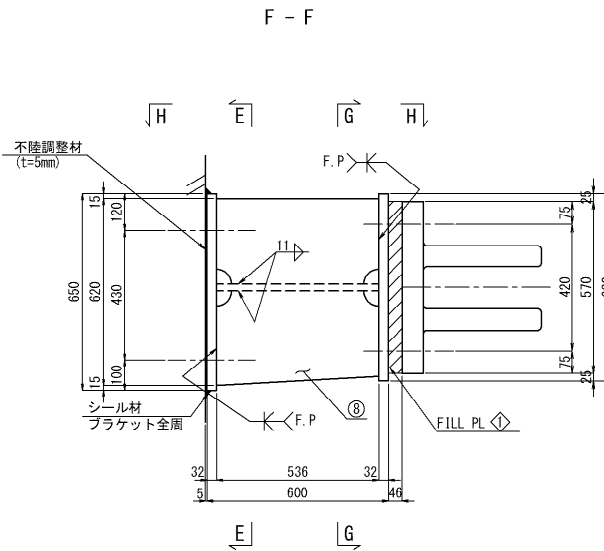
下部エブラケット③



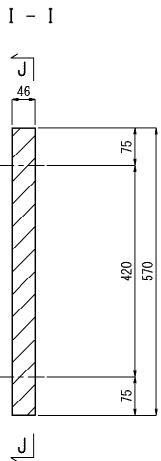
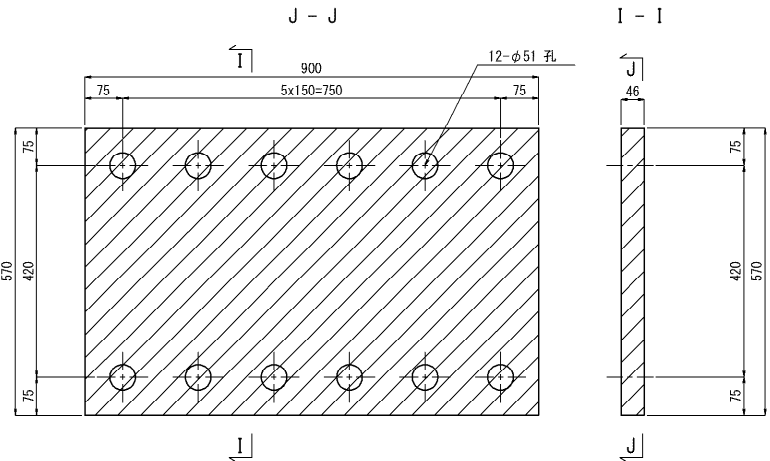
下部エブラケット③  
I基当たり数量(製作数:1基)  
①1-BASE PL 650 x32 x950  
②1-TOP PL 620 x32 x950  
③3-RIB PL 536 x22 x278  
④4-RIB PL 620 x22 x536  
6-ANC D51x900 (SD345)  
6-NUT M48 (1種) (SS400)  
6-NUT M48 (3種) (SS400)  
6-WASHER M48 (SS400)



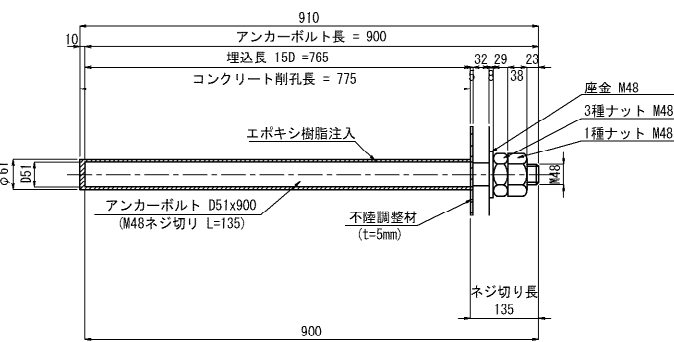
下部エブラケット④  
I基当たり数量(製作数:1基)  
⑤1-BASE PL 650 x32 x950  
⑥1-TOP PL 620 x32 x950  
⑦3-RIB PL 536 x22 x278  
⑧4-RIB PL 620 x22 x536  
⑨1-FILL PL 900x40x570 (SS400)  
6-ANC D51x900 (SD345)  
6-NUT M48 (1種) (SS400)  
6-NUT M48 (3種) (SS400)  
6-WASHER M48 (SS400)



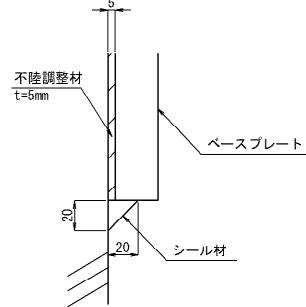
FILL PL 詳細 S=1:15



アンカーボルト詳細図 S=1:15



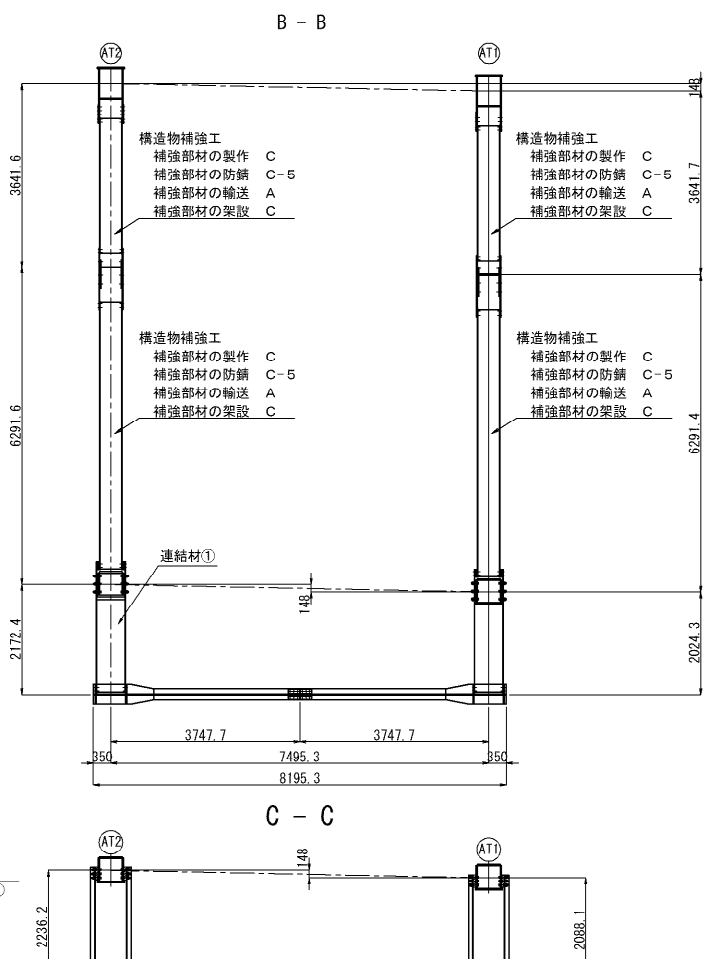
"a"部詳細 S=1:5



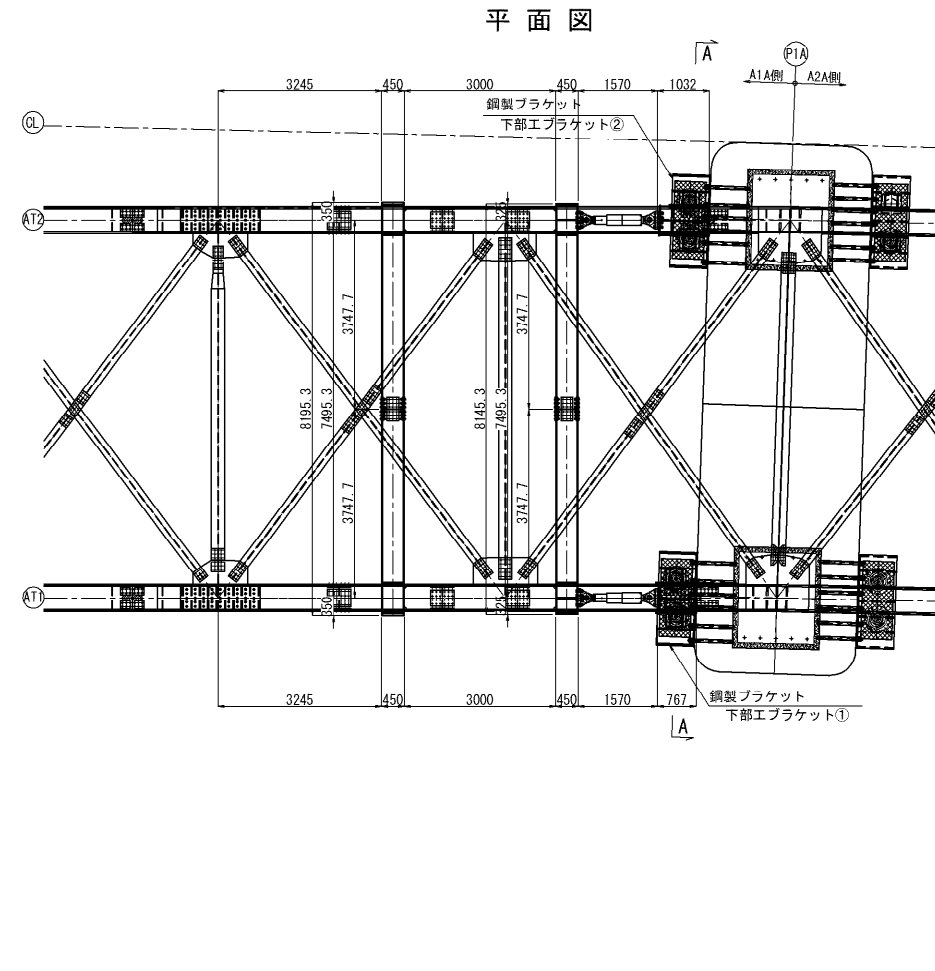
- 注 記
- アンカーボルト孔位置は鉄筋検査後決定のこと。
  - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - 特記なきスカーラップは全てR50とする。
  - 部材は全て溶融亜鉛メッキを施す。  
アンカーボルトはネジ切り部・ナット類のみ  
溶融亜鉛めっきを施すものとする。  
(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HZD177 とする。ただし、  
ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZD149とする。)
  - 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、  
現場実測確認のうえ行うものとする。
  - ※印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
  - 「F.P」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  - ※印はフィラープレートを示す。
  - 鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面は  
タッピングを行うものとする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	400/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

正面図



平面図



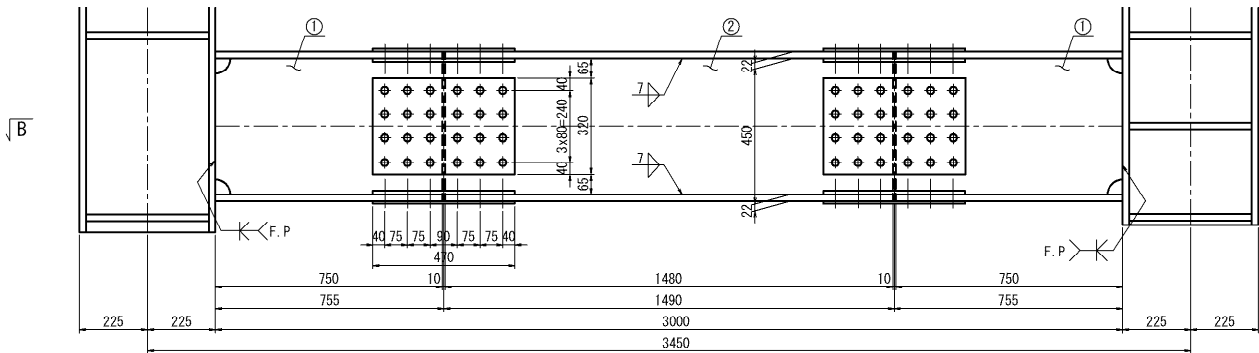
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)P1橋脚		
	制震橋造配置図		
縮尺	図示	図面番号	401/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その1) S=1:25  
制震ダンパー400 (±100)

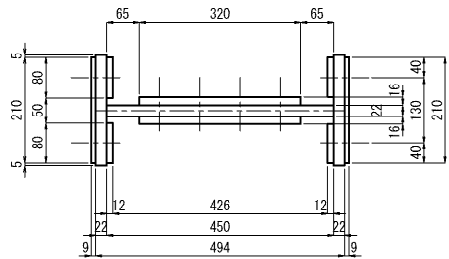
控え材

AT1桁・AT2桁

A - A

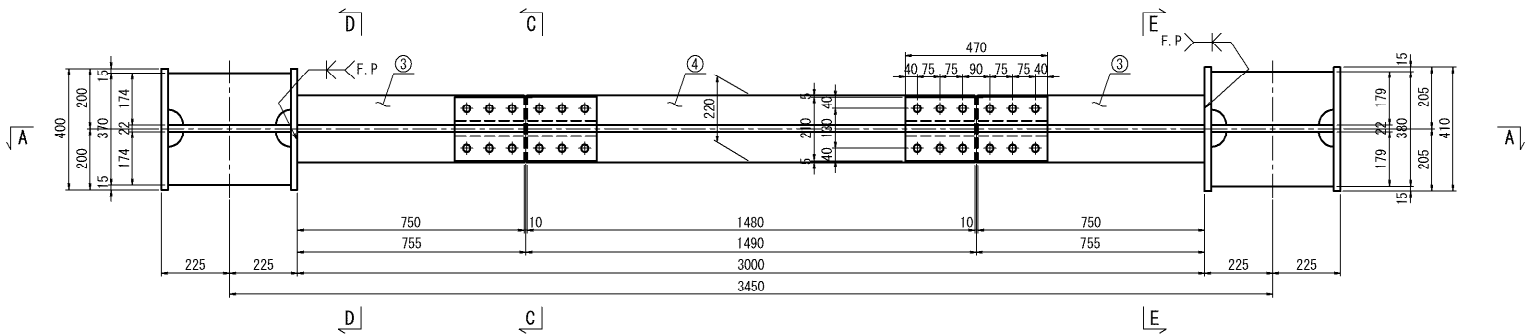


C - C S=1:15

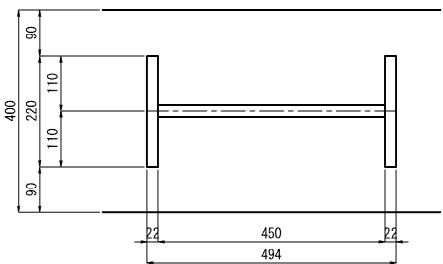


1基当たり数量(製作数:4基)  
2-SPL PL 210x9 x470 (SS400)  
4-SPL PL 80x12x470 (SS400)  
2-SPL PL 320x16x470 (SS400)  
24-TCB M22x80 (S10T)  
24-TCB M22x90 (S10T)

B - B

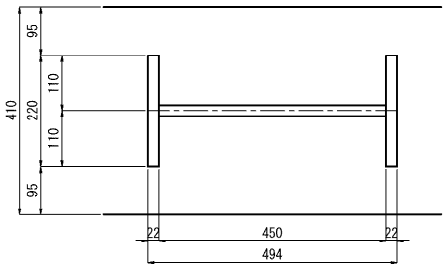


D - D S=1:15



1基当たり数量(製作数:2基)  
①2-WEB PL 450 x22 x 750  
②1-WEB PL 450 x22 x1480  
③4-FLG PL 220 x22 x 750  
④2-FLG PL 220 x22 x1480

E - E S=1:15

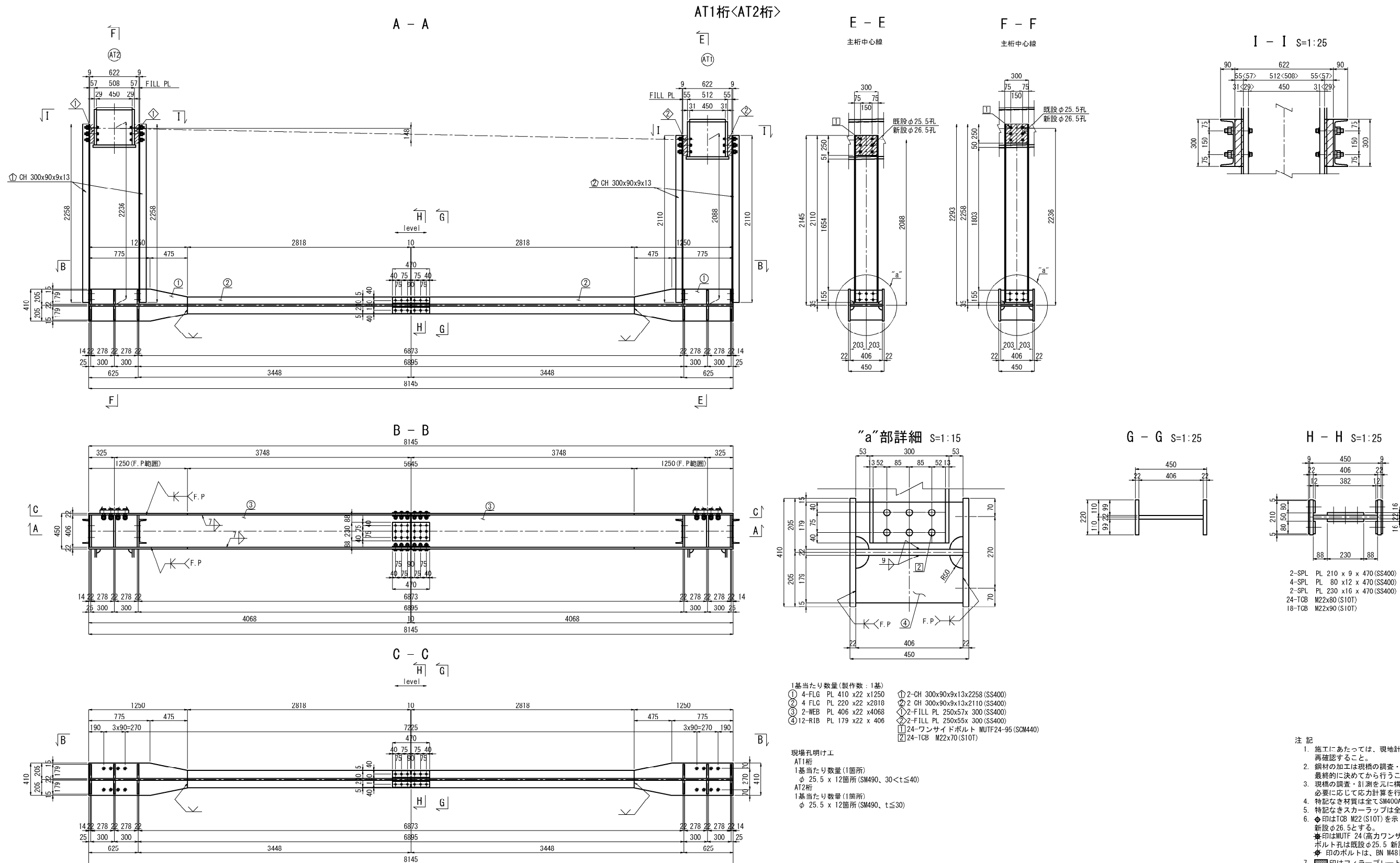


- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
  6. 印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
  7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その2) S=1:50  
制震ダンパー400 (±100)  
受け梁①

403/529



- 1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 4-FLG PL 410 x22 x1250
  - ② 4 FLG PL 220 x22 x2018
  - ③ 2-WEB PL 406 x22 x4068
  - ④ 12-R1B PL 179 x22 x 406
- ① 2-CH 300x90x9x13x2258 (SS400)
- ② 2 CH 300x90x9x13x2110 (SS400)
- ③ 2-FILL PL 250x57x 300 (SS400)
- ④ 2-FILL PL 250x55x 300 (SS400)
- ⑤ 24-ワンサイドボルト MUTF24-95 (SCM440)
- ⑥ 24-TCB M22x70 (S10T)

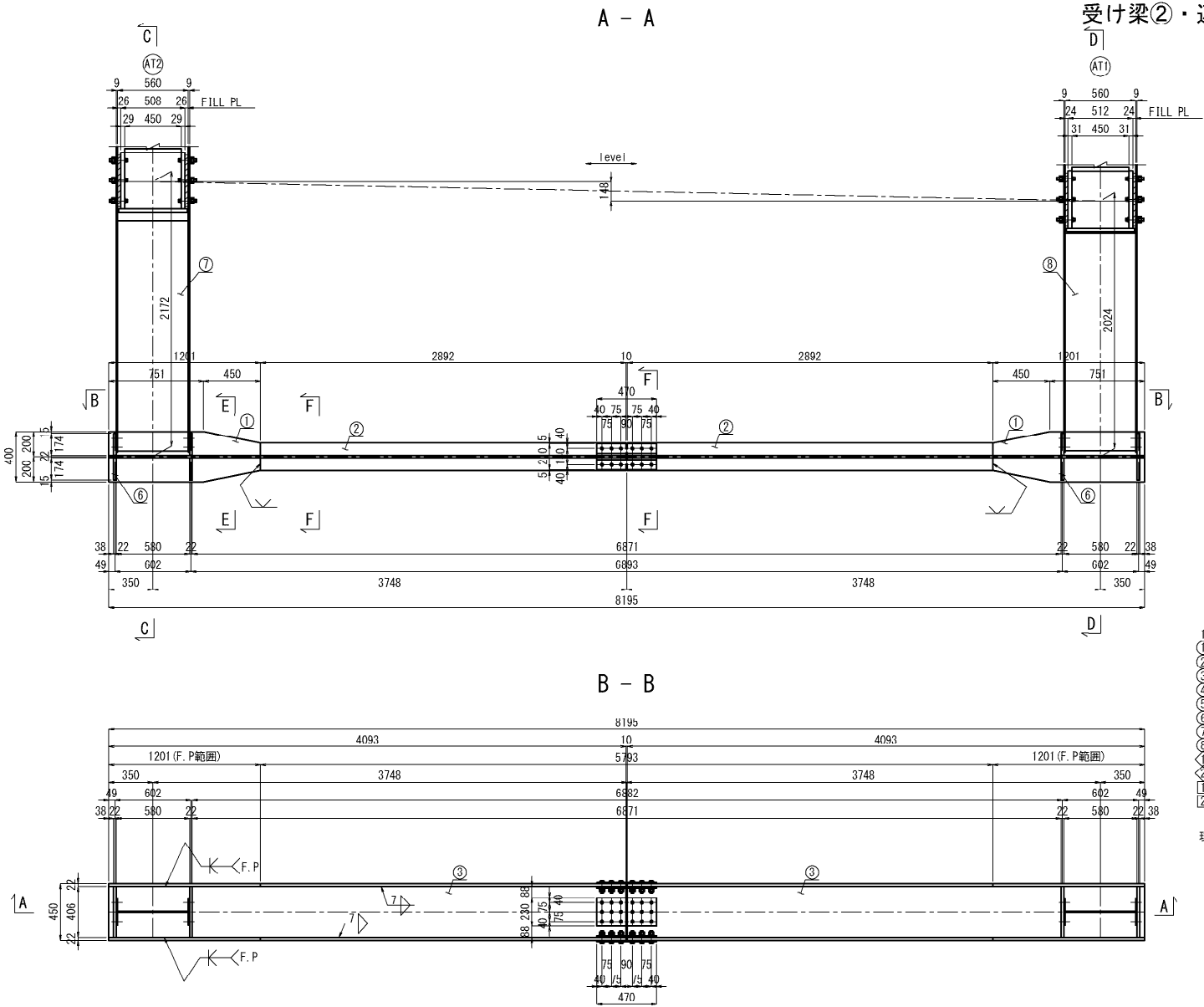
- 現場孔明け工
- AT1桁
- 1基当たり数量(1箇所)
- φ 25.5 x 12箇所 (SM490、30<t≤40)
- AT2桁
- 1基当たり数量(1箇所)
- φ 25.5 x 12箇所 (SM490、t≤30)

- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
  6. ⑤印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
⑥印はMUTF 24 (高カワンスライドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。  
⑦印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
  7. ⑧印はフィラープレートを示す。
  8. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  9. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

図面の種類	長野自動車道 五常橋床版取替工事		
	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	403/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

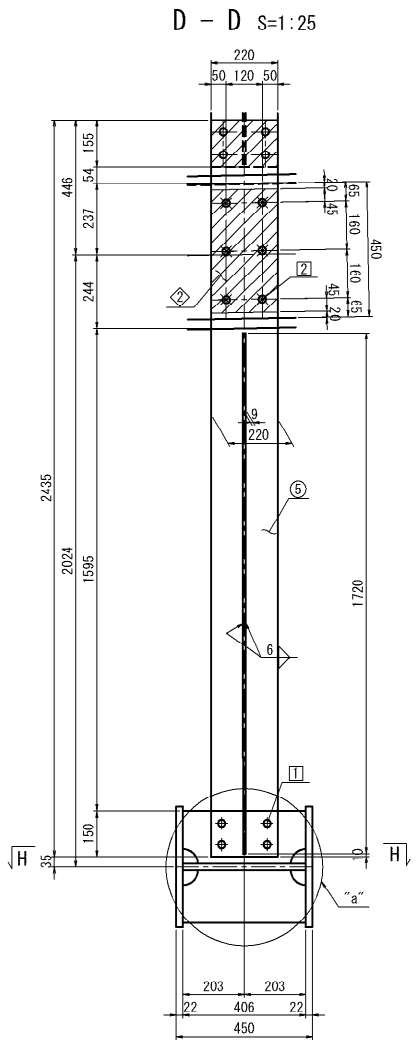
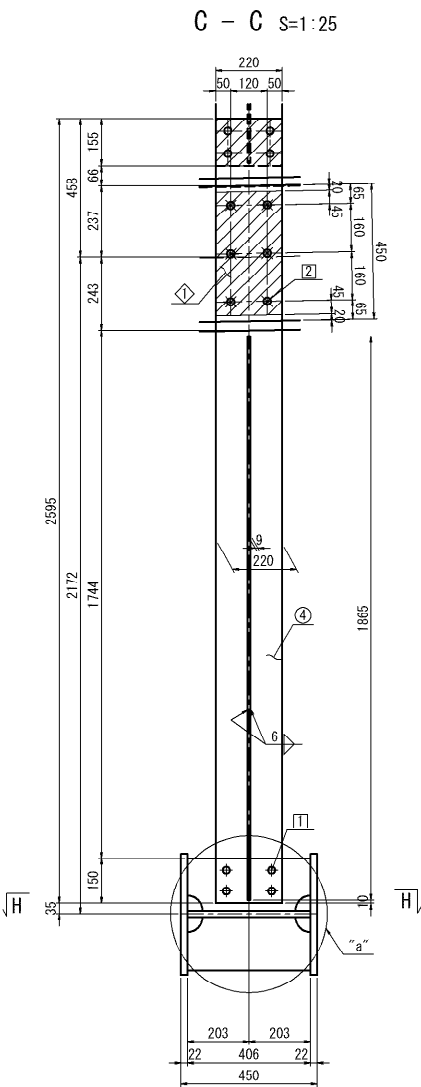
滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その3) S=1:50

制震ダンパー400 (±100)  
受け梁②・連結材①

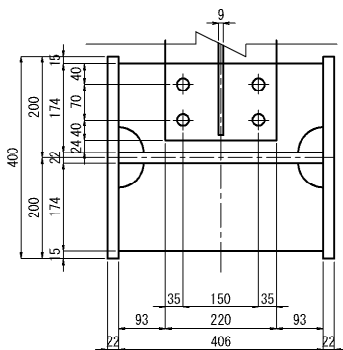


- 1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 4-FLG PL 400 x22 x1201
  - ② 4-FLG PL 220 x22 x2892
  - ③ 2-WEB PL 406 x22 x4093
  - ④ 2-Guss PL 220 x9 x2595
  - ⑤ 2-Guss PL 220 x9 x2435
  - ⑥ 8-RIB PL 174 x22 x 406
  - ⑦ 1-WEB PL 560 x 9 x1865
  - ⑧ 1-WEB PL 560 x 9 x1720
  - ⑨ 2-FILL PL 220 x29 x 414 (SS400)
  - ⑩ 2-FILL PL 220 x24 x 414 (SS400)
  - ⑪ 16-TGB M22x70 (S10T)
  - ⑫ 24-ワンサイドボルト MUTF24-65 (SCM440)

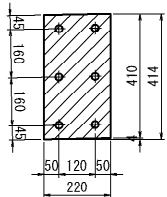
- 現場孔明け工
- AT1桁  
1基当たり数量(1箇所)  
φ 25.5 x 12箇所 (SM490、30<t≤40)
- AT2桁  
1基当たり数量(1箇所)  
φ 25.5 x 12箇所 (SM490、t≤30)



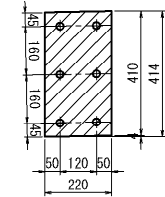
“a”部詳細 S=1:15



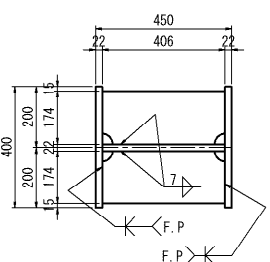
① 詳細 S=1:25  
t=29mm



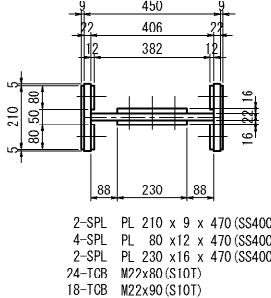
② 詳細 S=1:25  
t=24mm



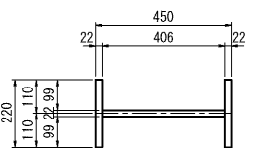
E - E S=1:25



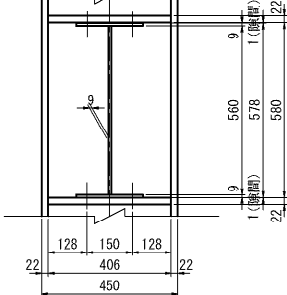
F - F S=1:25



G - G S=1:25



H - H S=1:25



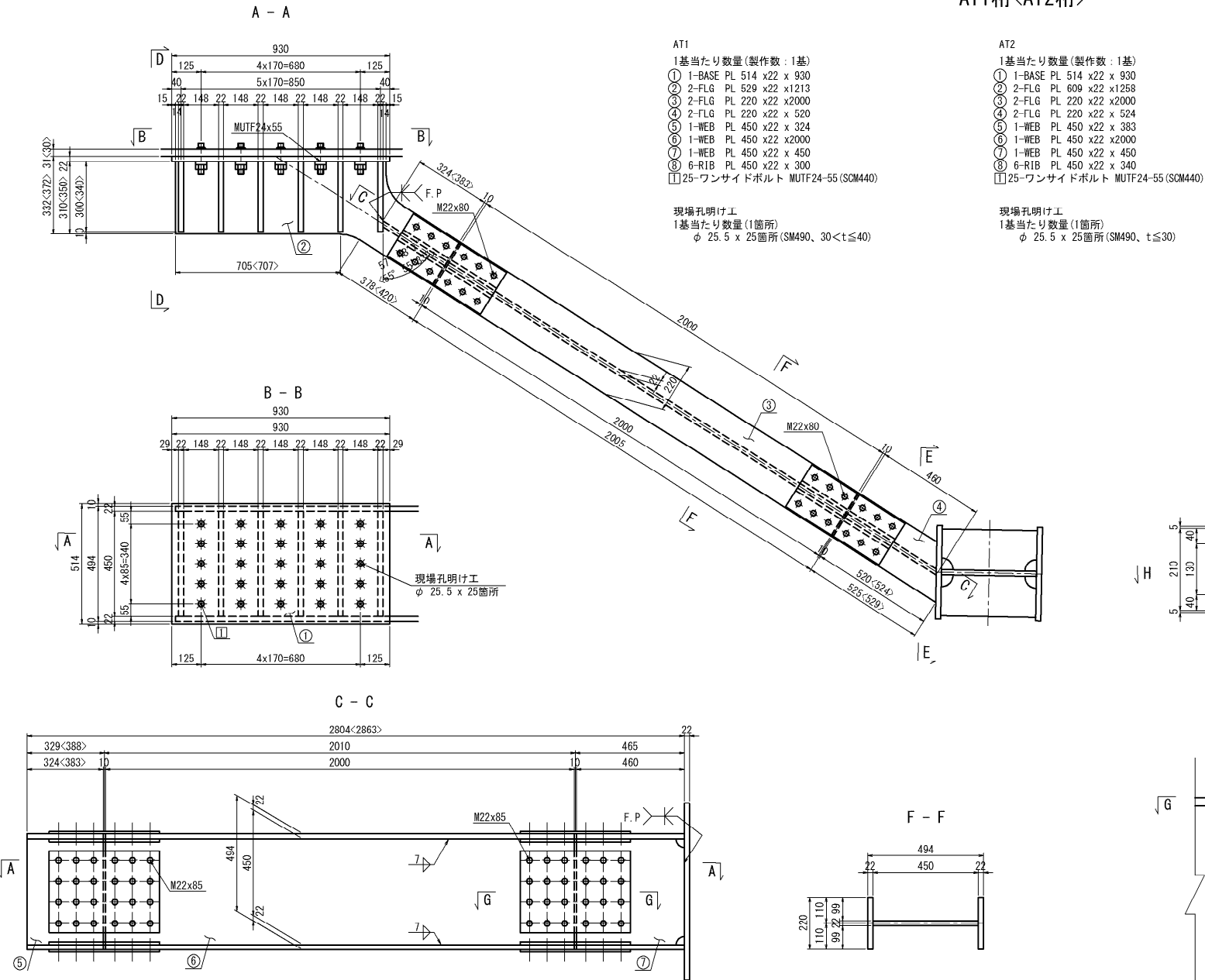
- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. 特記なきスカーリップは全てR50とする。
  6. ④印はTGB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUTF 24 (高力ワンサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。  
★印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
  7. ⑨印はフィラープレートを示す。
  8. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  9. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	404/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

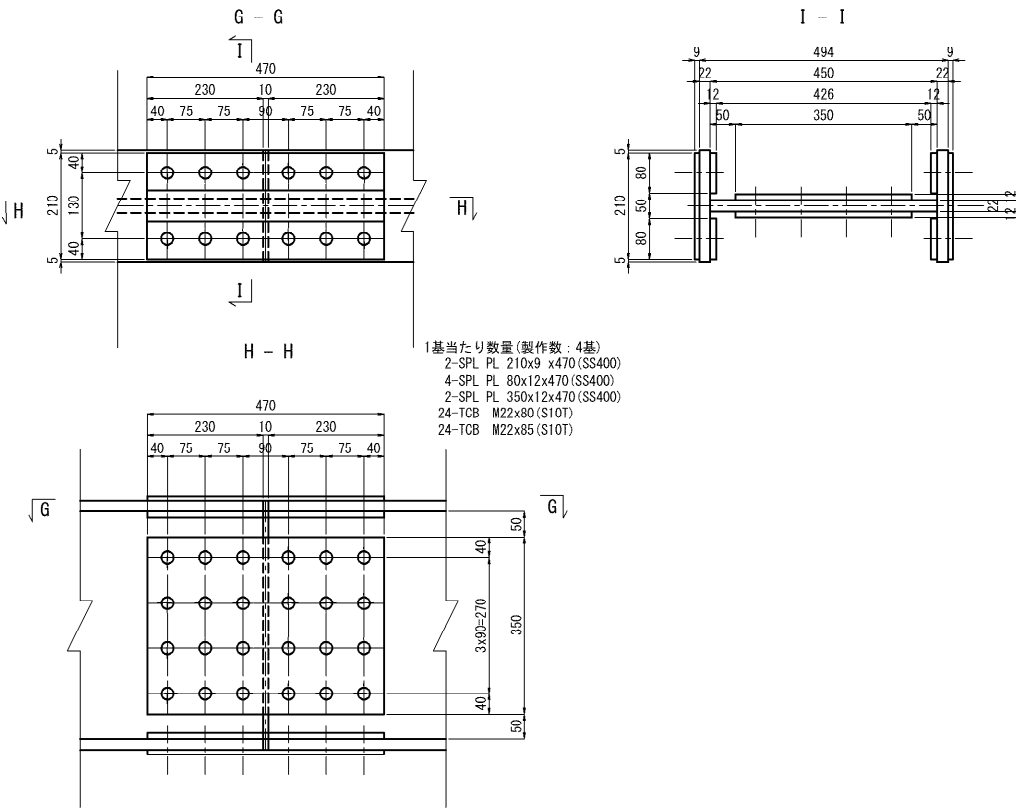
滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その4) S=1:25  
制震ダンパー400 (±100)

連結材②

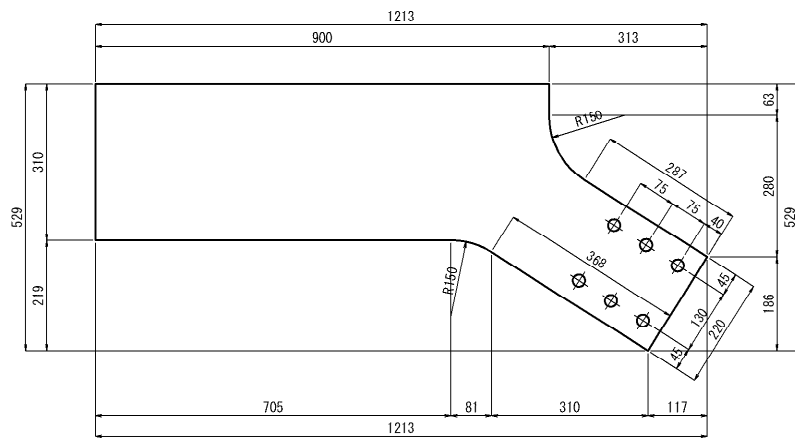
AT1桁<AT2桁>



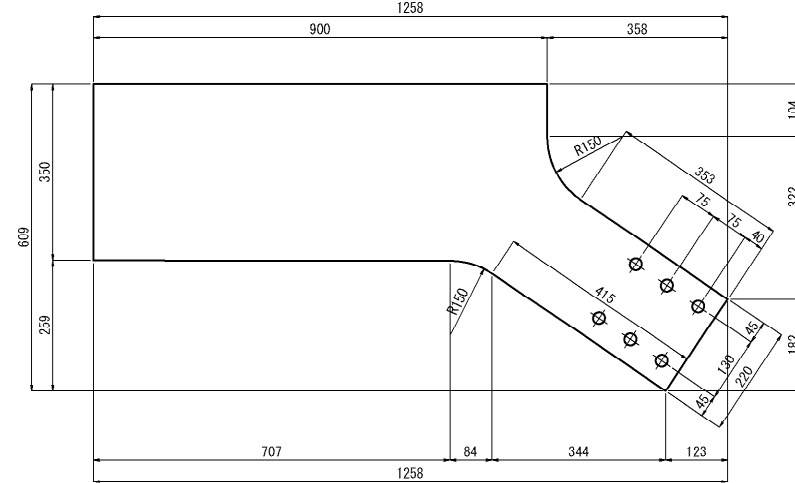
添接部詳細 S=1:15



AT1桁②詳細 S=1:15



AT2桁②詳細 S=1:15



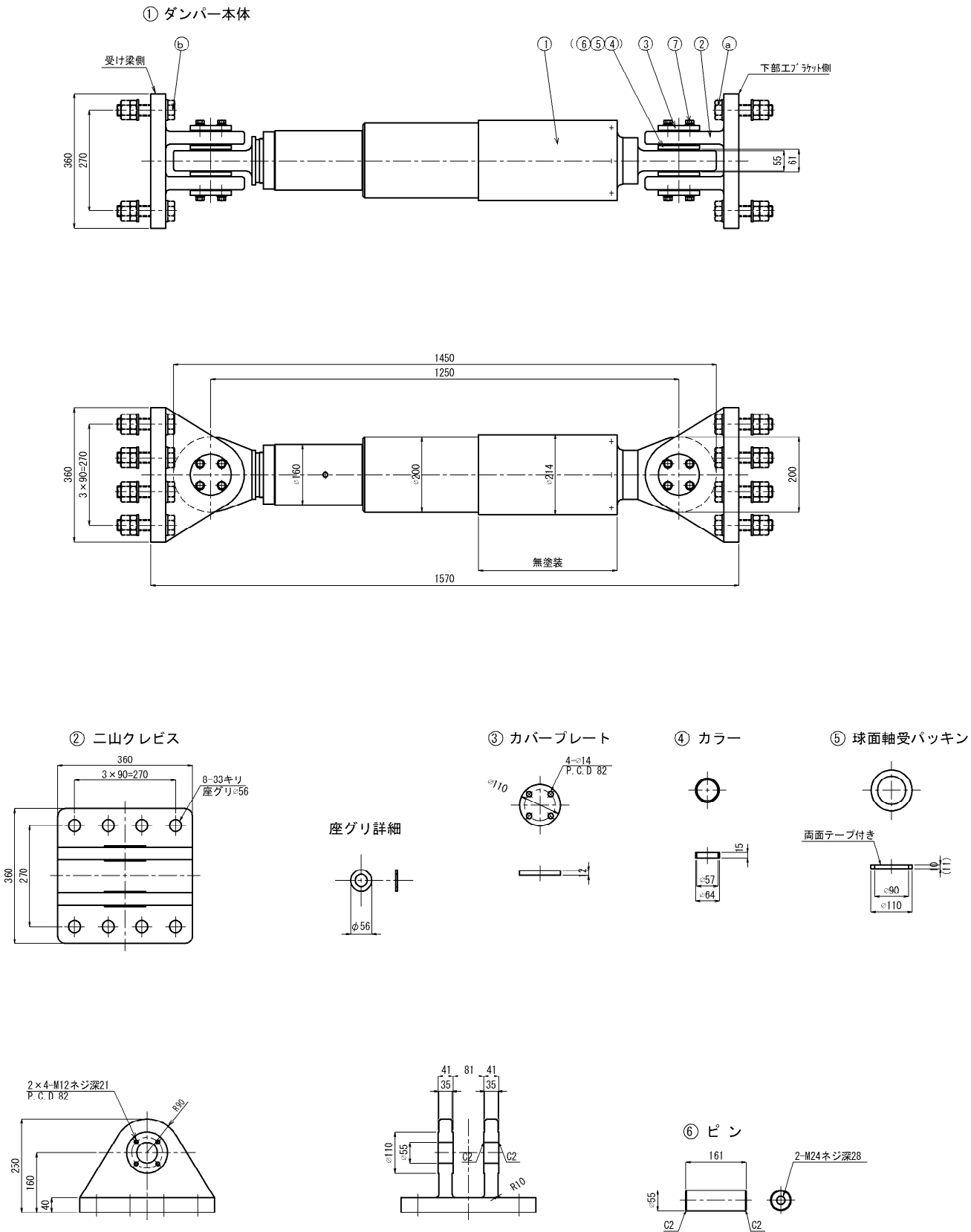
- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. 特記なきスカラーアップは全てR50とする。
  6. φ印はTCB W22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUTF 24 (高力ワンサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
  7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 制震構造詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	405/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



制震ダンパー４００（±１００）

製作数：２組



規格表

ダンパー仕様			
抵抗力	F	400	kN
ストローク	$\delta$	± 100	mm
鋼製部材設計力	P	520	kN
移動量			
L2地震時最大変位	$\delta_e$	± 30	mm
片温度変化移動量	$\Delta t$	± 0	mm
施工誤差吸収量	$\delta_o$	± 5	mm
桁回転移動量	Z	± 22	mm

注) ストロークは  
L2地震時最大移動量+片温度変化移動量+施工誤差吸収量+桁回転移動量以上を確保することを基本とする。  
必要ストローク  $\delta_{req} = \delta_e + \Delta t + \delta_o + Z = 30 + 0 + 5 + 22 = 57\text{mm} < 100\text{mm}$   
片温度変化移動量  $\Delta t = 0 \times 0.72 = 0\text{mm}$

材料表

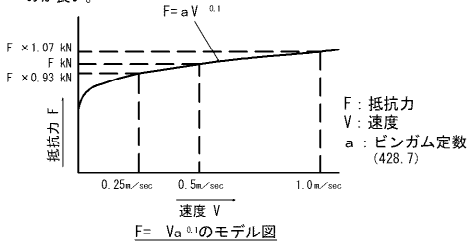
部番	部品名称	材質	個数	質量(kg)	備考
①	ダンパー本体	-	1	220.5	
②	ニ山クレビス	SM490N またはSM490A	2	126.3	
③	カバープレート	SS400	4	3.3	
④	カラー	SS400	4	0.3	
5	球面軸受パッキン	クロロブレンスポンジゴム	4	0.1	
6	ピン	SUS630	2	5.6	
⑦	六角ボルト	-	16	1.0	JIS B 1180 (1-ばね座金, 平座金)
				357.1	(kg)

- 注1) H印は塗装仕様、O印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。
- 注2) 上部工とダンパー本体を結ぶ上部工架台および下部工とダンパー本体を結ぶ下部工架台は、③④ 六角ボルト締付け完了後に上下部工架台と下部工を本固定すること。
- 注3) ダンパー本体長さ寸法は、ストローク中立位置（伸びる側にも縮む側にも、表記ストローク値だけ伸縮可能なセンター位置）での長さ寸法。
- 注4) 制振ダンパーは抵抗力特性が速度の0.1乗に比例し、地震時速度における抵抗力変化が非常に小さい。

各速度における抵抗力は、

速度	抵抗力
0.25 m/sec	-7 %
0.5 m/sec	定格抵抗力
1.0 m/sec	7 %

となる。  
このことから、動的解析を行なう際はバイリニアモデルを適用することができる。  
また、動的解析ソフトが速度依存を考慮した解析を行なうことが可能な場合、 $F = a V^{0.1}$  の速度依存式に基づくモデルを用いるのが良い。



制震ダンパーは上記の性能を有する製品を使用することとし、上記の性能と異なる製品を使用する場合は、橋梁全体の照査を行うこと。

- ⑦ 六角ボルト 中 M12×35 8.8  
(1-ばね座金, 平座金)

材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量(kg)	備考
⑧	六角ボルト・ナット	-	8	m	JIS B 1180, JIS B 1181 (2-平座金)
⑨	六角ボルト・ナット	-	8	11.808	JIS B 1180, JIS B 1181 (2-平座金)

注5) 特に指定なき場合、O印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。

- ⑧ 六角ボルト 中 M30×L 8.8  
六角ナット 中 M30 8 (1種, 3種)  
(2-平座金)
- ⑨ 六角ボルト 中 M30× 8.8  
六角ナット 中 M30 8 (1種, 3種)  
(2-平座金)

注6) ⑧、⑨の六角ボルトをねじ込み固定の際は、平座金、ばね座金各1枚使用を推奨。

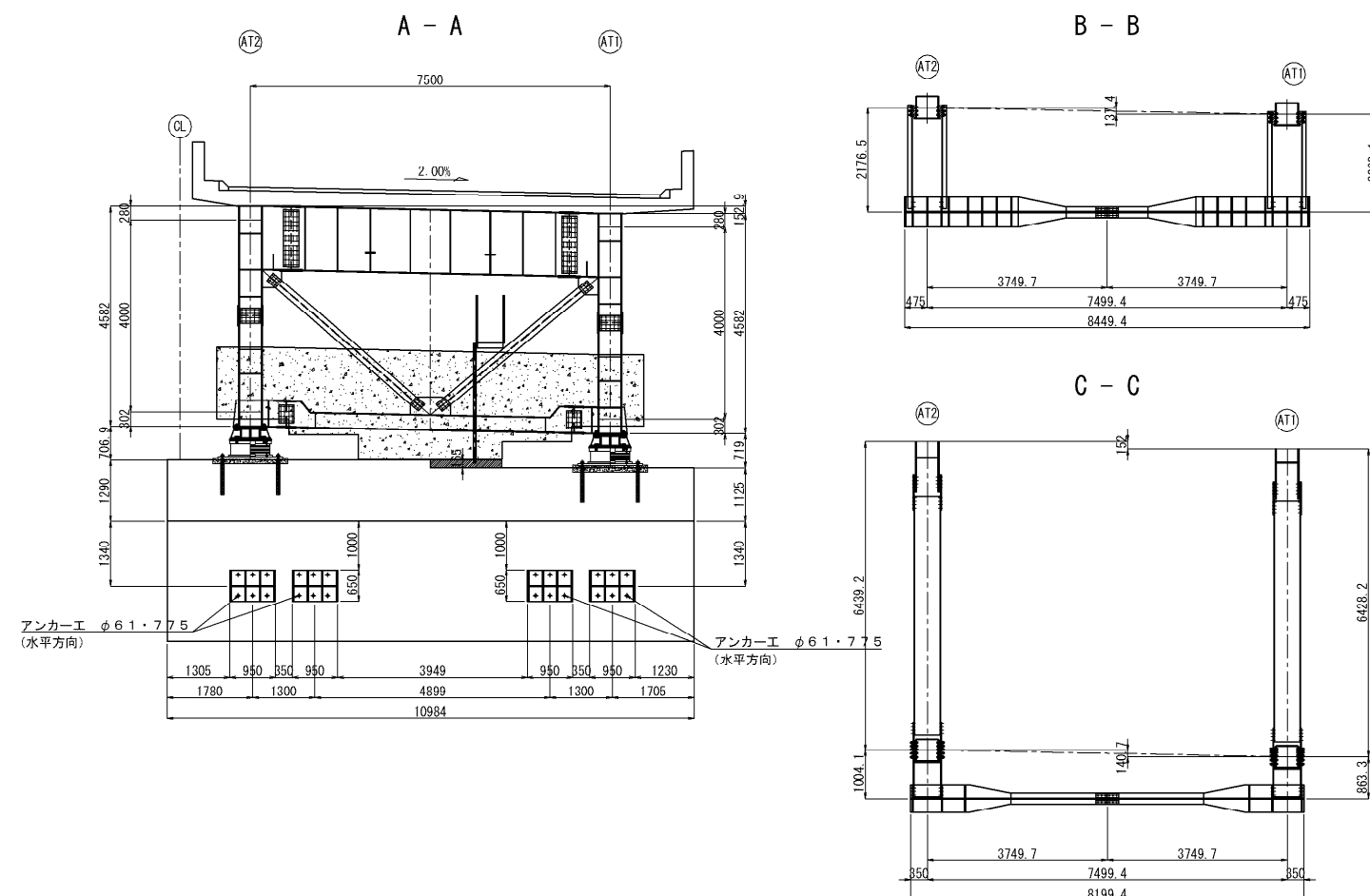
部番	部品名称	個数	質量(kg)	L(mm)
⑩	AT1桁 下部エブラケット①	8	11.888	130
	AT2桁 下部エブラケット②	8	13.032	160

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚		
	制震構造詳細図(その5) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	406/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

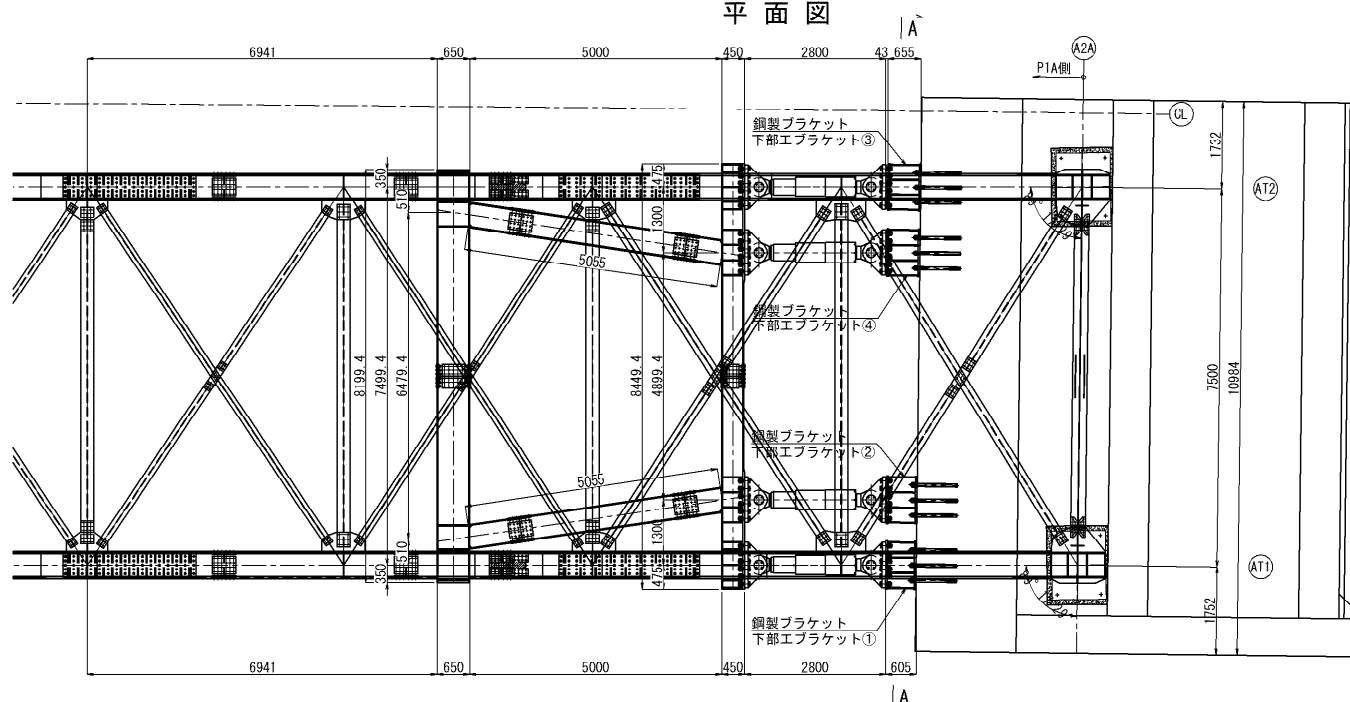




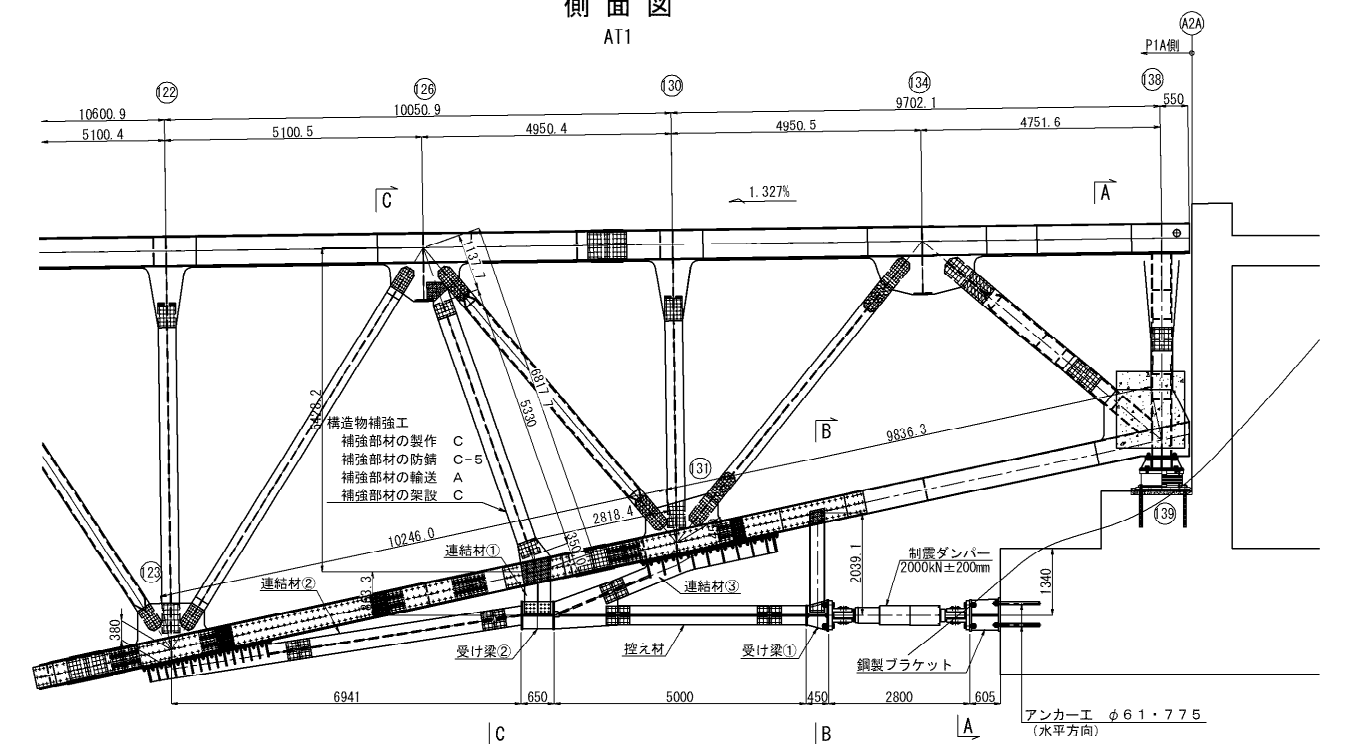
正面図



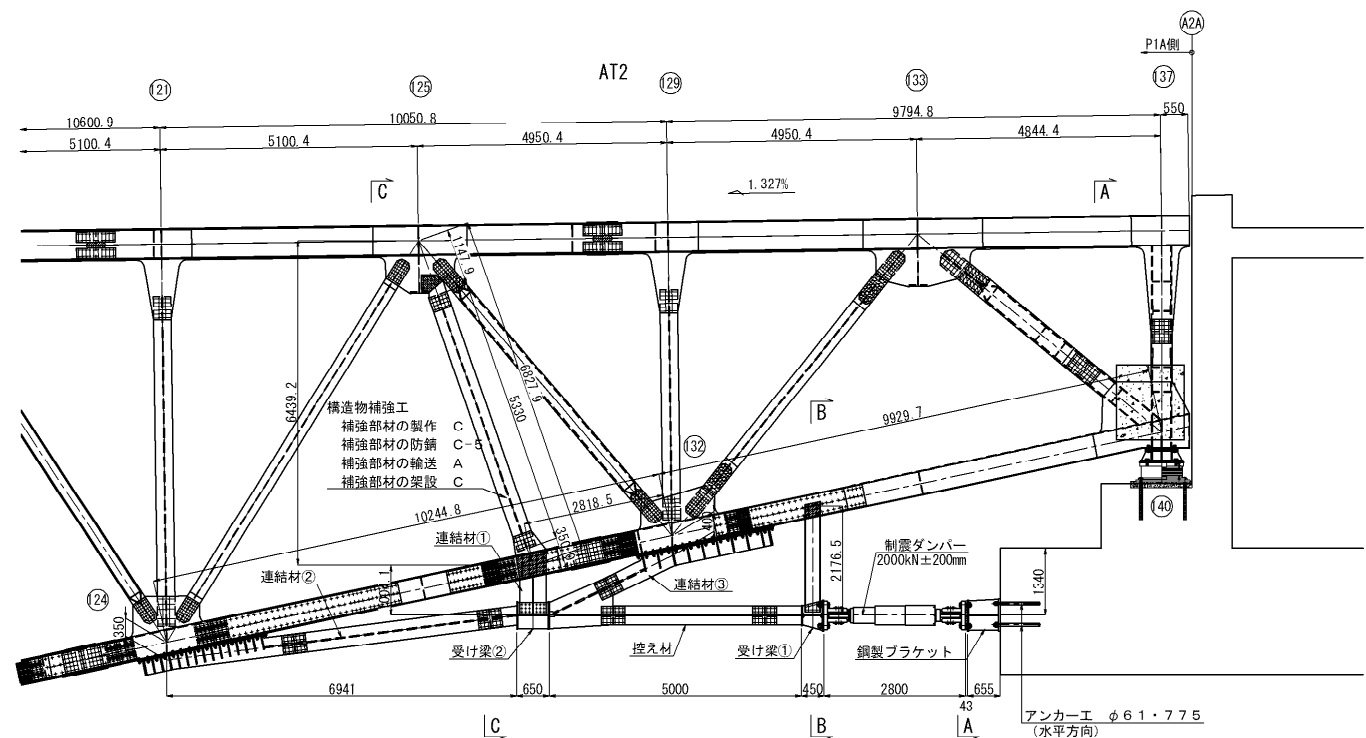
平面图



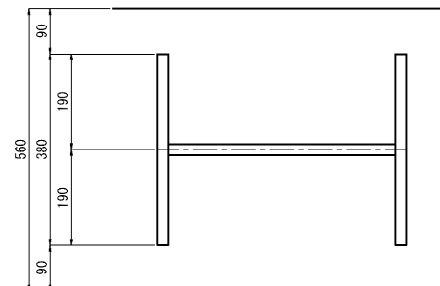
側 面 図  
AT1



AT2 129



長 野 自 動 車 道 五 常 橋 仮 販 取 替 工 事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造配置図		
縮 尺	1:150	図面番号	409/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

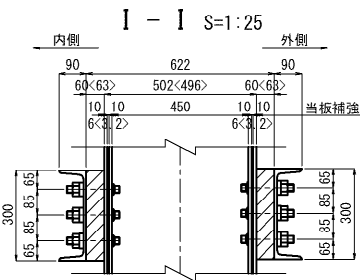
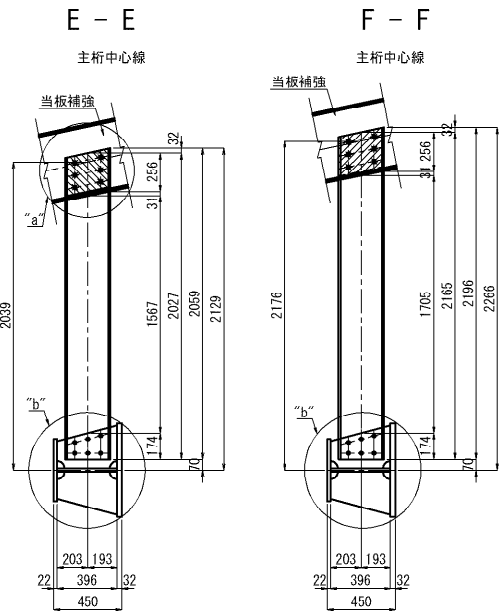
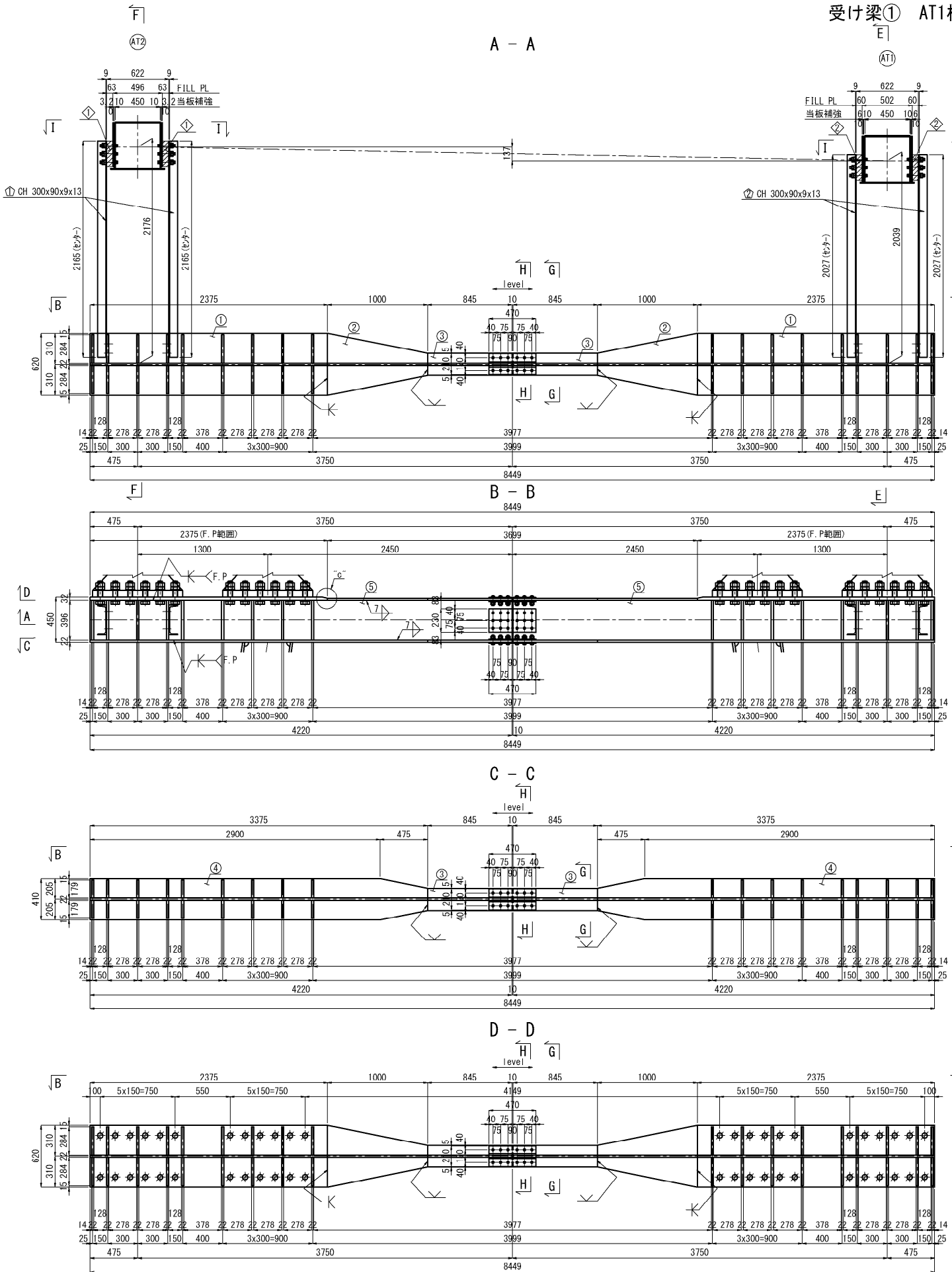


- 1基当たり数量(製作数:2基)
- |   |       |                  |
|---|-------|------------------|
| ① | 1-WEB | PL 450 x22 x1048 |
| ② | 1-WEB | PL 450 x22 x3300 |
| ③ | 1-WEB | PL 450 x22 x 753 |
| ④ | 1-WEB | PL 450 x22 x1160 |
| ⑤ | 1-WEB | PL 450 x22 x3000 |
| ⑥ | 1-WEB | PL 450 x22 x 720 |
| ⑦ | 2-FLG | PL 380 x22 x 720 |
| ⑧ | 2-FLG | PL 380 x22 x3000 |
| ⑨ | 1-FLG | PL 380 x22 x 981 |
| ⑩ | 2-FLG | PL 380 x22 x3300 |
| ⑪ | 1-FLG | PL 380 x22 x 757 |
| ⑫ | 1-FLG | PL 380 x22 x1051 |
| ⑬ | 1-FLG | PL 380 x22 x 687 |

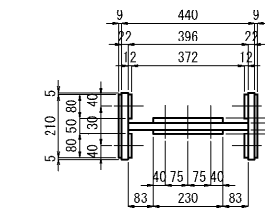
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その2) S=1:50  
制震ダンパー2000 (±200)

411/529

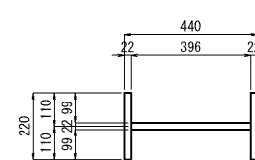
受け梁① AT1桁<AT2桁>



H - H S=1:25

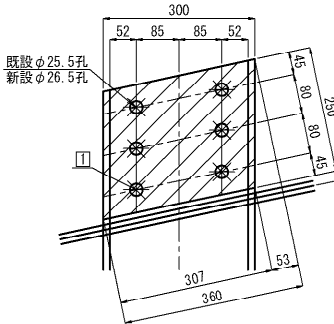


G - G S=1:25

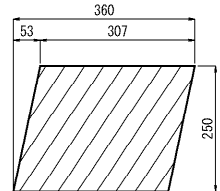


2-SPL PL 210 x 9 x 470 (SS400)  
4-SPL PL 80 x12 x 470 (SS400)  
2-SPL PL 230 x16 x 470 (SS400)  
24-TCB M22x80 (S10T)  
18-TCB M22x90 (S10T)

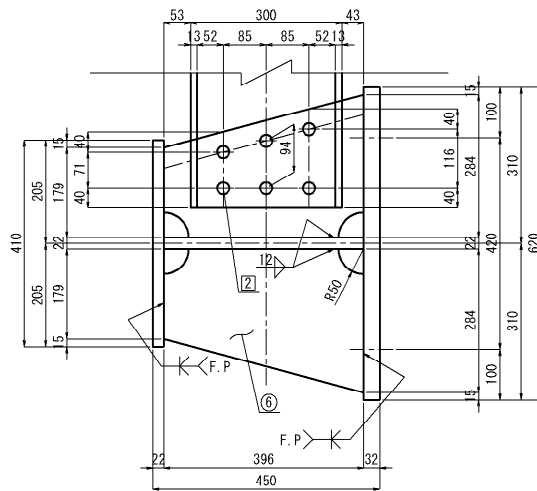
“a”部詳細 S=1:15



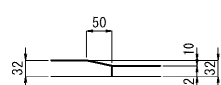
FILL PL 詳細 S=1:15



“b”部詳細 S=1:15



“c”部詳細 S=1:15



- 1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 2-FLG PL 620 x32 x2375
  - ② 2-FLG PL 620 x22 x1000
  - ③ 4-FLG PL 220 x22 x 845
  - ④ Z+LG PL 410 x22 x33/5
  - ⑤ 2-WEB PL 396 x22 x4220
  - ⑥ 36-RIB PL 284 x22 x 396
  - ⑦ 2-CH 300x90x9x13x2196 (SS400)
  - ⑧ 2-CH 300x90x9x13x2059 (SS400)
  - ⑨ 2-FILL PL 250x63x 360 (SS400)
  - ⑩ 2+ILL PL 250x60x 360 (SS400)
  - ⑪ 24-ファンサイドボルト MUTF24-95 (SCM440)
  - ⑫ 24-TCB M22x70 (S10T)

現場孔明け工  
1基当たり数量(1箇所)  
φ 25.5 x 24箇所 (SM490、t≤30)

- 注 記
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  - 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  - 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  - 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  - 特記なきスカーラップは全てR50とする。
  - 印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUTF 24 (高ファンサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
  - 印はファイバープレートを示す。
  - 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  - 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	411/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その3) S=1:50

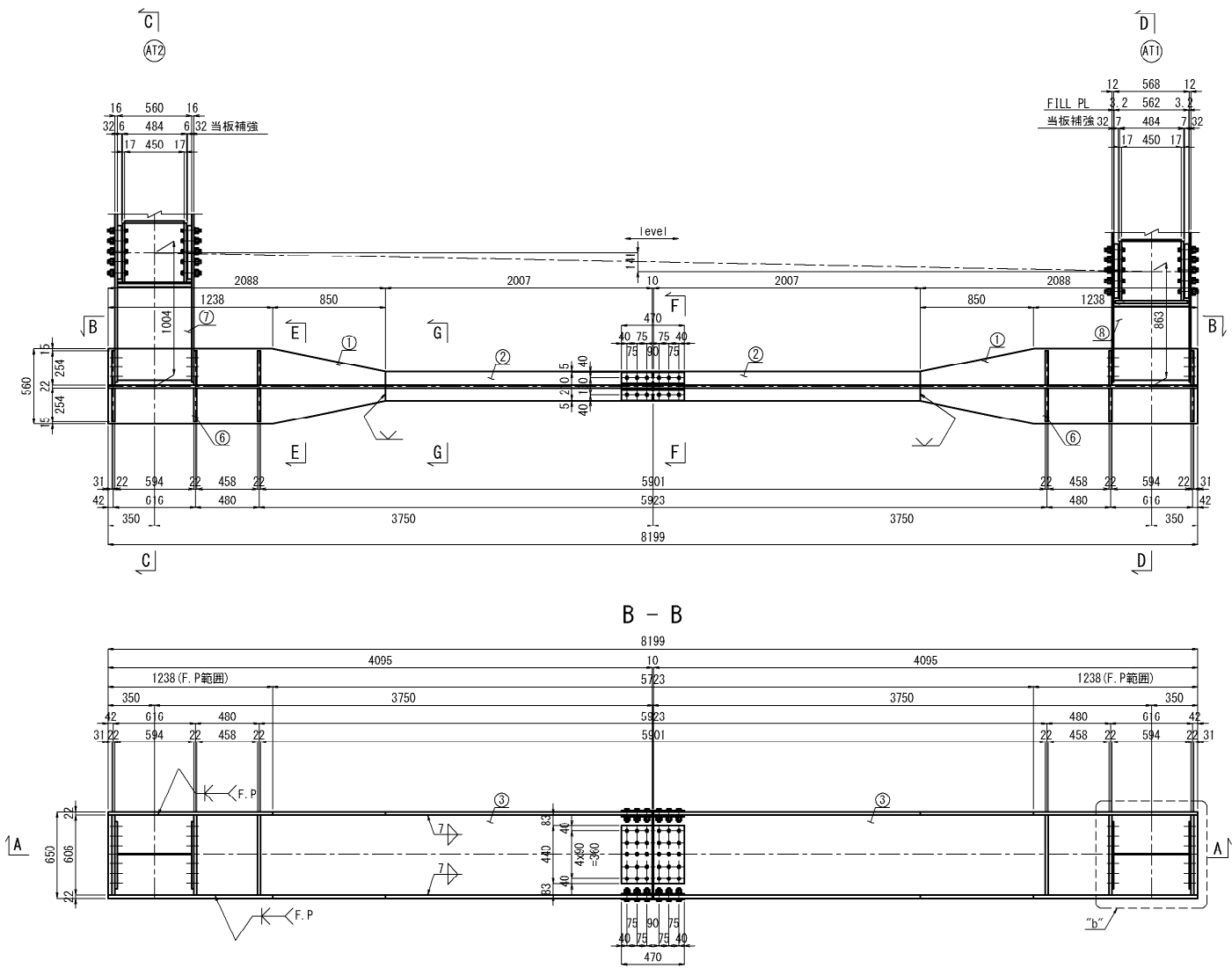
制震ダンパー2000 (±200)

受け梁②・連結材①

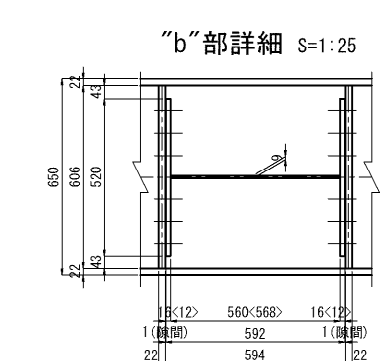
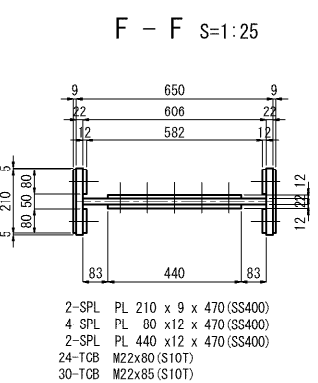
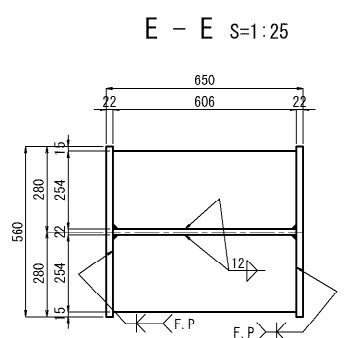
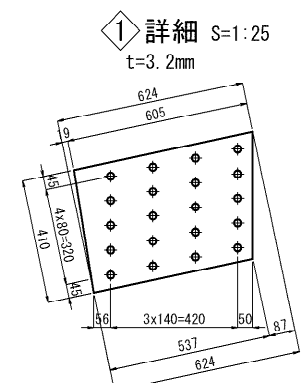
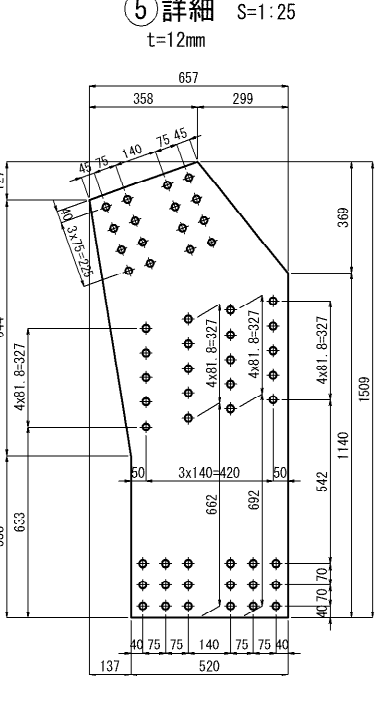
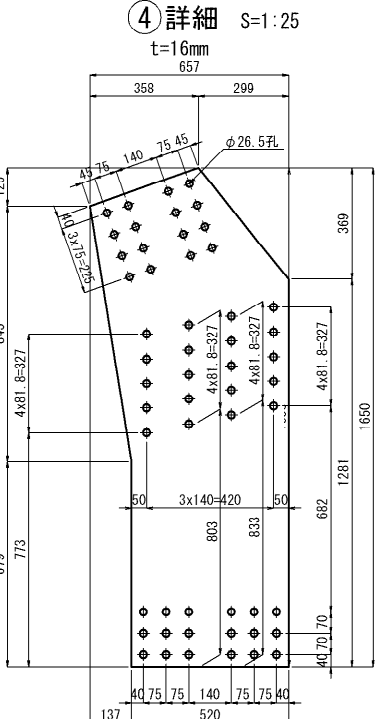
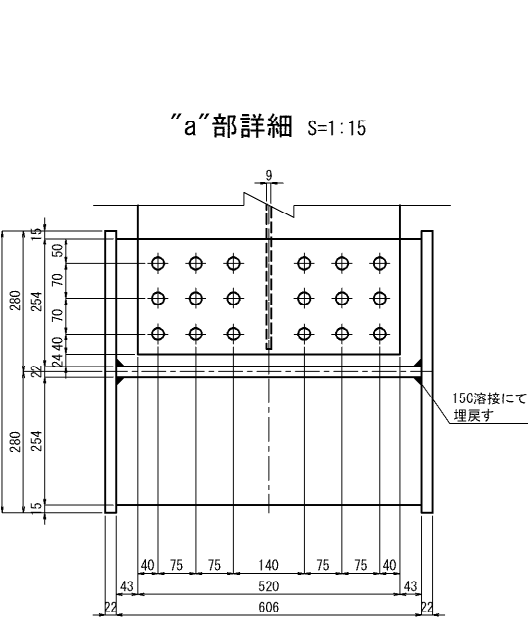
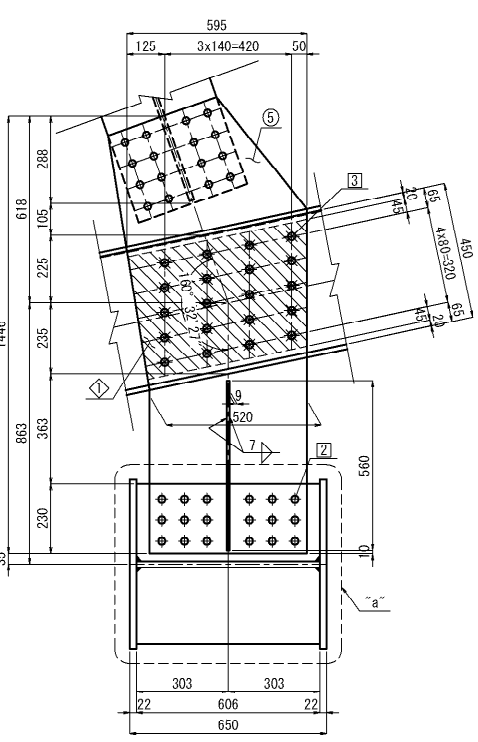
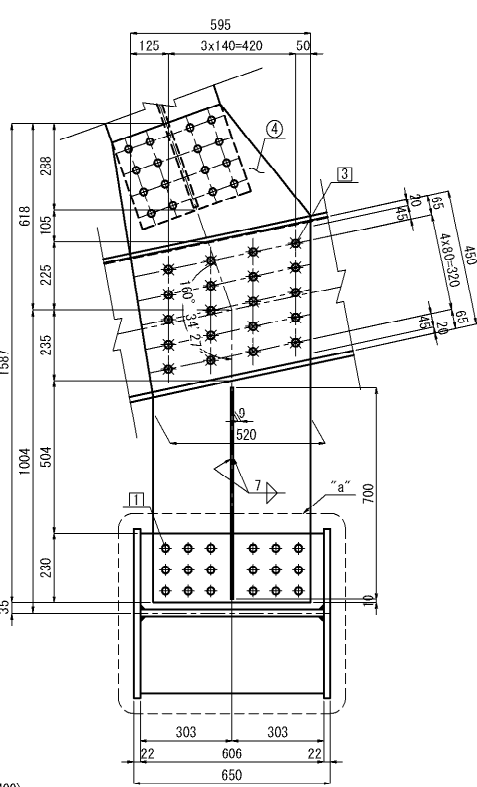
C - C S=1:25

D - D S=1:25

A - A



- 1基当たり数量(製作数:1基)
- ① 4-FLG PL 560 x22 x2088
  - ② 4-FLG PL 220 x22 x2007
  - ③ 2-WEB PL 606 x22 x4095
  - ④ 2-GUSS PL 657 x16 x1650
  - ⑤ 2-GUSS PL 657 x12 x1509
  - ⑥ 12-RIB PL 254 x22 x 606
  - ⑦ 1-WEB PL 560 x 9 x 700
  - ⑧ 1-WEB PL 560 x 9 x 568
  - ⑨ 2-FILL PL 410 x3.2 x 624 (SS400)
  - ⑩ 36-TCB M22x75 (S10T)
  - ⑪ 36-TCB M22x70 (S10T)
  - ⑫ 80-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- 現場孔明けT  
1基当たり数量(1箇所)  
φ 25.5 x 80箇所 (SM490, t≤30)



- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. 特記なきスカーップは全てR50とする。
  6. ④印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUTF 24 (高カワンサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。  
★印のボルトは、BN M48 [2W付] を示す。
  7. 斜線印はフィラープレートを示す。
  8. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  9. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	412/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		





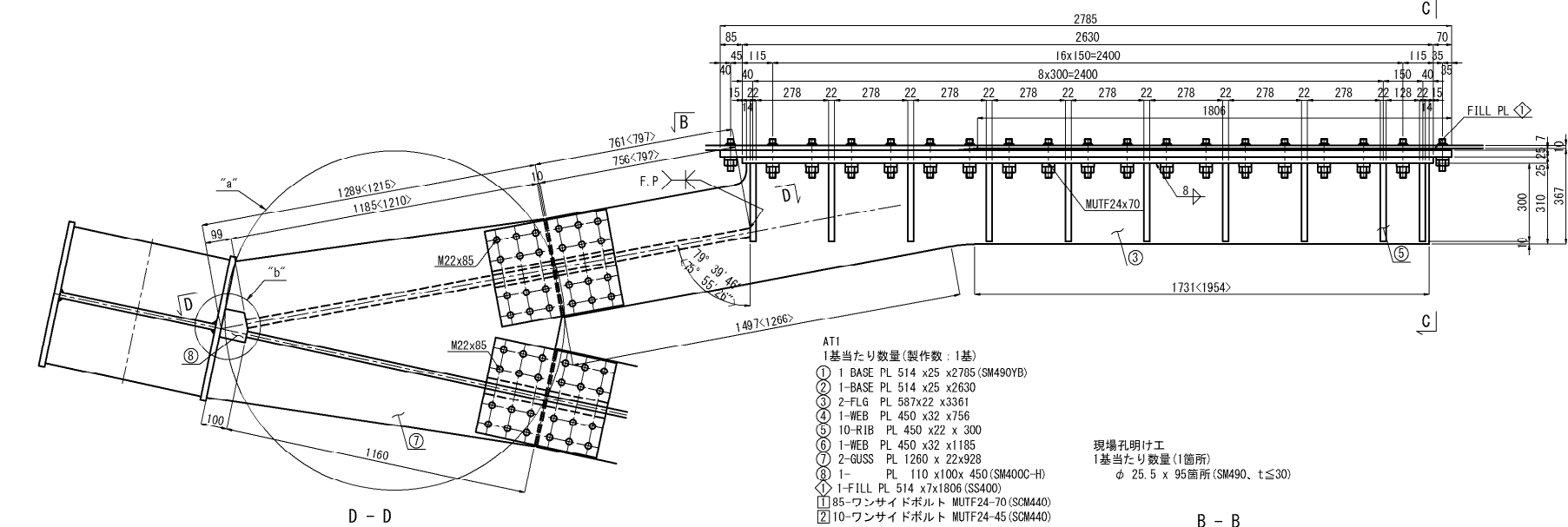
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その5) S=1:25

制震ダンパー2000(±200)

連結材③ AT1桁<AT2桁>

A - A

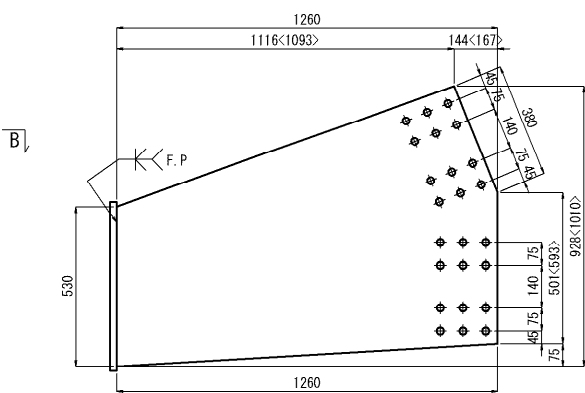
C



- AT1  
1基当たり数量(製作数:1基)  
① 1-BASE PL 514 x25 x2785 (SM490YB)  
② 1-BASE PL 514 x25 x2630  
③ 2-FLG PL 587x22 x3361  
④ 1-WEB PL 450 x32 x756  
⑤ 10-RIB PL 450 x22 x300  
⑥ 1-WEB PL 450 x32 x1185  
⑦ 2-GUSS PL 1260 x22x928  
⑧ 1- PL 110 x100x450 (SM400C-H)  
⑨ 1-FILL PL 514 x7x1806 (SS400)  
⑩ 85-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)  
⑪ 10-ワンサイドボルト MUTF24-45 (SCM440)

現場孔明け工  
1基当たり数量(1箇所)  
φ 25.5 x 95箇所 (SM490, t≤30)

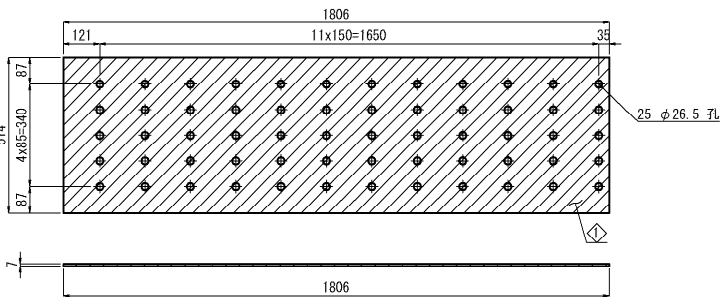
"a"部詳細



- AT2  
1基当たり数量(製作数:1基)  
① 1-BASE PL 514 x25 x2785 (SM490YB)  
② 1-BASE PL 514 x25 x2630  
③ 2-FLG PL 633 x22 x3397  
④ 1-WEB PL 450 x32 x792  
⑤ 10-RIB PL 450 x22 x300  
⑥ 1-WEB PL 450 x32 x1210  
⑦ 2-GUSS PL 1260 x22x1010  
⑧ 1- PL 110 x100x450 (SM400C-H)  
⑨ 1-FILL PL 514 x7x1806 (SS400)  
⑩ 85-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)  
⑪ 10-ワンサイドボルト MUTF24-45 (SCM440)

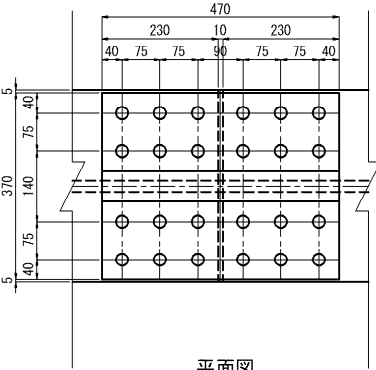
現場孔明け工  
1基当たり数量(1箇所)  
φ 25.5 x 95箇所 (SM490, t≤30)

FILL PL 詳細

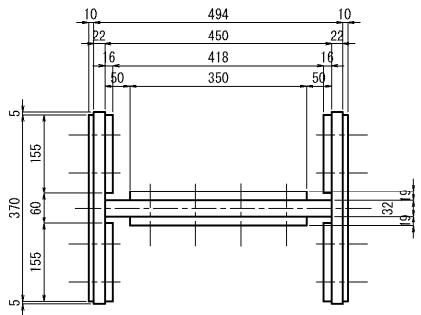


添接部詳細

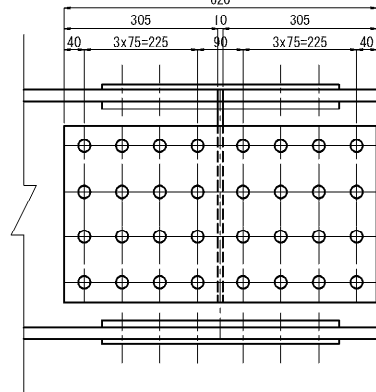
側面図



断面図

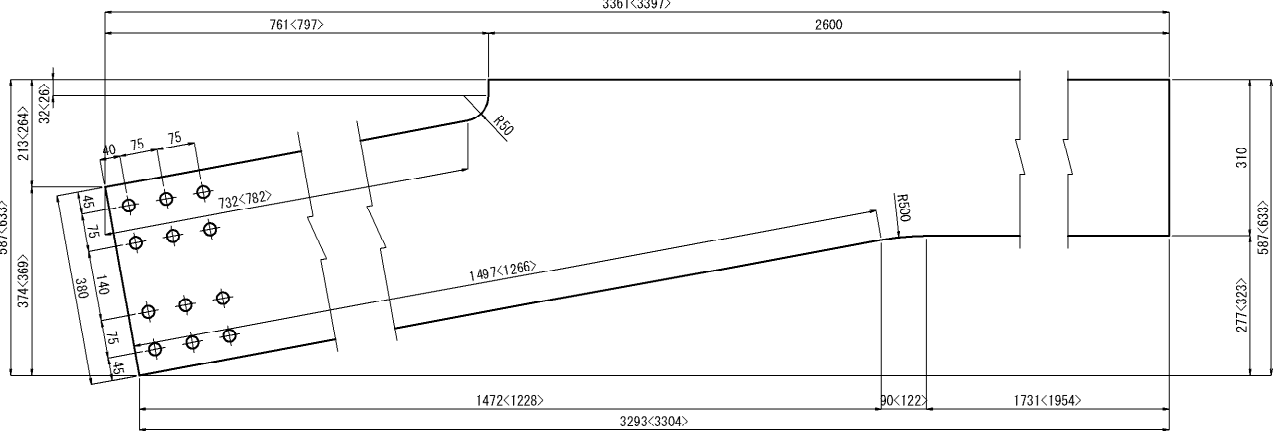


平面図

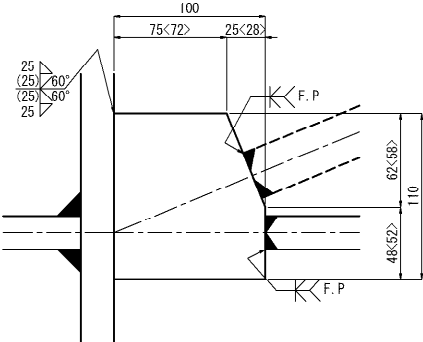


- 1基当たり数量(製作数:2基)  
2-SPL PL 370 x10 x470 (SS400)  
4-SPL PL 155 x16 x470 (SS400)  
2-SPL PL 350 x19 x620 (SS400)  
48-TCB M22x85 (S10T)  
32-TCB M22x105 (S10T)

③ 詳細 S=1:15



"b"部詳細 s=1:5

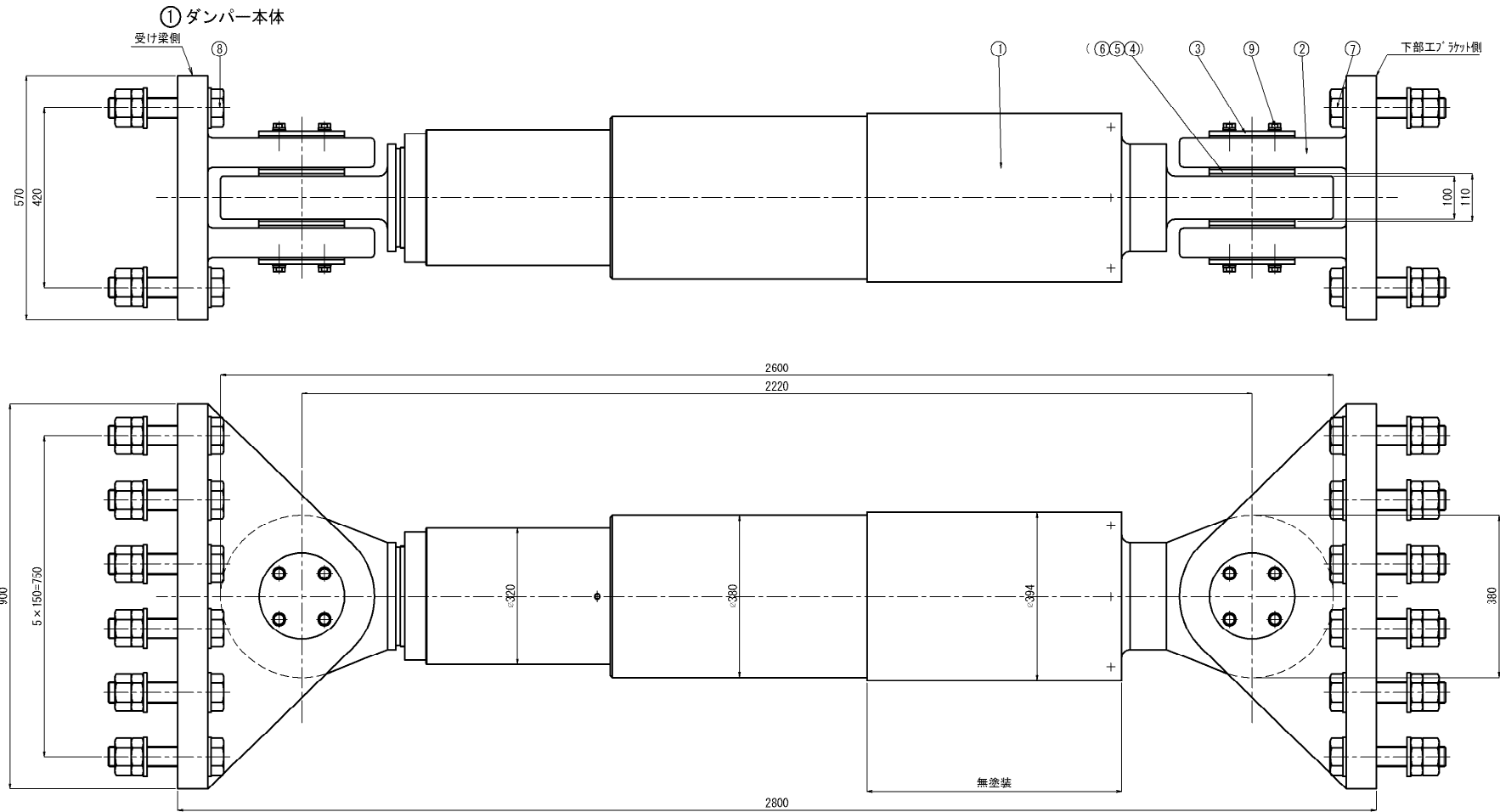


注 記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 特記なきスカラーは全てR50とする。
6. φ印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
- ※印はMUTF 24(高力ワンサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
9. 印はフィラープレートを示す。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	414/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

制震ダンパー2000 (±200)  
製作数:4組



規格表

ダンパー仕様		
抵抗	F	2000 kN
ストローク	$\delta$	± 200 mm
移動量		
L2地震時最大変位	$\delta_e$	± 62 mm
片温度変化移動量	$\Delta t$	± 65.79 mm
施工誤差吸収量	$\delta_o$	± 5 mm
桁回転移動量	Z	± 18 mm

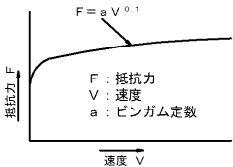
注) ストロークは  
L2地震時最大移動量+片温度変化移動量+施工誤差吸収量+桁回転移動量以上を確保することを基本とする。  
必要ストローク  $\delta_{req} = \delta_e + \Delta t + \delta_o + Z = 62 + 65.79 + 5 + 18 = 150.79 \text{ mm} < 200 \text{ mm}$   
片温度変化移動量  $\Delta t = 91.375 \times 0.72 = 65.79 \text{ mm}$

材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
①	ダンパー本体	-	1	1318.6	
②	二山クレビス	SCW480N	2	973.4	
③	カバープレート	SS400	4	11.5	
④	カラー	SS400	4	1.9	
⑤	球面軸受パッキン	クロロブレンスポンジゴム	4	0.1	
⑥	ピン	SUS630	2	35.1	
⑦	六角ボルト・ナット	-	12		JIS B 1180・JIS B 1181 (2-平座金)
⑧	六角ボルト・ナット	-	12		JIS B 1180・JIS B 1181 (2-平座金)
⑨	六角ボルト	-	16	1.9	JIS B 1180 (2-平座金, 平座金)
				2342.5	(kg)

注1) △印は塗装仕様、○印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。  
注2) 上部工とダンパー本体を結ぶ上部工架台および下部工とダンパー本体を結ぶ下部工架台は、⑦六角ボルト締付け完了後に上下部工架台と下部工を本固定すること。  
注3) ダンパー本体長さ寸法は、ストローク中立位置（伸びる側にも縮む側にも、表記ストローク値だけ伸縮可能なセンター位置）での長さ寸法。

- ⑦ 六角ボルト 中 M48× L 8.8  
六角ナット 中 M48 8 (1種, 3種)  
(2-平座金)
- ⑧ 六角ボルト 中 M48× 200 8.8  
六角ナット 中 M48 8 (1種, 3種)  
(2-平座金)
- ⑨ 六角ボルト 中 M16×40 8.8  
(1-ばね座金, 平座金)



材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
⑦	六角ボルト・ナット	-	n	m	JIS B 1180・JIS B 1181 (2-平座金)
⑧	六角ボルト・ナット	-	12	73.068	JIS B 1180・JIS B 1181 (2-平座金)

部番	部品名称	個数	質量 (kg)	L (mm)
⑨	AT1桁 下部エブラケット①	12	89.820	200
	AT1桁 下部エブラケット②	12	81.300	250
	AT2桁 下部エブラケット③	12	81.300	250
	AT2桁 下部エブラケット④	12	81.300	250

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造詳細図(その6) (参考図)		
縮尺	1:25	図面番号	415/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

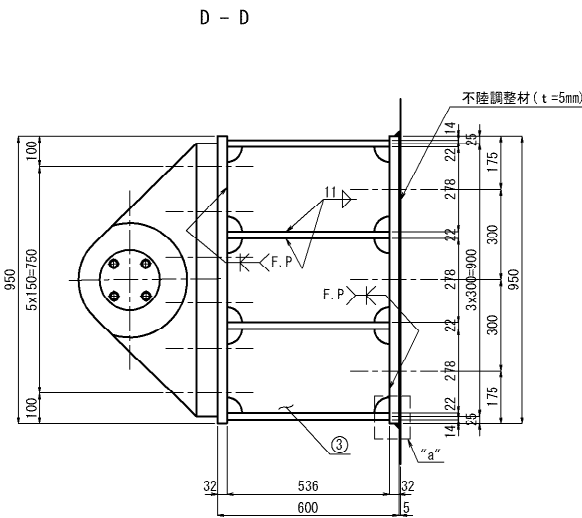
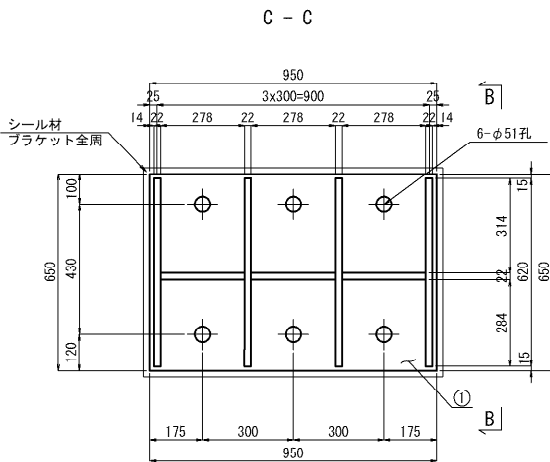
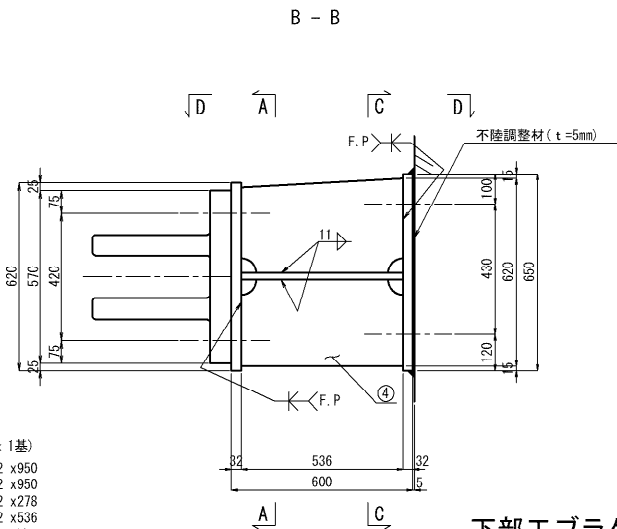
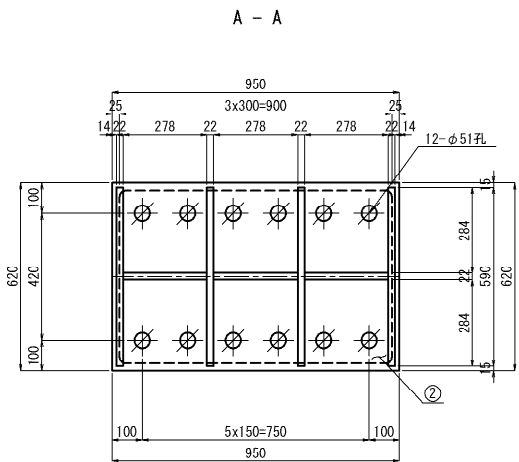
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その1) S=1:25

制震ダンパー2000 (±200)

下部エブラケット

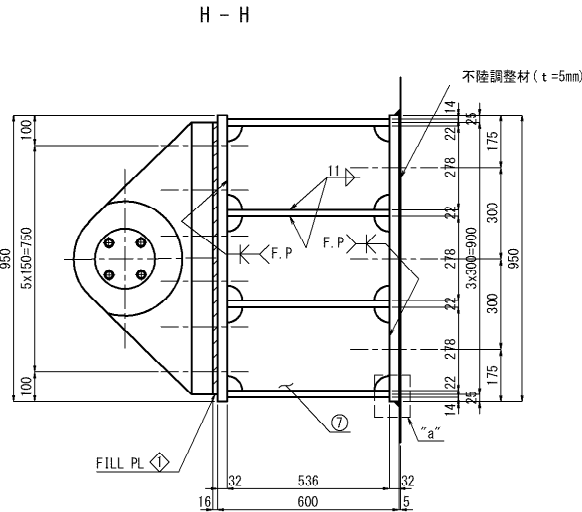
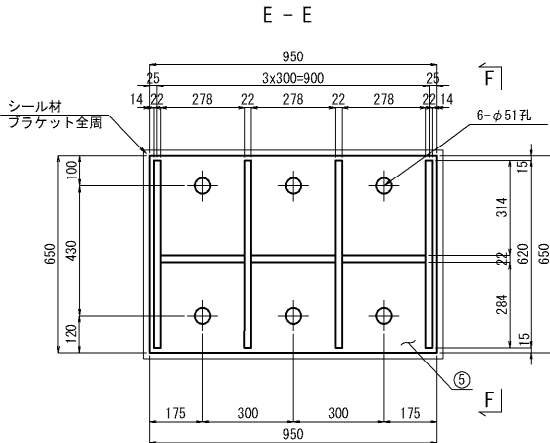
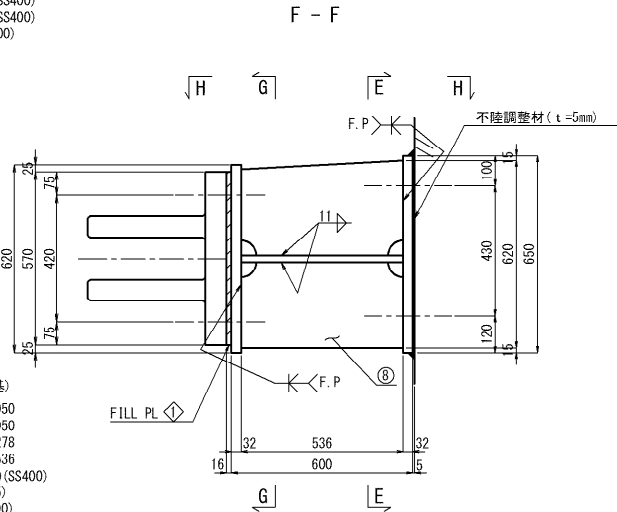
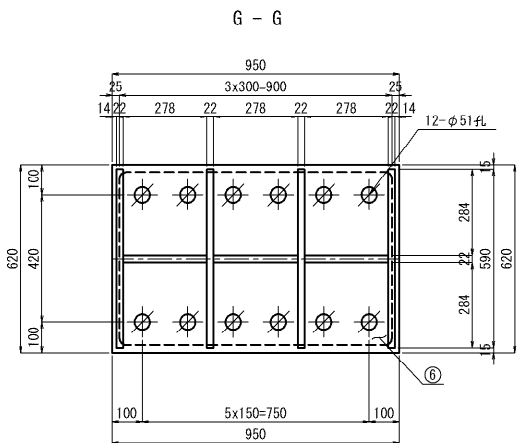
AT1桁

下部エブラケット①



下部エブラケット①  
1基当たり数量(製作数: 1基)  
① 1-BASE PL 650 x32 x950  
② 1-TOP PL 620 x32 x950  
③ 3-RIB PL 536 x22 x278  
④ 4-RIB PL 620 x22 x536  
6-ANC D51x900 (SD345)  
6-NUT M48 (1種) (SS400)  
6-NUT M48 (3種) (SS400)  
6-WASHER M48 (SS400)

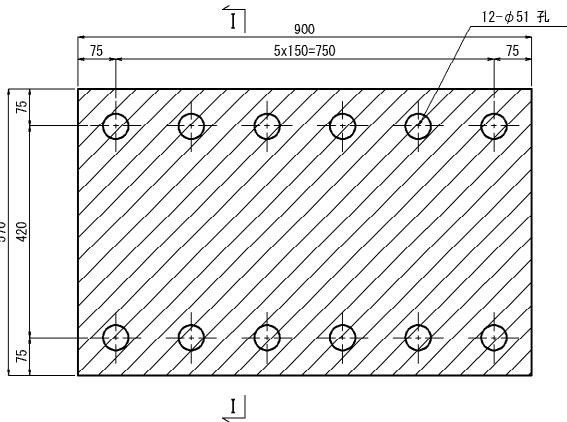
下部エブラケット②



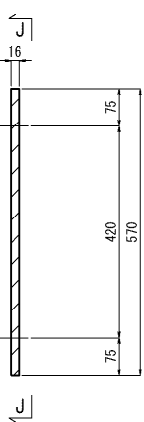
下部エブラケット②  
1基当たり数量(製作数: 1基)  
⑤ 1-BASE PL 650 x32 x950  
⑥ 1-TOP PL 620 x32 x950  
⑦ 3-RIB PL 536 x22 x278  
⑧ 4-RIB PL 620 x22 x536  
⑨ 1-FILL PL 900x16x570 (SS400)  
6-ANC D51x900 (SD345)  
6-NUT M48 (1種) (SS400)  
6-NUT M48 (3種) (SS400)  
6-WASHER M48 (SS400)

FILL PL ⑨ 詳細 S=1:15

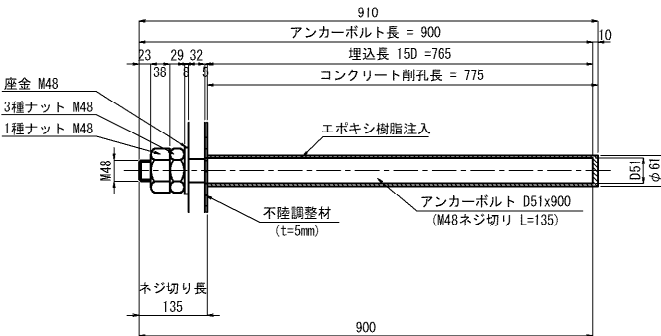
J - J



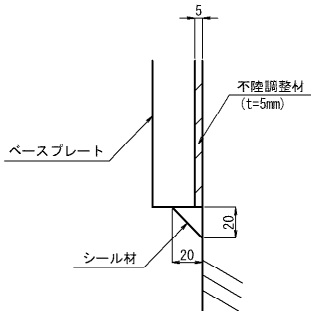
I - I



アンカーボルト詳細図 S=1:15



"a"部詳細 S=1:5



- 注 記
1. アンカーボルト孔位置は鉄筋探索後決定のこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
  4. 部材は全て溶融亜鉛メッキを施す。  
アンカーボルトはネジ切り部・ナット類のみ  
溶融亜鉛めっきを施すものとする。  
(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HZDT77 とする。ただし、  
ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZDT49とする。)
  5. 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、  
現場実測確認のうえ行うものとする。
  6. 印のボルトは、BN M48 [2W付]を示す。
  7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  8. 印はフィラープレートを示す。
  9. 鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面は  
タッピングを行うものとする。

図面の種類	長野自動車道		
	五常橋床版取替工事		
	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造		
	鋼製ブラケット 構造図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	416/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

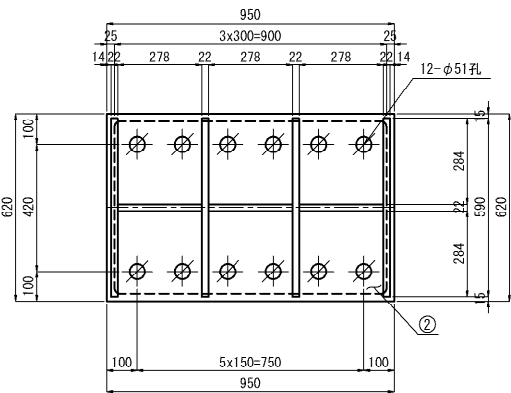
滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その2) S=1:25  
制震ダンパー2000 (±200)

下部エブラケット

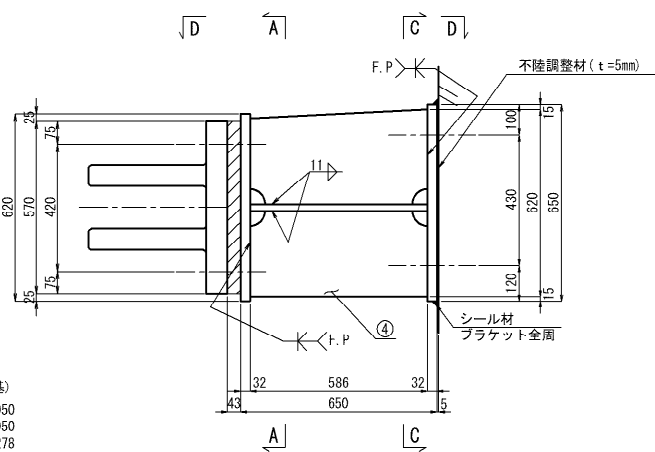
AT2桁

下部エブラケット③

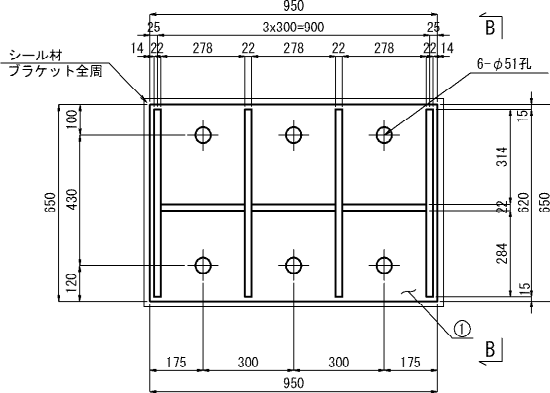
A - A



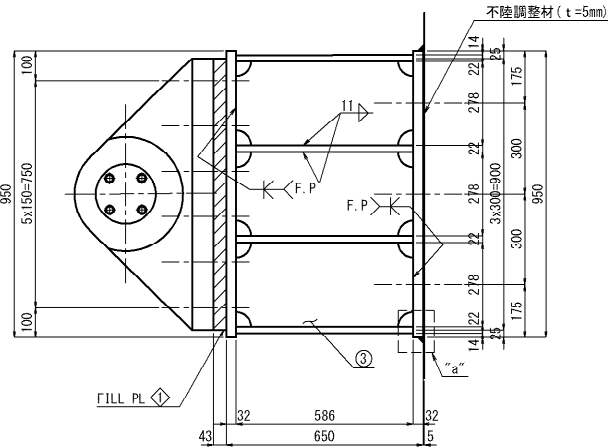
B - B



C - C



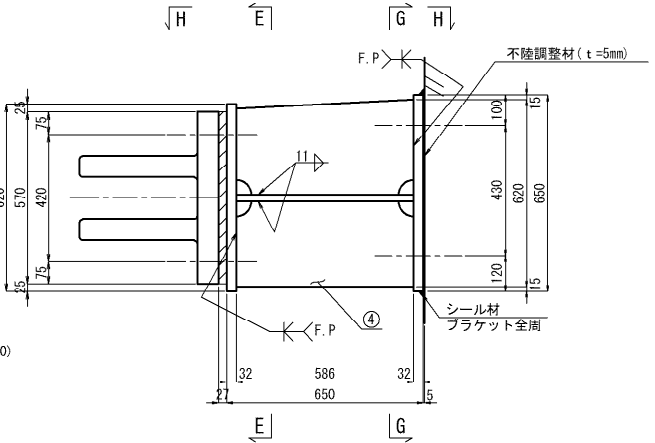
D - D



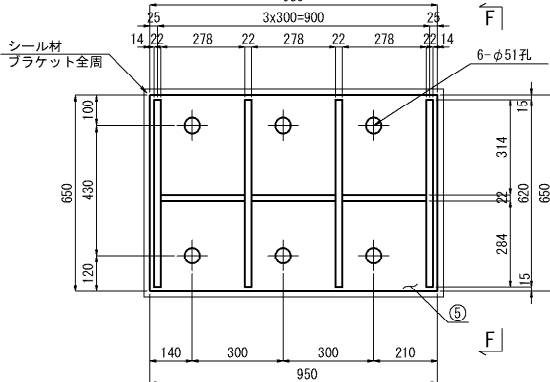
下部エブラケット③  
1基当たり数量(製作数: 1基)  
① 1-BASE PL 650 x32 x950  
② 1-TOP PL 620 x32 x950  
③ 3-RIB PL 586 x22 x278  
④ 4-RIB PL 620 x22 x586  
⑤ 1-FILL PL 900x43x570 (SS400)  
6-ANC D51x900 (SD345)  
6-NUT M48 (1種) (SS400)  
6-NUT M48 (3種) (SS400)  
6-WASHER M48 (SS400)

下部エブラケット④

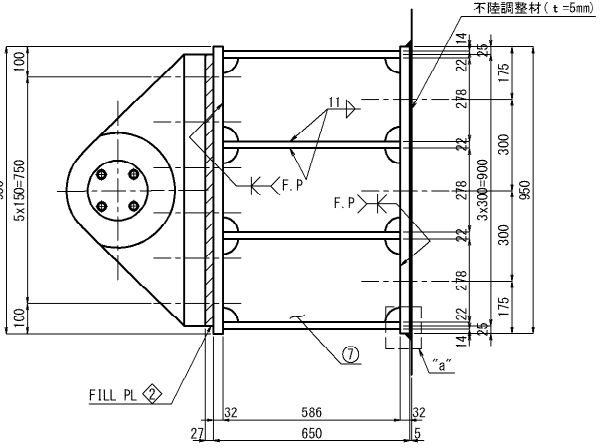
F - F



G - G



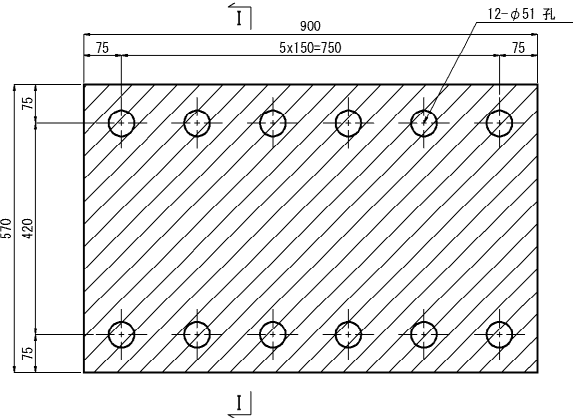
H - H



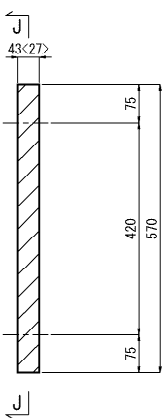
下部エブラケット④  
1基当たり数量(製作数: 1基)  
⑤ 1-BASE PL 650 x32 x950  
⑥ 1-TOP PL 620 x32 x950  
⑦ 3-RIB PL 586 x22 x278  
⑧ 4-RIB PL 620 x22 x586  
⑨ 1-FILL PL 900x27x570 (SS400)  
6-ANC D51x900 (SD345)  
6-NUT M48 (1種) (SS400)  
6-NUT M48 (3種) (SS400)  
6-WASHER M48 (SS400)

FILL PL ①<②> 詳細 S=1:15

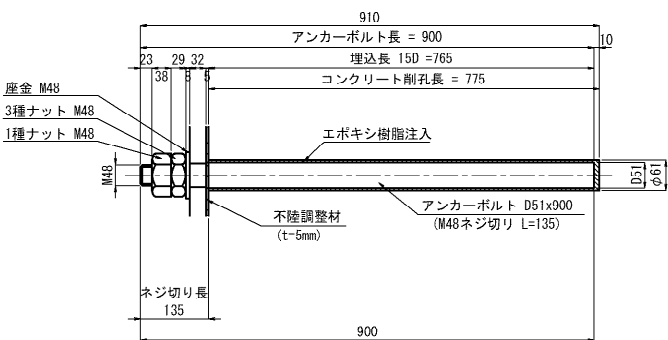
J - J



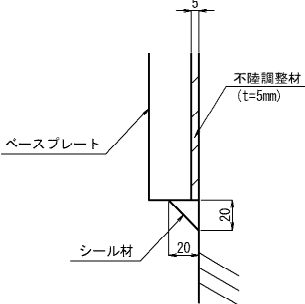
I - I



アンカーボルト詳細図 S=1:15

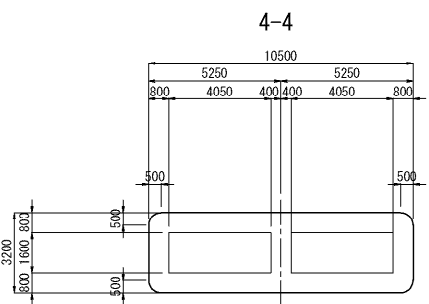
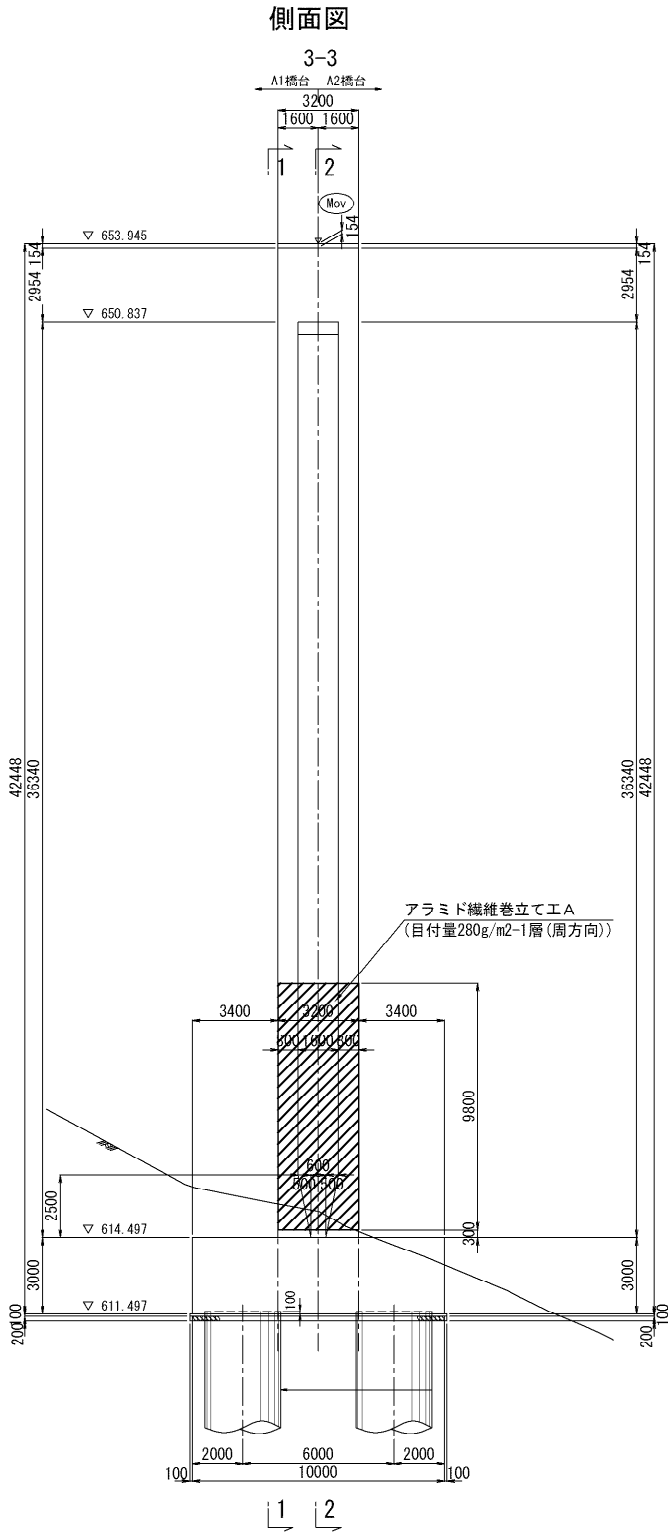
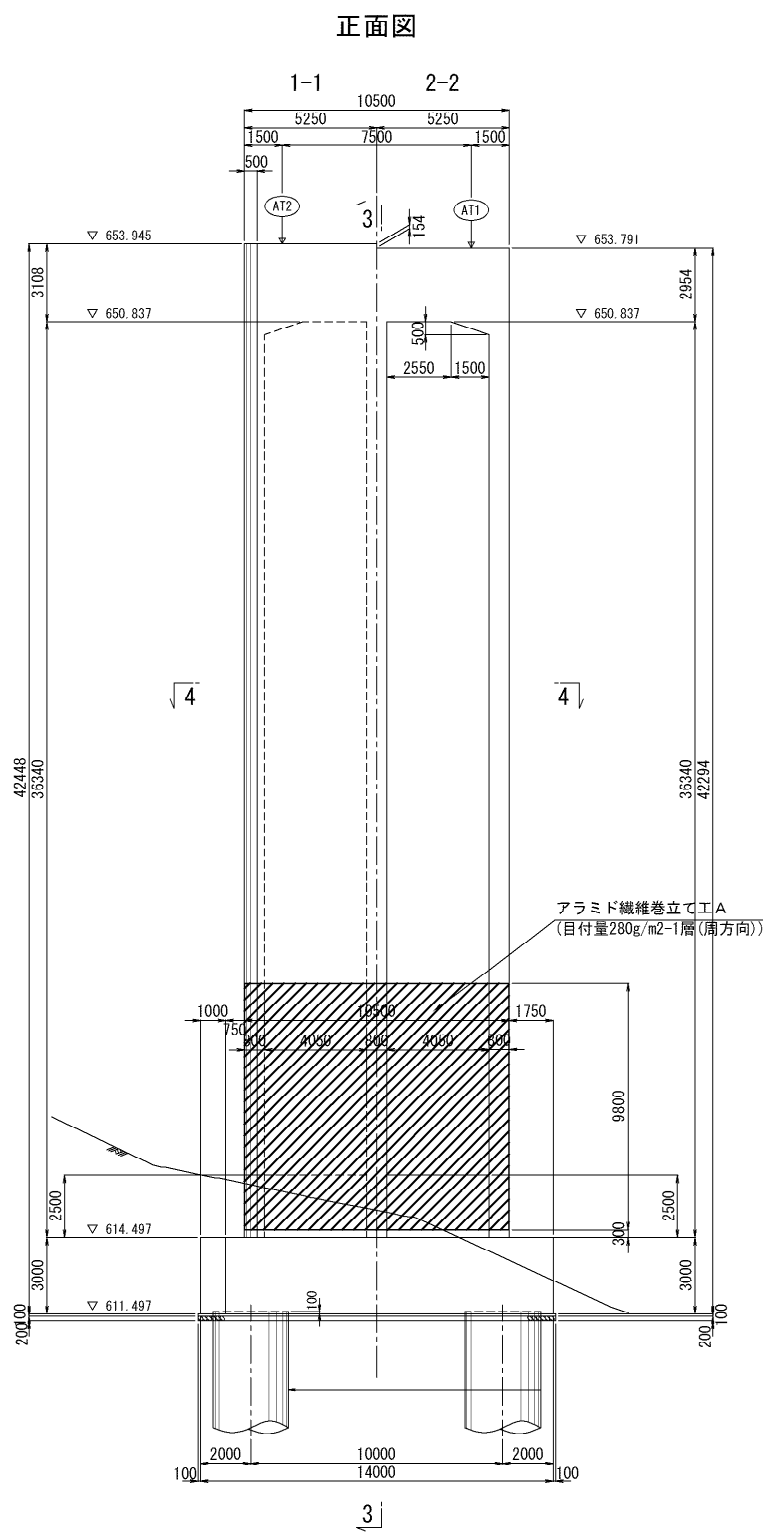


"a"部詳細 S=1:5



注 記  
1. アンカーボルト孔位置は鉄筋探索後決定のこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. 特記なきスカーラップは全てR50とする。  
4. 部材は全て溶融亜鉛メッキを施す。  
アンカーボルトはネジ切り部・ナット類のみ  
溶融亜鉛めっきを施すものとする。  
(亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HZDT77 とする。ただし、  
ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8641 HZDT49とする。)  
5. 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、  
現場実測確認のうえ行うものとする。  
6. 印のボルトは、BN M48 (2W付)を示す。  
7. 「F.P」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。  
8. 印はフィラープレートを示す。  
9. 鋼製ブラケットと既設コンクリートの接触面は  
タッピングを行うものとする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造 鋼製ブラケット 構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	417/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



性能表

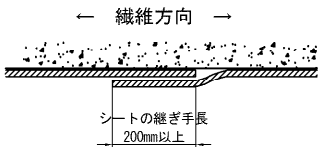
繊維目付 (g/m <sup>2</sup> )	引張強度 N/mm <sup>2</sup>	引張弾性率 N/mm <sup>2</sup>	設計厚さ (mm)	継手長 (mm)
280	2,060	1.18×10 <sup>-3</sup>	0.193	200以上

含浸樹脂量(参考)

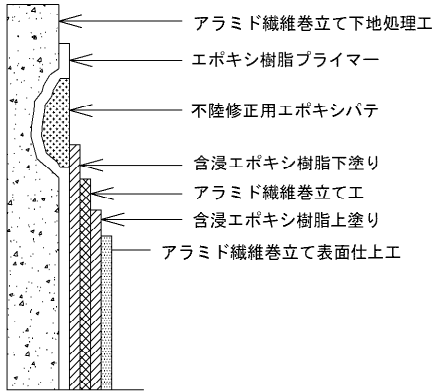
繊維目付 (g/m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> 当り標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
280	0.80

樹脂量は参考値であり、使用するシートで推奨する量を用いること。

継ぎ手部



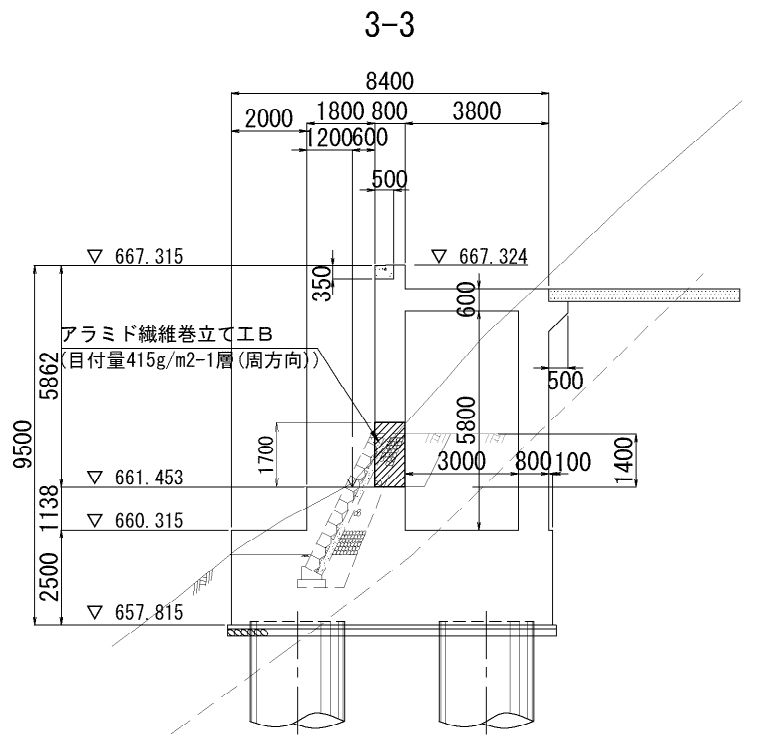
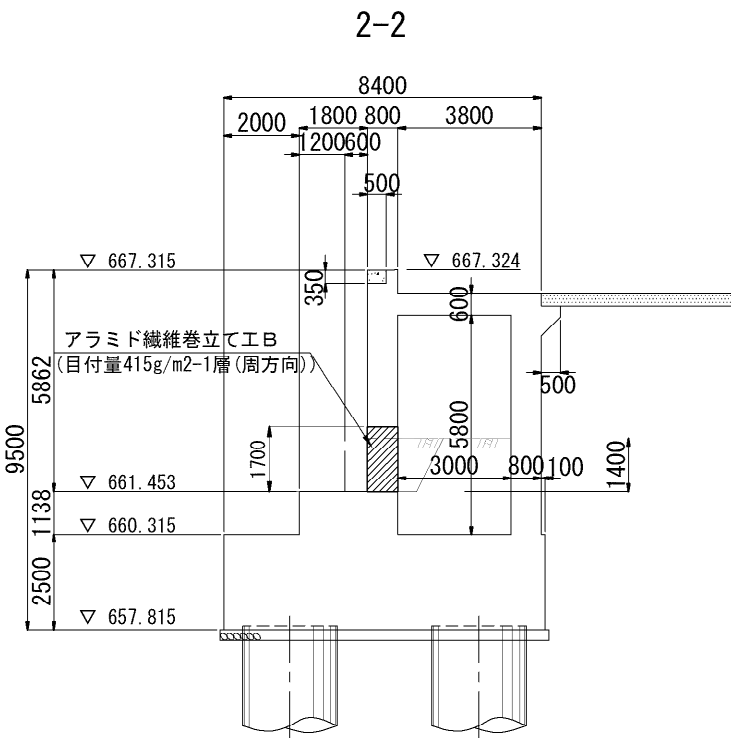
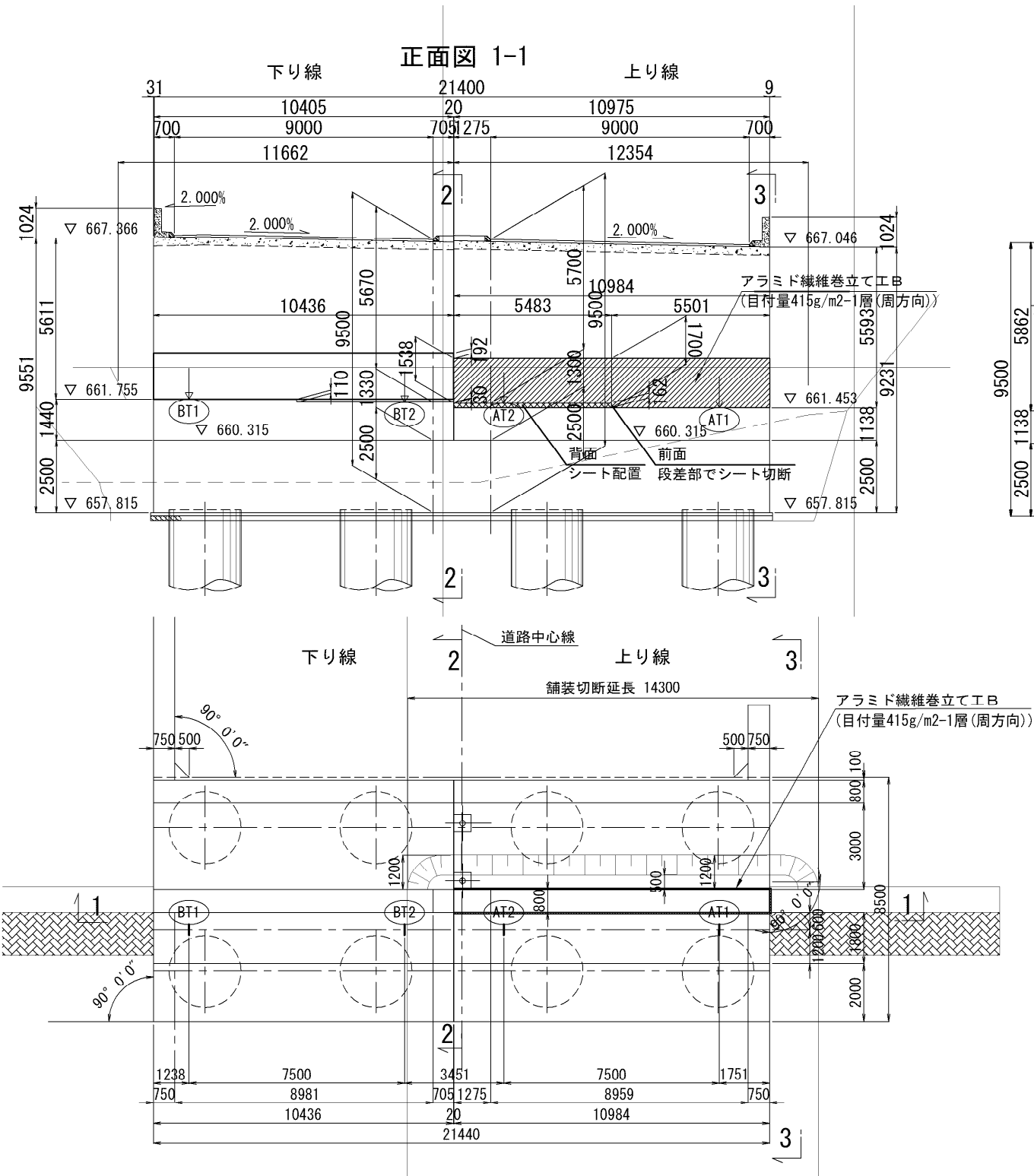
施工断面詳細図



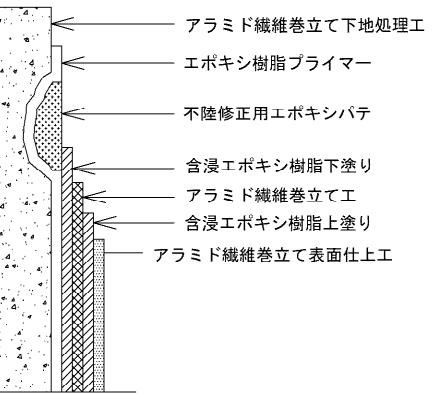
注記

- ・現場測量・調査に基づき、詳細を決定すること。
- ・ひび割れ幅0.2mm以上の場合は、事前修復にてひび割れ注入を行うこと。
- ・不陸修正用エポキシ樹脂パテ量は、下地状況を確認後決定すること。
- ・表面処理(下地処理工)はディスクサンダー処理を標準とする。
- ・橋脚の面取りがされていない場合はR=10mm以上の面取りを行うこと。
- ・樹脂施工時は、気温5℃以上、湿度85%以下、表面含水量8%以下で施工すること。
- ・アラミド繊維の継手位置は1箇所に集中しないように配置し継手長以上離すこと。

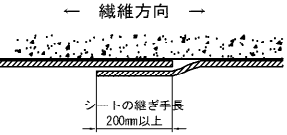
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 アラミド繊維巻立て工A 詳細図		
縮 尺	1:250	図面番号	418/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



施工断面詳細図



継ぎ手部



性能表

繊維目付 (g/m <sup>2</sup> )	引張強度 N/mm <sup>2</sup>	引張弾性率 N/mm <sup>2</sup>	設計厚さ (mm)	継手長 (mm)
415	2,060	1.18×10 <sup>5</sup>	0.286	200以上

含浸樹脂量 (参考)

繊維目付 (g/m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> 当り標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
415	0.99

樹脂量は参考値であり、使用するシートで推奨する量を用いること。

追記

- ・現場測量・調査に基づき、詳細を決定すること。
- ・ひび割れ幅0.2mm以上の場合は、事前修復にてひび割れ注入を行うこと。
- ・不陸修正用エポキシ樹脂パテ量は、下地状況を確認後決定すること。
- ・表面処理（下地処理工）はディスクサンダー処理を標準とする。
- ・橋脚の面取りがされていない場合はR=10mm以上の面取りを行うこと。
- ・樹脂施工時は、気温5℃以上、湿度85%以下、表面含水量8%以下で施工すること。
- ・アラミド繊維の継手位置は1箇所に集中しないように配置し継手長以上離すこと。

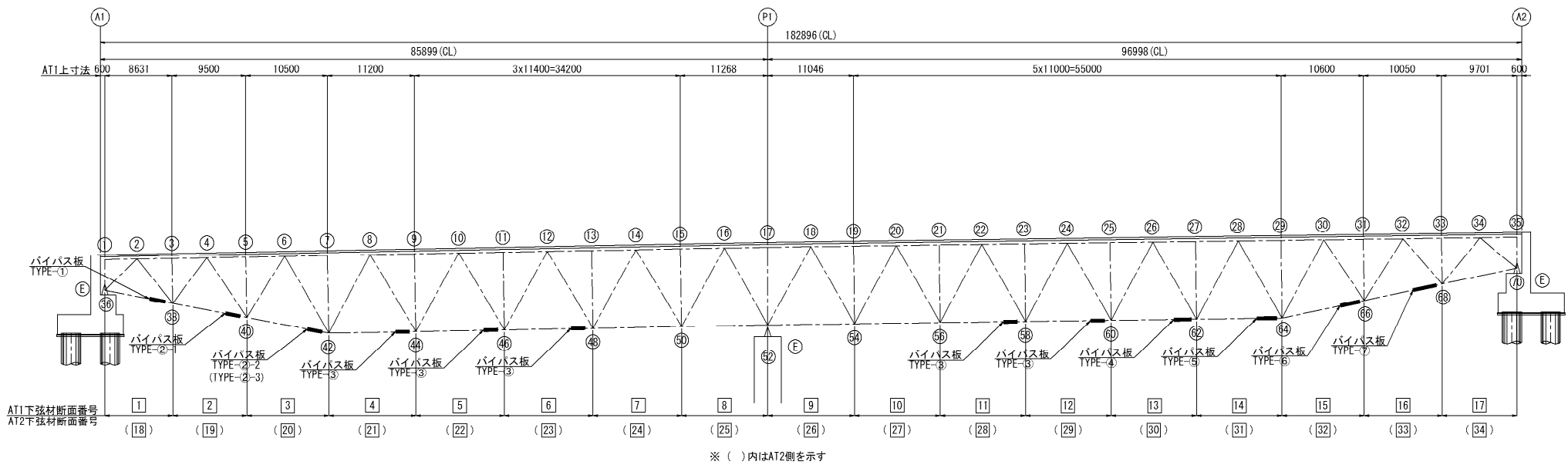
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 アラミド繊維巻立て工B 詳細図		
縮尺	図示	図面番号	419/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)配置図(その1)

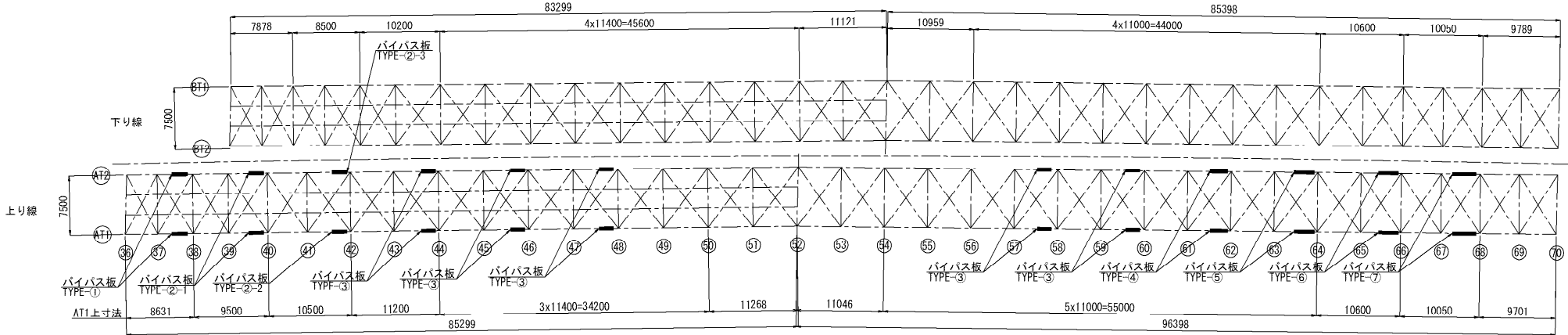
S=1:750

当て板補強 (バイパス板)

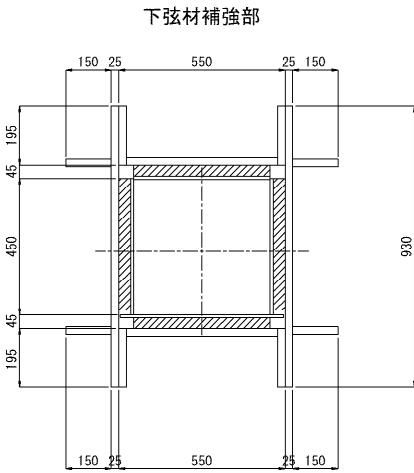
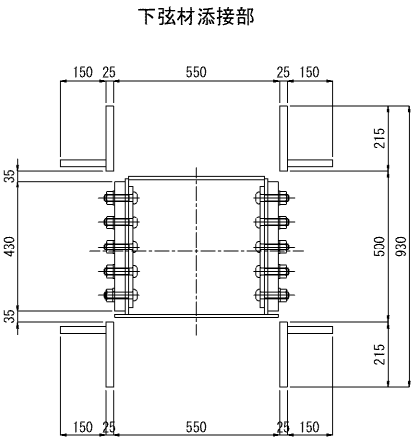
側面図



平面図



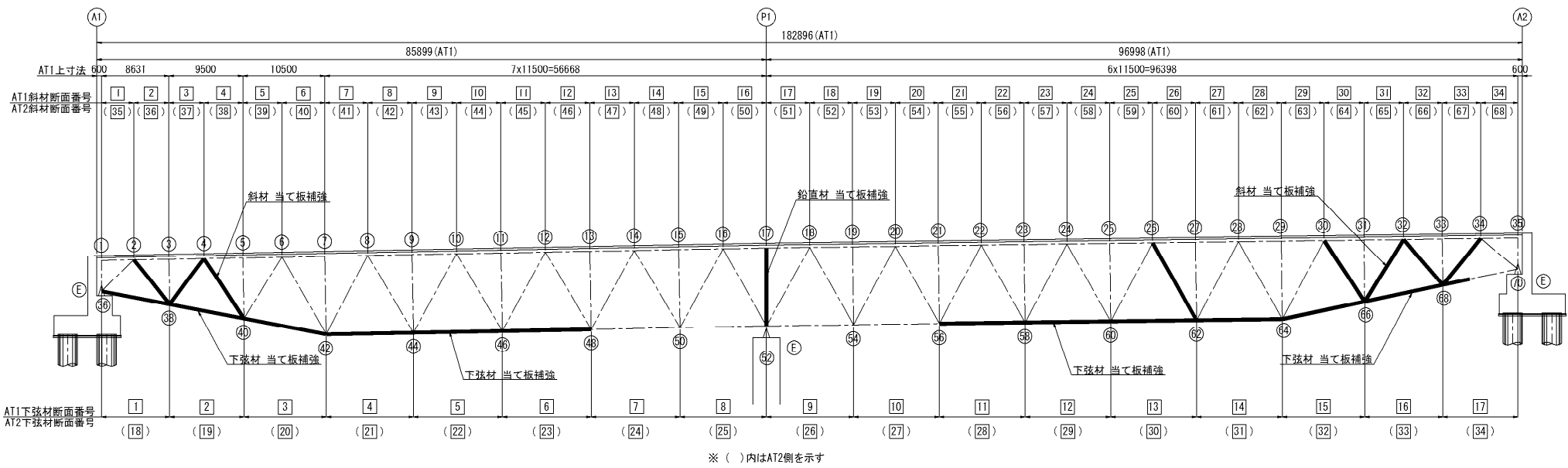
バイパス取付時断面 S=1:75



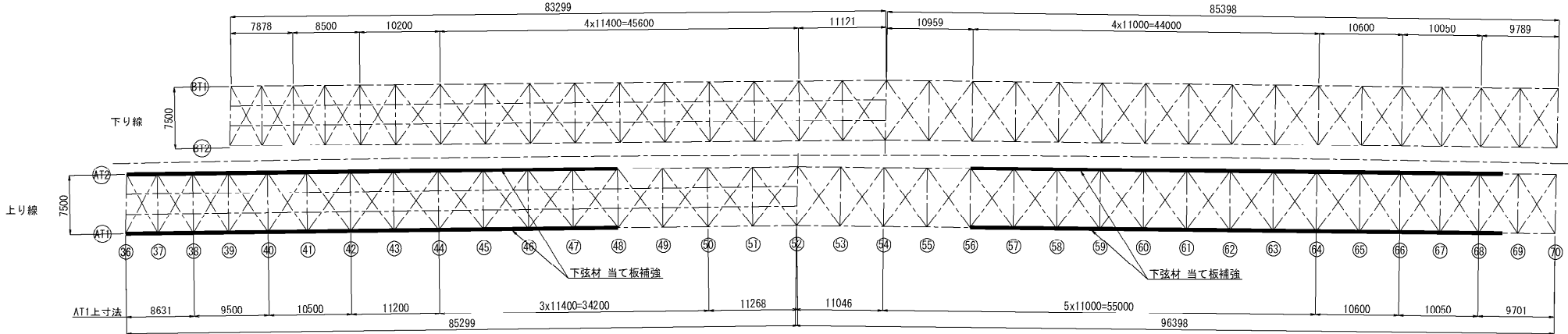
TYPE-①	2か所
TYPE-②-1	2か所
TYPE-②-2	1か所
TYPE-②-3	1か所
TYPE-③	10か所
TYPE-④	2か所
TYPE-⑤	2か所
TYPE-⑥	2か所
TYPE-⑦	2か所

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強)配置図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	420/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

側面図

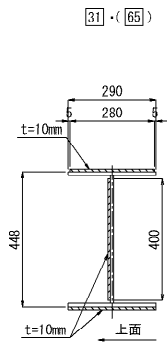
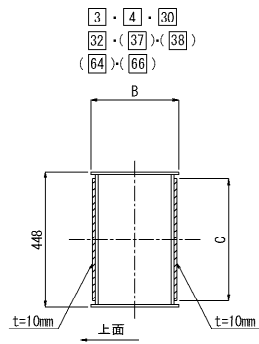
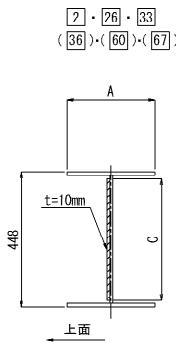
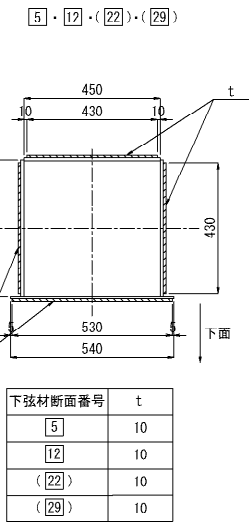
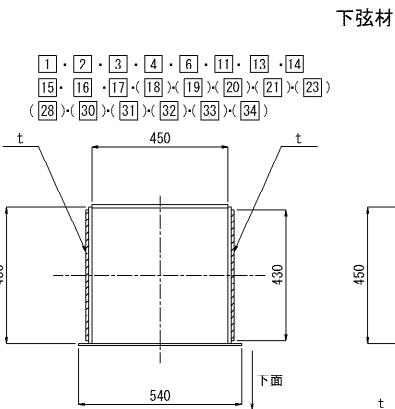


平面図



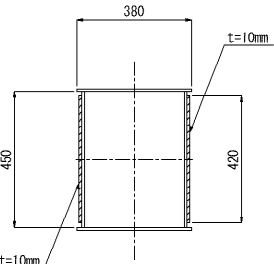
補強断面(一般部) S=1:75

下弦材断面番号	t
[1]	12
[2]	10
[3]	10
[4]	10
[6]	10
[11]	10
[13]	16
[14]	14
[15]	14
[16]	16
[17]	10
([18])	12
([19])	10
([20])	10
([21])	10
([23])	10
([28])	10
([30])	16
([31])	14
([32])	14
([33])	16
([34])	10



斜材断面番号	A	C
[2]	300	392
[26]	290	400
[33]	300	386
([36])	300	392
([60])	290	400
([67])	300	386

斜材断面番号	B	C
[3]	300	398
[4]	290	400
[30]	290	400
[32]	300	390
([37])	300	390
([38])	290	400
([64])	290	400
([66])	300	390



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強)配置図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	421/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その1)

S=1 : 25

下弦材(バイパス板)

 $AT1 < AT2$ 

TYPE-①

断：

側面図  
TYPE-(

TYPE-(C)

1-

2-2

3-1

A-A/Top. PL 傾

① 詳細

B-B/Bott. PL便

"a"部詳細 S=1:15    "b"部詳細 S=1:15    "c"部詳細 S=1:15    "d"部詳細 S=1:15

施工手册

パイパス板取

当板補強材を以

注記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ★印のポルトは、TOB M22を示す。  
ポルト孔は既設の24.5新設の26.5とする。  
★印のポルトは、MUTF 24を示す。  
ポルト孔は既設の25.5新設の26.5とする。
4. バイパス構造は施工後撤去する。
5. 既設と取り合いは現地計測を行い、調整すること。
6. 既設下塗り材の接合部について、外側の接合板だけ取替えるとする。  
⑦ 印はフラワープレートを示す。
7. ★印材料はAT1の転載と示す。数量は計上しないとする。
8. 撤去部材は無差支とする。

長野自動車道			
五常橋床板取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り橋) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	422/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その2)

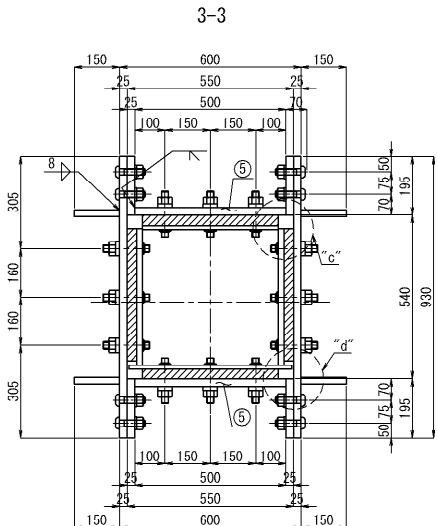
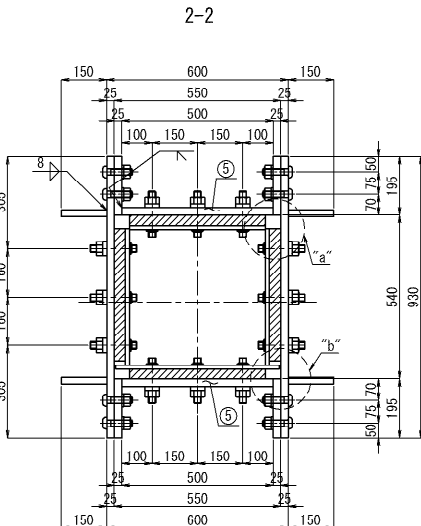
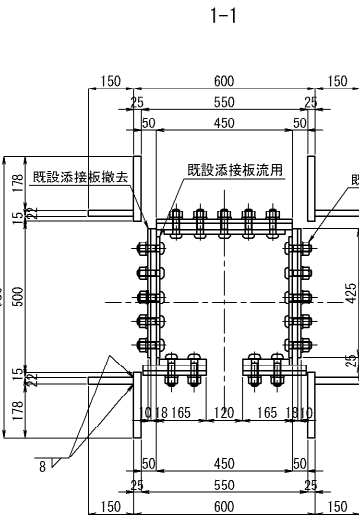
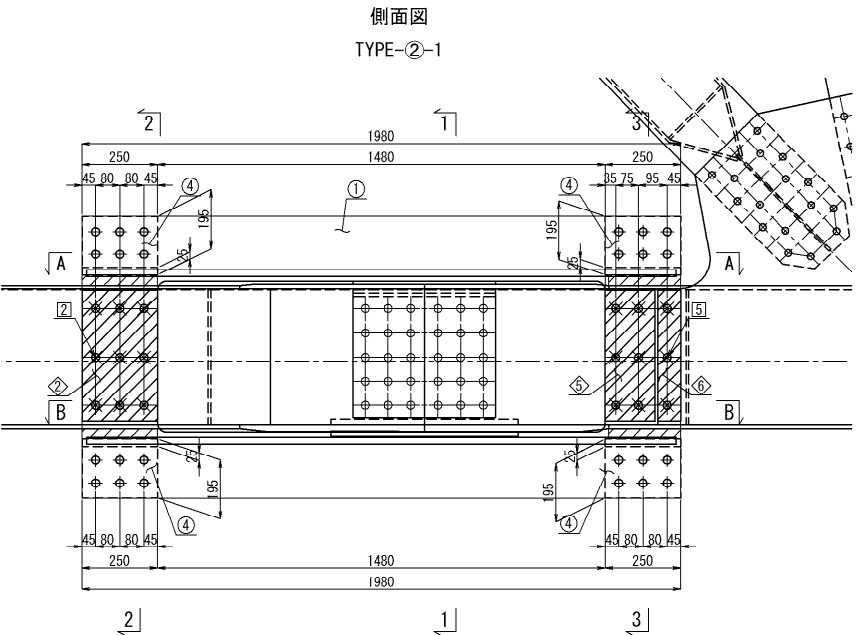
S=1:25

下弦材(バイパス板)

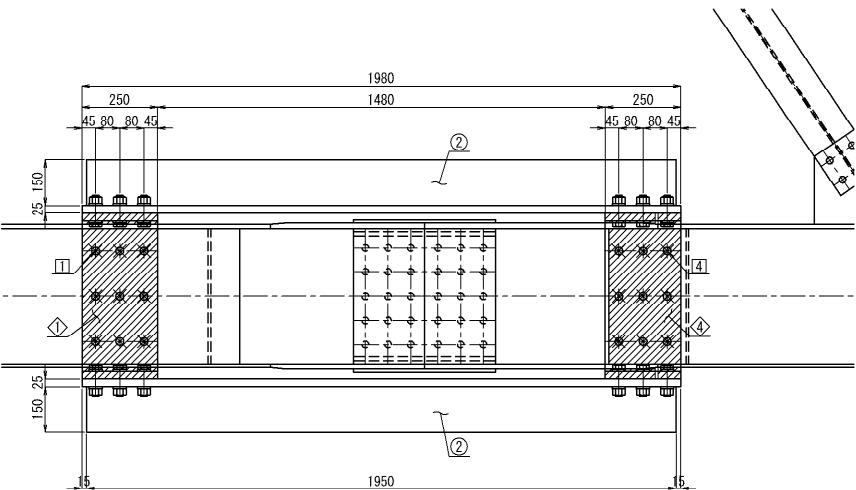
AT1<AT2>

TYPE②-1

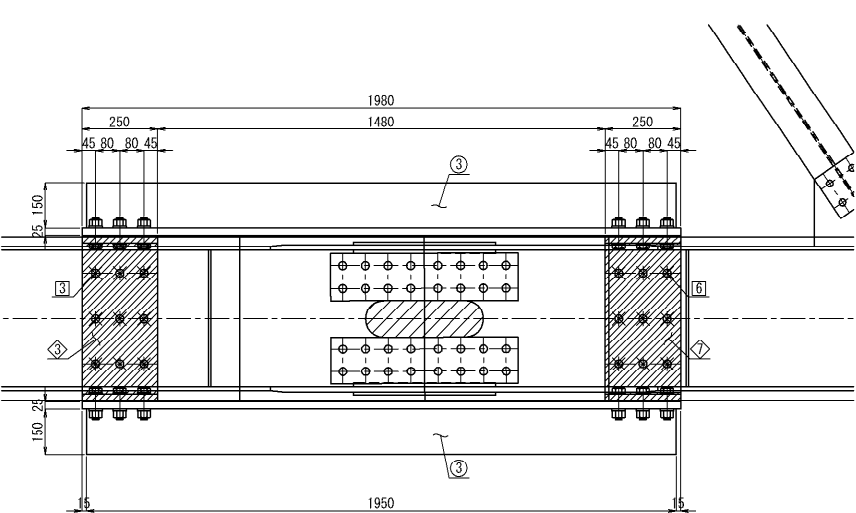
断面



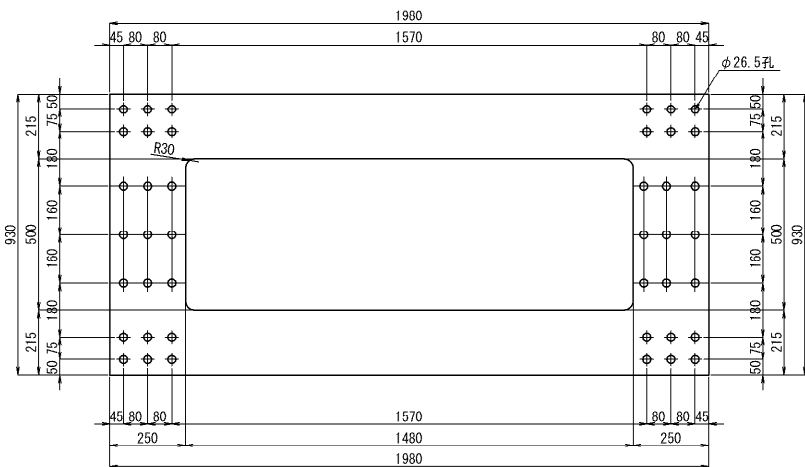
A-A/Top. PL側



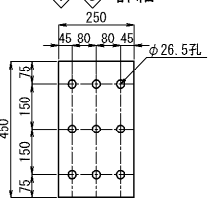
B-B/Bo.L. PL側



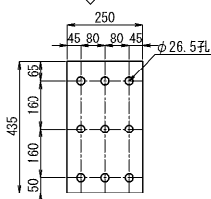
① 詳細



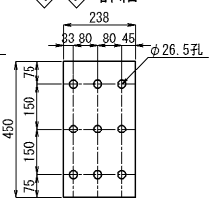
① ③ 詳細



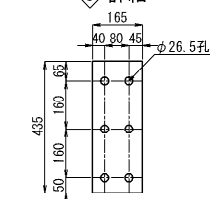
② 詳細



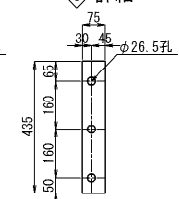
④ ⑦ 詳細



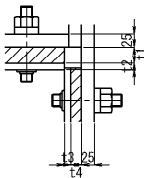
⑤ 詳細



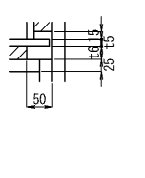
⑥ 詳細



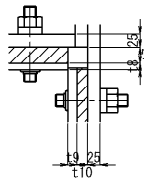
“a”部詳細 S=1:15



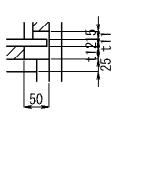
“b”部詳細 S=1:15



“c”部詳細 S=1:15



“d”部詳細 S=1:15



② AT1

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1980
- ② 2-PL 150 x22 x1950
- ③ 2-PL 150 x22 x1950
- ④ 8-PL 195 x25 x250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x250
- ⑥ 1-FILL PL 250 x t1 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 x t4 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 x t6 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 238 x t7 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 165 x33 x 435 (SS400)
- ⑪ 2-FILL PL 75 x37 x 435 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 238 x t12 x 450 (SS400)
- ⑬ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑯ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑲ 48-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPL PL 425 xt x470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x75 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1980
- ② 2-PL 150 x22 x1950
- ③ 2-PL 150 x22 x1950
- ④ 8-PL 195 x25 x250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x250
- ⑥ 1-FILL PL 250 x t1 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 x t4 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 x t6 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 238 x t7 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 165 x33 x 435 (SS400)
- ⑪ 2-FILL PL 75 x37 x 435 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 238 x t12 x 450 (SS400)
- ⑬ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑯ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑲ 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 72箇所

⑲ AT2

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ★ ① 2-PL 930 x25 x1980
- ★ ② 2-PL 150 x22 x1950
- ★ ③ 2-PL 150 x22 x1950
- ★ ④ 8-PL 195 x25 x250
- ★ ⑤ 4-PL 500 x25 x250
- ★ ⑥ 1-FILL PL 250 x t1 x 450 (SS400)
- ★ ⑦ 2-FILL PL 250 x t4 x 435 (SS400)
- ★ ⑧ 1-FILL PL 250 x t6 x 450 (SS400)
- ★ ⑨ 1-FILL PL 238 x t7 x 450 (SS400)
- ★ ⑩ 2-FILL PL 165 x33 x 435 (SS400)
- ★ ⑪ 2-FILL PL 75 x37 x 435 (SS400)
- ★ ⑫ 1-FILL PL 238 x t12 x 450 (SS400)
- ★ ⑬ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑭ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑮ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ★ ⑯ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑰ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑱ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ★ ⑲ 48-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPL PL 425 xt x470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x75 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1980
- ② 2-PL 150 x22 x1950
- ③ 2-PL 150 x22 x1950
- ④ 8-PL 195 x25 x250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x250
- ⑥ 1-FILL PL 250 x t1 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 x t4 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 x t6 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 238 x t7 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 165 x33 x 435 (SS400)
- ⑪ 2-FILL PL 75 x37 x 435 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 238 x t12 x 450 (SS400)
- ⑬ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑮ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑯ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑲ 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 72箇所

注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ※印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造は施工後撤去する。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- 既設下弦材の添接部について、外側の添接板だけ取替えとする。
- 斜線印はフィラープレートを示す。
- ★印材料はAT1の転用とする。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。

下弦材断面番号	t	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	t9	t10	t11	t12
② (AT1)	10	35	13	13	37	13	32	35	13	18	32	13	32
⑲ (AT2)	9	35	13	12	38	13	32	35	13	17	33	13	32

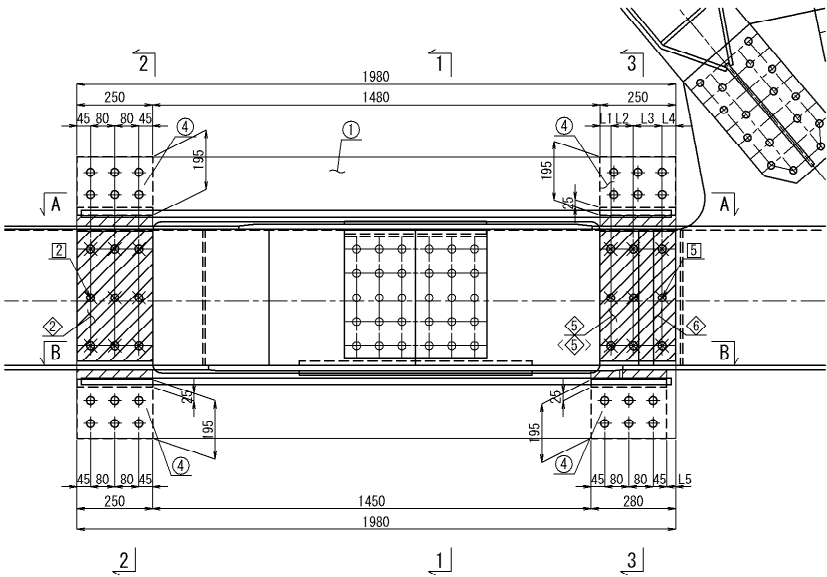
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	423/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その3)

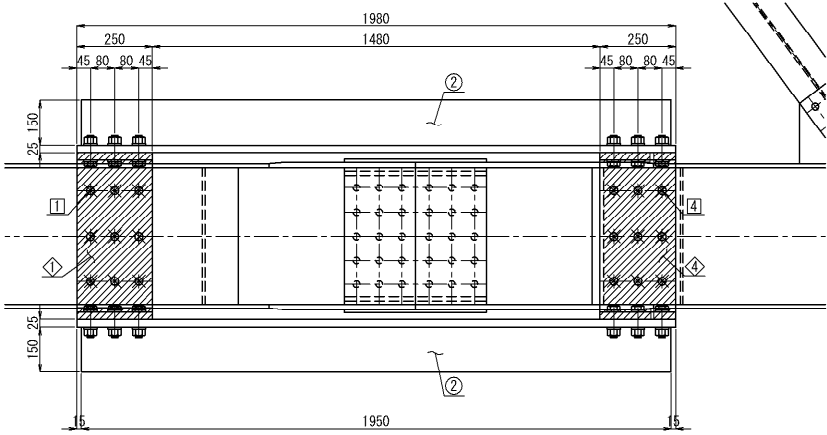
S=1:25

下弦材(バイパス板)  
TYPE②-2、<TYPE②-3>

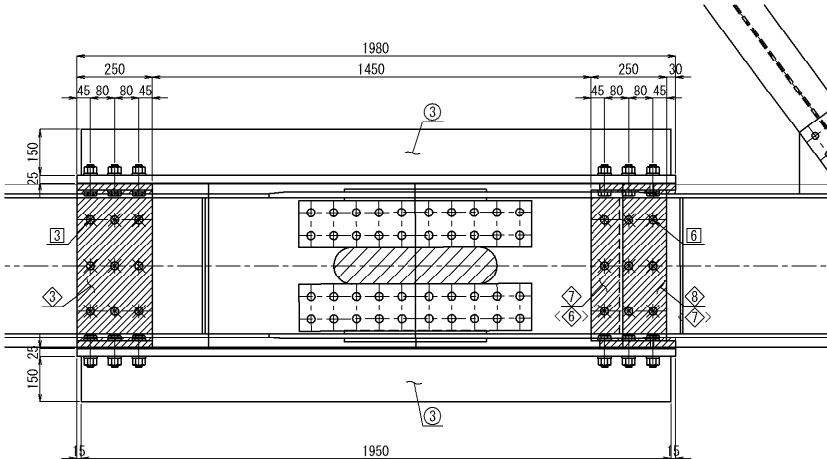
側面図  
TYPE②-n



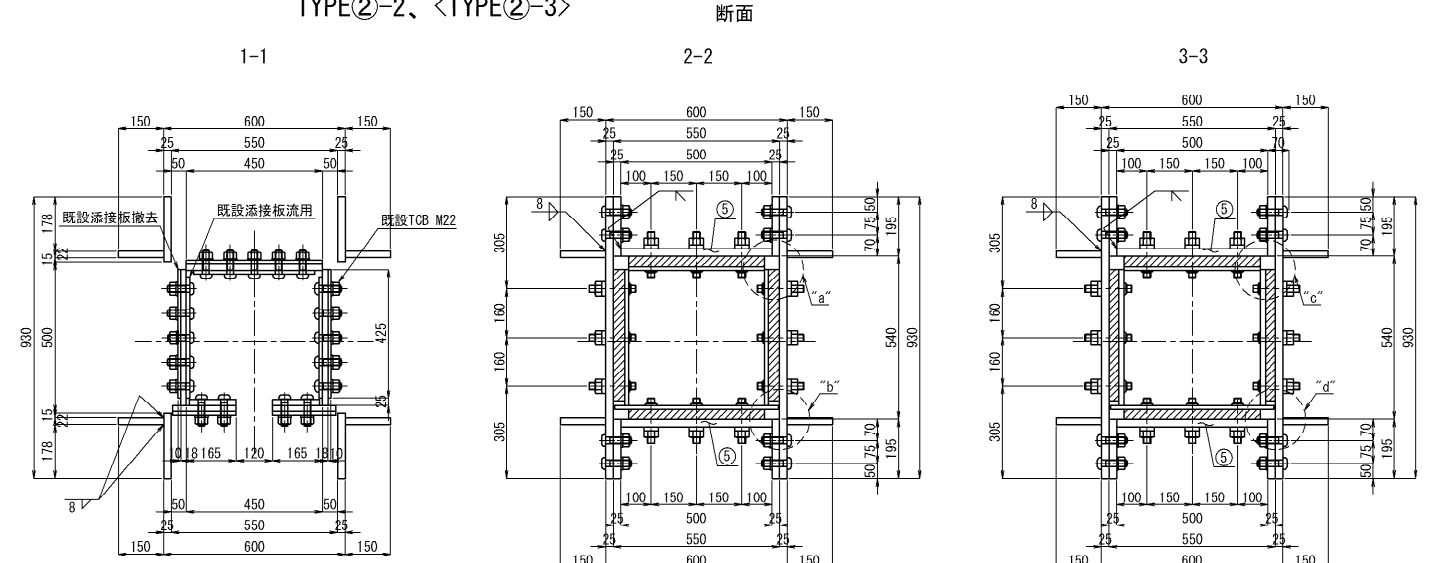
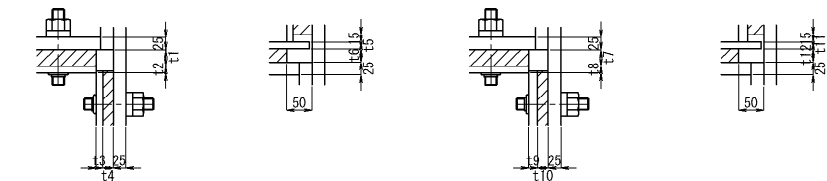
A-A/Top. PL側



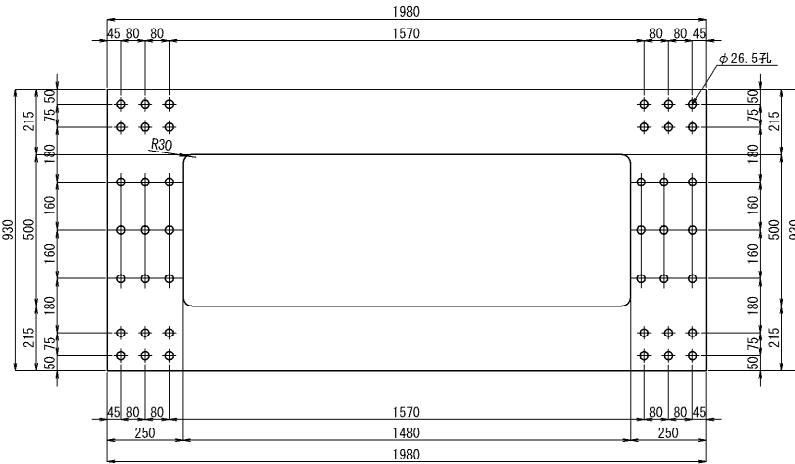
B-B/Bott. PL側



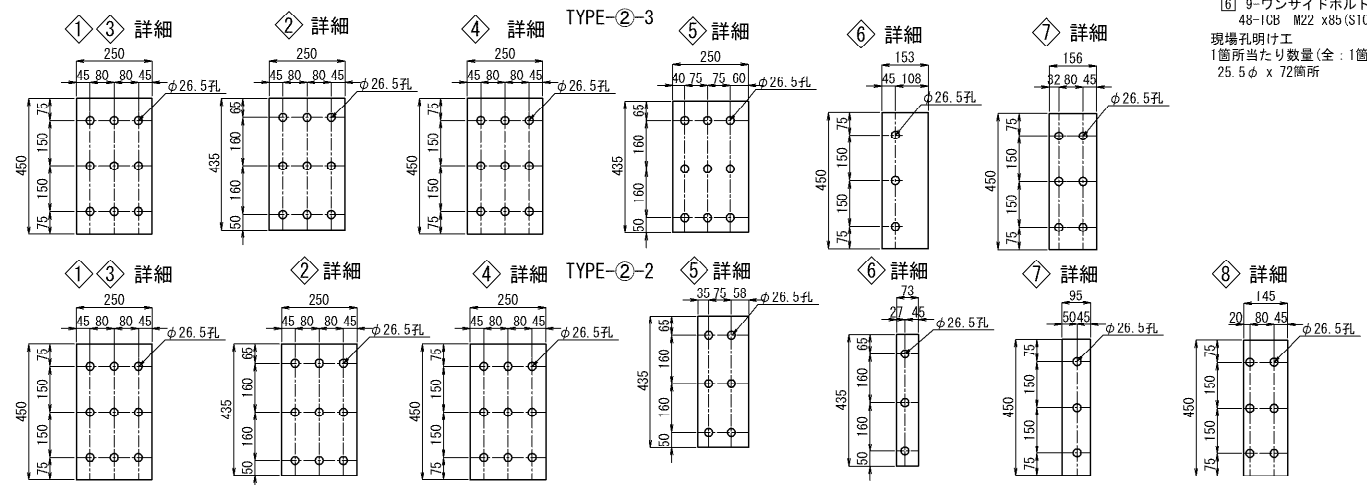
"a"部詳細 S=1:15 "b"部詳細 S=1:15 "c"部詳細 S=1:15 "d"部詳細 S=1:15



① 詳細



下弦材断面番号	n	t	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	t9	t10	t11	t12	L1	L2	L3	L4	L5
③ (AT1)	2	10	34	14	12	37	14	31	34	14	18	32	14	31	35	75	95	45	30
②④ (AT2)	3	10	34	14	12	37	14	31	34	14	18	32	14	31	40	75	75	60	0



- ②④ (AT2)
- 新設製作数量  
1主構当たり数量(製作数:1基)
- ★① 2-PL 930 x25 x1980
  - ★② 2-PL 150 x22 x1950
  - ★③ 2-PL 150 x22 x1950
  - ★④ 9-PL 195 x25 x250
  - ★⑤ 4-PL 500 x25 x250
  - ★⑥ 1-FILL PL 250 xt1 x450 (SS400)
  - ★⑦ 2-FILL PL 250 xt4 x435 (SS400)
  - ★⑧ 1-FILL PL 250 xt6 x450 (SS400)
  - ★⑨ 1-FILL PL 238 xt7 x450 (SS400)
  - ★⑩ 2-FILL PL 250 xt10 x435 (SS400)
  - ★⑪ 1-FILL PL 153 x22 x450 (SS400)
  - ★⑫ 1-FILL PL 156 xt12 x450 (SS400)
  - ★⑬ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ★⑭ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ★⑮ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
  - ★⑯ 4-PL 500 x25 x250
  - ★⑰ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ★⑱ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ★⑲ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
  - ★⑳ 48-TCB M22 x85 (S10T)
- 既設撤去数量(1基)
- 2-SPL PL 425 xt470 (SM490YA)
  - 60-TCB M22 x75 (S10T)
- 新設撤去数量  
1主構当たり数量(1基)
- ① 2-PL 930 x25 x1980
  - ② 2-PL 150 x22 x1950
  - ③ 2-PL 150 x22 x1950
  - ④ 8-PL 195 x25 x250
  - ⑤ 4-PL 500 x25 x250
  - ⑥ 1-FILL PL 250 xt1 x450 (SS400)
  - ⑦ 2-FILL PL 250 xt4 x435 (SS400)
  - ⑧ 1-FILL PL 250 xt6 x450 (SS400)
  - ⑨ 1-FILL PL 238 xt7 x450 (SS400)
  - ⑩ 2-FILL PL 165 xt10 x435 (SS400)
  - ⑪ 2-FILL PL 73 x37 x435 (SS400)
  - ⑫ 1-FILL PL 95 x28 x450 (SS400)
  - ⑬ 1-FILL PL 145 xt12 x450 (SS400)
  - ⑭ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ⑮ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ⑯ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
  - ⑰ 4-PL 500 x25 x250
  - ⑱ 1-FILL PL 250 xt1 x450 (SS400)
  - ⑲ 2-FILL PL 250 xt4 x435 (SS400)
  - ⑳ 1-FILL PL 250 xt6 x450 (SS400)
  - ㉑ 1-FILL PL 238 xt7 x450 (SS400)
  - ㉒ 2-FILL PL 165 xt10 x435 (SS400)
  - ㉓ 2-FILL PL 73 x37 x435 (SS400)
  - ㉔ 1-FILL PL 95 x28 x450 (SS400)
  - ㉕ 1-FILL PL 145 xt12 x450 (SS400)
  - ㉖ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ㉗ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ㉘ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
  - ㉙ 4-PL 500 x25 x250
  - ㉚ 1-FILL PL 250 xt1 x450 (SS400)
  - ㉛ 2-FILL PL 250 xt4 x435 (SS400)
  - ㉜ 1-FILL PL 250 xt6 x450 (SS400)
  - ㉝ 1-FILL PL 238 xt7 x450 (SS400)
  - ㉞ 2-FILL PL 165 xt10 x435 (SS400)
  - ㉟ 2-FILL PL 73 x37 x435 (SS400)
  - ㊱ 1-FILL PL 95 x28 x450 (SS400)
  - ㊲ 1-FILL PL 145 xt12 x450 (SS400)
  - ㊳ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ㊴ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ㊵ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
  - ㊶ 4-PL 500 x25 x250
  - ㊷ 1-FILL PL 250 xt1 x450 (SS400)
  - ㊸ 2-FILL PL 250 xt4 x435 (SS400)
  - ㊹ 1-FILL PL 250 xt6 x450 (SS400)
  - ㊺ 1-FILL PL 238 xt7 x450 (SS400)
  - ㊻ 2-FILL PL 165 xt10 x435 (SS400)
  - ㊼ 2-FILL PL 73 x37 x435 (SS400)
  - ㊽ 1-FILL PL 95 x28 x450 (SS400)
  - ㊾ 1-FILL PL 145 xt12 x450 (SS400)
  - ㊿ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ㊿ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ㊿ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
  - ㊿ 4-PL 500 x25 x250
  - ㊿ 48-TCB M22 x85 (S10T)
- 既設撤去数量(1基)
- 2-SPL PL 425 xt470 (SM490YA)
  - 60-TCB M22 x75 (S10T)
- 新設撤去数量  
1主構当たり数量(1基)
- ① 2-PL 930 x25 x1980
  - ② 2-PL 150 x22 x1950
  - ③ 2-PL 150 x22 x1950
  - ④ 8-PL 195 x25 x250
  - ⑤ 4-PL 500 x25 x250
  - ⑥ 1-FILL PL 250 xt1 x450 (SS400)
  - ⑦ 2-FILL PL 250 xt4 x435 (SS400)
  - ⑧ 1-FILL PL 250 xt6 x450 (SS400)
  - ⑨ 1-FILL PL 238 xt7 x450 (SS400)
  - ⑩ 2-FILL PL 250 xt10 x435 (SS400)
  - ⑪ 1-FILL PL 153 x22 x450 (SS400)
  - ⑫ 1-FILL PL 156 xt12 x450 (SS400)
  - ⑬ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ⑭ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ⑮ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
  - ⑯ 4-PL 500 x25 x250
  - ⑰ 9-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ⑱ 18-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
  - ⑲ 9-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
  - ⑳ 48-TCB M22 x85 (S10T)
- 現場孔明け工  
1箇所当たり数量(全:1箇所)  
25.5φ x 72箇所
- 注記
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - ◆印のボルトは、TCB 22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
  - バイパス構造は施工後撤去する。
  - 撤去部材は無塗装とする。
  - 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
  7. 印はフィラープレートを示す。
  - ★印材料はAT1の転用と示す。数量は計上しないとする。
  - 撤去部材は無塗装とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	424/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その4)

S=1:25

下弦材(バイパス板)

AT1<AT2>

TYPE③

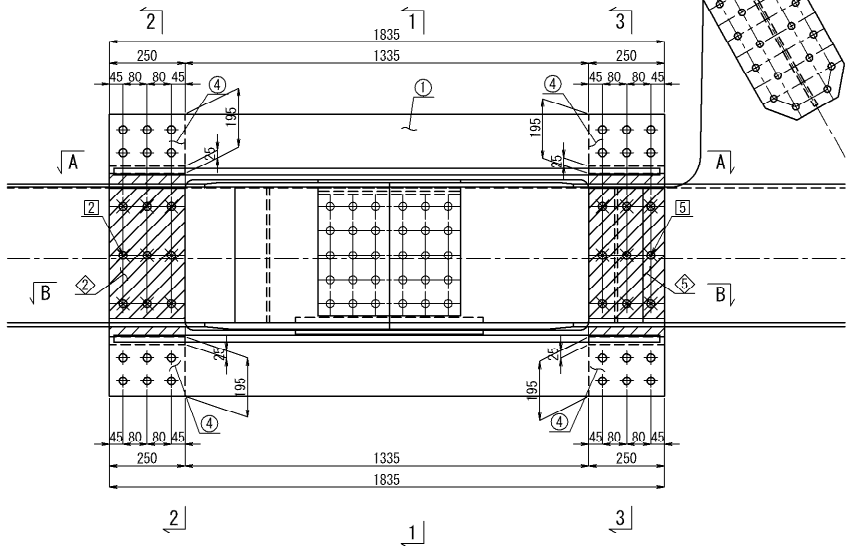
1-1

断面

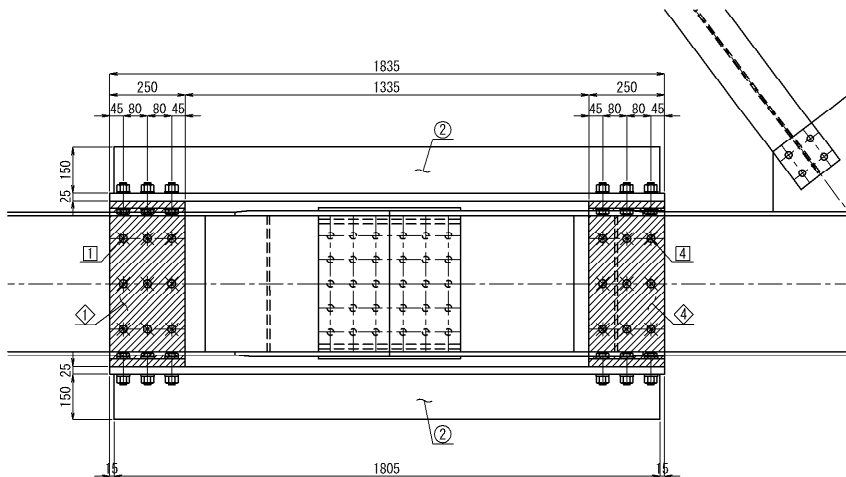
2-2

3-3

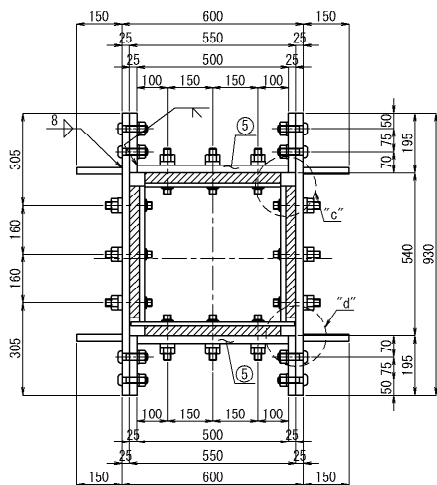
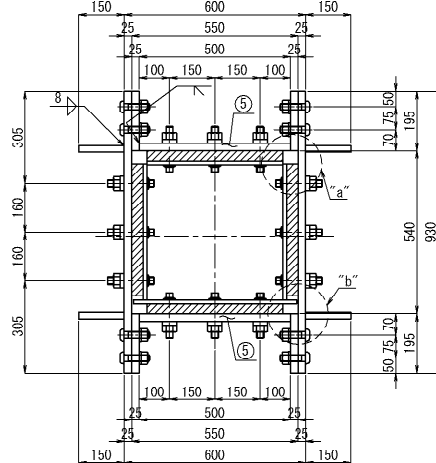
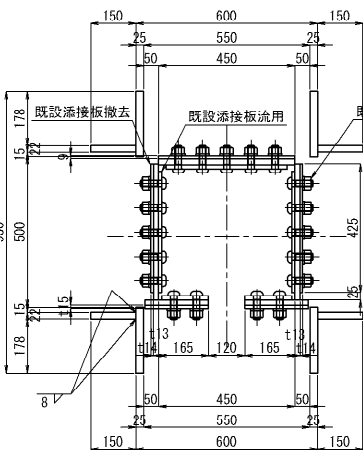
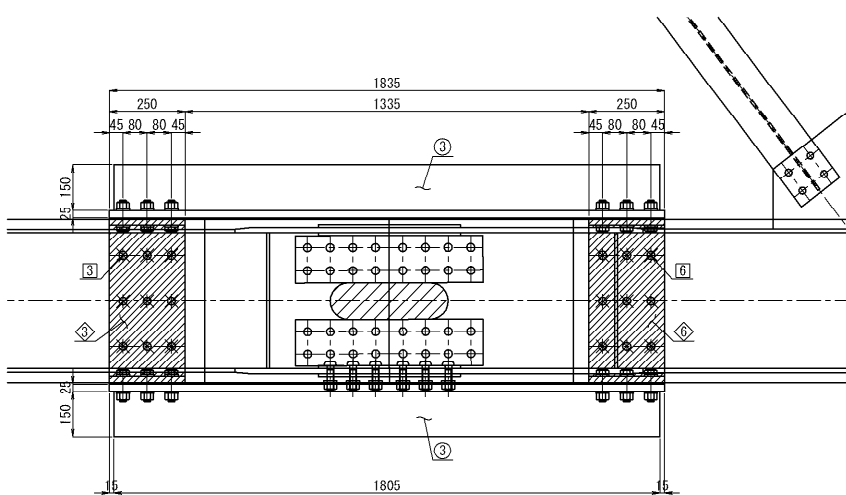
側面図  
TYPE-③



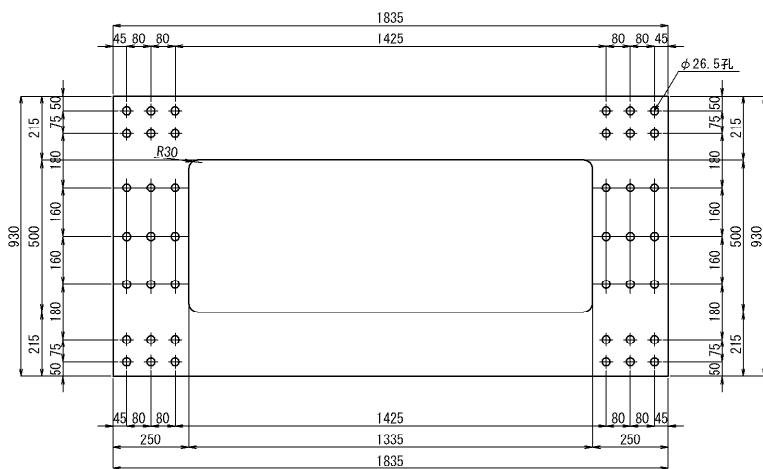
A-A/Top. PL側



B-B/Bott. PL側

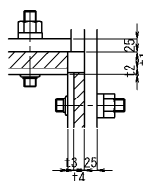


① 詳細

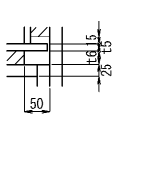


下弦材断面番号	L1	L2	L3	t4	t5	t6	L7	L8	L9	t10	t11	t12	t13	t14	t15	t16
① (AT1)	35	13	12	38	13	32	35	13	17	33	13	32	17	9		36
② (AT1)	38	10	10	40	10	35	38	10	14	36	10	35	14	9	12	9
③ (AT1)	37	11	11	39	11	34	37	11	11	39	11	34	11	9		36
④ (AT1)	37	11	11	39	11	34	37	11	11	39	11	34	11	9		36
⑤ (AT1)	35	13	12	38	13	32	35	13	17	33	13	32	17	9	15	9
⑥ (AT2)	35	13	12	38	13	32	35	13	16	34	13	32	16	9		36
⑦ (AT2)	38	10	10	40	10	35	38	10	14	36	10	35	14	9	12	9
⑧ (AT2)	37	11	11	39	11	34	37	11	11	39	11	34	11	9		36
⑨ (AT2)	37	11	11	39	11	34	37	11	11	39	11	34	11	9		36

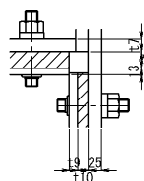
“a”部詳細 S=1:15



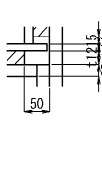
“b”部詳細 S=1:15



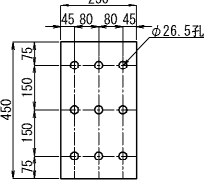
“c”部詳細 S=1:15



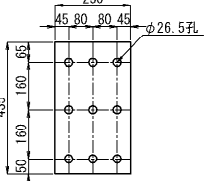
“d”部詳細 S=1:15



① ③ ④ ⑥ 詳細



② ⑤ 詳細



④ (AT1)

新設製作数量

1主橋当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1835
- ② 2-PL 150 x22 x1805
- ③ 2-PL 150 x22 x1805
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ⑥ 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 250 xt7 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 250 xt10 x 435 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 250 xt12 x 450 (SS400)
- ⑫ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑬ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑮ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑯ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑱ 48-TCB M22 x85 (S10T)

新設撤去数量

1主橋当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1835
- ② 2-PL 150 x22 x1805
- ③ 2-PL 150 x22 x1805
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ⑥ 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 250 xt7 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 250 xt10 x 435 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 250 xt12 x 450 (SS400)
- ⑫ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑬ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑮ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑯ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑱ 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 1/2箇所

④ (AT1 - AT2)

新設製作数量

1主橋当たり数量(製作数:各1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1835
- ② 2-PL 150 x22 x1805
- ③ 2-PL 150 x22 x1805
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ⑥ 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 250 xt7 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 250 xt10 x 435 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 250 xt12 x 450 (SS400)
- ⑫ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑬ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑮ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑯ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑱ 48-TCB M22 x85 (S10T)

新設撤去数量

1主橋当たり数量(各1基)

- ① 2-PL 930 x25 x1835
- ② 2-PL 150 x22 x1805
- ③ 2-PL 150 x22 x1805
- ④ 8-PL 195 x25 x 250
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 250
- ⑥ 1-FILL PL 250 xt1 x 450 (SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 250 xt4 x 435 (SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 250 xt6 x 450 (SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 250 xt7 x 450 (SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 250 xt10 x 435 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 250 xt12 x 450 (SS400)
- ⑫ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑬ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑭ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑮ 9-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑯ 18-フンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑰ 9-フンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑱ 48-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:9箇所)

25.5φ x 1/2箇所

注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ◆印のボルトは、TCB 22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
- ※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造は施工後撤去する。
- 撤去部材は無塗装とする。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- 影印はフィラープレートを示す。
- ★印材料はAT1の転用を示す。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。

既設撤去数量

下弦材断面番号4(AT1)(1基)

- 2-SPL PL 425 x9x470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x75 (S10T)

下弦材断面番号6(AT1)(1基)

- 2-SPL PL 425 x9x320 (SM490YA)
- 40-TCB M22 x65 (S10T)

下弦材断面番号11(AT1)(1基)

- 2-SPL PL 425 x9x320 (SM490YA)
- 40-TCB M22 x65 (S10T)

下弦材断面番号12(AT1)(1基)

- 2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x75 (S10T)

- 1-SPL PL 450 x9 x470 (SM490YA)
- 2-SPL PL 210 x15 x620 (SM490YA)
- 30-TCB M22 x75 (S10T)
- 32-TCB M22 x95 (S10T)

- 1-Cov PL 116 x8 x510 (SS400)
- 2-BN M16 x60 (SS400)

下弦材断面番号23(AT2)(1基)

- 2-SPL PL 425 x9x320 (SM490YA)
- 40-TCB M22 x65 (S10T)

下弦材断面番号5(AT1)(1基)

- 2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x70 (S10T)

- 1-SPL PL 450 x9 x320 (SM490YA)
- 2-SPL PL 210 x12 x470 (SM490YA)
- 20-TCB M22 x70 (S10T)
- 24-TCB M22 x80 (S10T)

- 1-Cov PL 116 x8 x510 (SS400)
- 2-BN M16 x60 (SS400)

下弦材断面番号21(AT2)(1基)

- 2-SPL PL 425 x9x470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x70 (S10T)

下弦材断面番号22(AT2)(1基)

- 2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x70 (S10T)

- 1-SPL PL 450 x9 x320 (SM490YA)
- 2-SPL PL 210 x12 x470 (SM490YA)
- 20-TCB M22 x70 (S10T)
- 24-TCB M22 x80 (S10T)

- 1-Cov PL 116 x8 x510 (SS400)
- 2-BN M16 x60 (SS400)

下弦材断面番号28(AT2)(1基)

- 2-SPL PL 425 x9x320 (SM490YA)
- 40-TCB M22 x65 (S10T)

下弦材断面番号29(AT2)(1基)

- 2-SPL PL 425 x9 x470 (SM490YA)
- 60-TCB M22 x75 (S10T)

- 1-SPL PL 450 x9 x620 (SM490YA)
- 2-SPL PL 210 x15 x620 (SM490YA)
- 30-TCB M22 x75 (S10T)
- 32-TCB M22 x95 (S10T)

- 1-Cov PL 116 x8 x510 (SS400)
- 2-BN M16 x60 (SS400)

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	425/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その5)

S=1:25

下弦材(バイパス板)

AT1<AT2>

TYPE④

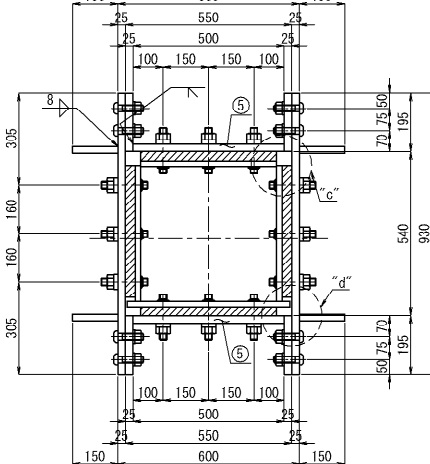
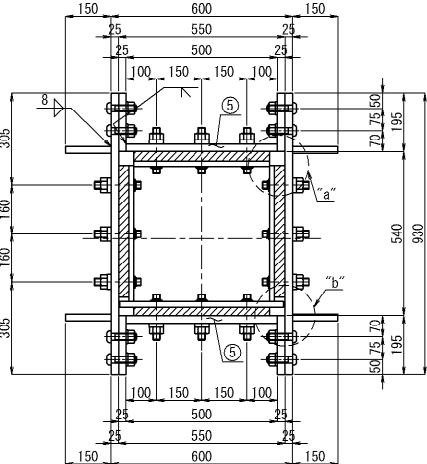
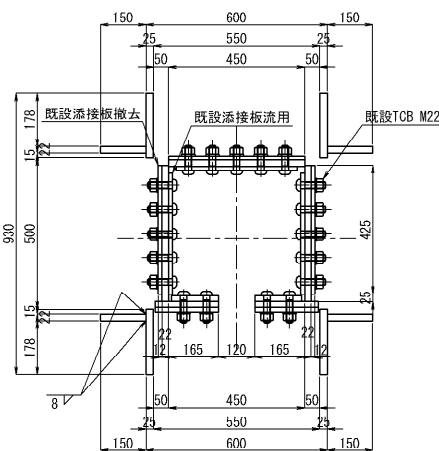
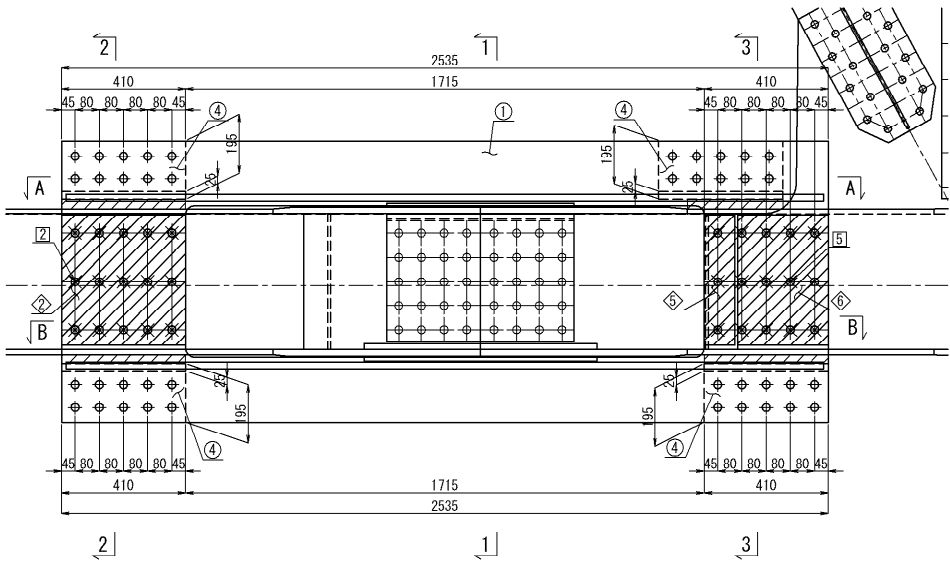
側面図  
TYPE-④

断面

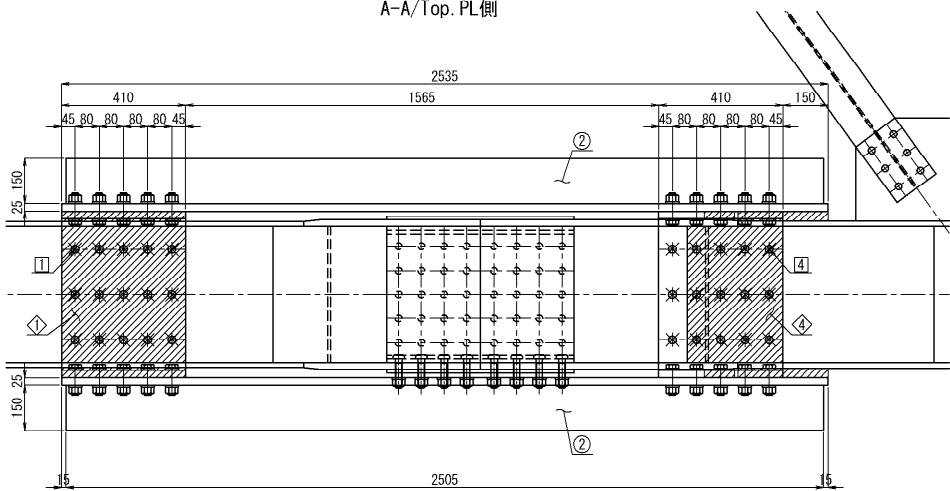
1-1

2-2

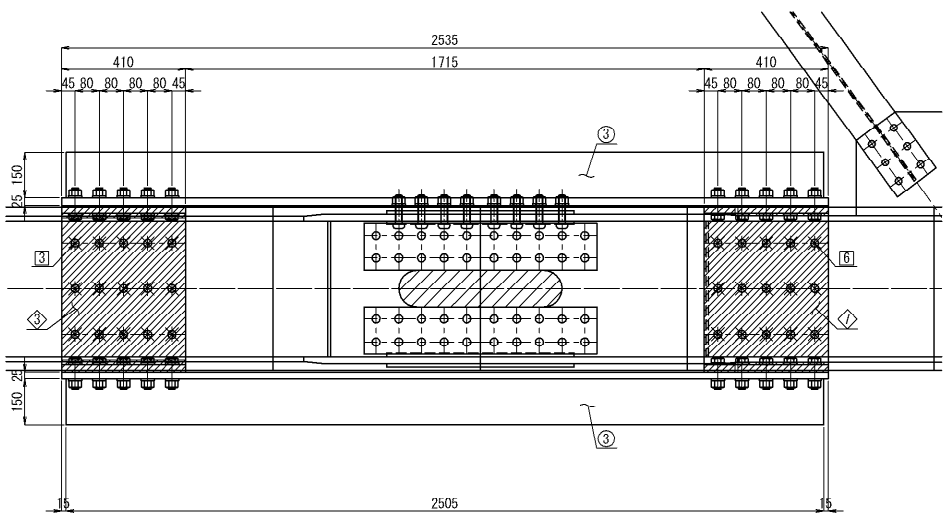
3-3



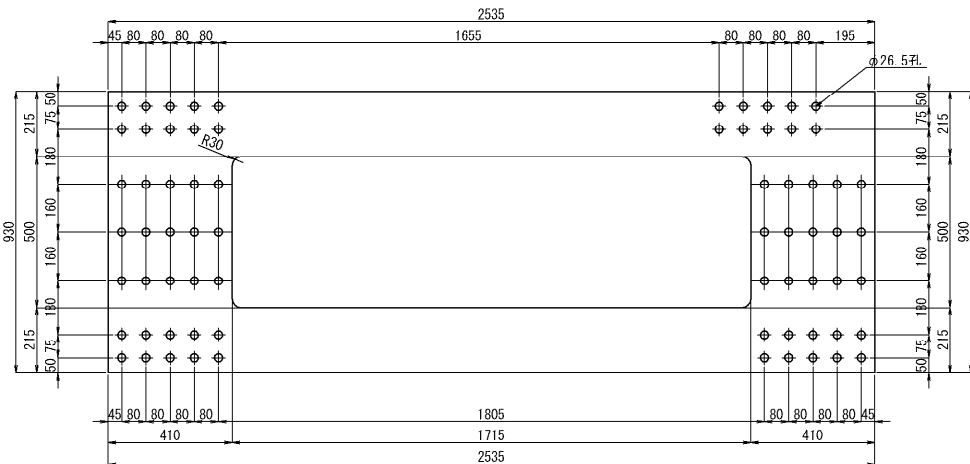
A-A/Top. PL側



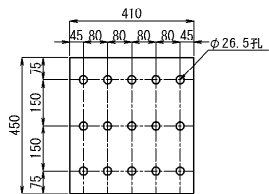
B-B/Bott. PL側



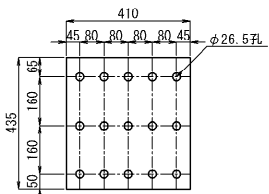
① 詳細



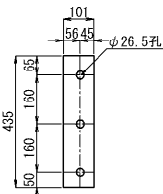
① ③ ④ ⑦ 詳細



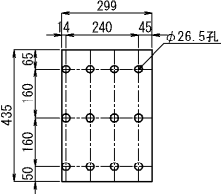
② 詳細



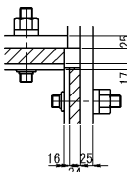
⑤ 詳細



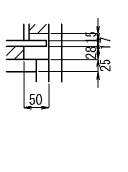
⑥ 詳細



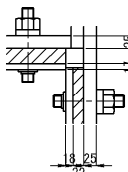
“a”部詳細 S=1:15



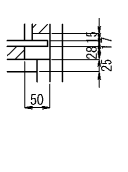
“b”部詳細 S=1:15



“c”部詳細 S=1:15



“d”部詳細 S=1:15



AT1

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2535
- ② 2-PL 150 x22 x2505
- ③ 2-PL 150 x22 x2505
- ④ 8-PL 195 x25 x 410
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 410
- ⑥ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 410 x34 x 435(SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 101 x28 x 435(SS400)
- ⑪ 2-FILL PL 299 x32 x 435(SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)

既設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 15-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ② 30-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ③ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70(SOM440)
- ④ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ⑤ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ⑥ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70(SOM440)
- 80-TCB M22 x85(S10T)
- 2-SPL PL 425 x12 x620(SM490YA)
- 80-TCB M22 x85(S10T)

新設製作数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2535
- ② 2-PL 150 x22 x2505
- ③ 2-PL 150 x22 x2505
- ④ 8-PL 195 x25 x 410
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 410
- ⑥ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 410 x34 x 435(SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 101 x28 x 435(SS400)
- ⑪ 2-FILL PL 299 x32 x 435(SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)

既設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 15-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ② 30-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ③ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70(SOM440)
- ④ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ⑤ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ⑥ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70(SOM440)
- 80-TCB M22 x85(S10T)
- 2-SPL PL 425 x12 x620(SM490YA)
- 80-TCB M22 x85(S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 120箇所

AT2

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ★ ① 2-PL 930 x25 x2535
- ★ ② 2-PL 150 x22 x2505
- ★ ③ 2-PL 150 x22 x2505
- ★ ④ 8-PL 195 x25 x 410
- ★ ⑤ 4-PL 500 x25 x 410
- ★ ⑥ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ★ ⑦ 2-FILL PL 410 x34 x 435(SS400)
- ★ ⑧ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)
- ★ ⑨ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ★ ⑩ 2-FILL PL 101 x28 x 435(SS400)
- ★ ⑪ 2-FILL PL 299 x32 x 435(SS400)
- ★ ⑫ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)

既設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 15-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ② 30-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ③ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70(SOM440)
- ④ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ⑤ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ⑥ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70(SOM440)
- 80-TCB M22 x85(S10T)
- 2-SPL PL 425 x12 x620(SM490YA)
- 80-TCB M22 x85(S10T)

新設製作数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2535
- ② 2-PL 150 x22 x2505
- ③ 2-PL 150 x22 x2505
- ④ 8-PL 195 x25 x 410
- ⑤ 4-PL 500 x25 x 410
- ⑥ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑦ 2-FILL PL 410 x34 x 435(SS400)
- ⑧ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)
- ⑨ 1-FILL PL 410 x31 x 450(SS400)
- ⑩ 2-FILL PL 101 x28 x 435(SS400)
- ⑪ 2-FILL PL 299 x32 x 435(SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 410 x28 x 450(SS400)

既設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 15-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ② 30-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ③ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70(SOM440)
- ④ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ⑤ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75(SOM440)
- ⑥ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70(SOM440)
- 80-TCB M22 x85(S10T)
- 2-SPL PL 425 x12 x620(SM490YA)
- 80-TCB M22 x85(S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x 120箇所

注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ◆印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造は施工後撤去する。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- 既設下弦材の添接部について、外側の添接板だけ取替えとする。
- 斜線印はフィラープレートを示す。
- ★印材はAT1の転用と示す。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	426/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その6)

S=1:25

427/529

下弦材(バイパス板)

AT1<AT2>

TYPE⑤

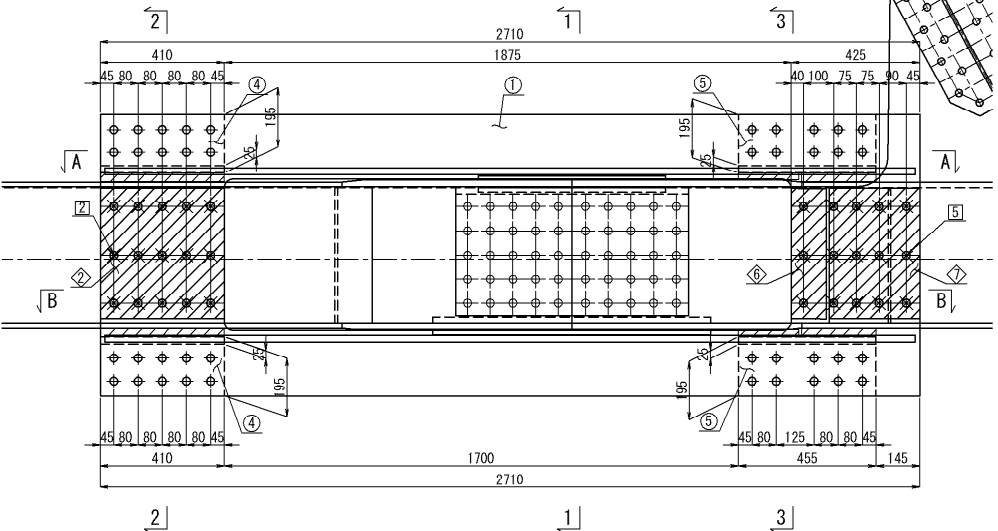
断面

1-1

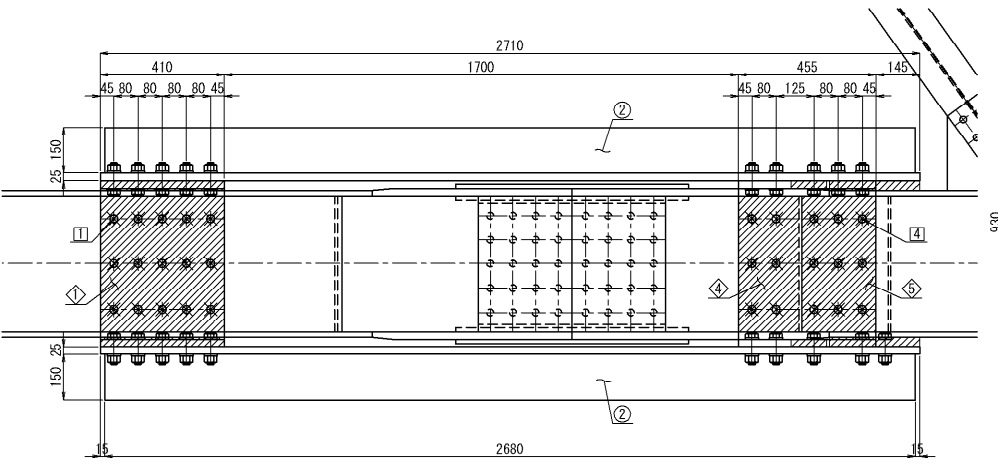
2-2

3-3

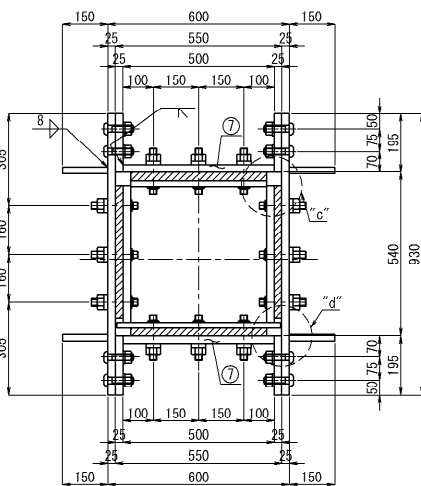
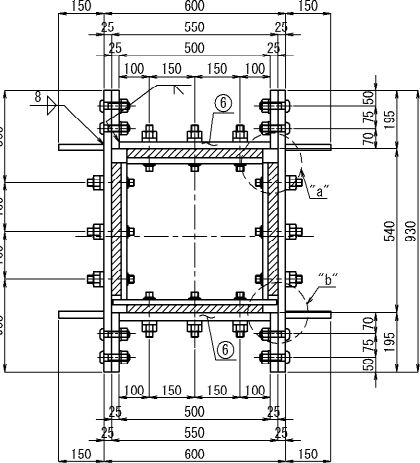
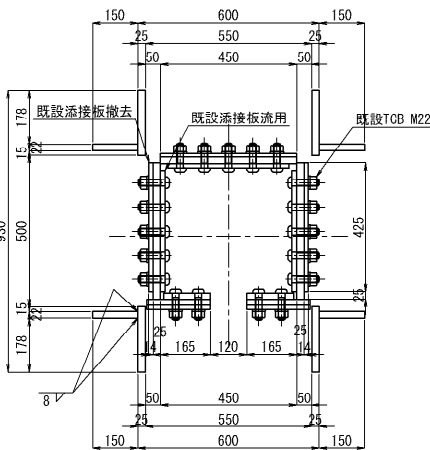
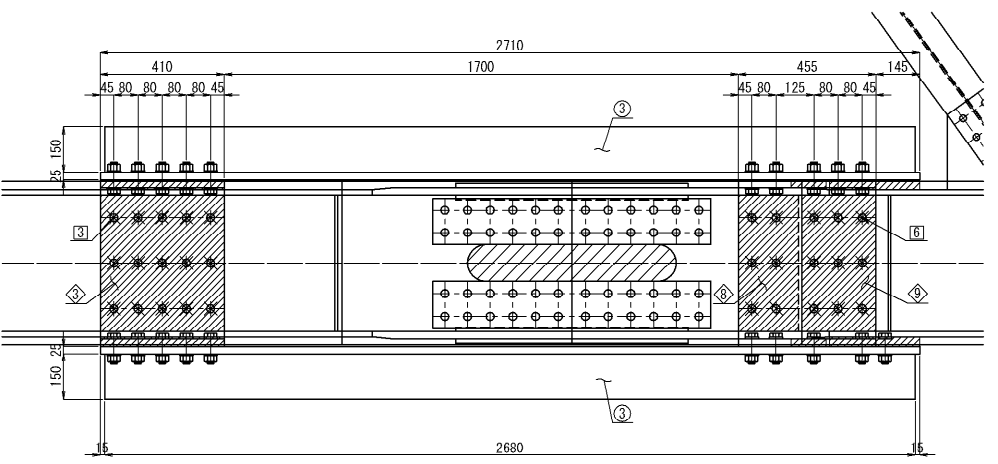
側面図  
TYPE-⑤



A-A/Top. PL側



B-B/Bott. PL側



① (AT1)

新設製作数量  
1主構当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2710
- ② 2-PL 150 x22 x2680
- ③ 2-PL 150 x22 x2680
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x455
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x455
- ⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 245 x30 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 115 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 300 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 245 x27 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPL PL 425 x14 x770 (SM490YA)
- 100-TCB M22 x90 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2710
- ② 2-PL 150 x22 x2680
- ③ 2-PL 150 x22 x2680
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x455
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x455
- ⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 245 x30 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 115 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 300 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 245 x27 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)  
25.5φ x 120箇所

③1 (AT2)

新設製作数量  
1主構当たり数量(製作数:1基)

- ★ ① 2-PL 930 x25 x2710
- ★ ② 2-PL 150 x22 x2680
- ★ ③ 2-PL 150 x22 x2680
- ★ ④ 4-PL 195 x25 x410
- ★ ⑤ 4-PL 195 x25 x455
- ★ ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ★ ⑦ 2-PL 500 x25 x455
- ★ ⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ★ ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ★ ⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ★ ⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ★ ⑫ 1-FILL PL 245 x30 x450 (SS400)
- ★ ⑬ 2-FILL PL 115 x25 x435 (SS400)
- ★ ⑭ 2-FILL PL 300 x32 x435 (SS400)
- ★ ⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ★ ⑯ 1-FILL PL 245 x27 x450 (SS400)
- ★ ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ★ ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ★ ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ★ ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

- 2-SPL PL 425 x14 x770 (SM490YA)
- 100-TCB M22 x90 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2710
- ② 2-PL 150 x22 x2680
- ③ 2-PL 150 x22 x2680
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x455
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x455
- ⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 245 x30 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 115 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 300 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 245 x27 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑱ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ⑲ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ⑳ 15-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉑ 30-ワンサイドボルト MUTF24-75 (SCM440)
- ㉒ 15-ワンサイドボルト MUTF24-70 (SCM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

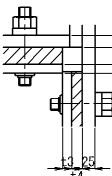
1箇所当たり数量(全:1箇所)  
25.5φ x 120箇所

注記

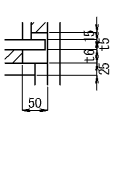
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造物寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ◆印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造は施工後撤去する。
- 撤去部材は無塗装とする。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 印はフィラープレートを示す。
- ★印材料はAT1の転用と示す。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。

下弦材断面番号	t1	t2	t3	L4	L5	L6	t7	t8	t9	L10	L11	L12
① (AT1)	30	18	18	32	18	27	30	18	18	32	18	22
② (AT2)	30	18	18	32	18	27	30	18	18	32	18	22

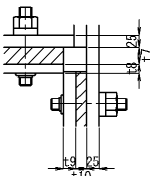
“a”部詳細 S=1:15 “b”部詳細 S=1:15 “c”部詳細 S=1:15 “d”部詳細 S=1:15



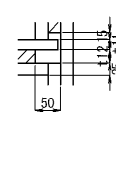
① ③ 詳細



② 詳細



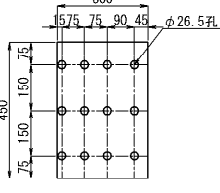
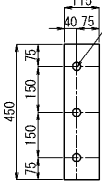
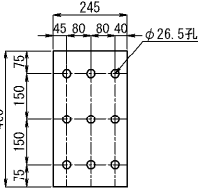
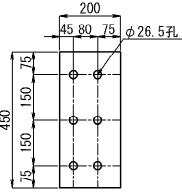
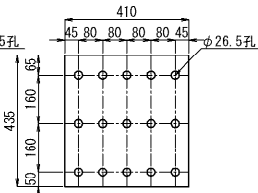
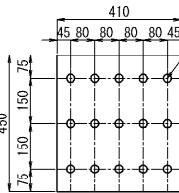
④ ⑧ 詳細



⑤ ⑨ 詳細

⑥ 詳細

⑦ 詳細



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	427/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その7)

S=1:25

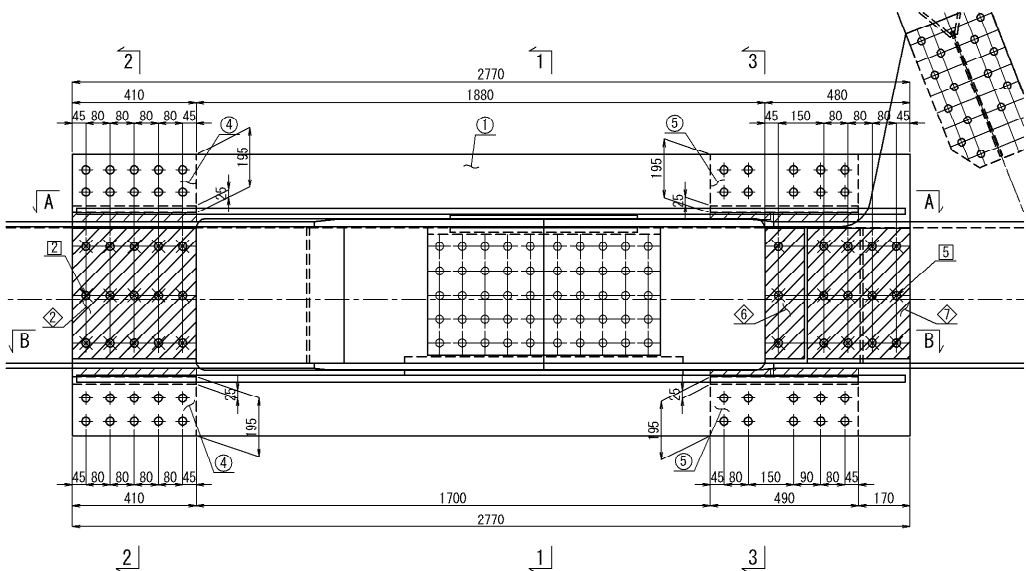
428/529

下弦材(バイパス板)

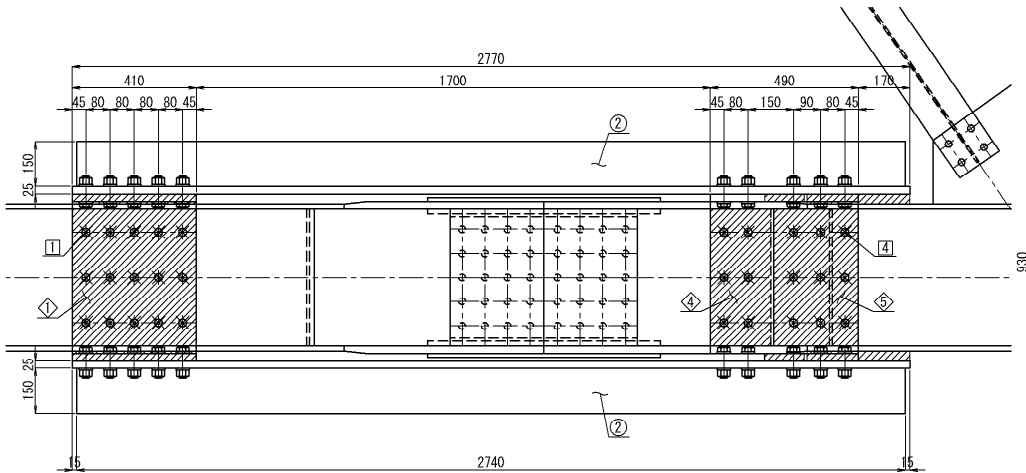
AT1<AT2>

TYPE⑥

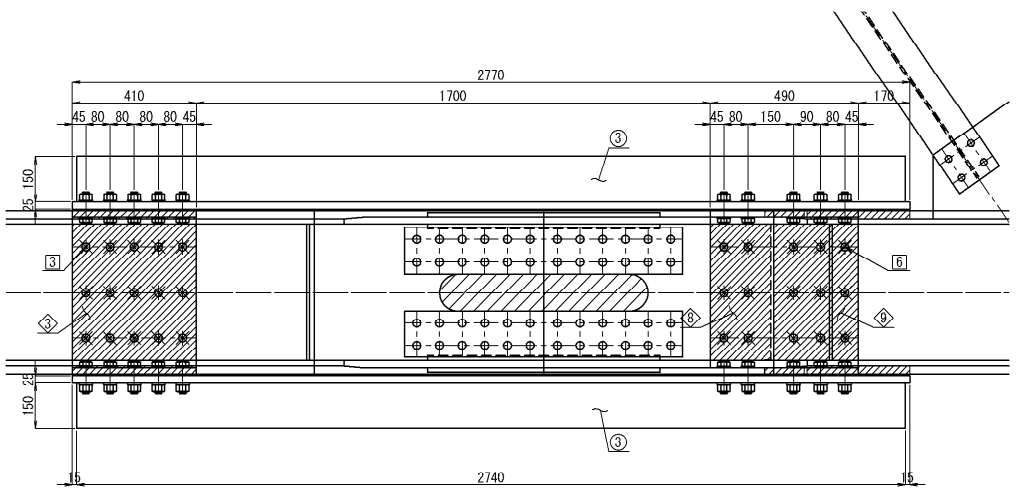
側面図  
TYPE-⑥



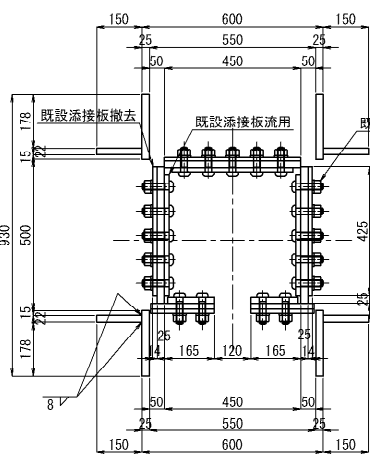
A-A/Top. PL側



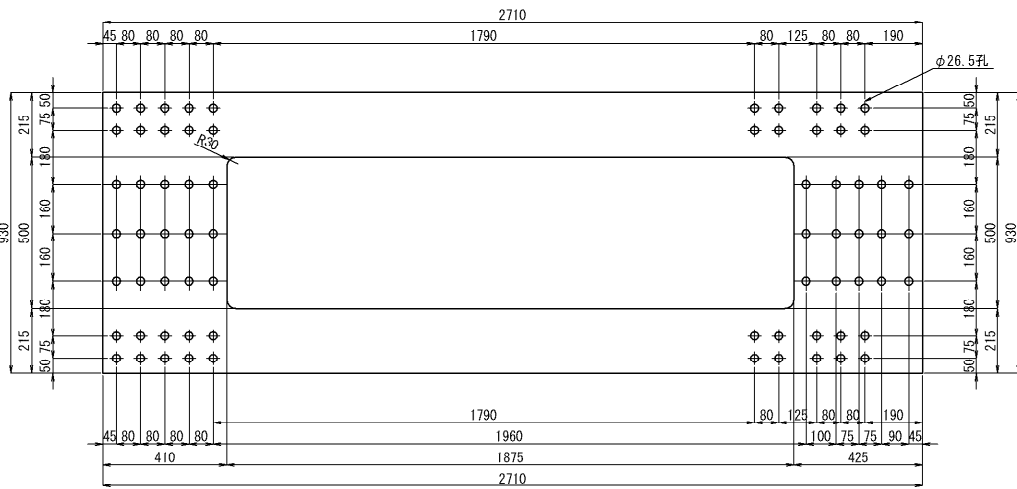
B-B/Bott. PL側



1-1

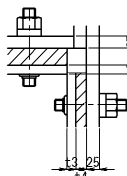


① 詳細

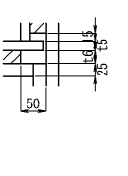


下弦材断面番号	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	t9	t10	t11	t12
⑬ (AT1)	29	19	18	32	19	26	29	19	18	32	18	22
⑭ (AT2)	30	18	18	32	18	27	30	18	18	32	18	23

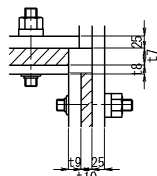
"a"部詳細 S=1:15



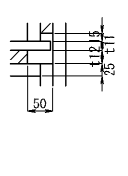
"b"部詳細 S=1:15



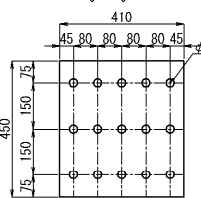
"c"部詳細 S=1:15



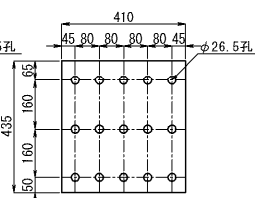
"d"部詳細 S=1:15



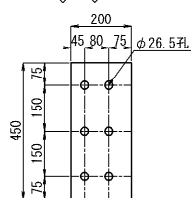
①③ 詳細



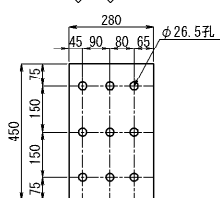
② 詳細



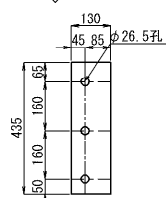
④⑧ 詳細



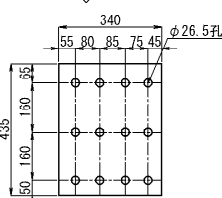
⑤⑨ 詳細



⑥ 詳細

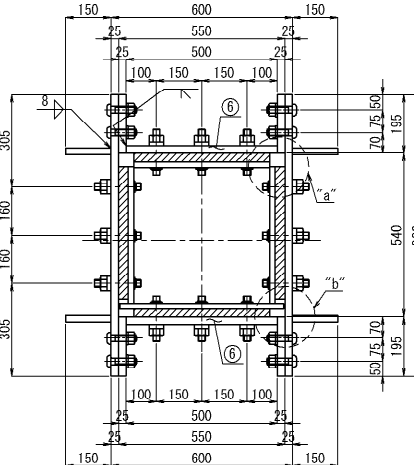


⑦ 詳細

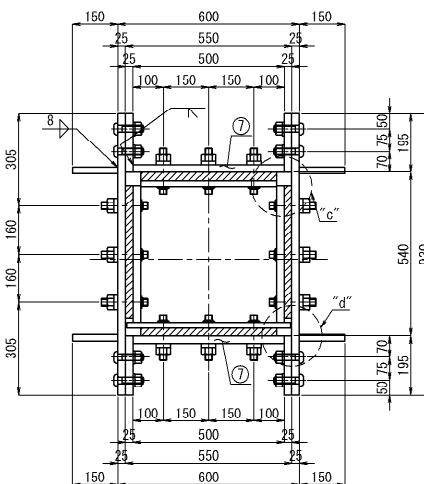


断面

2-2



3-3



⑬ (AT1)

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2770
- ② 2-PL 150 x22 x2740
- ③ 2-PL 150 x22 x2740
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x490
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x490
- ⑧ 1-FILL PL 410 x29 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x26 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x22 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 280 x29 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 130 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 340 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x22 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 280 x26 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ⑱ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ⑲ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SOM440)
- ⑳ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ㉑ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ㉒ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SOM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

2-SPL PL 425 x14 x770 (SM490YA)

100-TCB M22 x90 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2770
- ② 2-PL 150 x22 x2740
- ③ 2-PL 150 x22 x2740
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x490
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x490
- ⑧ 1-FILL PL 410 x29 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x26 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x22 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 280 x29 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 130 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 340 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x22 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 280 x26 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ⑱ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ⑲ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SOM440)
- ⑳ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ㉑ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ㉒ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SOM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x120箇所

⑭ (AT2)

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- ★① 2-PL 930 x25 x2770
- ★② 2-PL 150 x22 x2740
- ★③ 2-PL 150 x22 x2740
- ★④ 4-PL 195 x25 x410
- ★⑤ 4-PL 195 x25 x490
- ★⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ★⑦ 2-PL 500 x25 x490
- ★⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ★⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ★⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ★⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ★⑫ 1-FILL PL 280 x30 x450 (SS400)
- ★⑬ 2-FILL PL 130 x25 x435 (SS400)
- ★⑭ 2-FILL PL 340 x32 x435 (SS400)
- ★⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ★⑯ 1-FILL PL 280 x27 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ⑱ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ⑲ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SOM440)
- ⑳ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ㉑ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ㉒ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SOM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量(1基)

2-SPL PL 425 x14 x770 (SM490YA)

100-TCB M22 x90 (S10T)

新設撤去数量

1主構当たり数量(1基)

- ① 2-PL 930 x25 x2770
- ② 2-PL 150 x22 x2740
- ③ 2-PL 150 x22 x2740
- ④ 4-PL 195 x25 x410
- ⑤ 4-PL 195 x25 x490
- ⑥ 2-PL 500 x25 x410
- ⑦ 2-PL 500 x25 x490
- ⑧ 1-FILL PL 410 x30 x450 (SS400)
- ⑨ 2-FILL PL 410 x32 x435 (SS400)
- ⑩ 1-FILL PL 410 x27 x450 (SS400)
- ⑪ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑫ 1-FILL PL 280 x30 x450 (SS400)
- ⑬ 2-FILL PL 130 x25 x435 (SS400)
- ⑭ 2-FILL PL 340 x32 x435 (SS400)
- ⑮ 1-FILL PL 200 x23 x450 (SS400)
- ⑯ 1-FILL PL 280 x27 x450 (SS400)
- ⑰ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ⑱ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ⑲ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SOM440)
- ⑳ 15-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ㉑ 30-ワンスайдボルト MUTF24-75 (SOM440)
- ㉒ 15-ワンスайдボルト MUTF24-70 (SOM440)
- ㉓ 80-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工

1箇所当たり数量(全:1箇所)

25.5φ x120箇所

注記

- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ◆印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- バイパス構造は施工後撤去する。
- 撤去部材は無塗装とする。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
- ㊦印はフィラープレートを示す。
- ★印材はAT1の転用を示す。数量は計上しないとする。
- 撤去部材は無塗装とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	428/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その8)

S=1 : 25

下弦材(バイパス板)

 $AT1 < AT2$ 

TYPE ⑦

1-

断面

2-

3-

33 (AT2)

新設製作数量

1主構当たり数量(製作数:1基)

- |   |    |        |     |     |       |              |
|---|----|--------|-----|-----|-------|--------------|
| ★ | 1  | 2-PL   | 330 | x25 | x3930 |              |
| ★ | 2  | 2-PL   | 150 | x22 | x3900 |              |
| ★ | 3  | 2-PL   | 150 | x22 | x3900 |              |
| ★ | 4  | 4-PL   | 195 | x25 | x4100 |              |
| ★ | 5  | 4-PL   | 195 | x25 | x4100 |              |
| ★ | 6  | 2-PI   | 500 | x75 | x460  |              |
| ★ | 7  | 2-PL   | 500 | x25 | x460  |              |
| ★ | 8  | 1-FILL | PL  | 410 | x31   | x450 (SS400) |
| ★ | 9  | 2-FILL | PL  | 410 | x33   | x435 (SS400) |
| ★ | 10 | 1 FILL | PL  | 410 | x28   | x450 (SS400) |
| ★ | 11 | 1-FILL | PL  | 125 | x24   | x450 (SS400) |
| ★ | 12 | 1-FILL | PL  | 325 | x31   | x450 (SS400) |
| ★ | 13 | 2-FILL | PL  | 410 | x27   | x435 (SS400) |
| ★ | 14 | 1-FILL | PL  | 125 | x24   | x450 (SS400) |
| ★ | 15 | 1-FILL | PL  | 325 | x28   | x450 (SS400) |

1	15-ワンサイドボルト	MUTF24-75 (SCM440)
2	30-ワンサイドボルト	MUTF24-75 (SCM440)
3	15-ワンサイドボルト	MUTF24-70 (SCM440)
4	15-ワンサイドボルト	MUTF24-75 (SCM440)
5	30-ワンサイドボルト	MUTF24-75 (SCM440)
6	15-ワンサイドボルト	MUTF24-70 (SCM440)

TCB M22 x85 (S10T)

既設撤去数量 (1基)

2-SPL PL 425 x13 x620(SM490YA)  
80-TCB M22 x85(S10T)

新設撤去数量  
1主構当たり数量(1基)

①	2-PL	930	x25	x3930	
②	2-PL	150	x22	x3900	
③	2-PL	150	x22	x3900	
④	4-PL	195	x25	x 410	
⑤	4-PL	195	x25	x 460	
⑥	2-PL	500	x25	x 410	
⑦	2-PL	500	x25	x 460	
⑧	1-F-ILL	PL	410	x31	x 450 (SS400)
⑨	2-F-ILL	PL	410	x33	x 435 (SS400)
⑩	1-F-ILL	PL	410	x28	x 450 (SS400)
⑪	1-F-ILL	PL	125	x24	x 450 (SS400)
⑫	1-F-ILL	PL	325	x31	x 450 (SS400)
⑬	2-F-ILL	PL	410	x27	x 435 (SS400)
⑭	1-F-ILL	PL	125	x24	x 450 (SS400)
⑮	1-F-ILL	PL	325	x28	x 450 (SS400)

① 15-ワンサイ ドボルト MUTF24-75 (SCM440)  
 ② 30-ワンサイ ドボルト MUTF24-75 (SCM440)  
 ③ 15-ワンサイ ドボルト MUTF24-70 (SCM440)  
 ④ 15-ワンサイ ドボルト MUTF24-75 (SCM440)  
 ⑤ 30-ワンサイ ドボルト MUTF24-75 (SCM440)  
 ⑥ 15-ワンサイ ドボルト MUTF24-70 (SCM440)

80-TCB M22 x85 (S10T)

現場孔明け工  
1箇所当たり数量(全:1箇所)  
25.5φ x 120箇所

注記

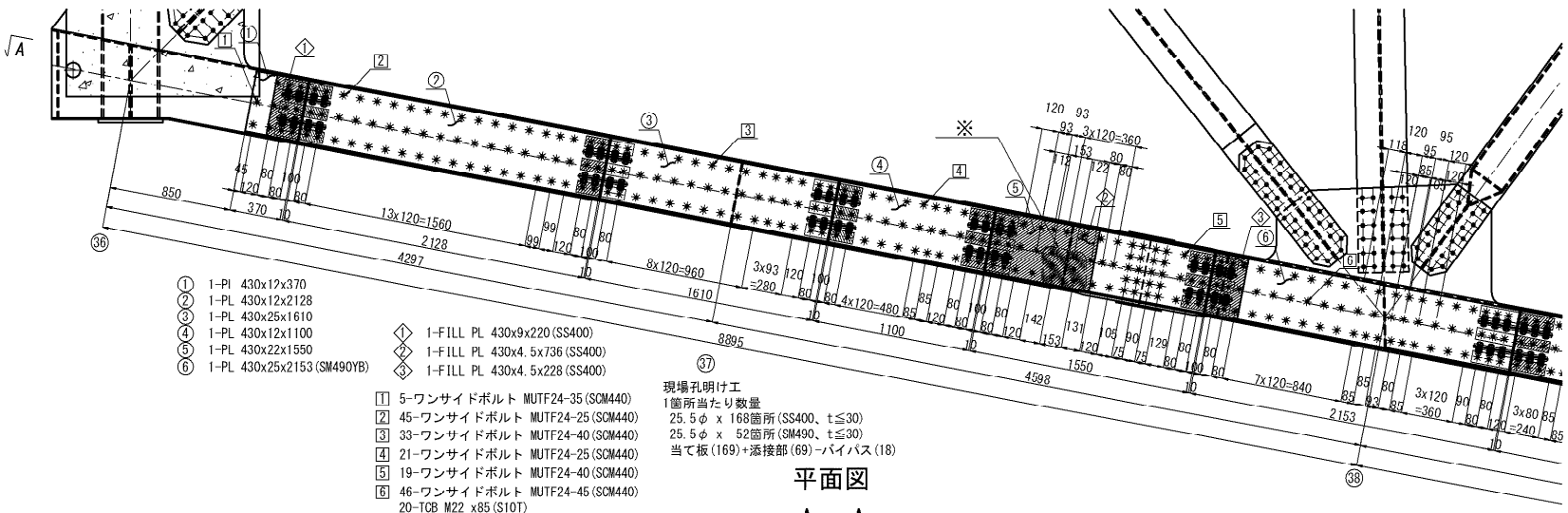
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ※印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設の24.5新設の26.5とする。  
※印のボルトは、MUFU 24を示す  
ボルト孔は既設の25.5新設の26.5とする。
4. バイパス構造は施工後撤去する。
5. 撤去部材は無塗装とする。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 図面及びフリースプレードを示す。
8. ★印材料はAT11の転用と示す。数量は計上しないとする。
9. 撤去部材は無塗装とする。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強(当て床補強)詳細図(その8)		
縮 尺	図示	図面番号	429/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



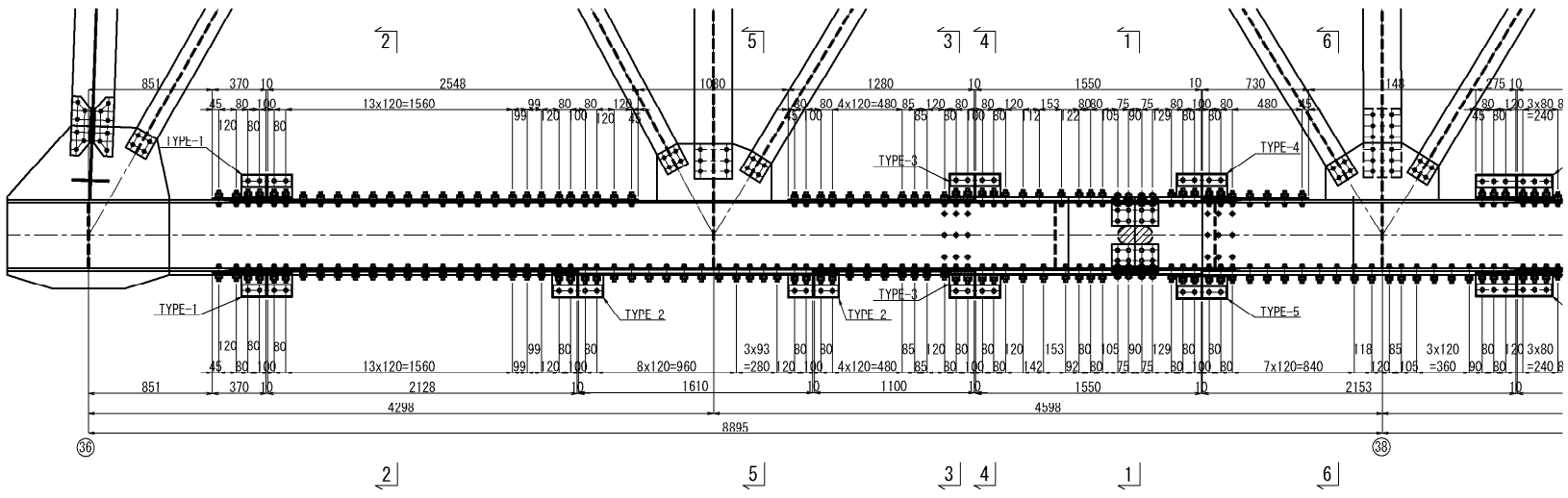
下弦材 ①  
AT1

側面図(桁外側)

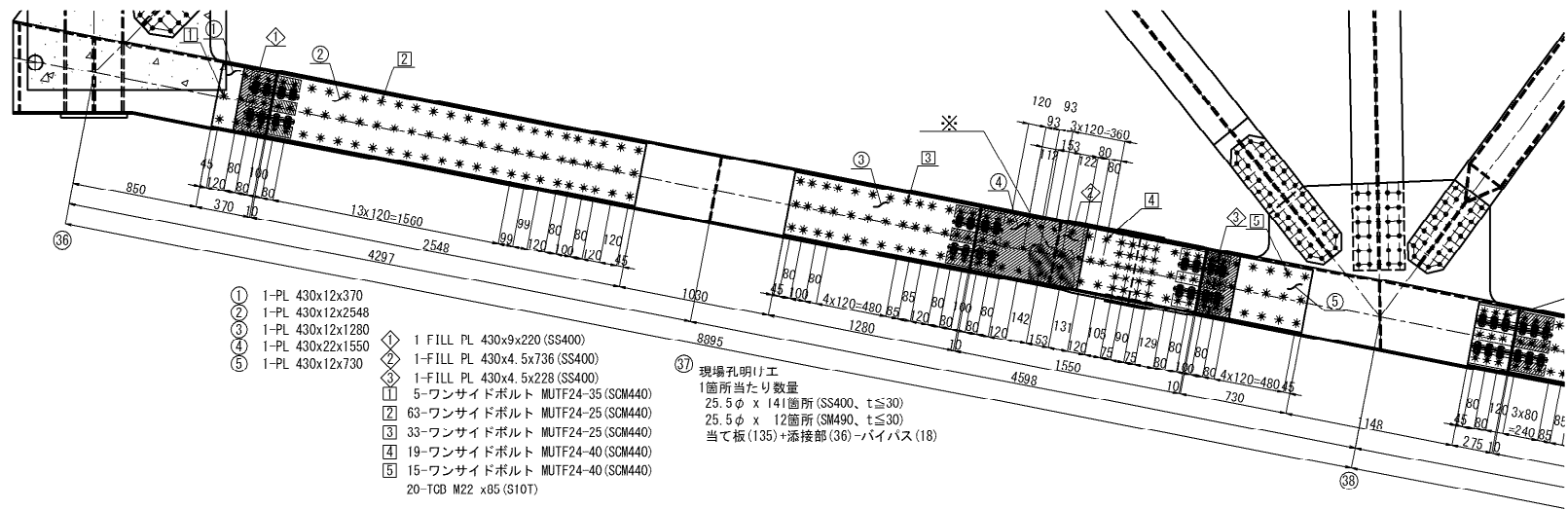


平面図

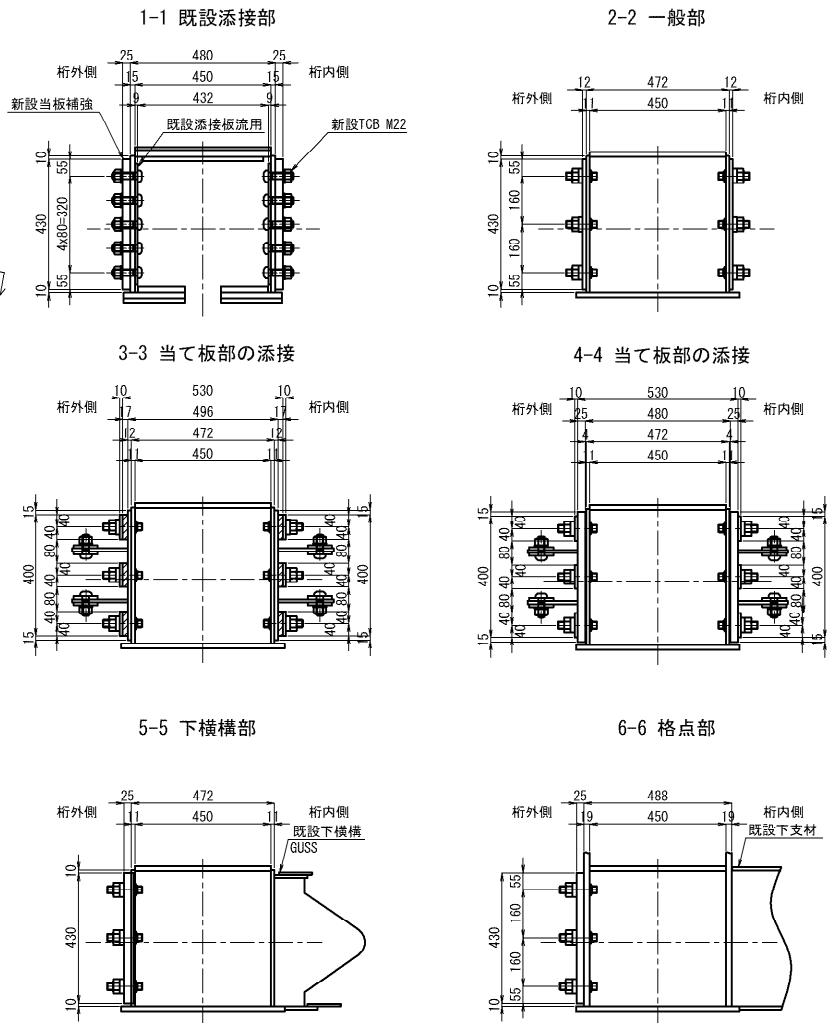
A-A



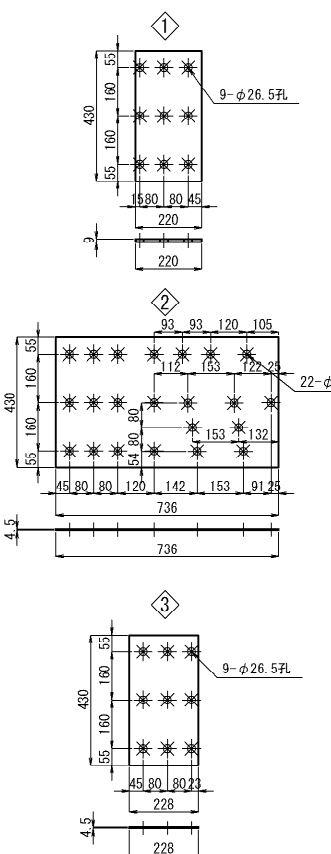
側面図(桁内側)



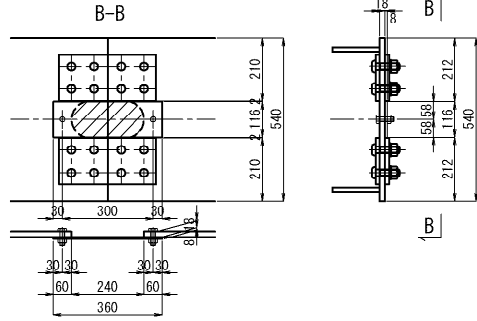
断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



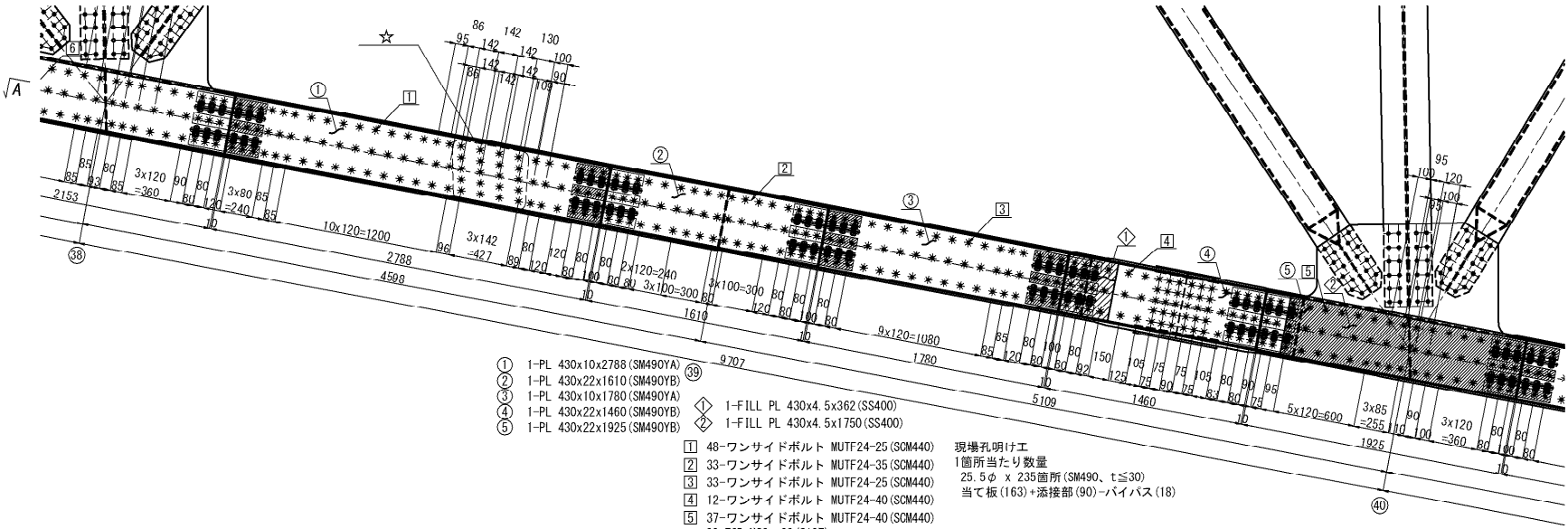
注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. ■印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. ※印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造  
詳細図(その2)」を参照すること。  
8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強)詳細図(その35)~(その40)」を  
参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その9)		
縮 尺	図示	図面番号	430/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その10) S=1:50

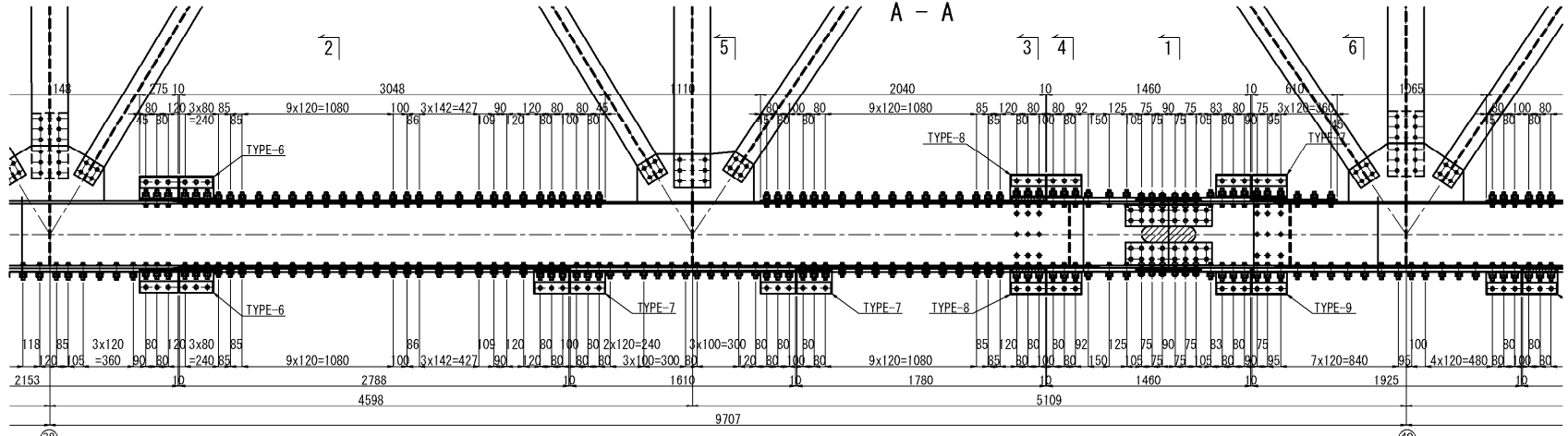
下弦材  
AT1

側面図(桁外側)

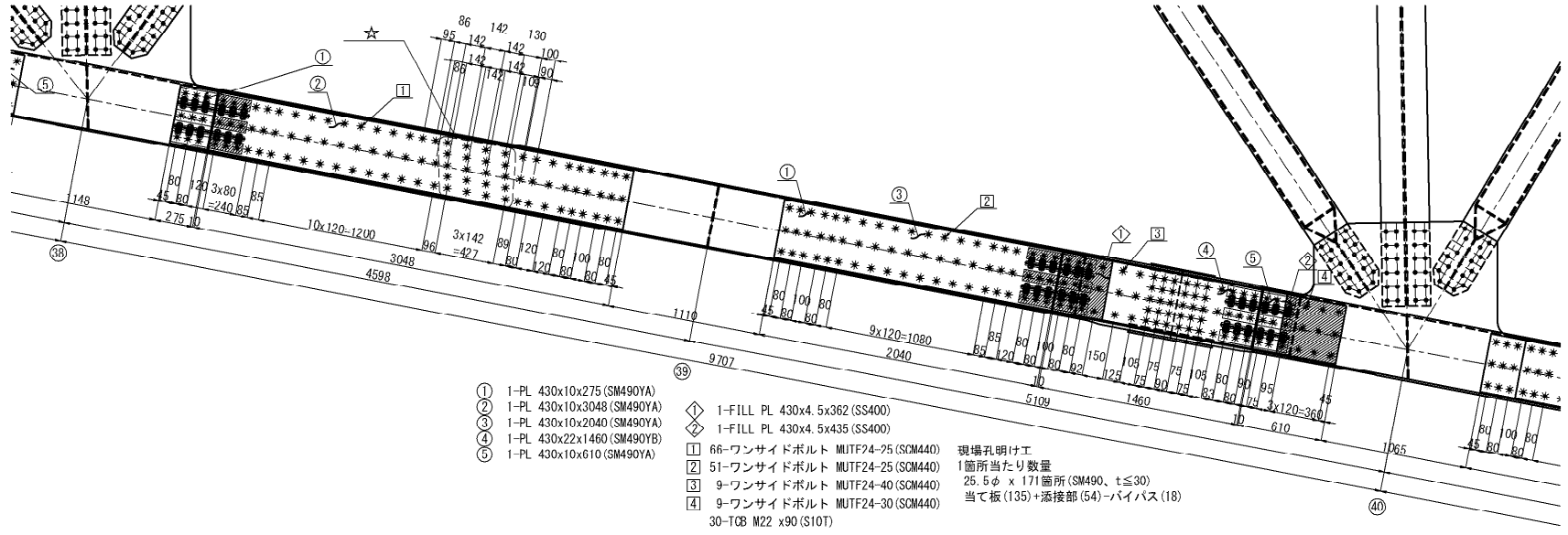


平面図

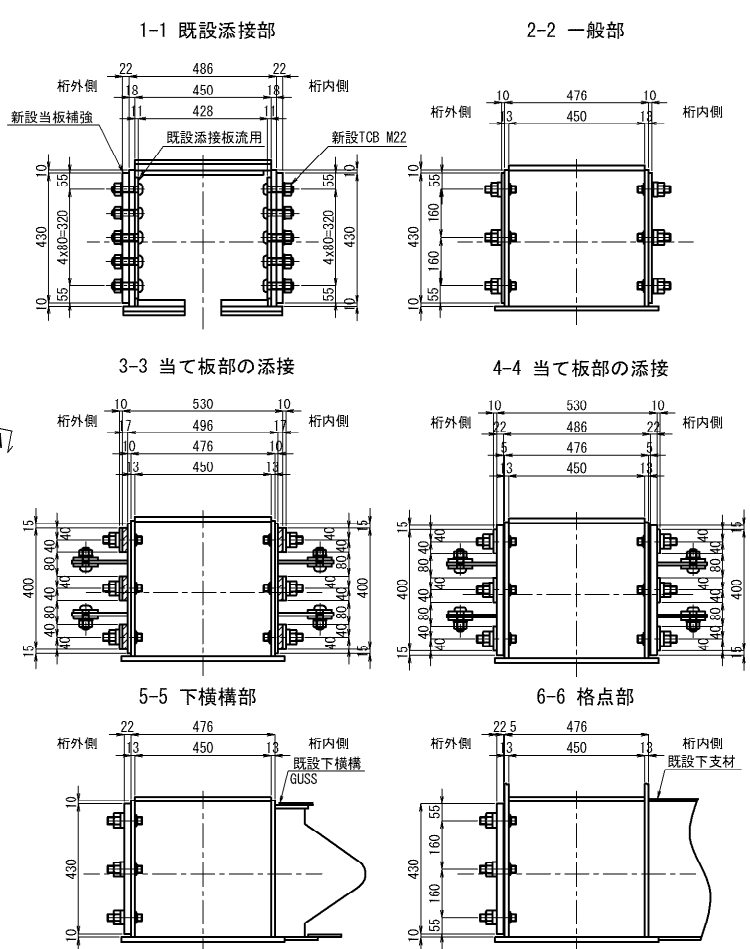
A - A



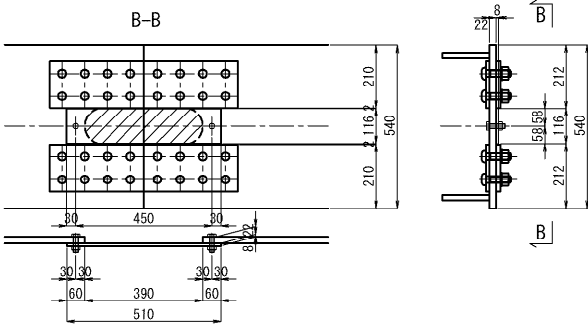
側面図(桁内側)



断面図 S=1:25



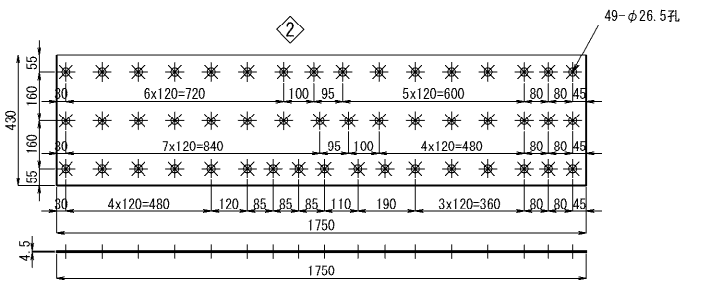
ハンドホール詳細 S=1:25



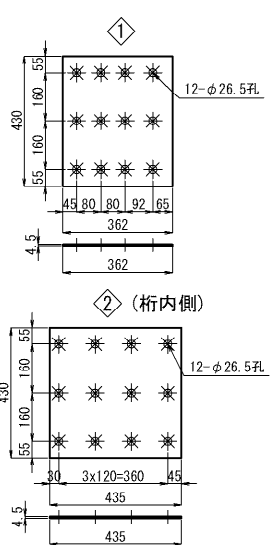
1主構当たり数量(製作数:1基)  
1 Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

既設撤去数量(1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

FILL PL詳細 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25



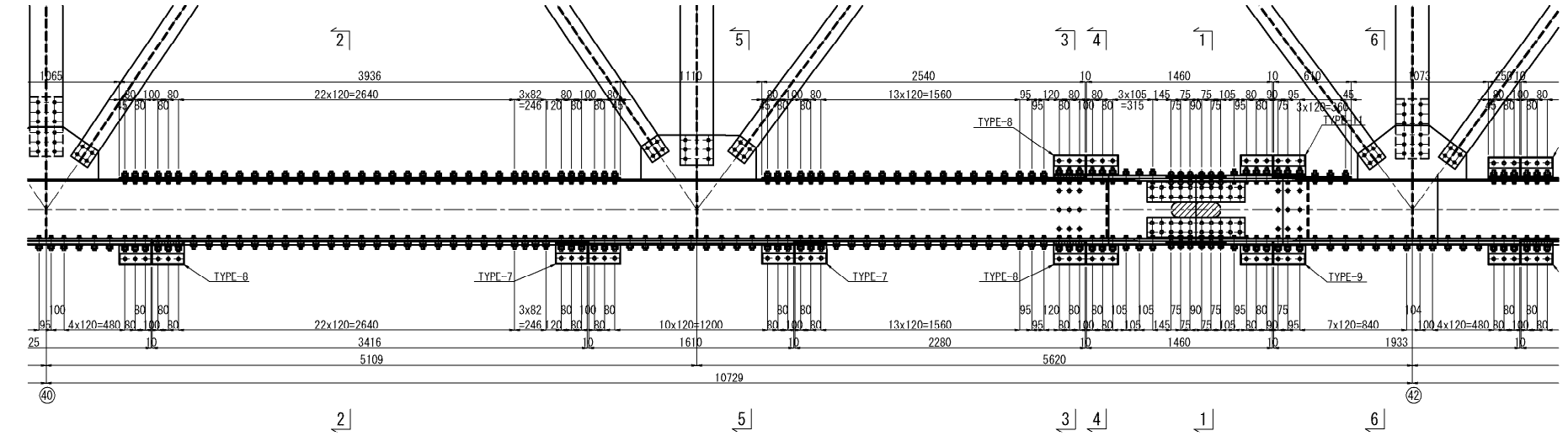
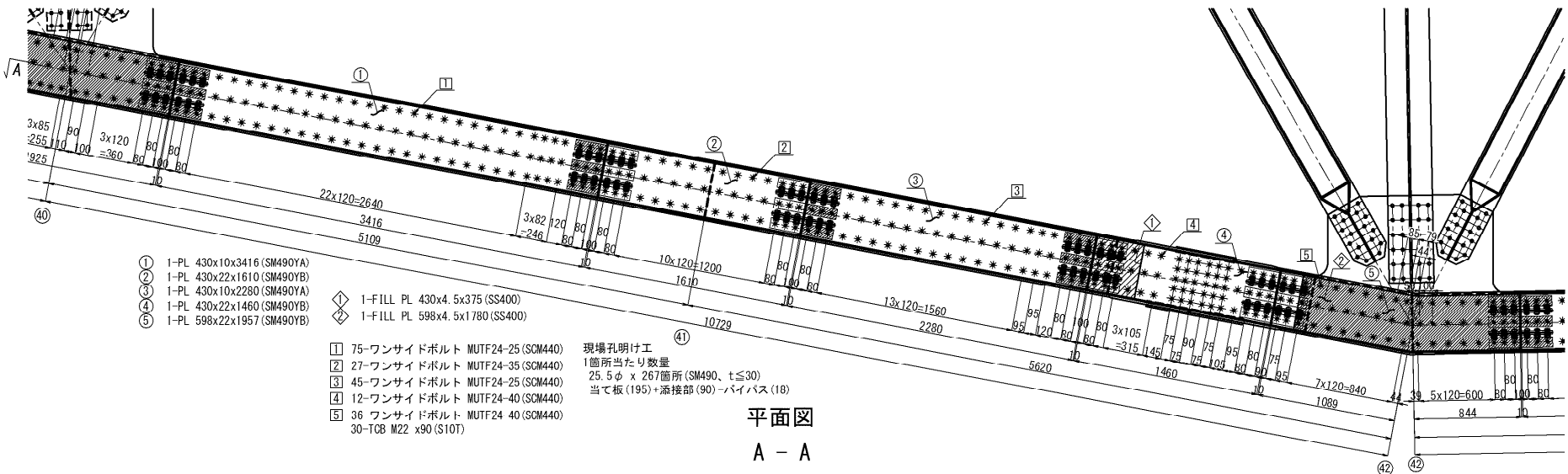
注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. ☆印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造  
詳細図(その3)」を参照すること。  
8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を  
参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その10)		
縮 尺	図示	図面番号	431/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

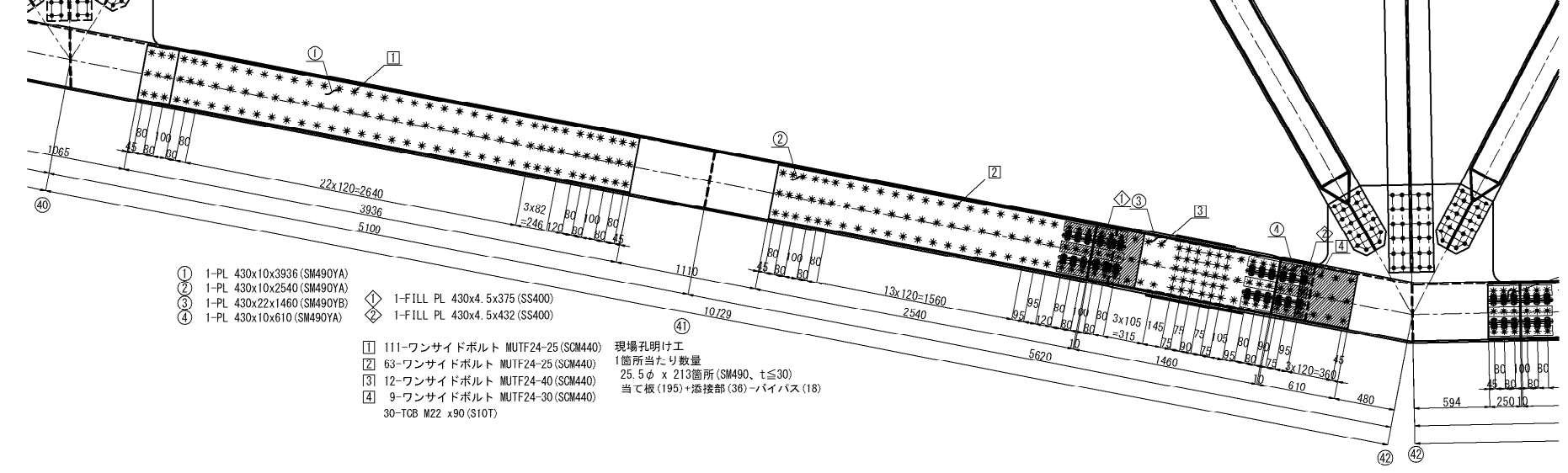
滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その11) S=1:50

下弦材  
AT1

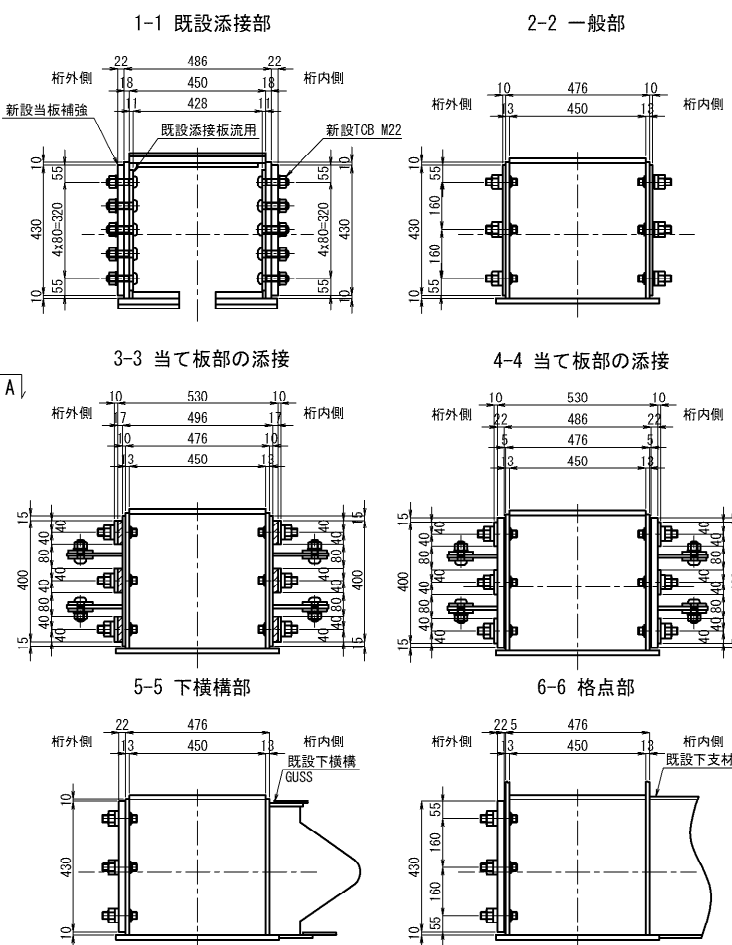
側面図(桁外側)



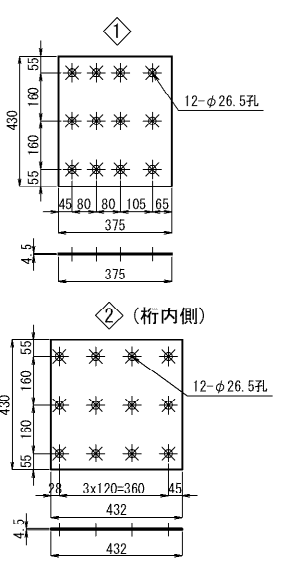
側面図(桁内側)



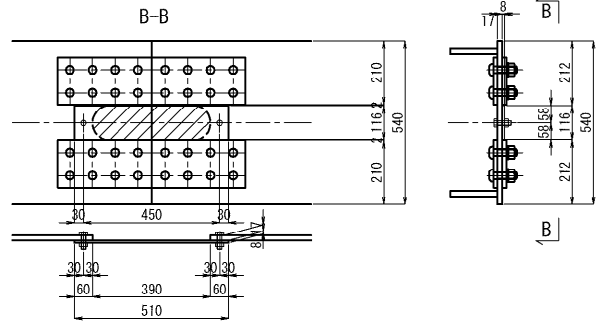
断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25



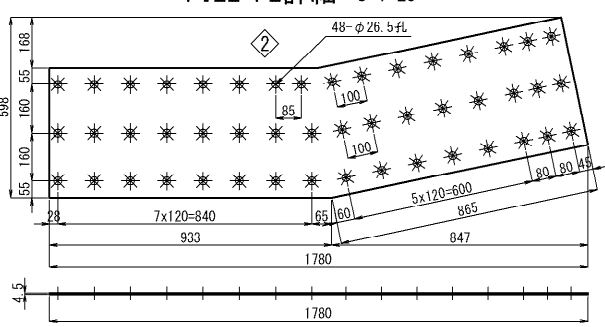
ハンドホール詳細 S=1:25



1主構当たり数量(製作数・1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

既設撤去数量(1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

FILL PL詳細 S=1:25

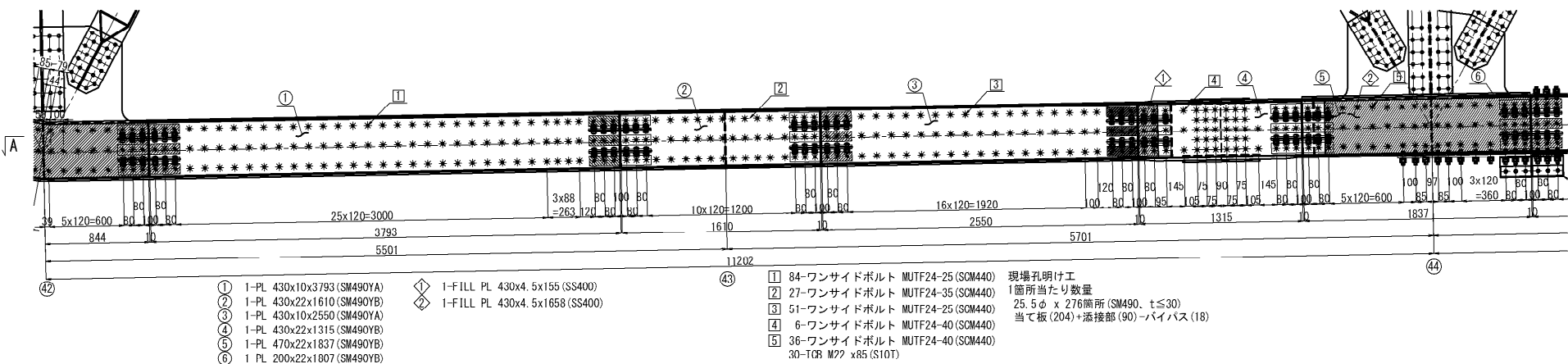


注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を  
参照すること。

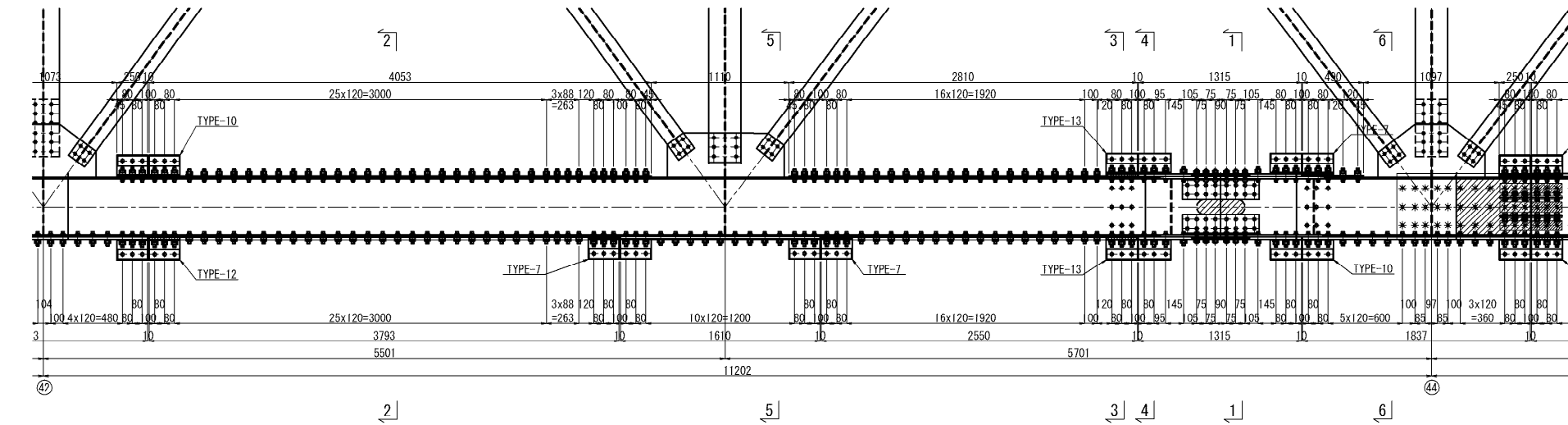
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その11)		
	縮尺	図示	図面番号 432/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

下弦材  
AT1

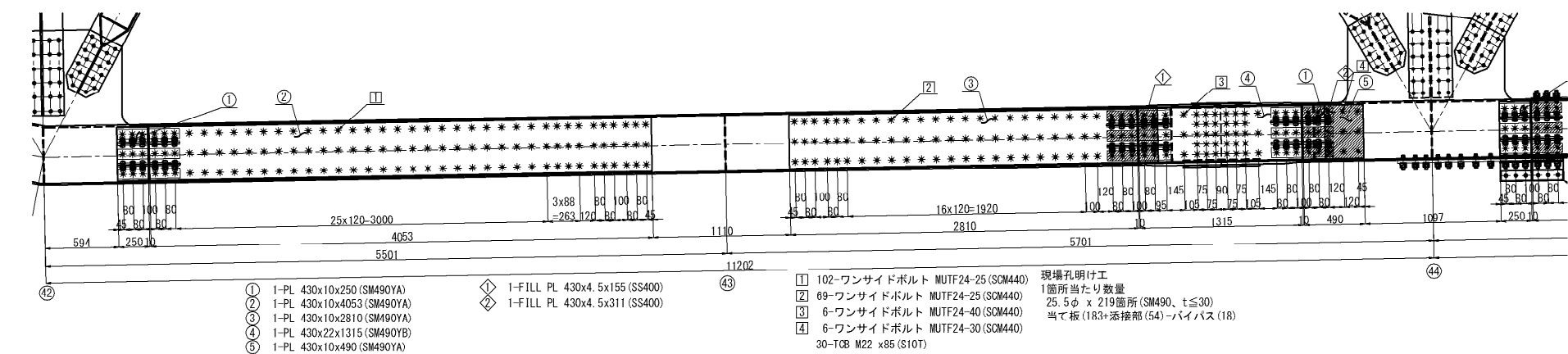
側面図(桁外側)



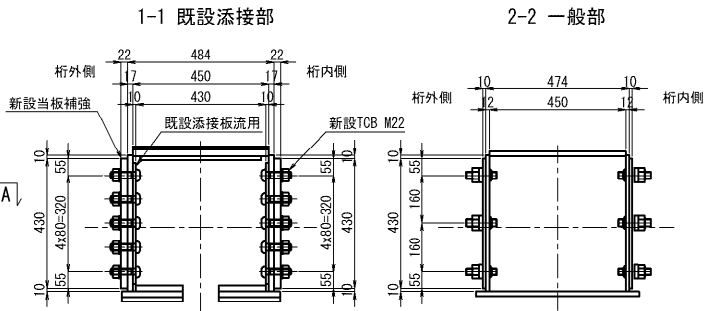
平面図  
A - A



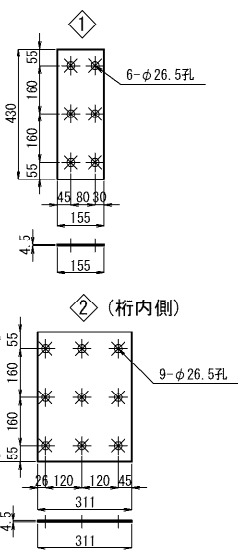
側面図(桁内側)



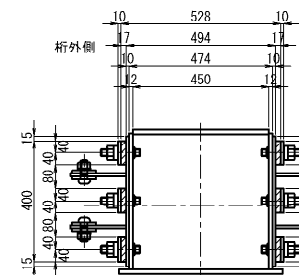
断面図 S=1:25



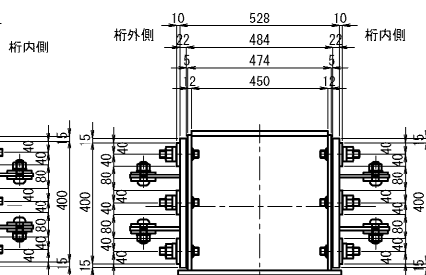
FILL PL詳細 S=1:25



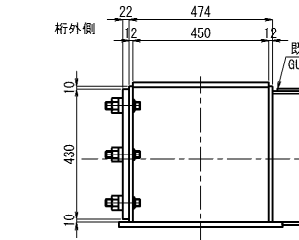
3-3 当て板部の添接



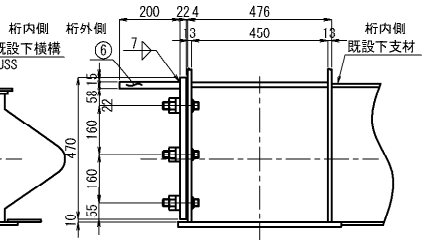
4-4 当て板部の添接



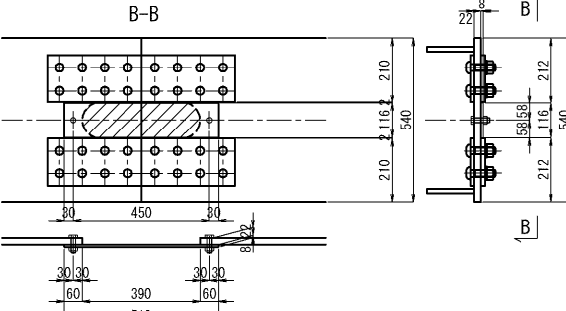
5-5 下横構部



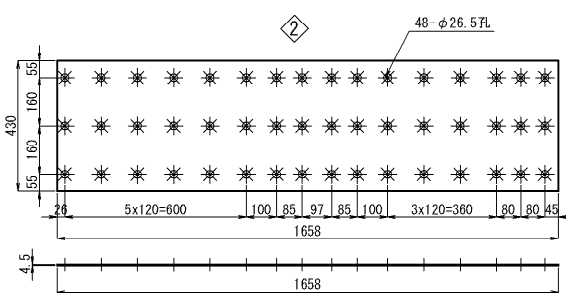
6-6 格点部



ハンドホール詳細 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

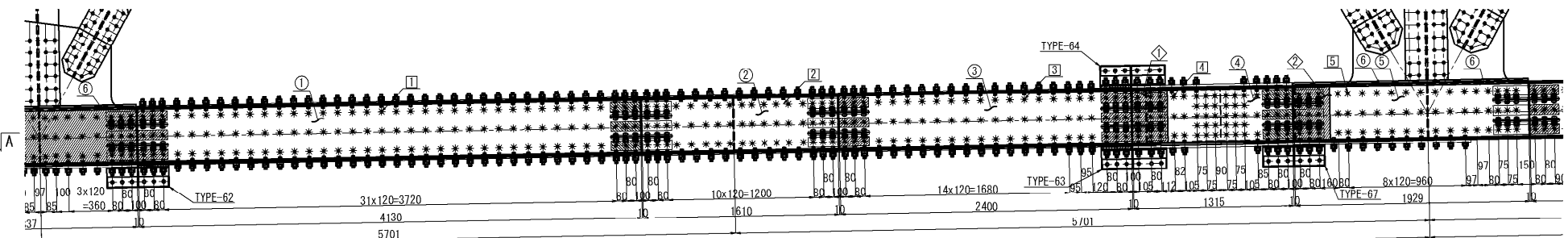


注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を  
参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その12)		
	縮尺	図示	図面番号 433/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

下弦材 5-1  
AT1

側面図(桁外側)



- ①

1-PL 430x10x4130 (SM490YA)

②

1-PL 430x22x1610 (SM490YB)

③

1-PL 430x10x2400 (SM490YA)

④

1-PL 430x22x1315 (SM490YB)

⑤

1-PL 470x22x1929 (SM490YB)

⑥

1-PL 200x22x1904 (SM490YB)
- ①

1-FILL PL 430x4. 5x290 (SS400)

②

1-FILL PL 430x4. 5x298 (SS400)
- ①

90-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)

②

27-ワンサイドボルト MUTF24-35 (SCM440)

③

48-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)

④

9-ワンサイドボルト MUTF24-40 (SCM440)

⑤

36-ワンサイドボルト MUTF24-45 (SCM440)

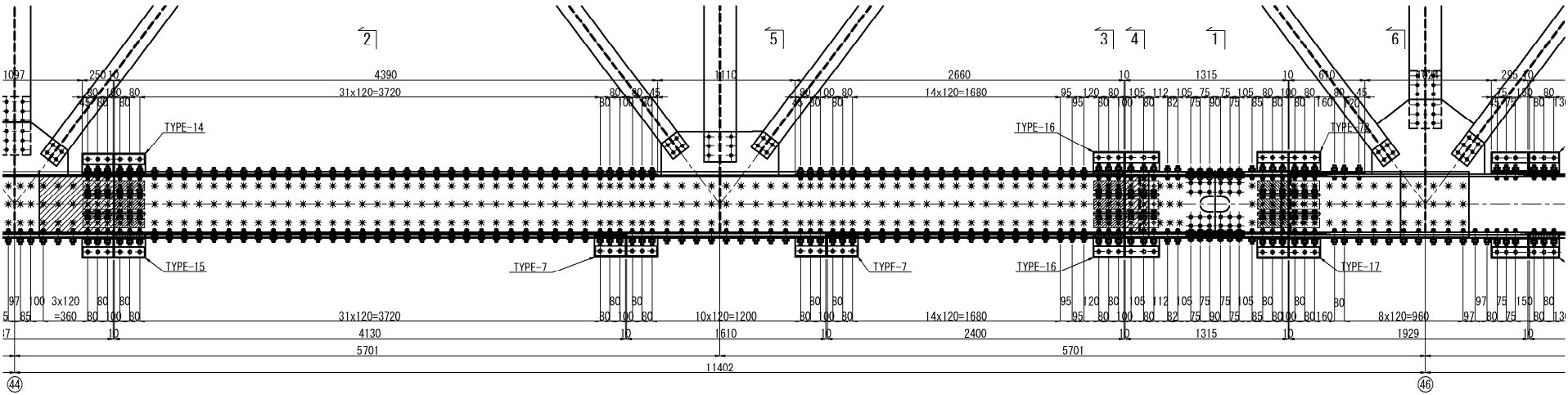
⑥

30-TCB M22 x80 (S10T)

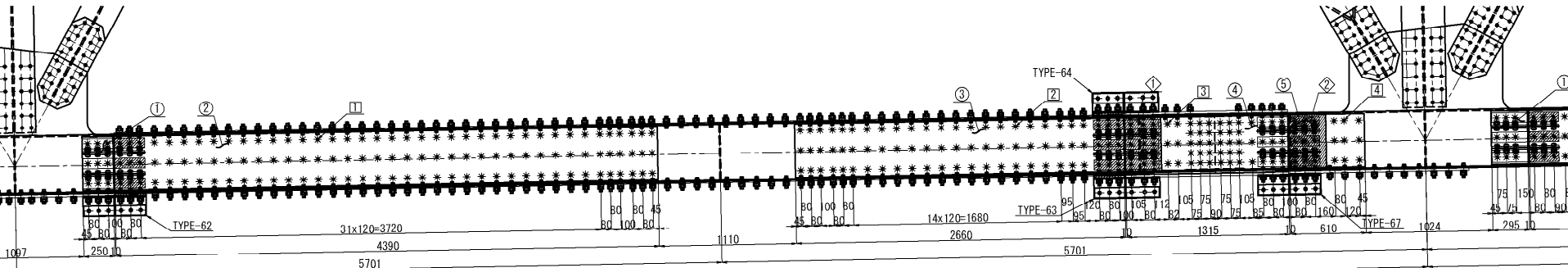
現場孔明け工  
1箇所当たり数量  
25.5φ x 282箇所 (SM490、t≤30)  
当て板(210)+添接部(90)-バイパス(18)

平面図

A - A



側面図(桁内側)



- ①

1-PL 430x10x250 (SM490YA)

②

1-PL 430x10x4390 (SM490YA)

③

1-PL 430x10x2660 (SM490YA)

④

1-PL 430x22x1315 (SM490YB)

⑤

1-PL 430x10x250 (SM490YA)
- ①

1-FILL PL 430x4. 5x290 (SS400)

②

1-FILL PL 430x4. 5x298 (SS400)
- ①

108-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)

②

66-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)

③

9-ワンサイドボルト MUTF24-40 (SCM440)

④

9-ワンサイドボルト MUTF24-40 (SCM440)

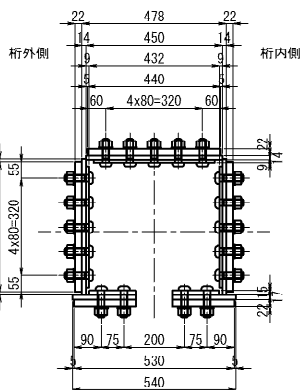
⑤

30-TCB M22 x80 (S10T)

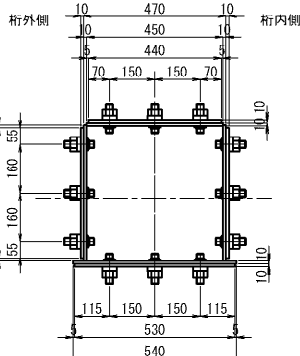
現場孔明け工  
1箇所当たり数量  
25.5φ x 228箇所 (SM490、t≤30)  
当て板(192)+添接部(54)-バイパス(18)

断面図 S=1:25

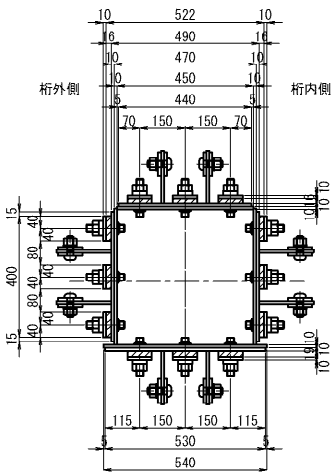
1-1 既設添接部



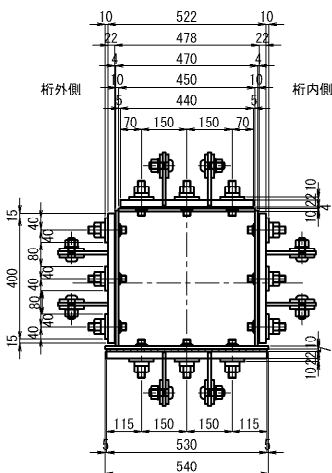
2-2 一般部



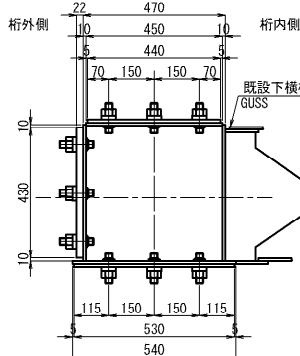
3-3 当て板部の添接



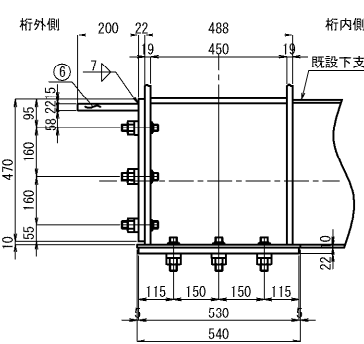
4-4 当て板部の添接



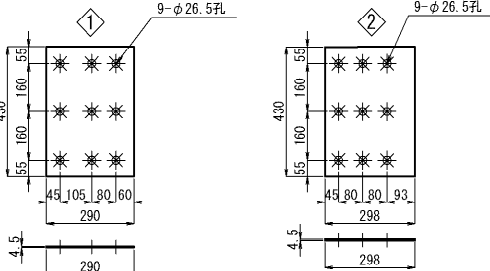
5-5 下横構部



6-6 格点部



FILL PL詳細 S=1:25

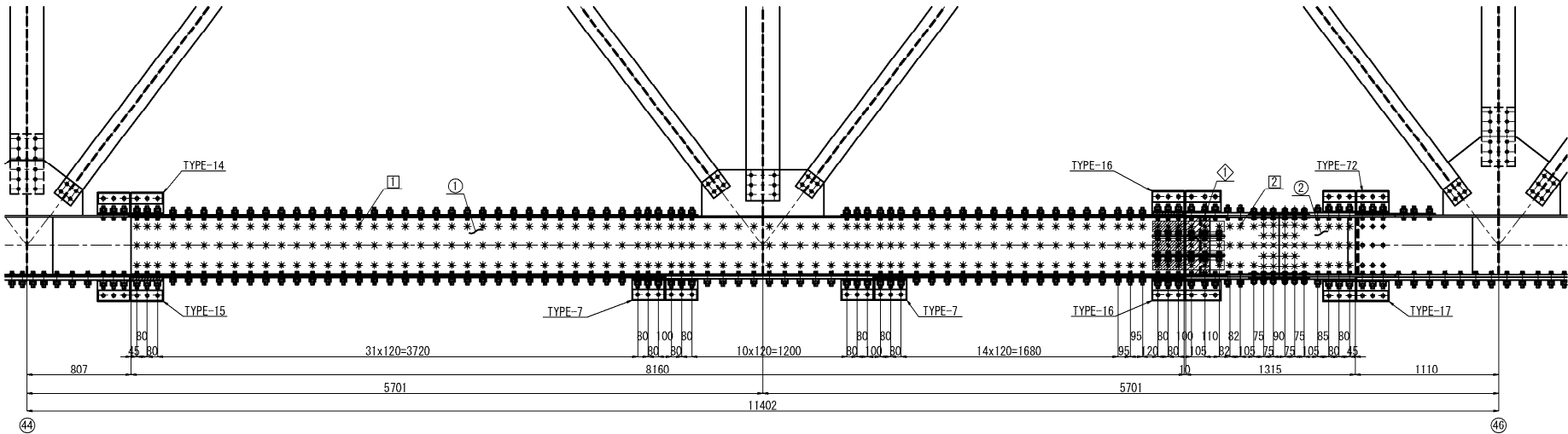


- 注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
  4. ◆印のボルトは、MUTF 24を示す。ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
  5. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
  6. 印はフィラープレートを示す。
  7. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
  8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その13)		
縮尺	図示	図面番号	434/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

下弦材 5-2  
AT1

Top. PL側



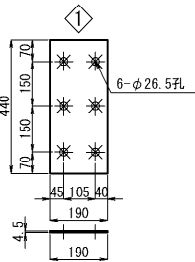
- ① 1-PL 440x10x8160 (SM490YA)

② 1-PL 440x10x1315 (SM490YA)
- ① 1-FILL PL 440x4. 5x190 (SS400)
- ① 213-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)

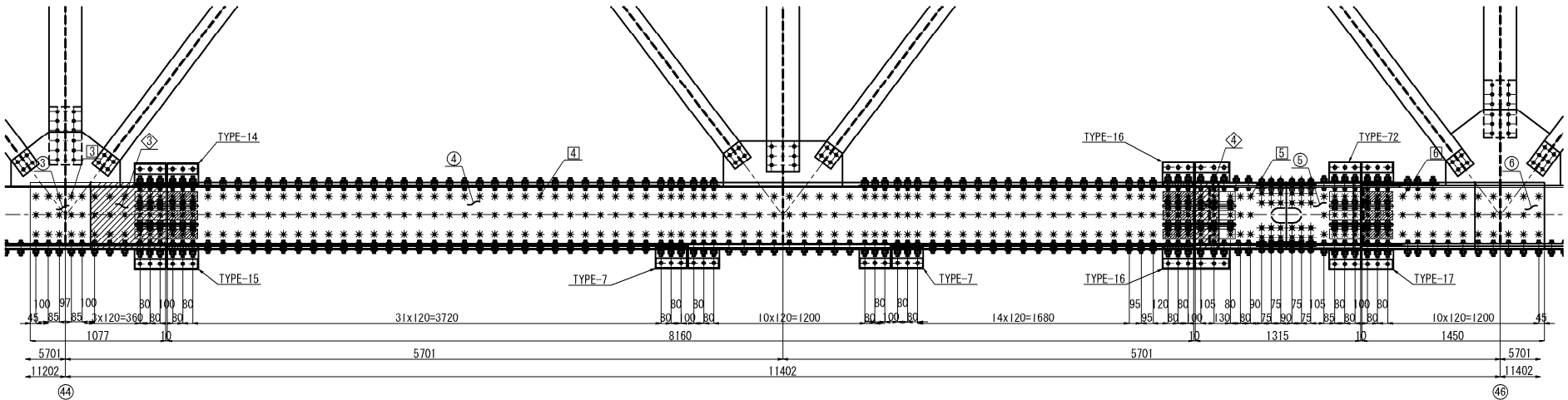
② 24-ワンサイドボルト MUTF24-40 (SCM440)

20-TCB M22 x80 (S10T)
- 現場孔明け工  
1箇所当たり数量  
25. 5φ x 246箇所 (SM490、t≤30)  
当て板 (237) +添接部 (18) →パイパス (9)

FILL PL詳細 S=1:25



Bott. PL側



- ③ 1-PL 530x22x1077 (SM490YB)

④ 1-PL 530x10x8160 (SM490YA)

⑤ 1-PL 530x10x1315 (SM490YA)

⑥ 1-PL 530x22x1450 (SM490YB)
- ③ 1-FILL PL 530x3. 2x597 (SS400)

④ 1-FILL PL 530x7x190 (SS400)
- ③ 24-ワンサイドボルト MUTF24-35 (SCM440)

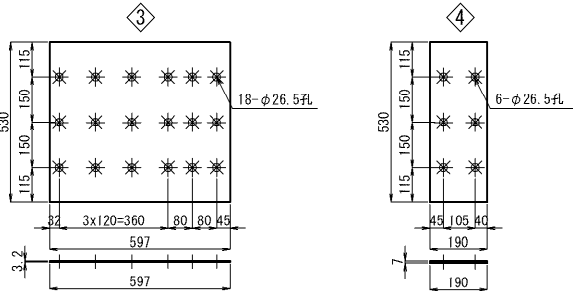
④ 201-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)

⑤ 9-ワンサイドボルト MUTF24-40 (SCM440)

⑥ 30-ワンサイドボルト MUTF24-35 (SCM440)

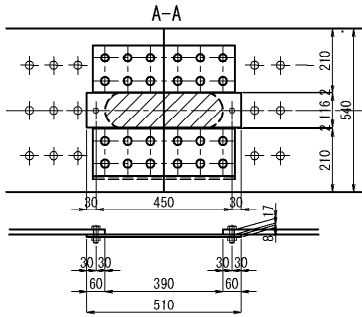
24-TCB M22 x90 (S10T)
- 現場孔明け工  
1箇所当たり数量  
25. 5φ x 318箇所 (SM490、t≤30)  
当て板 (282) +添接部 (54)

FILL PL詳細 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25

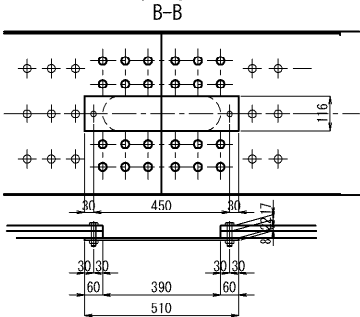
当板補強前



既設撤去数量 (1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

ハンドホール詳細 S=1:25

当板補強後



1主構当たり数量 (製作数: 1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 70 (SS400) (1種1座金)

- 注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24. 5新設φ26. 5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25. 5新設φ26. 5とする。
  4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
  5. ▨印はフィラープレートを示す。
  6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
  7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工 (当て板補強) 詳細図(その35) ~ (その40)」を参照すること。

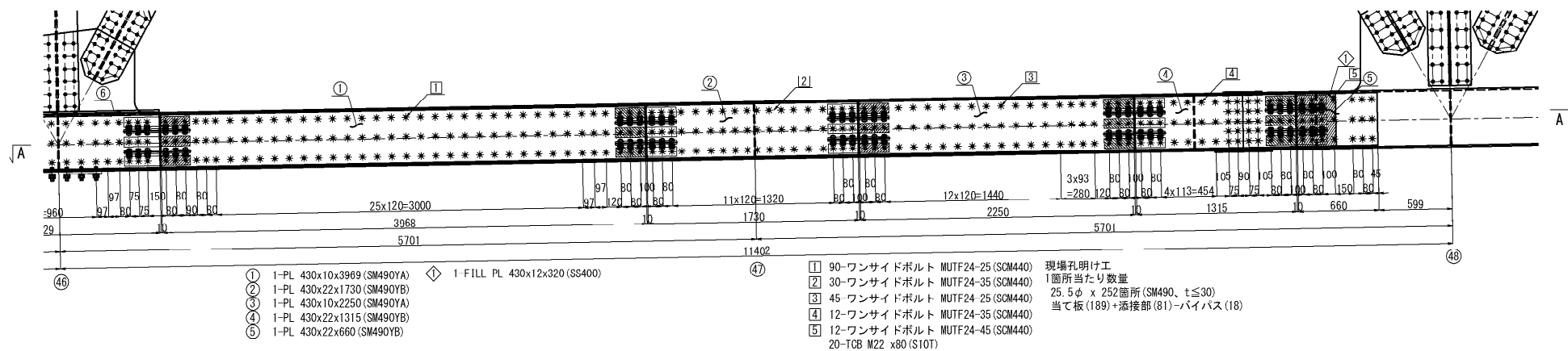
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その14)		
縮 尺	図示	図面番号	435/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その15) S=1:50

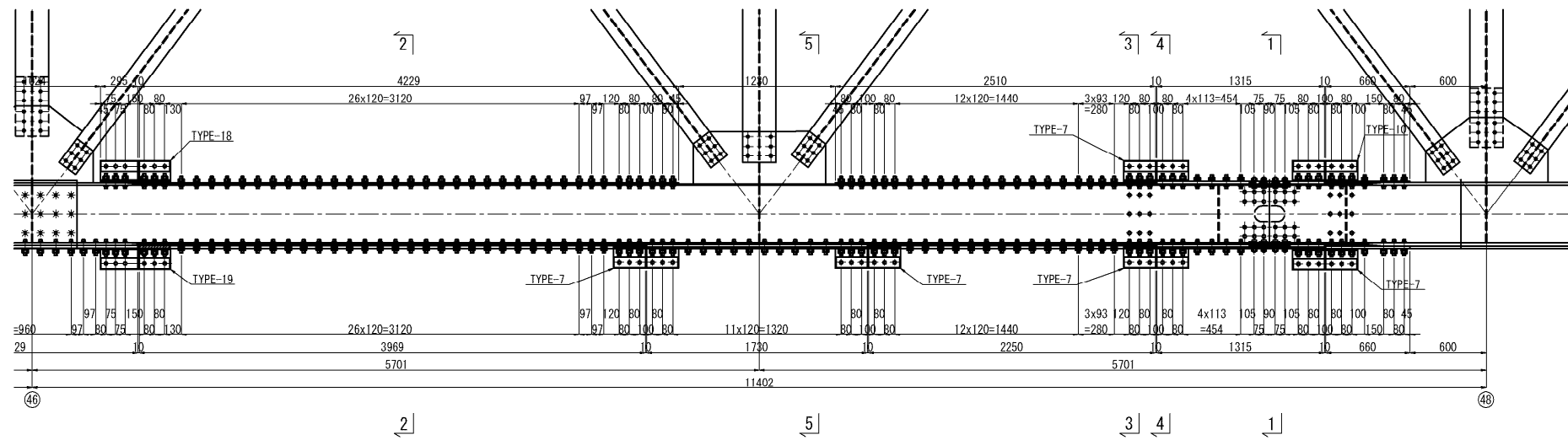
下弦材  
AT1

側面図(桁外側)

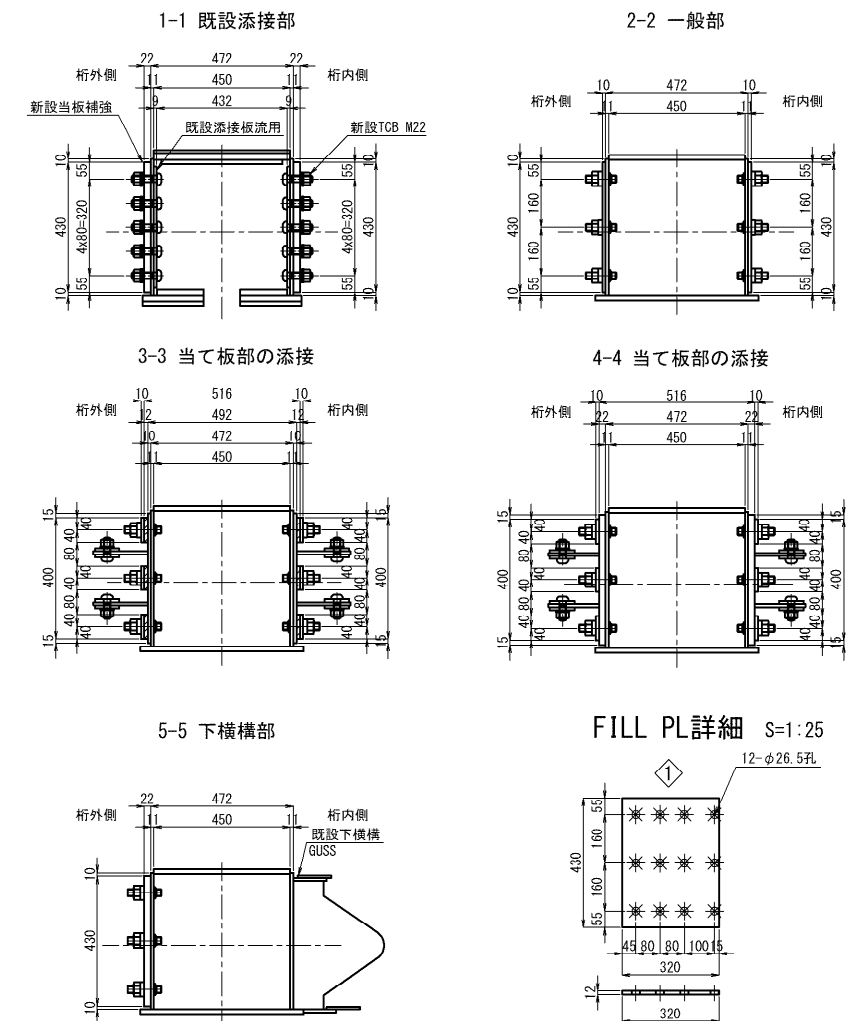
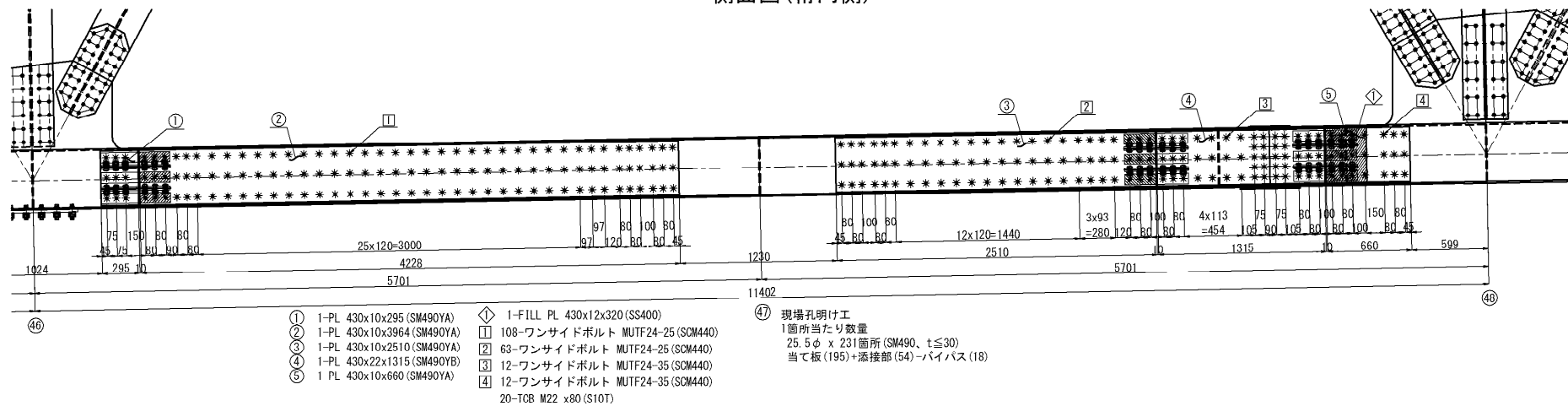
断面図 S=1:25



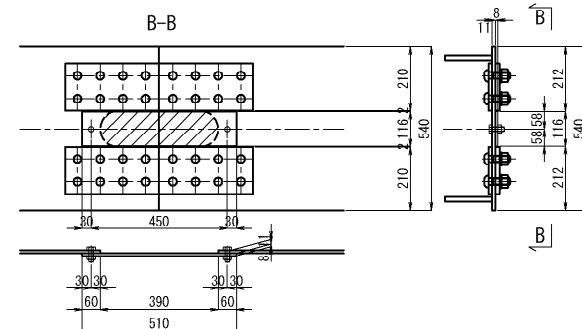
平面図  
A - A



側面図(桁内側)



ハンドホール詳細 S=1:25



注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地に於て寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 斜線印はフィラブレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)～(その40)」を  
参照すること。

1主構当たり数量(製作数:1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510(SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)  
既設撤去数量(1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510(SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

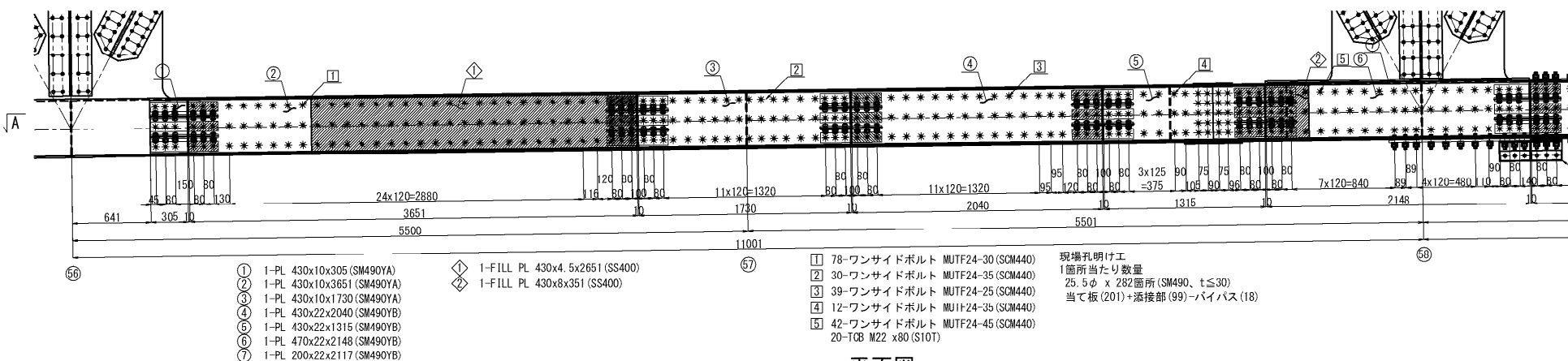
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その15)		
縮尺	図示	図面番号	436/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その16) S=1:50

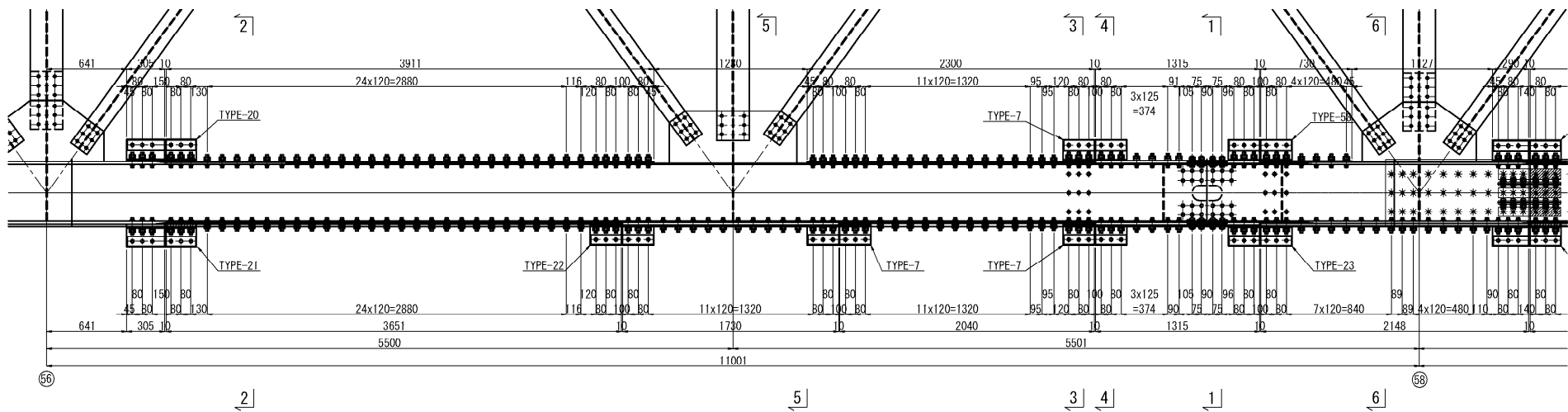
下弦材 AT1

側面図(桁外側)

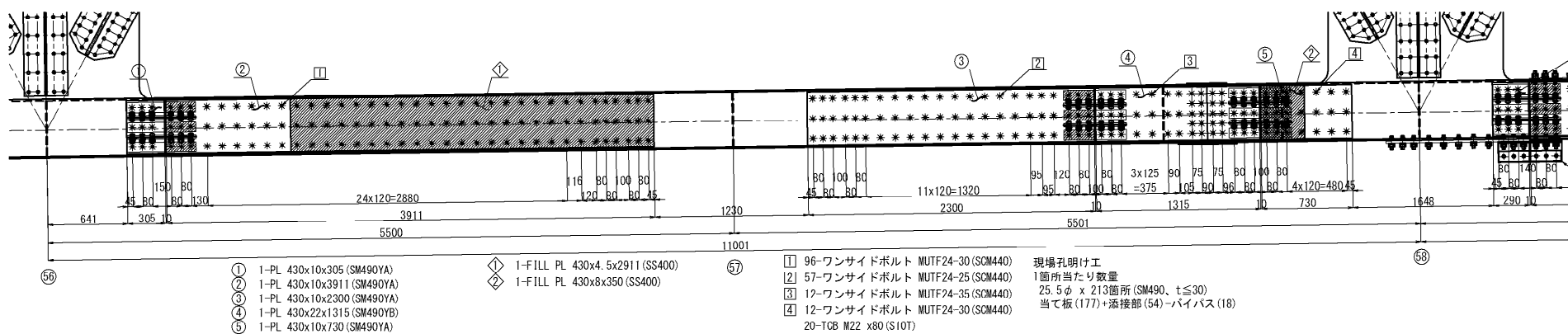


平面図

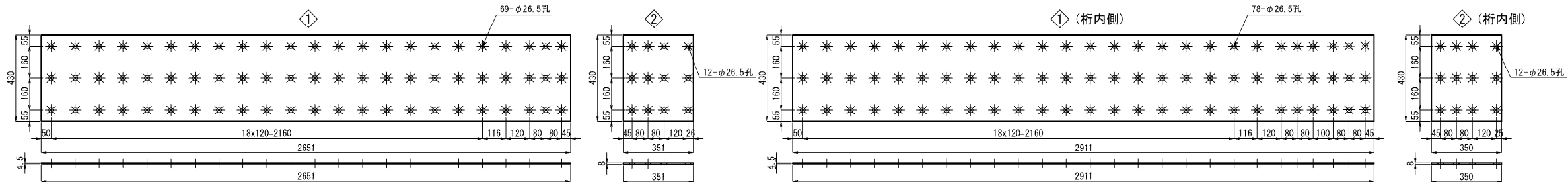
A - A



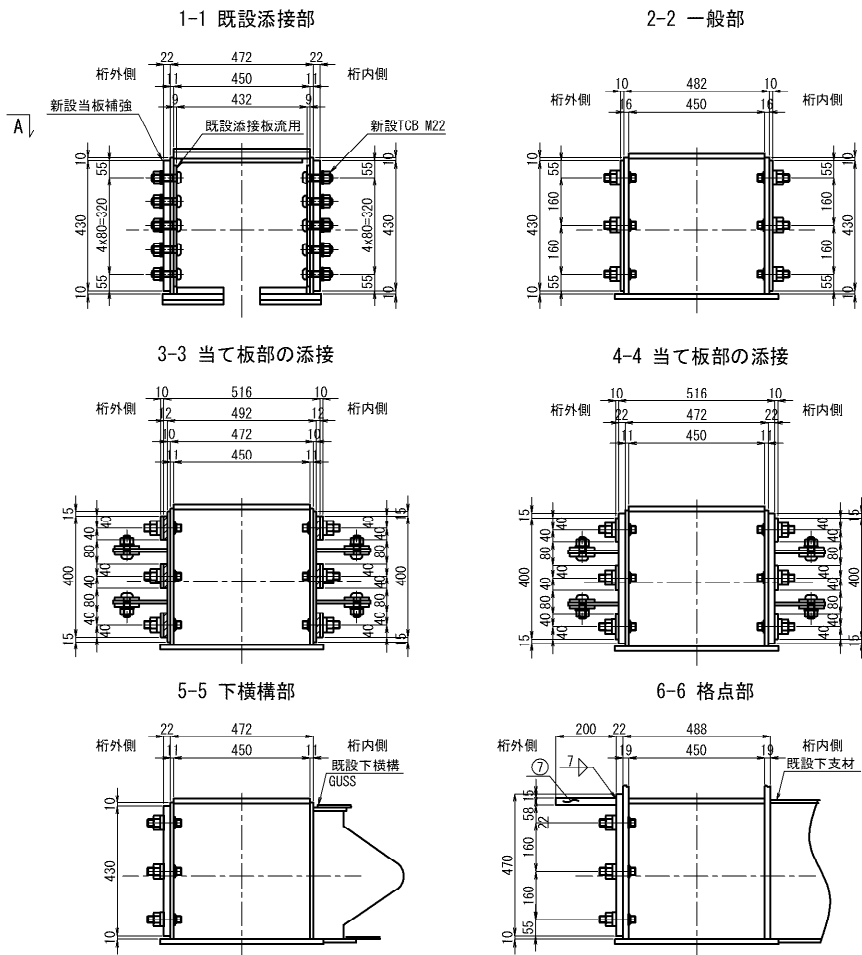
側面図(桁内側)



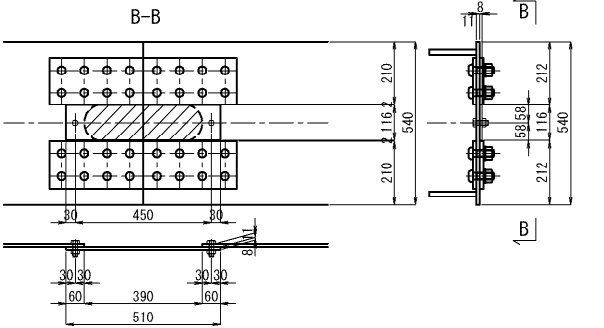
FILL PL詳細 S=1:25



断面図 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. 印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り付けは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を  
参照すること。

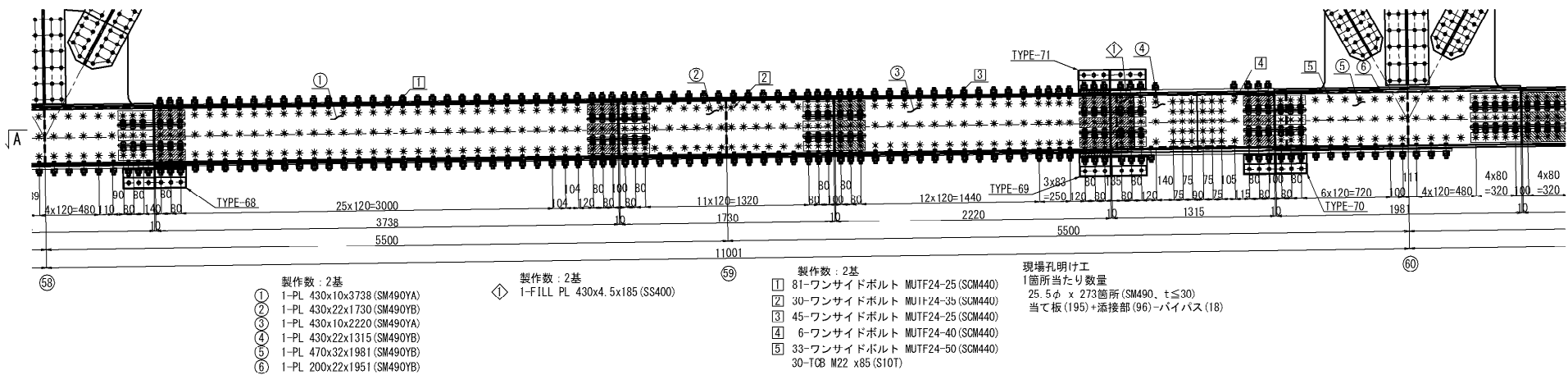
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その16)		
縮 尺	図示	図面番号	437/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



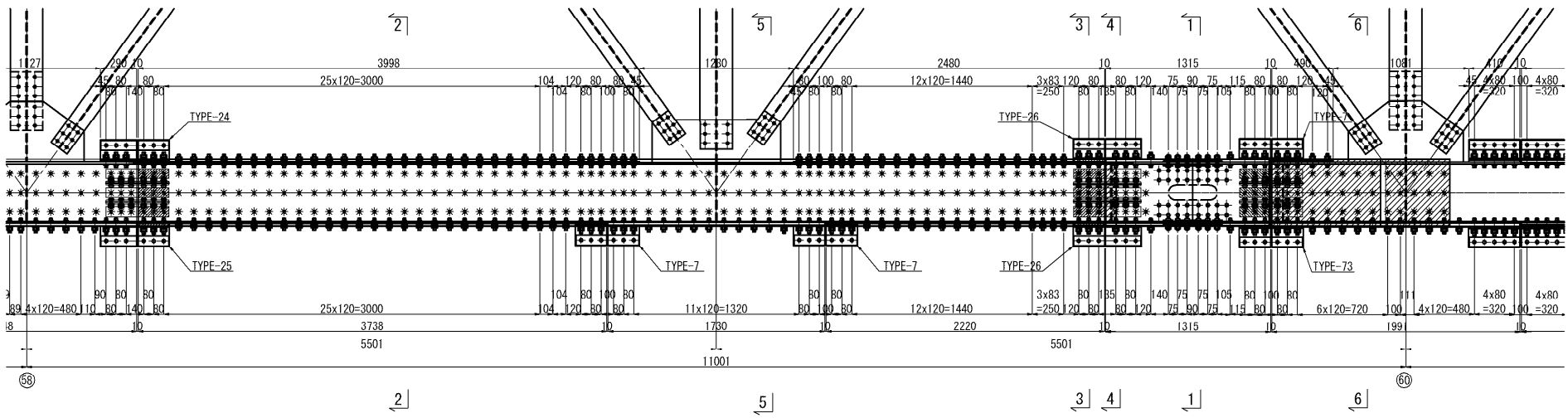
下弦材 12-1 29-1  
AT1、AT2

断面図 S=1:25

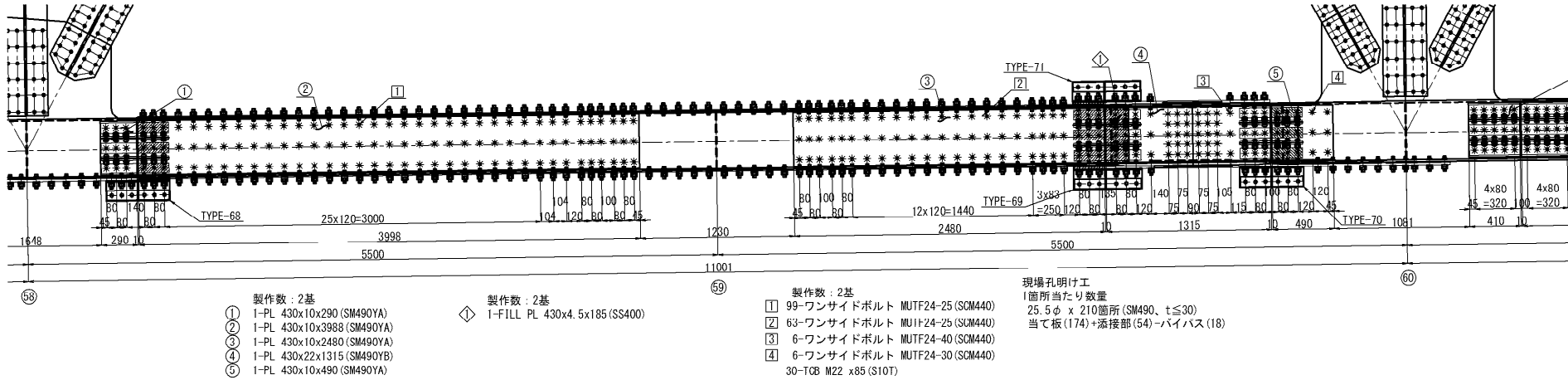
側面図(桁外側)



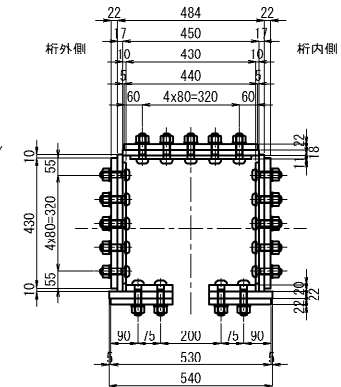
平面図  
A - A



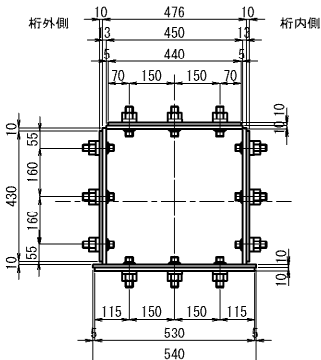
側面図(桁内側)



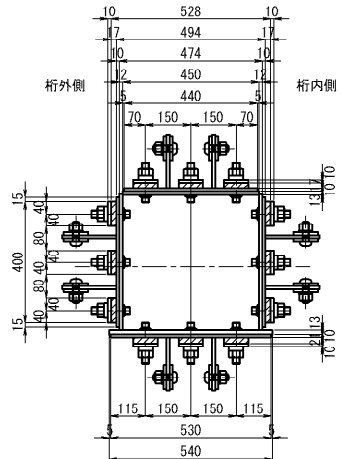
1-1 既設添接部



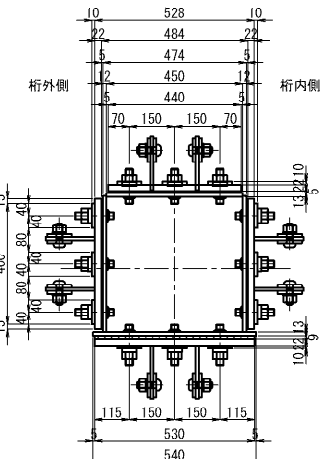
2-2 一般部



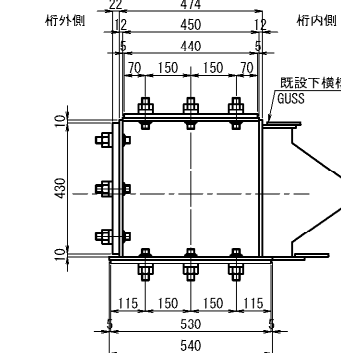
3-3 当て板部の添接



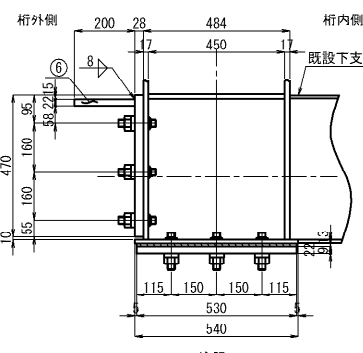
4-4 当て板部の添接



5-5 下横構部



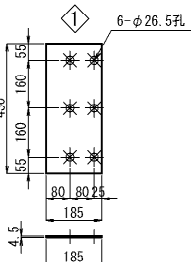
6-6 格点部



注記

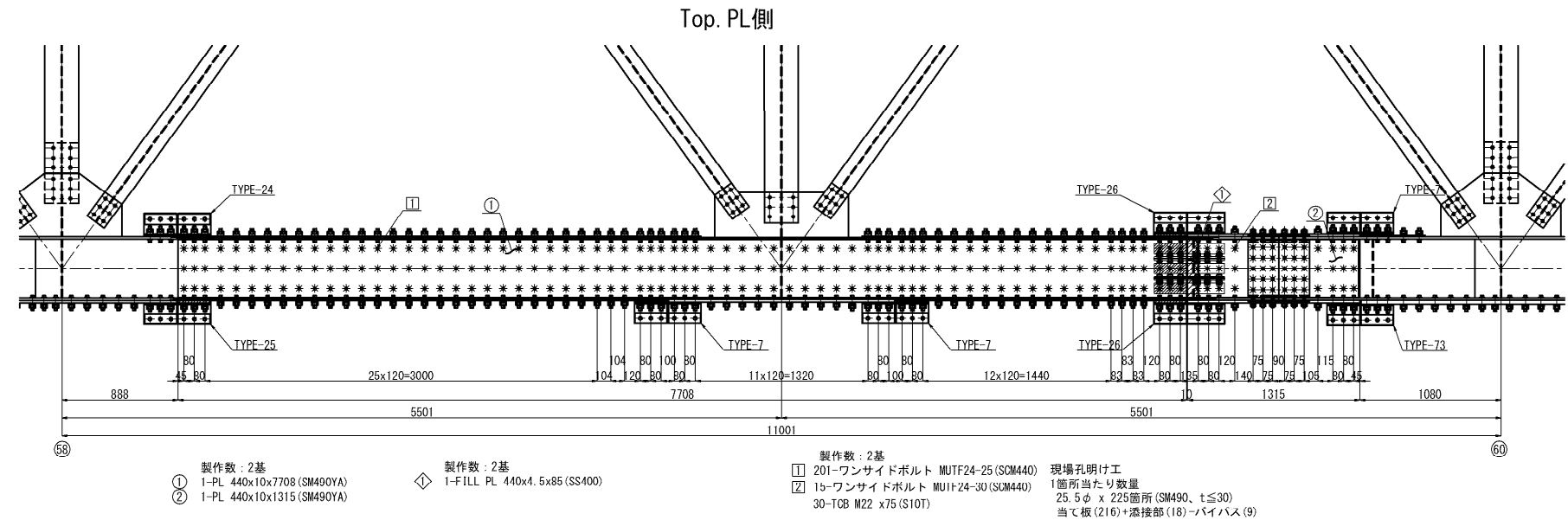
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 斜線印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

FILL PL詳細 S=1:25

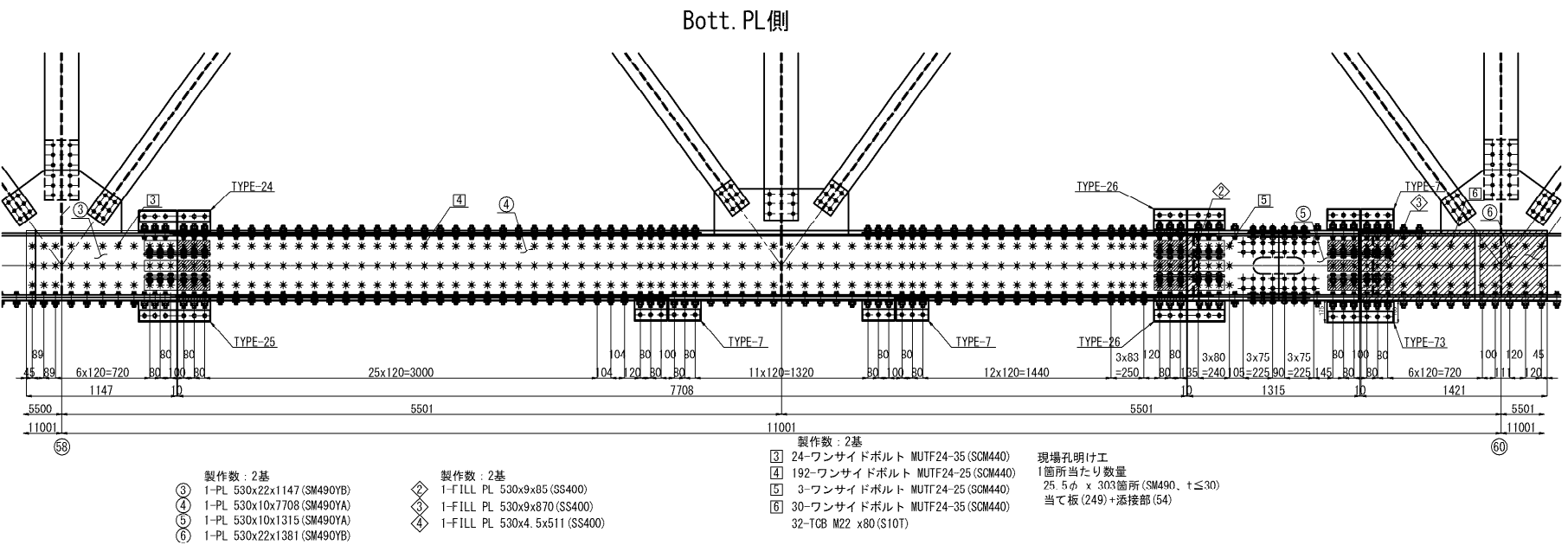
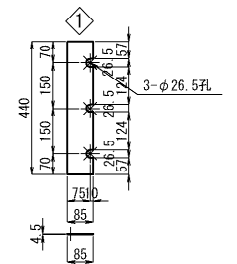


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その17)		
縮尺	図示	図面番号	438/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

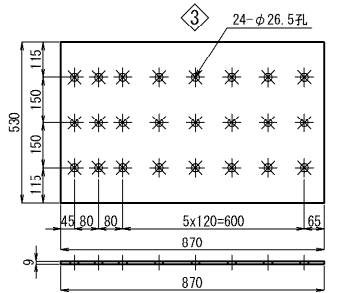
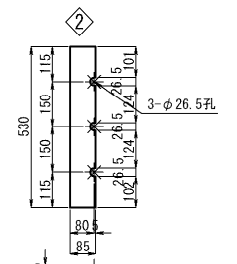
下弦材 12-2 29-2  
AT1、AT2



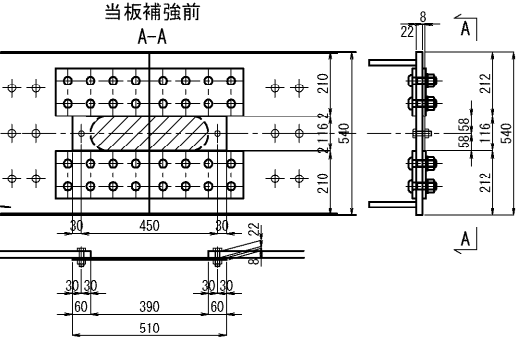
FILL PL詳細 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

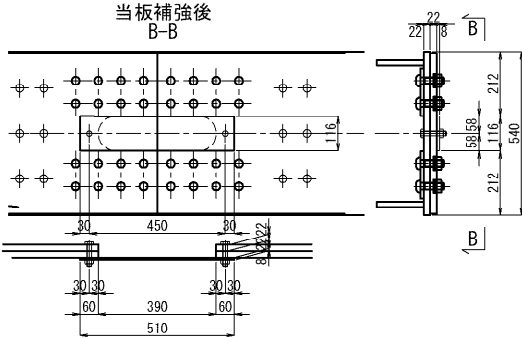


ハンドホール詳細 S=1:25



既設撤去数量(2基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

ハンドホール詳細 S=1:25



1主構当たり数量(製作数: 2基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 75 (SS400) (1種1座金)

注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. ■印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を  
参照すること。

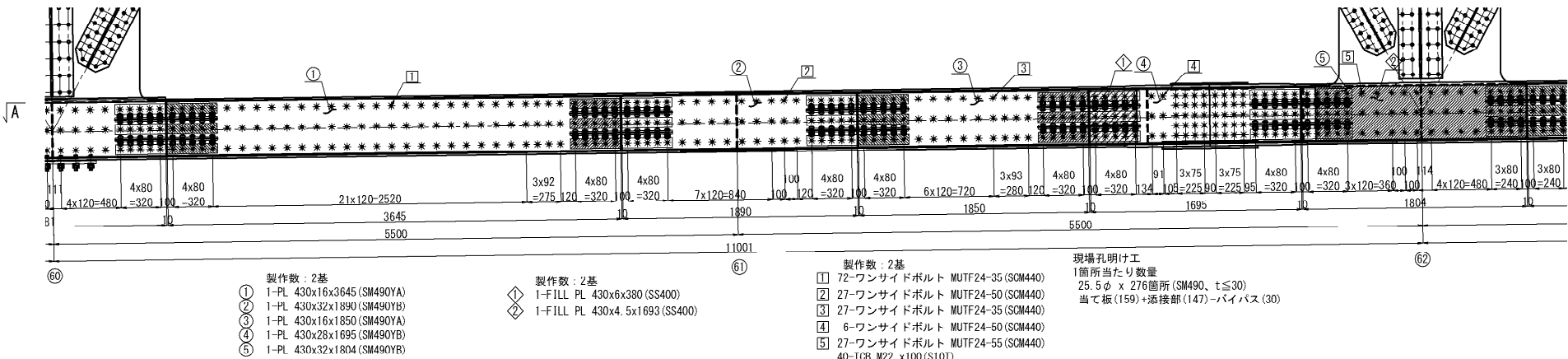
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その18)		
	縮尺	図示	図面番号 439/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その19) S=1:50

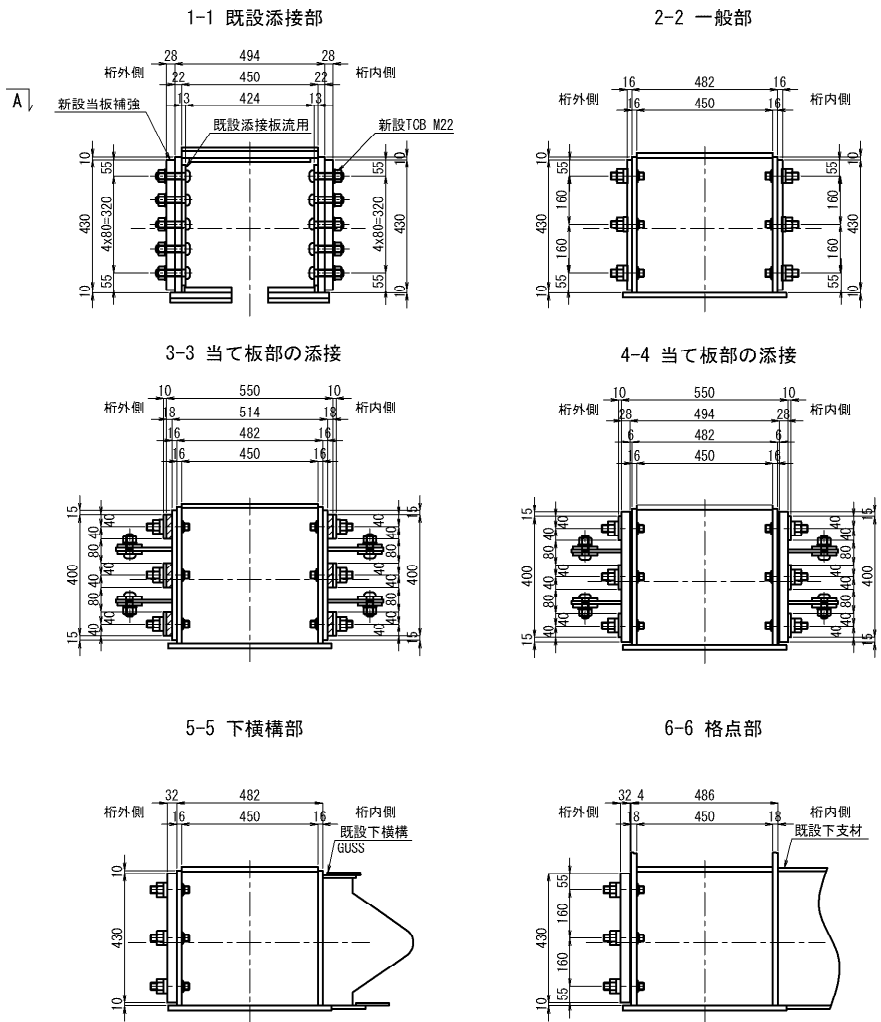
下弦材 13 30

AT1、AT2

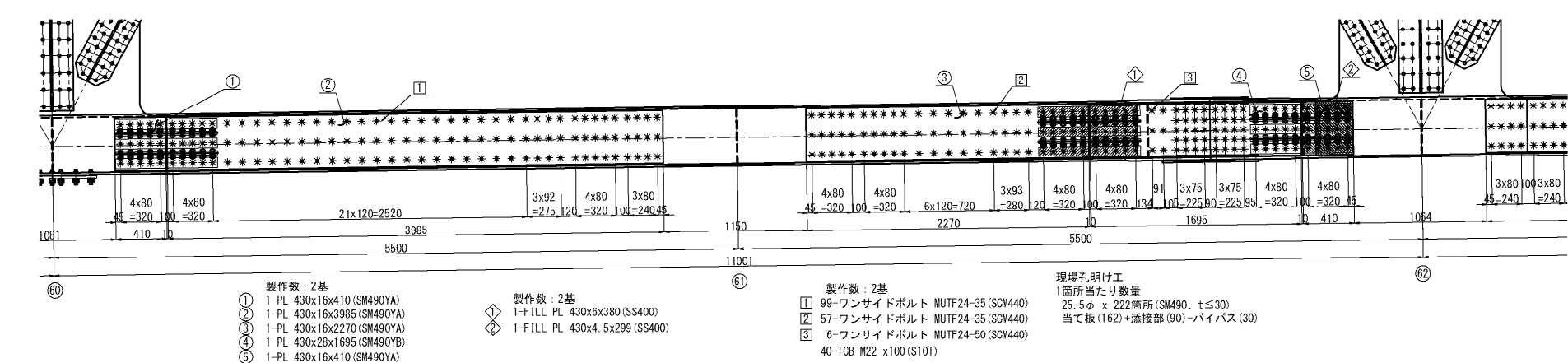
側面図(桁外側)



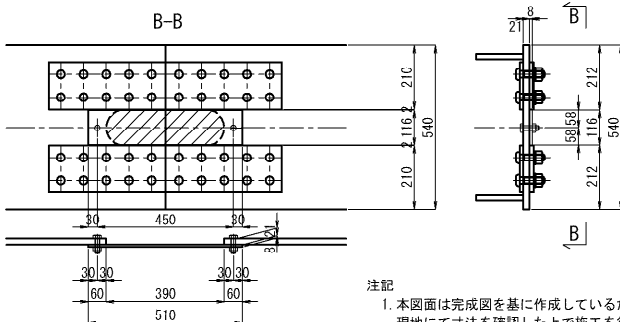
断面図 S=1:25



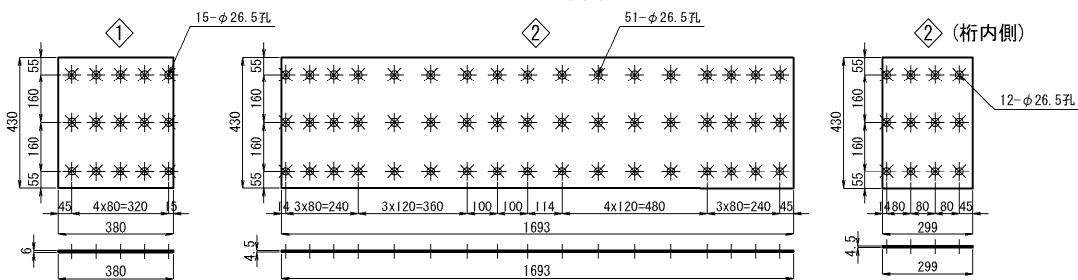
側面図(桁内側)



ハンドホール詳細 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25



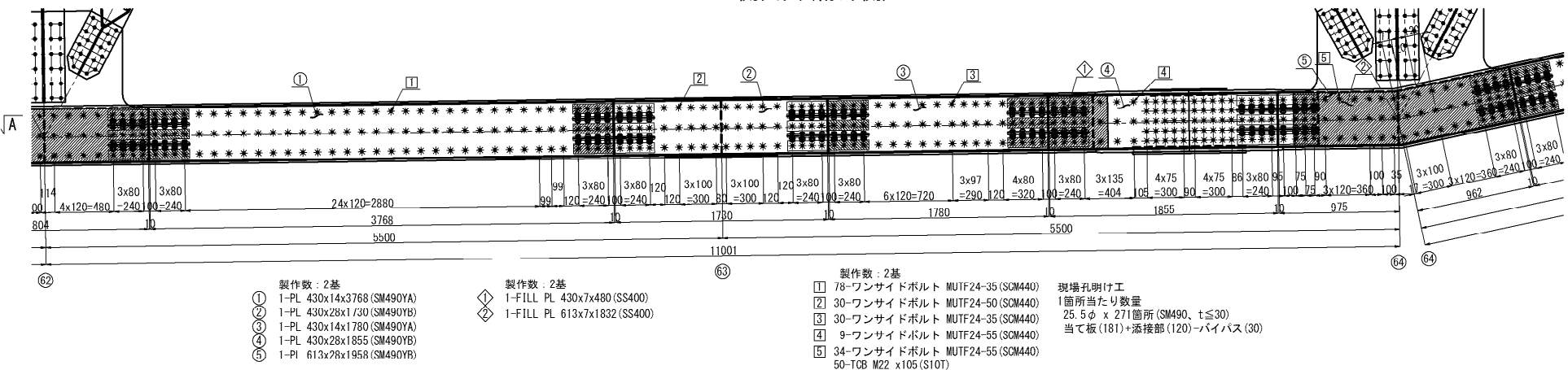
- 注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
  4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
  5. ■印はフィラープレートを示す。
  6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
  7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)～(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その19)		
縮 尺	図示	図面番号	440/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その20) S=1:50

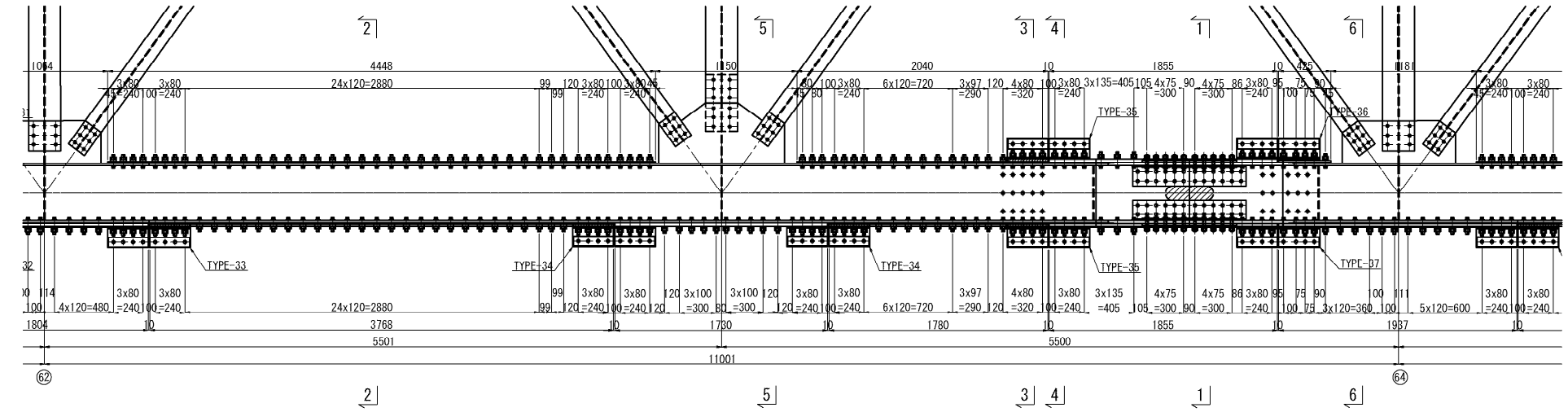
下弦材 14 31  
AT1、AT2

側面図(桁外側)

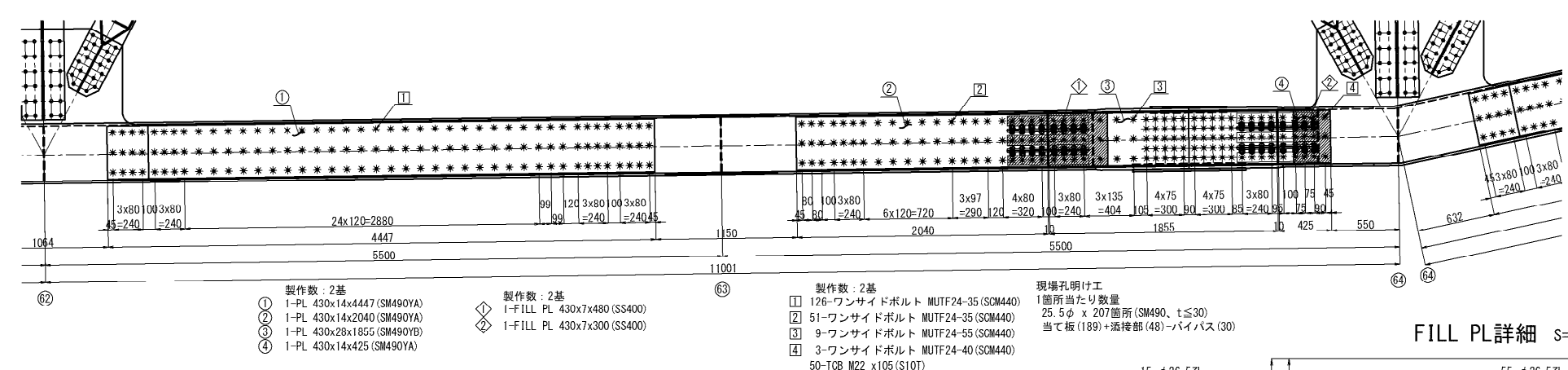


平面図

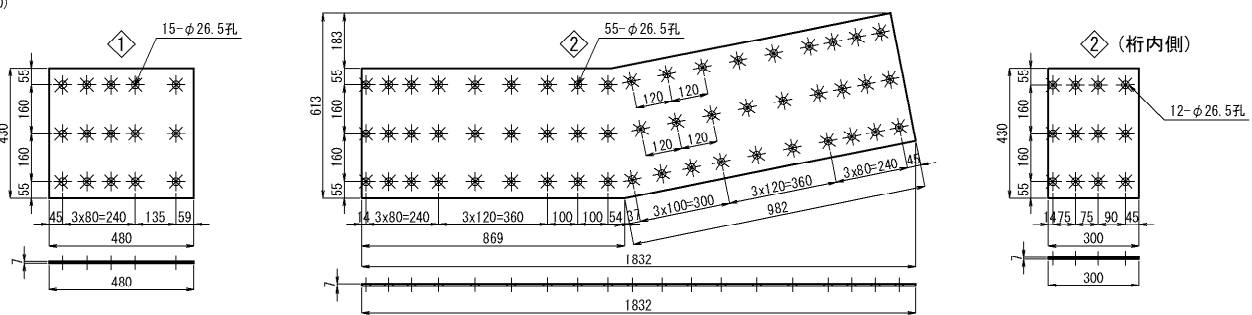
A - A



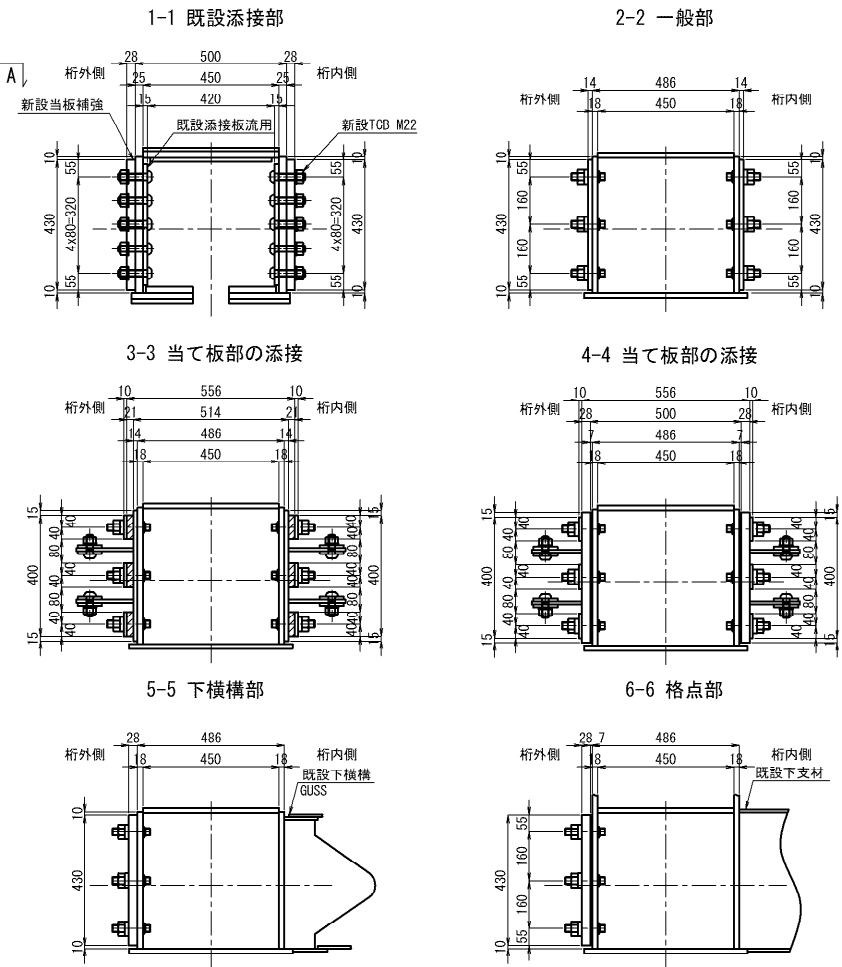
側面図(桁内側)



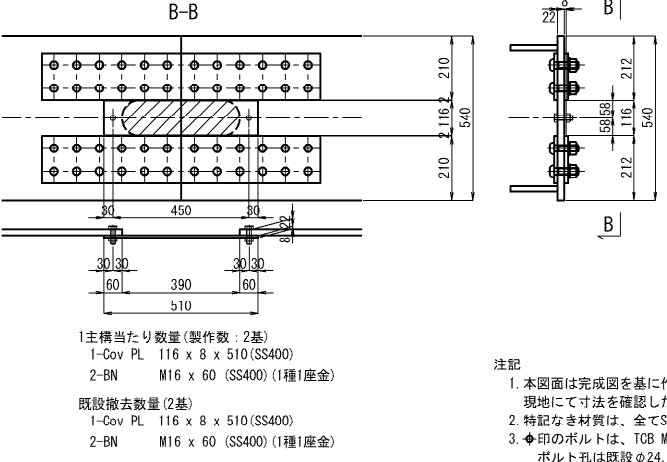
FILL PL詳細 S=1:25



断面図 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



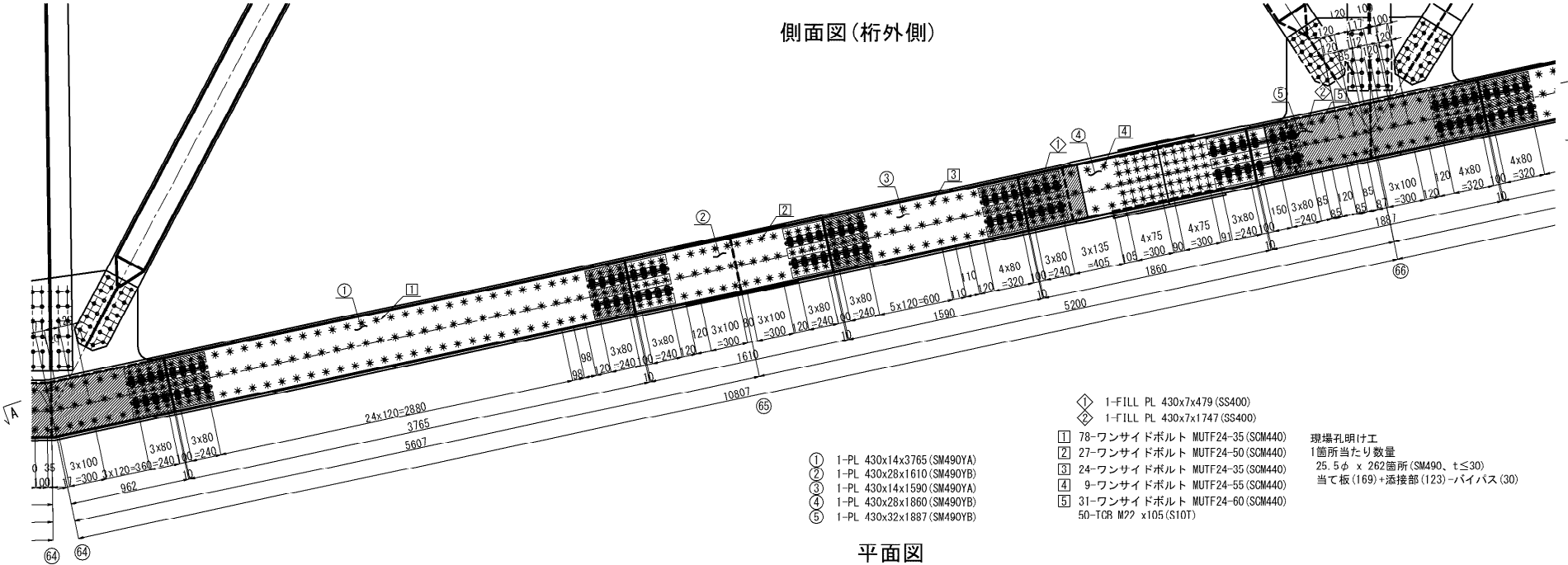
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. ■印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を  
参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その20)		
縮 尺	図示	図面番号	441/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その21) S=1:50

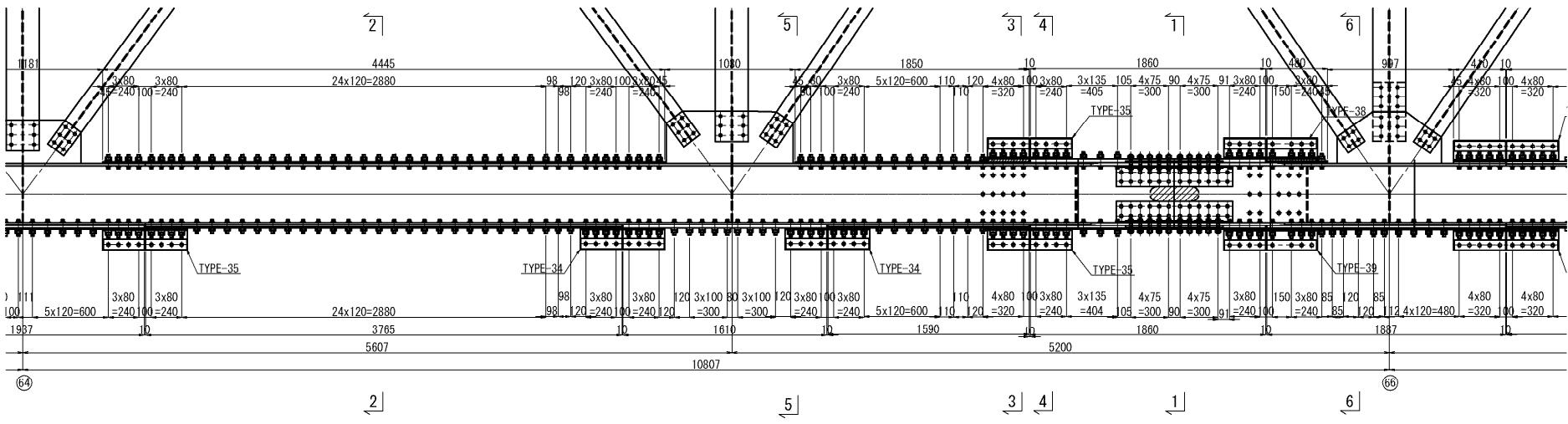
下弦材  
AT1

側面図(桁外側)

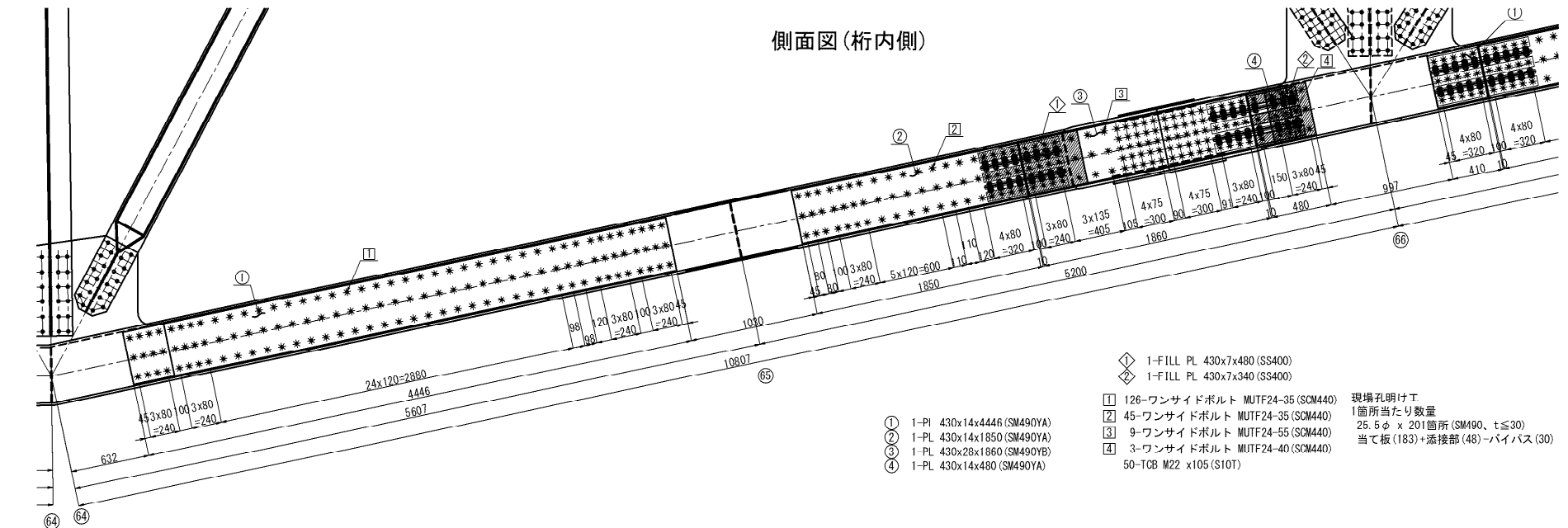


平面図

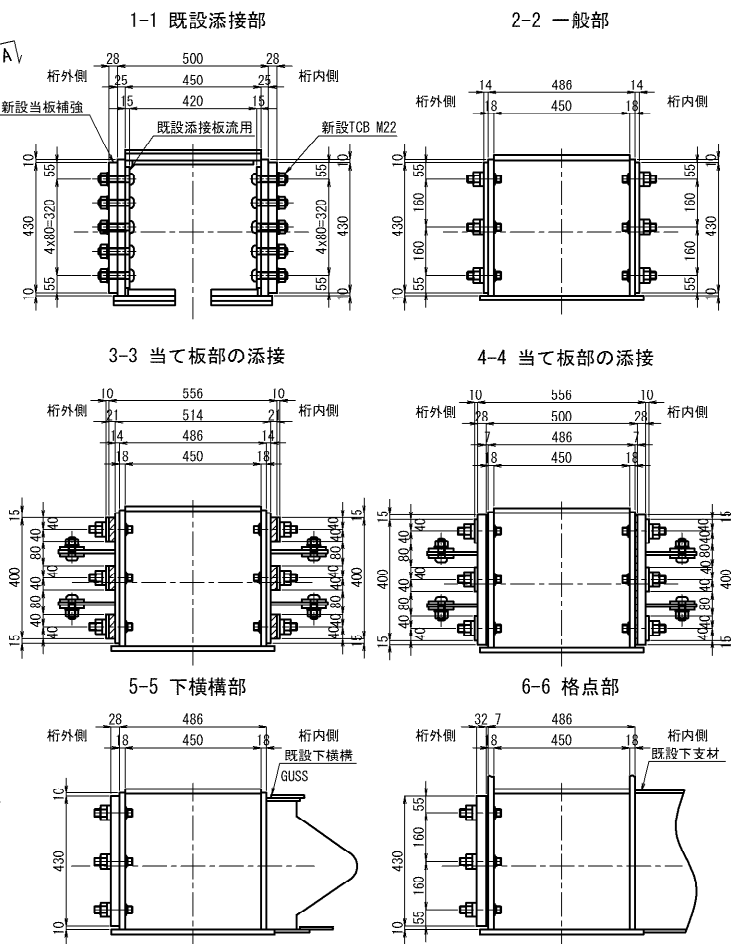
A - A



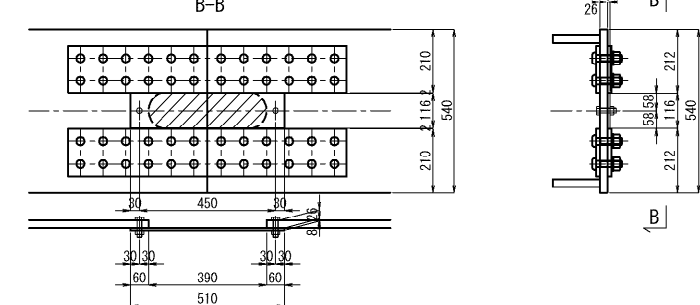
側面図(桁内側)



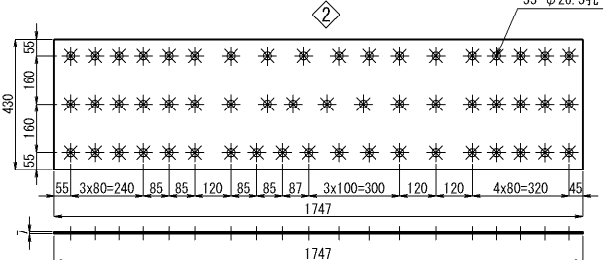
断面図 S=1:25



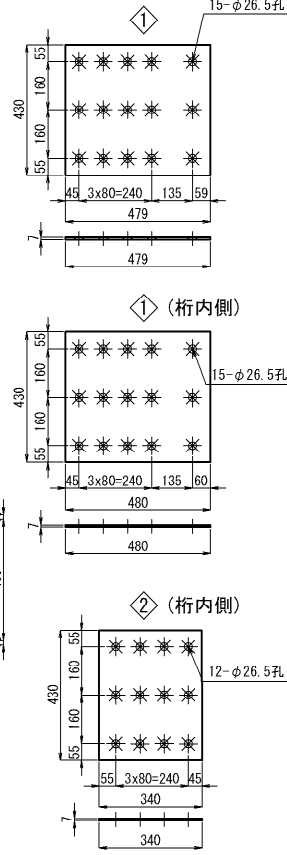
ハンドホール詳細 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25



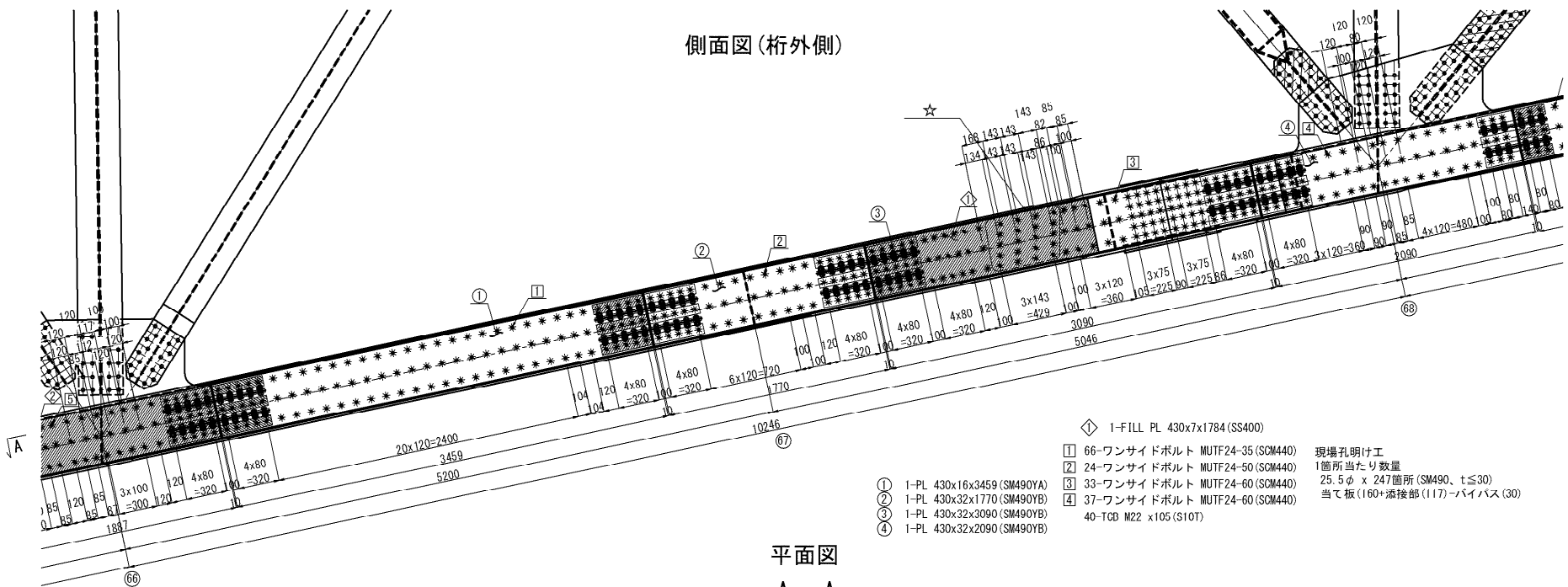
注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地に於て寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)～(その40)」を  
参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その21)		
縮 尺	図示	図面番号	442/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

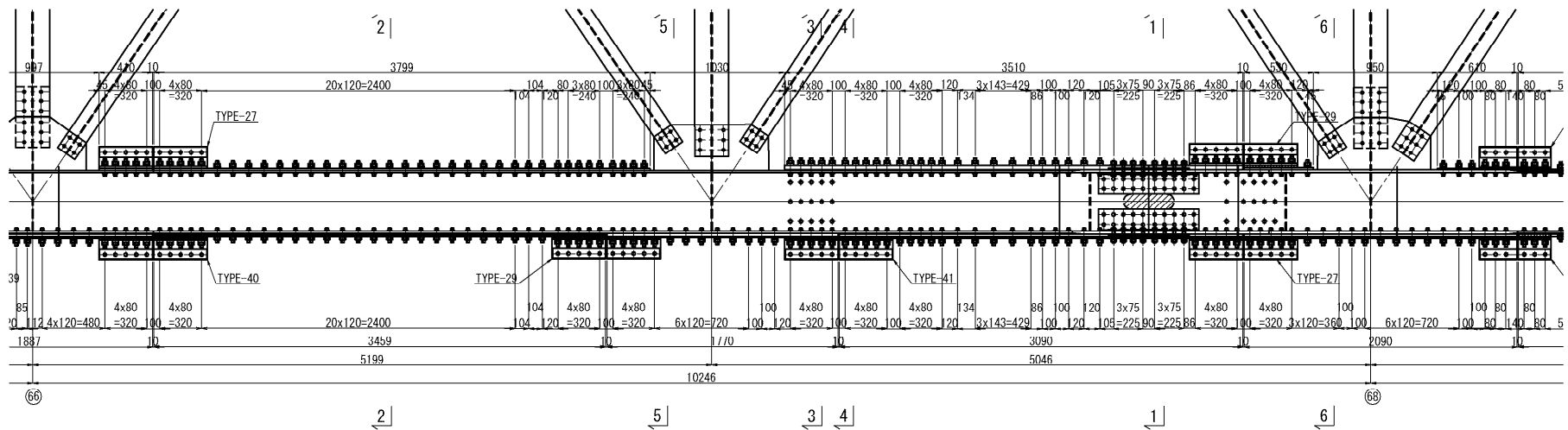
滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その22) S=1:50

下弦材 16  
AT1

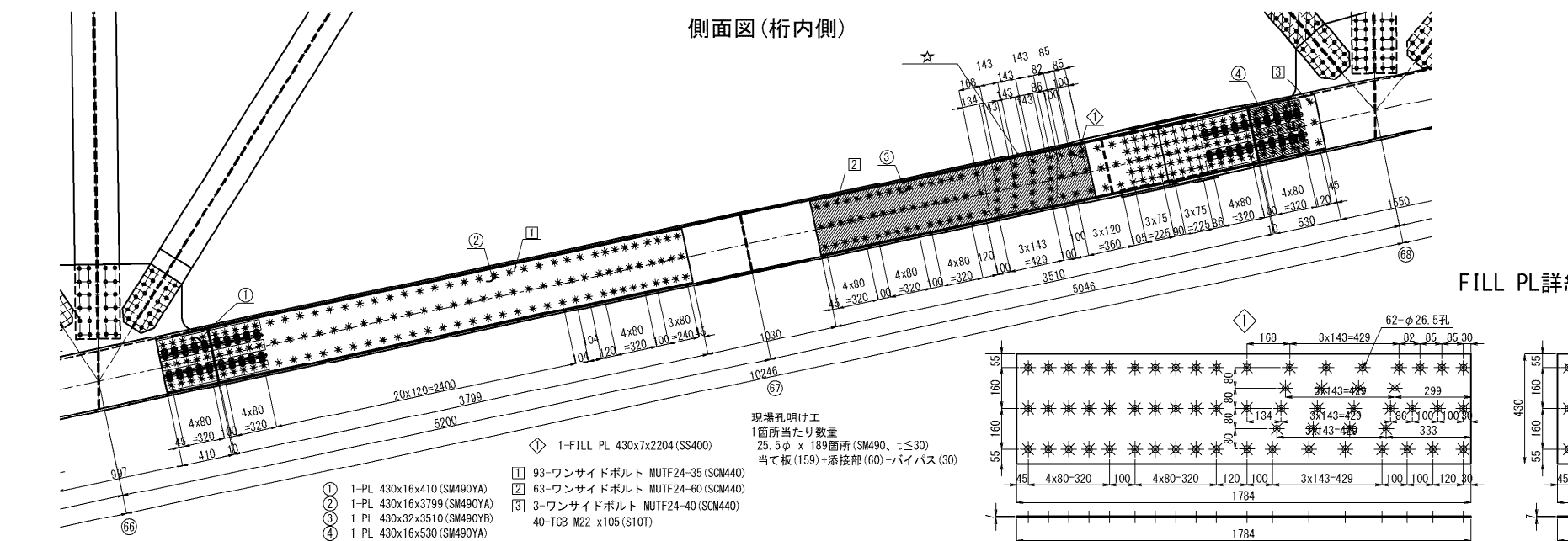
側面図(桁外側)



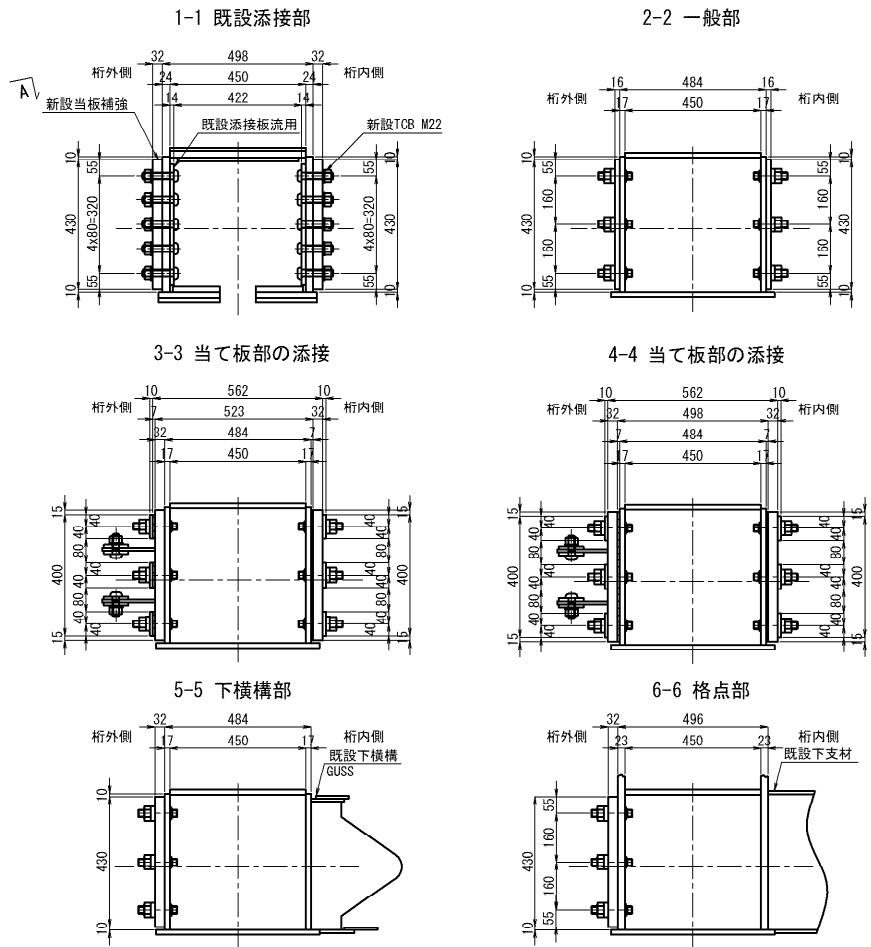
平面図  
A-A



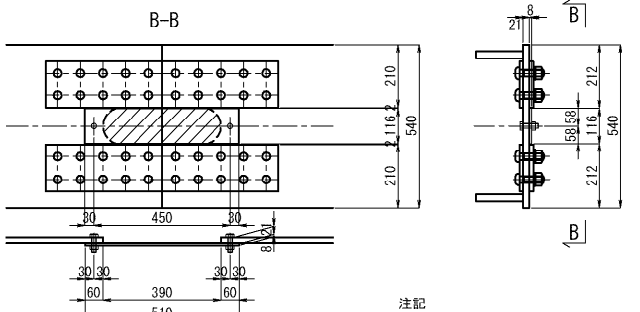
側面図(桁内側)



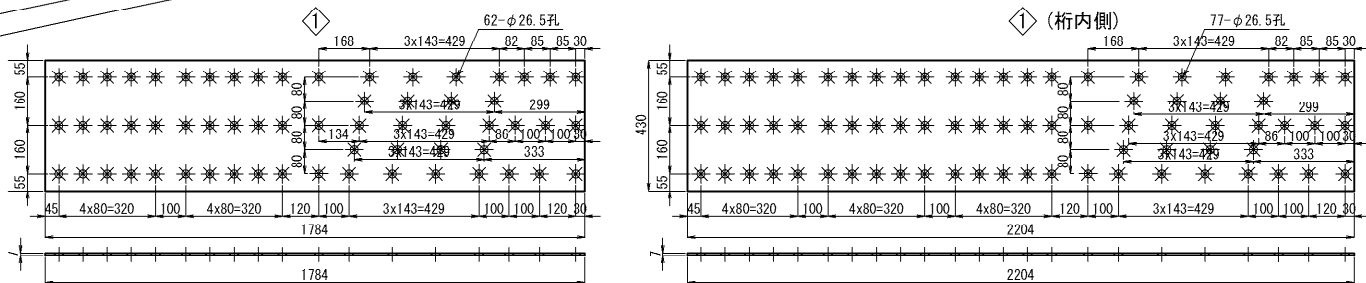
断面図 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

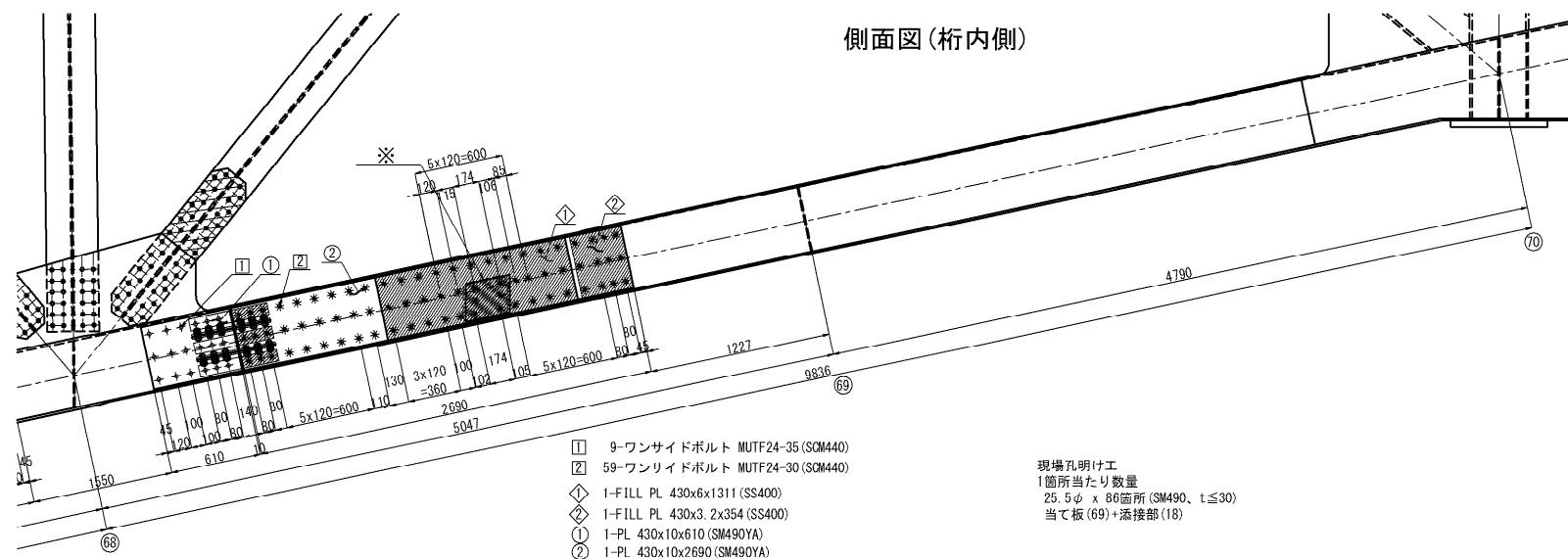
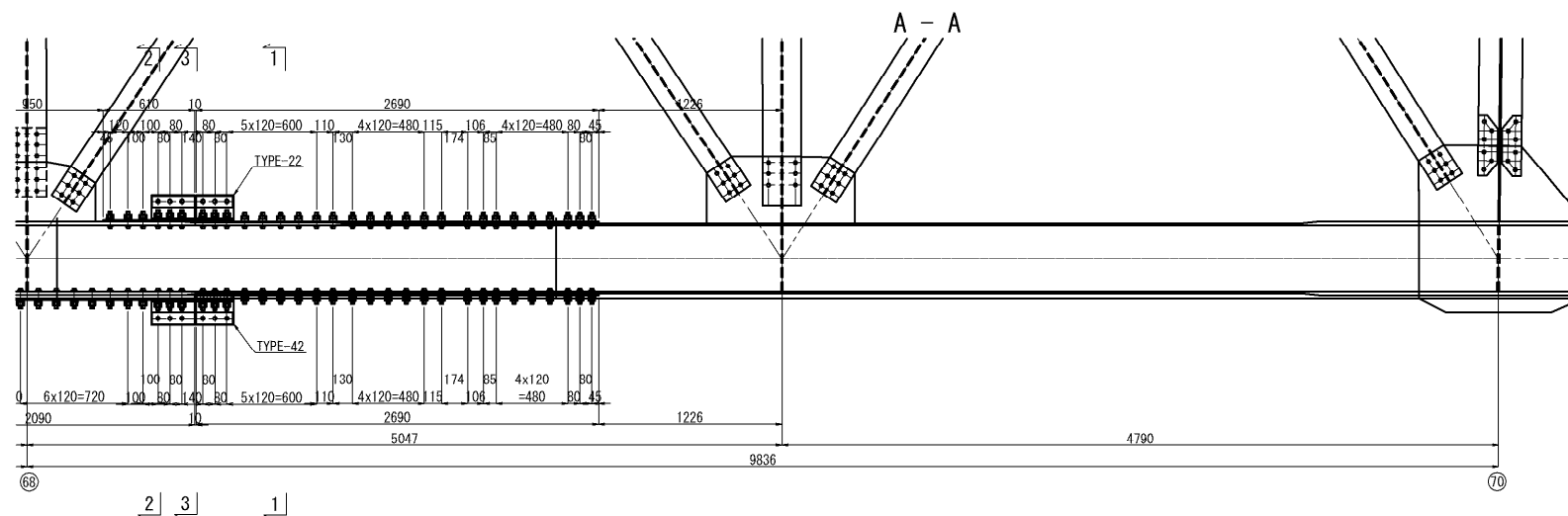
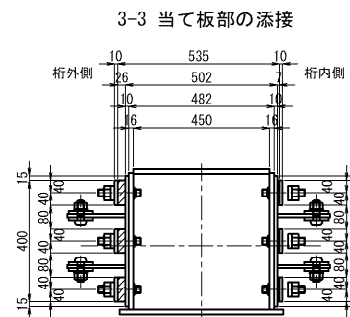
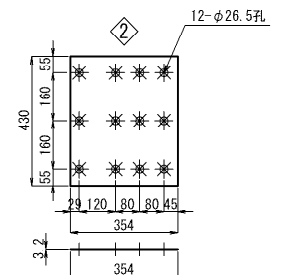
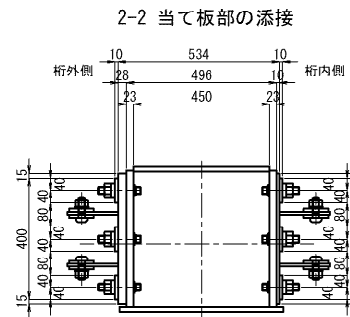
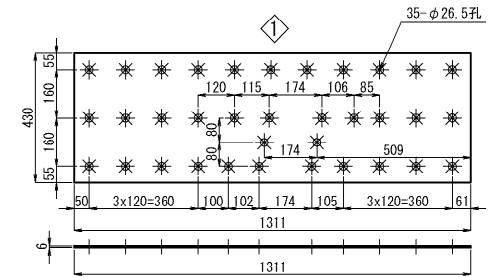
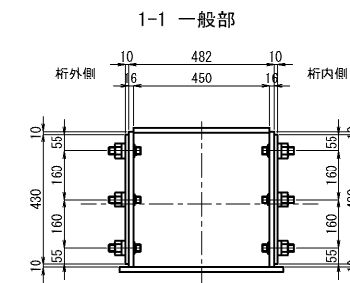
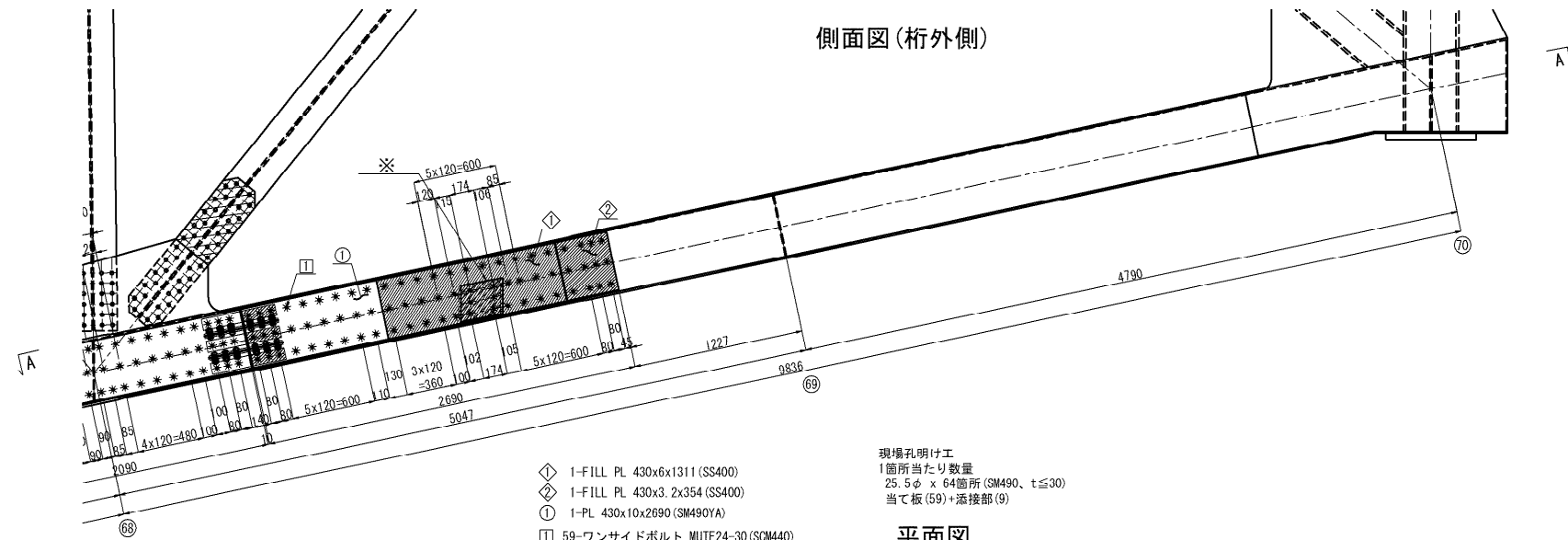


- 注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. 印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
\*印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
  4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
  5. 印はフィラープレートを示す。
  6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
  7. ☆印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造 詳細図(その3)」を参照すること。
  8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その22)		
縮 尺	図示	図面番号	443/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

断面図 S=1:25

## FILL PL詳細 S=1:25



注記

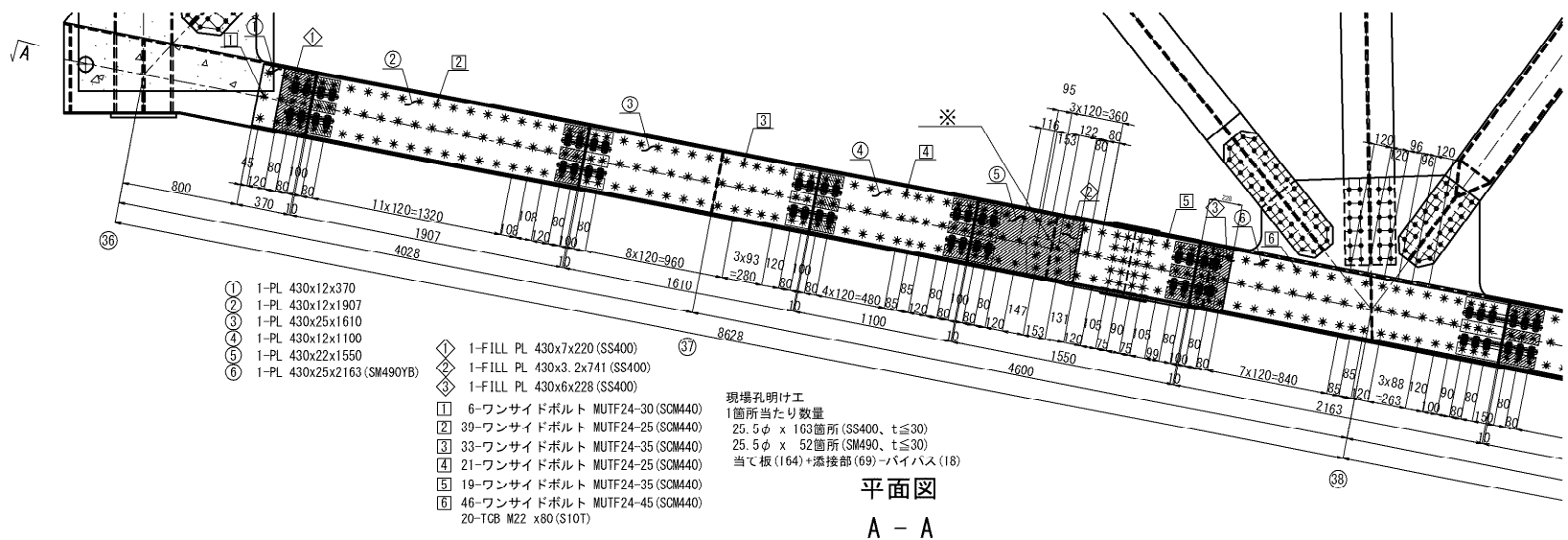
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地にて方法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全C5M400Aとす。  
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUT F 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 斜線印はフィッパリングを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. ※印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造  
詳細図(その2)」を参照すること。  
8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造造物補強工  
(当て板補強)詳細図(その35)～(その40)」を  
参照すること。

長野自動車道 滝ノ沢橋版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(あと板補強)詳細図(その23)		
縮 尺	図示	図面番号	444/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

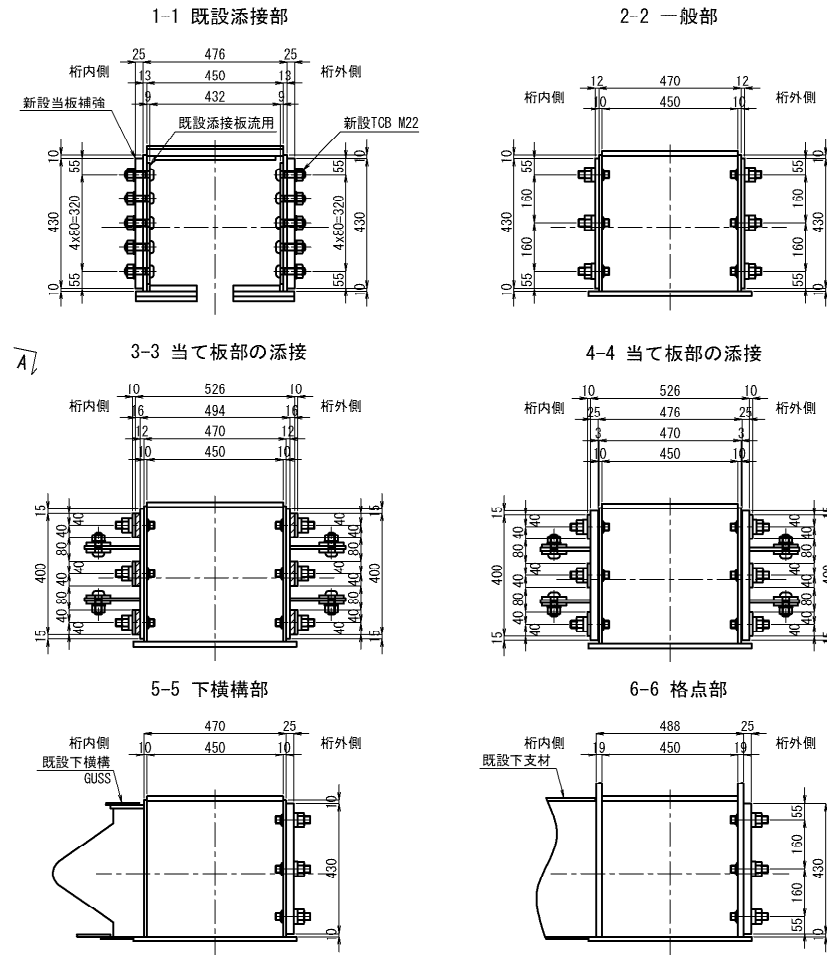


下弦材  
AT2

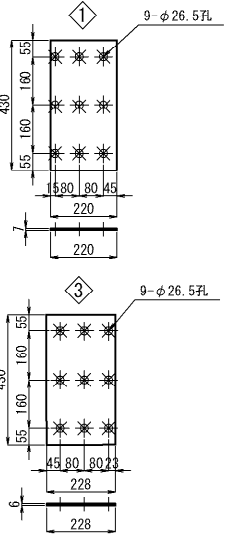
側面図(桁外側)



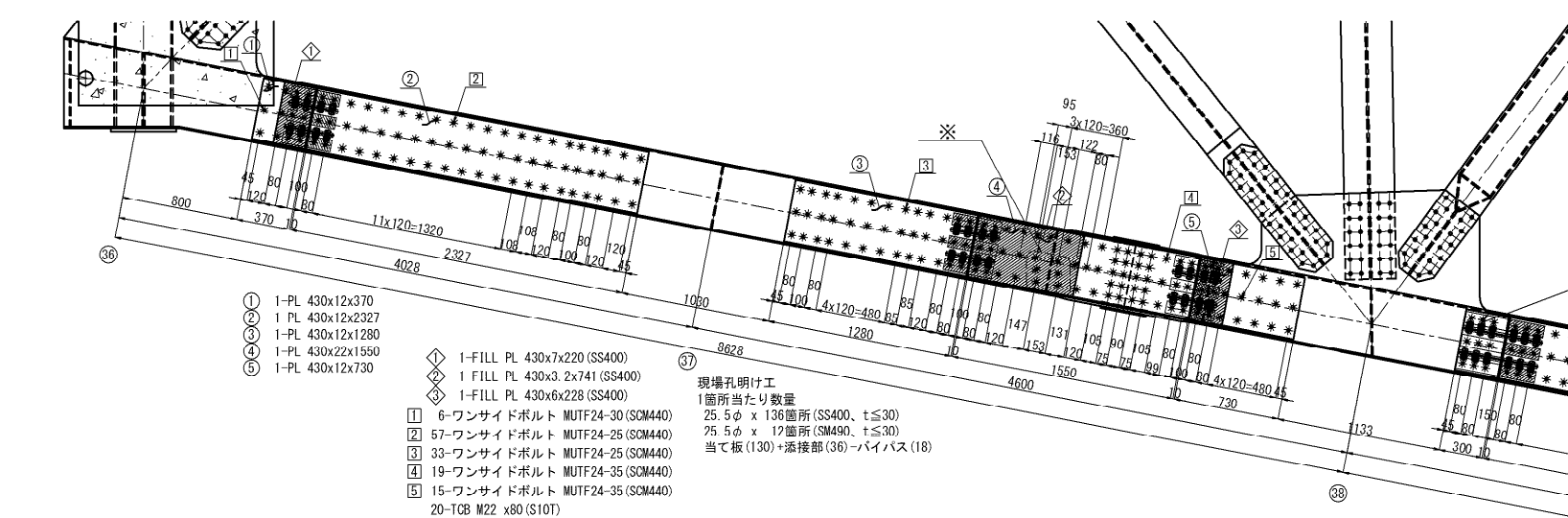
断面図 S=1:25



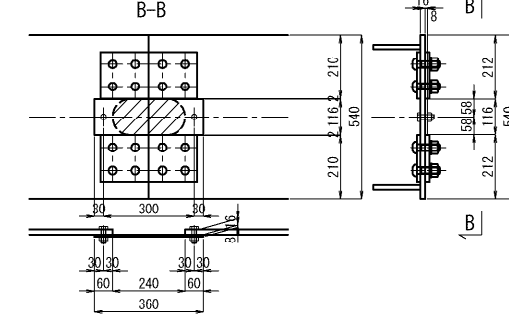
FILL PL詳細 S=1:25



側面図(桁内側)

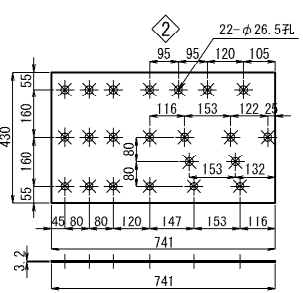


ハンドホール詳細 S=1:25



- 1 主構当たり数量(製作数:1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 360 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)
- 既設撤去数量(1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 360 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

FILL PL詳細 S=1:25



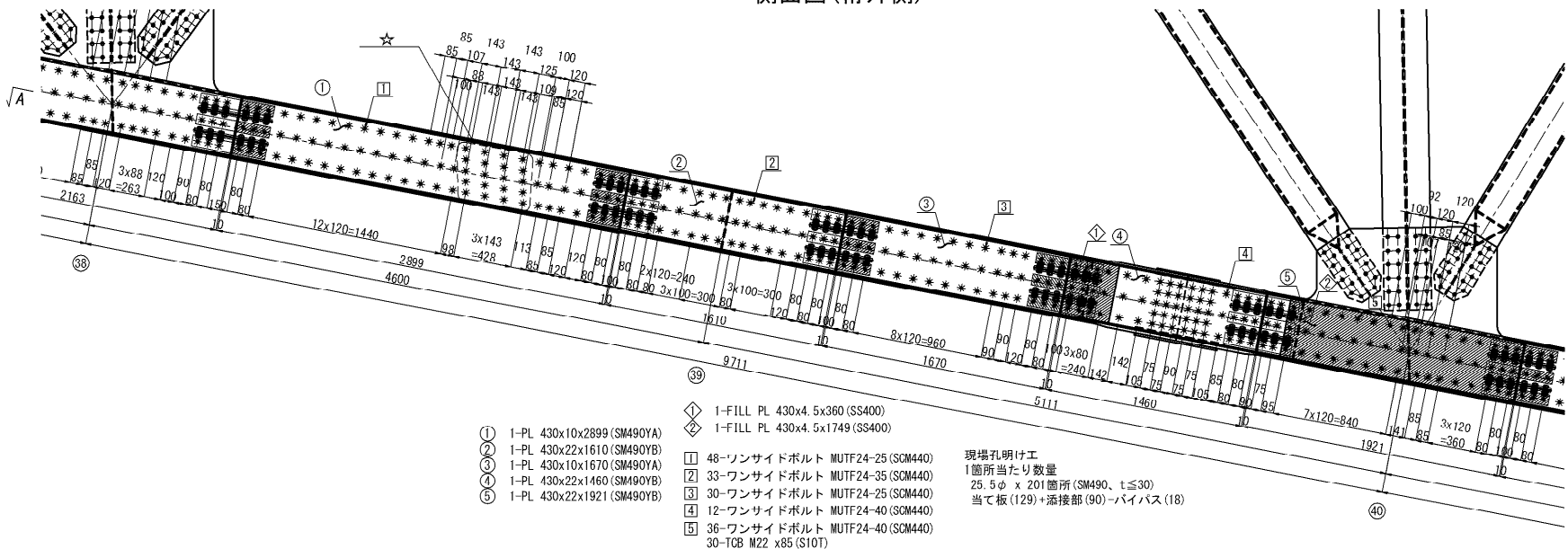
- 注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
  4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
  5. ■印はフィラープレートを示す。
  6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
  7. ※印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造 詳細図(その2)」を参照すること。
  8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その24)		
縮 尺	図示	図面番号	445/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



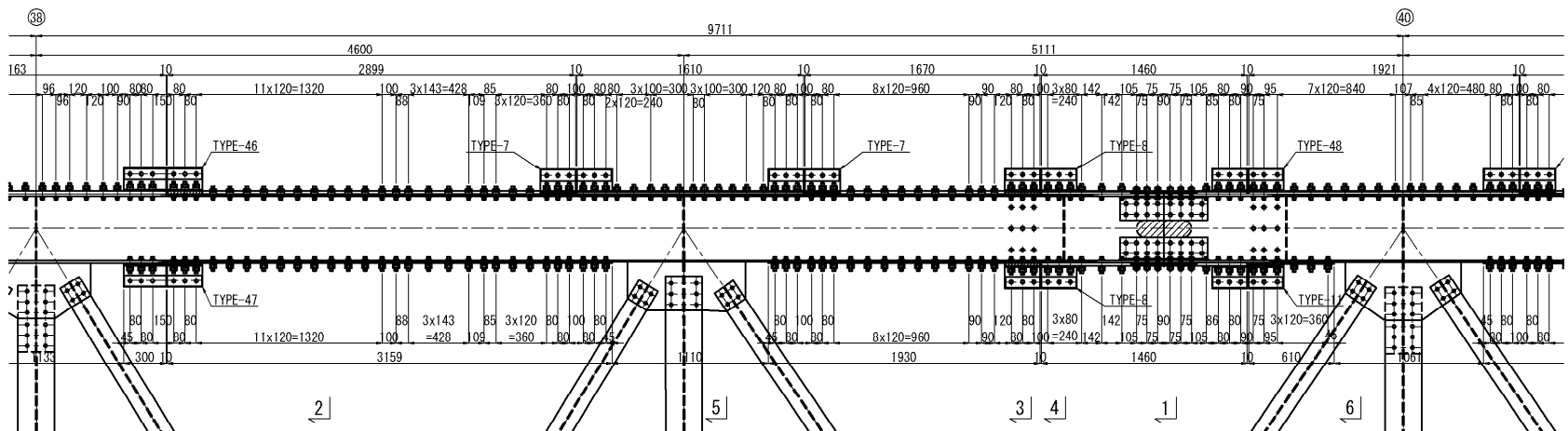
下弦材  
AT2

側面図(桁外側)

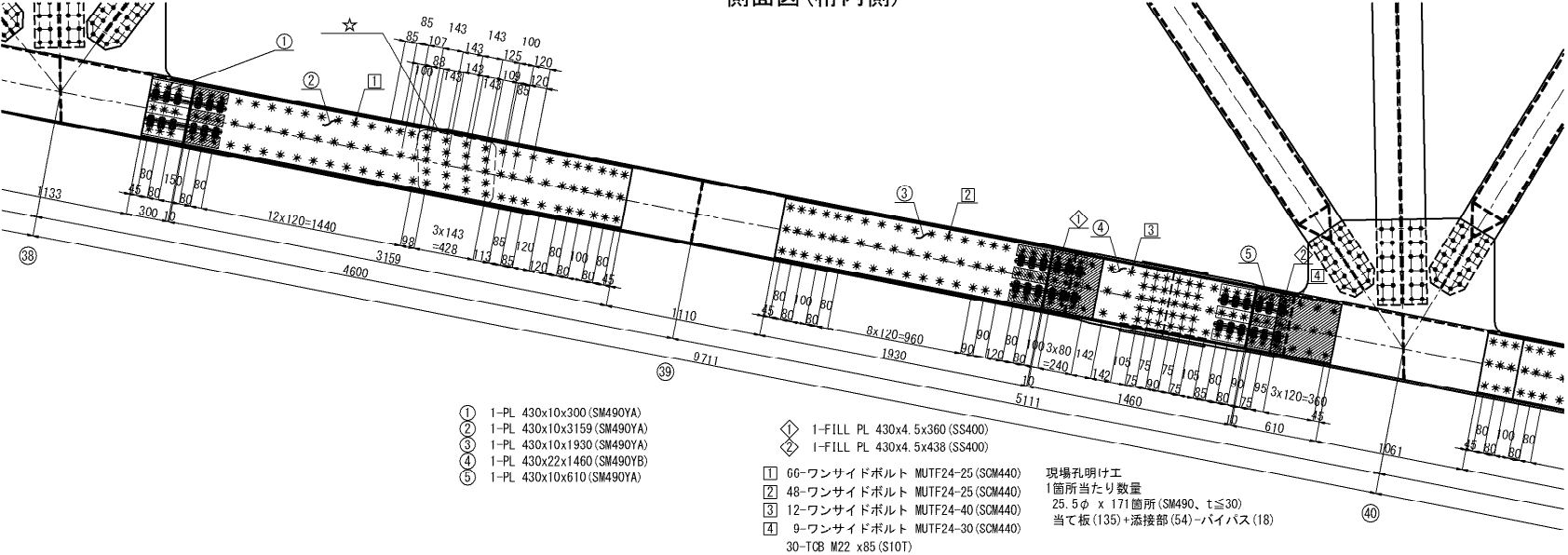


平面図

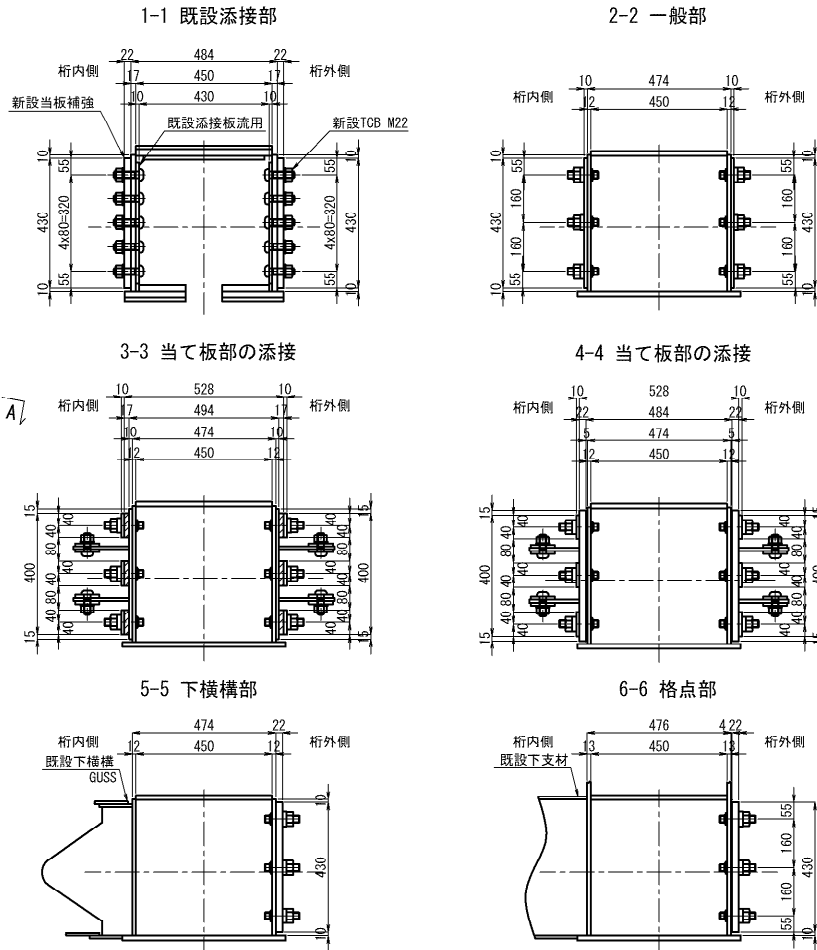
2] 5] A - A 3] 4] 1] 6]



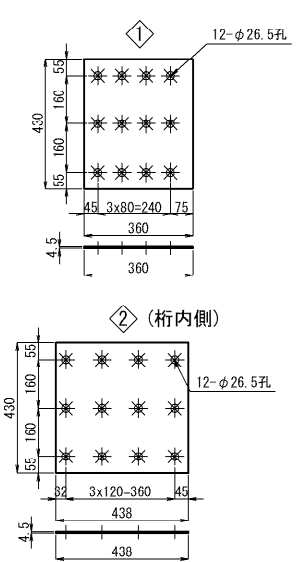
側面図(桁内側)



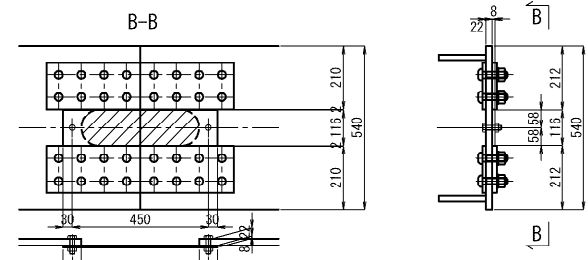
断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

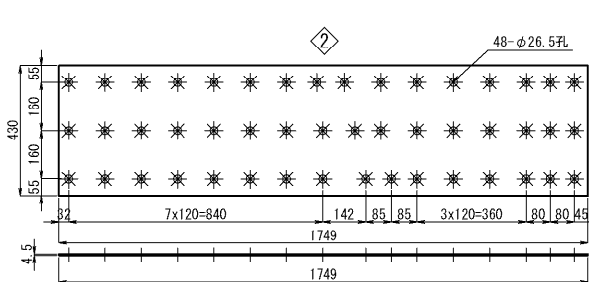


ハンドホール詳細 S=1:25



1主構当たり数量(製作数:1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)  
既設撤去数量(1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

FILL PL詳細 S=1:25



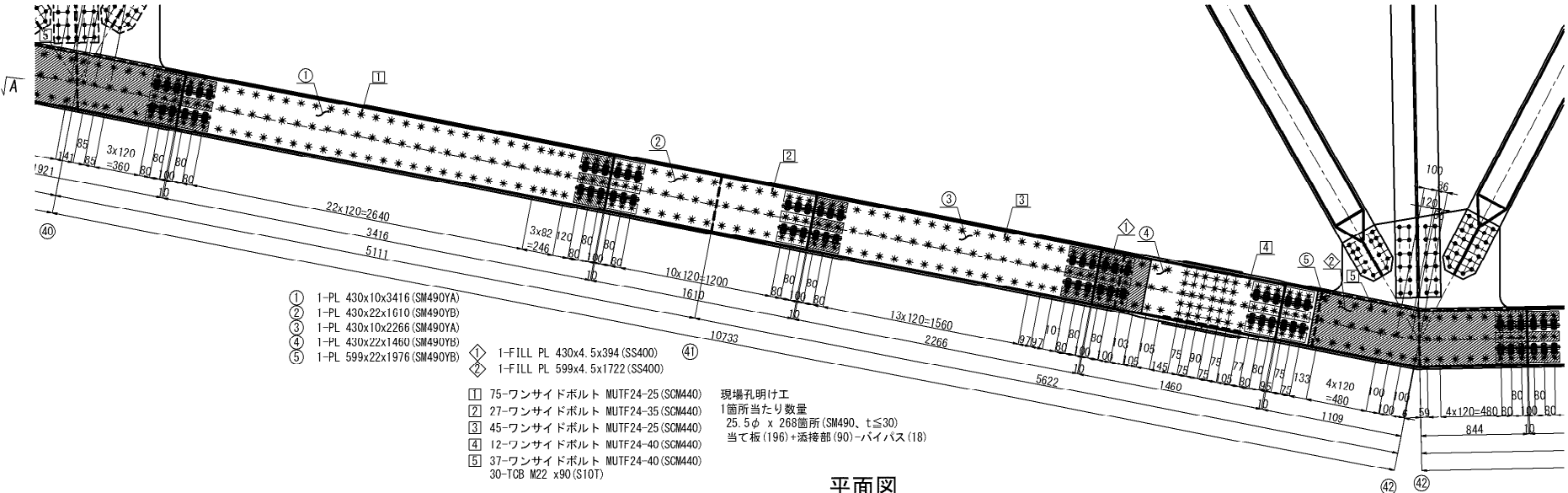
注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. ☆印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 制震構造 詳細図(その3)」を参照すること。  
8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その25)		
縮 尺	図示	図面番号	446/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その26) S=1:50

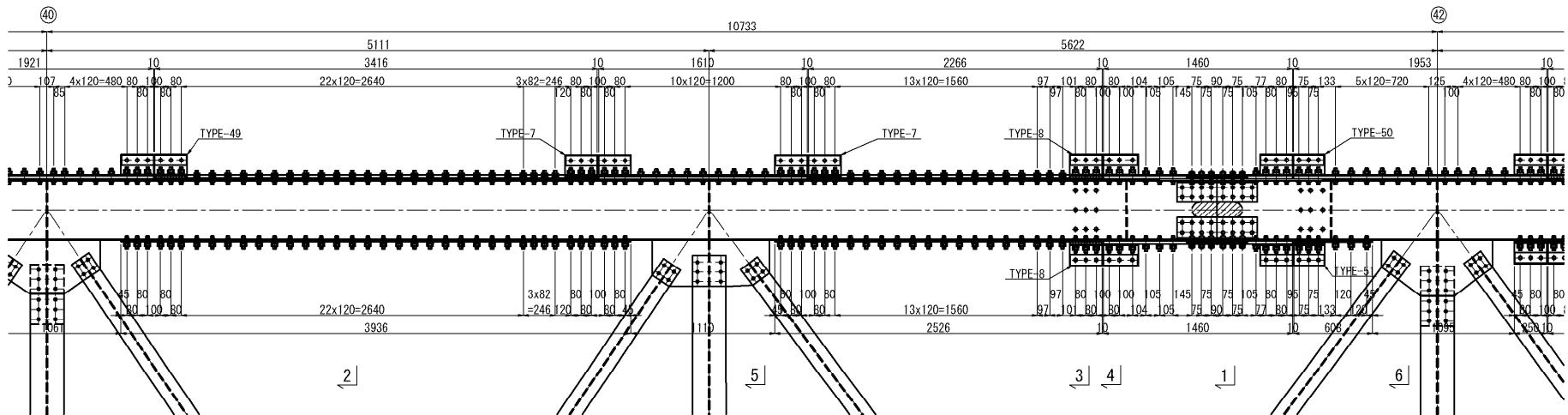
下弦材  
AT2

側面図(桁外側)

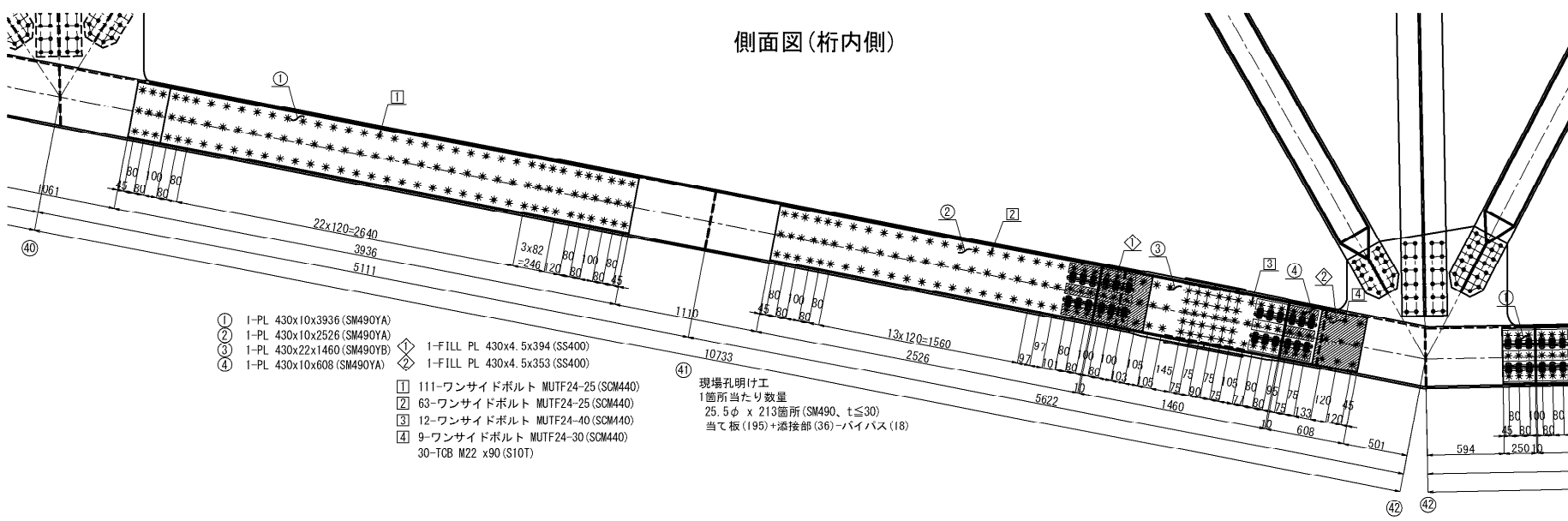


平面図

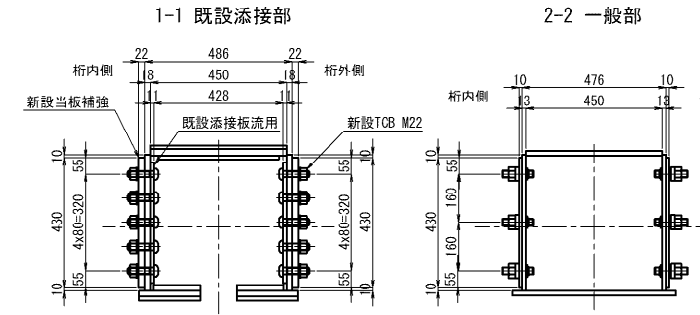
A - A



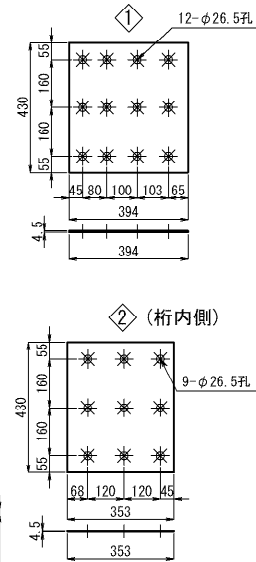
側面図(桁内側)



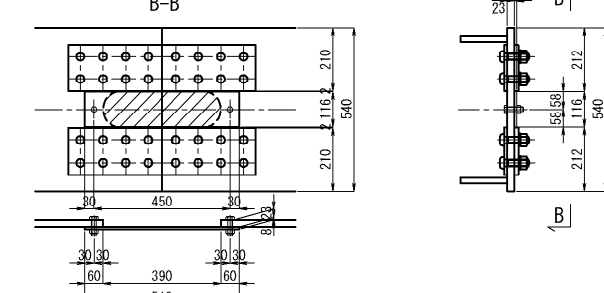
断面図 S=1:25



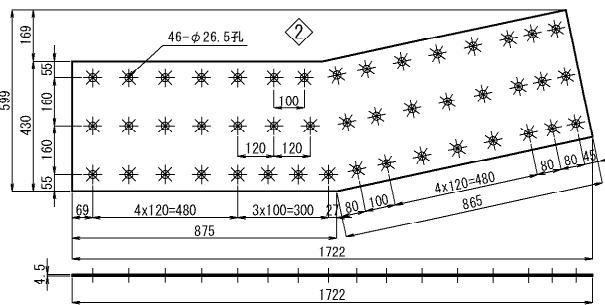
FILL PL詳細 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25



注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を  
参照すること。

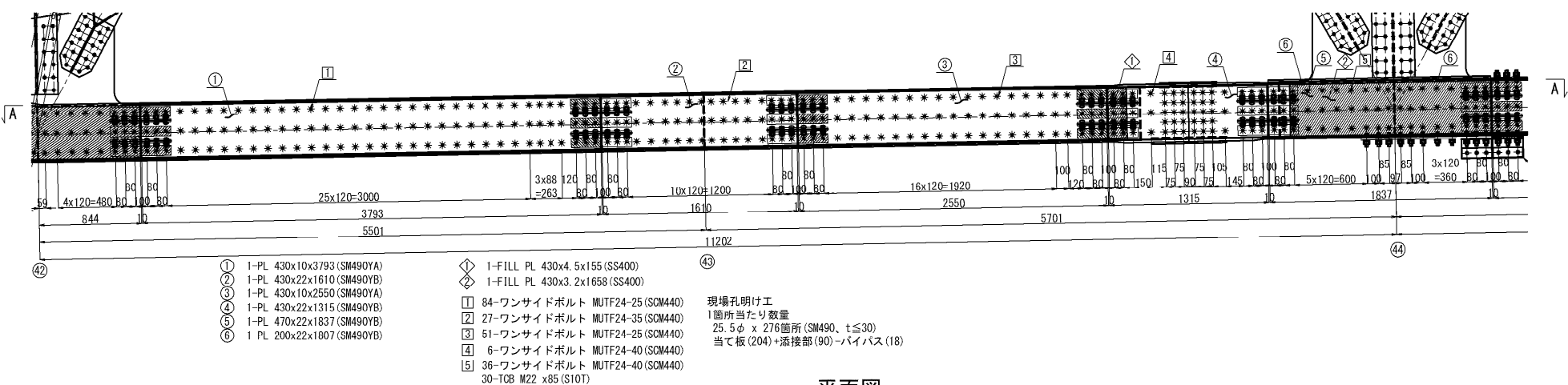
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その26)		
縮尺	図示	図面番号	447/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その27) S=1:50

下弦材 21  
AT2

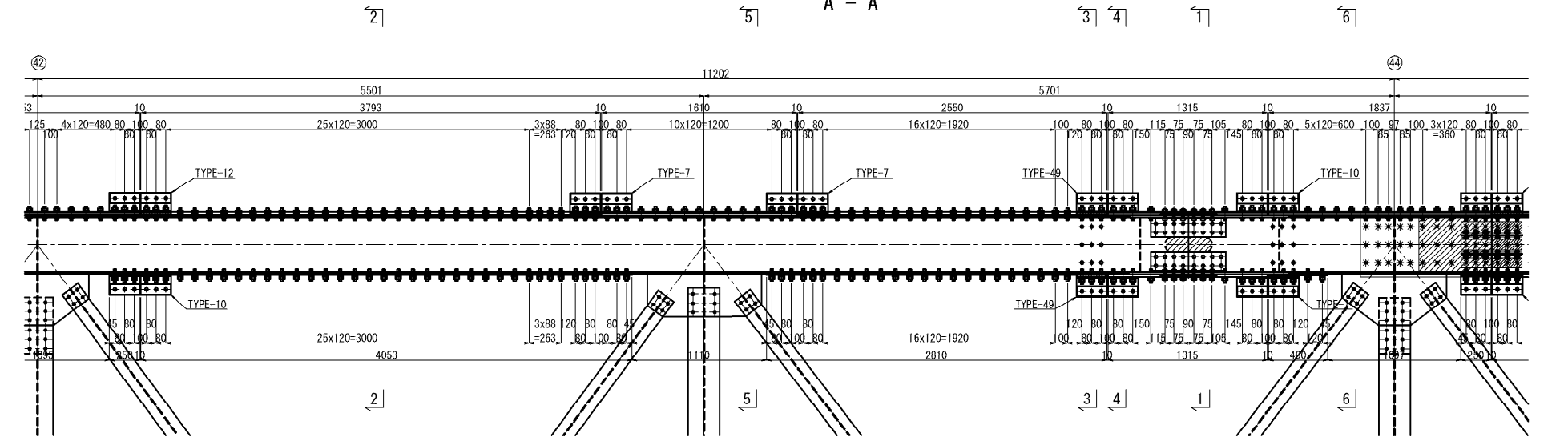
側面図 (桁外側)

断面図 S=1:25

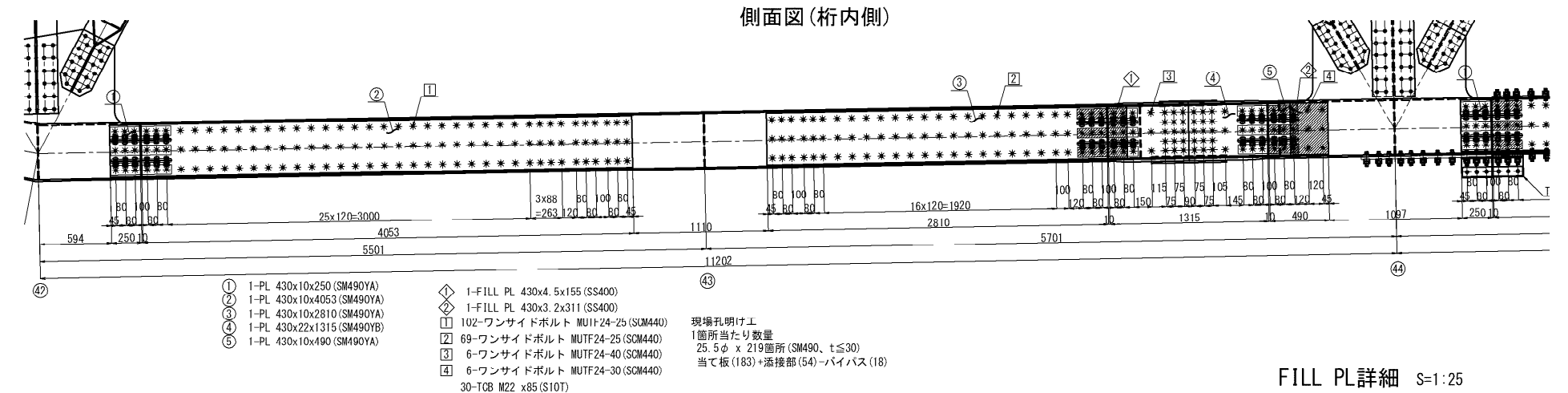


平面図

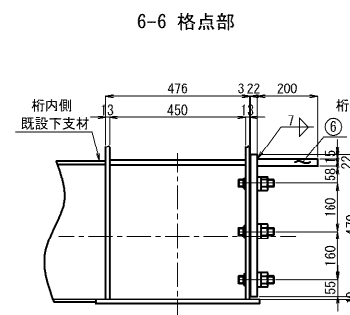
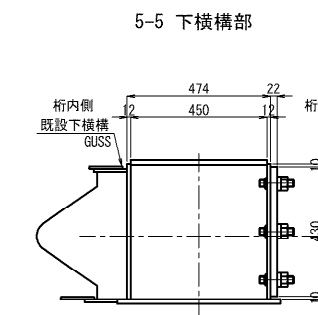
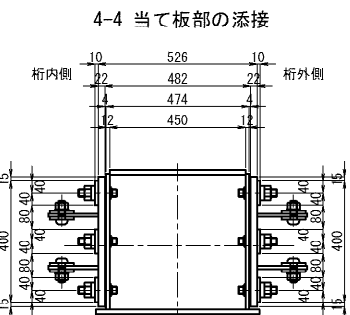
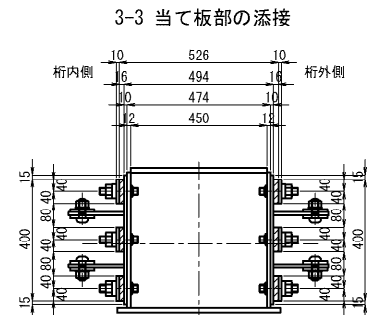
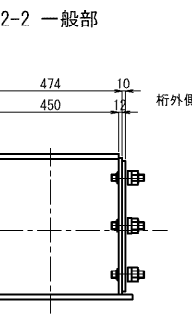
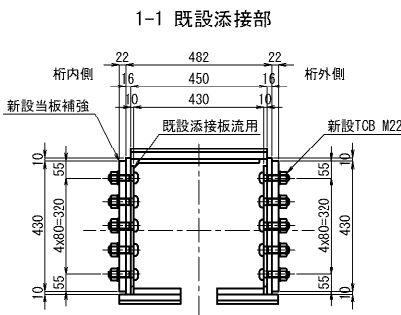
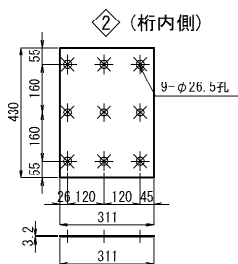
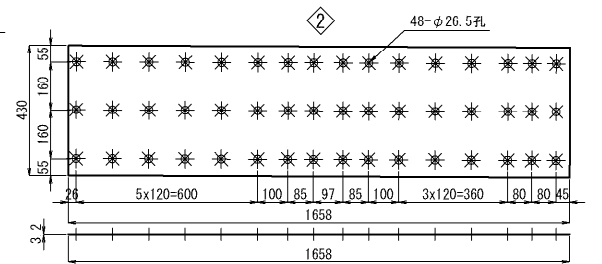
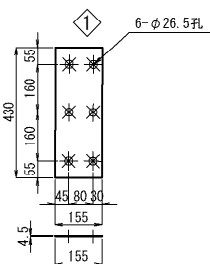
A - A



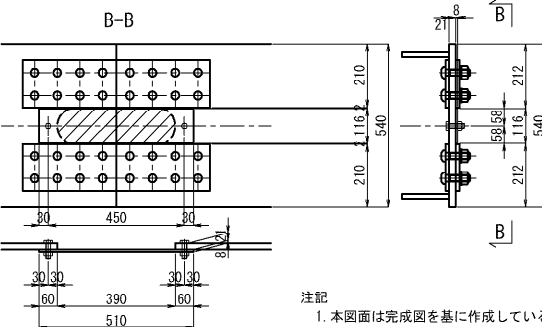
側面図 (桁内側)



FILL PL詳細 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



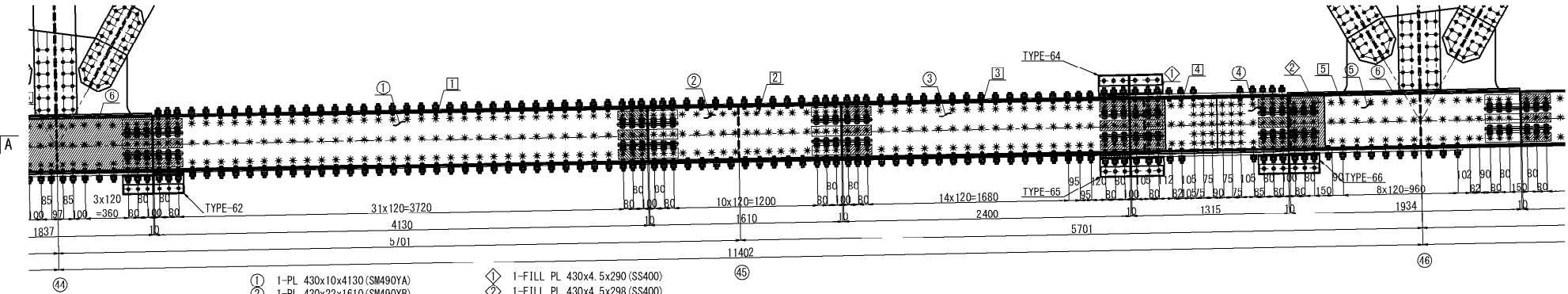
注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. 印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35) ~ (その40)」を  
参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その27)		
縮 尺	図示	図面番号	448/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

下弦材 22-1  
AT2

側面図(桁外側)

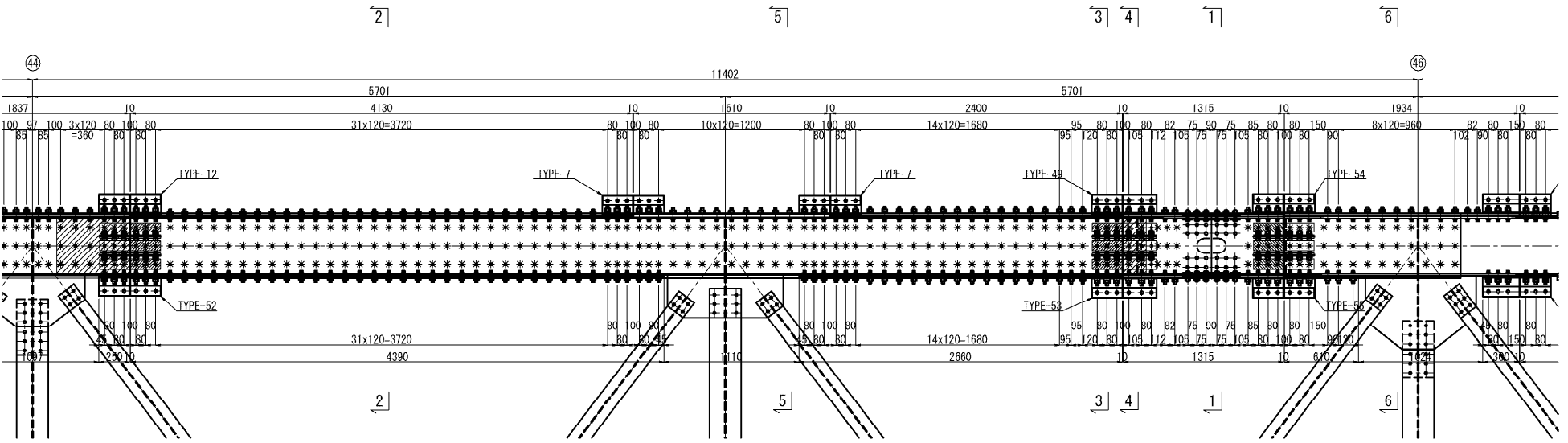
断面図 S=1:25



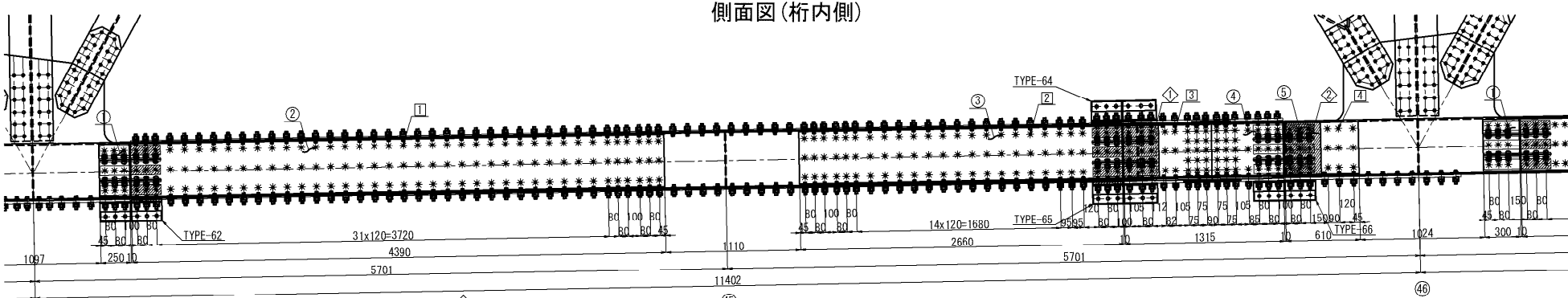
- ① 1-PL 430x10x4130 (SM490YA)
  - ② 1-PL 430x22x1610 (SM490YB)
  - ③ 1-PL 430x10x2400 (SM490YA)
  - ④ 1-PL 430x22x1315 (SM490YB)
  - ⑤ 1-PL 470x22x1934 (SM490YD)
  - ⑥ 1-PL 200x22x1904 (SM490YB)
  - ⑦ 1-FILL PL 430x4. 5x290 (SS400)
  - ⑧ 1-FILL PL 430x4. 5x298 (SS400)
  - ⑨ 90-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)
  - ⑩ 27-ワンサイドボルト MUTF24-35 (SCM440)
  - ⑪ 48-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)
  - ⑫ 9 ワンサイドボルト MUTF24. 40 (SCM440)
  - ⑬ 36-ワンサイドボルト MUTF24-40 (SCM440)
  - ⑭ 30-TCB M22 x80 (S10T)
- 現場孔明け工  
1箇所当たり数量  
25. 5φ x 282箇所 (SM490、t≤30)  
当て板 (210)+添接部 (90)-バイパス (18)

平面図

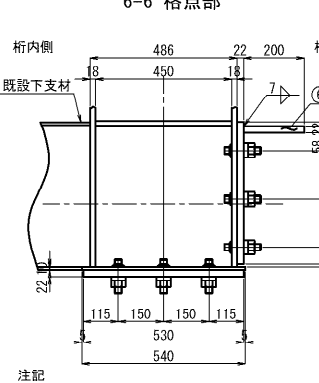
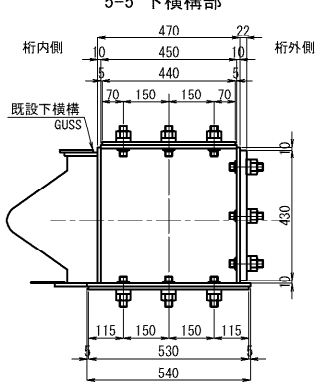
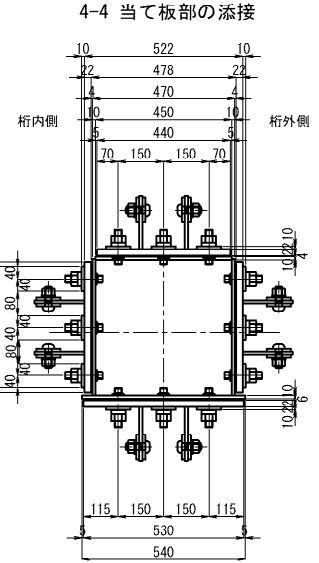
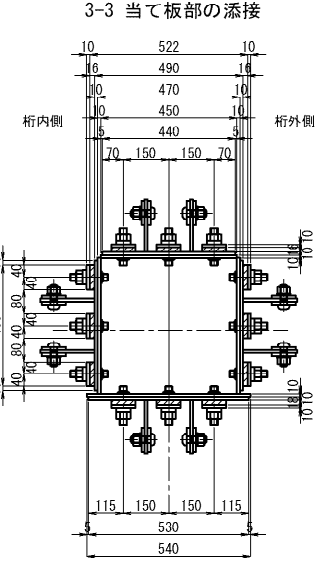
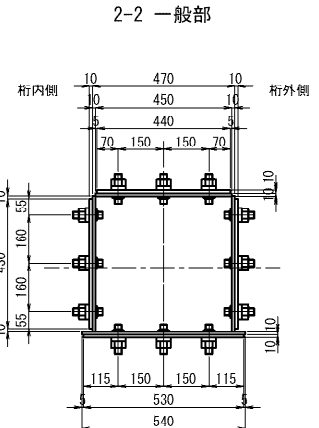
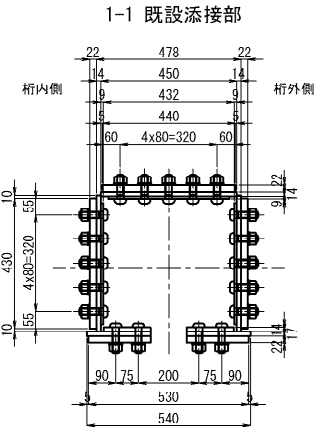
A - A



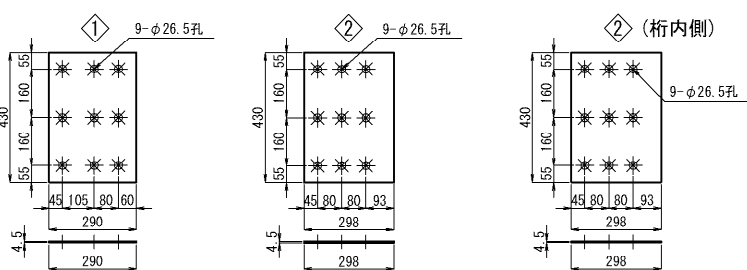
側面図(桁内側)



- ① 1-PL 430x10x250 (SM490YA)
  - ② 1-PL 430x10x4390 (SM490YA)
  - ③ 1-PL 430x10x2660 (SM490YA)
  - ④ 1-PL 430x22x1315 (SM490YB)
  - ⑤ 1-PL 430x10x610 (SM490YA)
  - ⑦ 1-FILL PL 430x4. 5x290 (SS400)
  - ⑧ 1-FILL PL 430x4. 5x298 (SS400)
  - ⑨ 108-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)
  - ⑩ 66-ワンサイドボルト MUTF24-20 (SCM440)
  - ⑪ 9-ワンサイドボルト MUTF24-40 (SCM440)
  - ⑫ 9-ワンサイドボルト MUTF24-30 (SCM440)
  - ⑬ 30-TCB M22 x80 (S10T)
- 現場孔明け工  
1箇所当たり数量  
25. 5φ x 228箇所 (SM490、t≤30)  
当て板 (192)+添接部 (54)-バイパス (18)



FILL PL詳細 S=1:25



- 注記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24. 5新設φ26. 5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25. 5新設φ26. 5とする。
  4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
  5. 斜印はフィラープレートを示す。
  6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
  7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

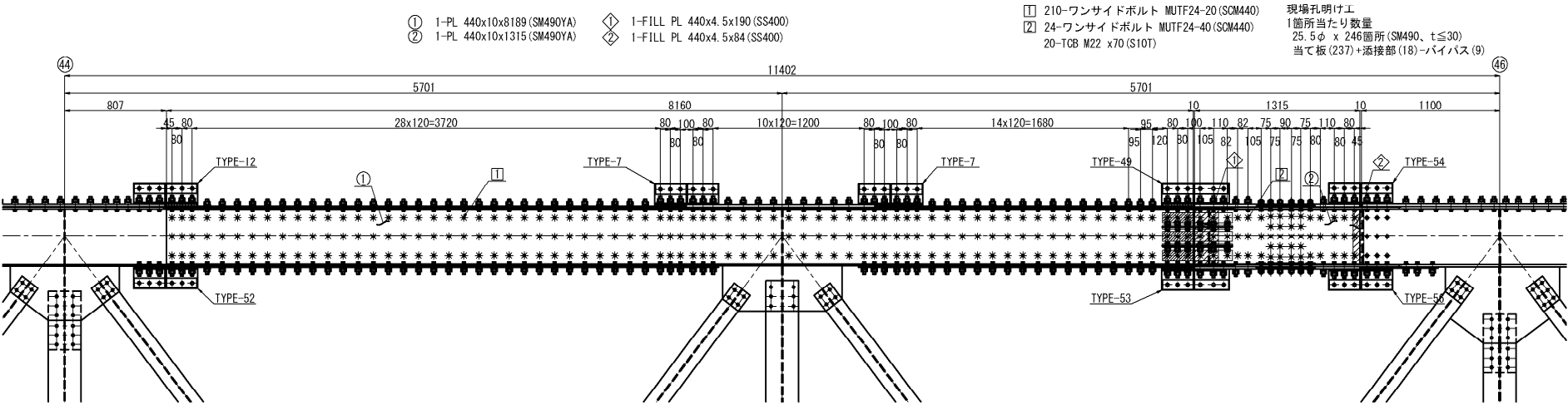
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強)詳細図(その28)		
縮 尺	図示	図面番号	449/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その29) S=1:50

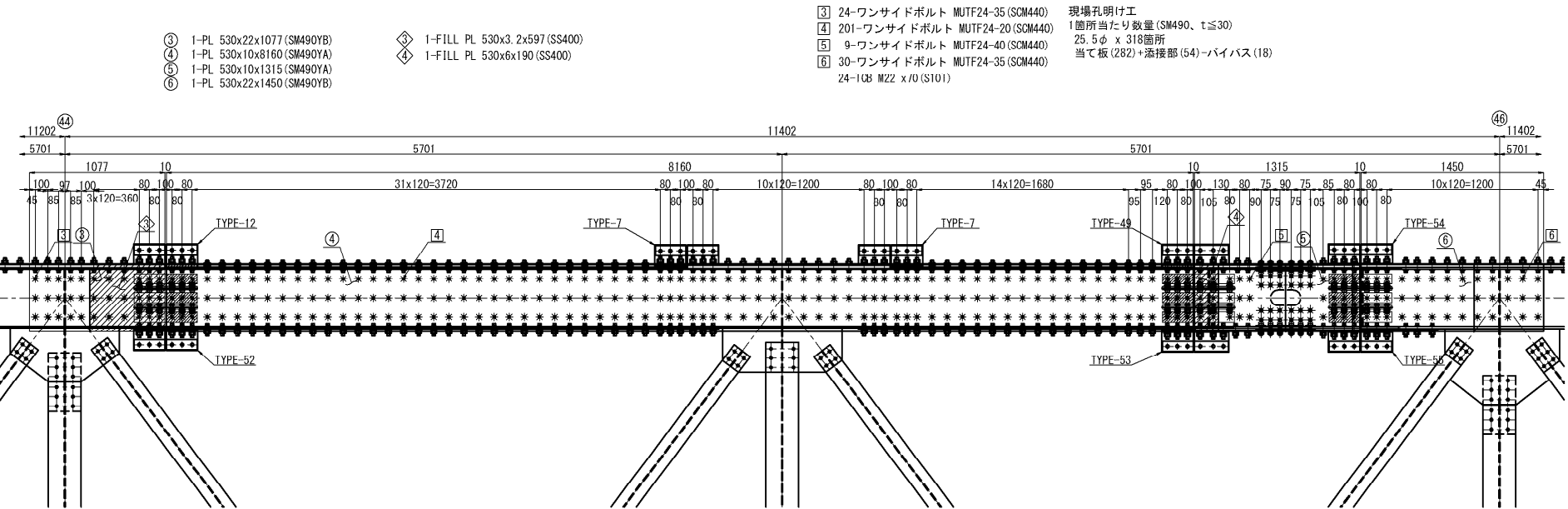
450/529

下弦材 22-2  
AT2

Top. PL側



Bott. PL側

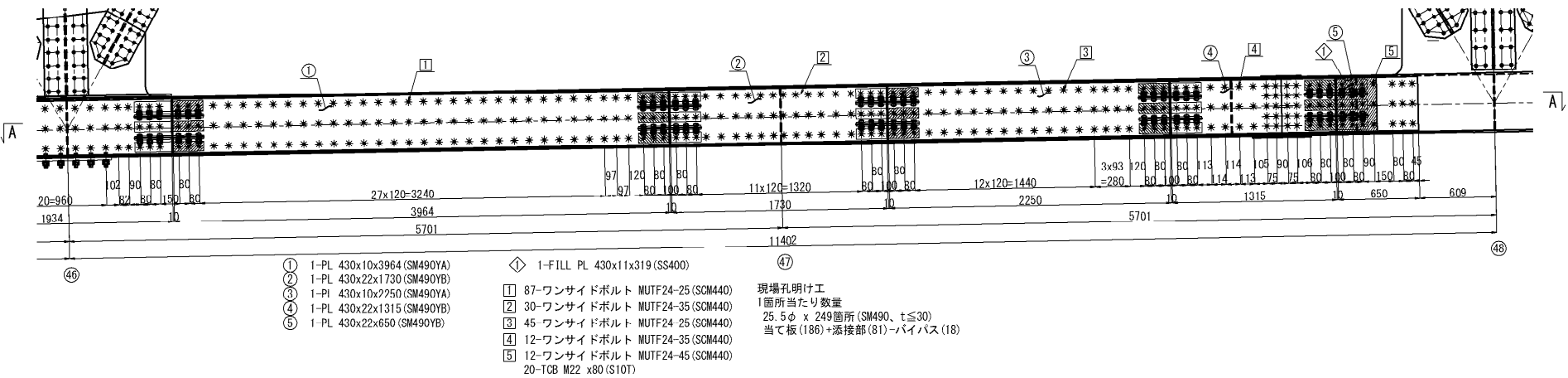


滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その30) S=1:50

下弦材  
AT2

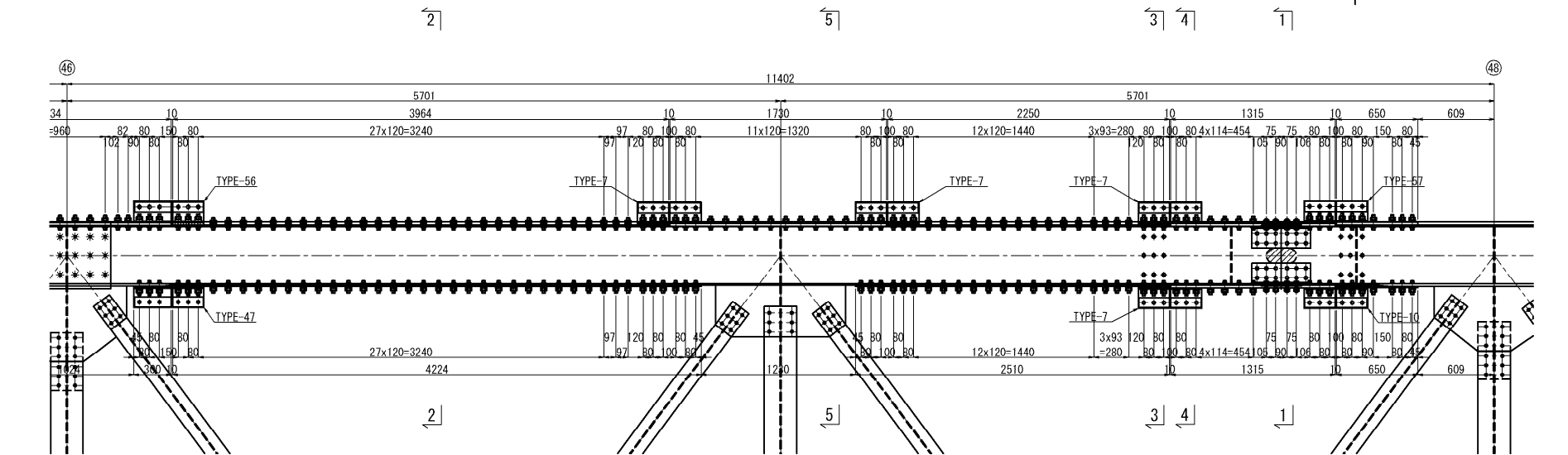
側面図(桁外側)

断面図 S=1:25

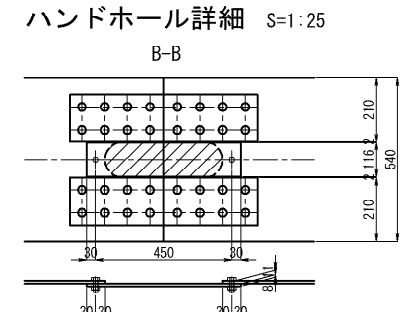
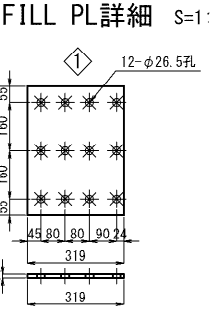
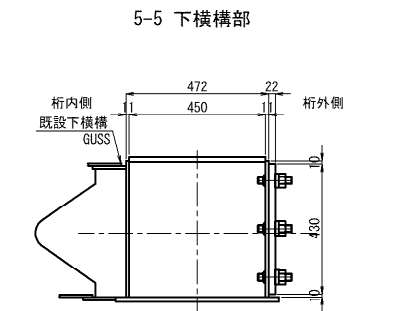
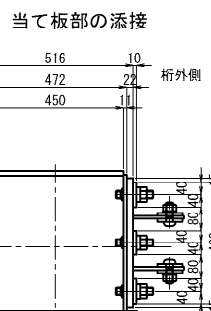
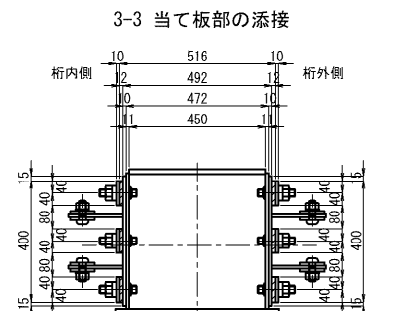
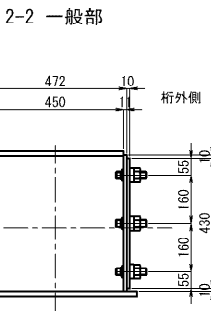
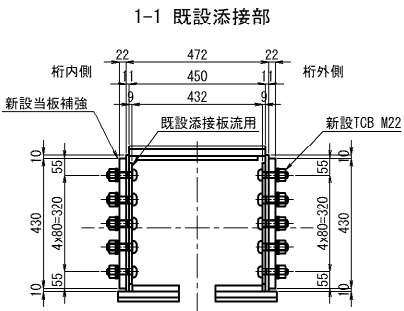
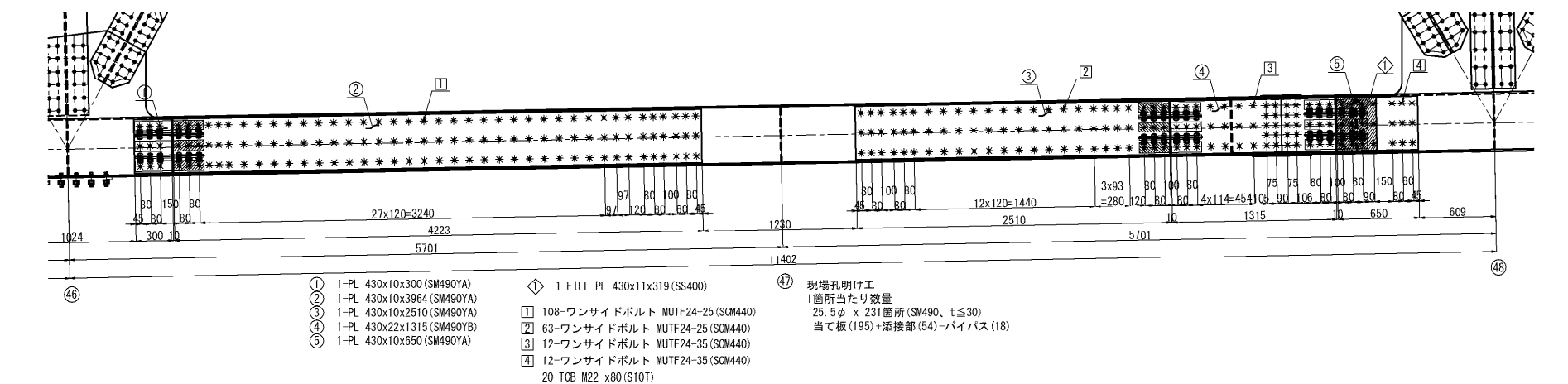


平面図

A - A



側面図(桁内側)

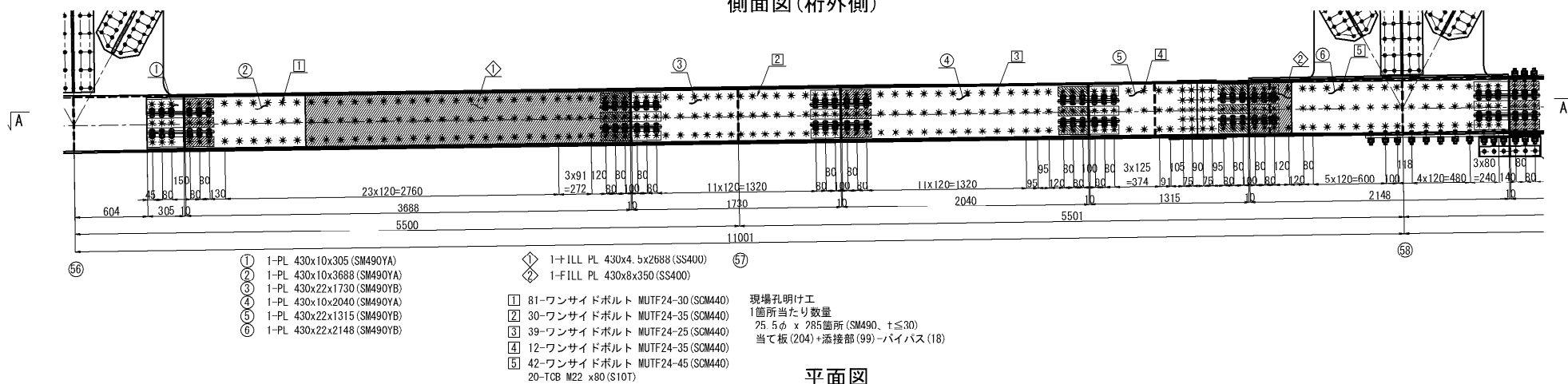


注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TOB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 斜線はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)～(その40)」を  
参照すること。

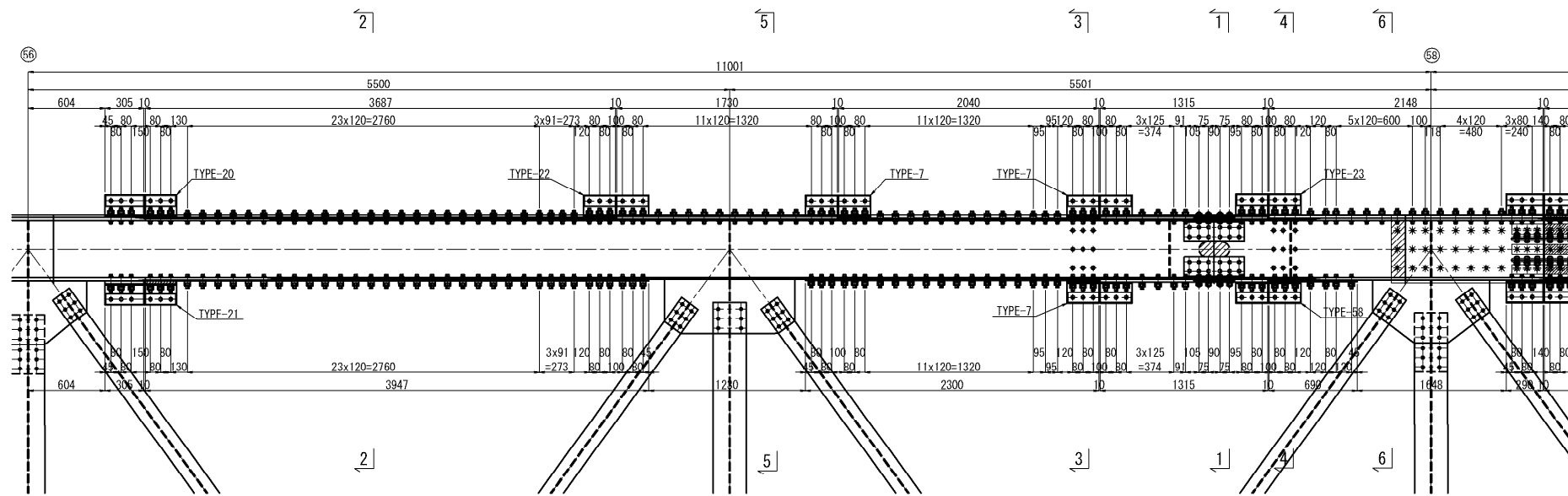
1基横当たり数量(製作数:1基)  
1-Gov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)  
既設撤去数量(1基)  
1-Gov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その30)		
縮 尺	図示	図面番号	451/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

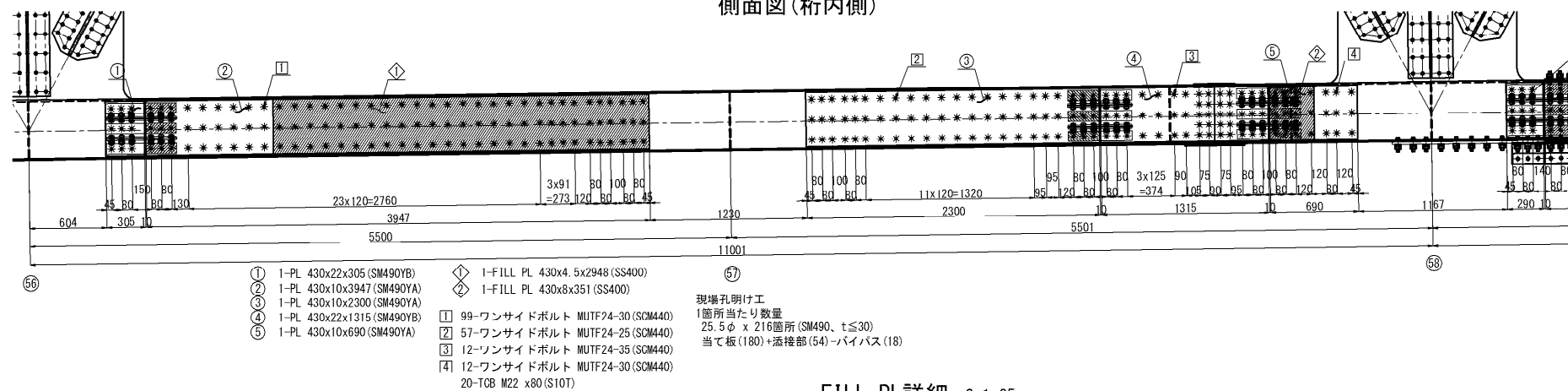
側面図(桁外側)



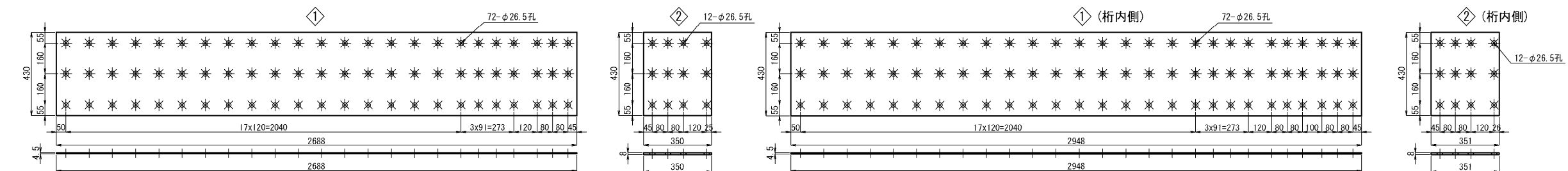
平面図  
A - A



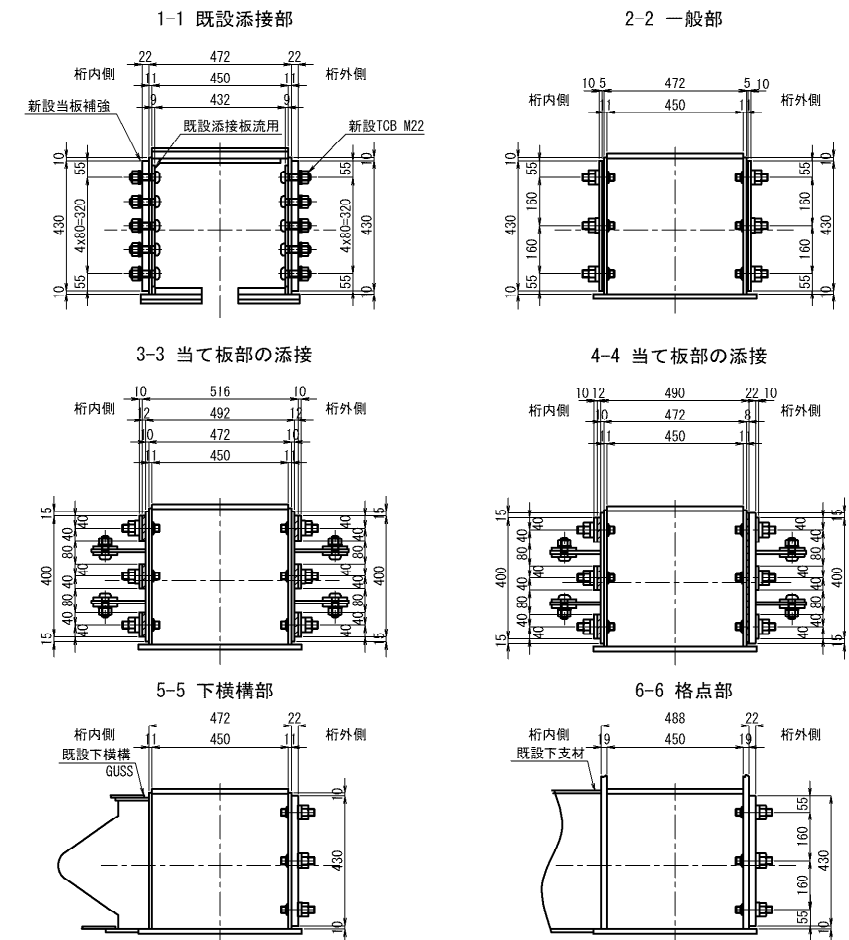
側面図(桁内側)



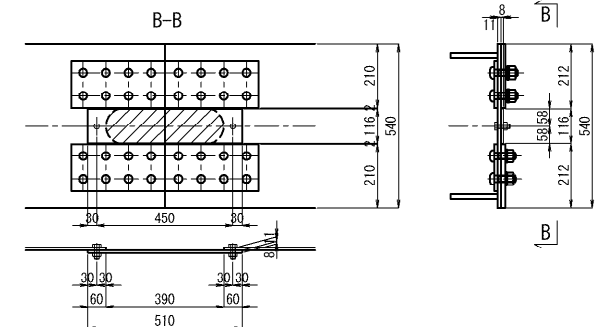
FILL PL詳細 S=1:25



断面図 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25



1主構当たり数量(製作数:1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510(SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400)(1種1座金)

既設撤去数量(1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510(SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400)(1種1座金)

注記

1. 本図面は完成図面を基に作成しているため、  
現地に於て寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全CS400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す  
ボルト孔は既設の24.5新設の26.5とする。
- ※印のボルトは、MUT T 24を示す  
ボルト孔は既設の25.5新設の26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 斜線印はフュープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. 接続部詳細は、「海/沢橋(上り橋) 構造物補強工  
(当て板補強)詳細図(その35)~(その40)」を  
参照すること。

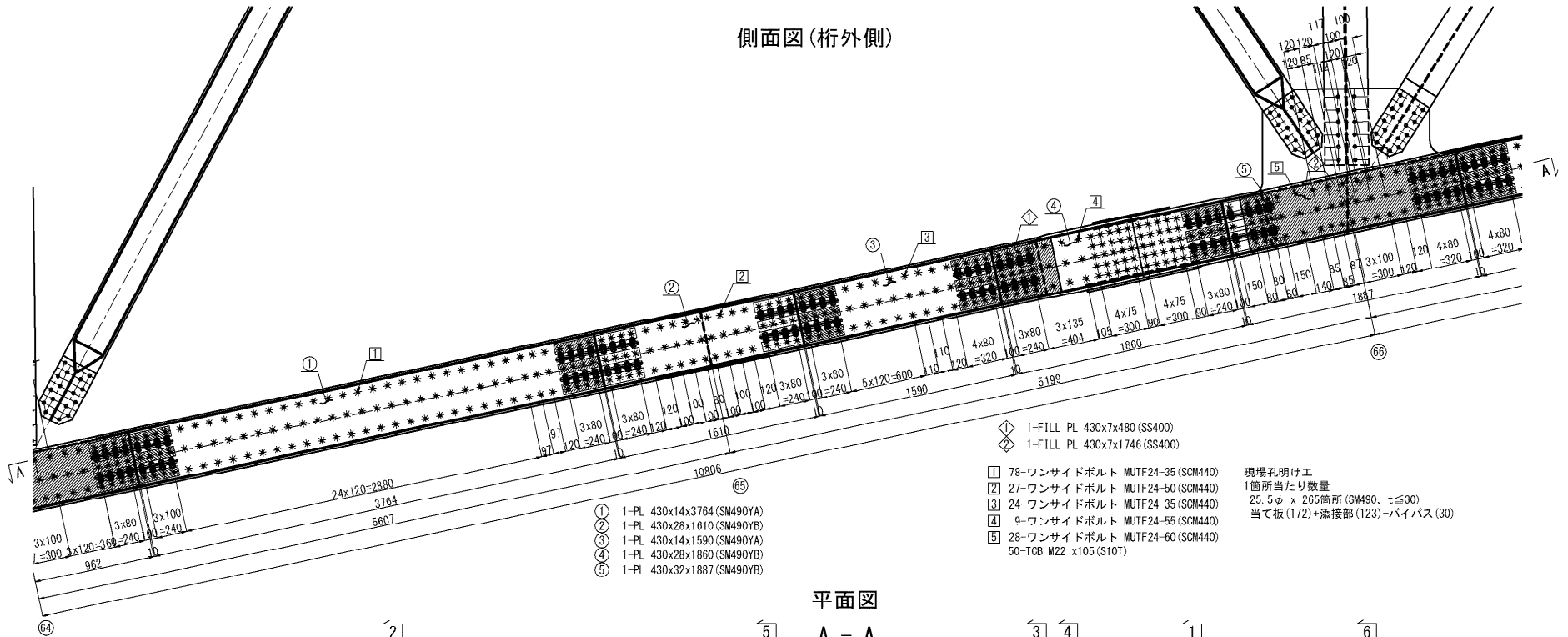
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 橋造物補強工(当て板補強)詳細図(その31)		
縮 尺	図示	図面番号	452/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その32) S=1:50

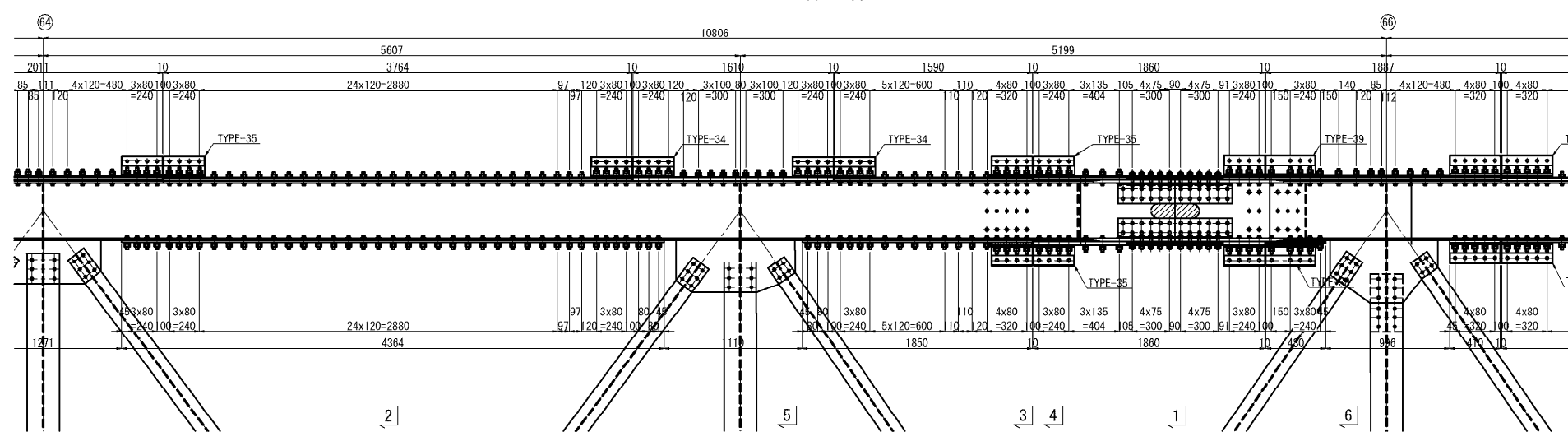
下弦材  
AT2

側面図(桁外側)

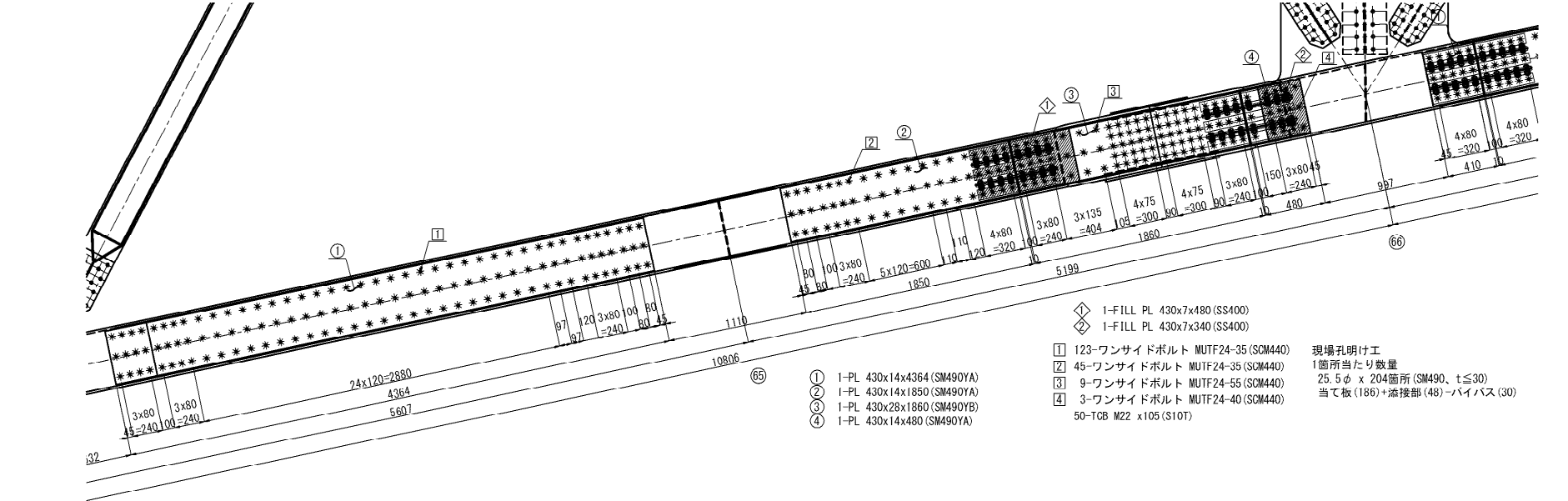


平面図

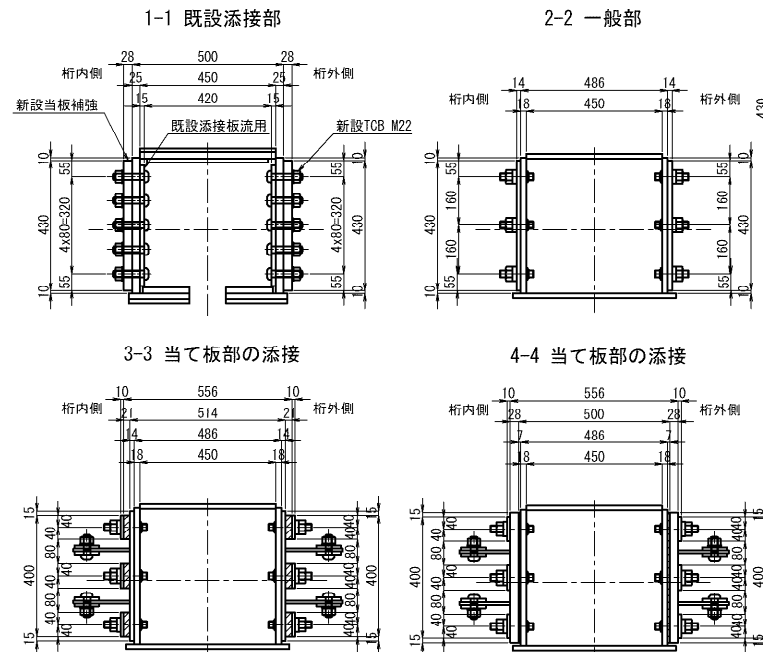
A - A



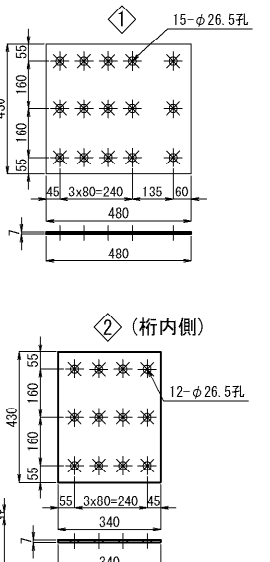
側面図(桁内側)



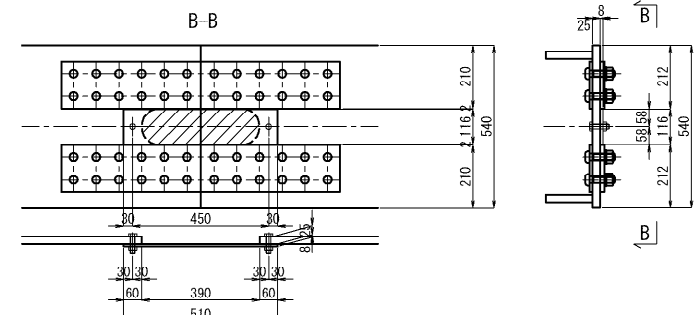
断面図 S=1:25



FILL PL詳細 S=1:25

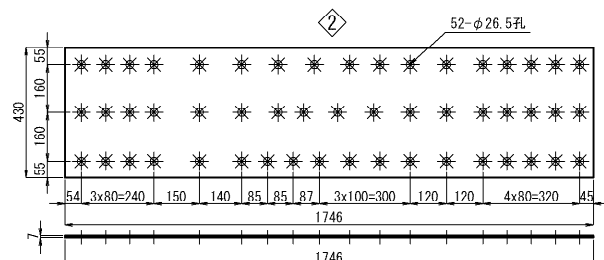


ハンドホール詳細 S=1:25



1主構当たり数量(製作数:1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)  
既設除去数量(1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

FILL PL詳細 S=1:25



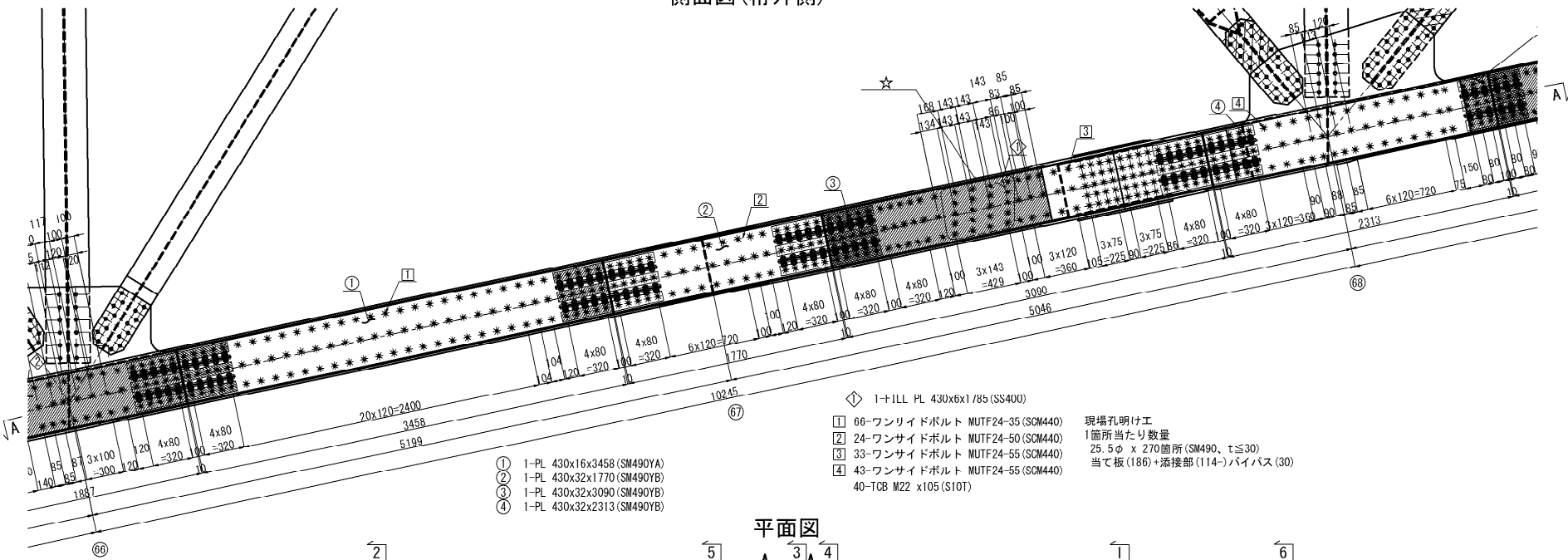
注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ◆印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. ◆印はフィラブルーレットを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その32)		
縮 尺	図示	図面番号	453/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

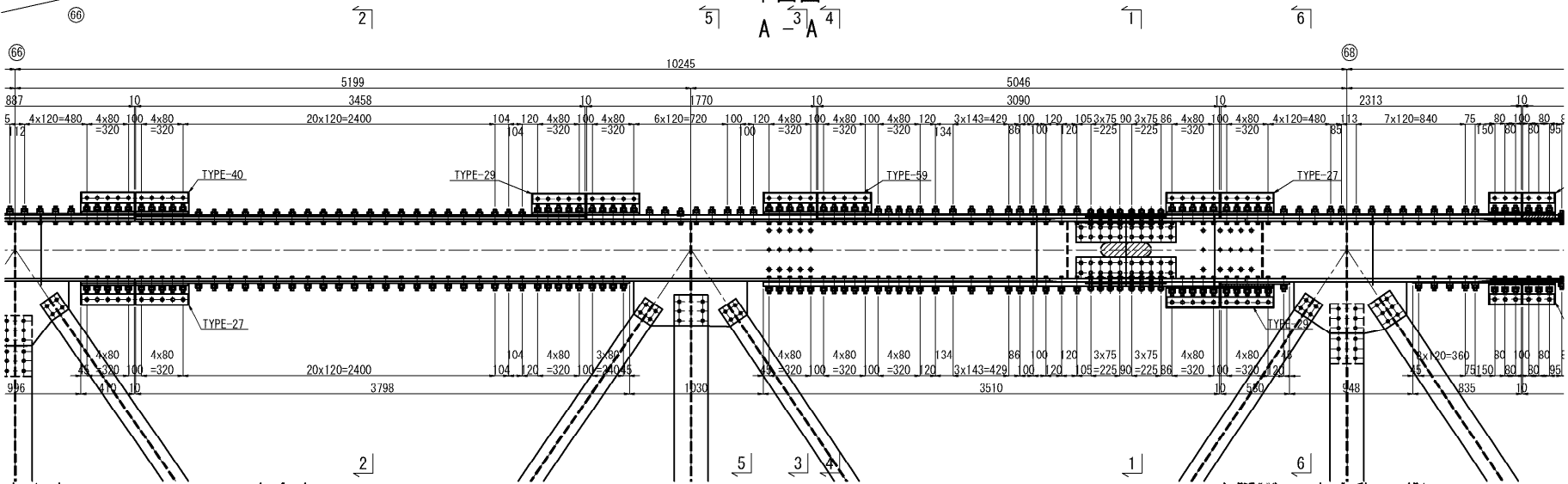


下弦材 33  
AT2

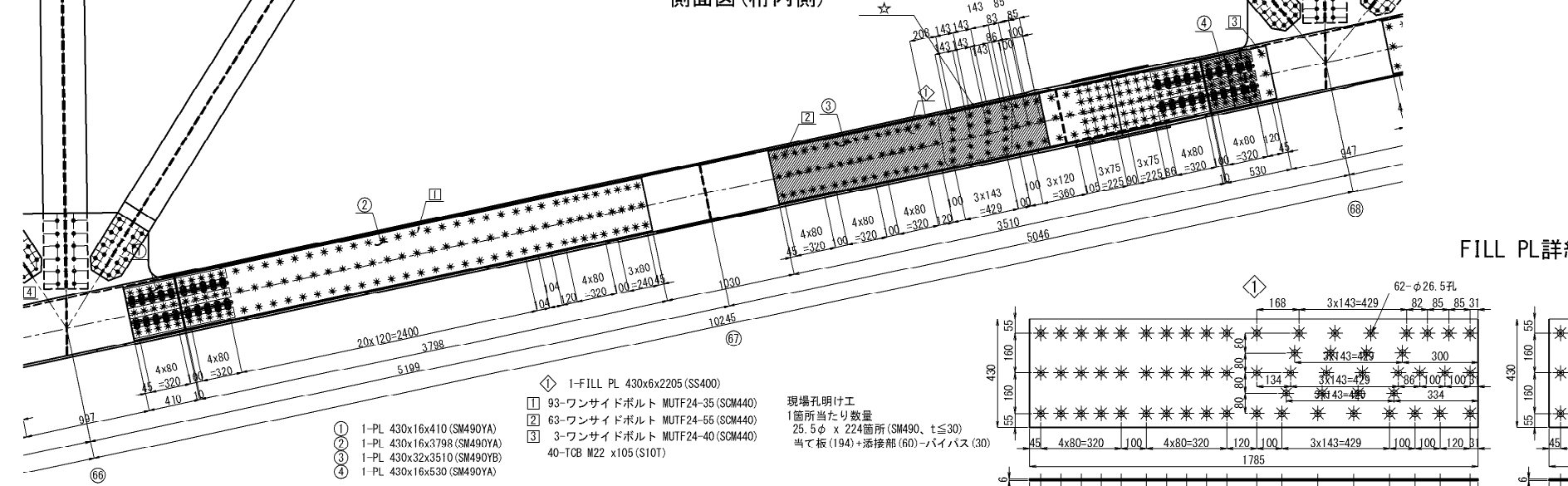
側面図(桁外側)



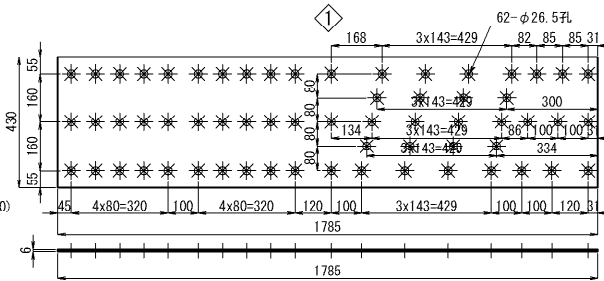
平面図



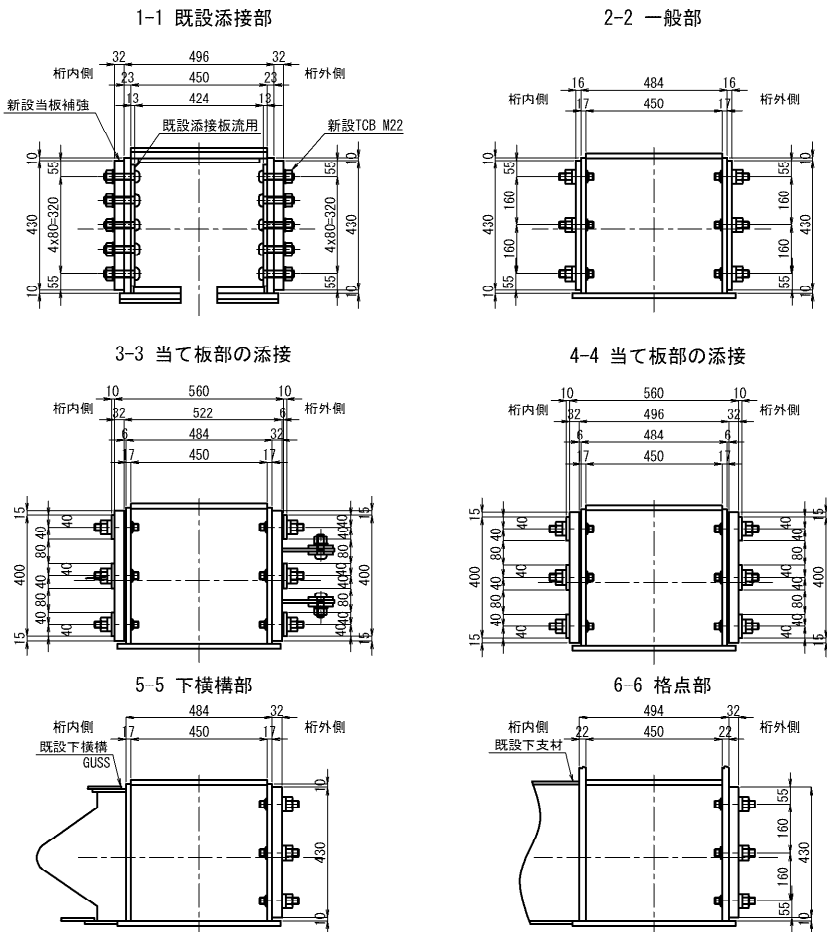
側面図(桁内側)



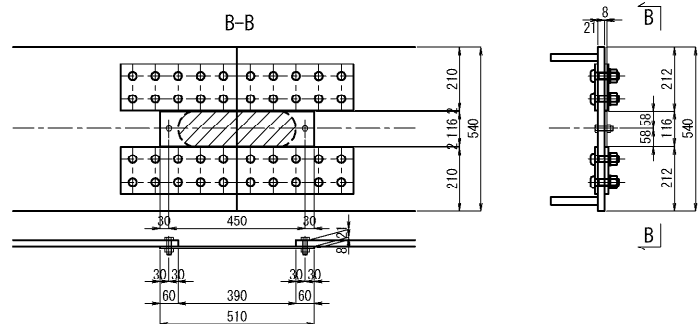
FILL PL詳細 S=1:25



断面図 S=1:25



ハンドホール詳細 S=1:25

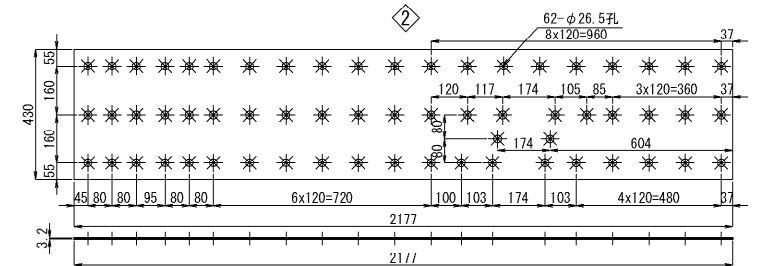
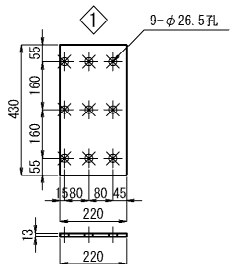


1主構当たり数量(製作数:1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)  
既設撤去数量(1基)  
1-Cov PL 116 x 8 x 510 (SS400)  
2-BN M16 x 60 (SS400) (1種1座金)

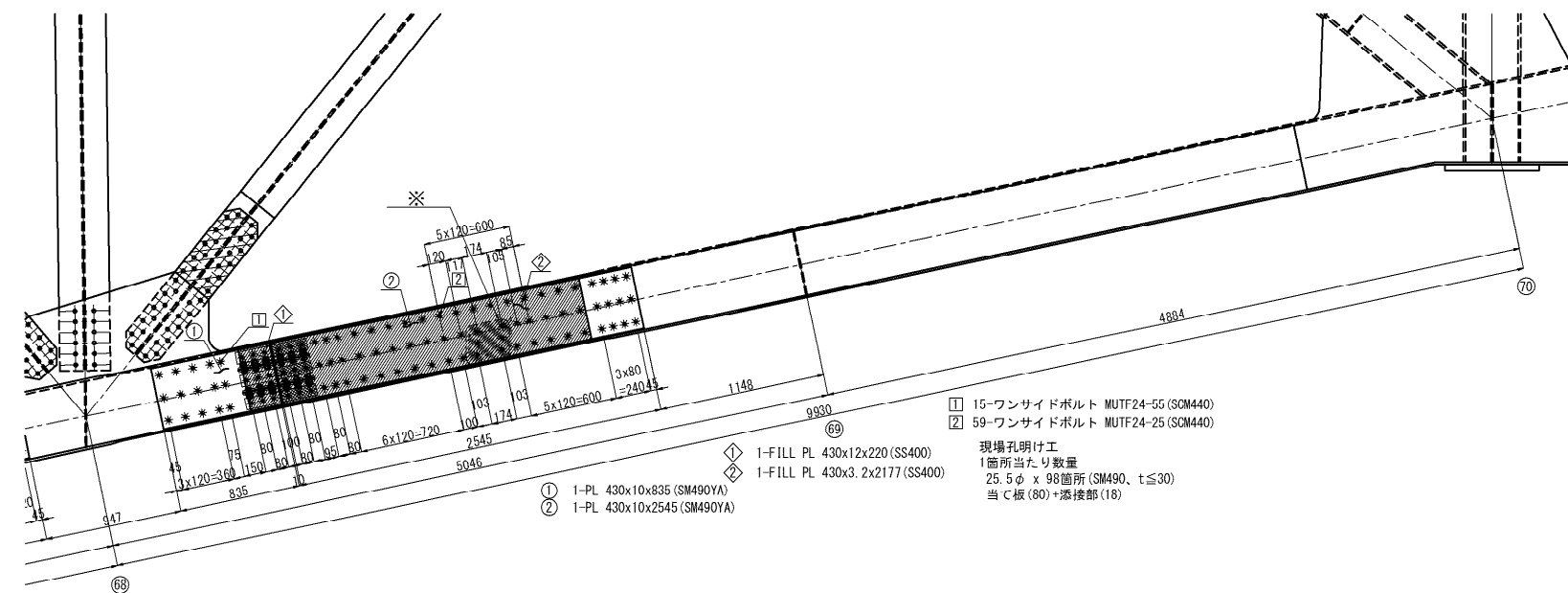
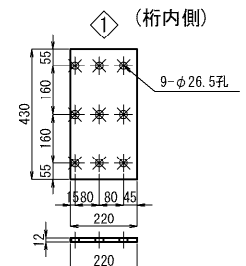
注記  
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地にて寸法を確認した上で施工を行うこと。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. 印のボルトは、TCB M22を示す。  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す。  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。  
7. ☆印部材は、「滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 制震構造  
詳細図(その3)」を参照すること。  
8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強) 詳細図(その35)~(その40)」を  
参照すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その33)		
縮尺	図示	図面番号	454/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

## FILL PL詳細 S=1:25



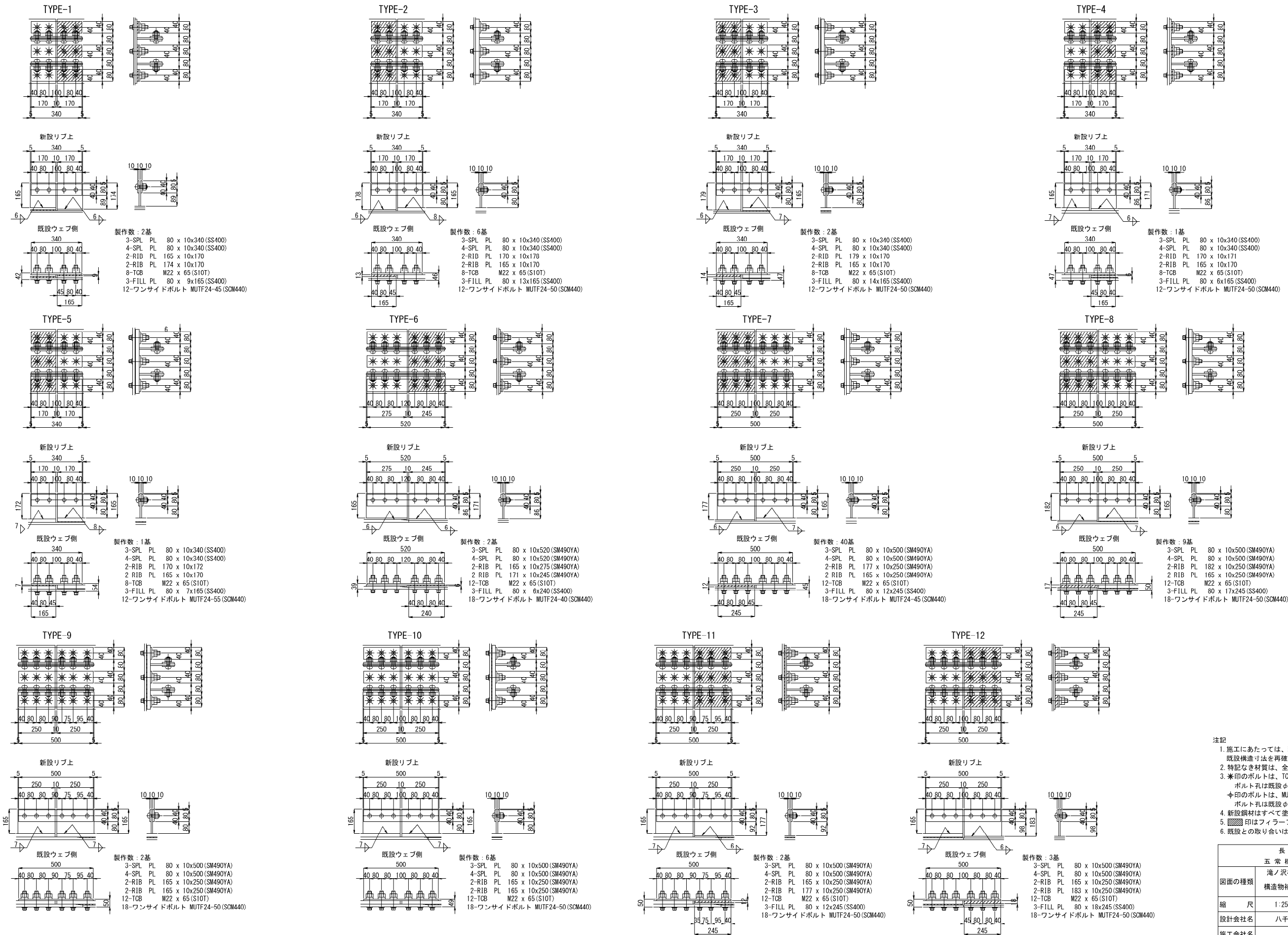
### 3-3 当て板部の添接



- 主記
1. 本図面は完成図を基に作成しているため、  
現地に寸法を確認した上で施工を行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ◆印のボルトは、TGB M22を示す  
ボルト孔は既設のφ24.5新設のφ26.5とする  
★印のボルトは、MUT F24を示す  
ボルト孔は既設のφ25.5新設のφ26.5とする
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. ◆印はフッ素塗装を示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。
7. ※印部材は、「滝ノ沢橋(上り線)A2橋台 制度構造  
詳細図(その2)」を参照すること。
8. 添接部詳細は、「滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工  
(当て板補強)詳細図(その35)～(その40)」を  
参照すること。

長 野 自 動 車 道 五 常 橋 床 版 取 替 工 事			
図面の種類	機ノ沢橋(上り橋) 構造造橋補強工(当て板補強) 詳細図(その34)		
縮 尺	図示	図面番号	455/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

添接部詳細



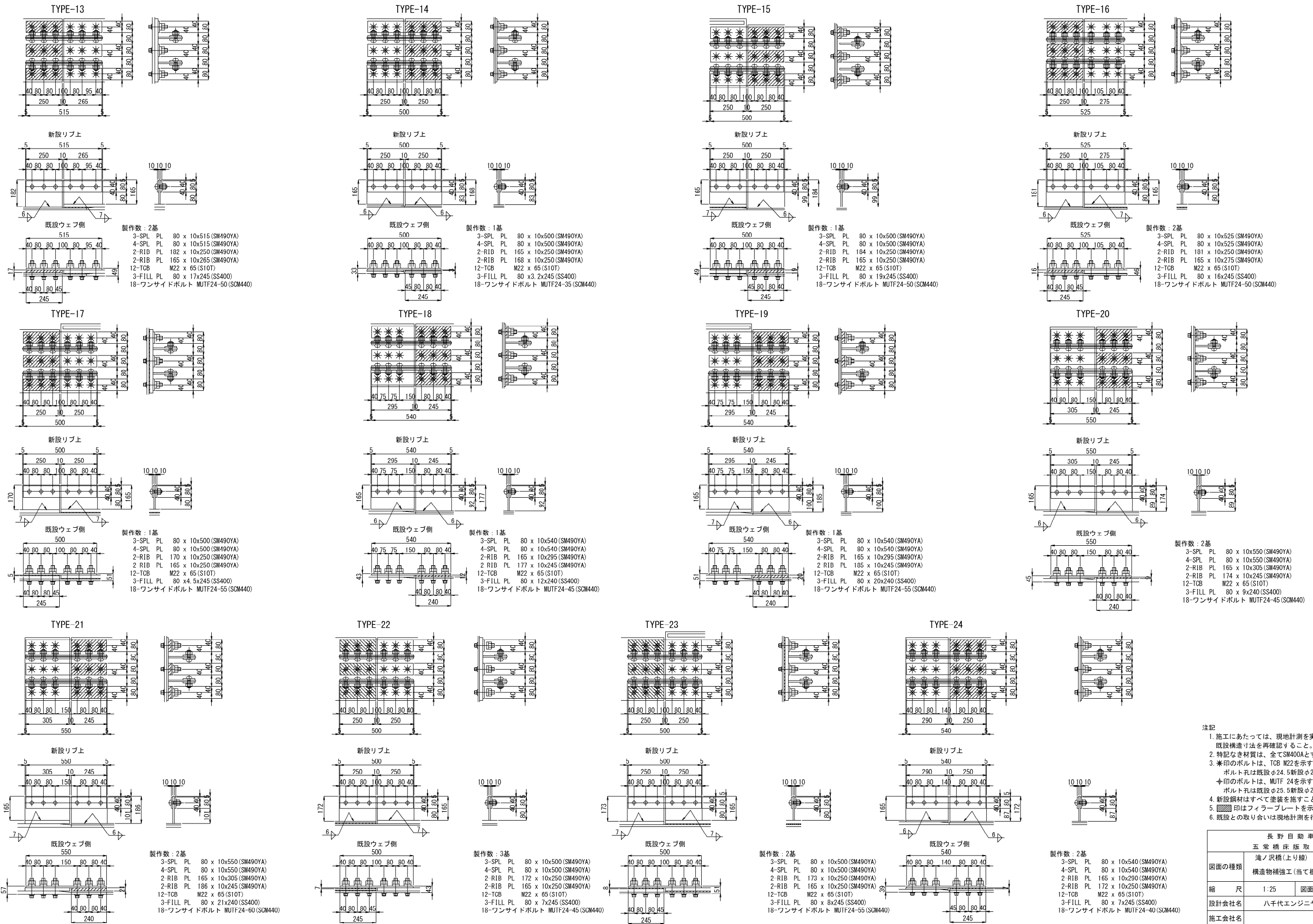
注記  
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して  
既設構造寸法を再確認すること。  
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
3. ＊印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
＊印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その35)		
縮 尺	1:25	図面番号	456/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その36)

S=1 : 25

## 添接部詳細

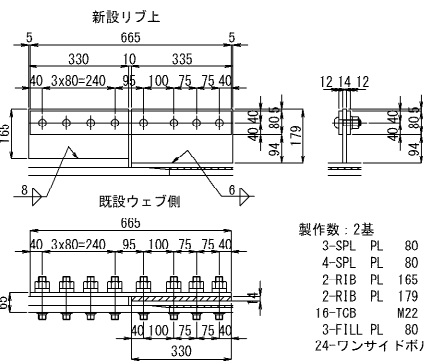
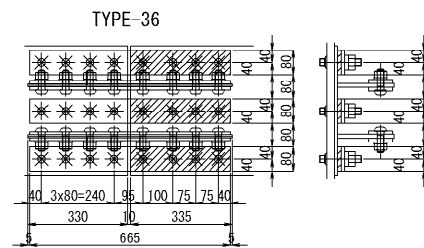
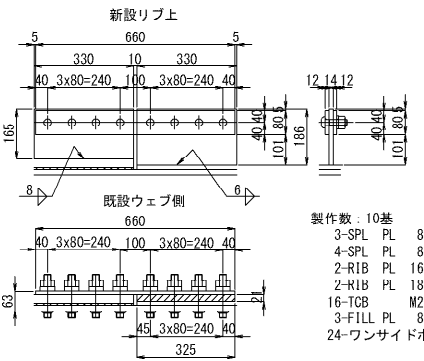
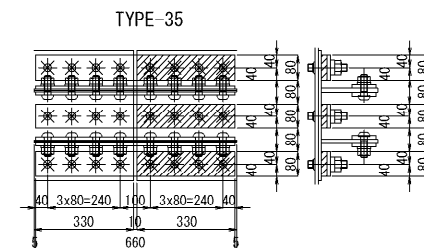
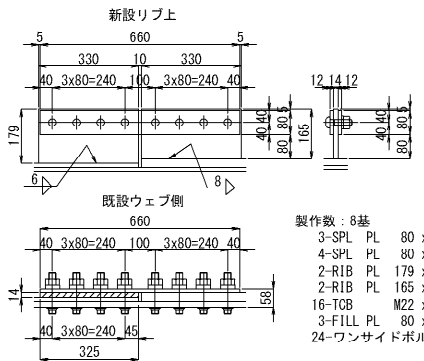
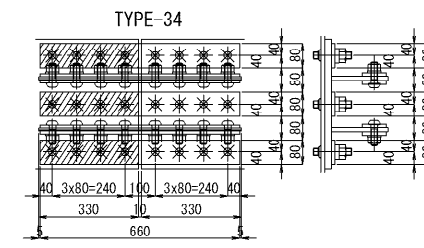
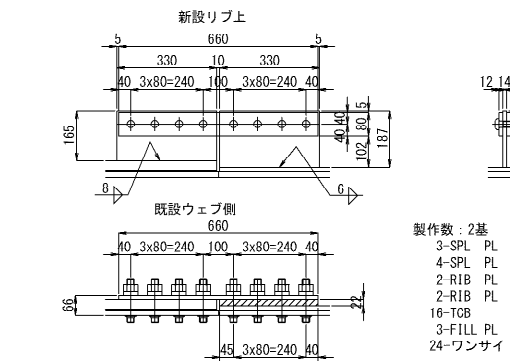
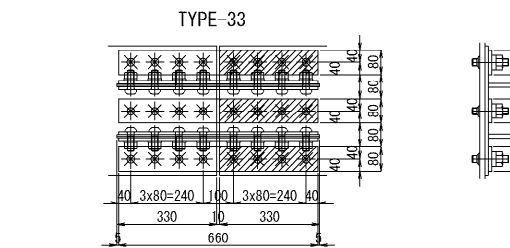
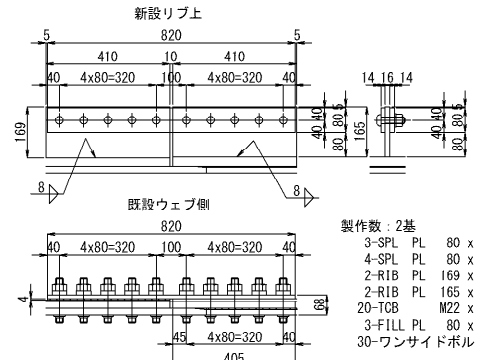
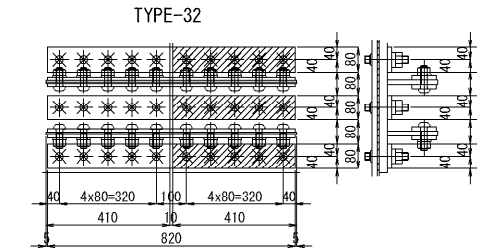
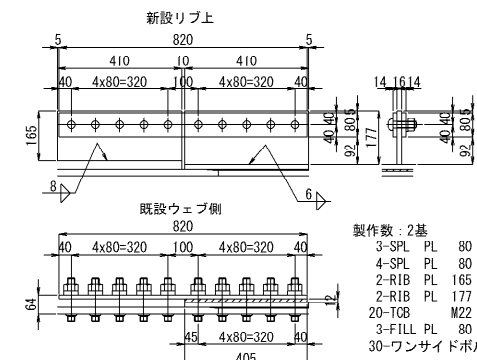
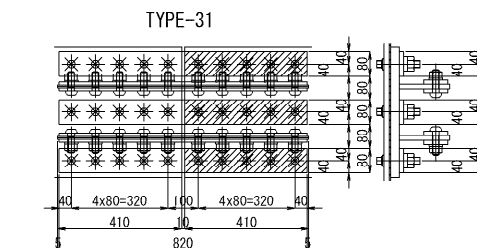
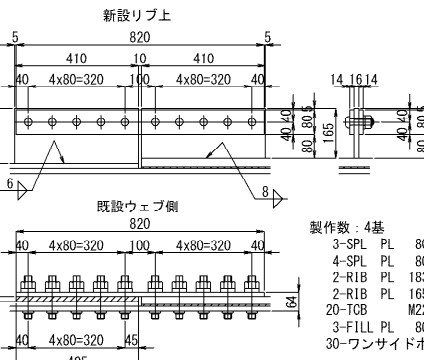
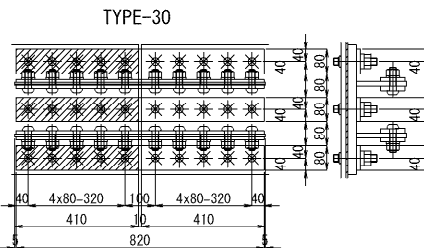
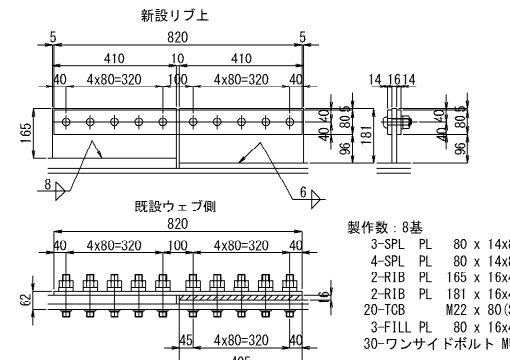
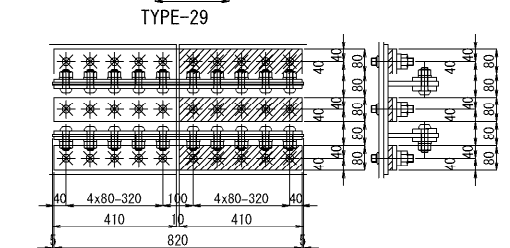
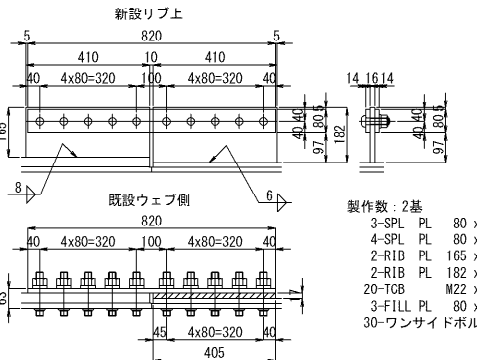
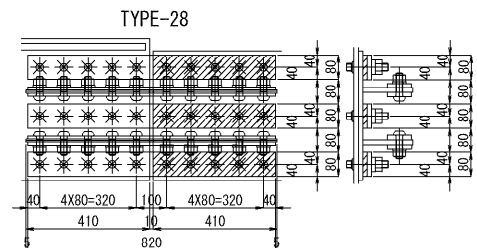
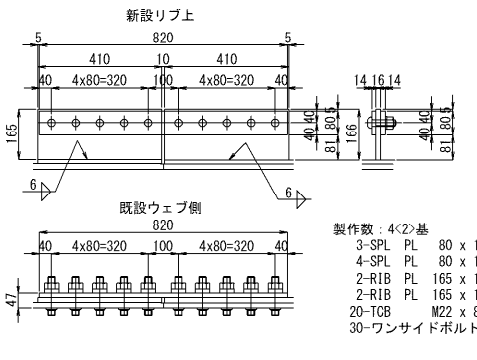
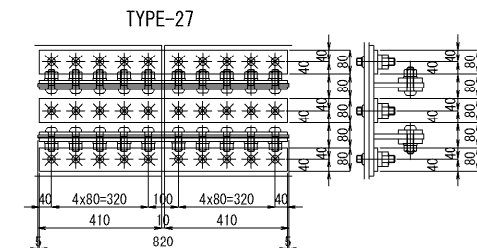
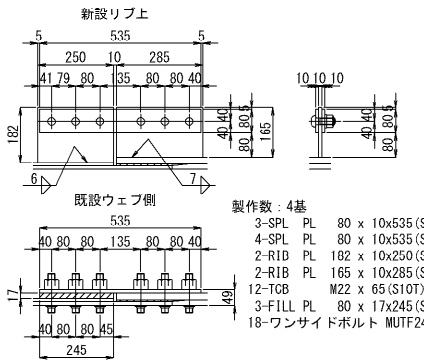
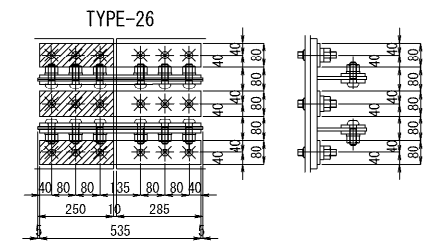
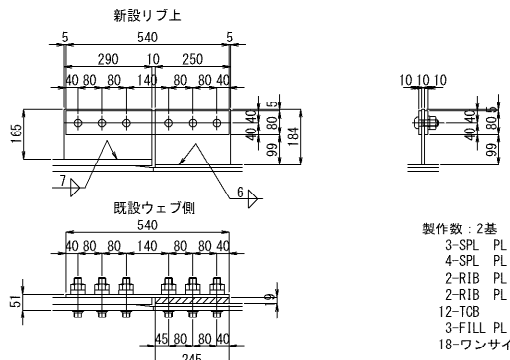
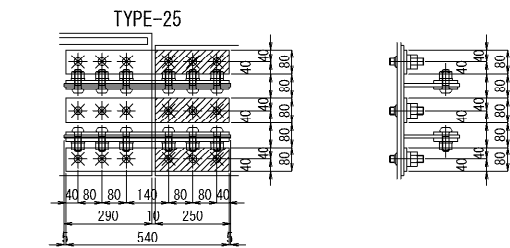


**注記**

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ※印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設の24.5新設の26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設の25.5新設の26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. ※印はフィラーペーストを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

	長野自動車道		
	五常橋床版取替工事		
	滝ノ沢橋(上り線)		
図面の種類	構造物補強工(当て板補強)詳細図(その36)		
縮尺	1:25	図面番号	457/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

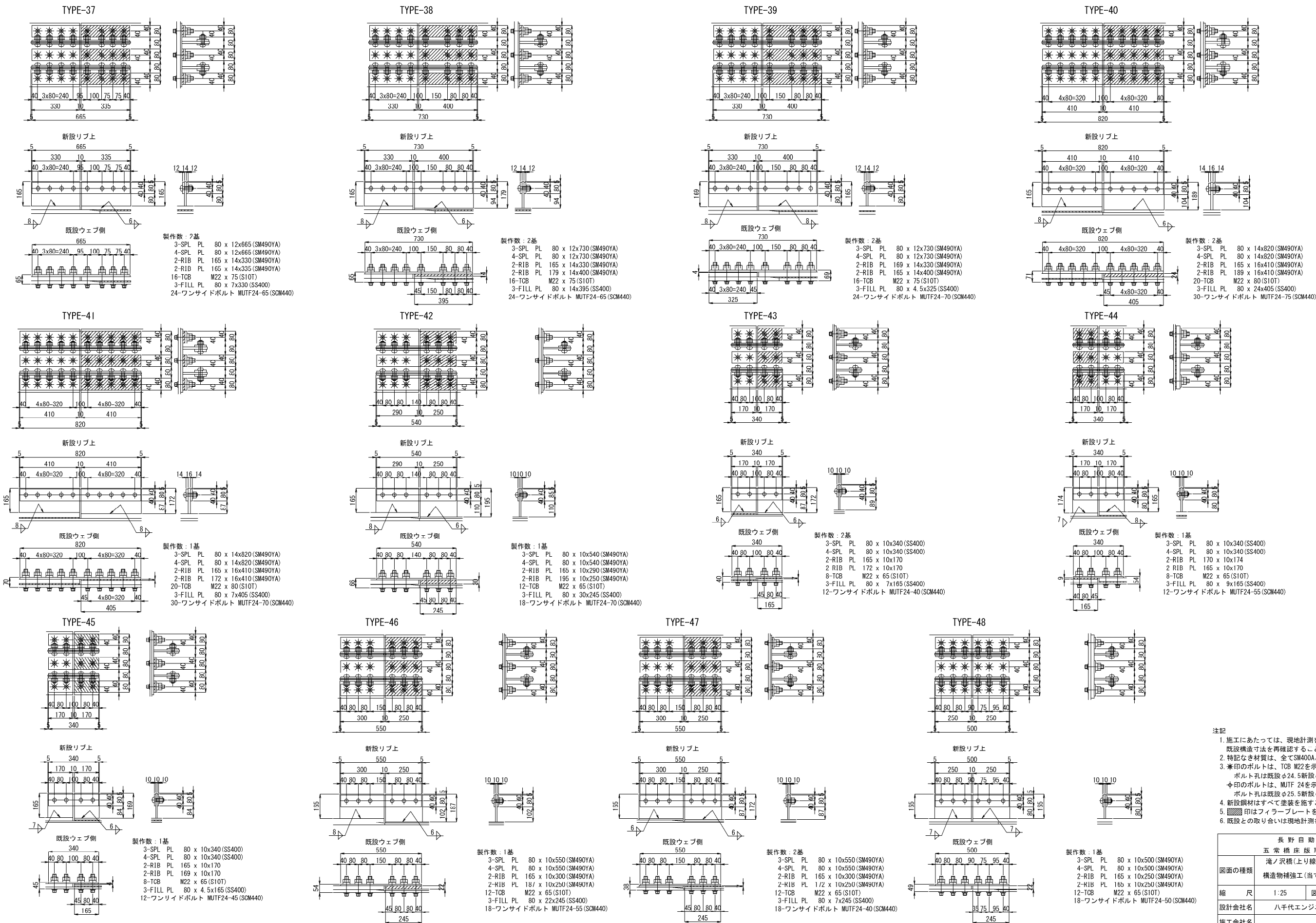
添接部詳細



- 注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. ＊印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
＊印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
  4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
  5. 印はフィラープレートを示す。
  6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その37)
縮 尺	1:25 図面番号 458/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

添接部詳細

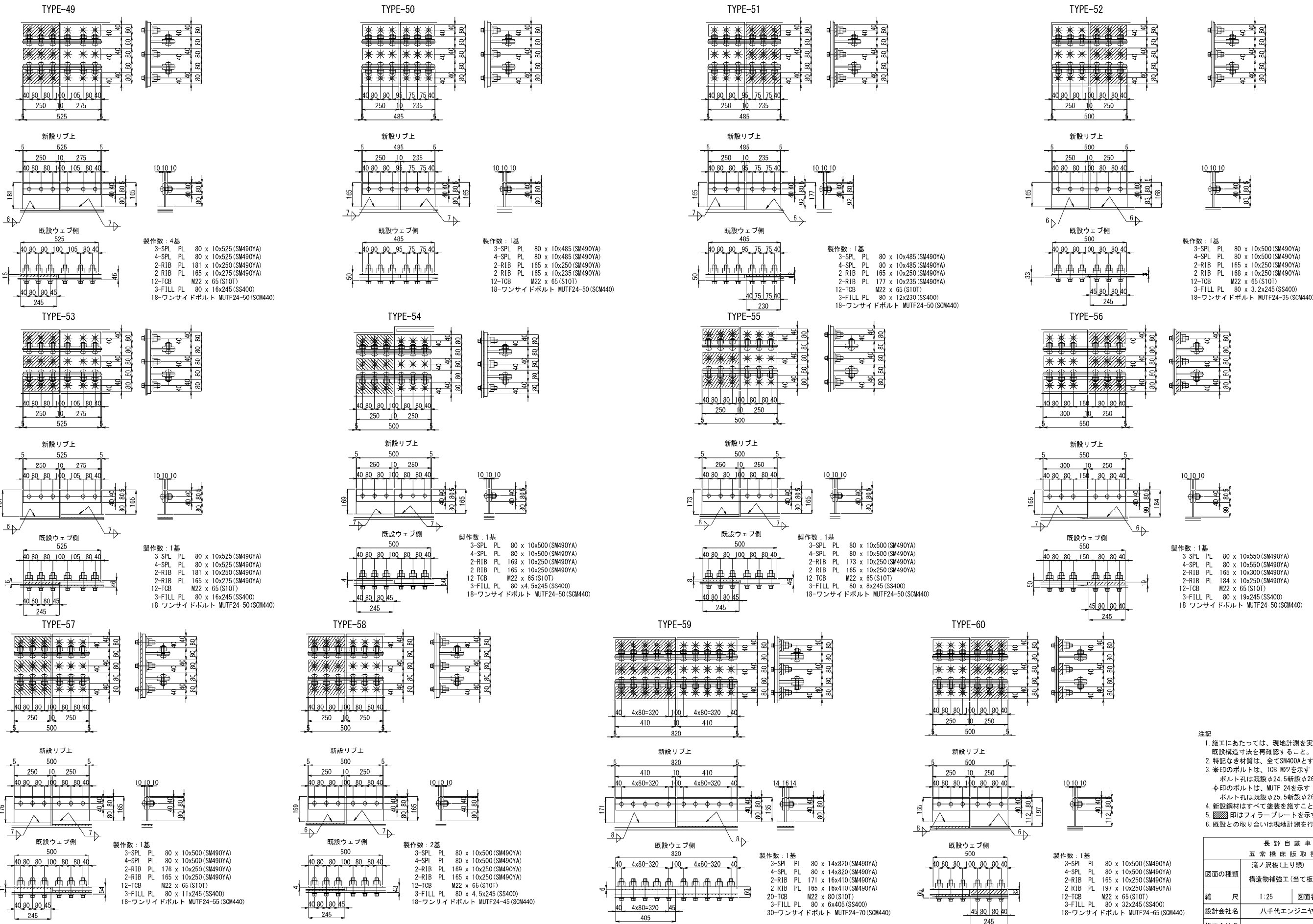


注記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ＊印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
＊印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 斜印はフィラブレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

図面の種類	長野自動車道	
	五常橋床版取替工事	
	滝ノ沢橋(上り線)	
縮尺	1:25	
	図面番号	
	459/529	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社	
	施工会社名	
	東日本高速道路株式会社 関東支社	
事務所名	長野工事事務所	

添接部詳細



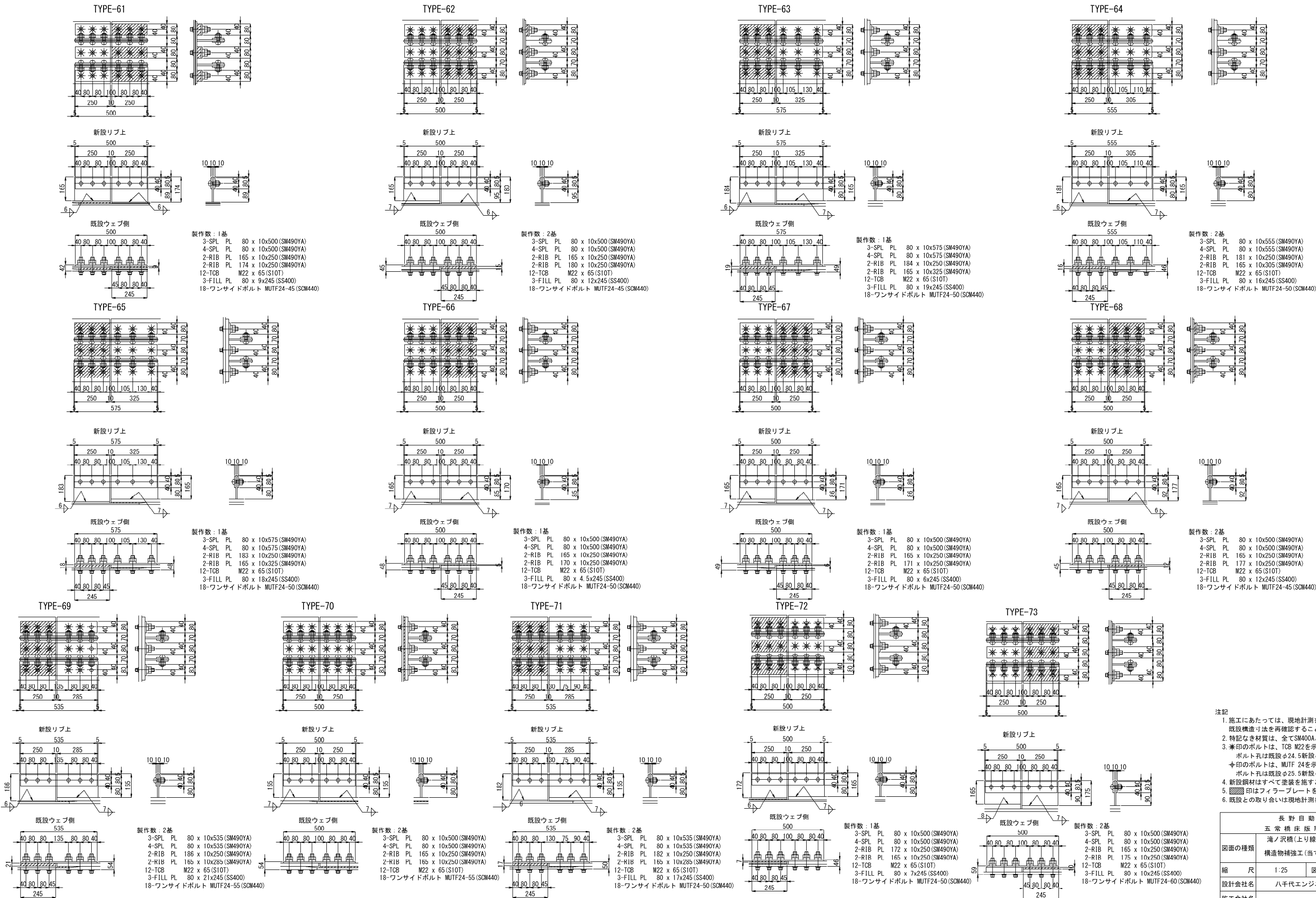
注記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ＊印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
＊印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 斜印はフィラープレートを示す。
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強)詳細図(その39)		
縮 尺	1:25	図面番号	460/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		



添接部詳細



注記

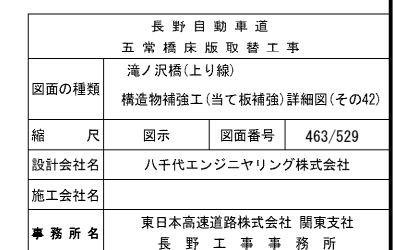
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ※印のボルトは、TCB M22を示す。ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。※印のボルトは、MUTF 24を示す。ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
- 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
- ※印はフィラープレートを示す。
- 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その40)		
縮尺	1:25	図面番号	461/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



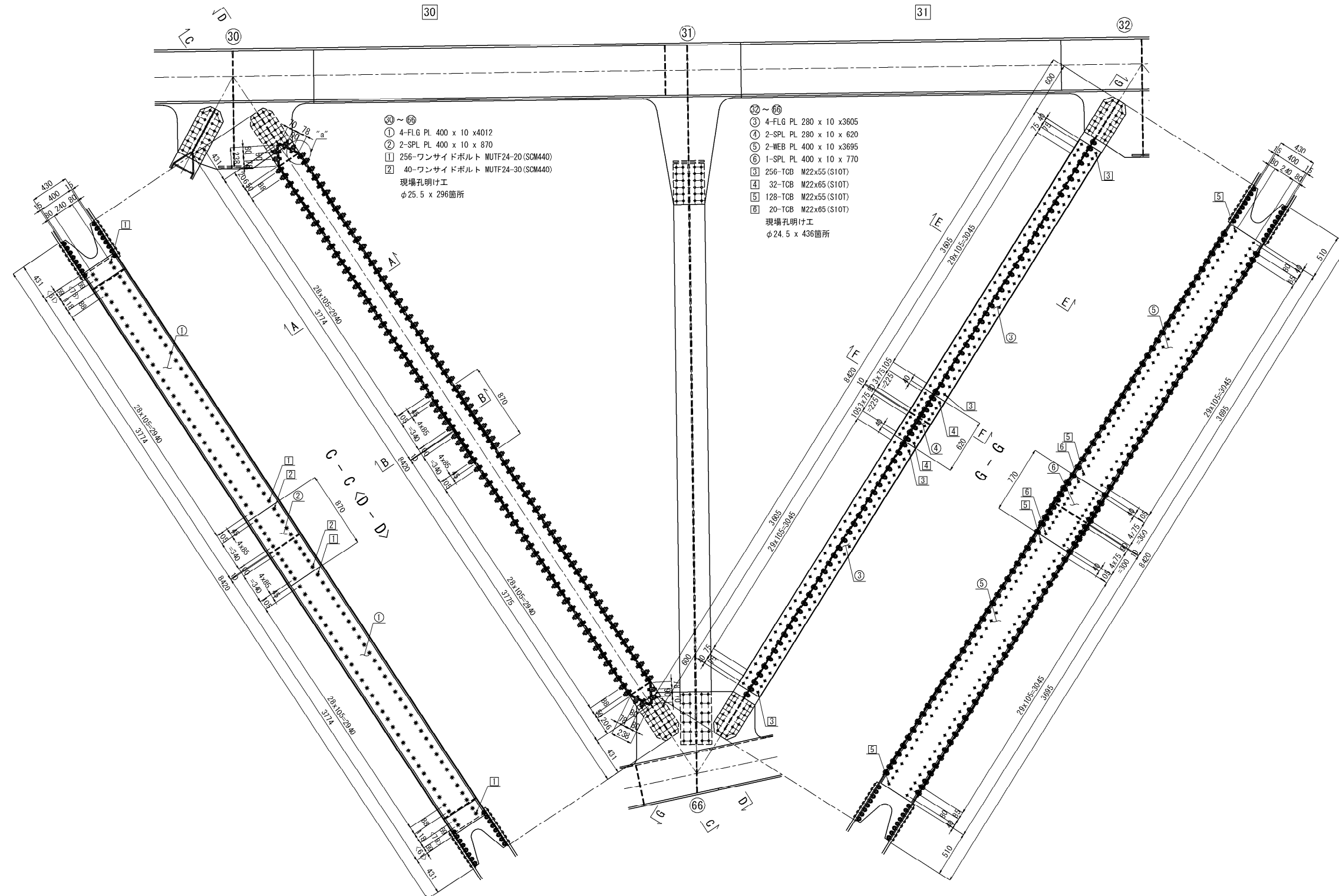


滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 詳細図(その42)

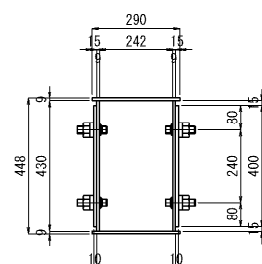


斜材

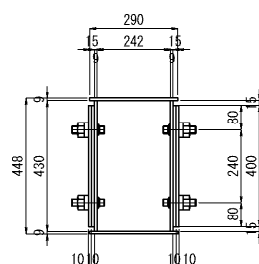
AT1



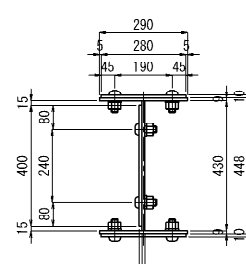
A - A (一般部) S=1:25



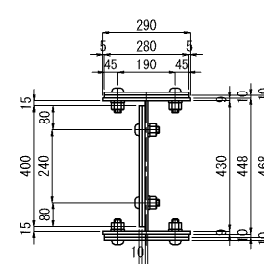
B - B(添接部) S=1:25



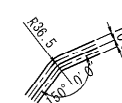
E - E(一般部) S=1:25



F - F(添接部) S=1:25



"a"部詳細 S=1:10



注記

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設橋造寸法を再確認すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. ❷印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする
- ❸印のボルトは、MUF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
5. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

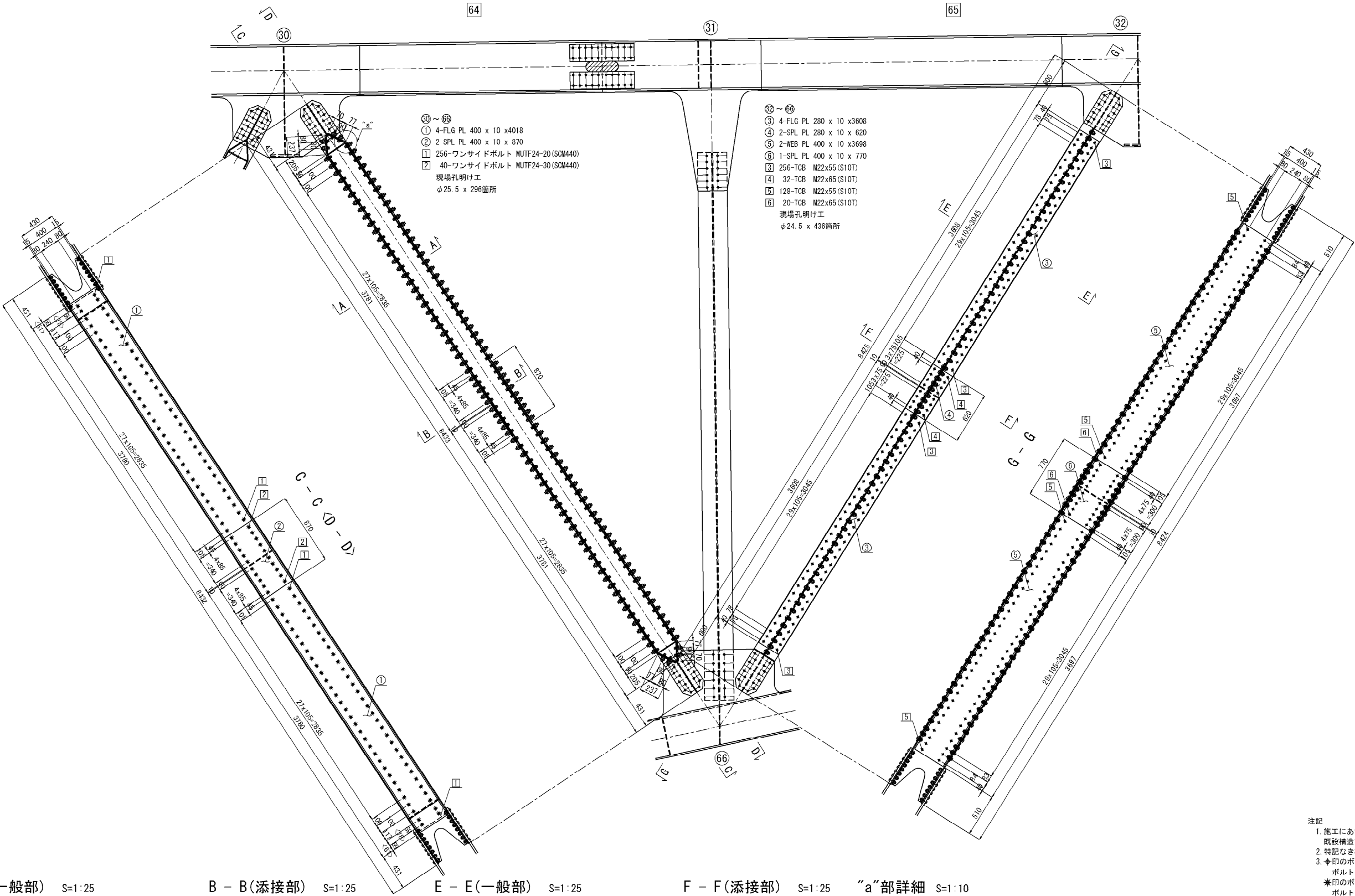
長野自動車道 五常橋仮設取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その43)		
縮 尺	図示	図面番号	464/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



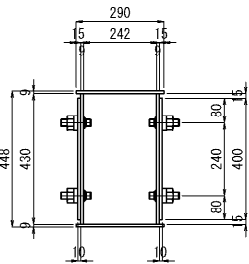




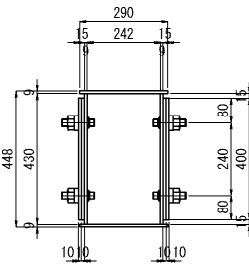
斜材  
A12



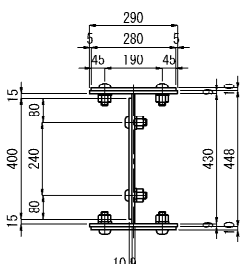
A - A(一般部) S=1:25



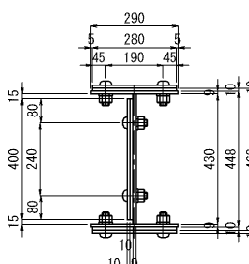
B - B(添接部) S=1:25



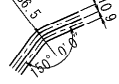
E - E(一般部) S=1:25



F - F(添接部) S=1:25



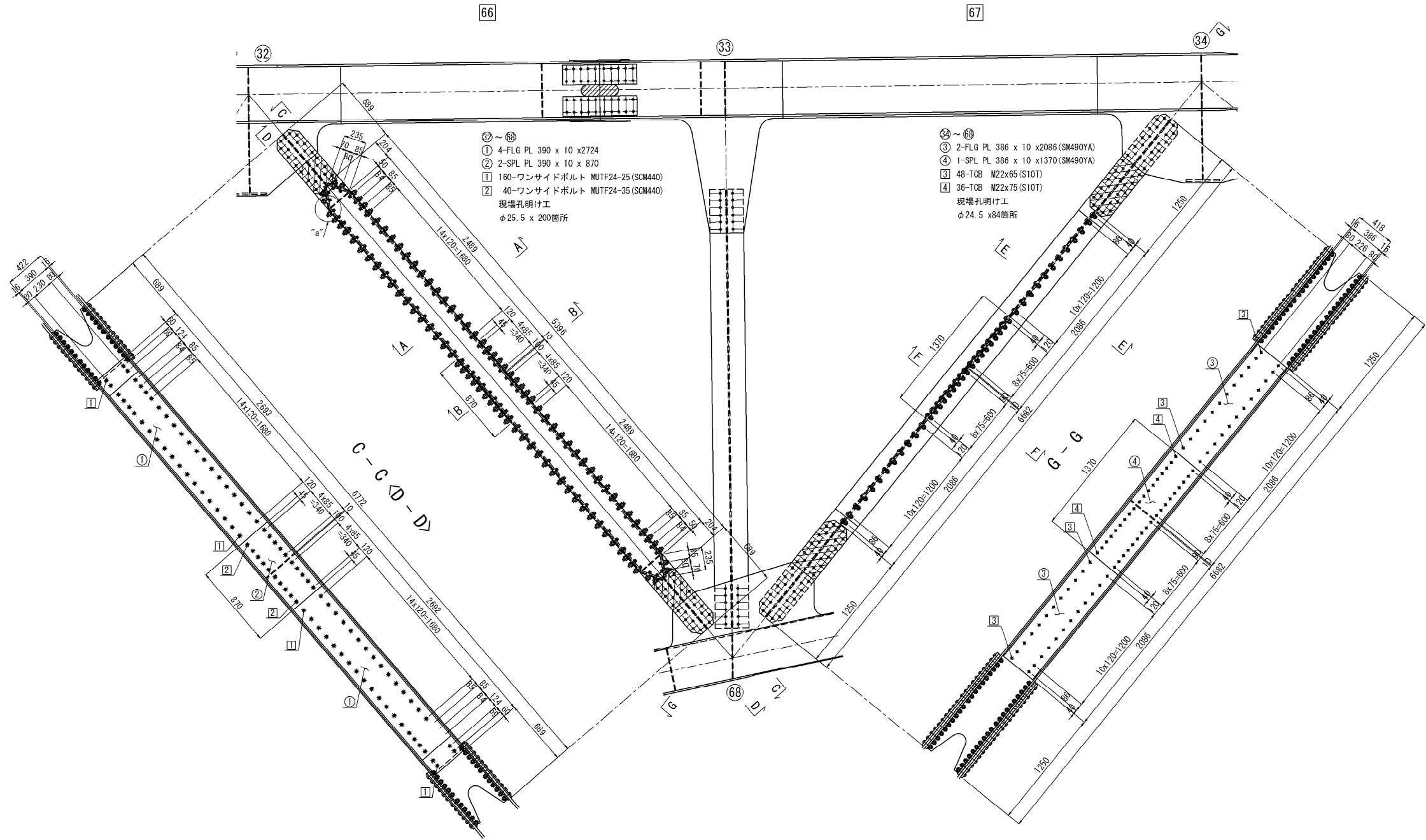
"a"部詳細 S=1:10



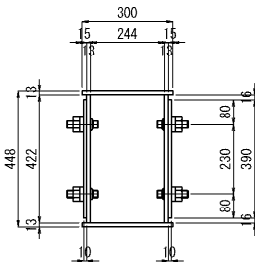
注記  
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して  
既設構造寸法を再確認すること。  
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。  
3. 印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その47)		
縮 尺	図示	図面番号	468/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

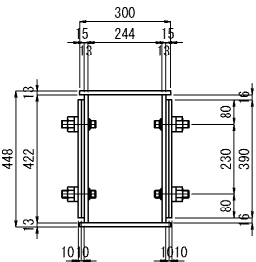
斜材  
A12



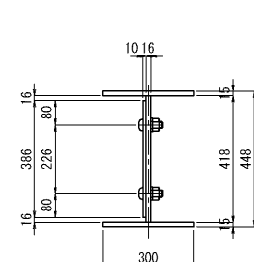
A - A(一般部) S=1:25



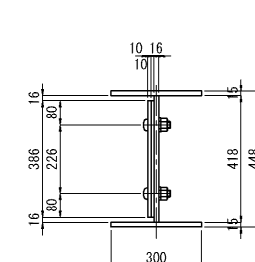
B - B(添接部) S=1:25



E - E(一般部) S=1:25



F - F(添接部) S=1:25



"a"部詳細 S=1:10

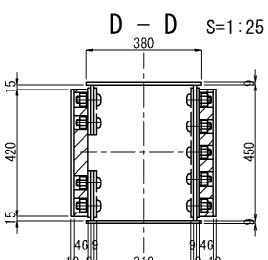
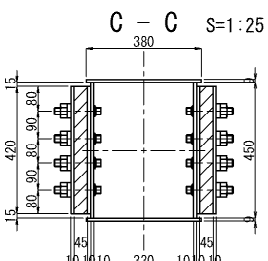
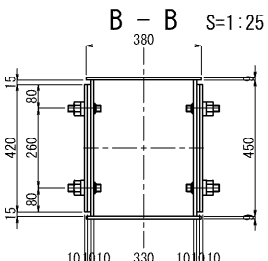
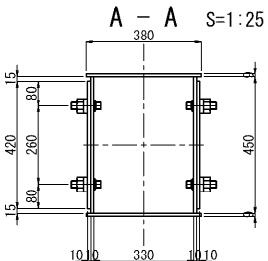
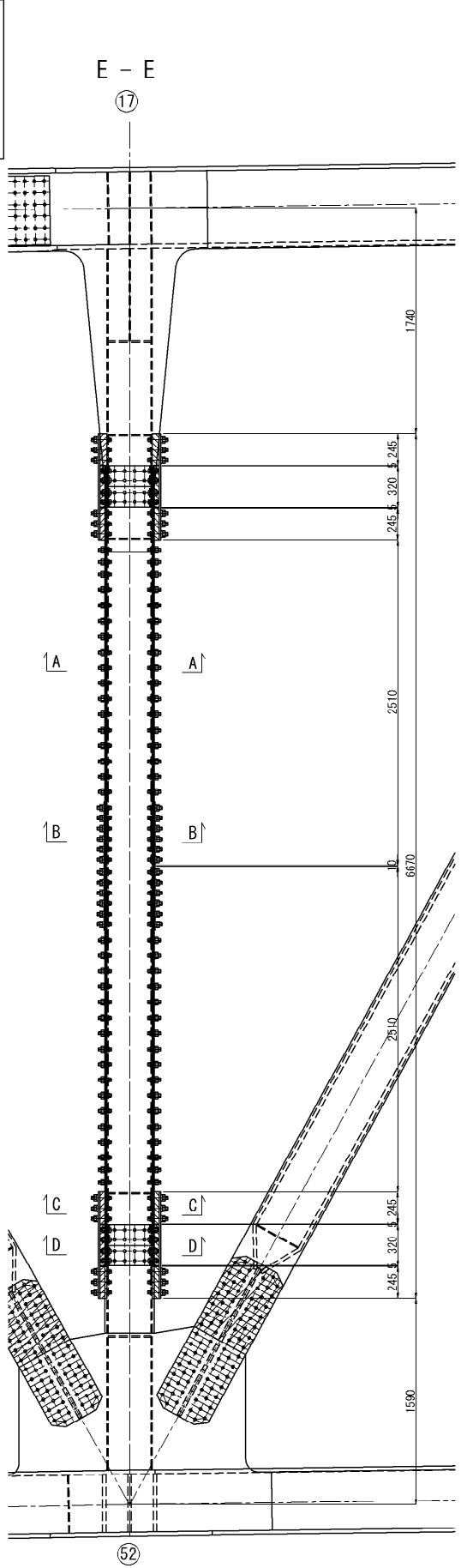
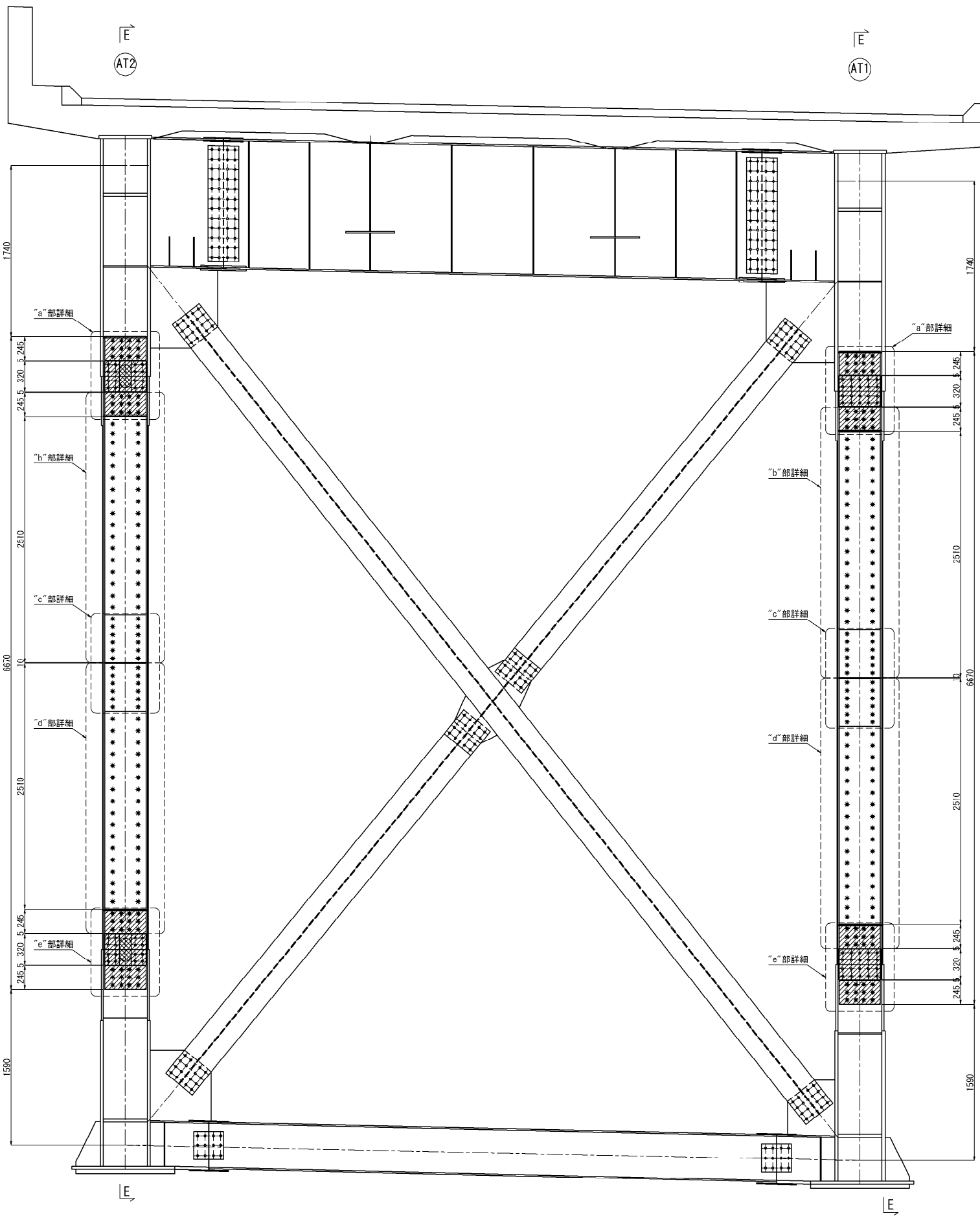


注記  
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して  
既設構造寸法を再確認すること。  
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。  
3. 印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その48)		
縮 尺	図示	図面番号	469/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



鉛直材  
AT1、AT2



注記  
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して  
既設構造寸法を再確認すること。  
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。  
3. 印のボルトは、TCB M22を示す  
ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
\*印のボルトは、MUTF 24を示す  
ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。  
4. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。  
5. 印はフィラープレートを示す。  
6. 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

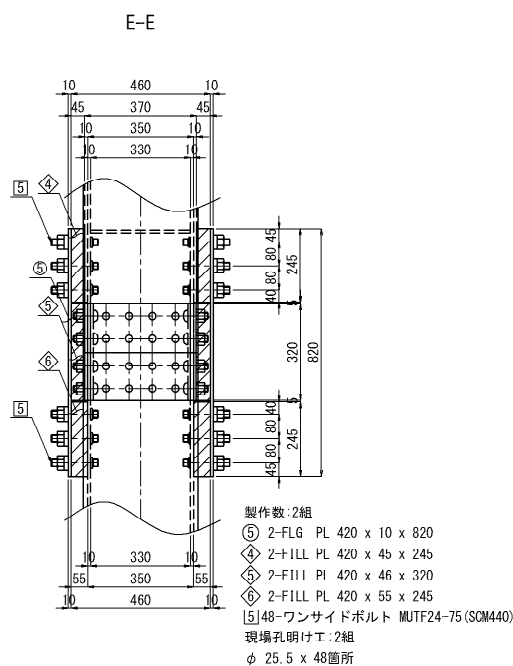
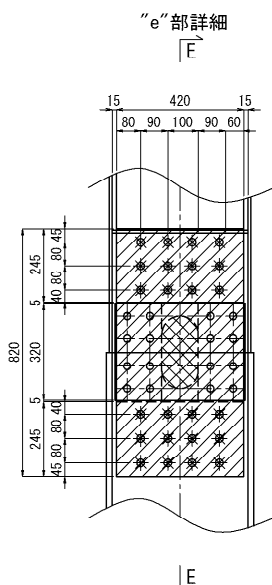
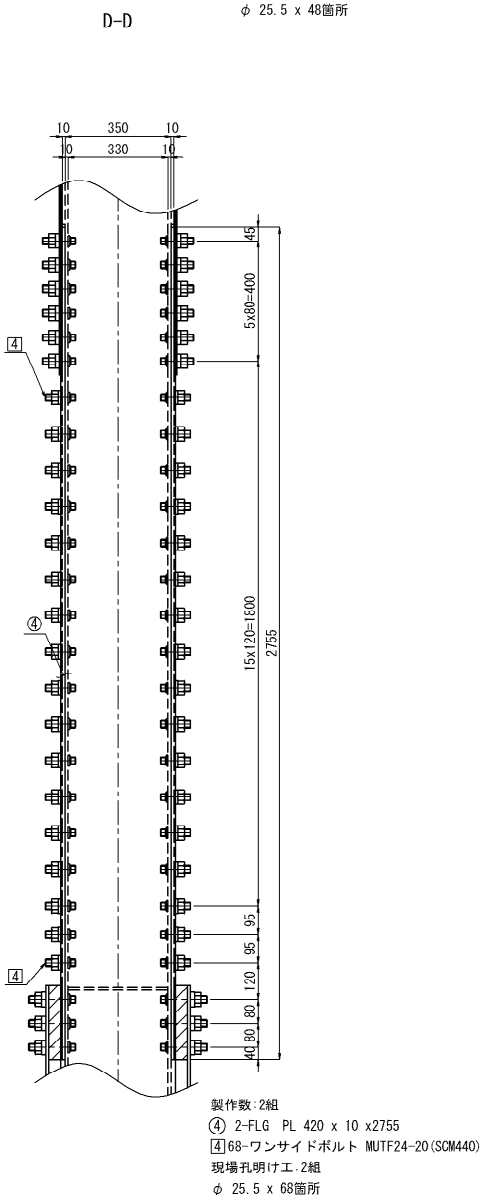
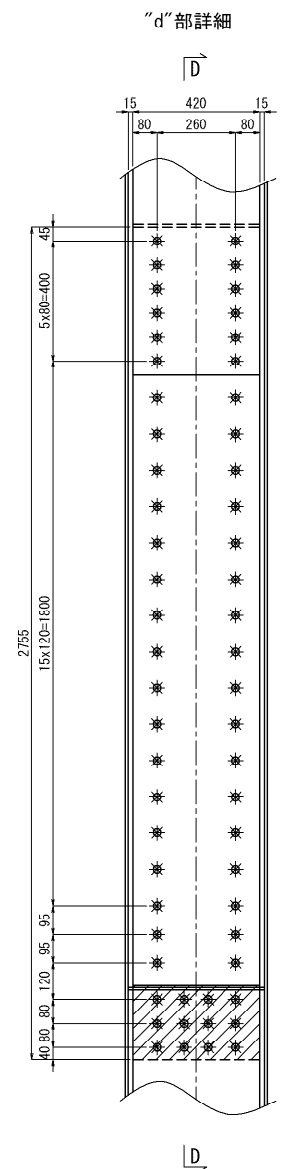
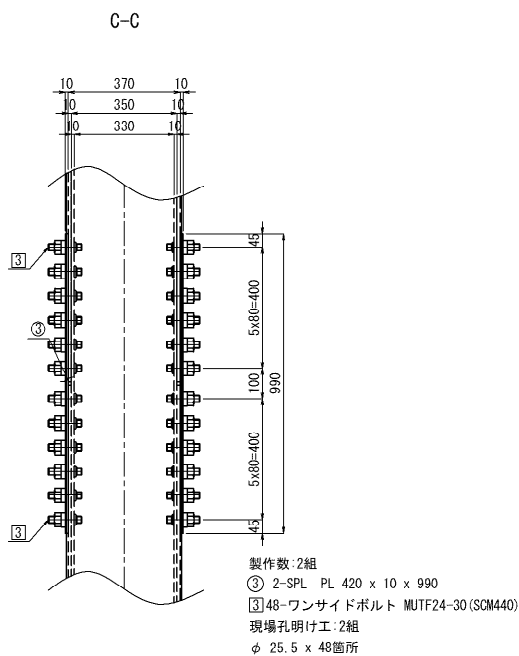
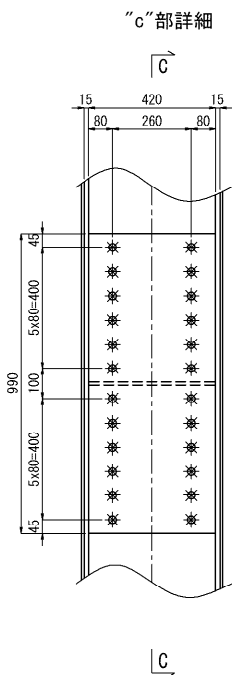
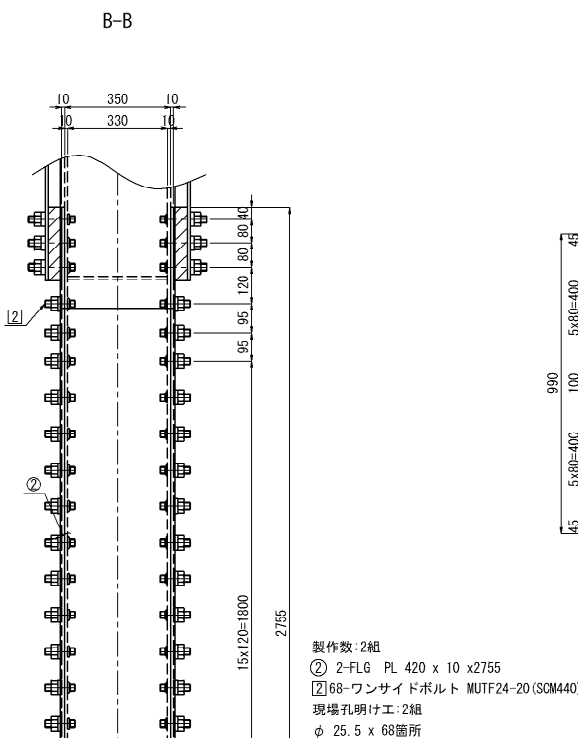
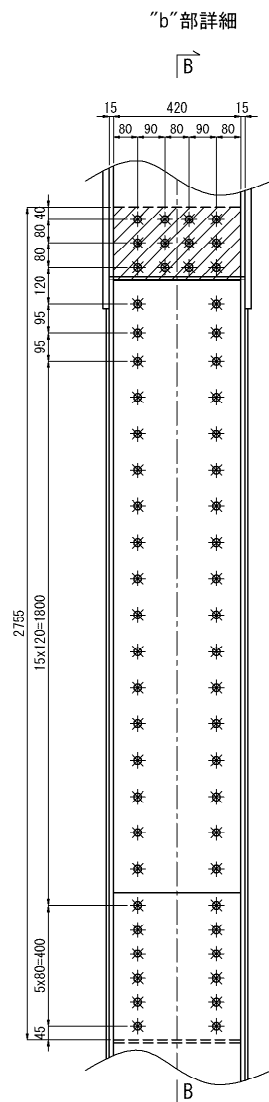
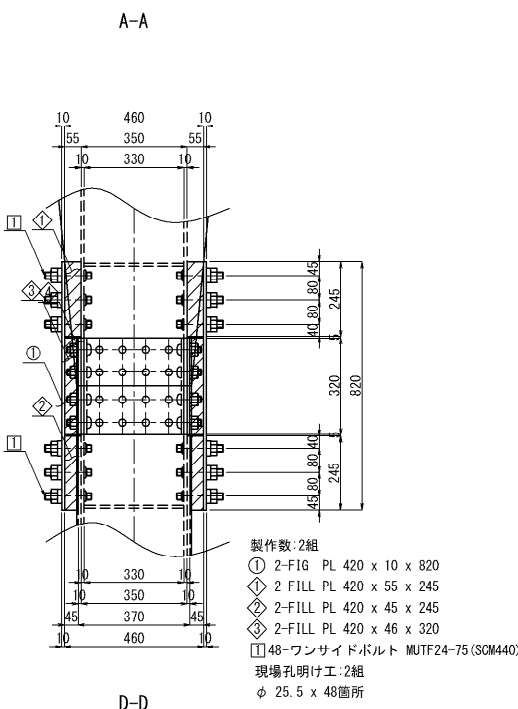
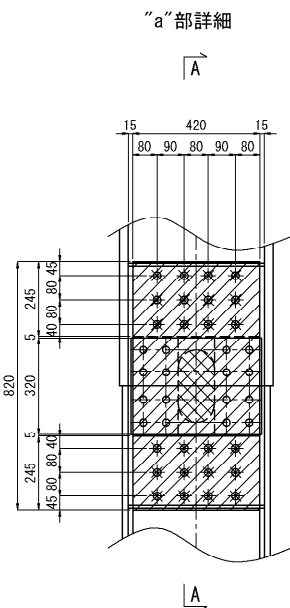
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強)詳細図(その49)		
縮 尺	図示	図面番号	470/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その50)

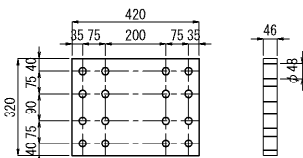
S=1:25

471/529

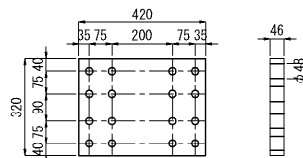
鉛直材  
AT1・AT2



FILL PL ③ 詳細



FILL PL ⑥ 詳細



- 注記
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  - 特記なき材質は、全てSS400とする。
  - 印のボルトは、TCB M22を示す。ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。
  - 印のボルトは、MUTF 24を示す。ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
  - 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。
  - 斜線印はフィラープレートを示す。
  - 既設との取り合いは現地計測を行い、調整すること。

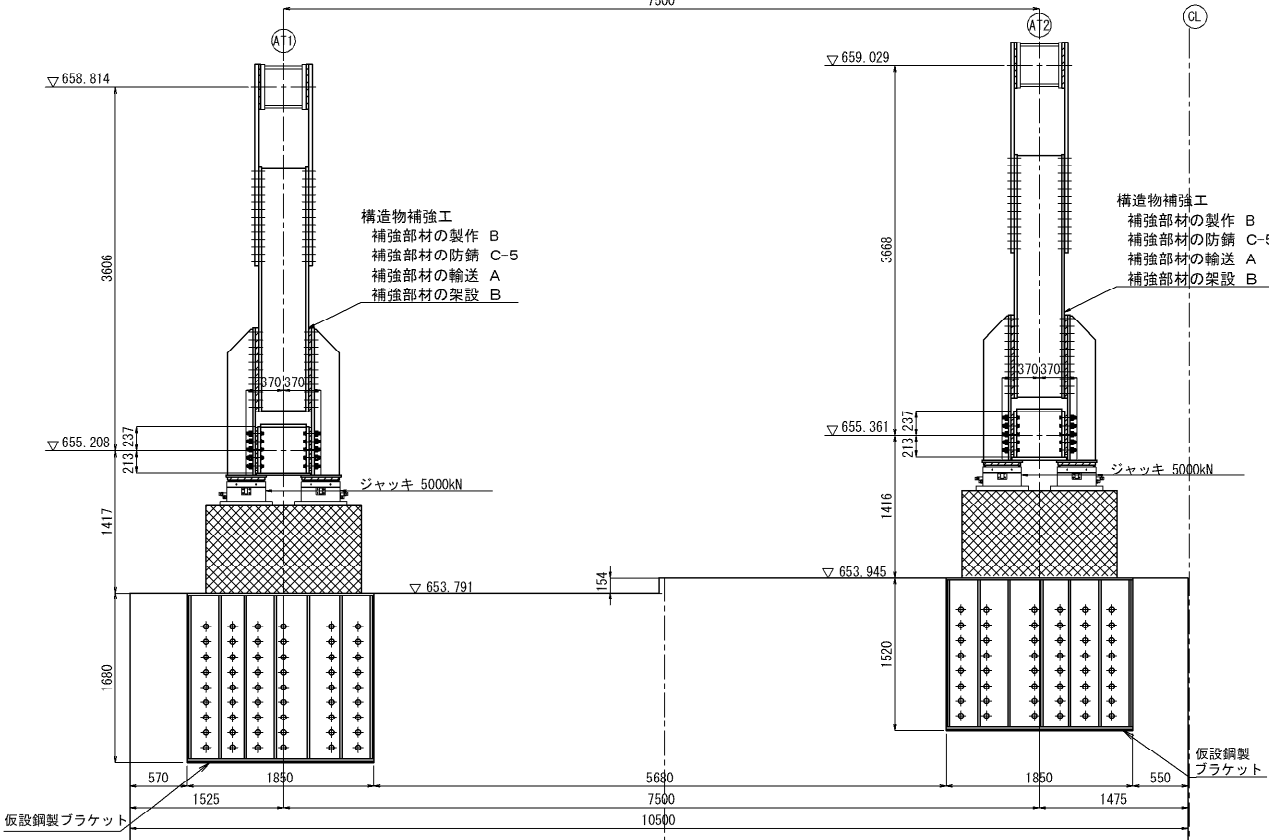
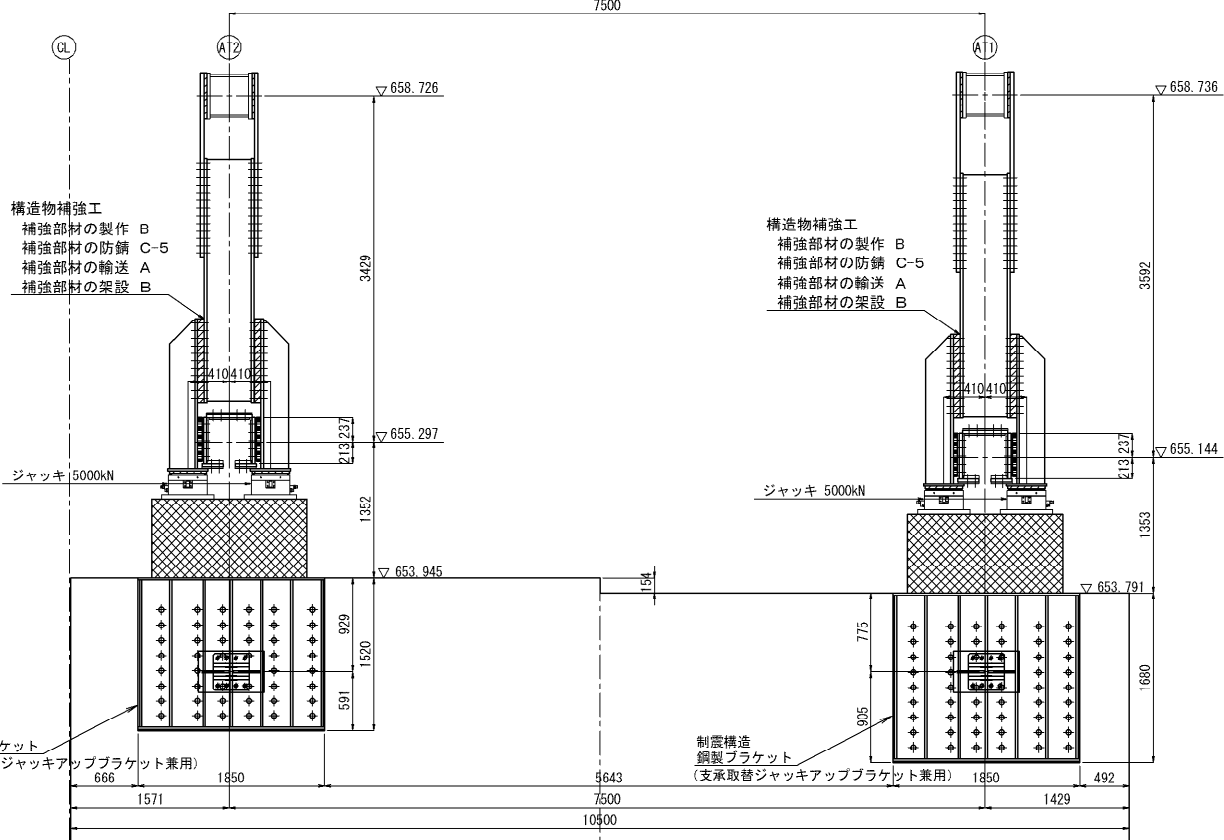
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)詳細図(その50)		
	縮尺	図示	図面番号 471/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)配置図

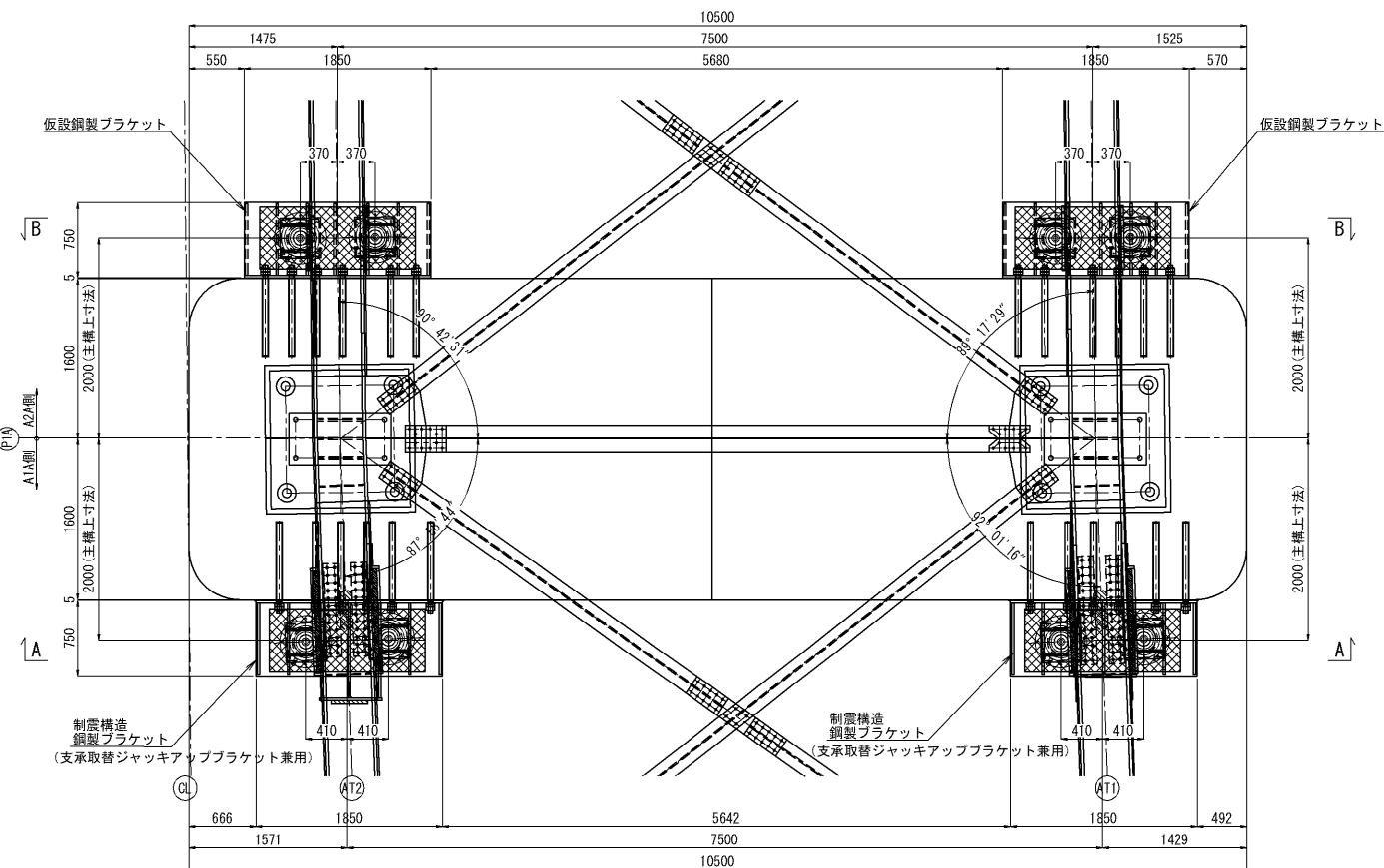
S=1:75

正面図 (A1側)  
(A - A)

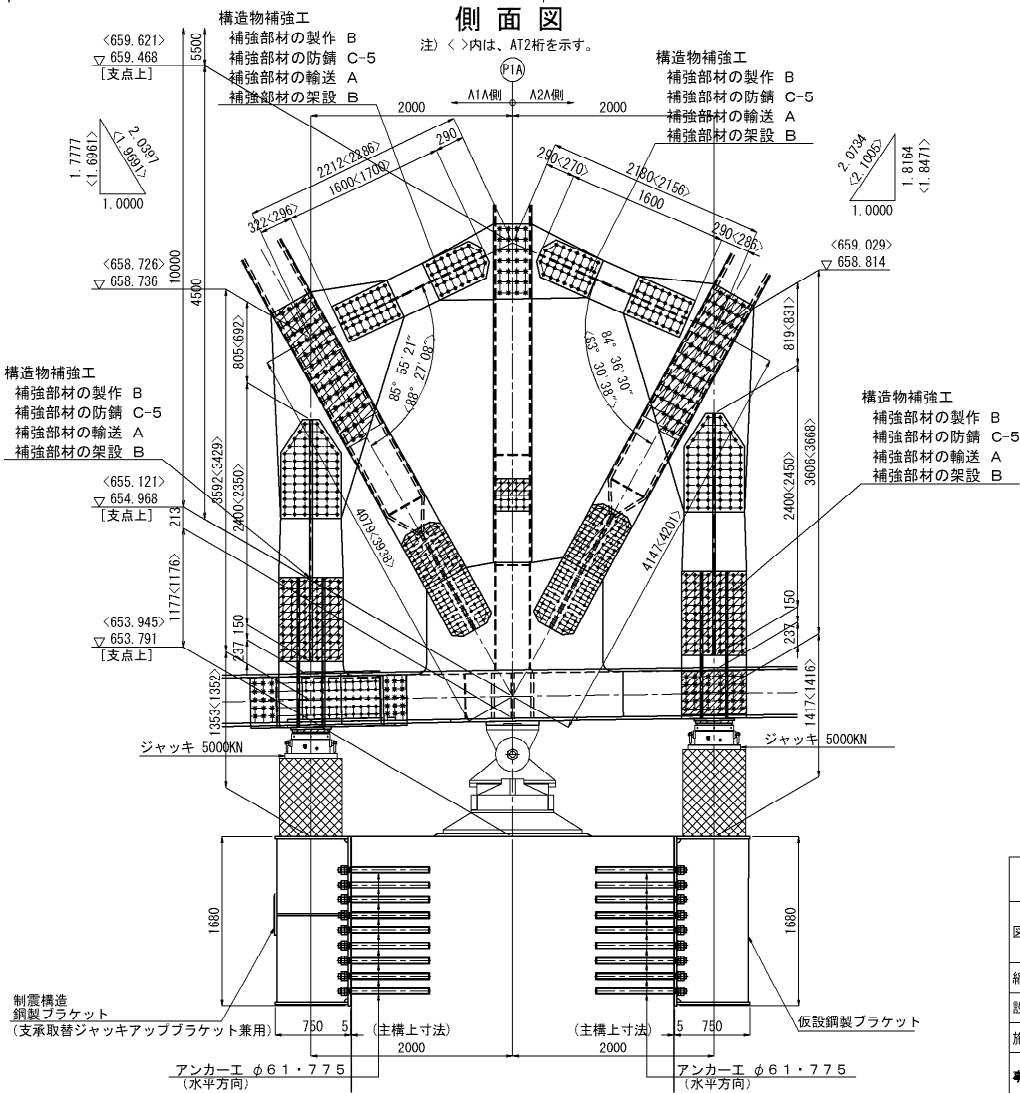
正面図 (A2側)  
(B - B)



平面図



側面図



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)配置図		
縮尺	1:75	図面番号	472/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

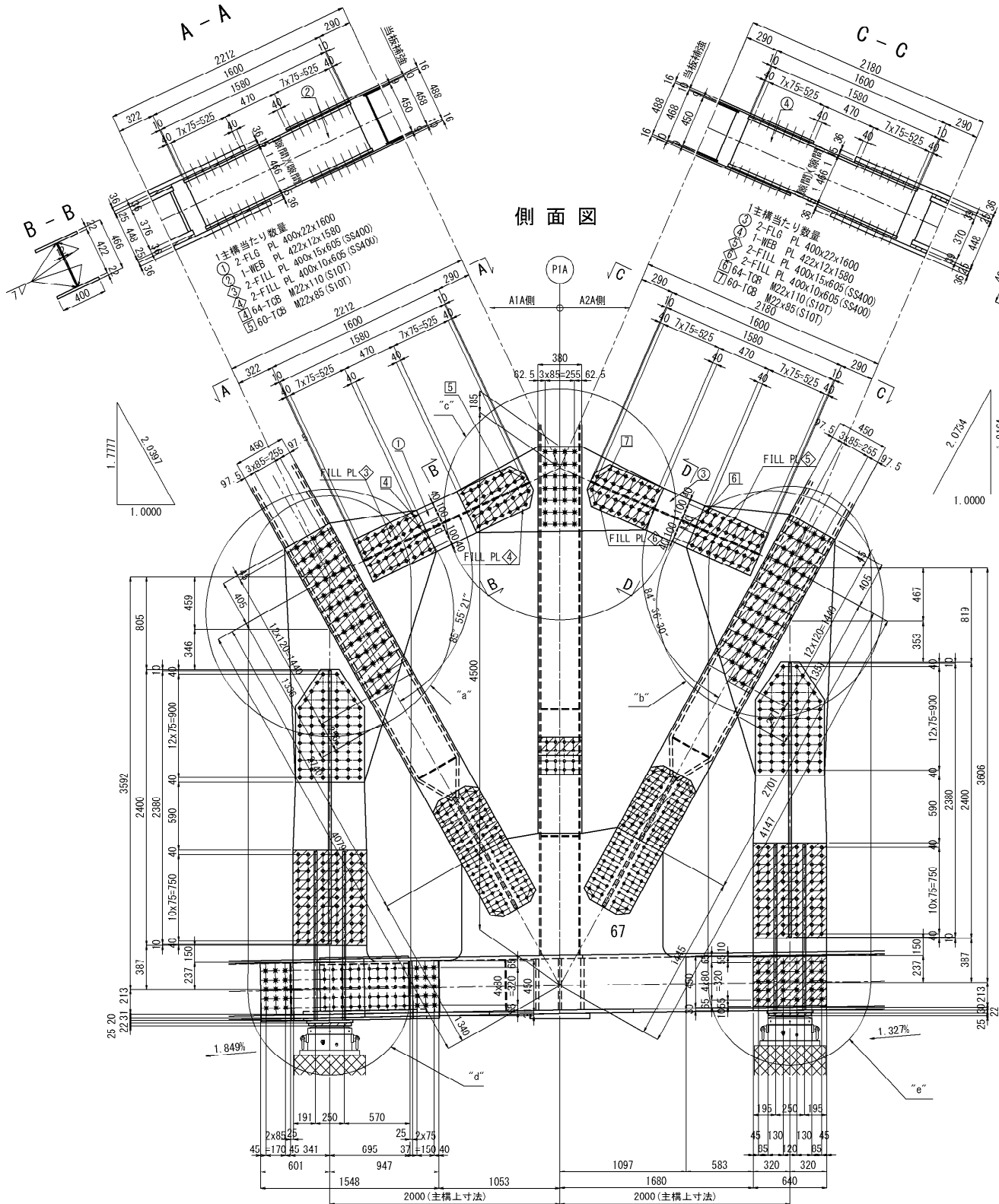
滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)詳細図(その1)

S=1:50

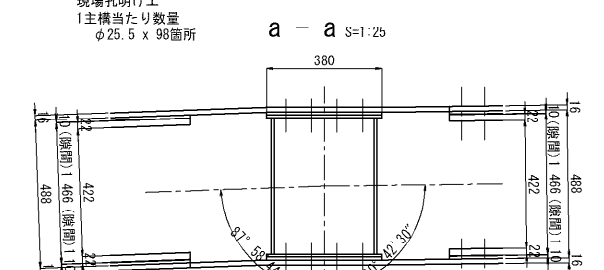
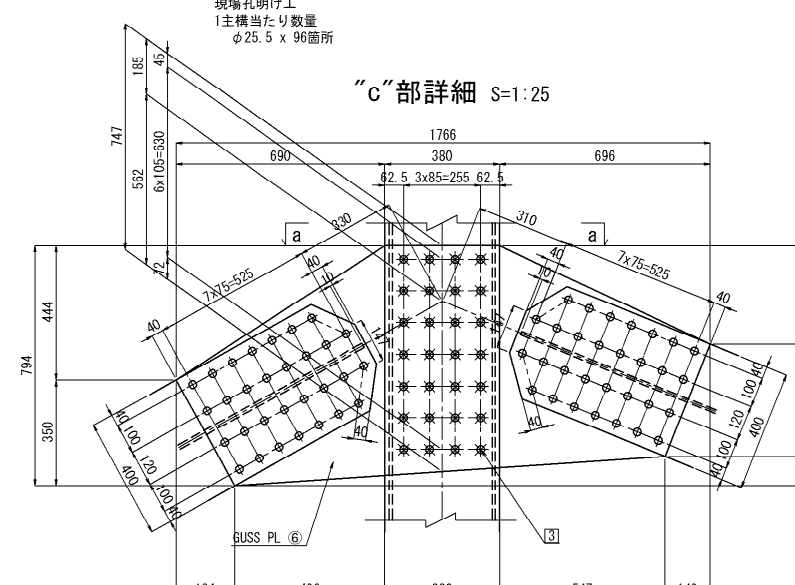
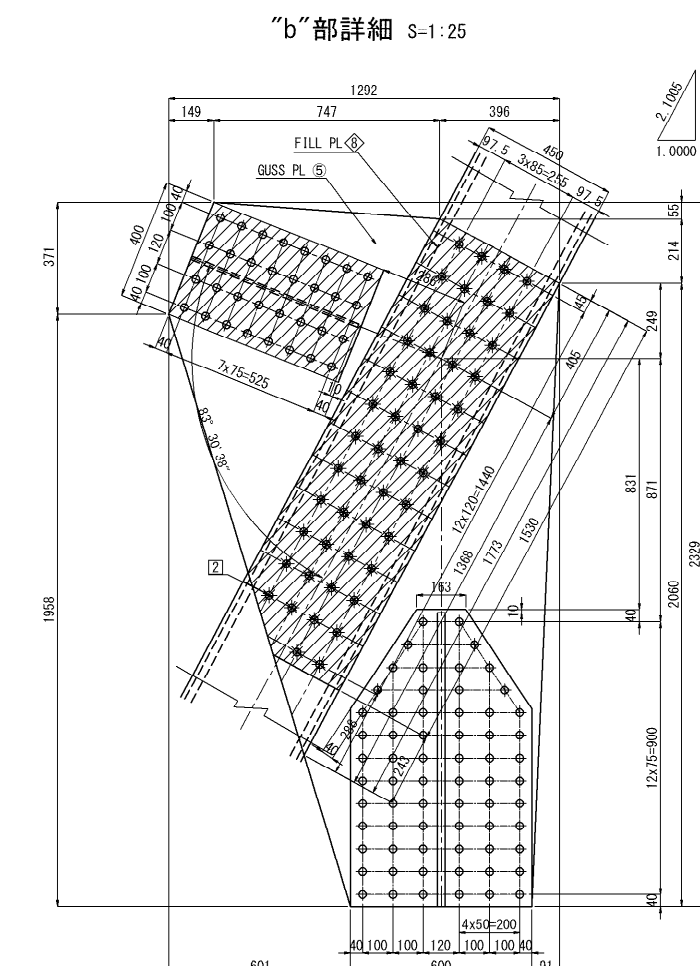
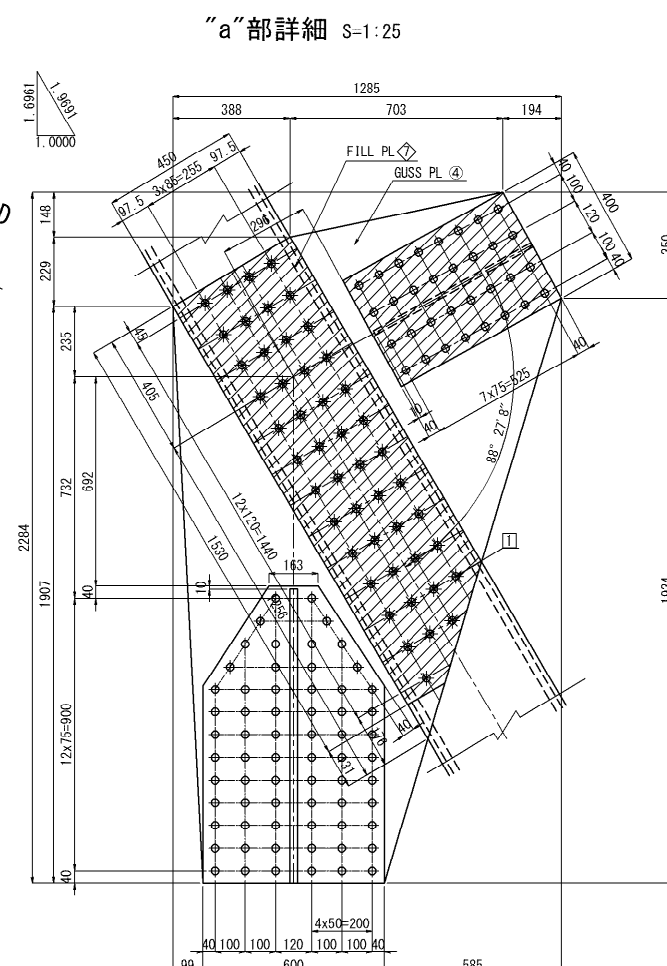
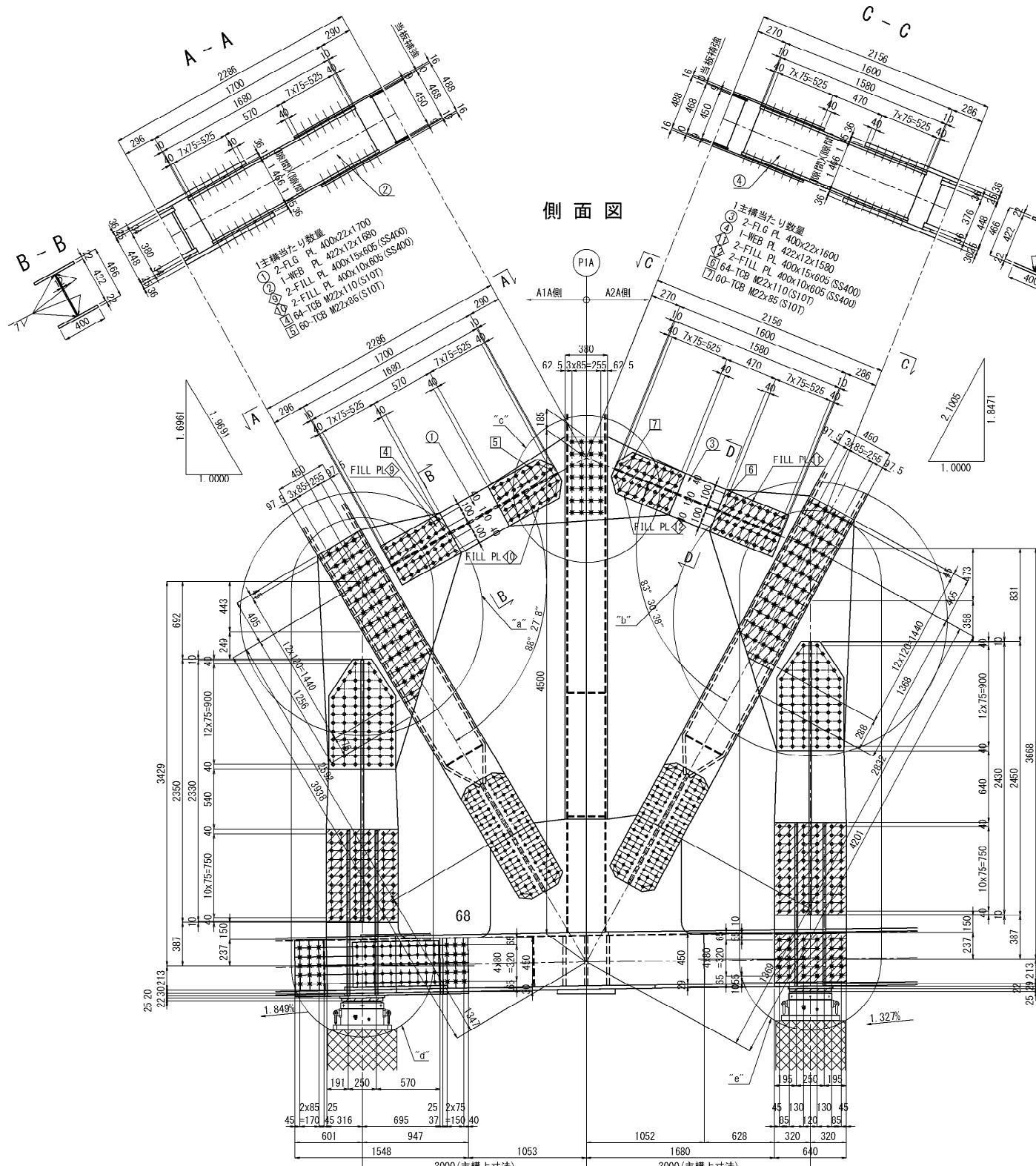
AT1桁

"a"部詳細 S=1:25

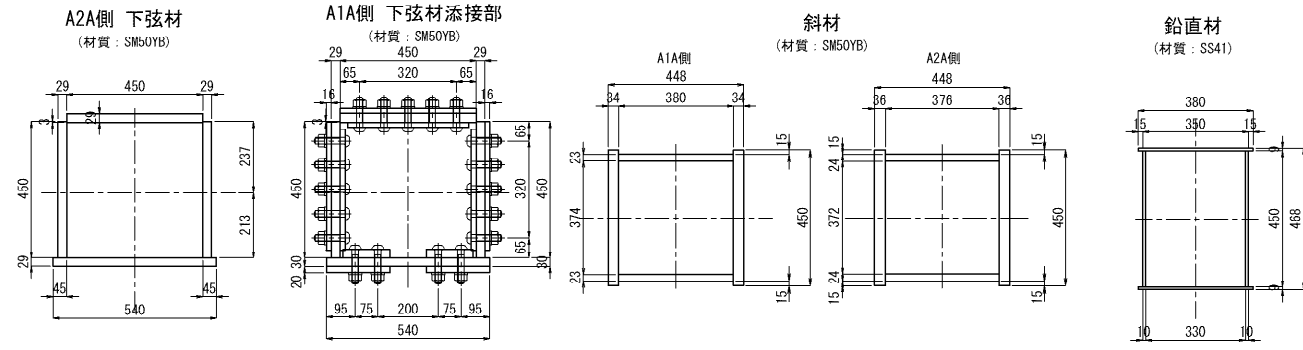
"b"部詳細 S=1:25



AT2桁

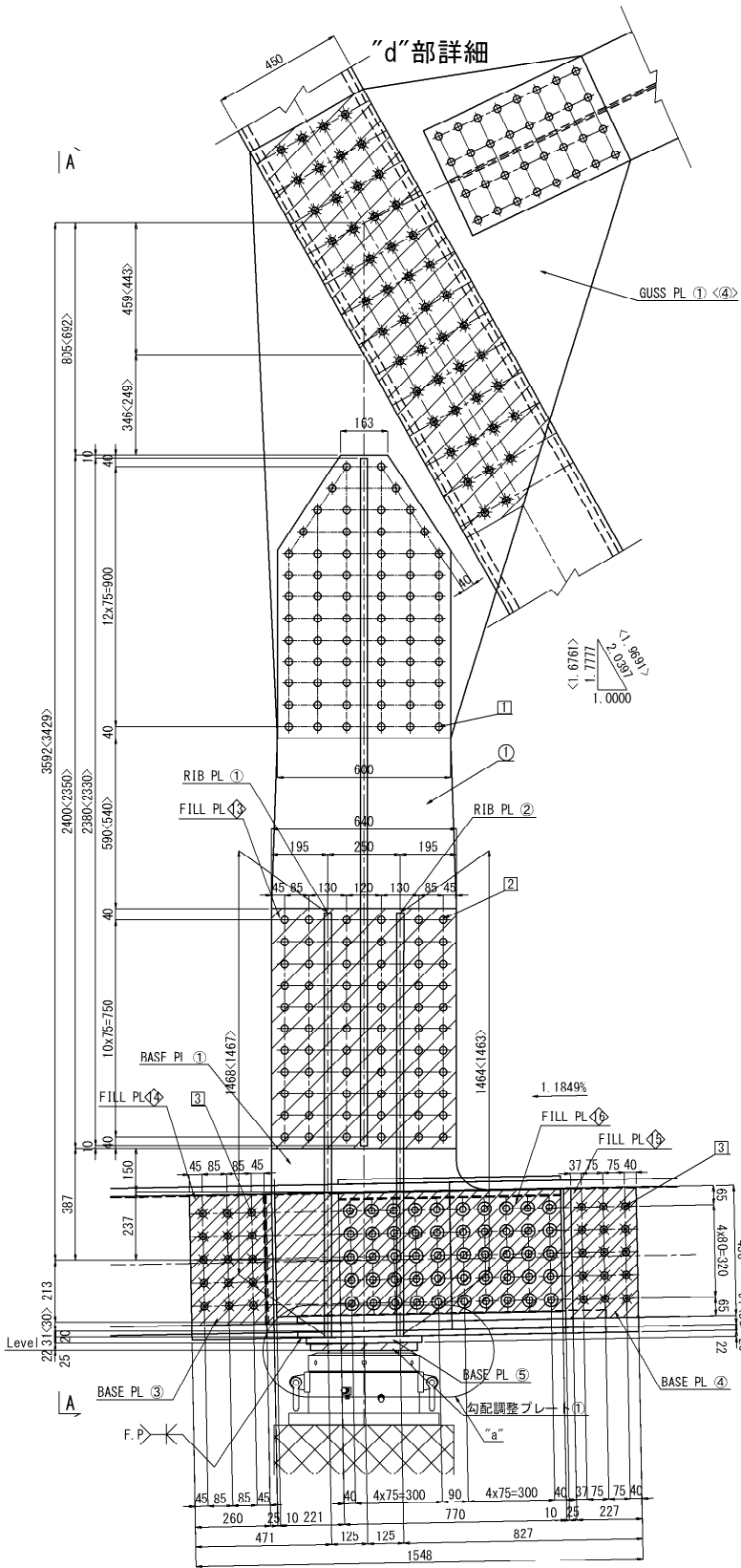


既設部材断面図 S=1:25



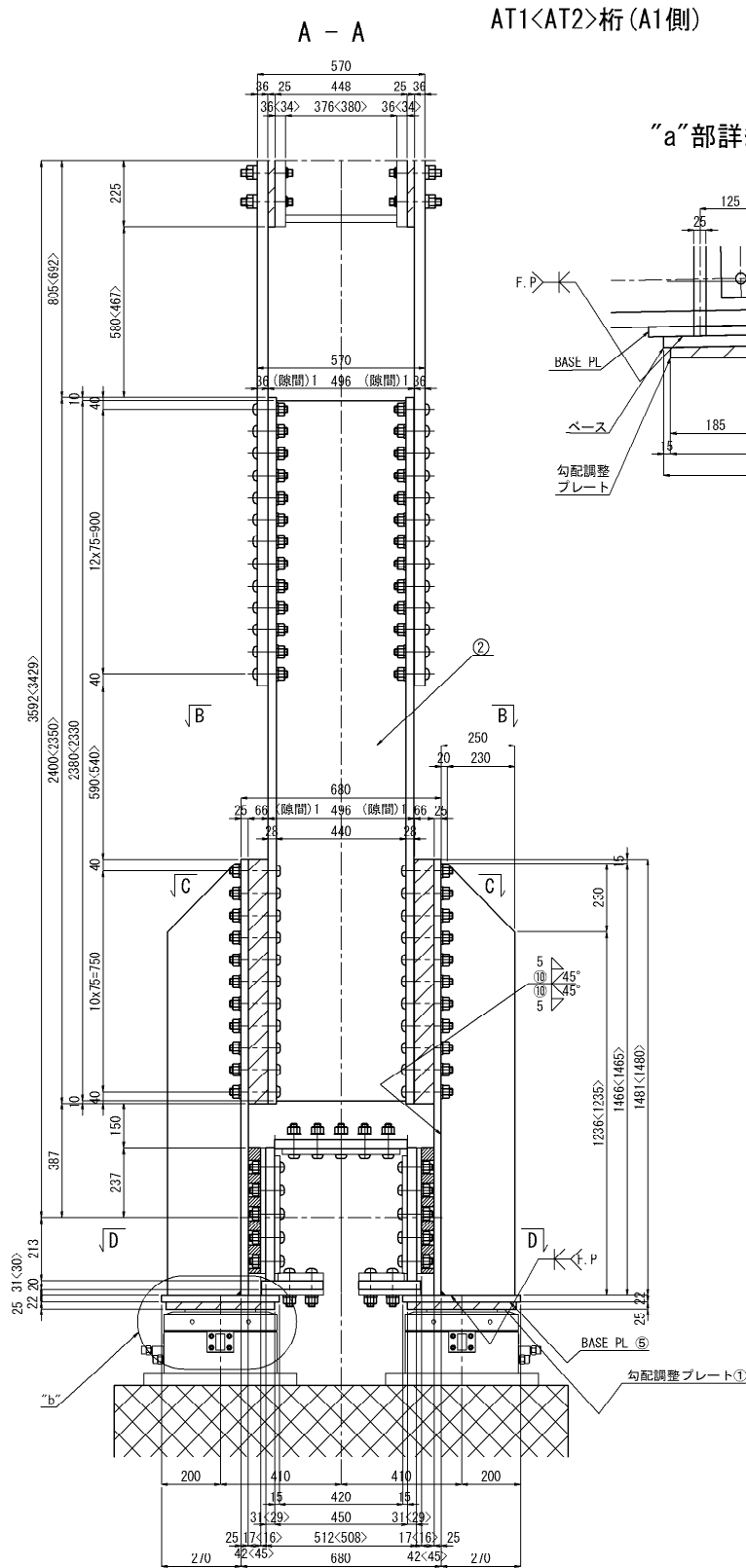
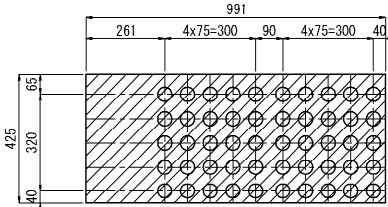
- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. ④印はTGB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
④印はMUTF 24 (高力ワンサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
  6. ⑦印はフィラプレートを示す。
  7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	474/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

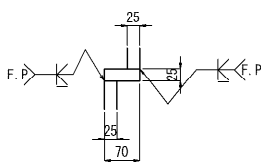


FILL PL 16 詳細

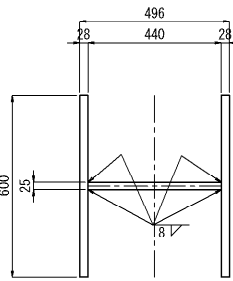
t=42<45>mm



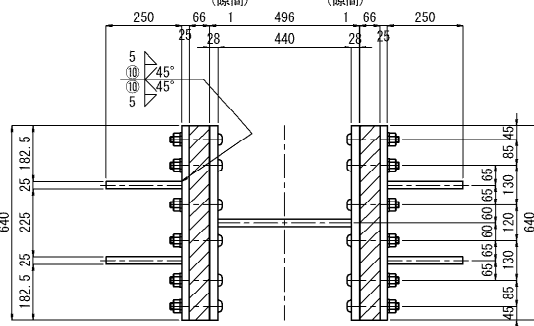
"e"部詳細 S=1:15



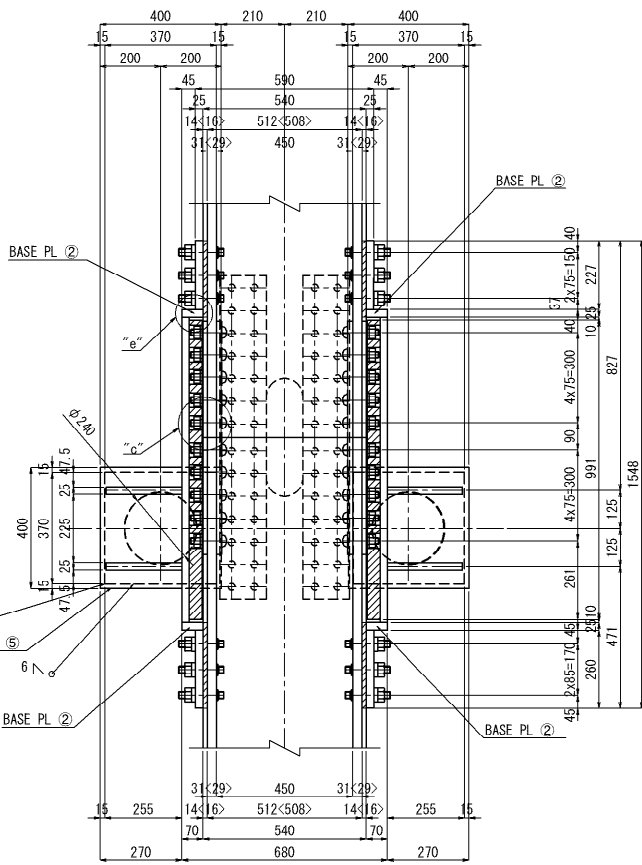
B - B



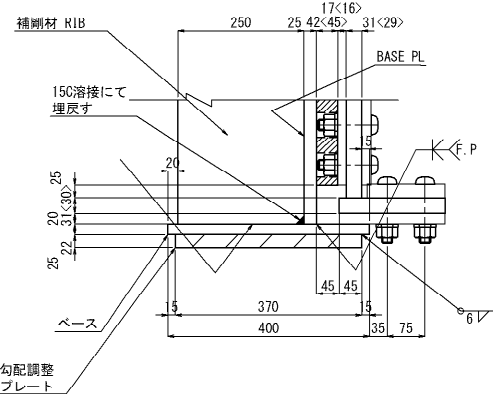
C - C



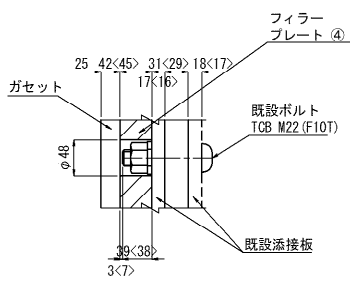
D - D



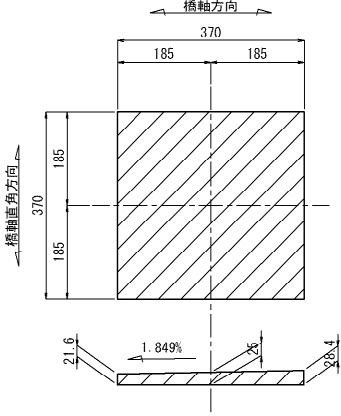
"b"部詳細 S=1:15



"c"部詳細 S=1:10



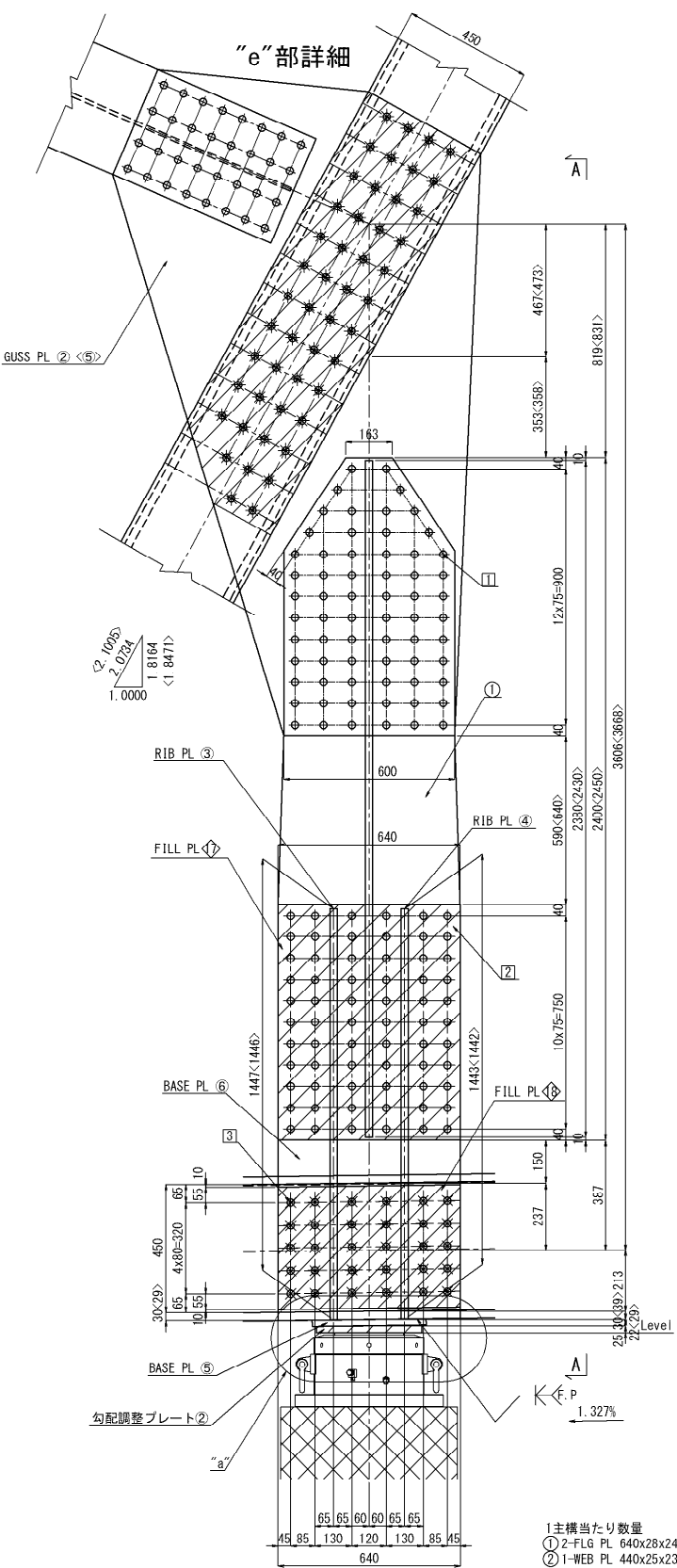
勾配調整プレート詳細 S=1:15



- 注記
1. 施工にあたっては、現地計画を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現場の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. 印はTCB M22(S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUT F 24(高力ファンサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
  6. 印はフィラープレートを示す。
  7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

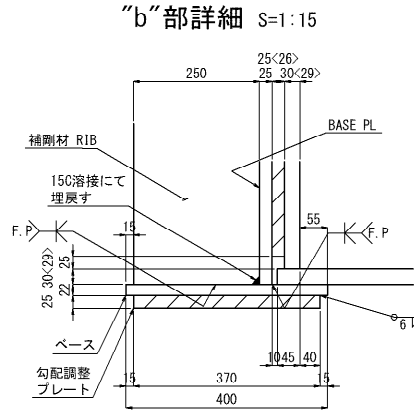
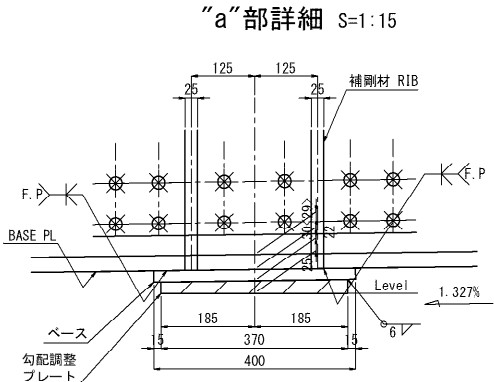
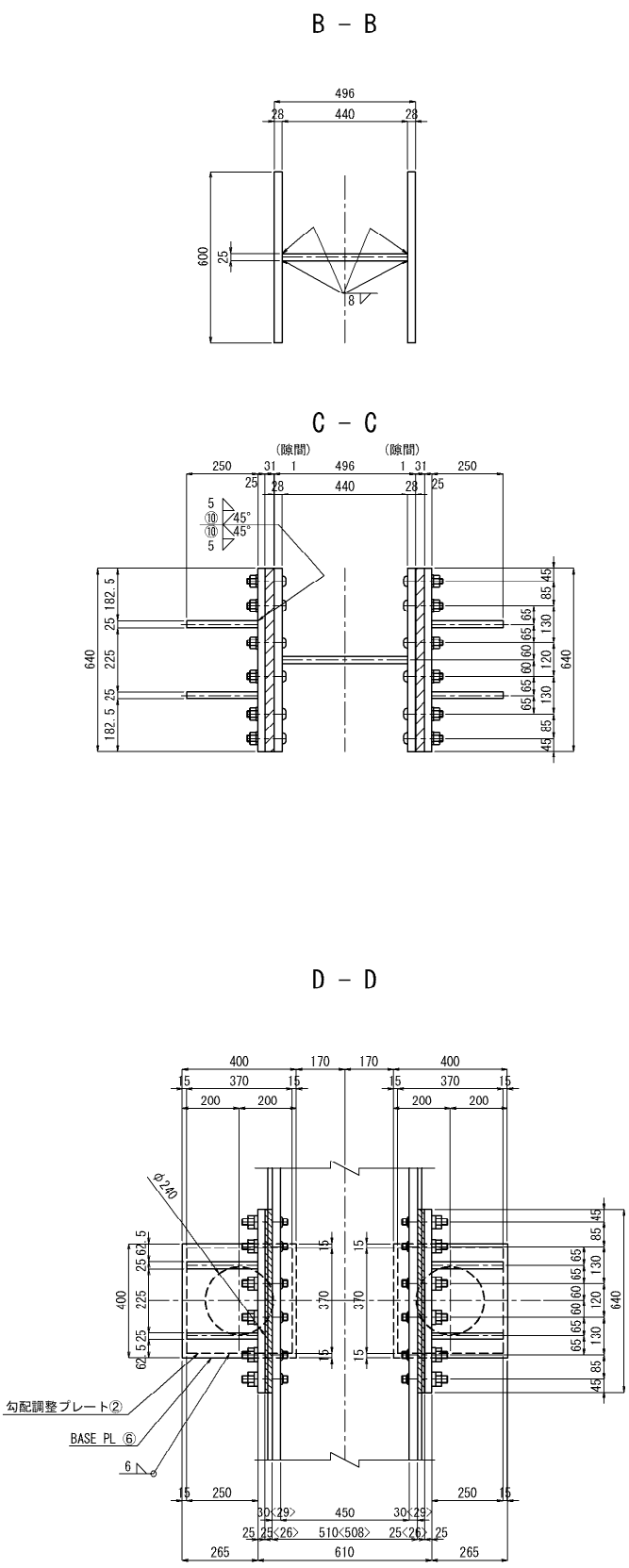
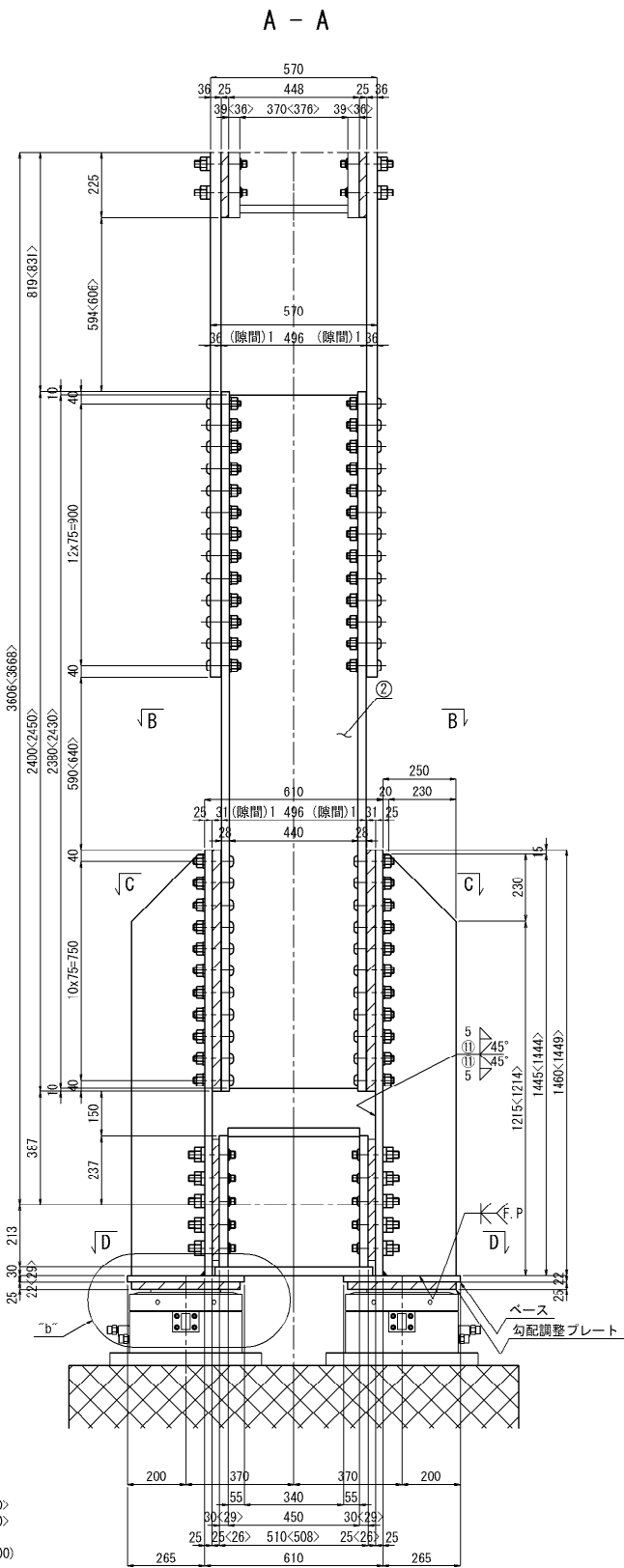
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)詳細図(その3)	図面番号	475/529
縮尺	図示	図面番号	475/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社	施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工事事務所		

AT1<AT2>桁 (A2側)

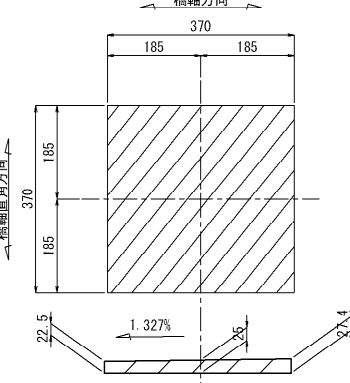


- 1主橋当たり数量
- ① 2-FLL PL 640x28x2400<2450>
  - ② 1-WEB PL 440x25x2380<2430>
  - ③ 132-TCB M22x100 (S10T)
  - ④ 2-FILL PL 640x31x830 (SS400)
  - ⑤ 132-TCB M22x120 (S10T)
  - ⑥ 2-BASE PL 640x25x1464<1463> (SM490YB)
  - ⑦ 2-RIB PL 250x25x1447<1446> (SM490YB)
  - ⑧ 2-RIB PL 250x25x1443<1442> (SM490YB)
  - ⑨ 2-BASE PL 400x22x400
  - ⑩ 2-調整 PL 370x30x370
  - ⑪ 2-FILL PL 439x25<26>x640 (SS400)
  - ⑫ 60-ワンリッドボルト M17F24-80 (SCM440)

現場孔明け  
1主橋当たり数量  
φ25.5x60箇所



勾配調整プレート詳細 S=1:15



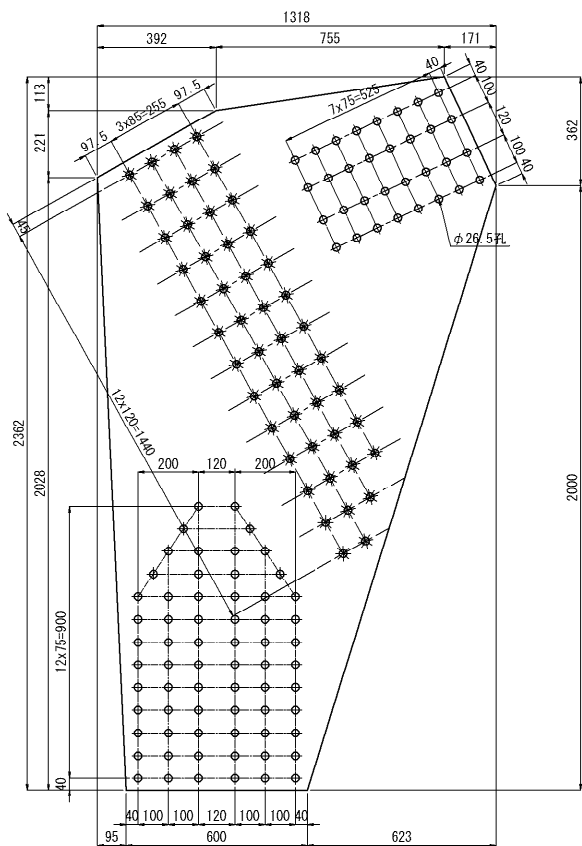
- 注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. ⑤印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はM17F 24 (高力ワンサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
  6. ⑫印はフィラープレートを示す。
  7. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接とする。
  8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)詳細図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	476/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



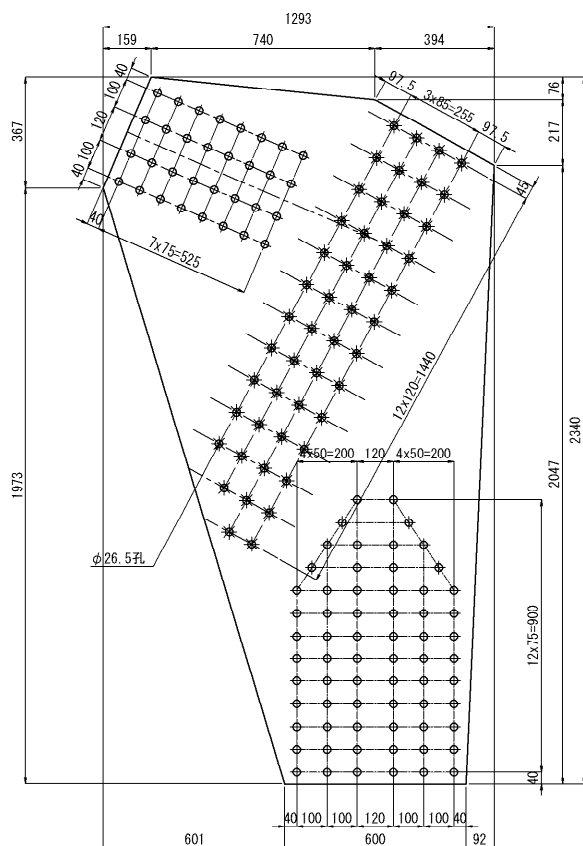
GUSS PL ① 詳細

AT1  
t=36mm



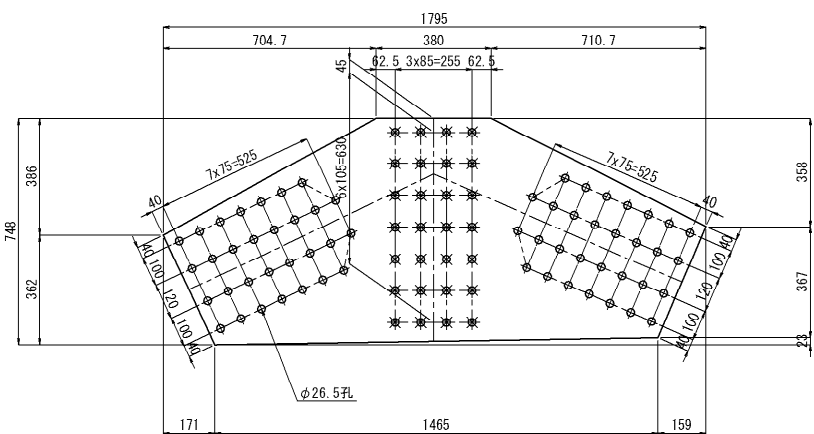
GUSS PL ② 詳細

AT1  
t=36mm



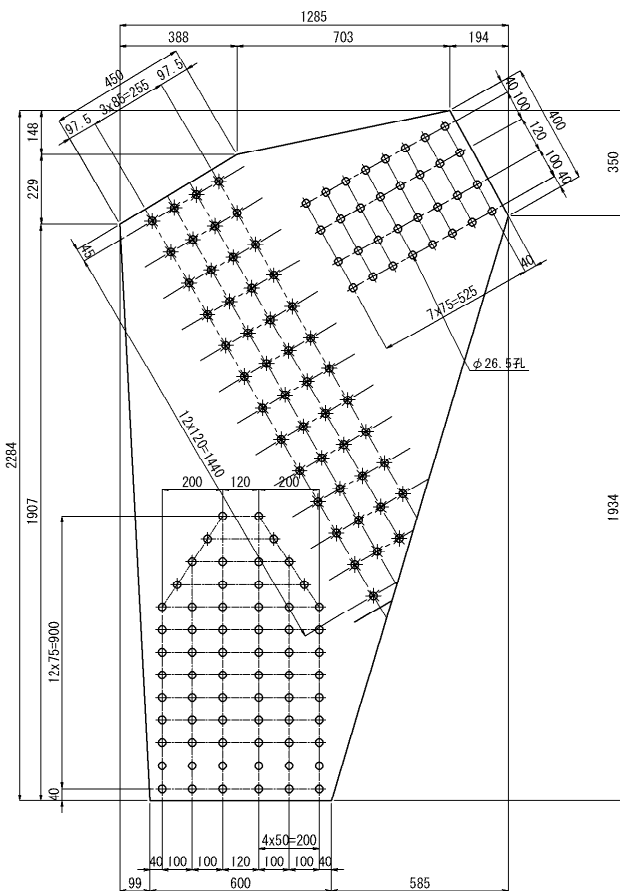
GUSS PL ③ 詳細

AT1  
t=16mm



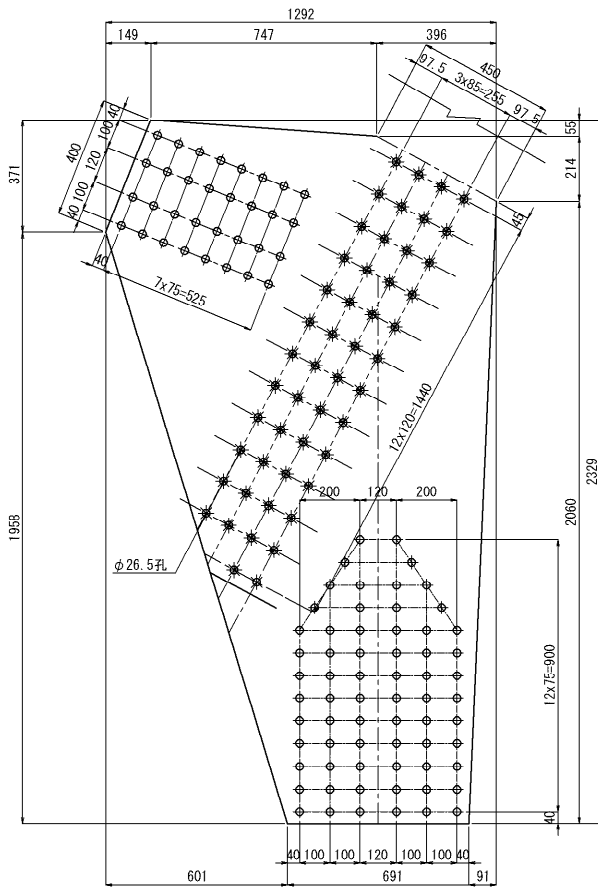
GUSS PL ④ 詳細

AT2  
t=36mm



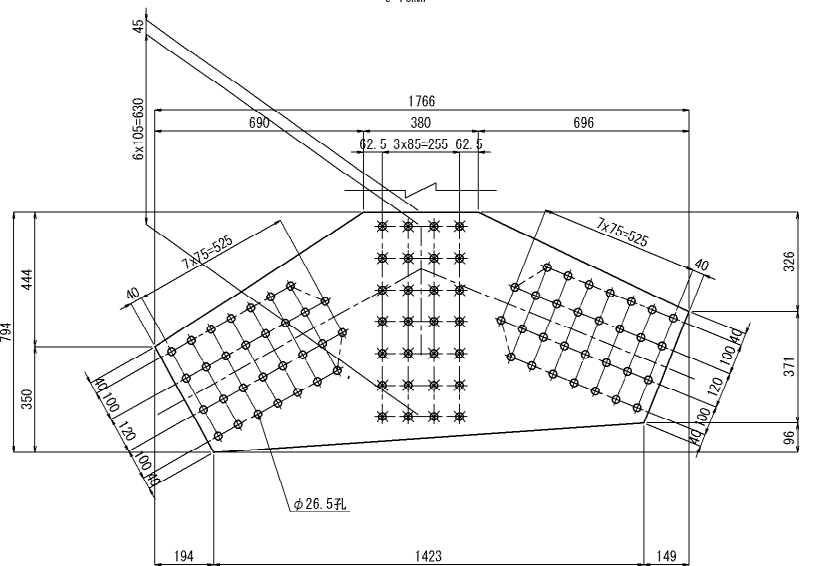
GUSS PL ⑤ 詳細

AT2  
t=36mm



GUSS PL ⑥ 詳細

AT2  
t=16mm



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(支承取替)詳細図(その5)		
縮 尺	1:25	図面番号	477/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		





新設斜材

AT1桁

AT2桁

側面図

側面図

“b”部詳細 S=1:25

FILL PL ②詳細 S=1:25

GUSS PL ②詳細 S=1:25

“a”部詳細 S=1:25

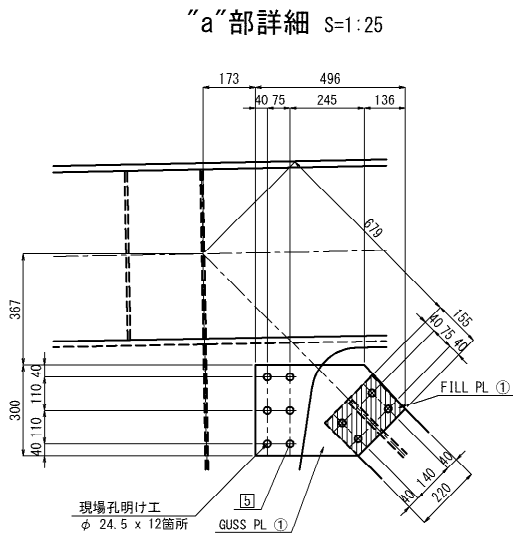
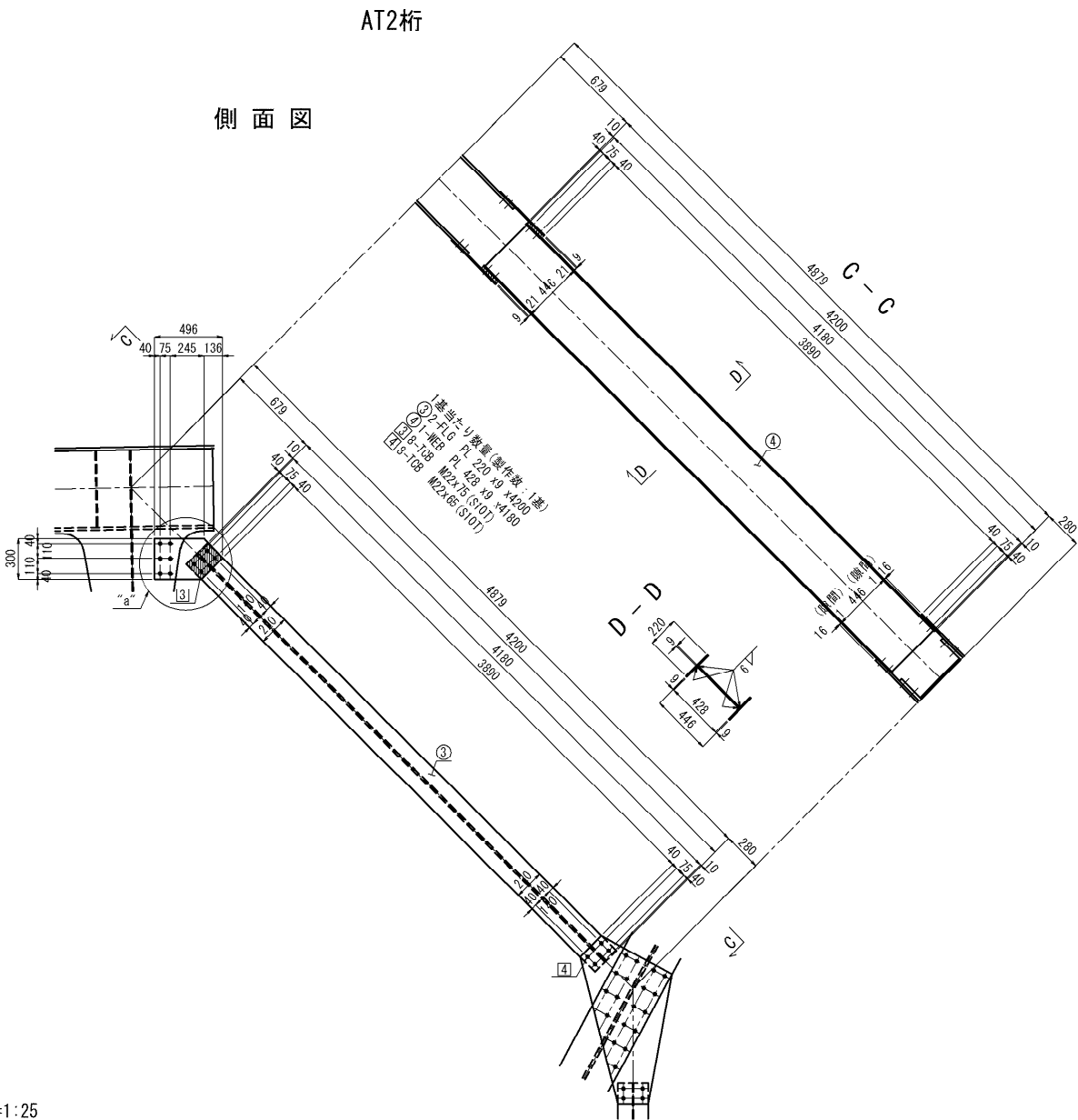
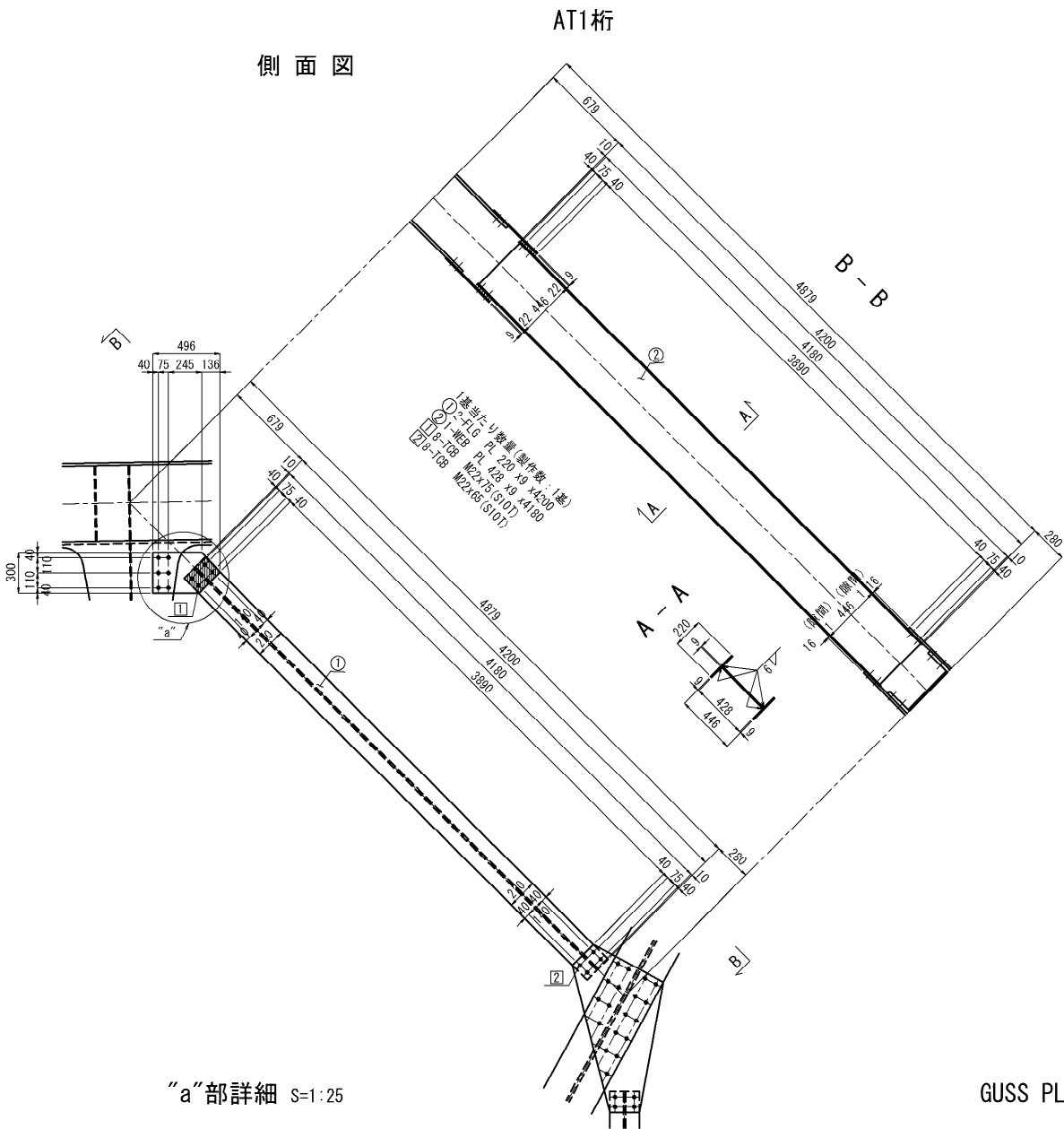
GUSS PL ①詳細 S=1:25

FILL PL ①詳細 S=1:25

- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. ①印はTCB M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUF 24 (高力ワナサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。
  6. ②印はフィラプレートを示す。
  7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 構造物補強工(制震構造)詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	479/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

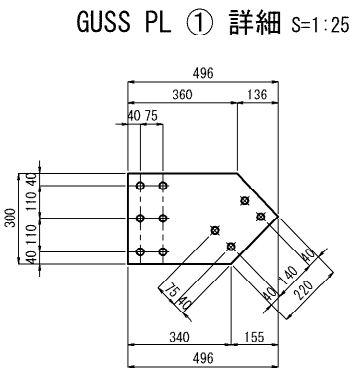
新設斜材



AT1桁  
1基当たり数量(製作数:1基)  
① 2-GUSS PL 496 x9 x300(SS400)  
② 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
③ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
④ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑤ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑥ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑦ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑧ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑨ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑩ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑪ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑫ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑬ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑭ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑮ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑯ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑰ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑱ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑲ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
⑳ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉑ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉒ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉓ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉔ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉕ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉖ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉗ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉘ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉙ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉚ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉛ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉜ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉝ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉞ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㉟ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊱ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊲ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊳ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊴ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊵ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊶ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊷ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊸ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊹ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊺ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊻ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊼ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊽ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊾ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)  
㊿ 2-FILL PL 155 x22 x220(SS400)

AT2桁  
1基当たり数量(製作数:1基)  
① 2-GUSS PL 496 x9 x300(SS400)  
② 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
③ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
④ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑤ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑥ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑦ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑧ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑨ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑩ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑪ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑫ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑬ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑭ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑮ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑯ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑰ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑱ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑲ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
⑳ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉑ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉒ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉓ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉔ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉕ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉖ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉗ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉘ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉙ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉚ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉛ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉜ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉝ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉞ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㉟ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊱ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊲ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊳ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊴ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊵ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊶ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊷ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊸ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊹ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊺ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊻ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊼ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊽ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊾ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)  
㊿ 2-FILL PL 155 x21 x220(SS400)

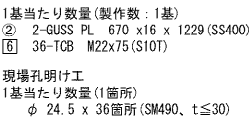
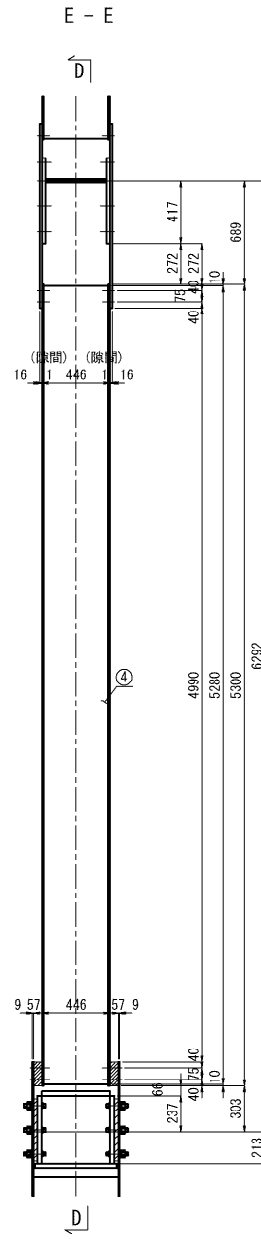
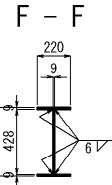
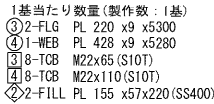
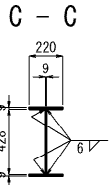
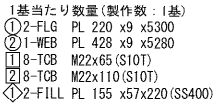
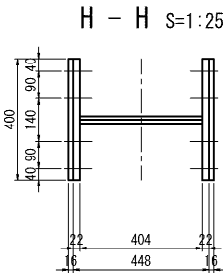
現場孔明け工  
1基当たり数量(全:2箇所)  
φ 24.5 x 12箇所(SM490、t≤30)



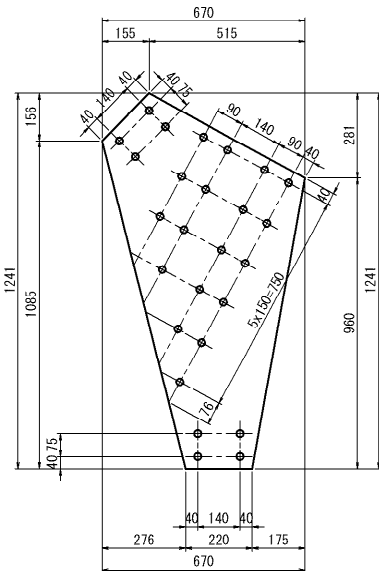
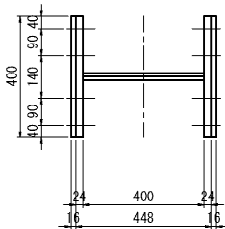
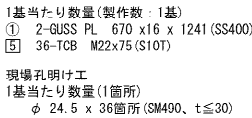
- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5. 印はTGB M22(S10T)を示し、ボルト孔は既設φ24.5新設φ26.5とする。  
※印はMUT 24(高カワンスイドボルト)を示し、ボルト孔は既設φ25.5新設φ26.5とする。
  6. 印はフィラープレートを示す。
  7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚		
	構造物補強工(制震構造)詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	480/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

## AT2

[illegible]

GUSS PL ① 詳細 s=1:25



1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。  
 2. 鋼材の加工は現構の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。  
 3. 現構の計測、計測を元に構造物の形状を変更する場合に必要に応じて応力計算を行うこと。  
 4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。  
 5. ④印はTBS M22 (S10T) を示し、ボルト孔は既設φ24.5 新設φ26.5とする。  
 6. ※印はJTF 24 (高力ウツサイドボルト) を示し、ボルト孔は既設φ25.5 新設φ26.5とする。  
 7. ⑤印はフラッパレを示す。  
 8. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 構造物補強工(制震構造)詳細図(図02)		
縮 尺	図示	図面番号	481/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 事 務 所		

新設斜材

AT1桁

AT2桁

側面図

側面図

“b”部詳細 S=1:25

GUSS PL ② 詳細 S=1:25

FILL PL ②詳細 S=1:25

GUSS PL ① 詳細 S=1:25

FILL PL ①詳細 S=1:25

“a”部詳細 S=1:25

- 注 記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
  2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
  3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
  4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  5.  $\Phi$ 印はTCB M22 (S10T)を示し、ボルト孔は既設 $\phi 24.5$ 新設 $\phi 26.5$ とする。  
※印はMUF 24 (高力ワナサイドボルト)を示し、ボルト孔は既設 $\phi 25.5$  新設 $\phi 26.5$ とする。
  6.  $\text{〰}$ 印はフィラープレートを示す。
  7. 新設鋼材はすべて塗装を施すこと。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 構造物補強工(制震構造)詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	482/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

1基当たり数量(製作数:1基)  
① 2-GUSS PL 577 x16 x 740 (SS400)  
② 2-FILL PL 380 x32 x 315 (SS400)  
③ 32-TCB M22x110 (S10T)

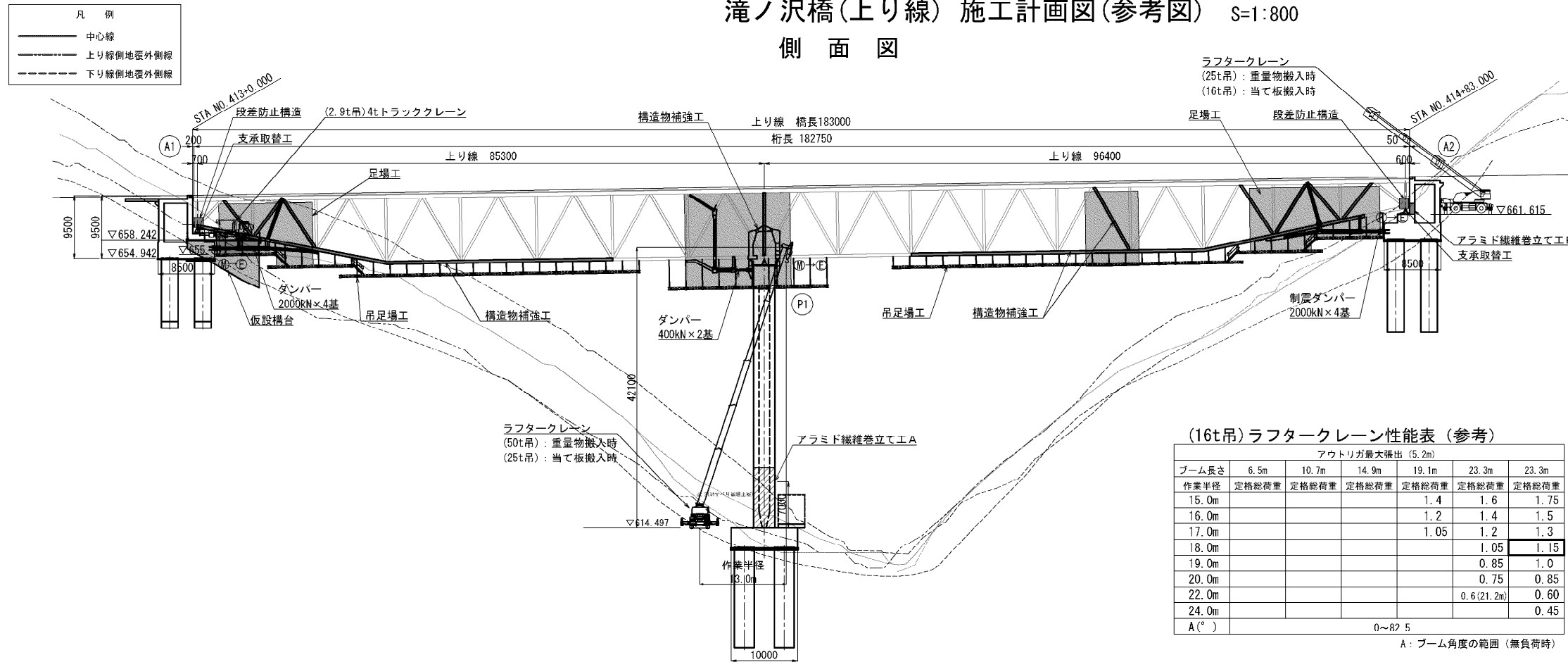
現場孔明け工  
1基当たり数量(1箇所)  
 $\phi 24.5 \times 32$ 箇所 (SM490、 $t \leq 30$ )

1基当たり数量(製作数:1基)  
① 2-GUSS PL 595 x16 x 746 (SS400)  
② 2-FILL PL 380 x32 x 315 (SS400)  
③ 32-TCB M22x110 (S10T)

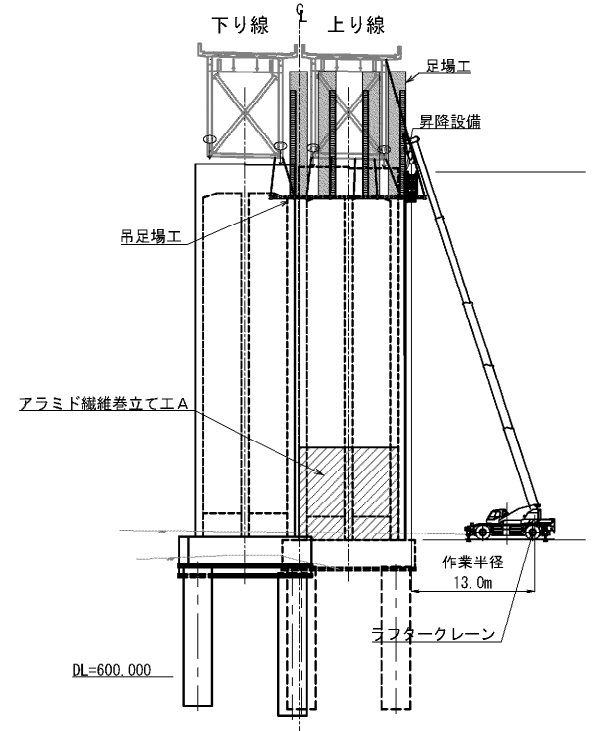
1基当たり数量(製作数:1基)  
② 2-GUSS PL 595 x16 x 746 (SS400)  
③ 2-FILL PL 380 x32 x 315 (SS400)  
④ 32-TCB M22x110 (S10T)

現場孔明け工  
1基当たり数量(1箇所)  
 $\phi 24.5 \times 32$ 箇所 (SM490、 $t \leq 30$ )

滝ノ沢橋(上り線) 施工計画図(参考図) S=1:800  
側 面 図



断面図 S=1:800  
P1橋脚



(2.9t吊)4tトラッククレーン性能表 (参考)

作業半径 (m)		2.0	2.2	2.4	2.6	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.36	前方領域
空車時 定格総荷重 (t)	最大性能	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.63	1.38	1.28	空車時 定格の 25%
	中間性能	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.48	1.23	1.08	
	最小性能	1.63	1.43	1.23	1.08	1.00	0.83	0.63	0.50	0.40	0.33	0.28	
強度定格総荷重 (t)		2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.66	1.48	1.38	

(50t吊)ラフタークレーン性能表 (参考)

	9.7m	16.0m	22.3m	28.6m	34.9m	38.05m	41.2m
ブーム長さ	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重
10.0m	12.3	11.9	10.5	9.3	8.5	7.0	
11.0m	10.7	9.9	9.6	8.5	7.8	6.8	
12.0m	8.5	8.25	8.8	7.8	7.2	6.4	
13.0m	7.1	6.9	7.9	7.1	6.6	6.0	
14.0m		5.9	6.9	6.6	6.1	5.6	
16.0m		4.3	5.2	5.7	5.3	4.9	
18.0m		3.0	4.0	4.5	4.6	4.3	
A(°)	0~83.5					16~83.5	26~83.
標準フック	51トンフック	25トンフック					

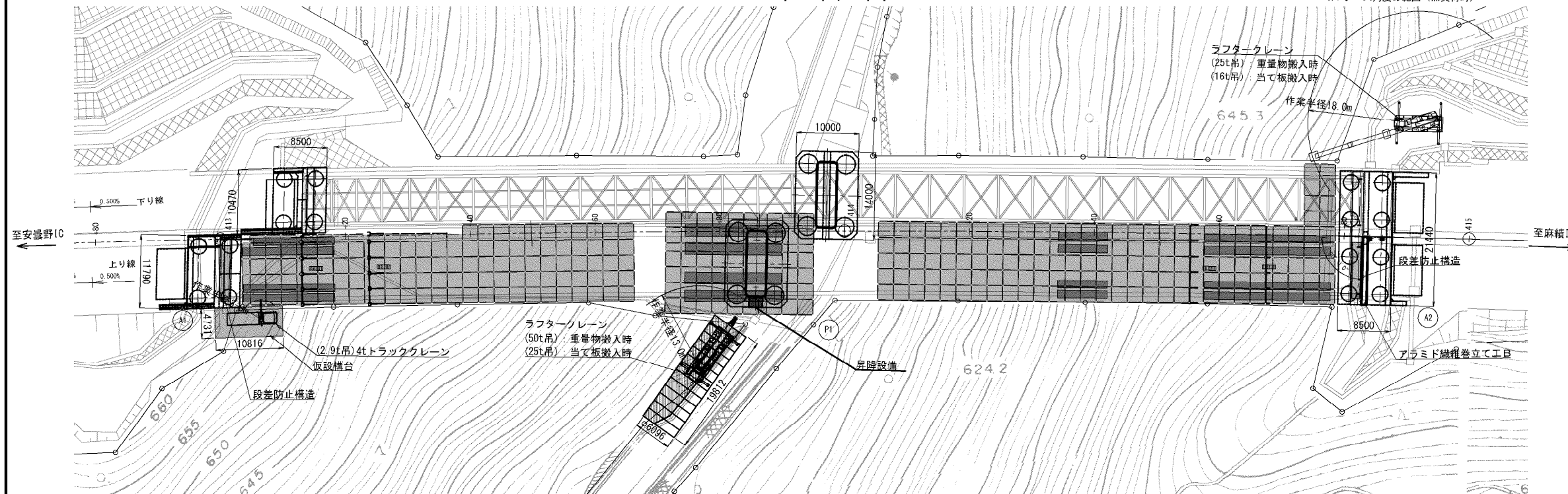
A：ブーム角度の範囲（無負荷時）

(25t吊)ラフタークレーン性能表 (参考)

アウリガ異木張出 (6.6m)									
ジブ長さ		30.5mブーム+13.0mジブ							
オフセット		5°		25°		45°		60°	
ブーム 角度	作業半径 (m)	定格荷重 (t)	作業半径 (m)	定格荷重 (t)	作業半径 (m)	定格荷重 (t)	作業半径 (m)	定格荷重 (t)	
84°	5.6	2.2	9.6	1.3	12.9	0.85	14.2	0.6	
80°	9.1	2.2	12.9	1.3	15.7	0.85	17.0	0.6	
78°	10.8	2.1	14.5	1.3	17.1	0.85	18.2	0.6	
76°	12.3	1.95	15.9	1.25	18.4	0.85	19.4	0.6	
74°	13.8	1.85	17.3	1.2	19.6	0.85	20.6	0.6	
72°	15.3	1.7	18.6	1.15	20.9	0.85	21.6	0.6	
70°	16.7	1.65	19.9	1.15	22.1	0.85	22.7	0.6	
68°	18.1	1.55	21.2	1.1	23.2	0.85	23.7	0.6	
A(°)		44～84				59～84			

A：ブーム角度の範囲（無負荷時）

平面图



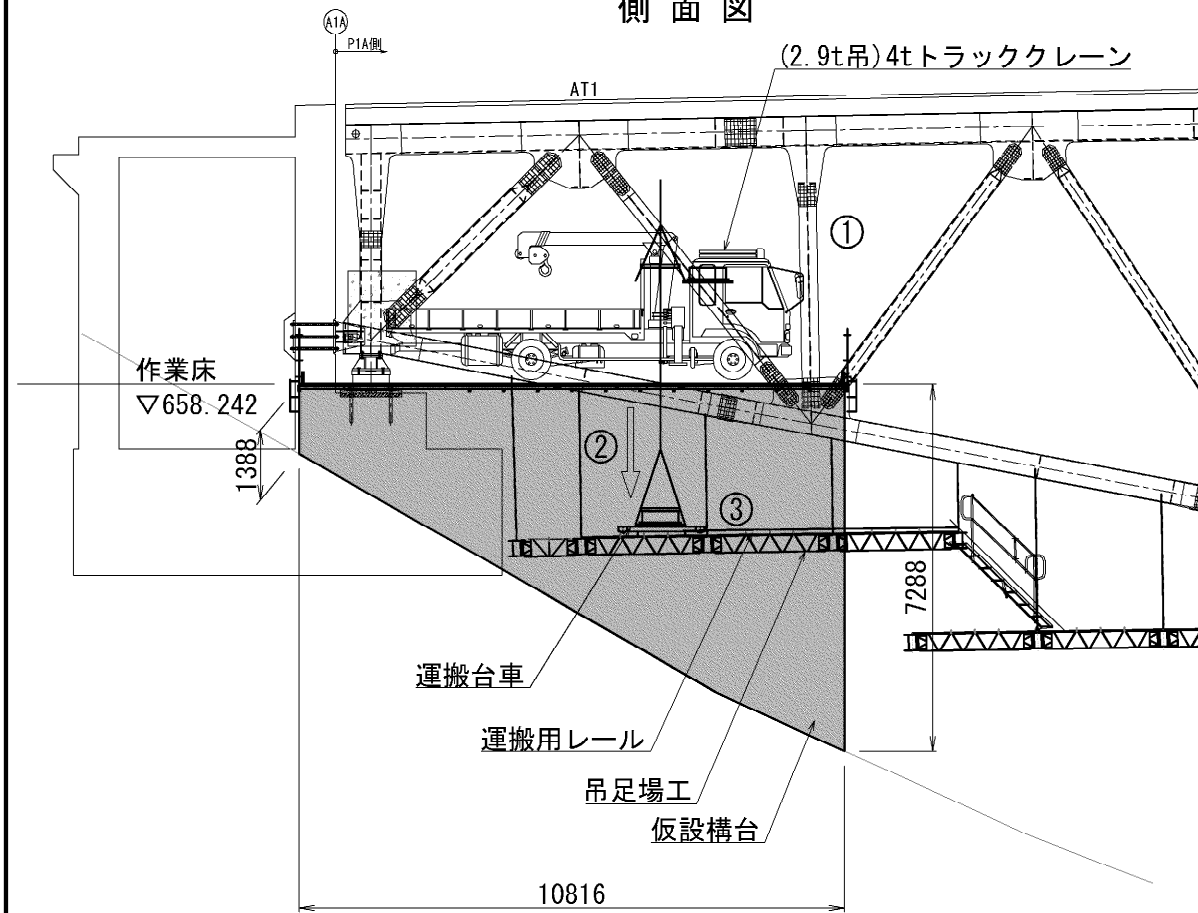
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 施工計画図(参考図)		
縮 尺	1:800	図面番号	483/529
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事業務所		



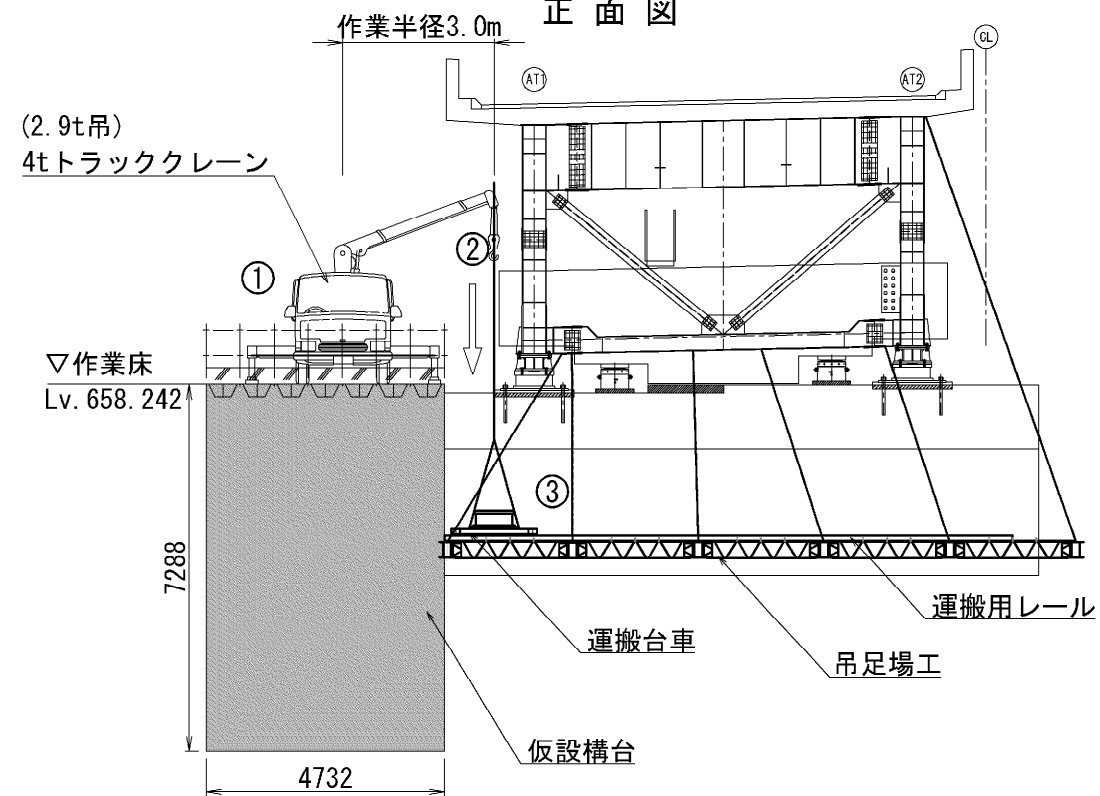
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋（上り線） 施工フロー(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	484/529
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図) S=1:150

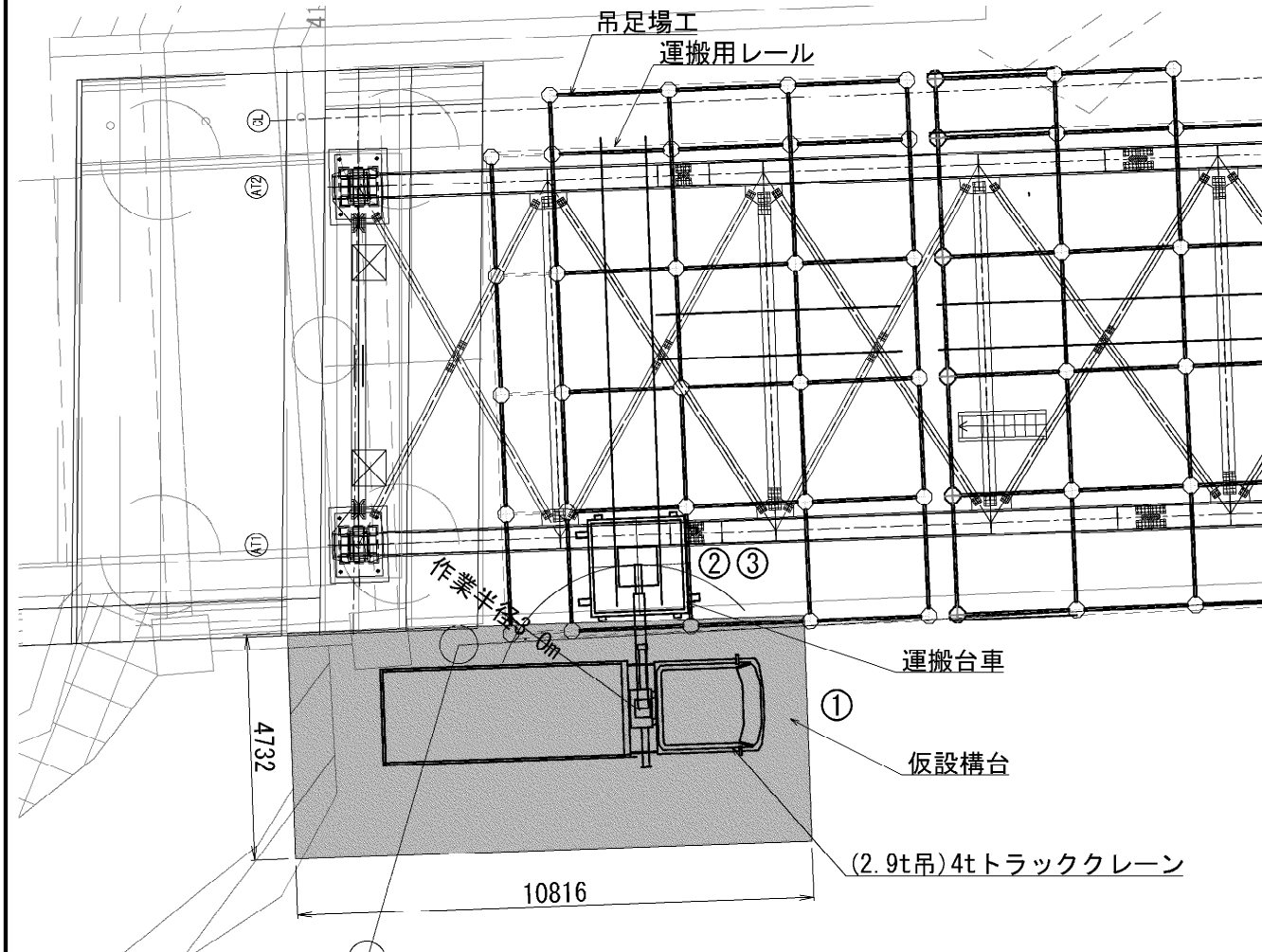
側面図



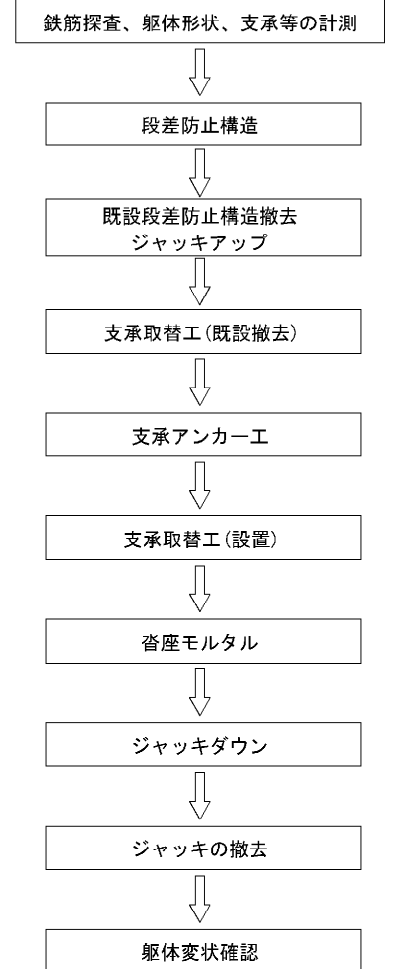
正面図



平面図



施工フロー



部材搬入方法

- ① 4tトラッククレーンで仮設構台上に輸送
- ② 4tトラッククレーンにてシステム吊足場上に吊下げ
- ③ システム吊足場上台車等を使用し各補強箇所へ運搬

(2.9t吊)4tトラッククレーン性能表 (参考)

作業半径 (m)	2.0	2.2	2.4	2.6	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.36	前方領域
空車時 定格総荷重 (t)	最大性能	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.63	1.38	1.28	空車時 定格の 25%
	中間性能	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.48	1.23	1.08	
	最小性能	1.63	1.43	1.23	1.08	1.00	0.83	0.63	0.50	0.40	0.33	
強度定格総荷重 (t)	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.66	1.48	1.38	

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図)		
縮 尺	1:150	図面番号	485/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		



滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 施工要領図(その2) (参考図) S=1:150

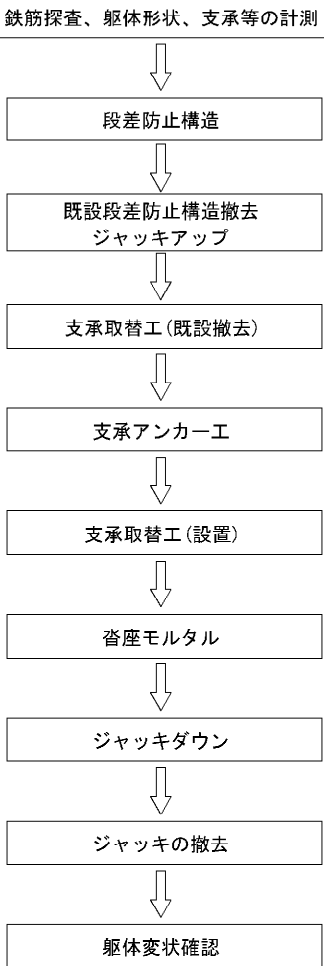
側面図

正面図

チェーンブロック  
(1.0t吊)

レバーブロック  
(2.5t吊)

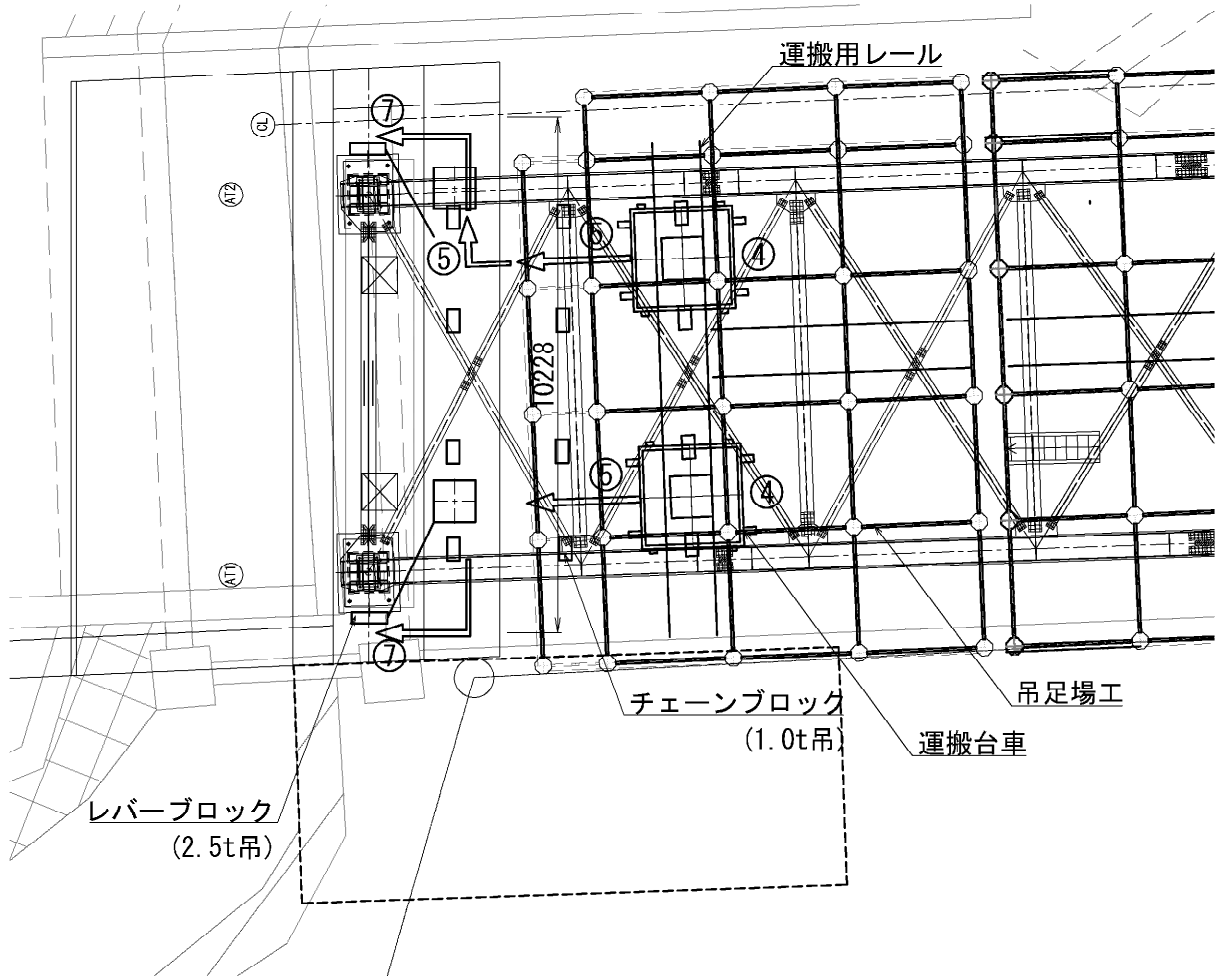
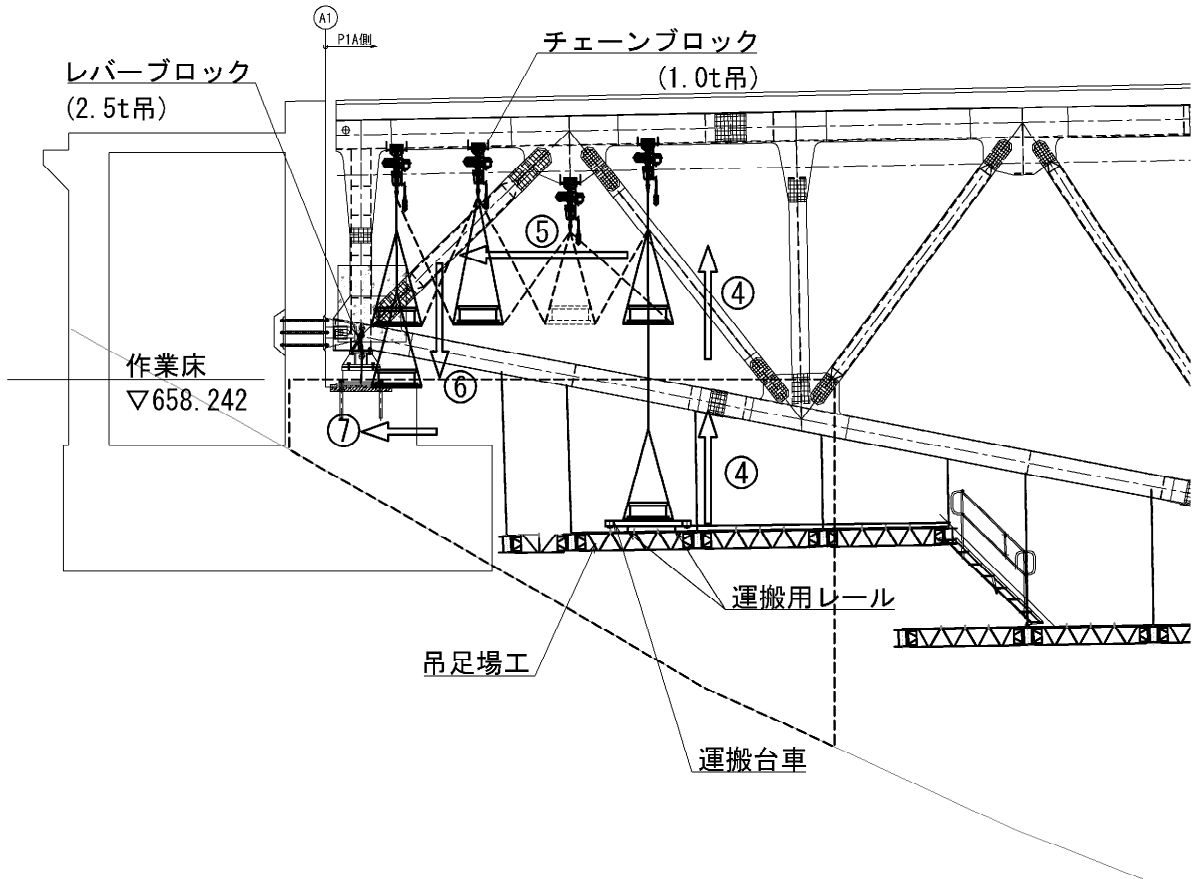
施工フロー



支承搬入手順

- ④ 吊足場上から支承をチェーンブロックで吊り上げ
- ⑤ チェーンブロックで盛替え、移動
- ⑥ 支承をチェーンブロックで吊下げる
- ⑦ レバーブロックで移動
- ⑧ チェーンブロックにて新設支承を所定位置に設置

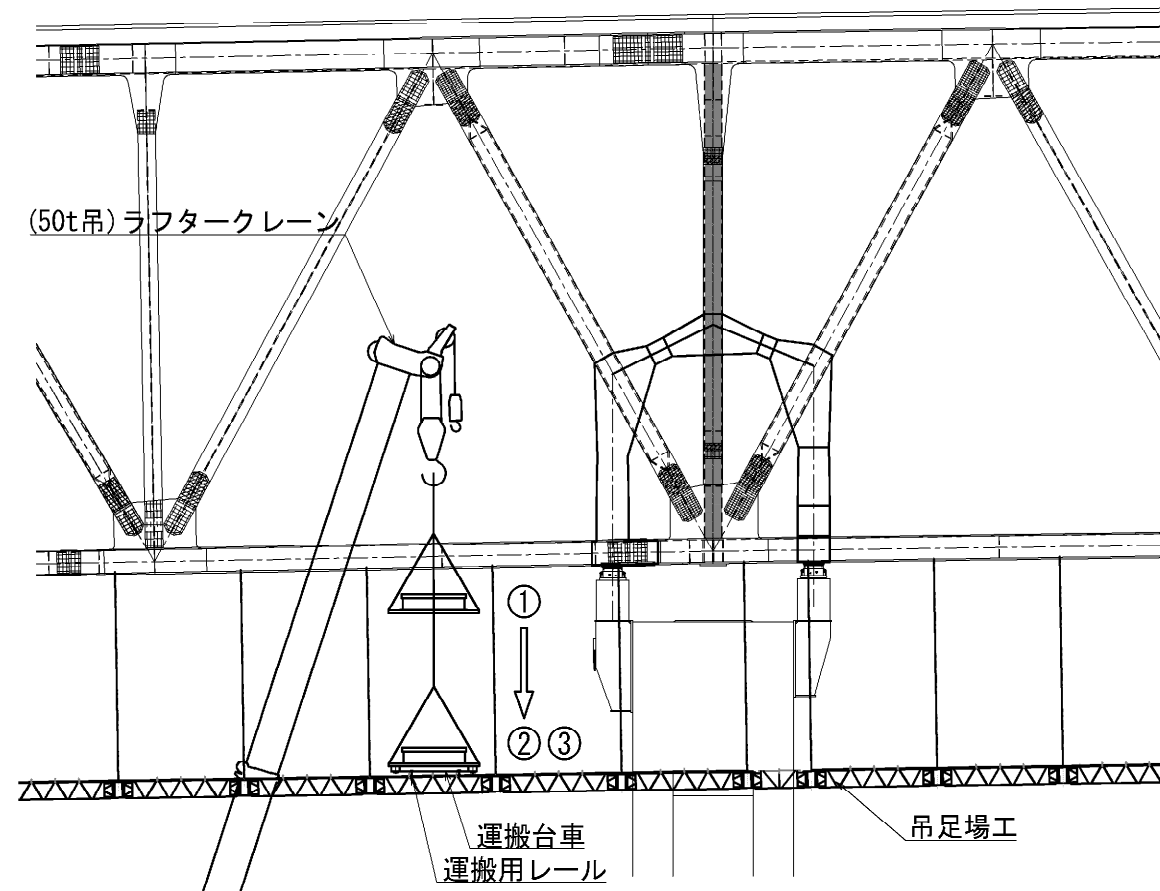
平面図



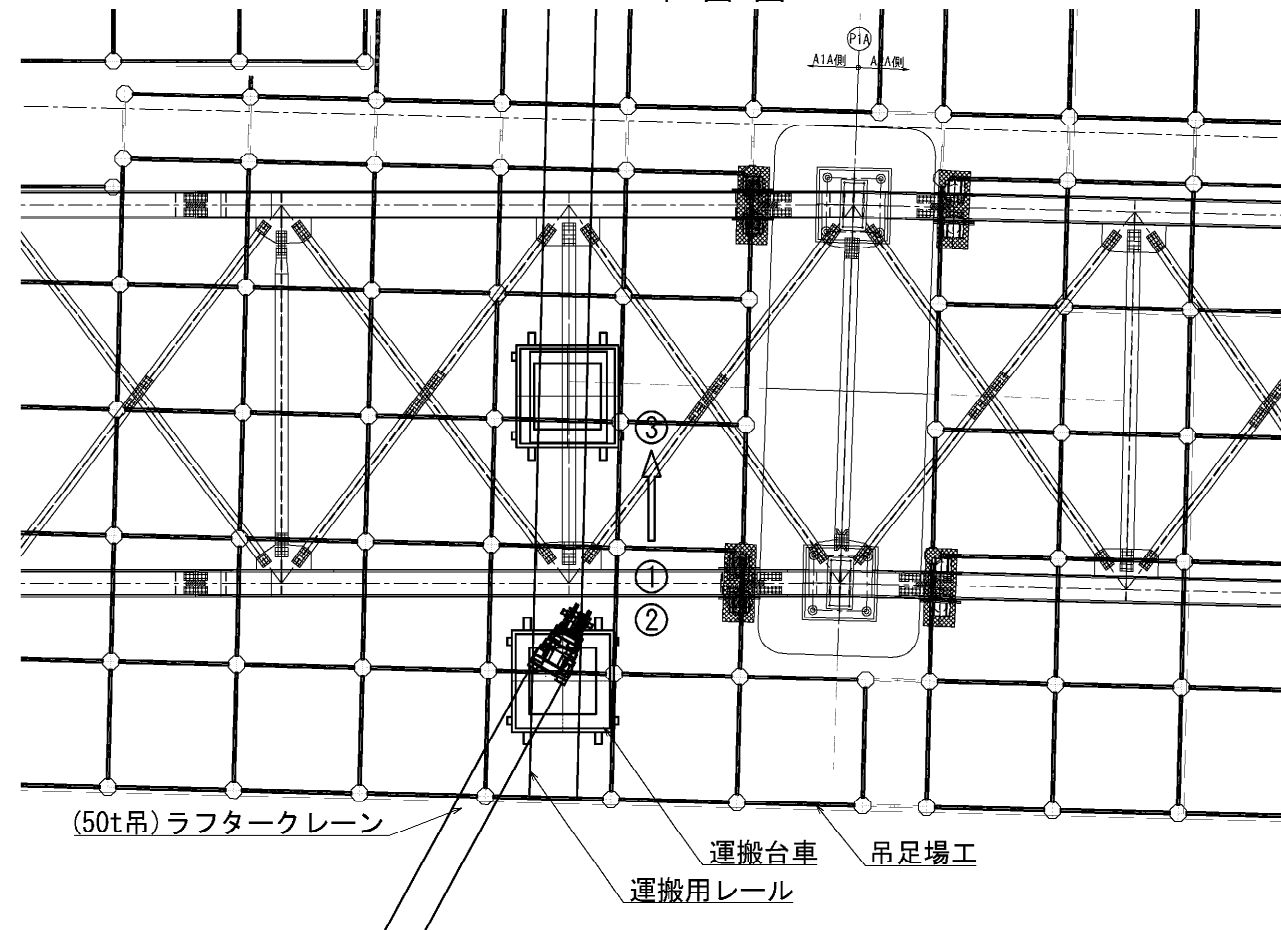
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台		
	支承取替工 施工要領図(その2) (参考図)		
縮尺	1:150	図面番号	486/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図) S=1:150

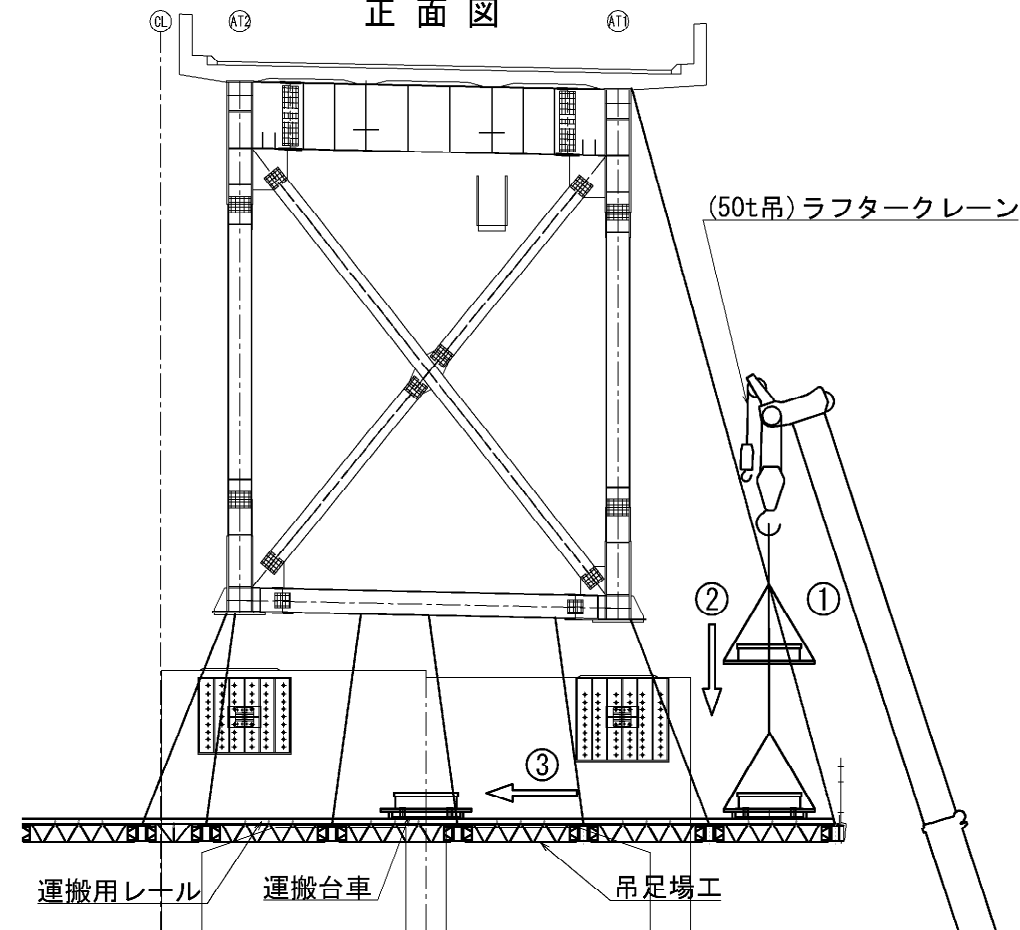
側面図



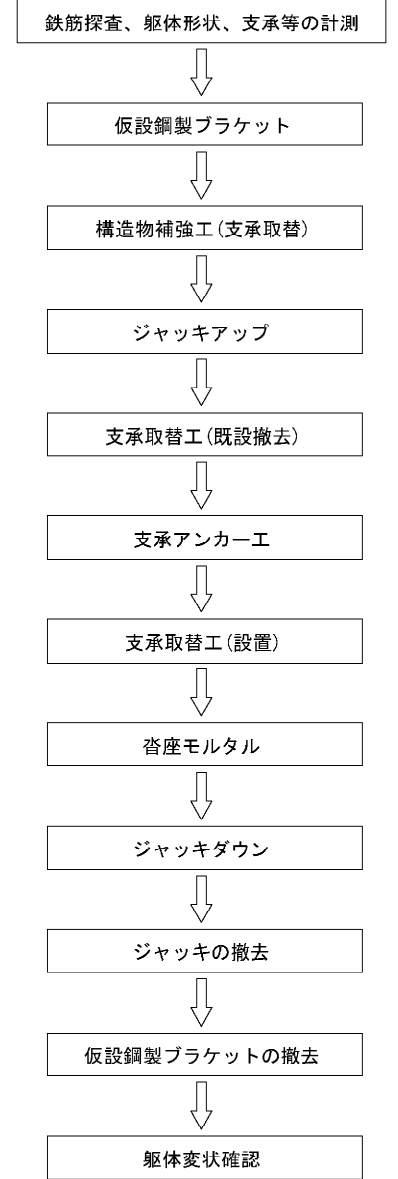
平面図



正面図



施工フロー



支承搬入手順

- ① (50t吊)ラフタークレーンにてP1基部から吊足場上に支承(4.5t)を搬入
- ② 台車の上に配置
- ③ レールを移動

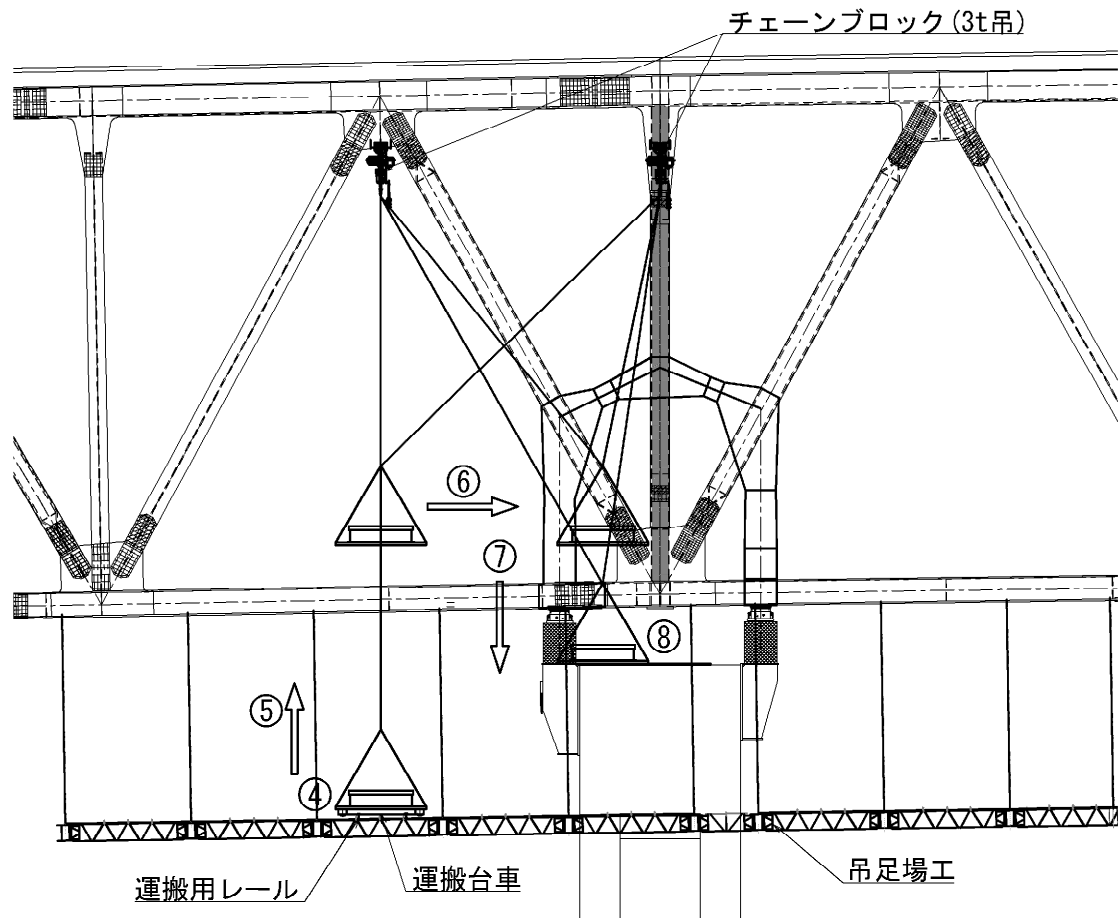
(50t吊)ラフタークレーン性能表(参考)

アウトリガ最大張出 (7.4m)							
ブーム長さ	9.7m	16.0m	22.3m	28.6m	34.9m	38.05m	41.2m
作業半径	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重
10.0m		12.3	11.9	10.5	9.3	8.5	7.0
11.0m		10.2	9.9	9.6	8.5	7.8	6.8
12.0m		8.5	8.25	8.8	7.8	7.2	6.4
13.0m		7.1	6.9	7.9	7.1	6.6	6.0
14.0m			5.9	6.9	6.6	6.1	5.6
16.0m			4.3	5.2	5.7	5.3	4.9
18.0m			3.0	4.0	4.5	4.6	4.3
A(°)	0~83.5					16~83.5	26~83.5
標準フック	51トンフック		25トンフック				

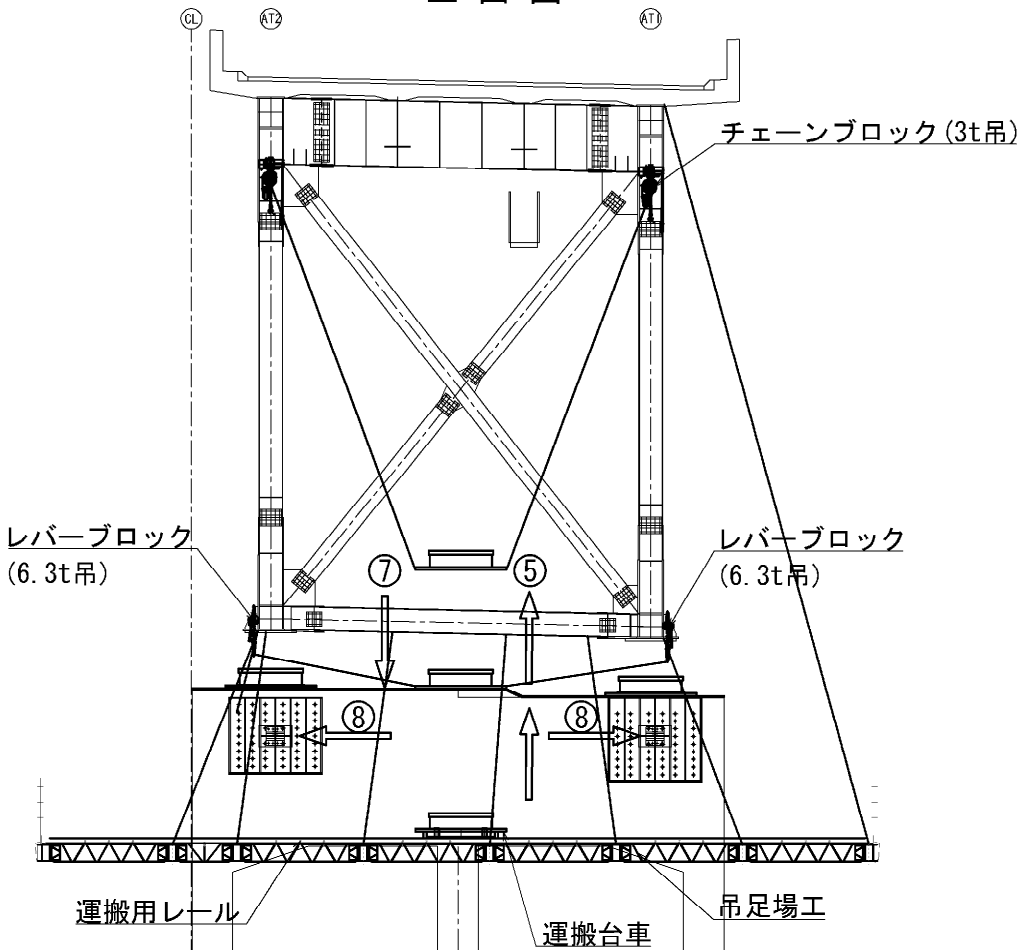
A: ブーム角度の範囲(無負荷時)

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図)		
縮尺	1:150	図面番号	487/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

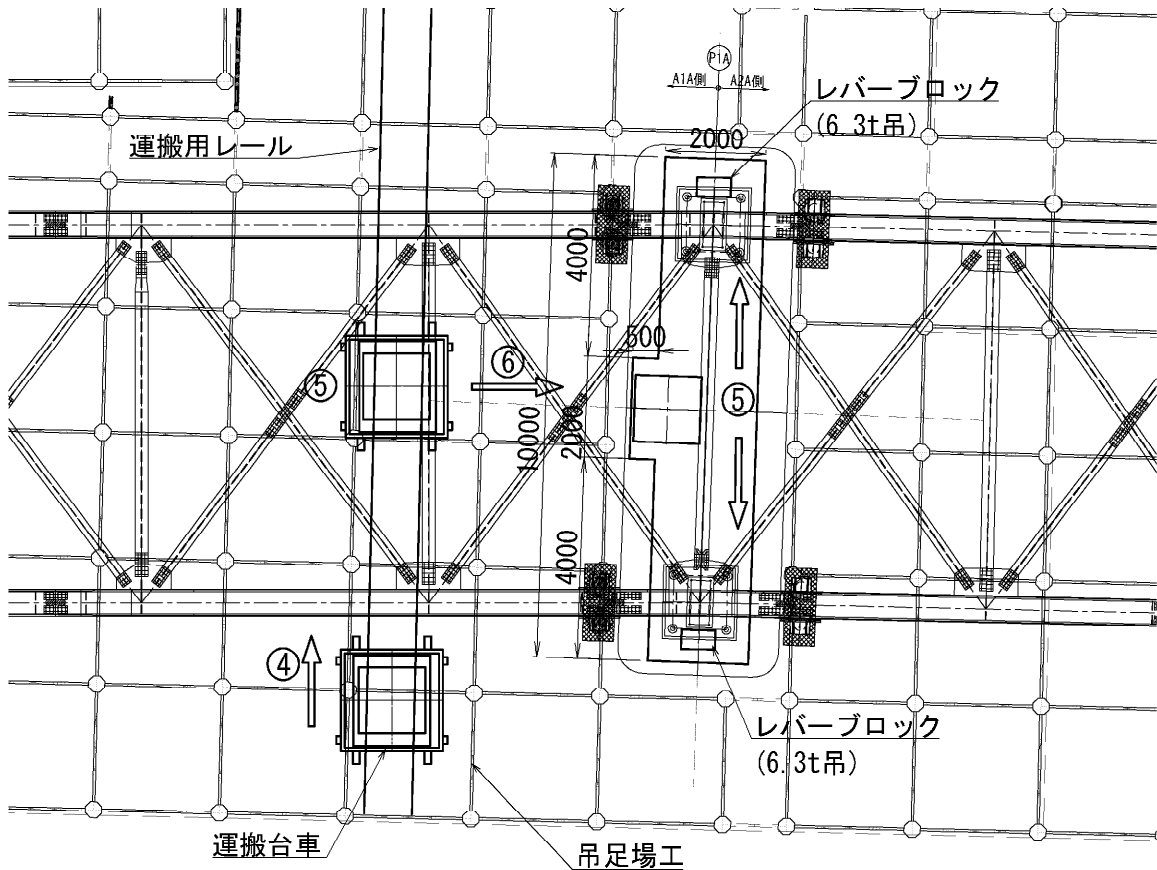
側面図



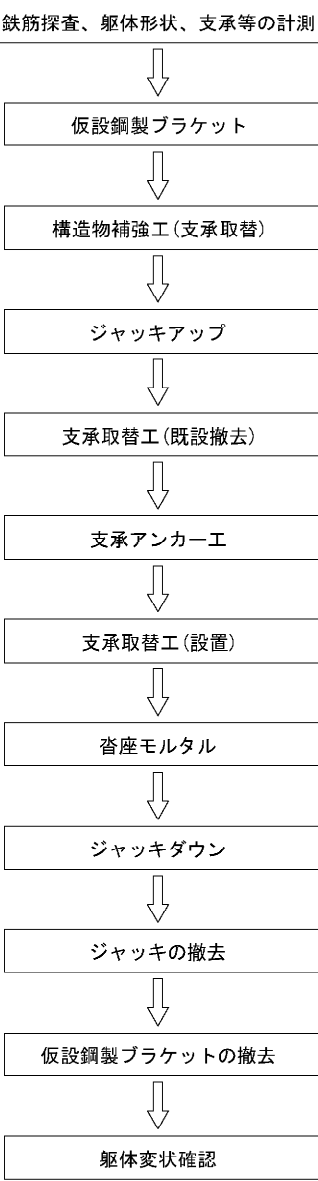
正面図



平面図



施工フロー

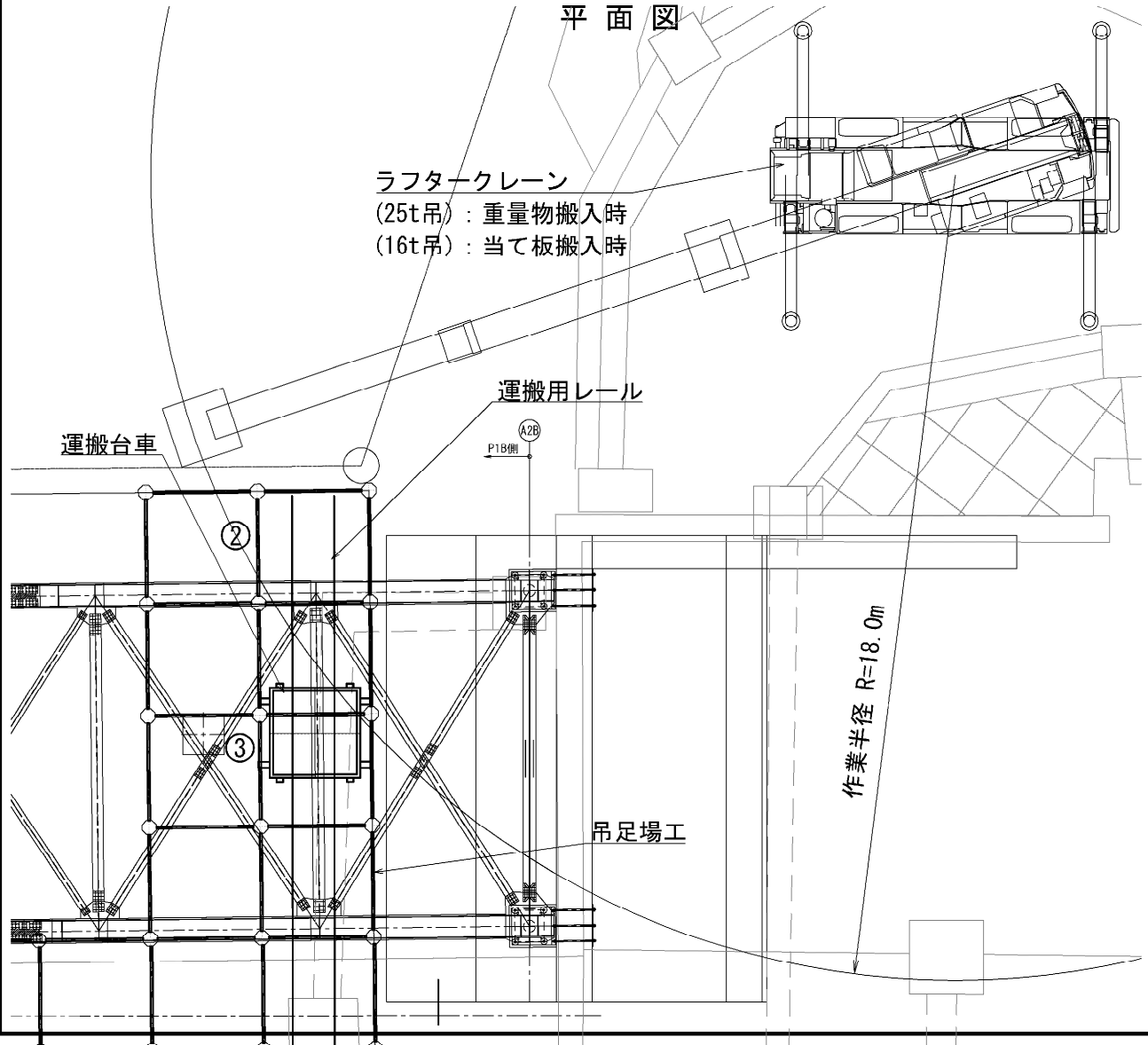
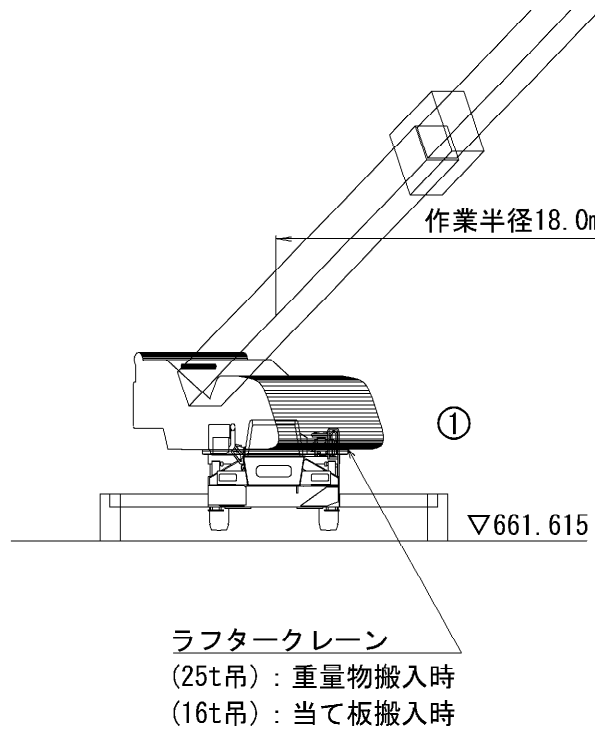
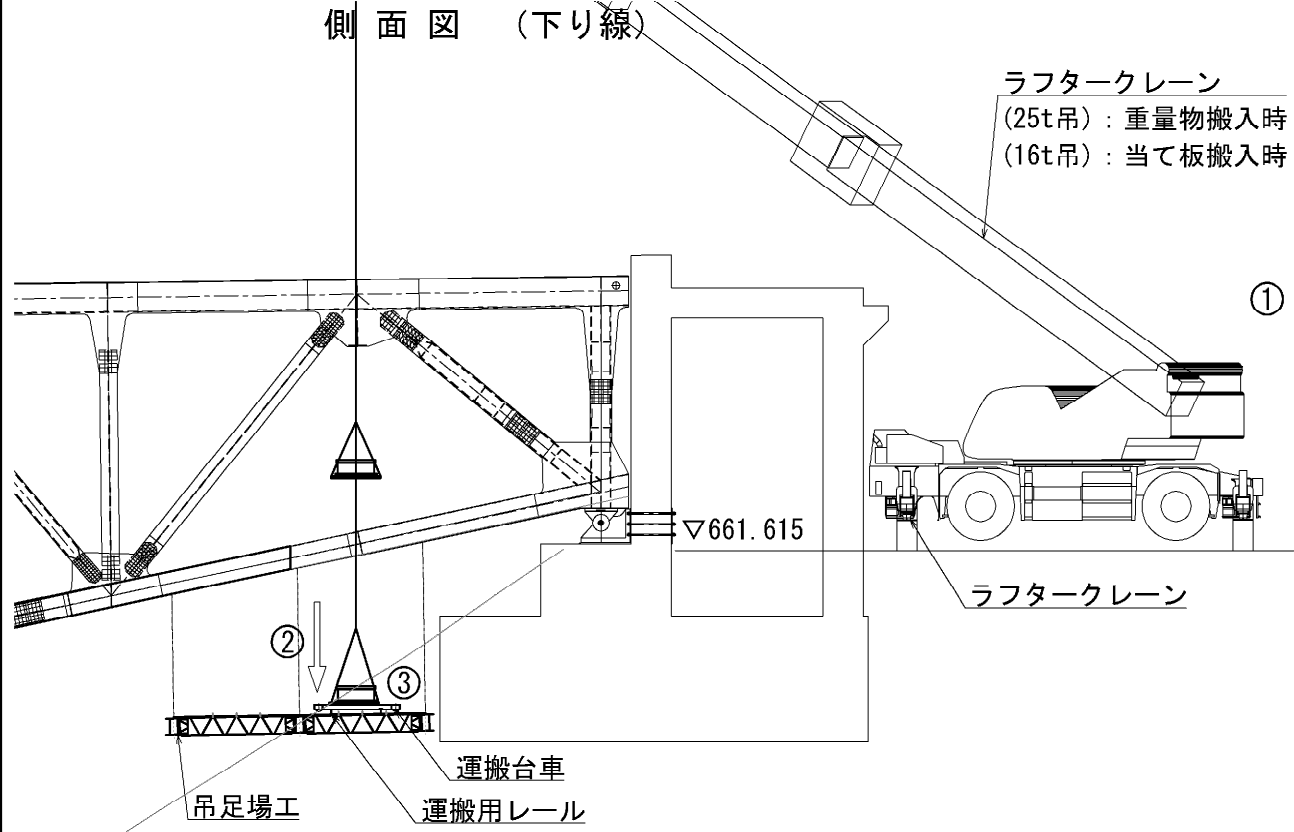


支承搬入手順

- ④ 吊足場上の支承をP1橋脚前面まで移動
- ⑤ チェーンブロックで吊り上げ
- ⑥ チェーンブロックで盛替え、移動
- ⑦ 支承をチェーンブロックで吊下げ、橋座上に置く
- ⑧ レバーブロックで移動
- ⑨ チェーンブロックにて新設支承を所定位置に設置

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 支承取替工 施工要領図(その2) (参考図)		
縮 尺	1:150	図面番号	488/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図) S=1:150



部材搬入方法

- ① 輸送された部材をラフテレーンクレーンにて吊り上げ
- ② ラフテレーンクレーンにて吊足場上に吊下げ
- ③ システム吊足場上を台車等を使用し各補強箇所へ運搬

(16t吊)ラフタークレーン性能表 (参考)

アウトリガ最大張出 (5.2m)						
ブーム長さ	6.5m	10.7m	14.9m	19.1m	23.3m	23.3m
作業半径	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重
15.0m				1.4	1.6	1.75
16.0m				1.2	1.4	1.5
17.0m				1.05	1.2	1.3
18.0m					1.05	1.15
19.0m					0.85	1.0
20.0m					0.75	0.85
22.0m					0.6 (21.2m)	0.60
24.0m						0.45
A(°)	0~82.5					

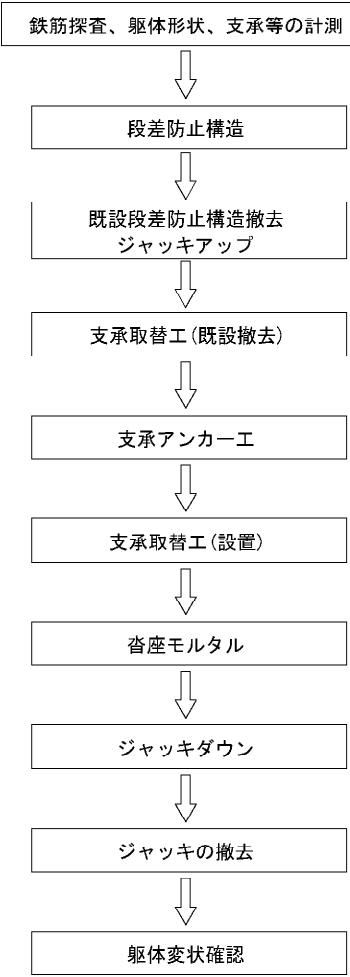
A: ブーム角度の範囲 (無負荷時)

(25t吊)ラフタークレーン性能表 (参考)

アウトリガ最大張出 (6.6m)								
30.5mブーム+13.0mジブ								
ジブ長さ	オフセット							
オフセット	5°		25°		45°		60°	
	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)	作業半径 (m)	定格総荷重 (t)
84°	5.6	2.2	9.6	1.3	12.9	0.85	14.2	0.65
80°	9.1	2.2	12.9	1.3	15.7	0.85	17.0	0.62
78°	10.8	2.1	14.5	1.3	17.1	0.85	18.2	0.61
76°	12.3	1.95	15.9	1.25	18.4	0.85	19.4	0.61
74°	13.8	1.85	17.3	1.2	19.6	0.85	20.6	0.6
72°	15.3	1.7	18.6	1.15	20.9	0.85	21.6	0.6
70°	16.7	1.65	19.9	1.15	22.1	0.85	22.7	0.6
68°	18.1	1.55	21.2	1.1	23.2	0.85	23.7	0.6
A(°)	44~84				59~84			

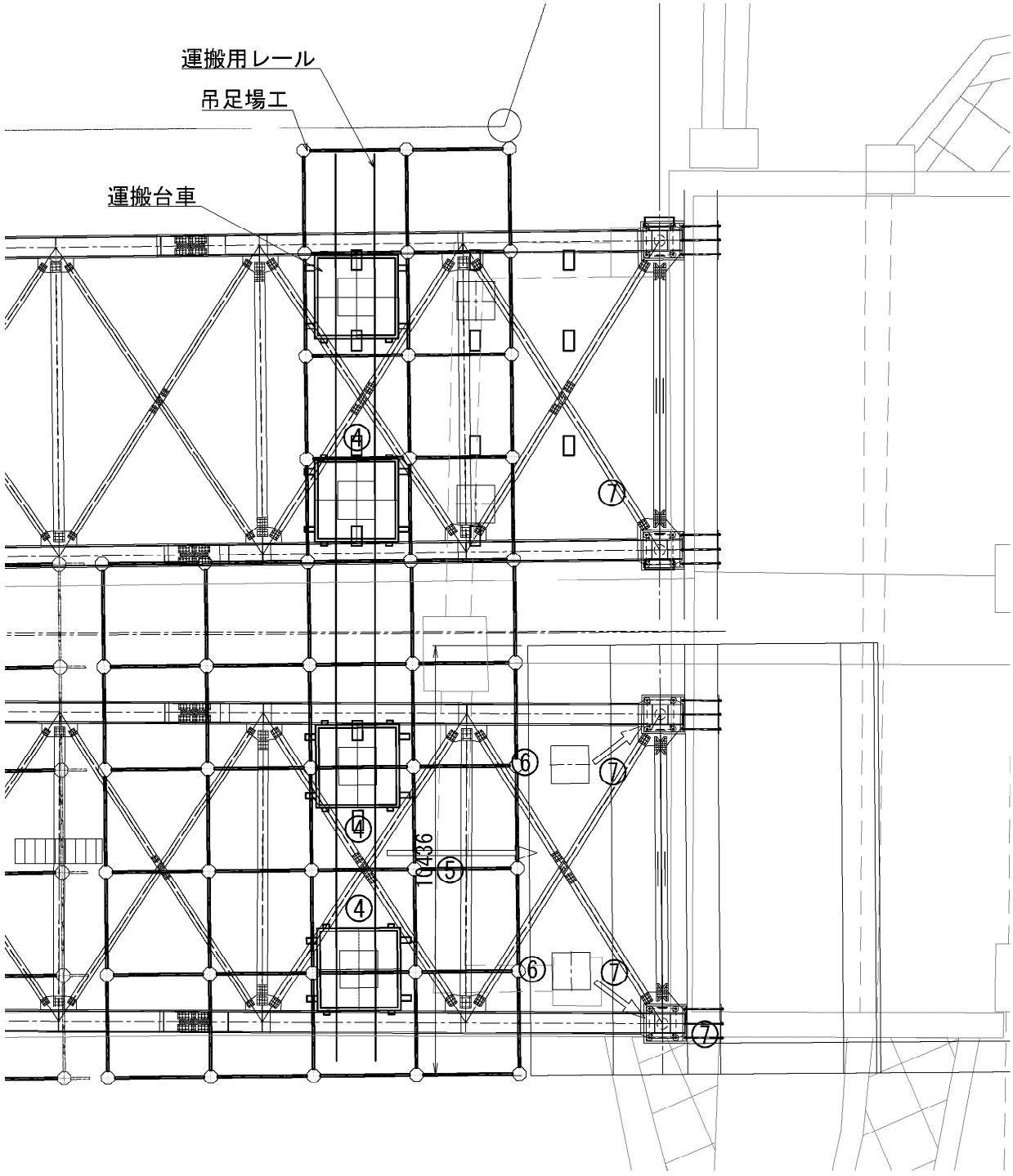
A: ブーム角度の範囲 (無負荷時)

施工フロー

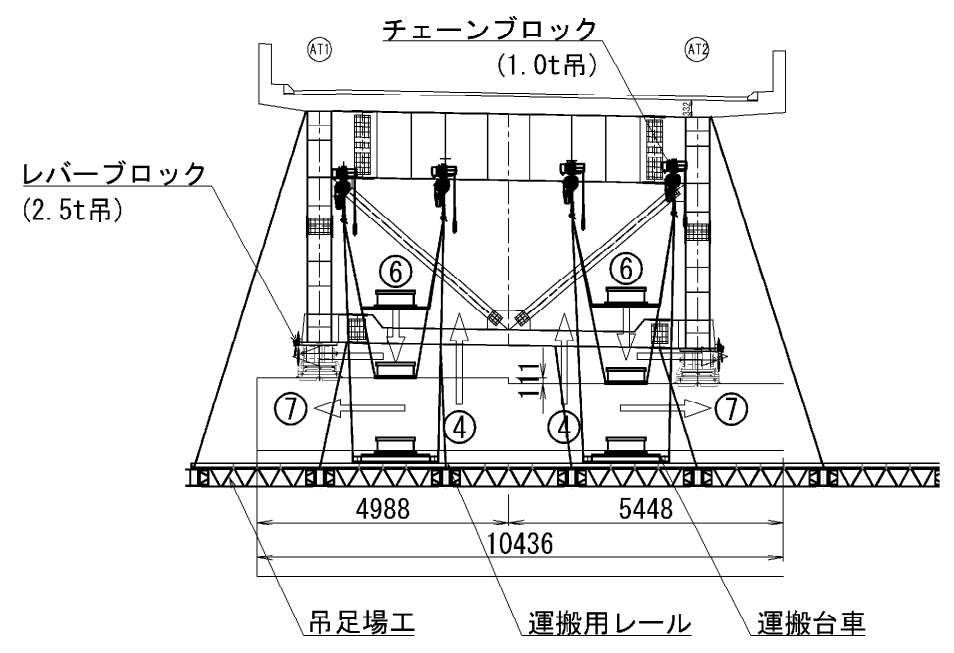


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工 施工要領図(その1)(参考図)	縮 尺	図示 図面番号 489/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社	施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所		

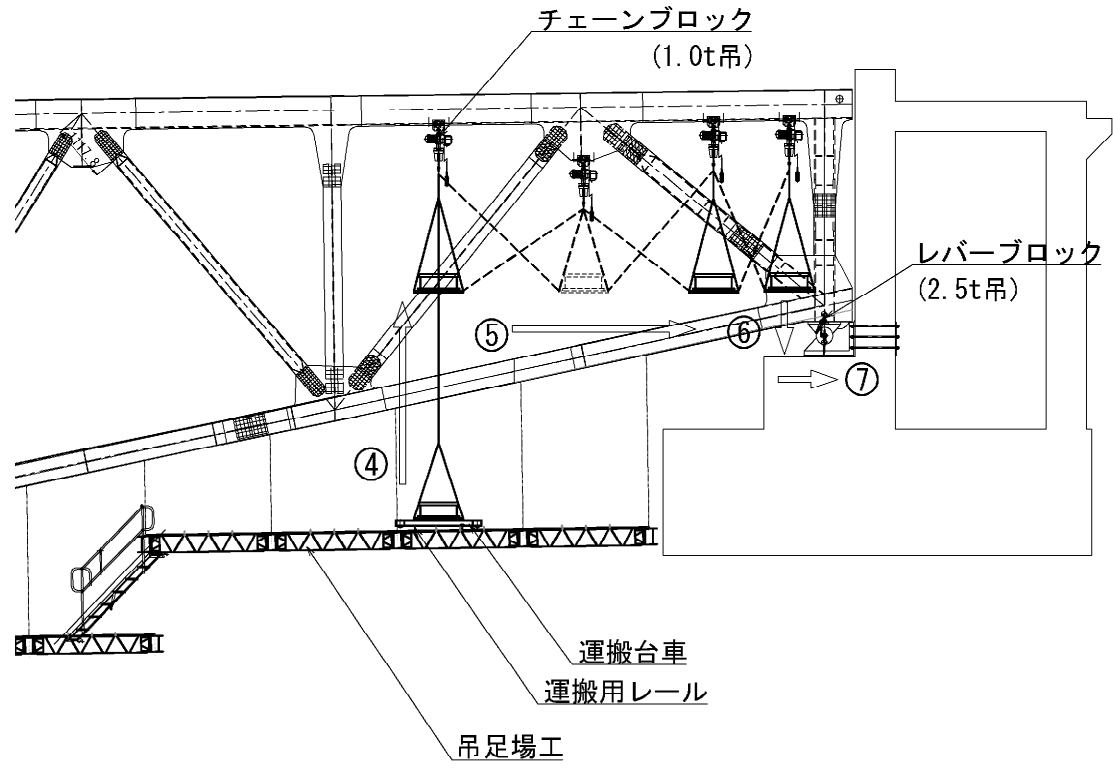
平面図



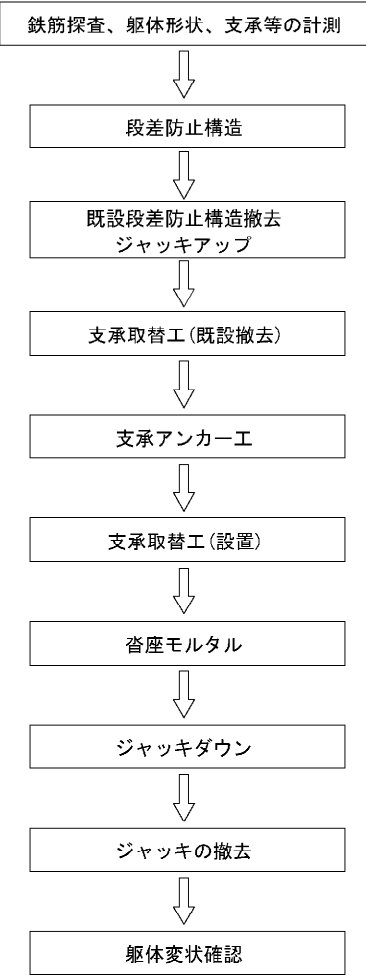
正面図



側面図



施工フロー



支承搬入手順

- ④ 吊足場上から支承をチェーンブロックで吊り上げ
- ⑤ チェーンブロックで盛替え、移動
- ⑥ 支承をチェーンブロックで吊り下げ、橋座上に置く
- ⑦ レバーブロックで移動
- ⑧ チェーンブロックにて新設支承を所定位置に設置

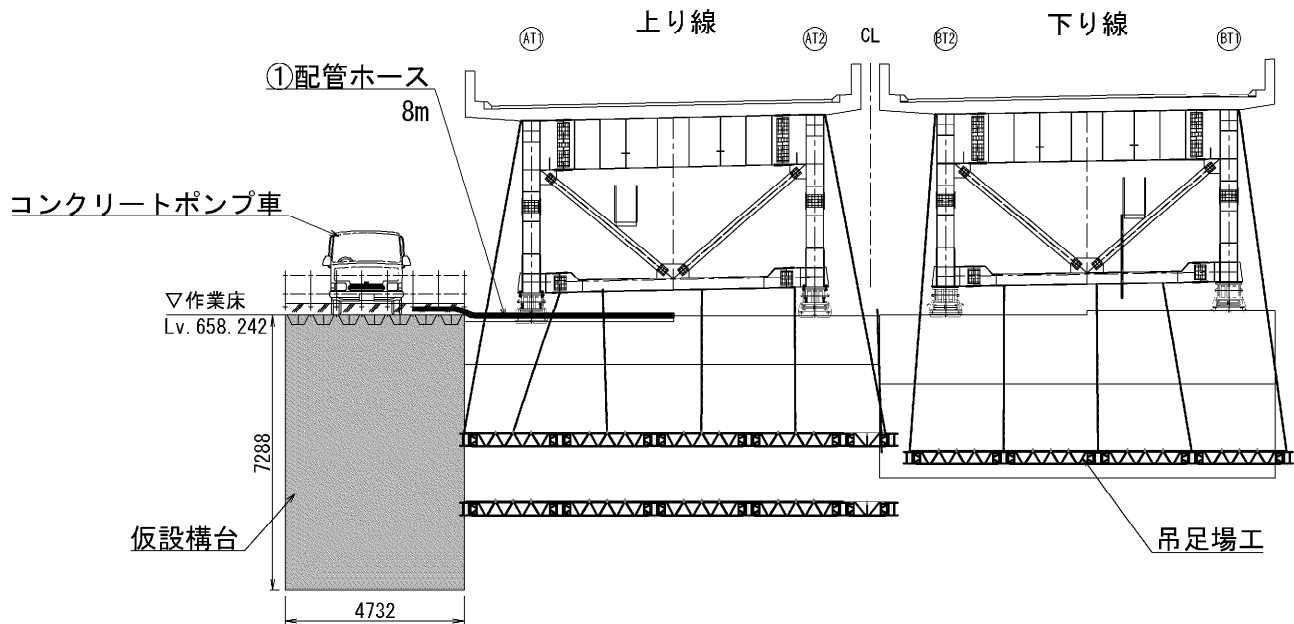
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台		
	支承取替工 施工要領図(その2) (参考図)		
縮尺	1:150	図面番号	490/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A1・A2橋台 支承取替工(段差防止構造) 施工要領図(参考図) S=1:200

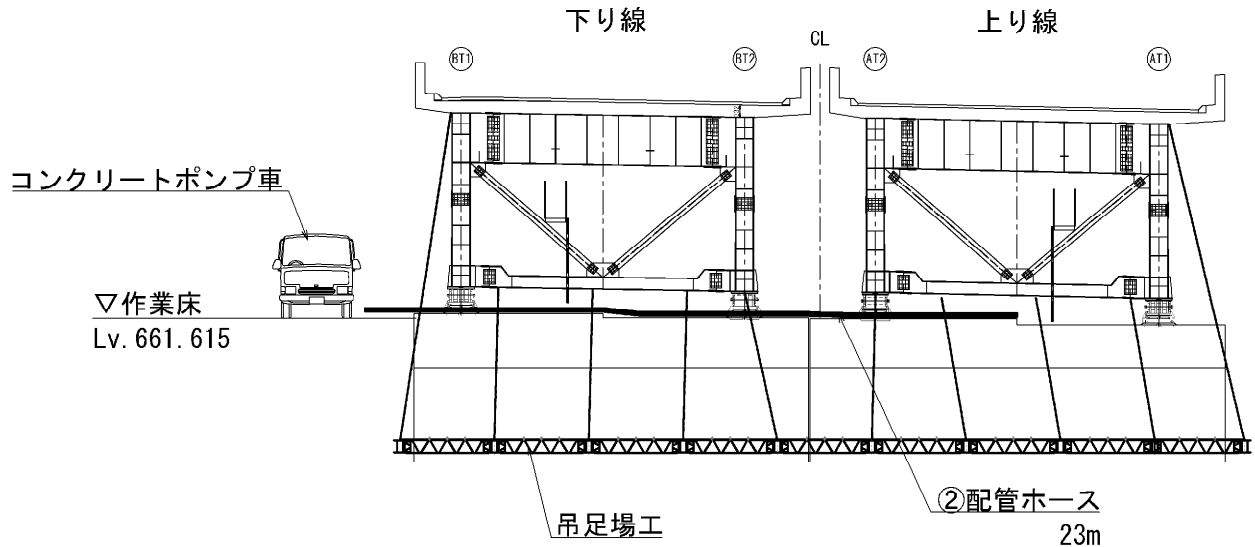
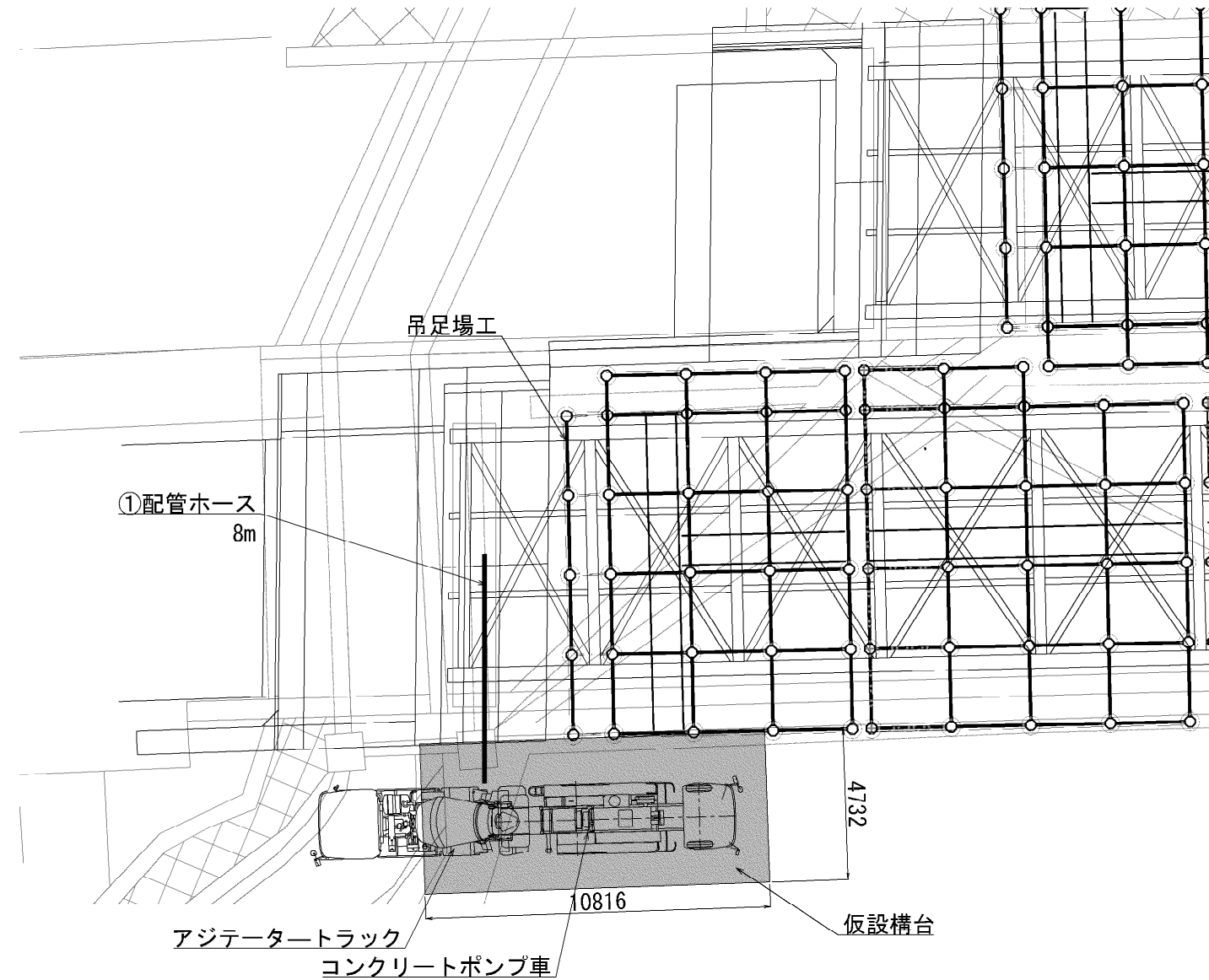
A1橋台  
正面図

コンクリートポンプ車 配管ホース

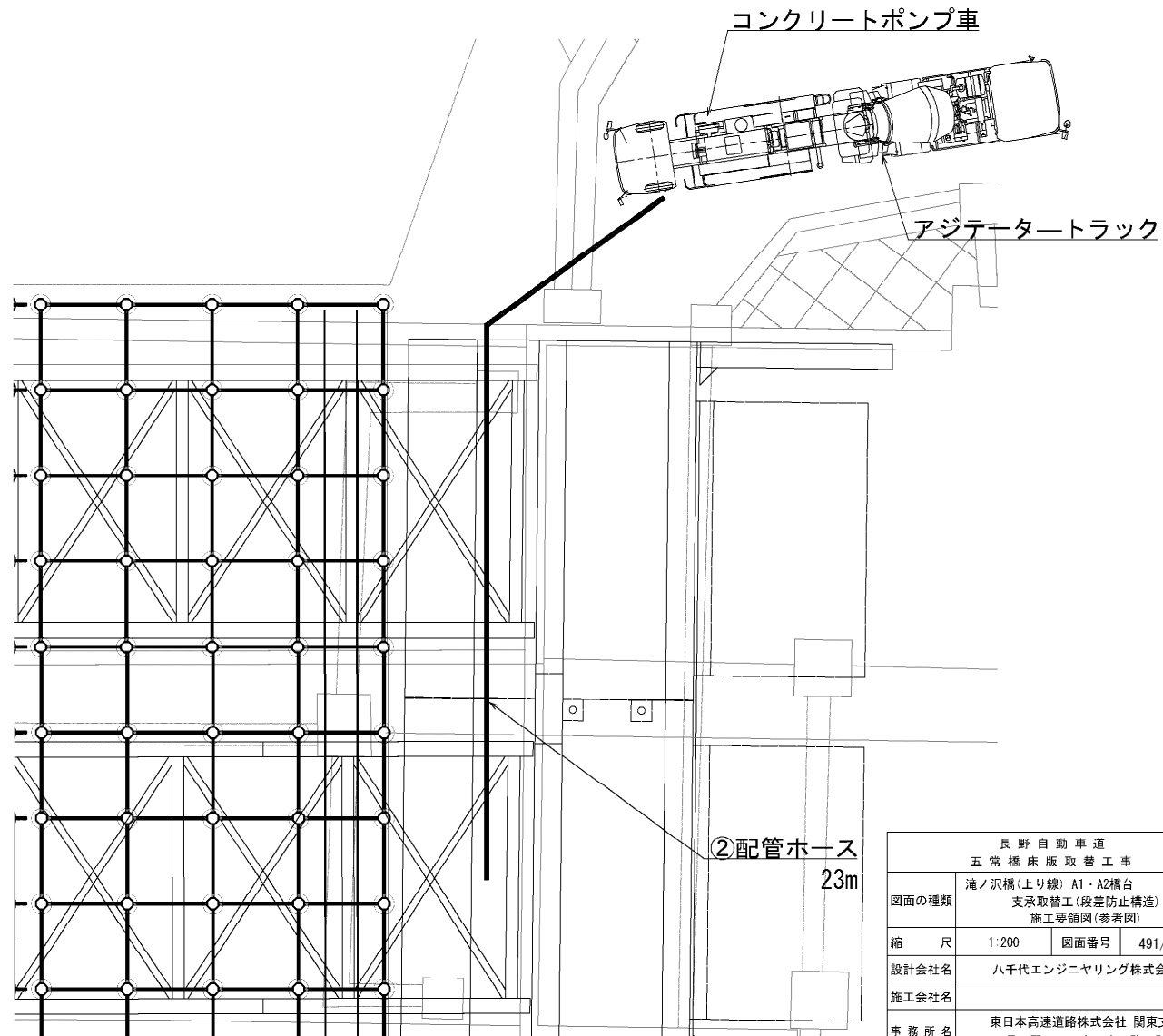
A2橋台  
正面図



平面図

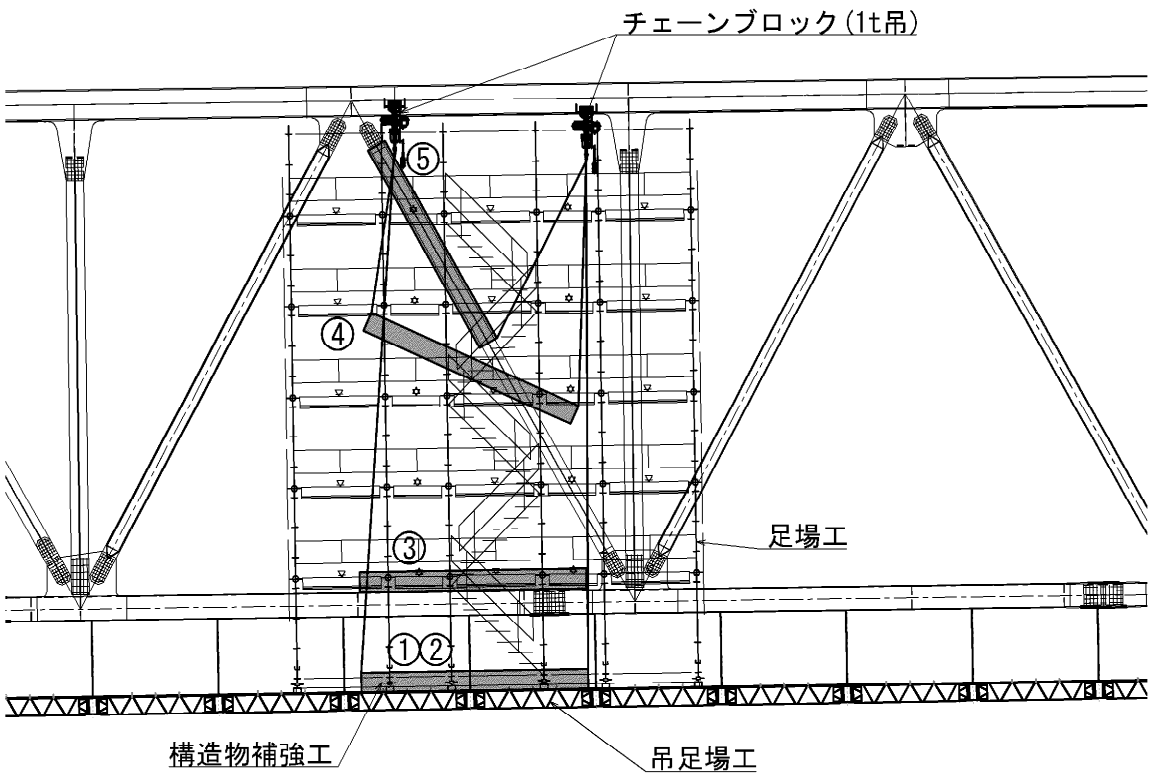


平面図

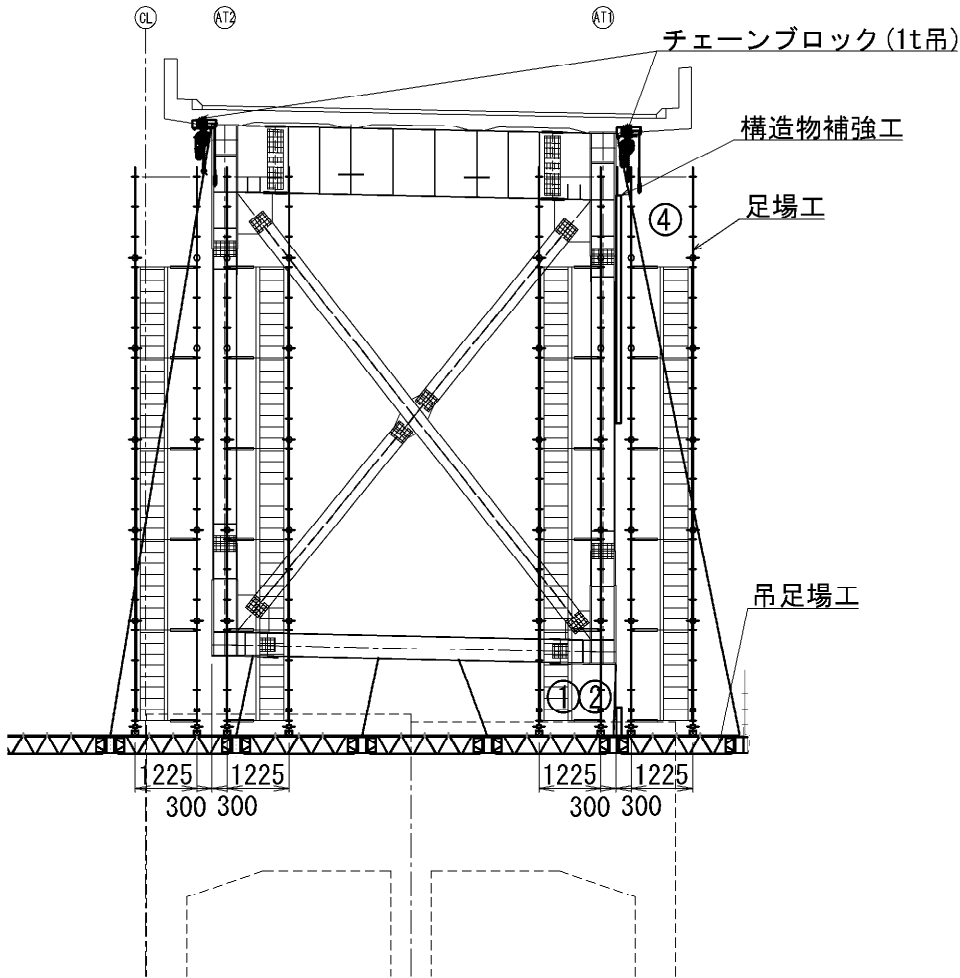


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1・A2橋台 支承取替工(段差防止構造) 施工要領図(参考図)		
縮尺	1:200	図面番号	491/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

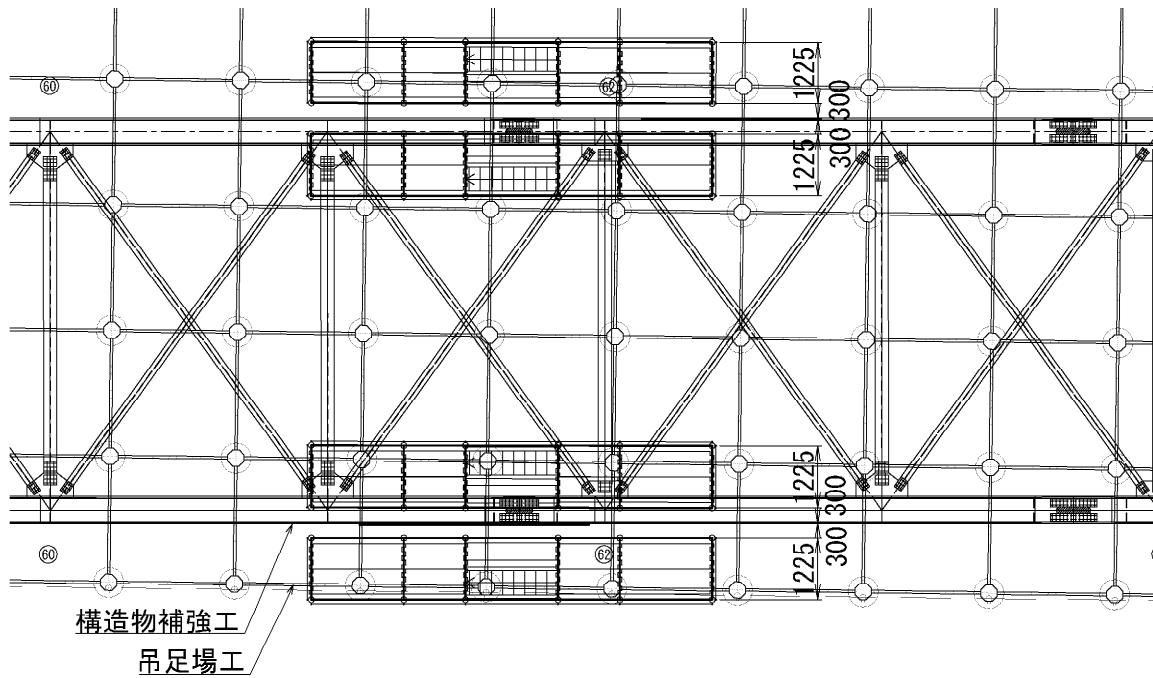
側面図



正面図



平面図



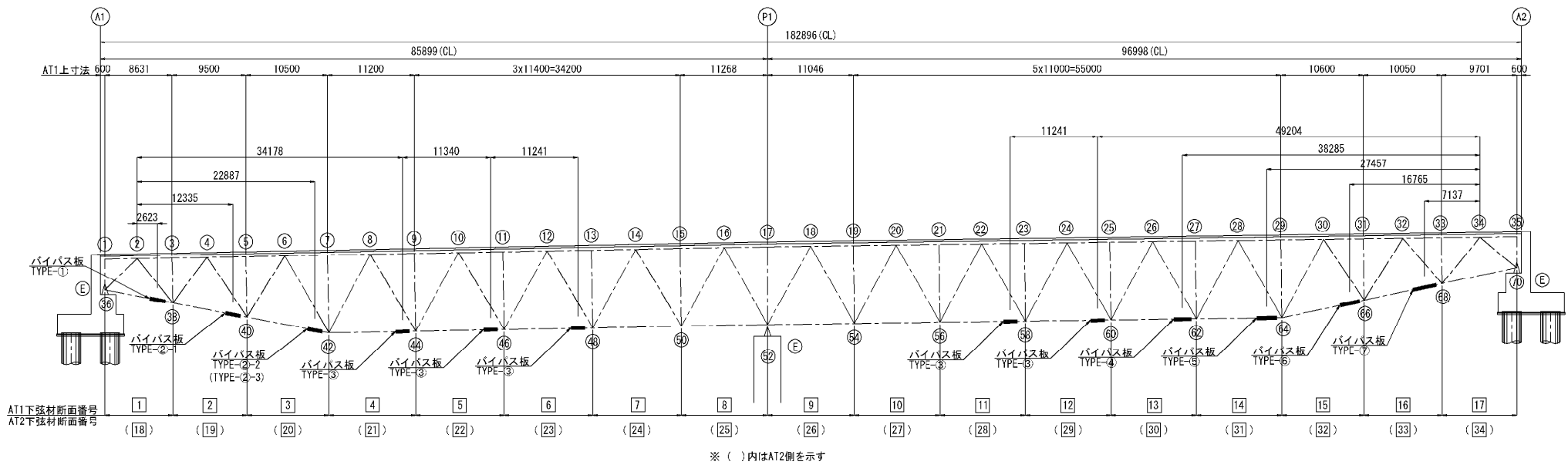
- 構造物補強工(当て板補強)部材搬入手順
- ① A2橋台下り線側から部材を搬入
  - ② 補強箇所下部に部材を移動
  - ③～⑤ 補強箇所までチェーンブロックで高さ調整

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強) 施工要領図 (参考図)		
縮 尺	1:150	図面番号	492/529
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 構造物補強工(当て板補強)バイパス板転用計画図(参考図) S=1:750

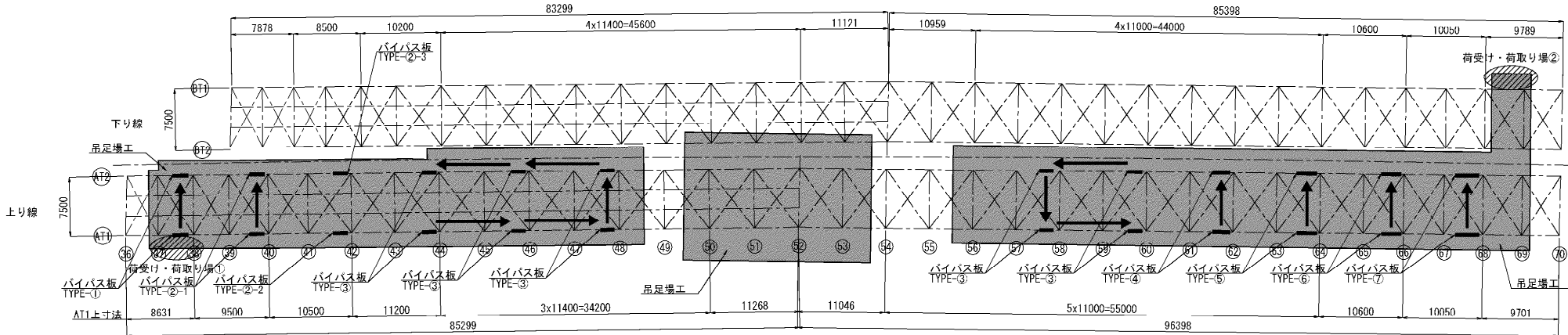
当て板補強 (バイパス板)

側面図



TYPE-①	2か所
TYPE-②-1	2か所
TYPE-②-2	1か所
TYPE-②-3	1か所
TYPE-③	10か所
TYPE-④	2か所
TYPE-⑤	2か所
TYPE-⑥	2か所
TYPE-⑦	2か所

平面図



→ バイパス板転用ルート

バイパス板転用計画(参考)

- TYPE-① 荷受け場① → 1 → 18 → 荷取り場①
- TYPE-②-1 荷受け場① → 1 → 18 → 荷取り場①
- TYPE-②-2 転用なし
- TYPE-②-3 転用なし
- TYPE-③ 荷受け場① → 4 → 5 → 6 → 23 → 22 → 21 → 荷取り場① → 荷受け場② → 29 → 28 → 11 → 12 → 荷取り場②
- TYPE-④ 荷受け場② → 13 → 30 → 荷取り場②
- TYPE-⑤ 荷受け場② → 14 → 31 → 荷取り場②
- TYPE-⑥ 荷受け場② → 15 → 32 → 荷取り場②
- TYPE-⑦ 荷受け場② → 16 → 33 → 荷取り場②

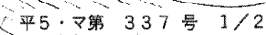
長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	構造物補強工(当て板補強)		
	バイパス板転用計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	493/529
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



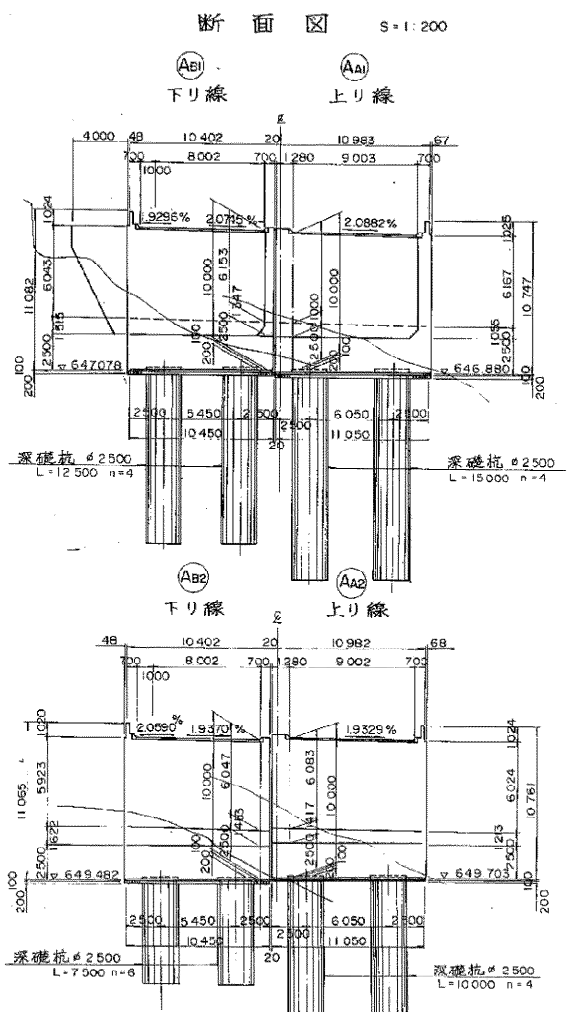
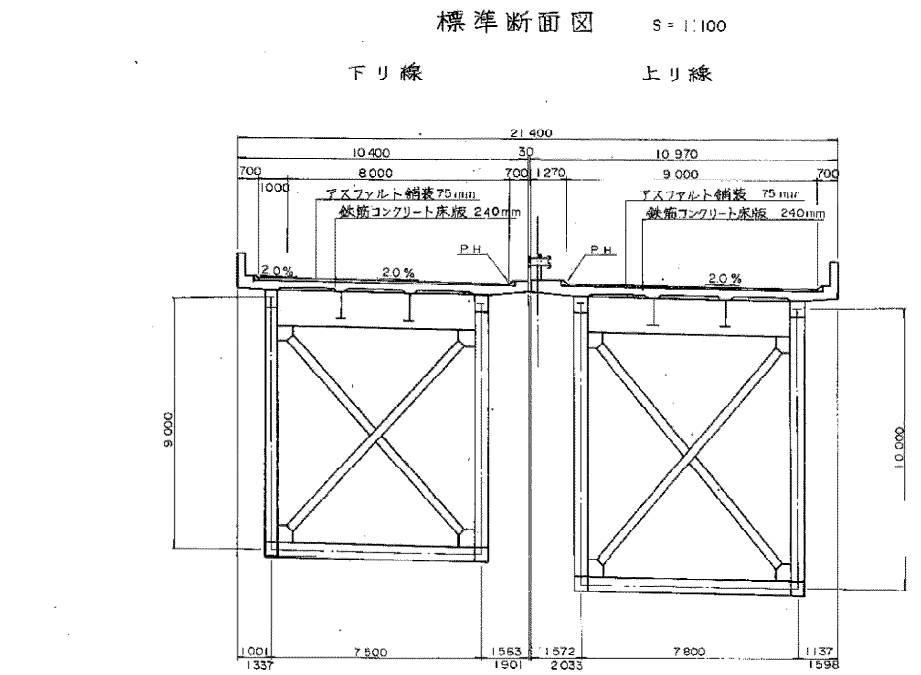
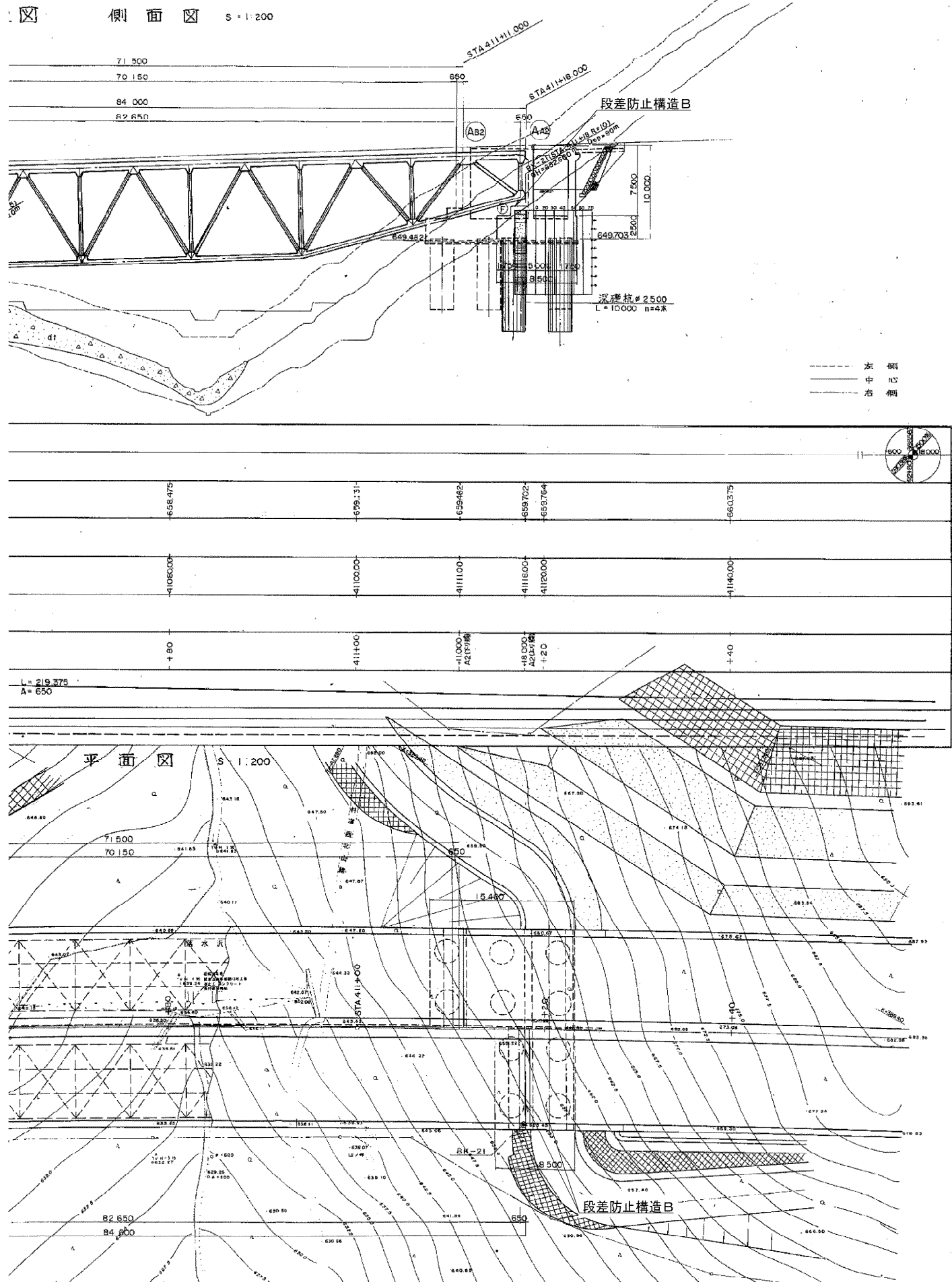
# 段差防止構造



DL = 630.000



長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	落水橋(上下線) 全体一般図(その1)		
縮 尺	-	図面番号	494/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

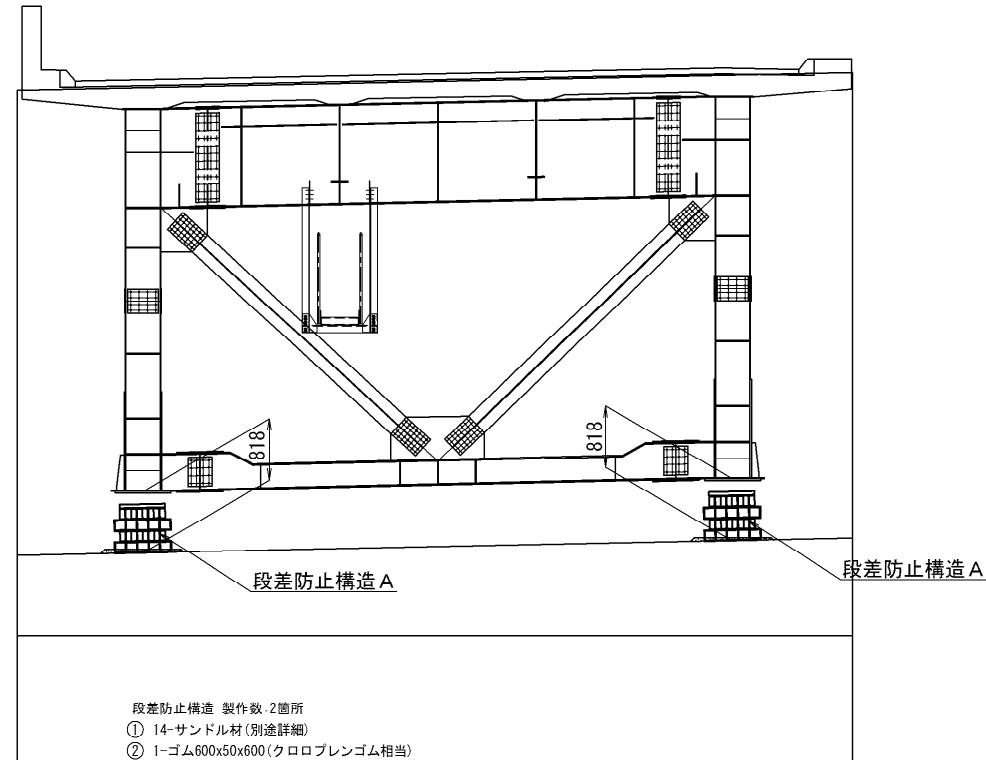
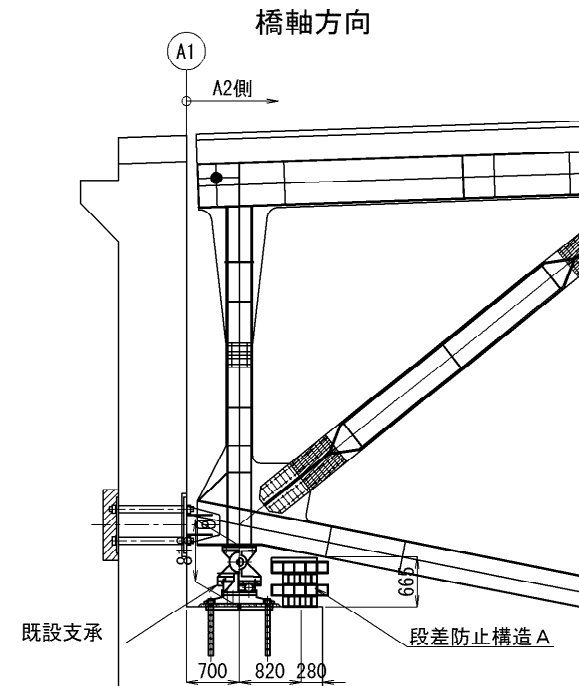


設計条件

橋長	15.750m	橋長	15.750m
道路区分	第1種3級A	設計速度	V=80km/h
荷重	TL-20, T-43	添物物	W=—kg/m
型式	鋼単軌トラス		
支間	8.2650m (下り線) 7.0150m (上り線)		
有効幅員	2 x 9.000m	斜角	90°00'
横断勾配	片勾配 2.0%		
縦断勾配	図示		
地震係数	水平震度 Kh=0.2 x 10 x 1.25=0.25 鉛直震度 Kv=±0		
コンクリート	上部工 Ck=240 kg/cm² 下部工 Ck=240 kg/cm²		
鉄筋	上部工 S535 下部工 S535		
適用式方	H2年2月	道路標示方	同解説
使用材質	SS400, SM490Y		

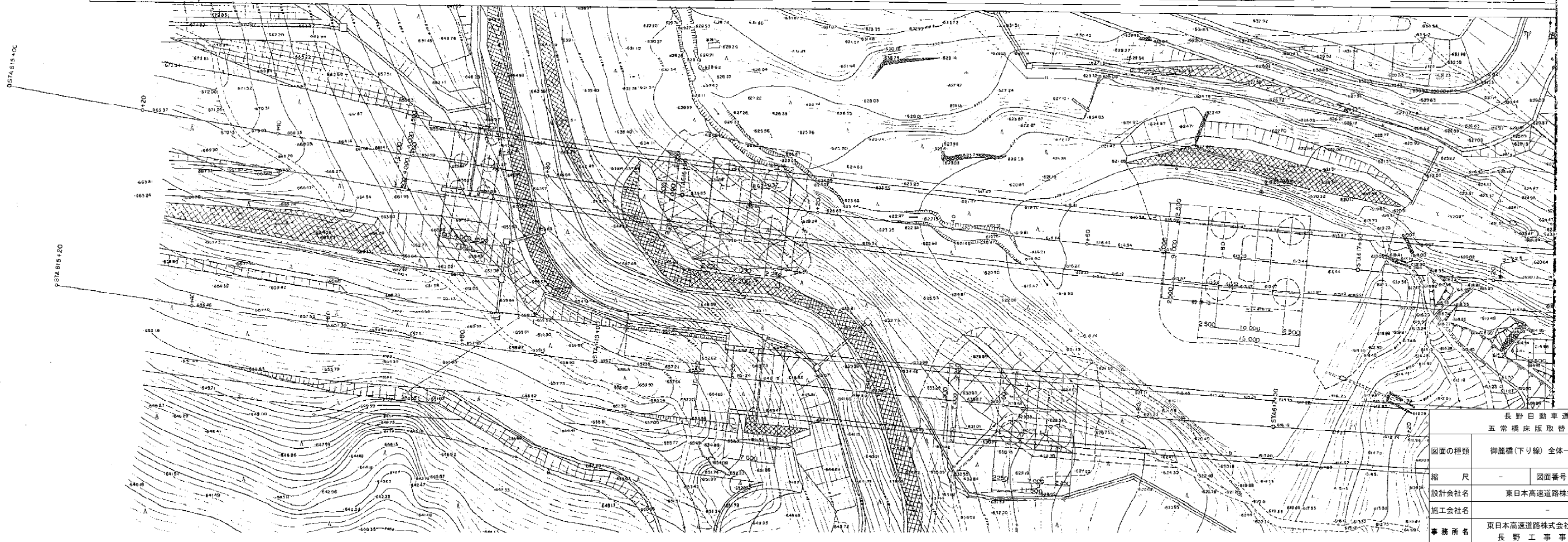
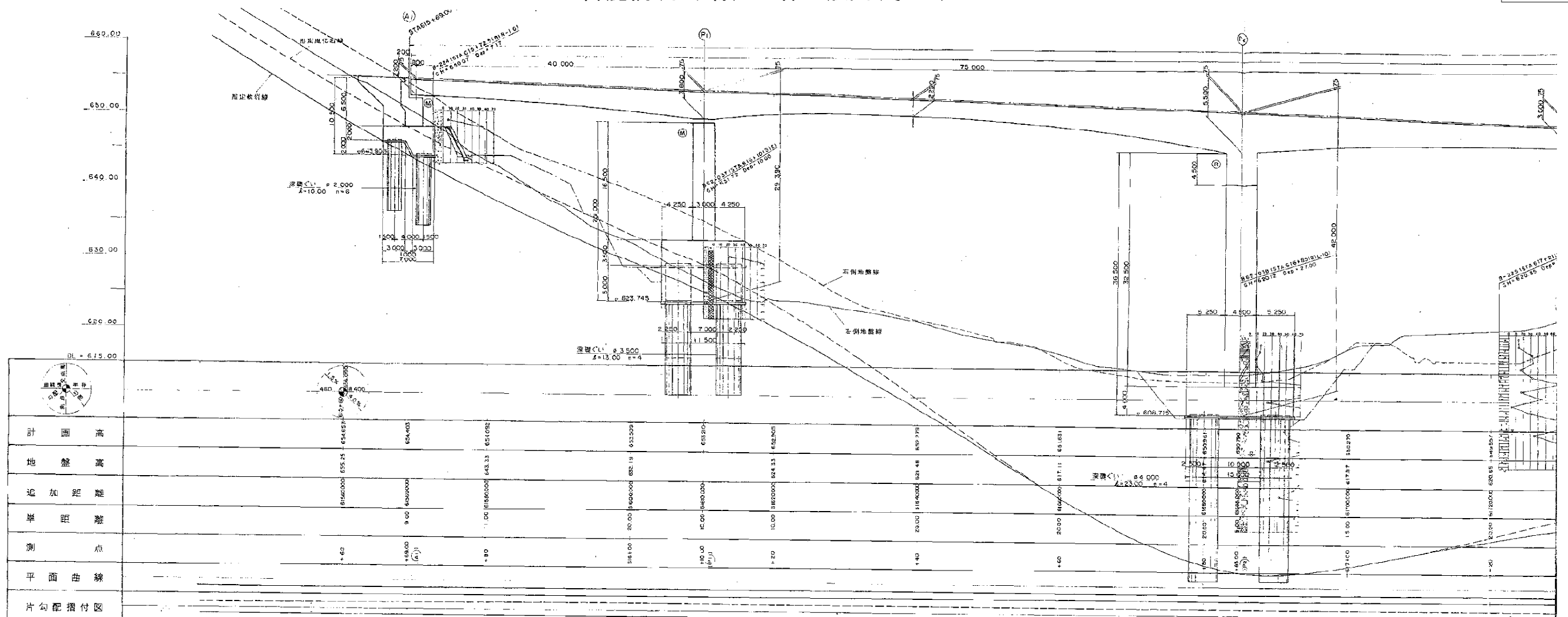
長野自動車道	
五常橋床版取替工事	
図面の種類	落水橋(上下線) 全体一般図(その2)
縮尺	— 図面番号 495/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	—
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

A1橋台  
直角方向



# 御麓橋(下り線) 全体一般図(その1)

497/529



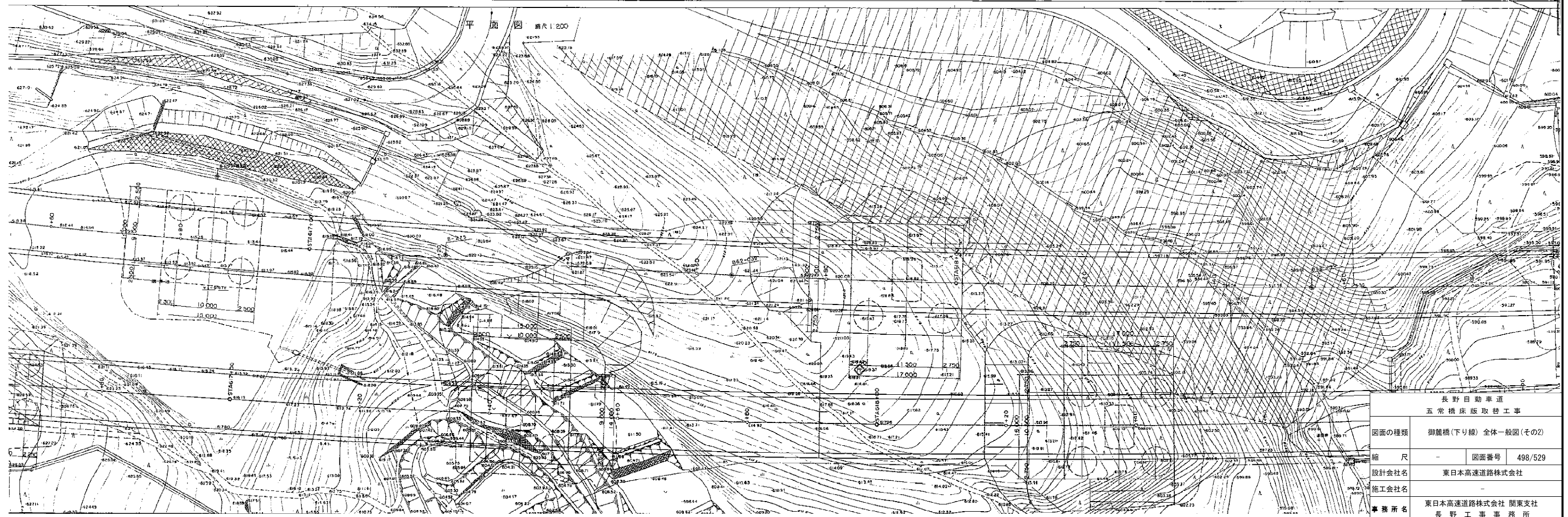
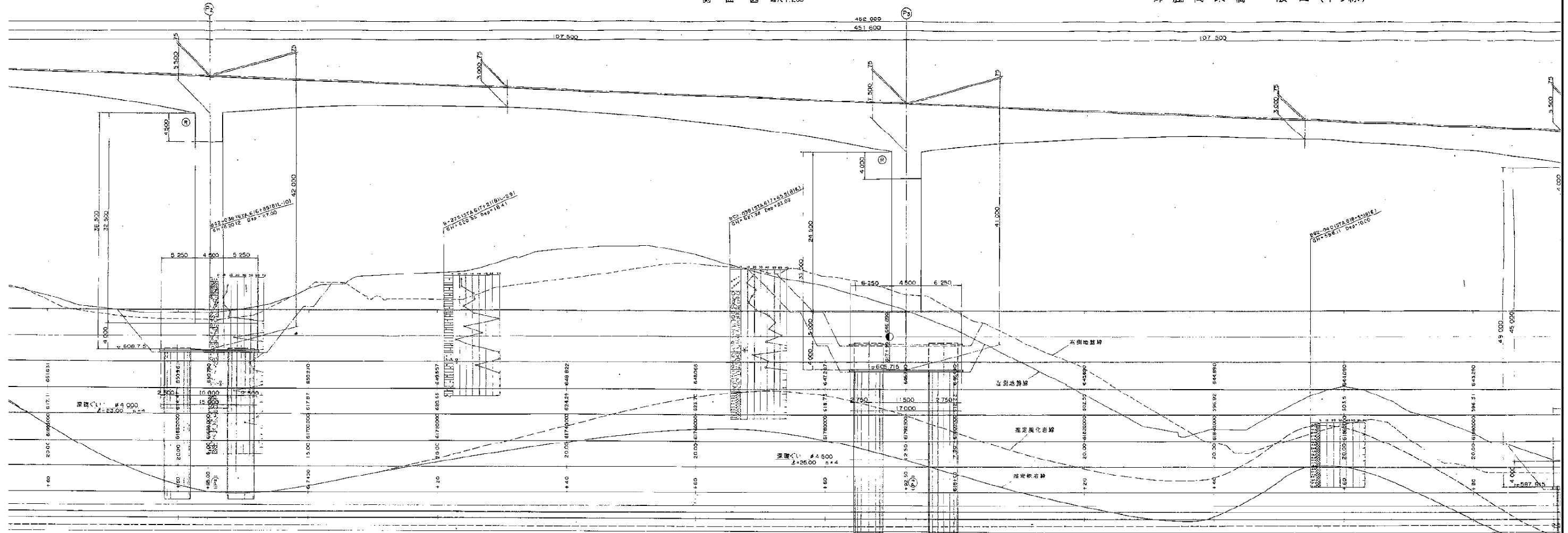
長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	御麓橋(下り線) 全体一般図(その1)
縮尺	図面番号 497/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所

御麓橋(下り線) 全体一般図(その2)

側面図 縮尺 1:200

御麓高架橋一般図(下り線)

498/529



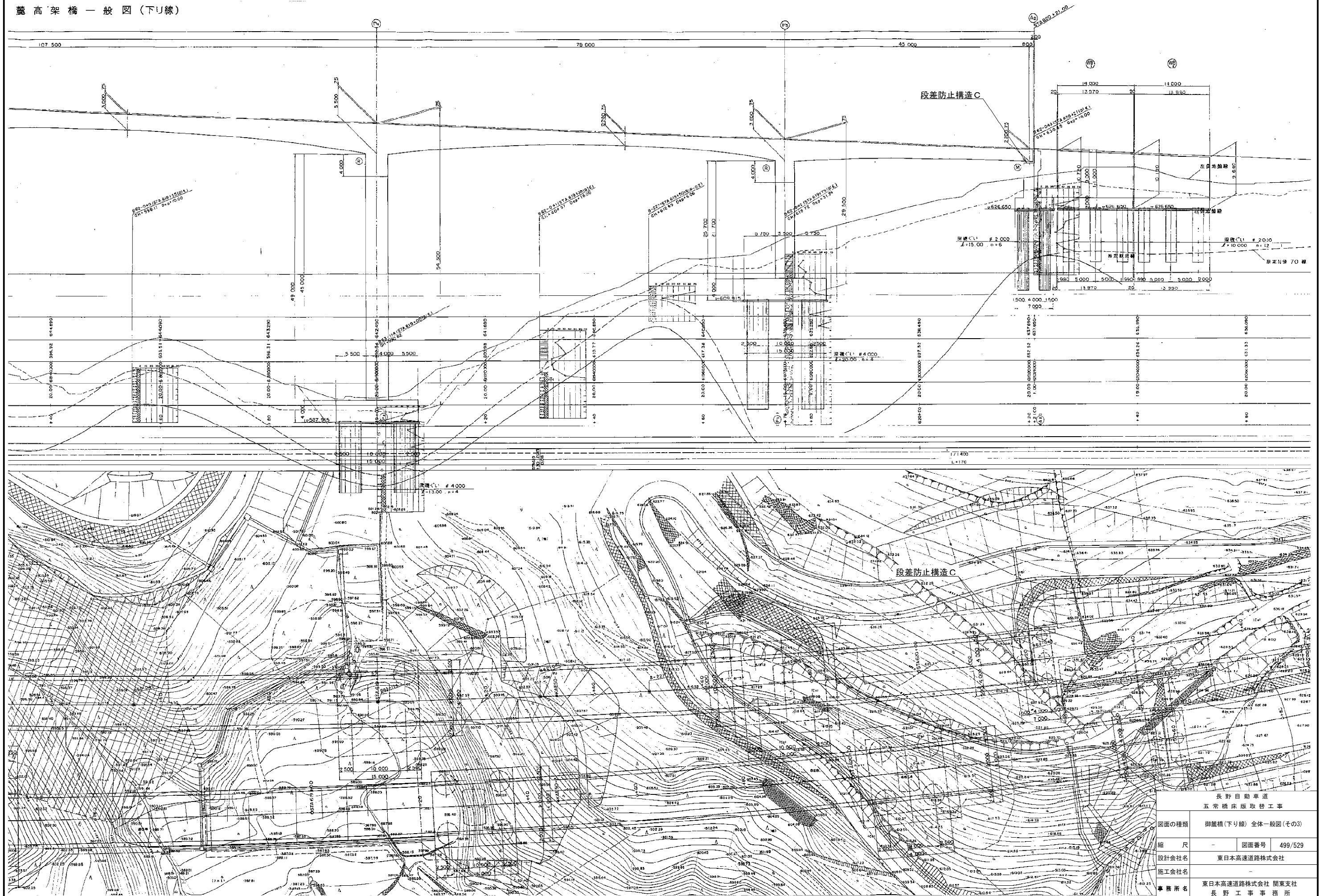
長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	御麓橋(下り線) 全体一般図(その2)
縮尺	図面番号 498/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工事事務所



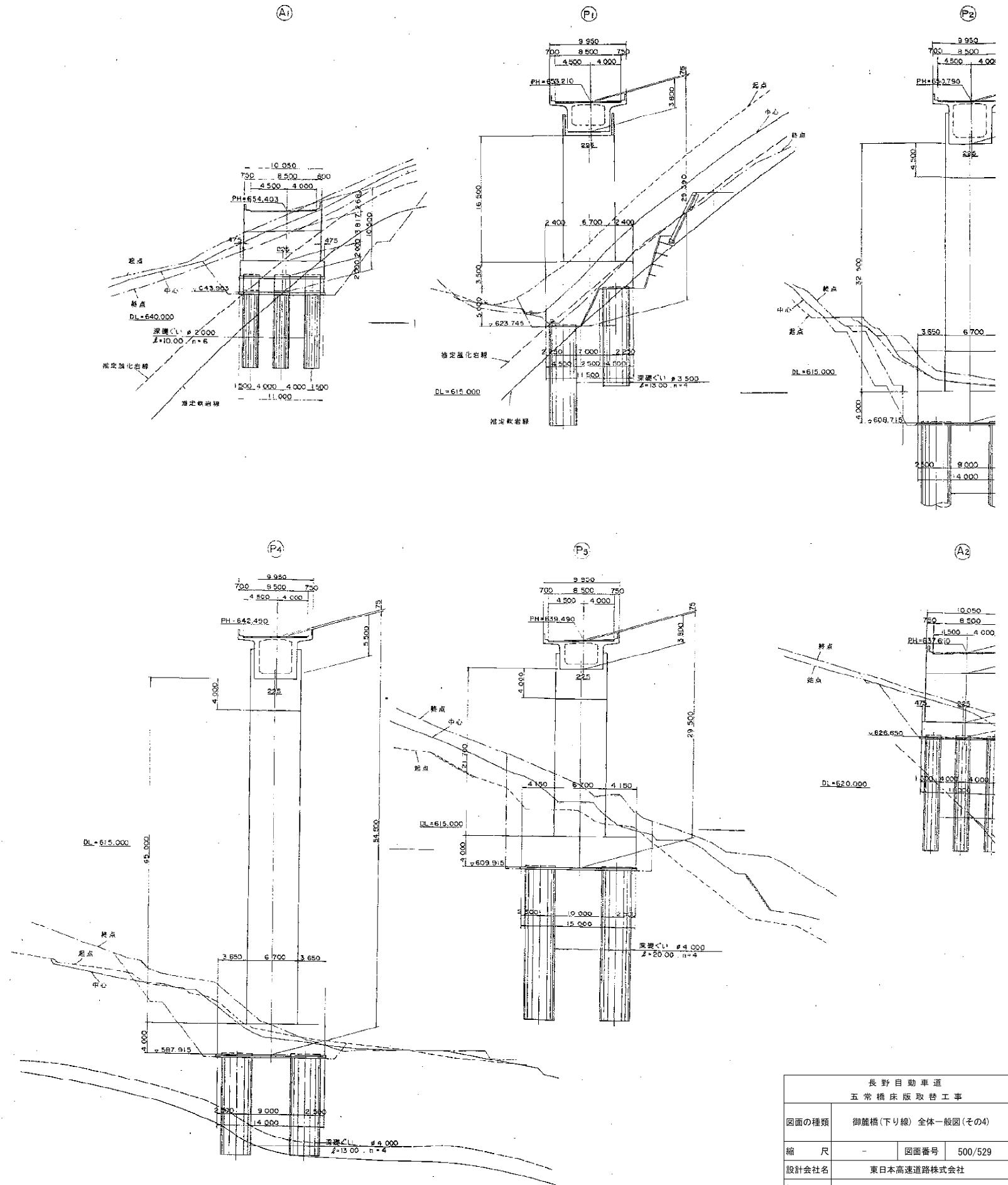
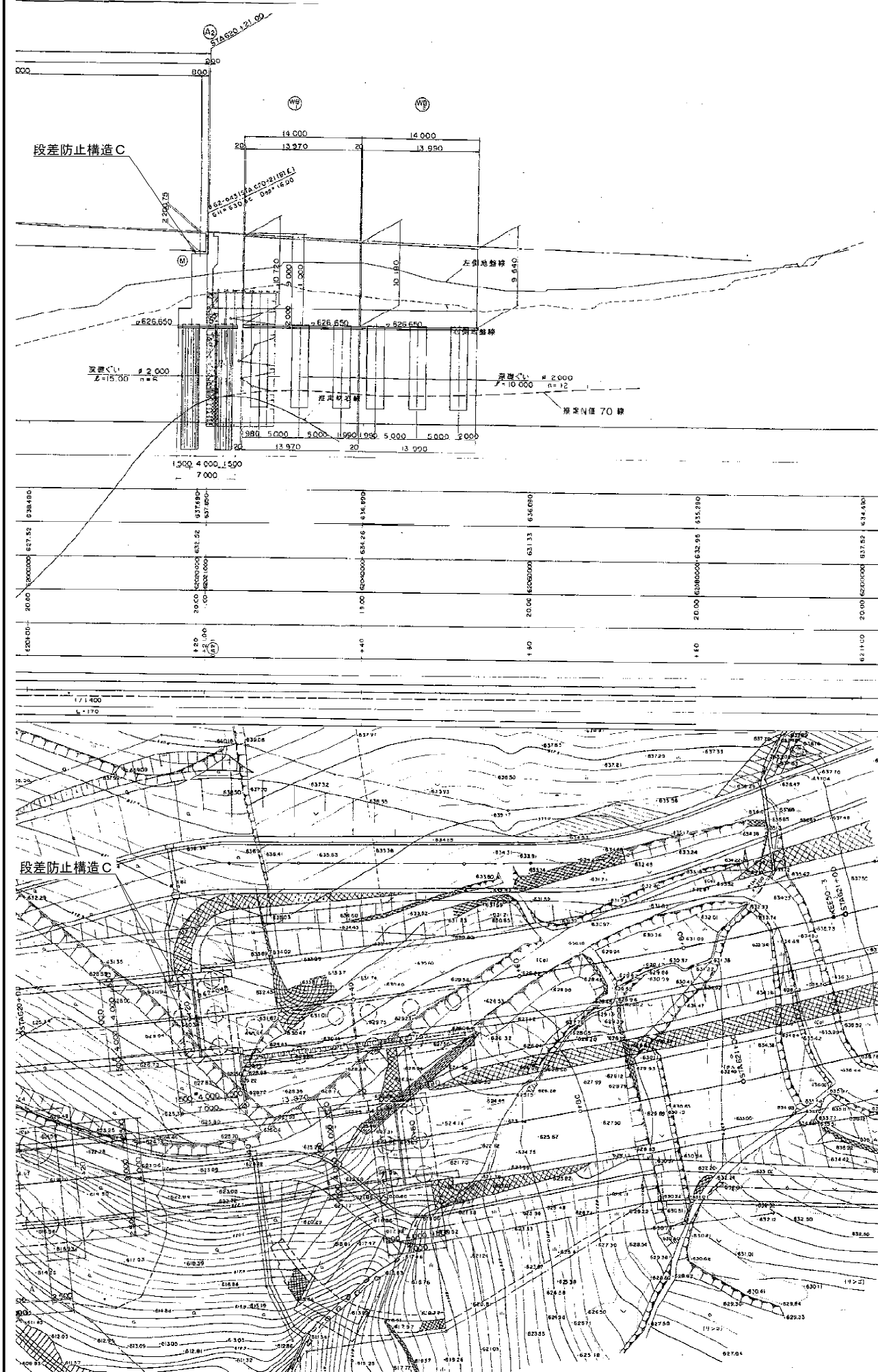
# 御麓橋(下り線) 全体一般図(その3)

499/529

麓高架橋一般図(下り線)

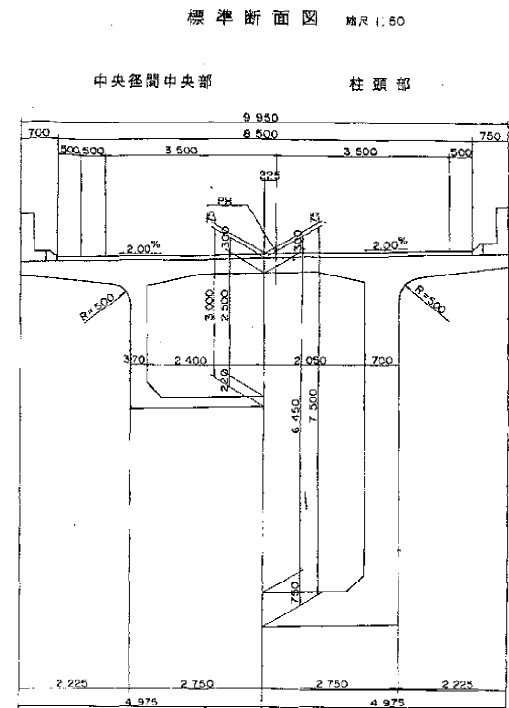
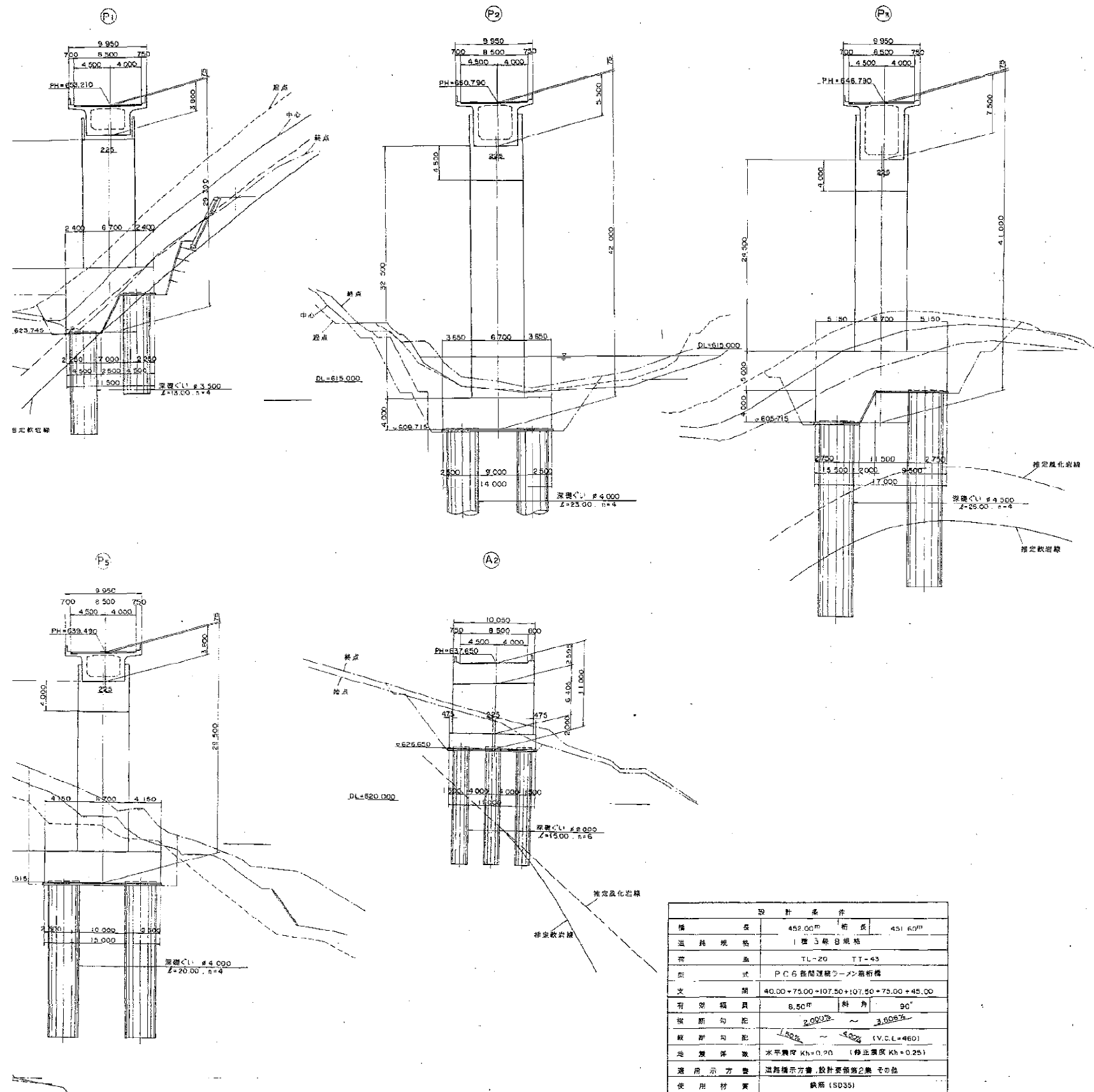


長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	御麓橋(下り線) 全体一般図(その3)
縮尺	図面番号 499/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所



長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	御麓橋(下り線) 全体一般図(その4)
縮尺	図面番号 500/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所



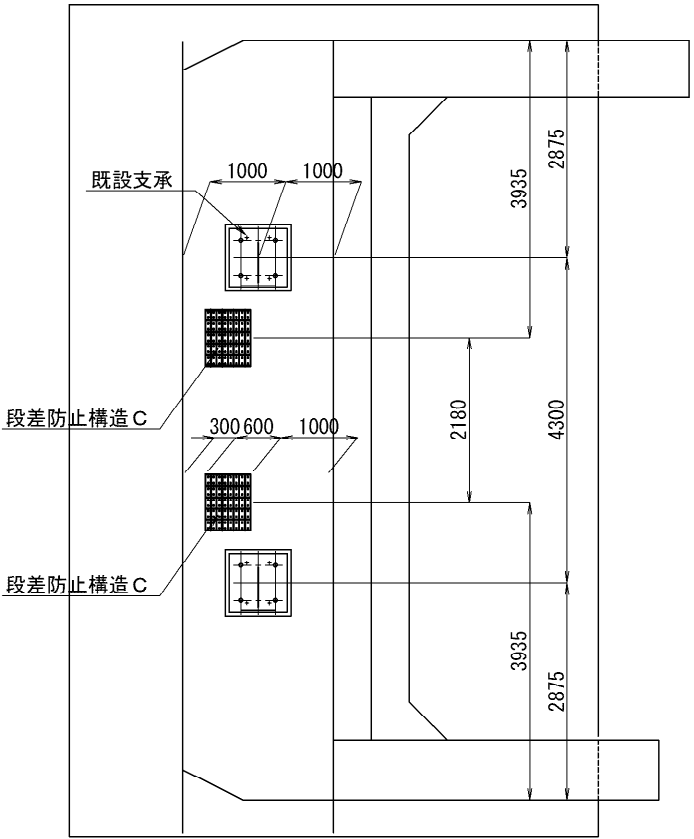
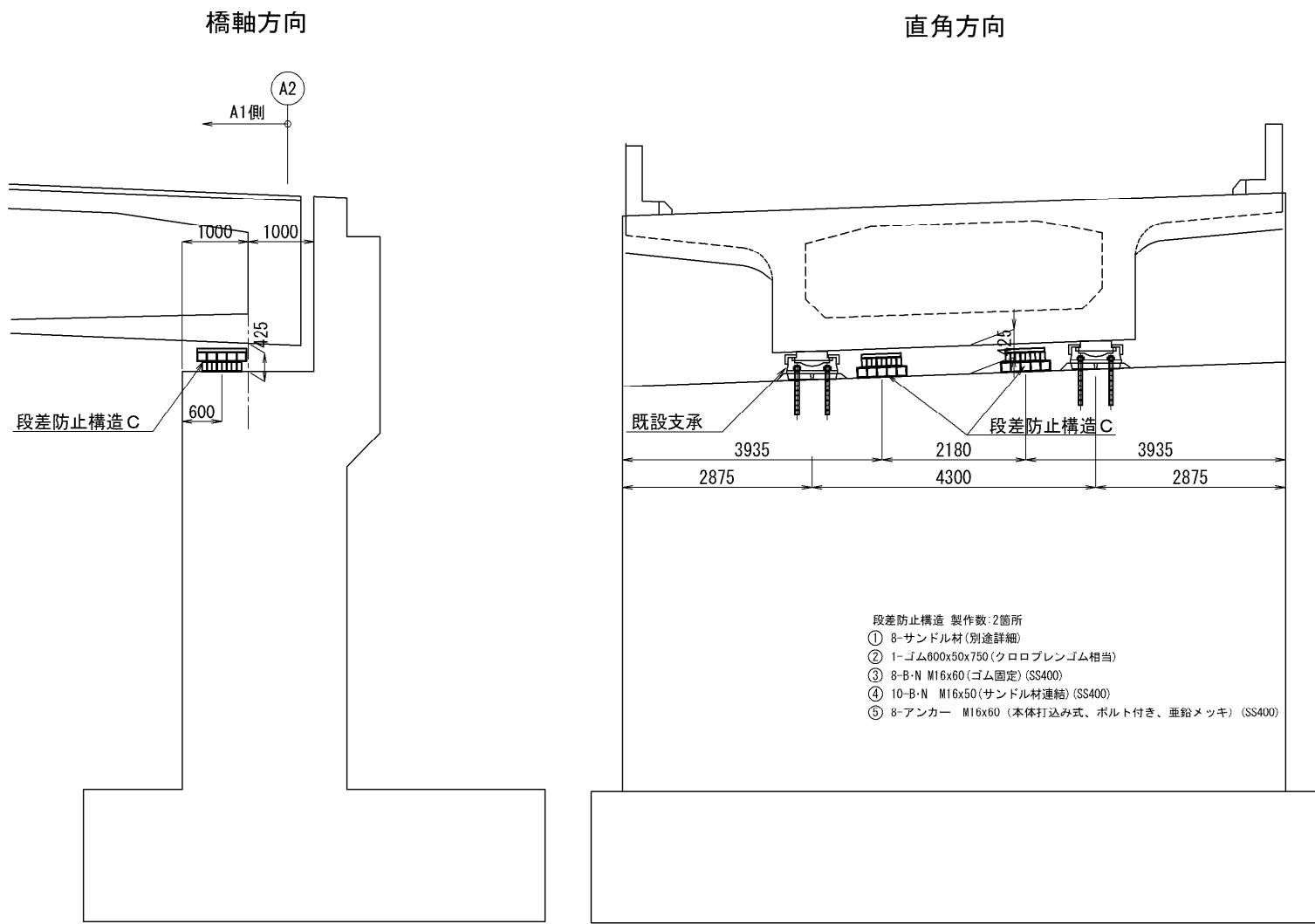


設計条件			
橋長	452.00m	桁長	451.60m
道路規格	I 第3級日規格		
橋軸	TL-20 TT-43		
形式	PC6 長間渡りノン筋桁橋		
支間	40.00+75.00+107.50+107.50+75.00+45.00		
有効橋長	8.50m	斜角	90°
縦断勾配	2.090% ~ 3.608%		
横断勾配	1.50% ~ 5.00% (V.C.L=460)		
基礎保護	水平風圧 Kh=0.90 (修正風圧 Kh=0.25)		
適用示方書	道路橋示方書, 設計要領第2巻 その他		
使用材質	鉄筋 (SD35)		

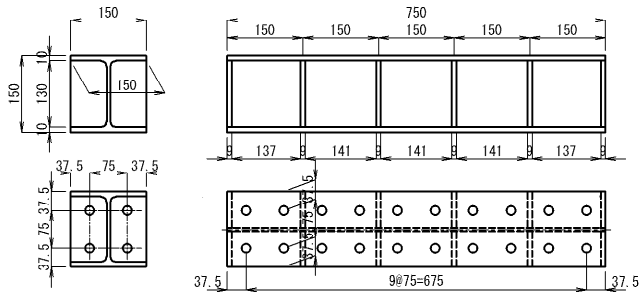
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	御麓橋(下り線) 全体一般図(その5)		
縮尺	-	図面番号	501/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台

平面図

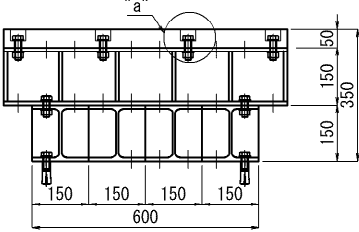


サドル詳細図 S=1:15



サドル組立図 S=1:20

A2橋台側 (橋軸方向)



注 記

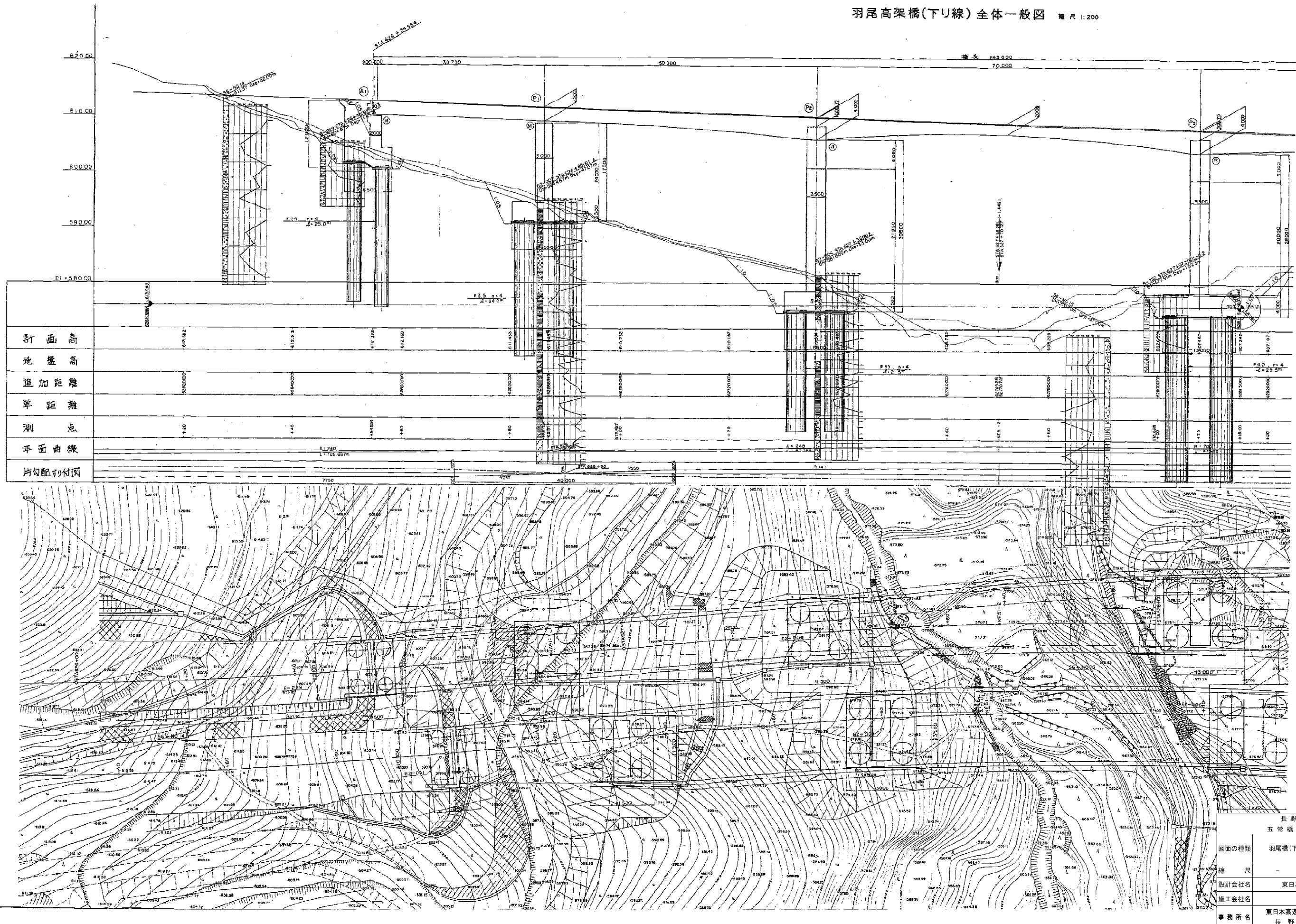
1. 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

3. 部材は全て溶融亜鉛メッキを施すものとする。ただし、(亜鉛の付着量は、JIS H 8041 HZD177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は、JIS H 8041 HZD149とする。)

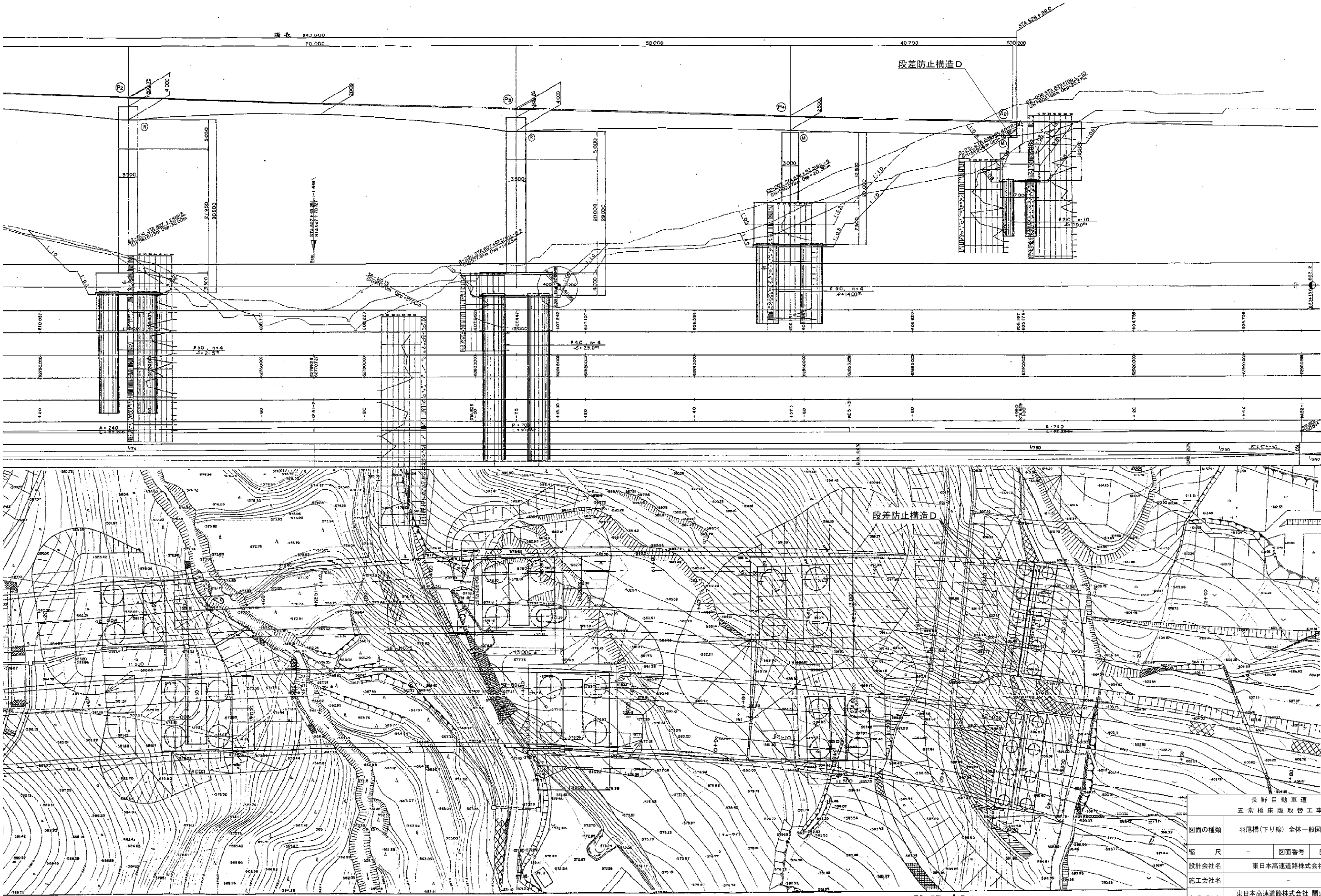
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	御麓橋(下り線) 段差防止構造 C 配置図		
縮 尺	図示	図面番号	502/529
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

羽尾高架橋(下り線) 全体一般図 縮尺 1:200

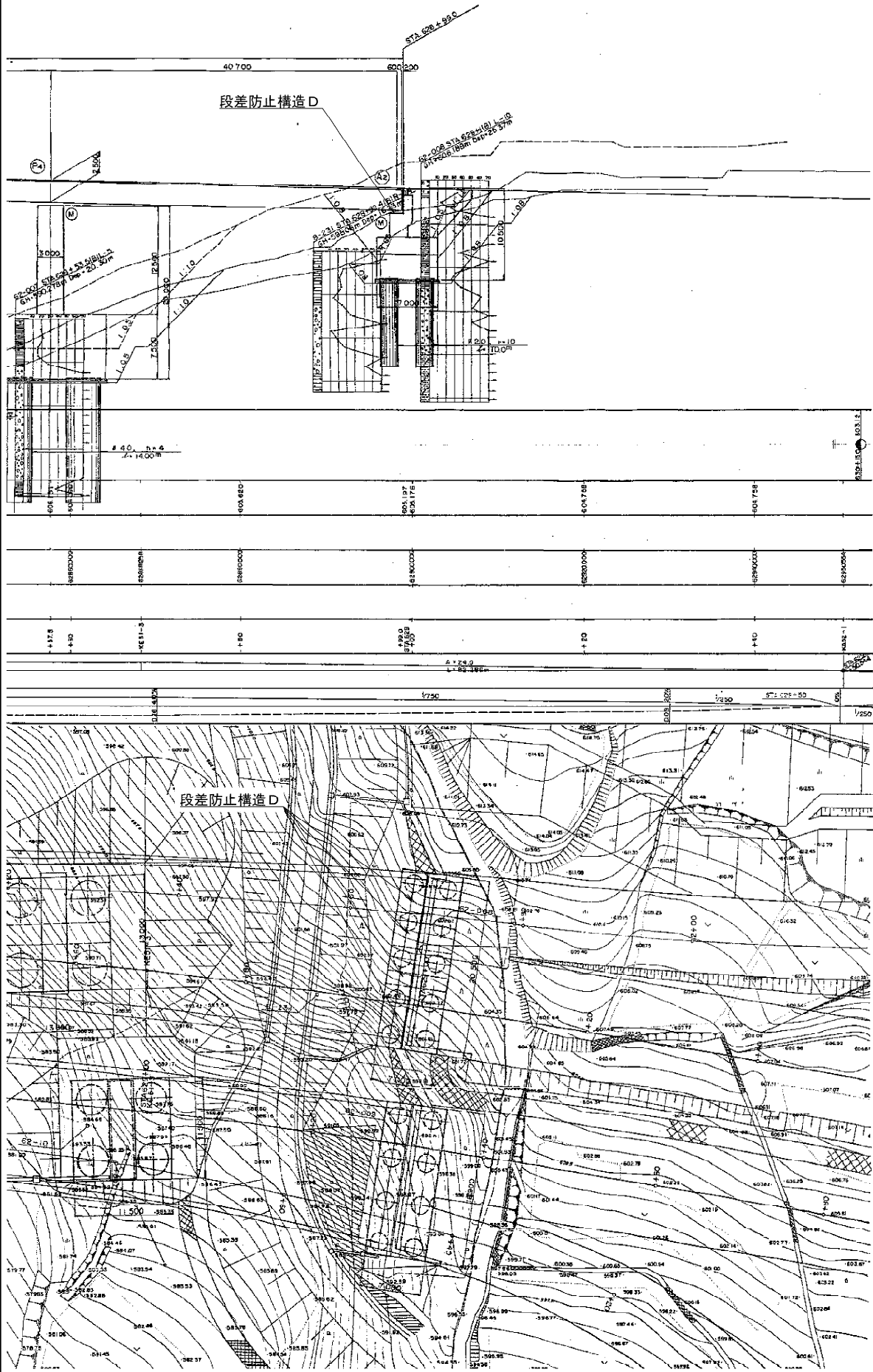


長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	羽尾橋(下り線) 全体一般図(その1)
縮尺	図面番号 503/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

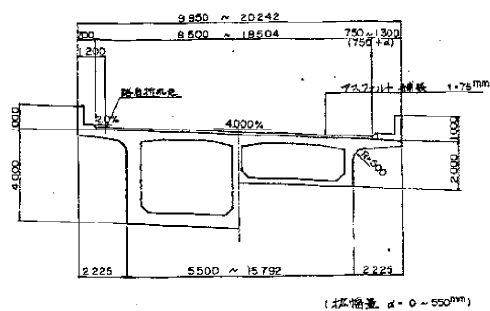
羽尾高架橋(下り線) 全体一般図 縮尺 1:200



長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	羽尾橋(下り線) 全体一般図(その2)
縮尺	図面番号 504/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

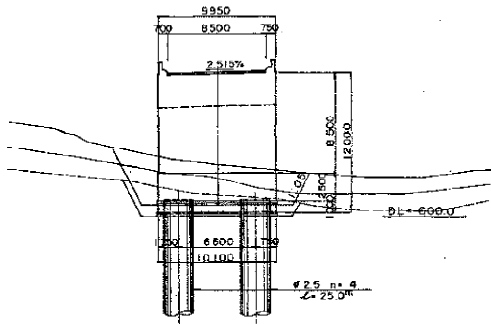


標準断面図 S=1:100



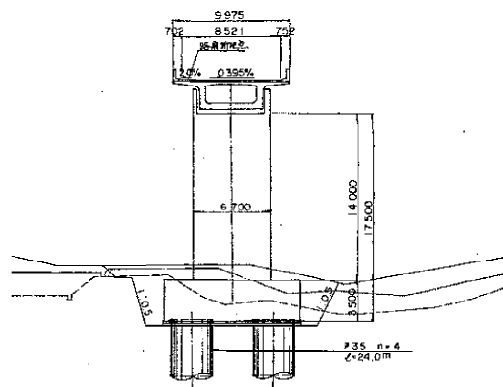
設計条件	
橋 長	243.000m
道路規格	1種 3級 B種橋
車 道	TL-20, TT-43
車 式	上部工: PU工 (橋脚連続ラーメン橋脚橋) 下部工: 連続式橋台, 壁式橋脚, 基礎杭
支 間	30.700m + 50.000m + 70.000m + 50.000m + 40.700m
有効橋長	8.500m ~ 19.504m
横断勾配	4.000%
縦断勾配	4.000% ~ 1.412%

A1 橋台

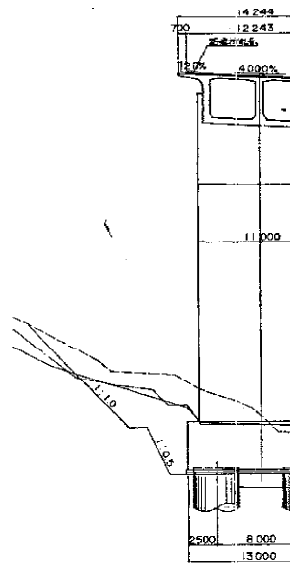


断面図 S=1:200

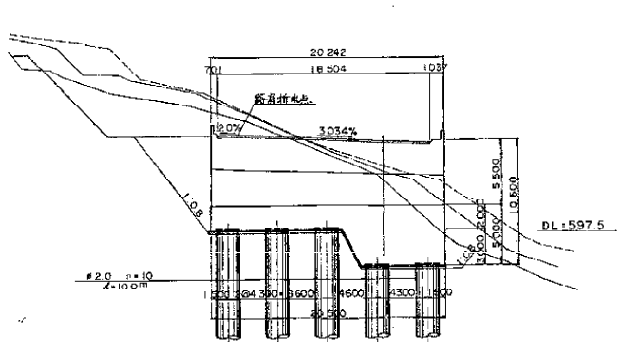
P1 橋脚



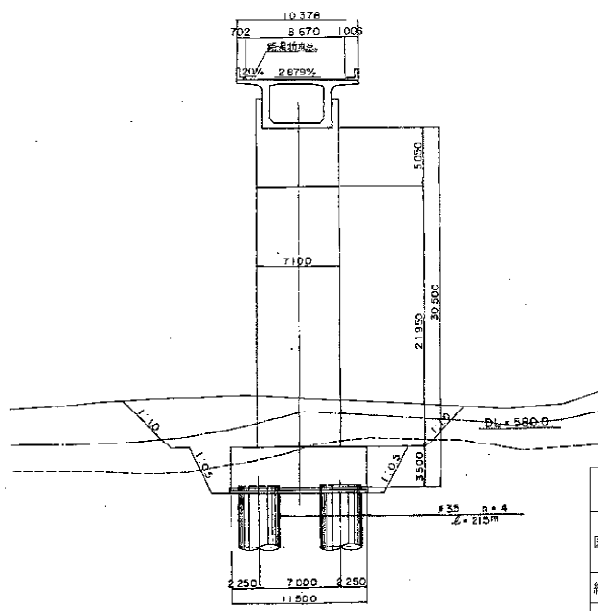
P3 橋脚



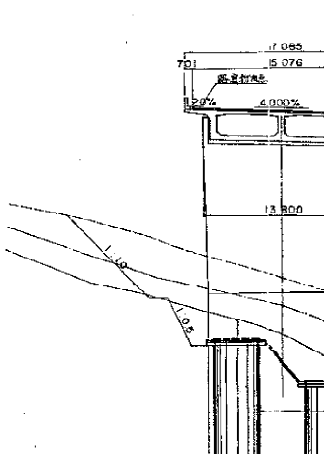
A2 橋台



P2 橋脚

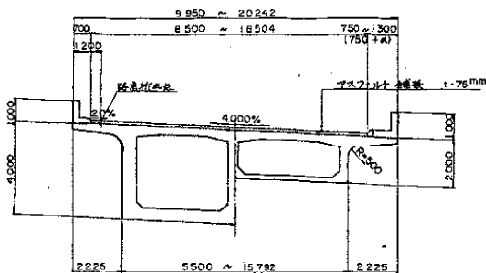


P4 橋脚



長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	羽尾橋(下り線) 全体一般図(その3)
縮 尺	図面番号 505/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

標準断面図 5:1,100

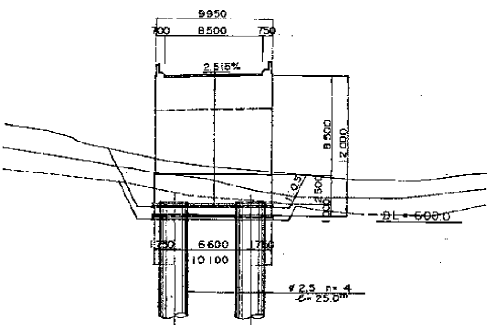


(注: 幅員 24.300m)

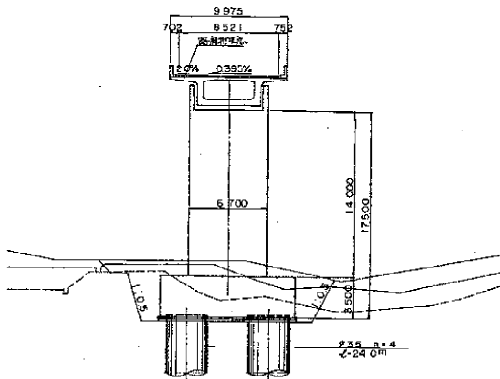
設計条件	
橋長	243.000m
道路規格	1種 3級 5規格
形式	T-20, TT-43
工式	上部工: PC5 5間連続ラーメン橋 下部工: 1径円橋台, 2径円橋脚, 保堤杭
変位	30.700m + 50.000m + 70.000m + 50.000m + 40.700m
有効幅員	8.500m ~ 18.504m
横断勾配	4.000%
縦断勾配	1.250% ~ 1.412%

断面図 5:1,200

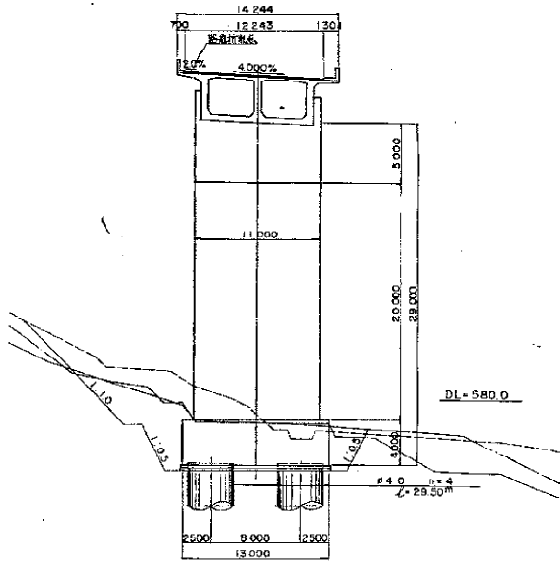
A1 橋台



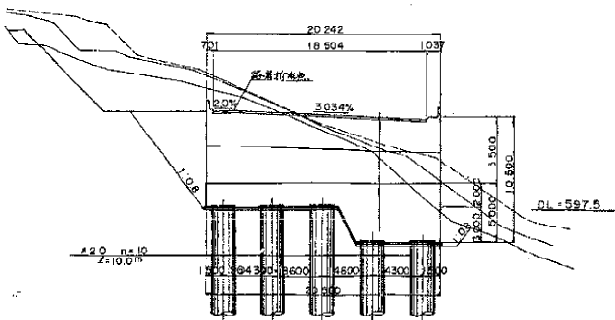
P1 橋脚



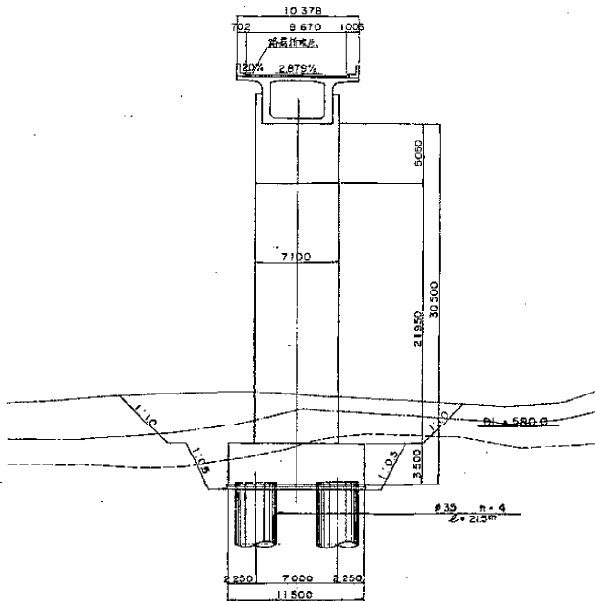
P3 橋脚



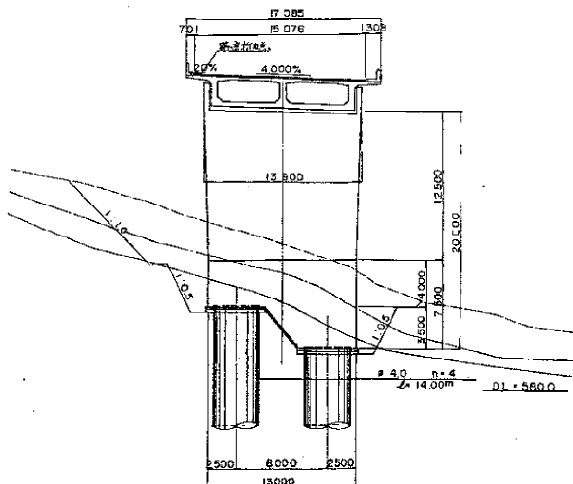
A2 橋台



P2 橋脚



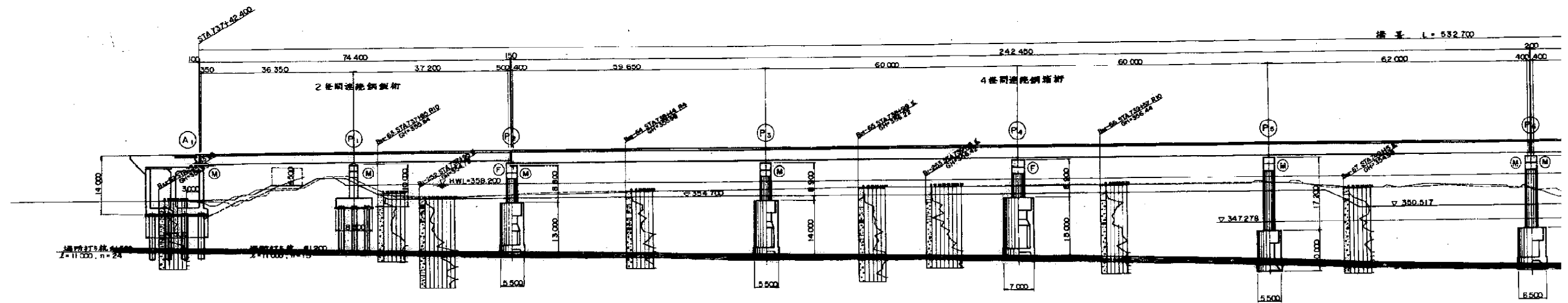
P4 橋脚



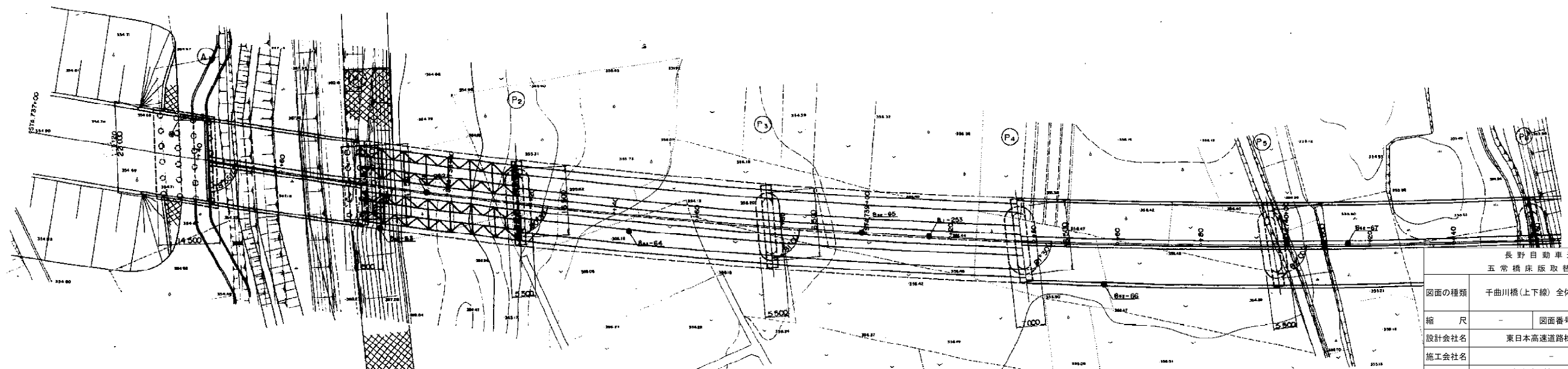
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	羽尾橋(下り線) 全体一般図(その4)		
縮尺	-	図面番号	506/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



側面圖 縮尺 1:400

[illegible]

平面图 縮尺 1:400

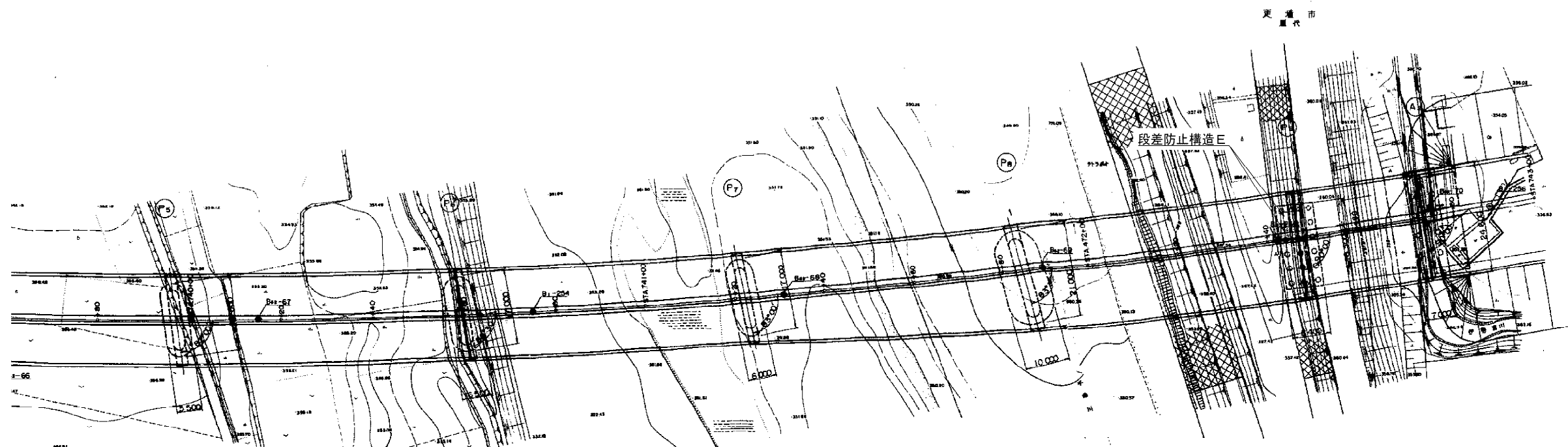


長野自動車道  
五常橋床版取替工事

図面の種類	千曲川橋(上下線) 全体一般図(その1)		
縮 尺	-	図面番号	508/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



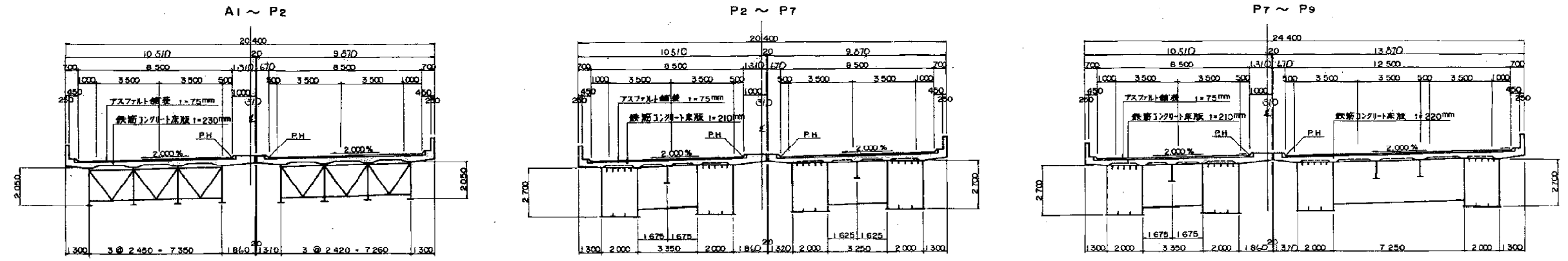
千曲川橋 全体一般図



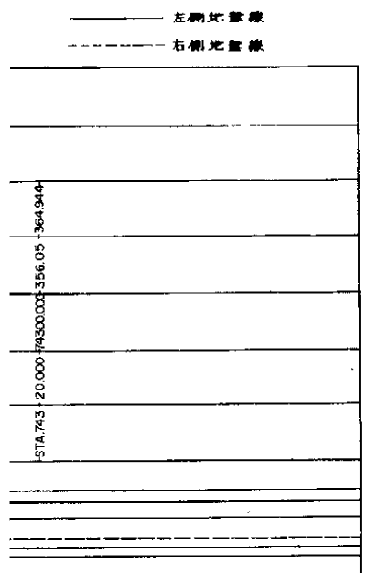
長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	千曲川橋(上下線) 全体一般図(その2)		
縮 尺	-	図面番号	509/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野市事務所		

千曲川橋(上下線) 全体一般図(その3)

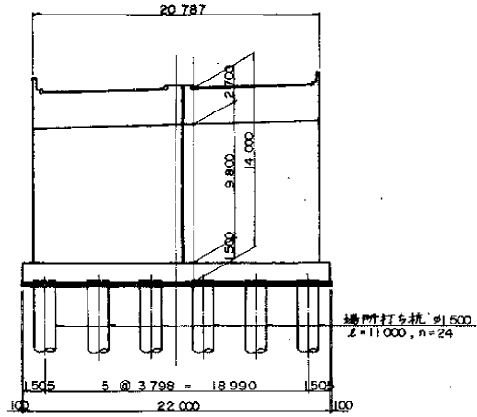
標準断面図 縮尺 1:100



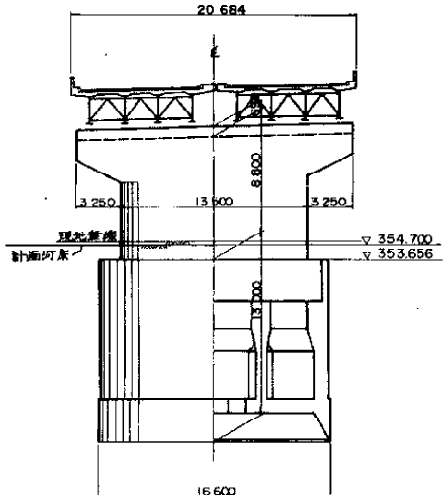
正面図 縮尺 1:200



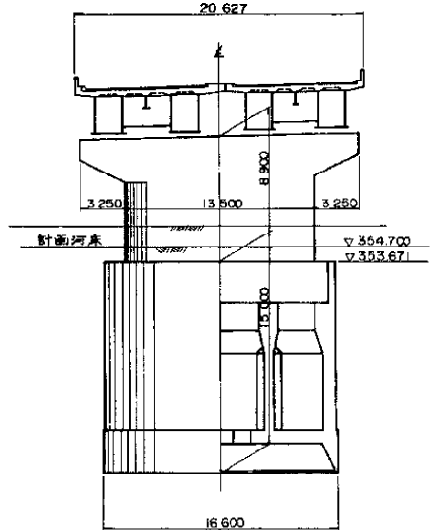
A1 橋台



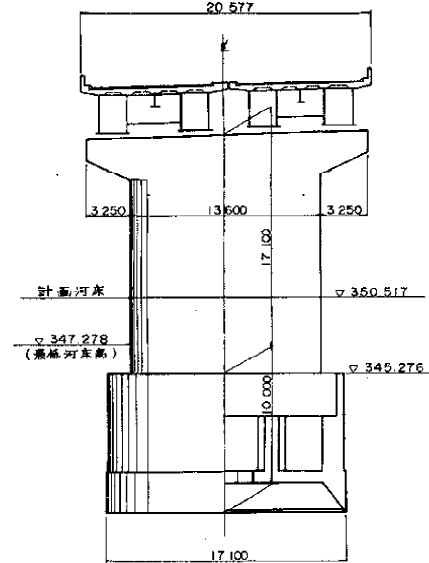
P2 橋脚



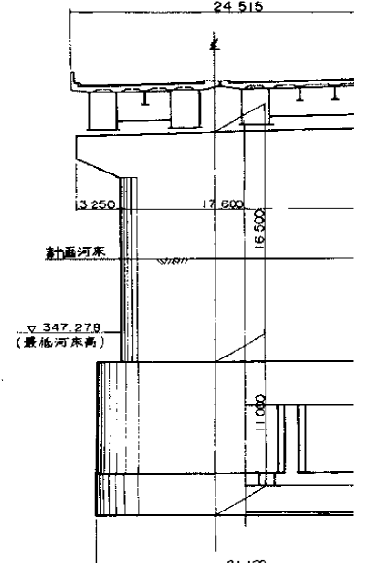
P4 橋脚



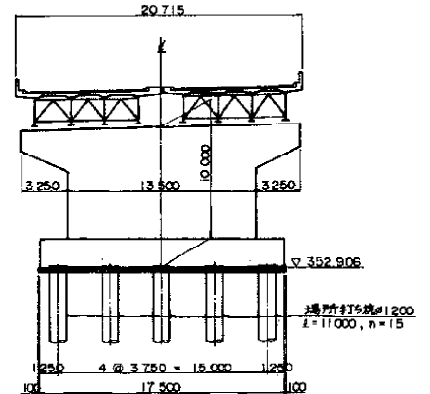
P6 橋脚



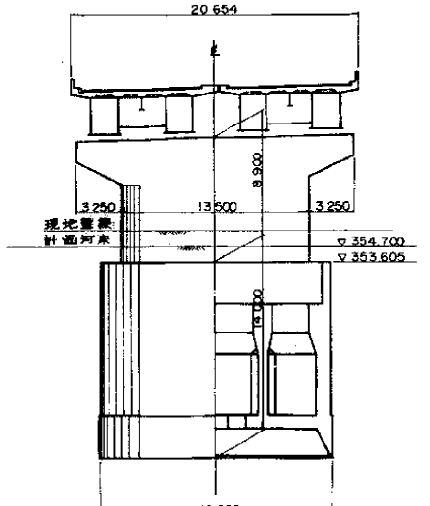
P8 橋脚



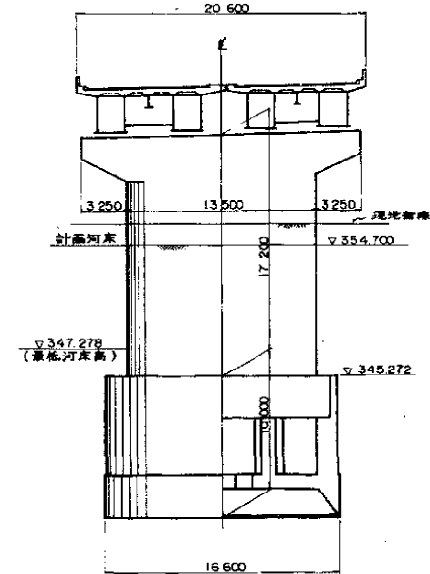
P1 橋脚



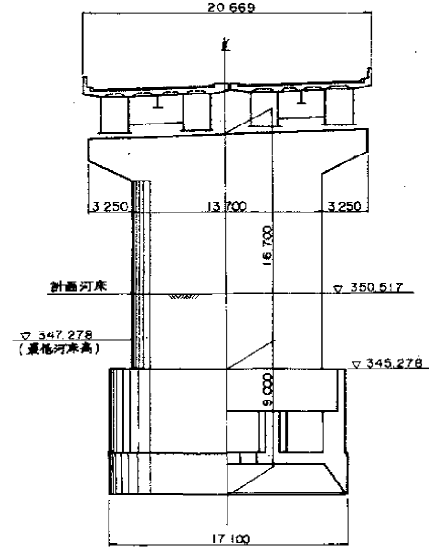
P3 橋脚



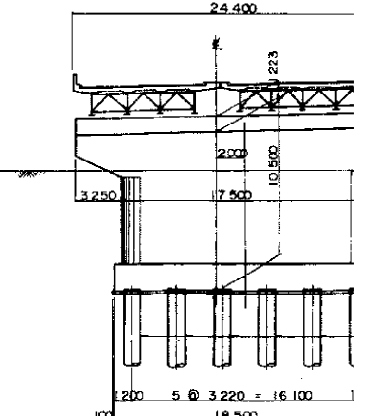
P5 橋脚



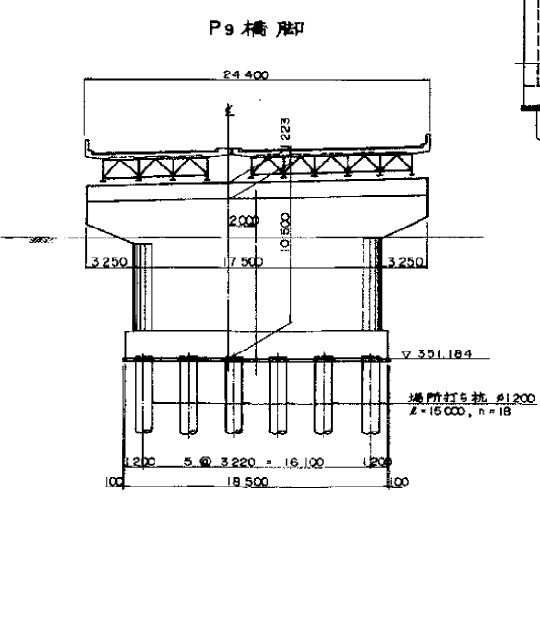
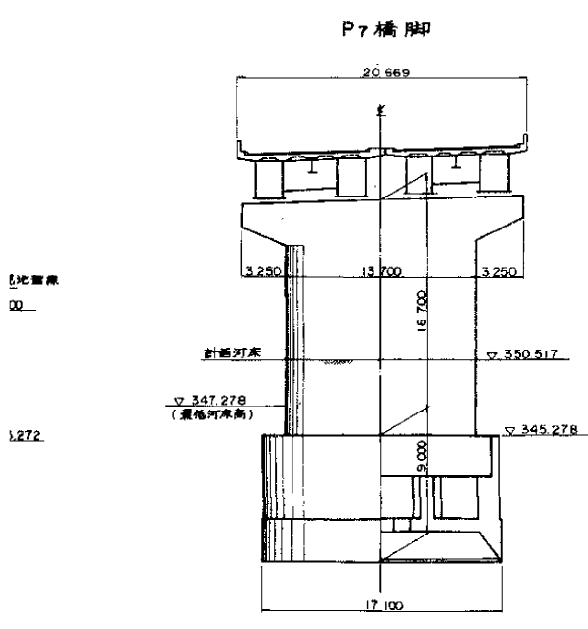
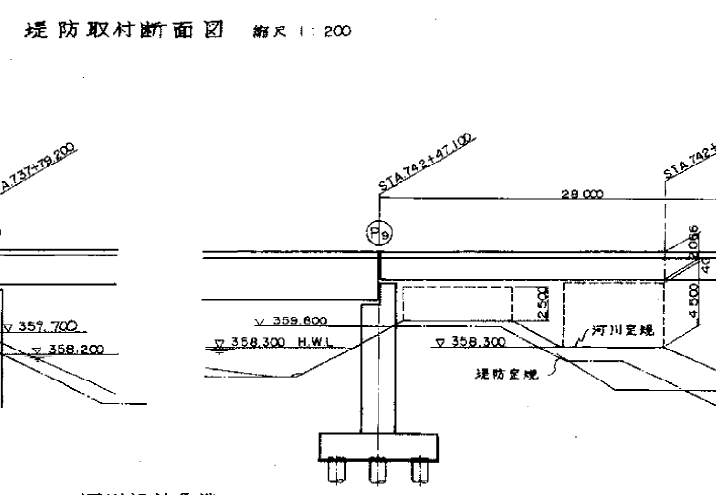
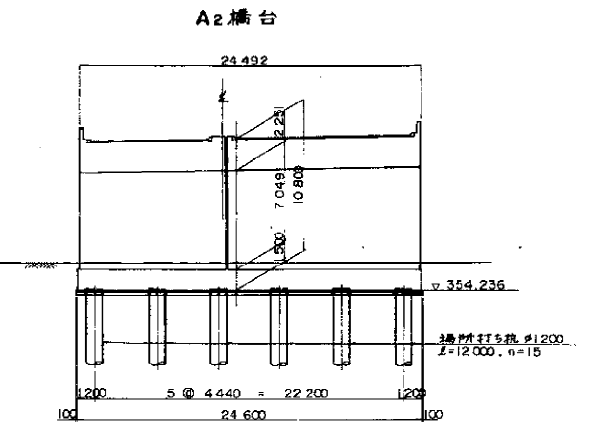
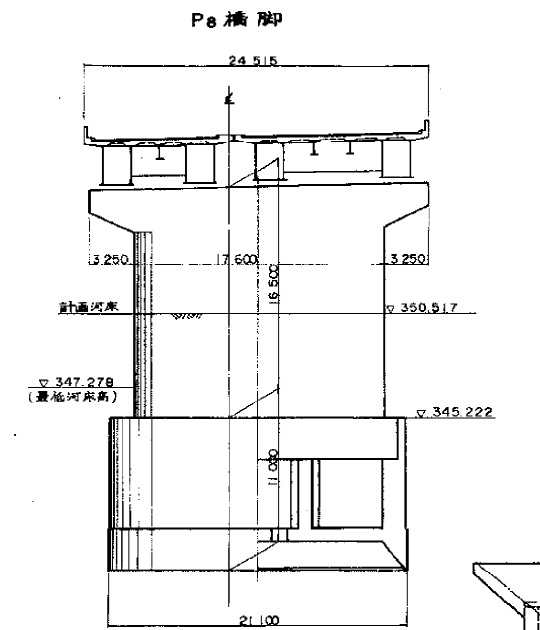
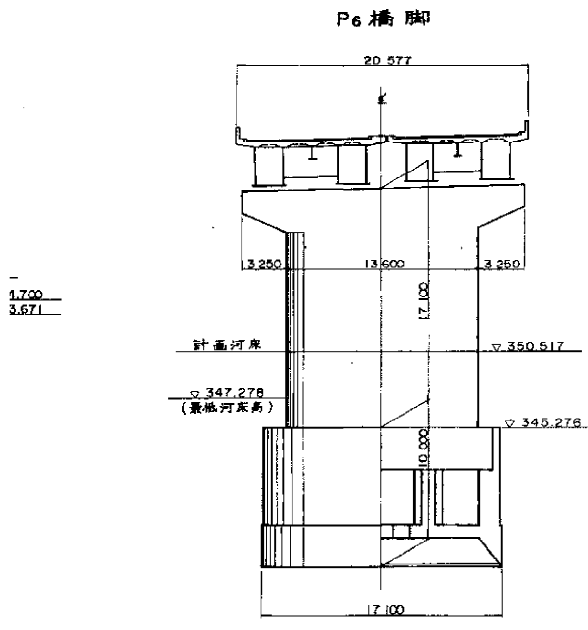
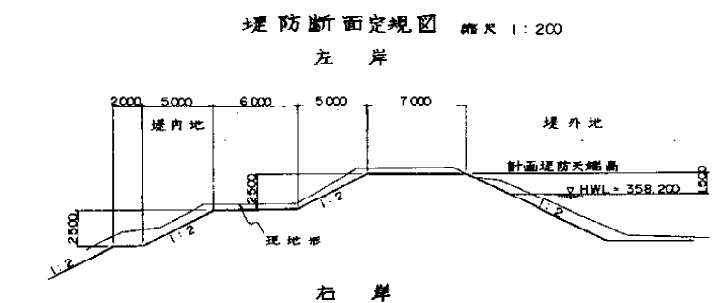
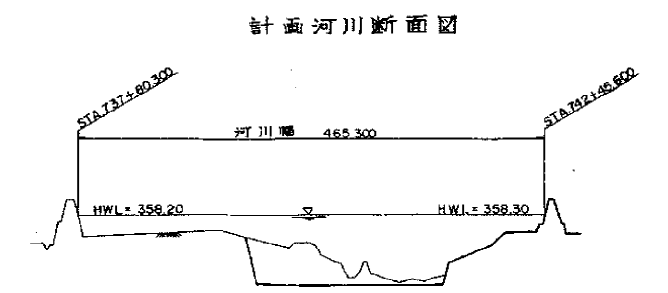
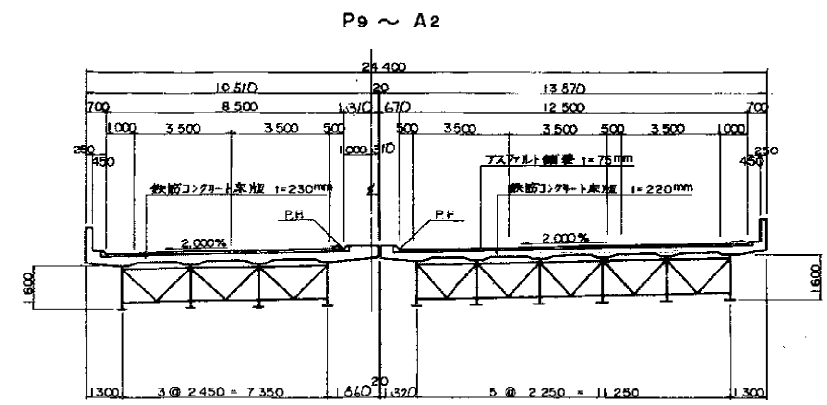
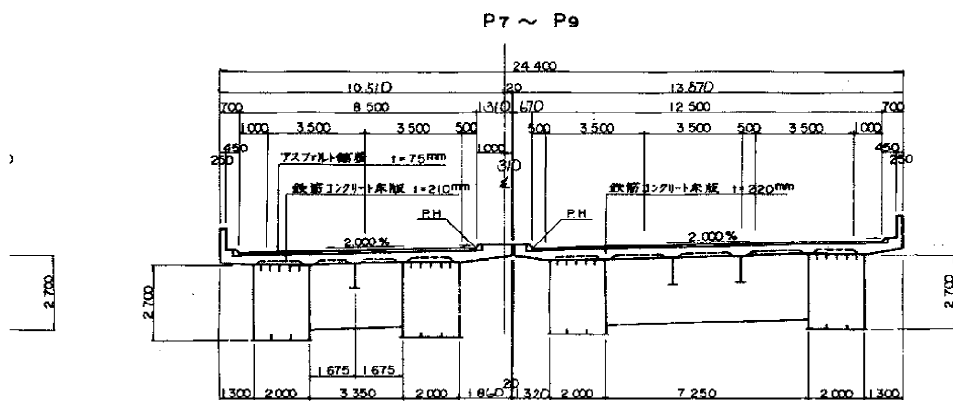
P7 橋脚



P9 橋脚



長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	千曲川橋(上下線) 全体一般図(その3)
縮 尺	縮尺 1:200
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所



設計条件	
橋長	532.700m
橋高	74.400+242.450+187.325+27.825
橋型	第1種3級B
橋脚	TL-20 TT-43
橋台	ラーメン式橋台、逆T式橋台、小形橋脚
橋脚	36.35+37.20+59.65+60.00+60.00+62.00+62.00+62.50+62.025+27.175
有効幅員	8.500m
橋脚間隔	2.000m 片勾配
断面勾配	0.357% 0.370%
地震係数	K <sub>h</sub> =0.20 K <sub>v</sub> =±0
床版コンクリート	f <sub>ck</sub> =240kg/cm <sup>2</sup>
床版鉄筋	SD35 f <sub>yk</sub> =400kg/cm <sup>2</sup>
適用の方書	道路橋示方書1~V 設計要領第2集
使用鋼材	SS400 SM490Y

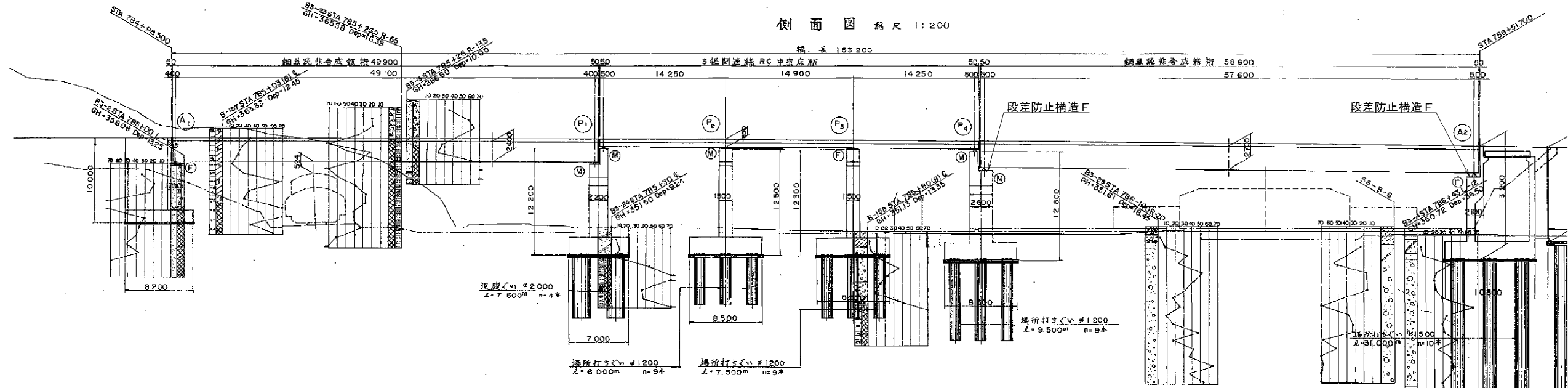
河川設計条件			
河川名	〔 親河川千曲川〕		
流量推定	79.75KP付値		
計画洪水流量	Q=5500m <sup>3</sup> /sec		
計画堤防高	359.000m(左岸)～359.800m(右岸)		
計画洪水径	358.200m(左岸)～358.300m(右岸)		
計画河床(HWL上)	465.300m		
項目	基準	設計	
橋台前面の位置	地形断面とHWLの交点より堤内側	地形に適合	
橋台と堤防基礎間の角度	原則として1/4以内かつ20°以下	右左岸とも堤防に平行 (0)	
橋台の后面位置	堤内側此位置以下	地形に適合	
河床傾斜率	7%以下	3.96%	
橋脚径の径入れ	橋脚径は最低洪水高より1m以上 低水敷部分最低洪水高より2m以上	354.7より1m 347.278より2m	
基準橋脚長さ	L=30+0.005 Q=57.5m	575m以上堤防 超過堤防は30m	
橋下余裕高	HWL+1.50m以上	地形に適合	
橋脚形状	河川断面部に位置する小形橋脚	地形に適合	
管理用道路	W=H-7.0m=4.5m	右左岸とも堤防 右岸は堤防に平行	
管理の断面	最大勾配14.0%とす	右岸は6.0%	
橋脚工の断面	L=10m or L/2以上堤防	堤防に適合 12x28.75	

長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	千曲川橋(上下線) 全体一般図(その4)
縮尺	図面番号 511/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

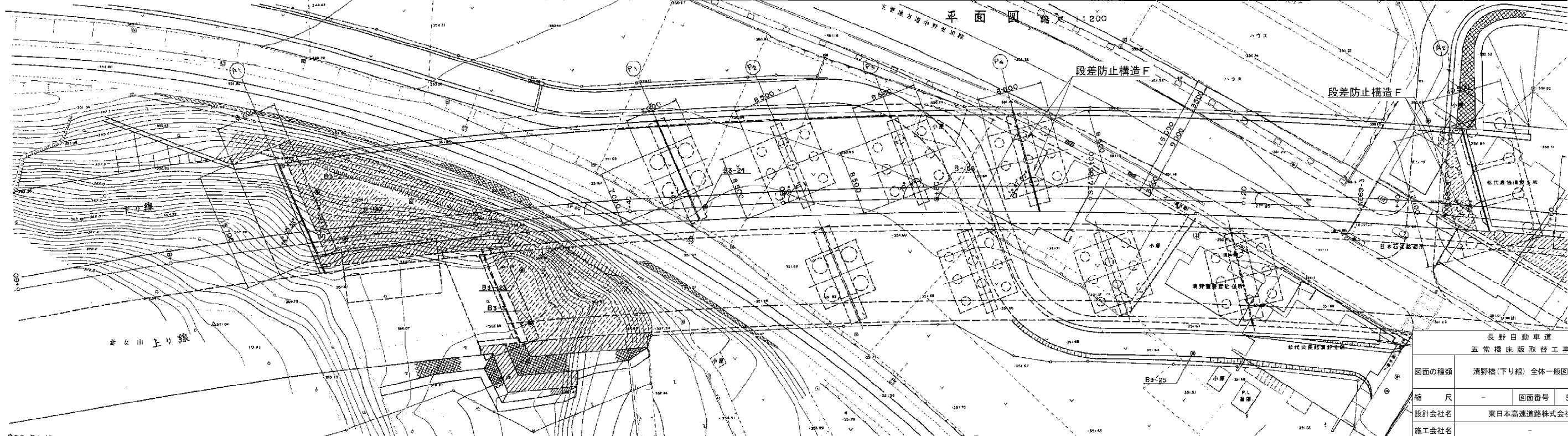


清野橋(下り線) 全体一般図(その1)

側面図 縮尺 1:200



DL+330.000										
計画高										
地盤高										
追加距離										
単距離										
測点										
平面曲線										
片勾配付付図										



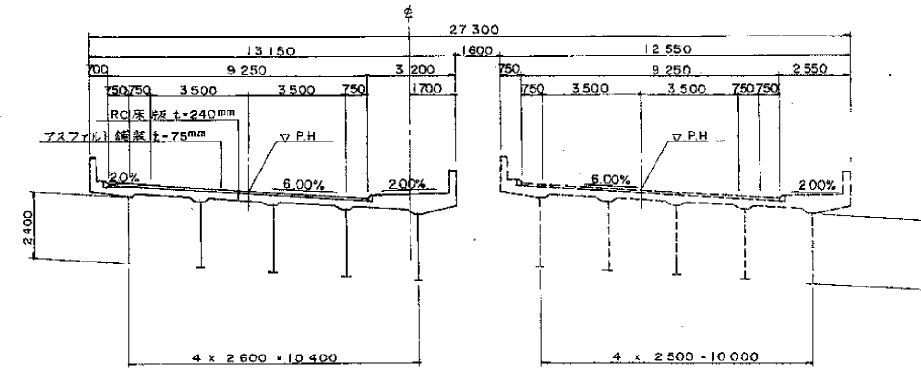
長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	清野橋(下り線) 全体一般図(その1)
縮尺	図面番号 513/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

標準橫斷圖 縮尺 1:100

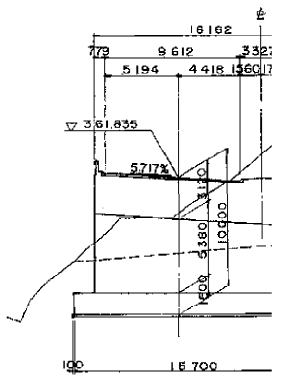
鋼單純非合成 鋁 桁 (A<sub>1</sub>) ~ (P<sub>1</sub>)

下り線

上り線



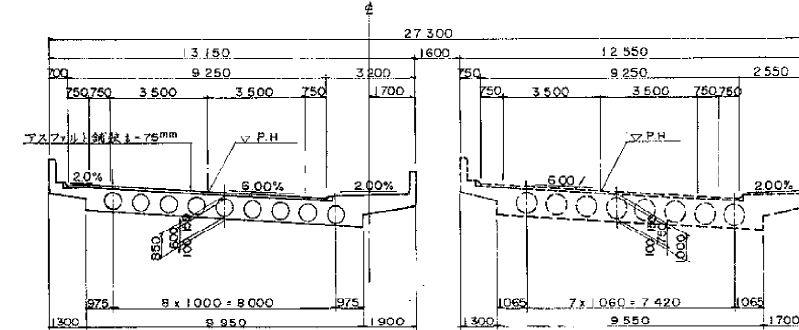
Ⓐ 橋台



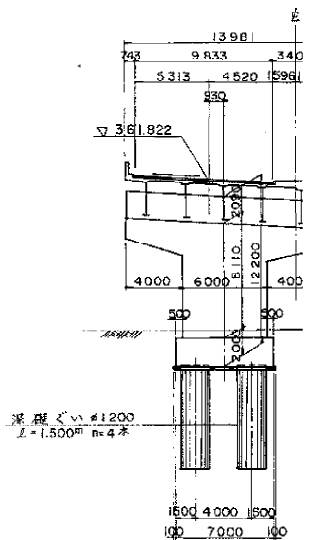
3 徑間連續 RC 中空床版 (P<sub>1</sub>) ~ (P<sub>4</sub>)

下り線

上り線

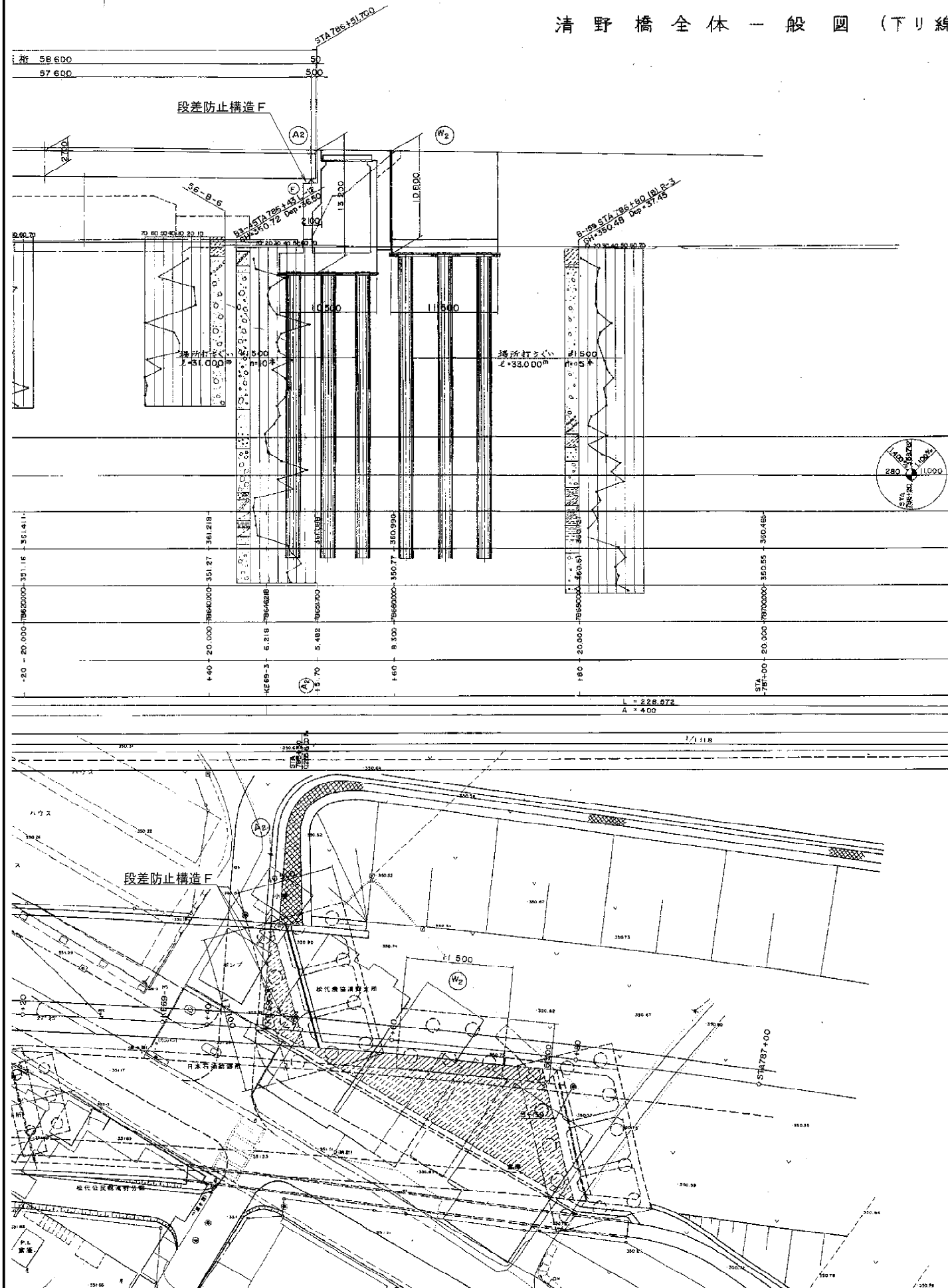
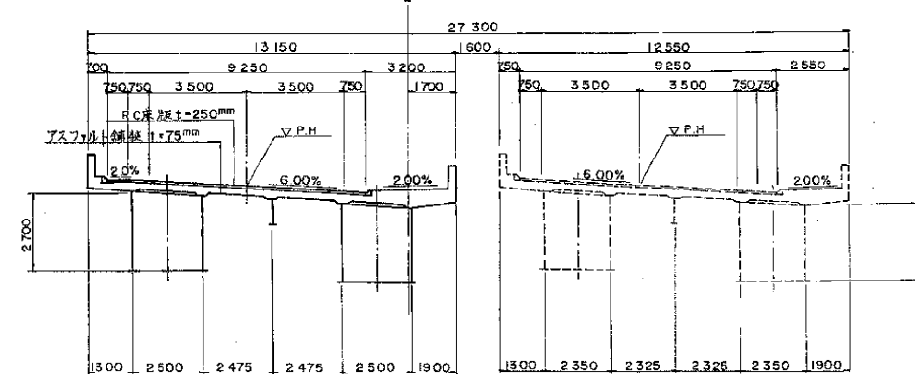


① 橋 脚

鋼單純非合成箱折  $(P_4) \sim (P_2)$ 

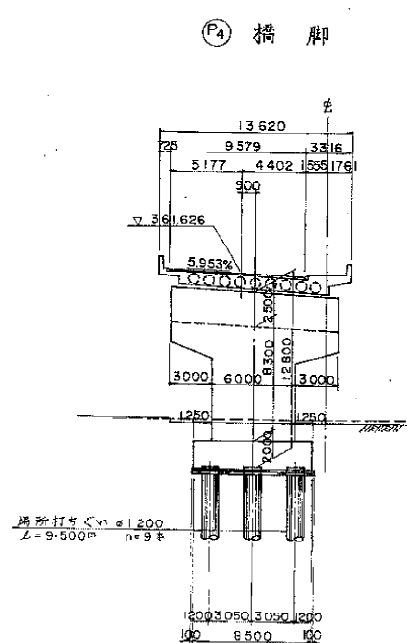
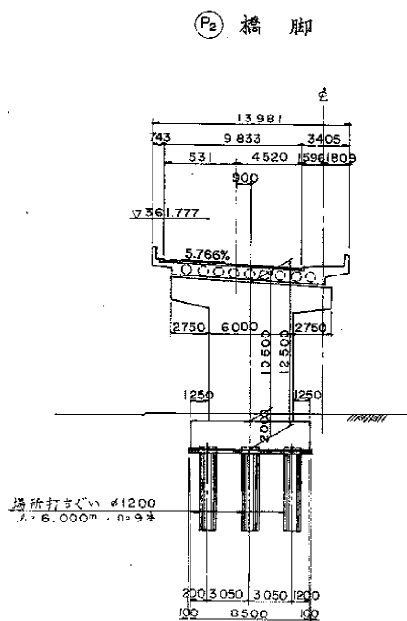
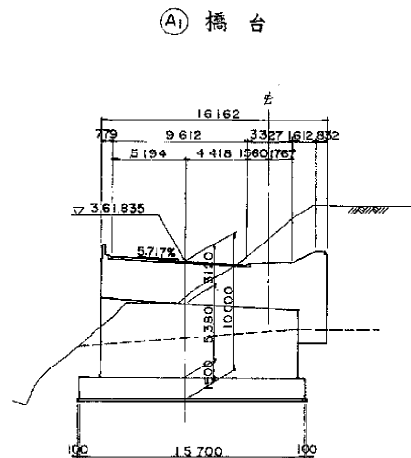
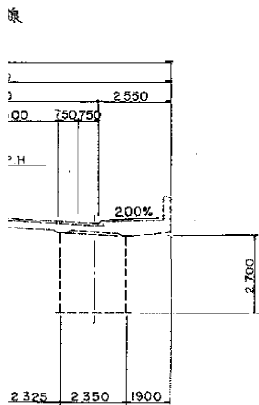
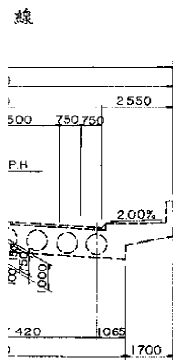
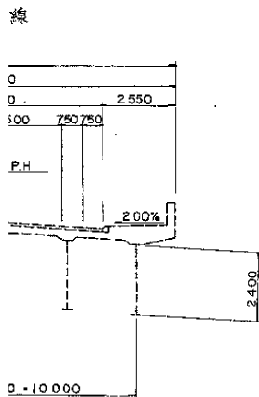
下り線

上り線

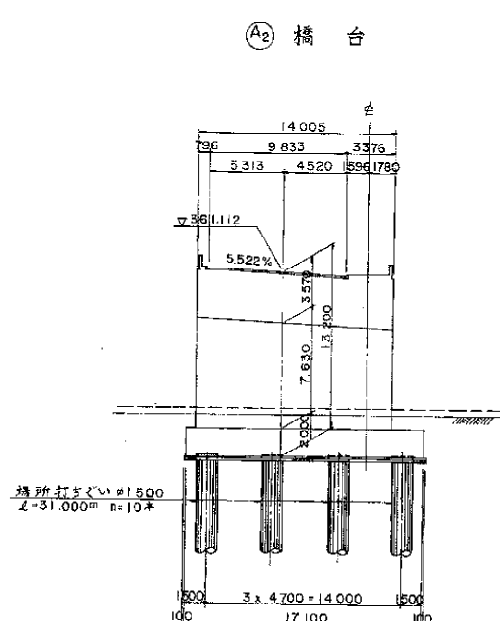
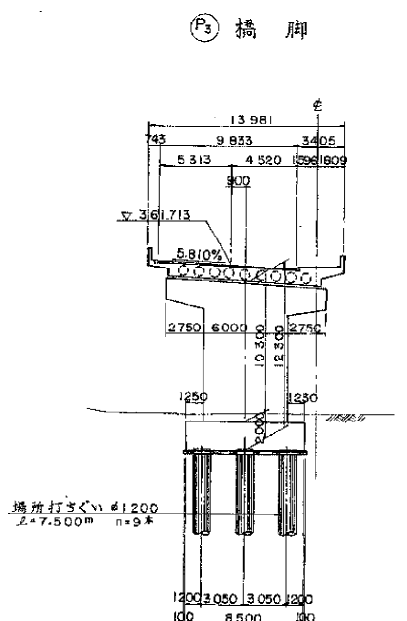
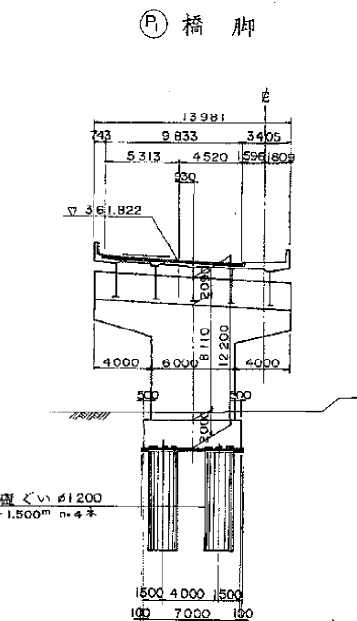


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	清野橋(下り線) 全体一般図(その2)		
縮 尺	-	図面番号	514/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

横断図 縮尺 1:200



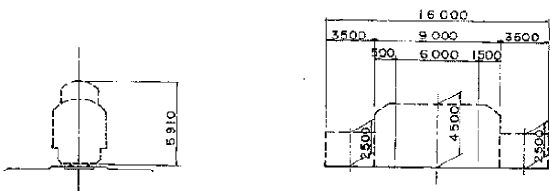
設計条件			
橋長	153m 200	新長	49m 900 + 44m 400 + 58m 600
道路規格	第1種第2級, B規格		
荷重	TL-20, TT-43		
型式	鋼鉄非合成箱桁+3径間連続RC中空床版+鋼鉄非合成箱桁		
支間	49m 100 + 14m 250 + 14m 900 + 14m 250 + 57m 600		
有効幅員	9m 250	斜角	右 70°
横断勾配	-6.00%		
縦断勾配	1.90%	1.40%	
地震係数	水平震度 Kh = {A1 P1 + 0.18 A2 + 0.24} / {P2 P4 + 0.20} 鉛直震度 Kv = 0		
床版コンクリート	圧縮強度 σck = 24.0 N/mm <sup>2</sup>		
床版鉄筋	SD 35 σsa = 140.0 N/mm <sup>2</sup>		
適用示方書	道路橋示方書・同解説(昭和55年5月)		
使用材質	SM 50Y, SS 41		



交差条件 縮尺 1:200

長野電鉄河東線

主要地方道中野更埴線



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	清野橋(下り線) 全体一般図(その3)		
縮尺	-	図面番号	515/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



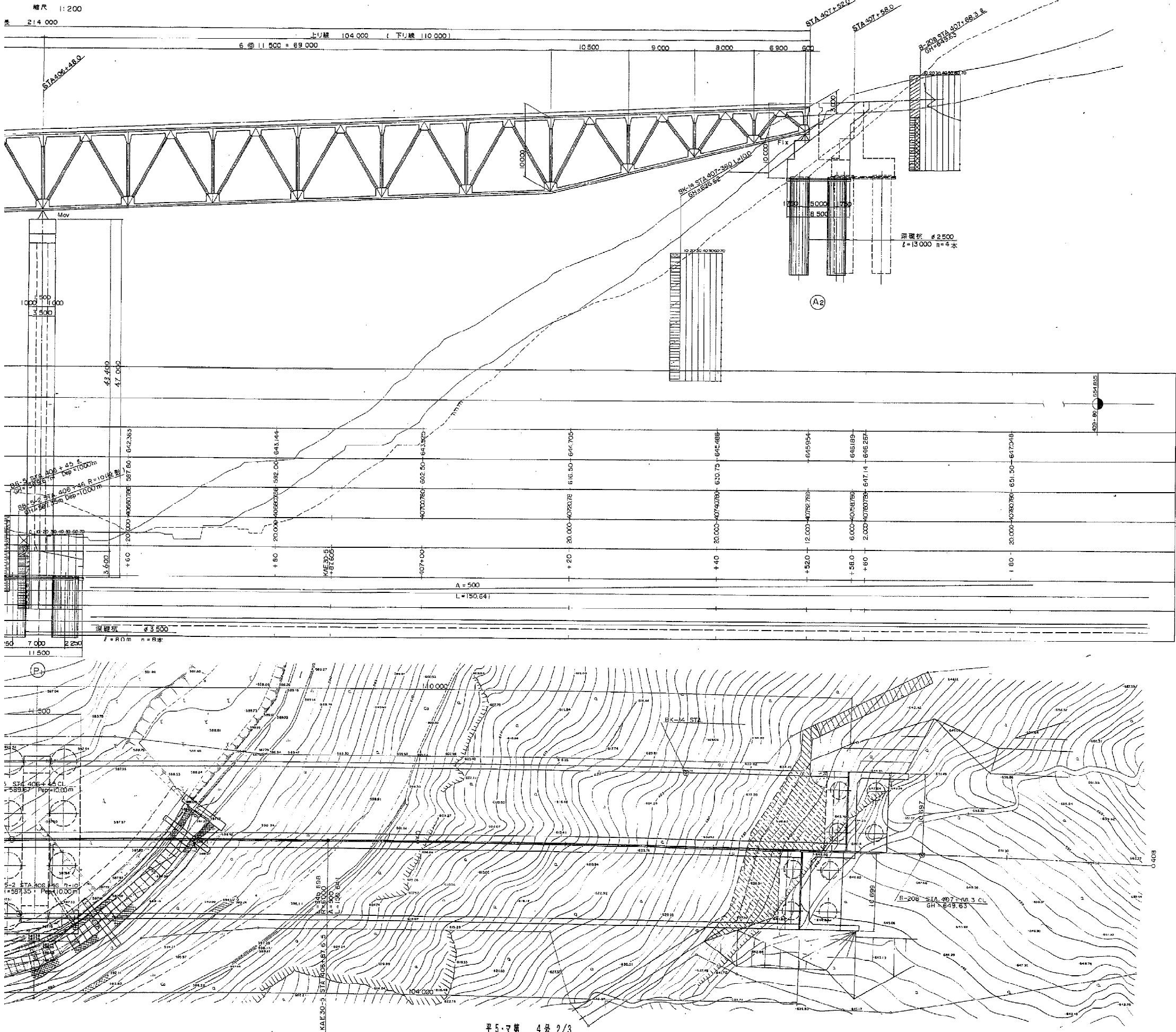


# 参考図

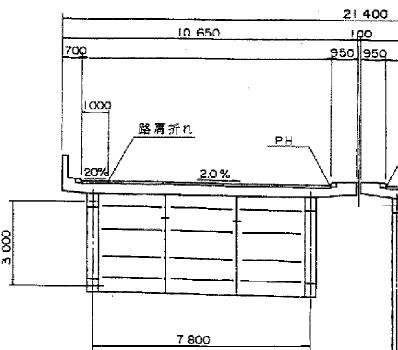


五常橋(上下線) 全体一般図(その2) (参考図)

518/529

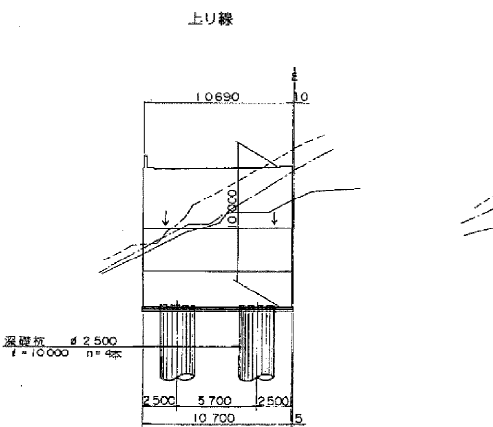


標準断面

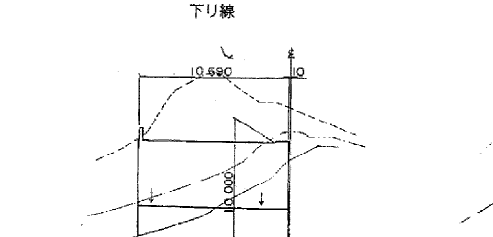


断面図

(A) 橋台

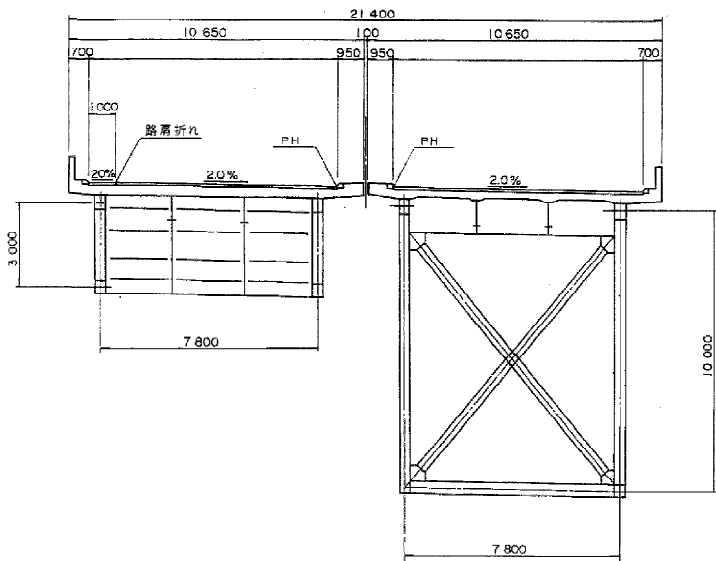


(A2) 橋台

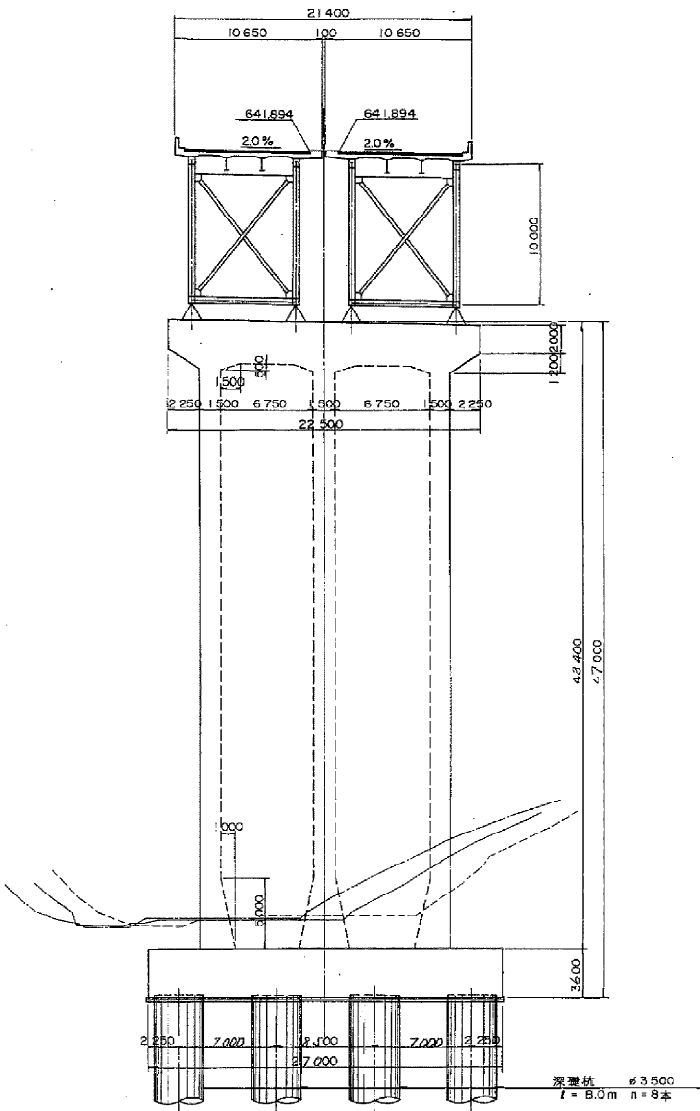


長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	五常橋(上下線) 全体一般図(その2) (参考図)
縮 尺	図面番号 518/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

標準断面図 縮尺 1:100

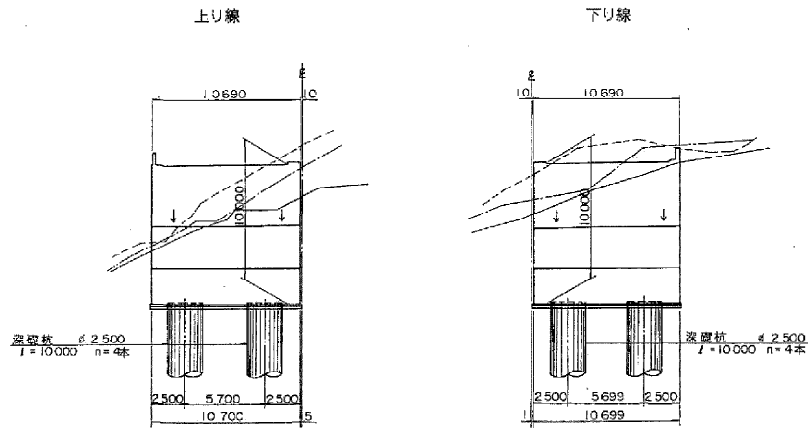


① 橋脚 縮尺 1:200

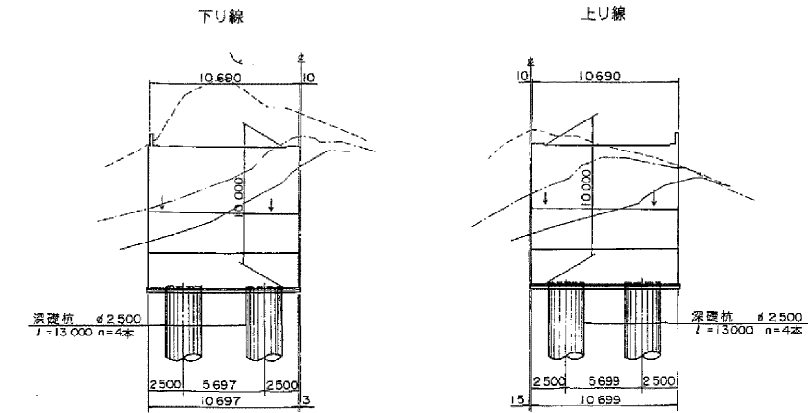


断面図 縮尺 1:200

① 橋台



② 橋台

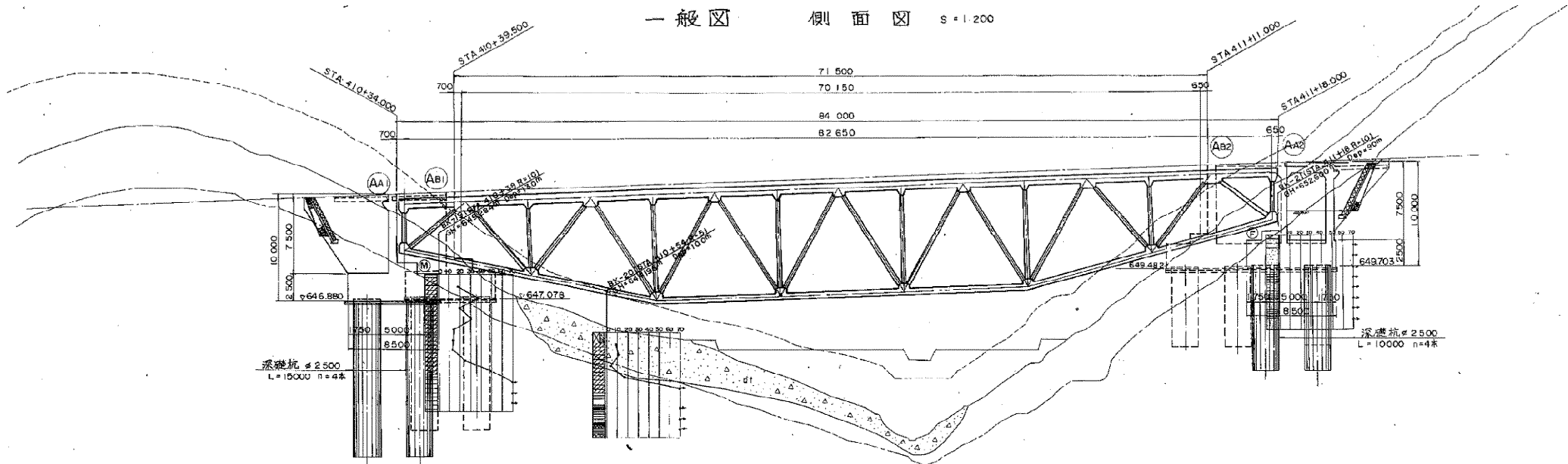


設計条件		
橋 梁	214M00(上り線・下り線)桁長	212M800
道 路 区 分	第1種 3級 A規格	
荷 重	TL-20 TT-43	
型 式	鋼2桁梁連続トラス	
支 間	{上り線}09M400+103M400 {下り線}05M400+109M400	
有効幅員	2×9.000	斜角 90° 00'-00"
横断勾配	片勾配 2%	
縦断勾配	3.9038%	
地震係数	$K_h = 1.0 \times 0.2 \times 1.0 \times 1.25 \times 0.2 = 0.20$	
床版コンクリート	$O_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$	
床版鉄筋	材質 SD35 $\sigma_{sa} = 1400 \text{ kg/cm}^2$	
適用示方書	平成 2 年 2 月 道路橋示方書・同解説	
使用材質	SS41 SM50Y SM53 SMC8P	

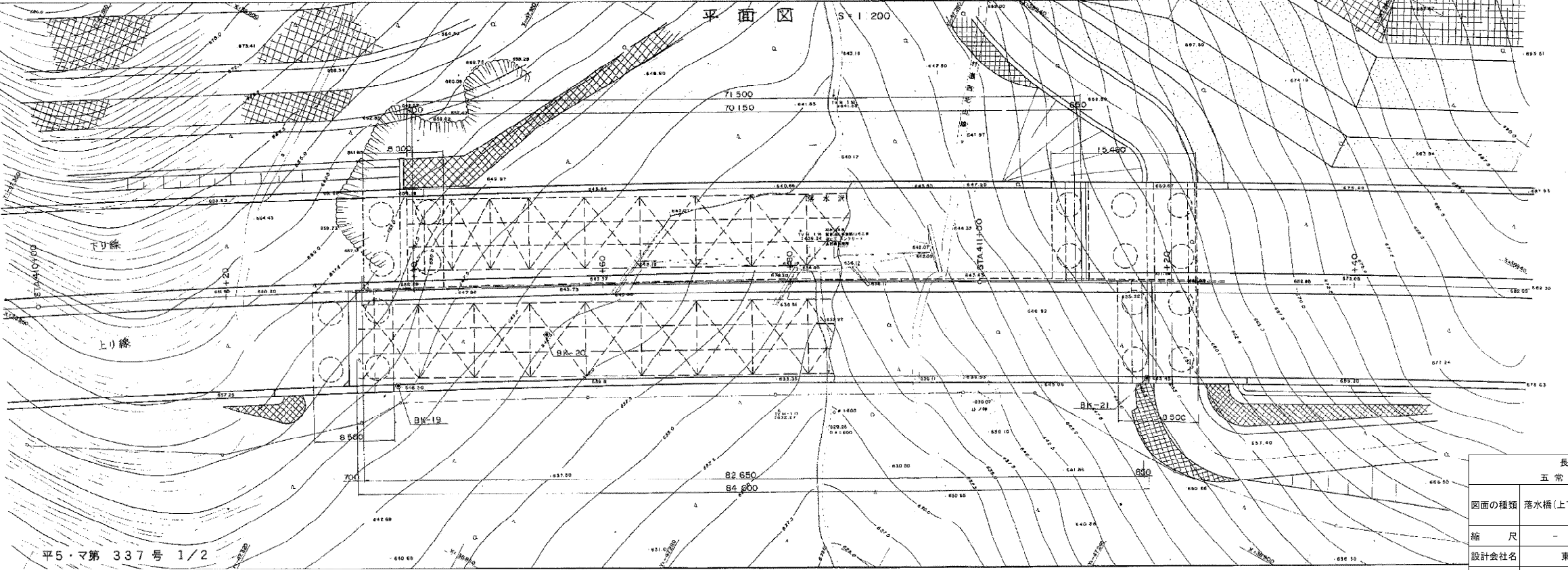
長野自動車道 五常橋床版取替工事		
図面の種類	五常橋(上下線) 全体一般図(その3) (参考図)	
縮 尺	-	図面番号 519/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社	
施工会社名	-	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所	

落水橋(上下線) 全体一般図(その1) (参考図)

一般図 側面図 S=1/200



DL = 630.000											
計 画 高		655.624	656.371	656.880	657.077 657.055	657.756	659.475	659.311	659.462	659.702 659.764	660.375
地 盤 高											
追 加 距 離		410000	410700	410940	410950 410950	410600	410600	411100	411100	411800 412000	411400
単 距 離											
測 点	STA 410+00	+ 20		AL(L)118 361.000	AL(L)118 361.000 + 40	+ 60	+ 80	411+00	411+00 A2 (P)118	418 000 A2 (P)118 + 20	+ 40
平 面 曲 線	L = 219.375 A = 650										
片勾配すり付図											

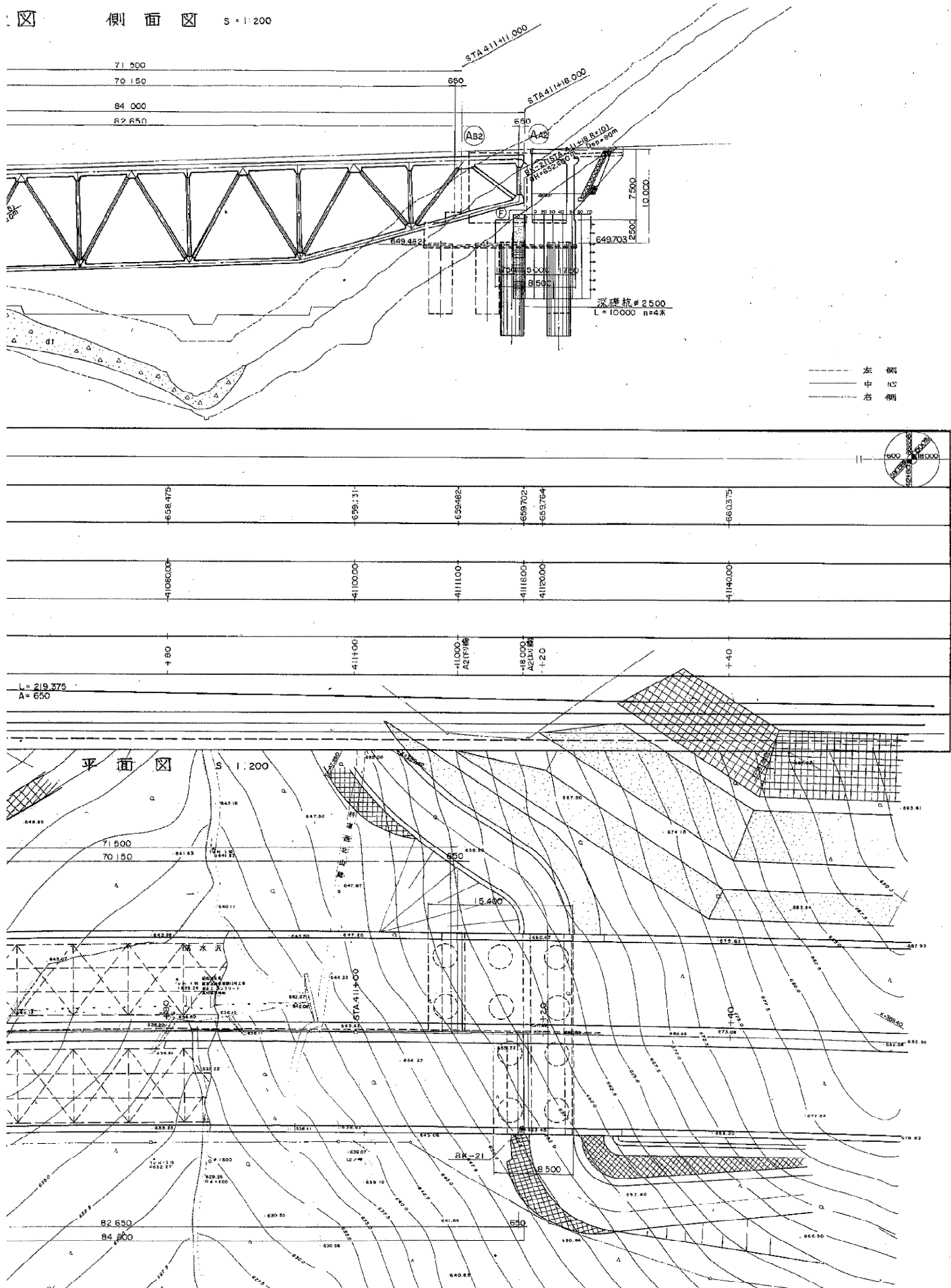


平5・マ第 337号 1/2

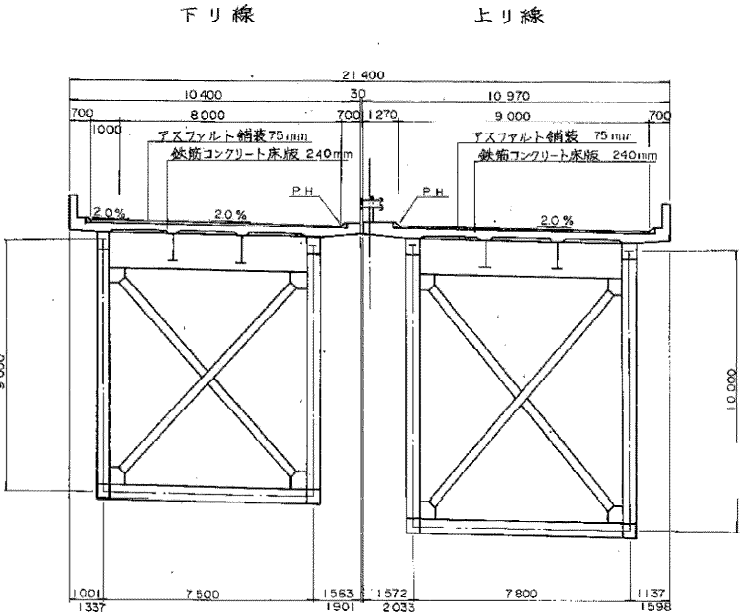
長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	落水橋(上下線) 全体一般図(その1) (参考図)
縮尺	図面番号 520/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

落水橋(上下線) 全体一般図(その2) (参考図)

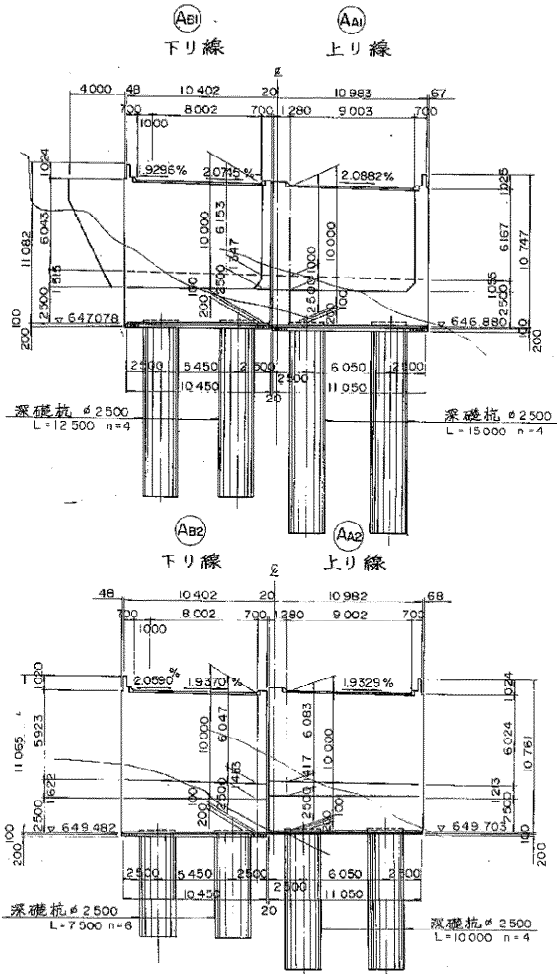
側面図 S=1:200



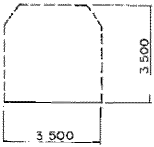
標準断面図 S=1:100



断面図 S=1:200

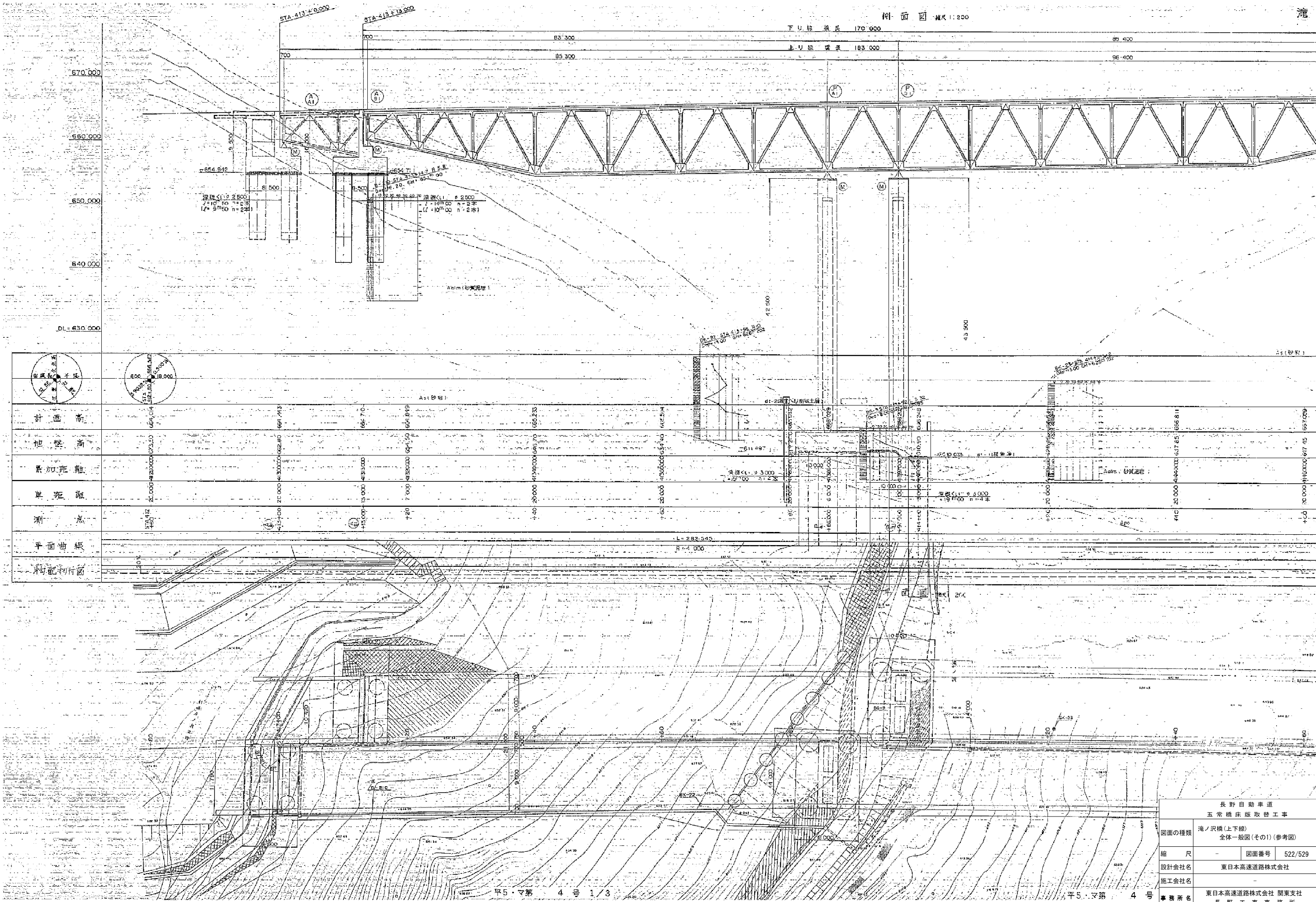


交差道路



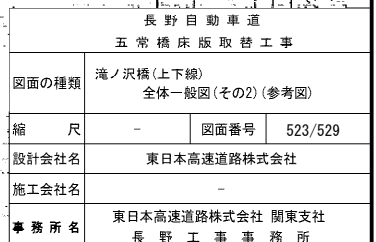
設計条件	
橋長	15.750m (15.750m)
道路区分	第1種3級A 設計速度 V=80km/h
荷重	TL-20, T-43 添物 W=—kg/m
型式	鋼単軌トラス
支間	(上り線) 8.2650m (下り線) 7.0150m
有効幅員	2 x 9.000m 斜角 90°00'
横断勾配	片勾配 2.0%
縦断勾配	図示
地震係数	水平震度 $K_h=0.2 \times 10 \times 1.25=0.25$ 鉛直震度 $K_v=\pm 0$
コンクリート	上部工 $\sigma_{ck}=240 \text{ kg/cm}^2$ 下部工 $\sigma_{ck}=240 \text{ kg/cm}^2$
鉄筋	上部工 S235 下部工 S235
適用式方	H2年2月 道路標示方書・同解説
使用材質	SS400, SM490Y

長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	落水橋(上下線) 全体一般図(その2) (参考図)
縮尺	— 図面番号 521/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	—
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

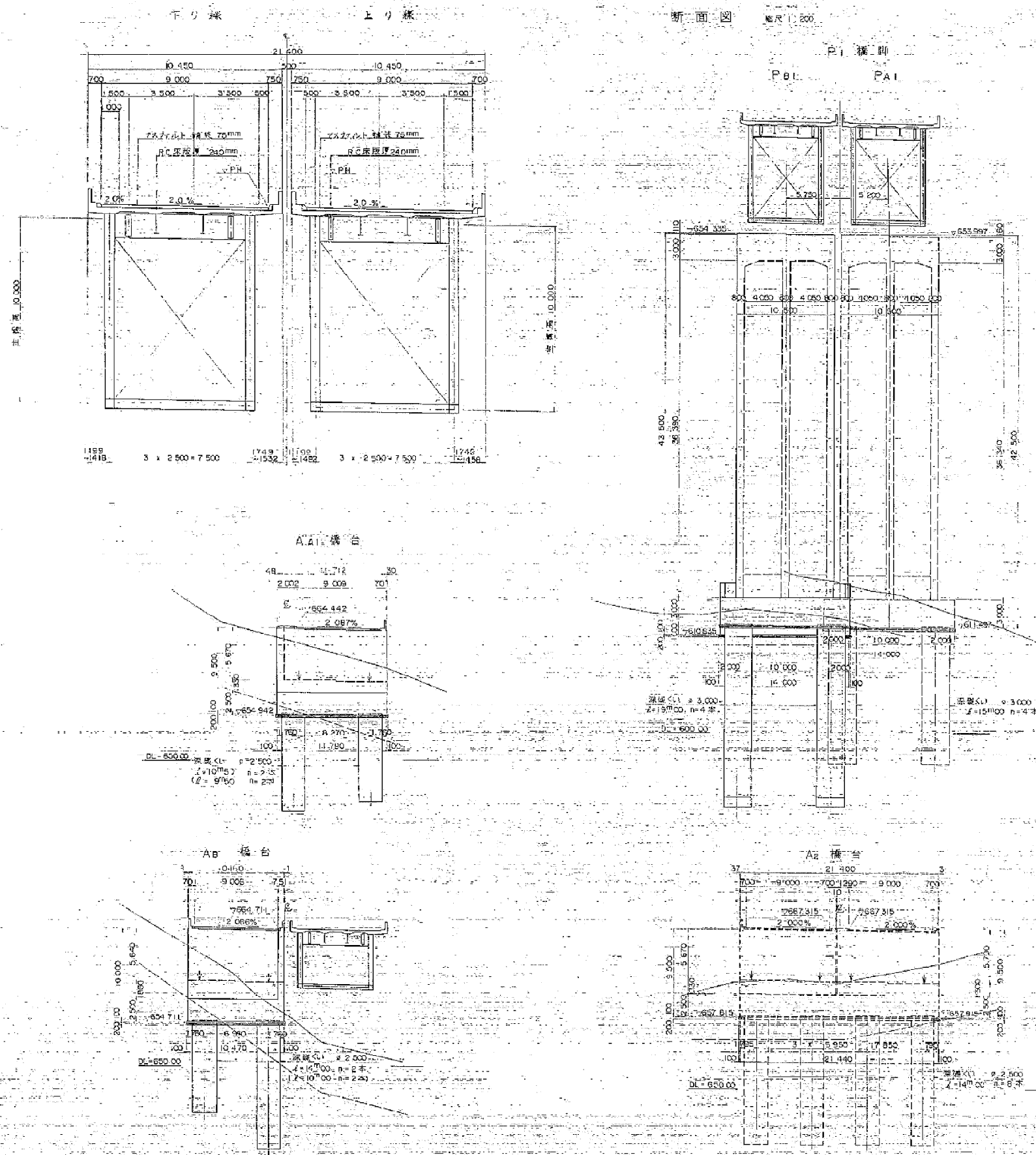


長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	滝ノ沢橋(上下線) 全体一般図(その1)(参考図)
縮尺	図面番号 522/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所





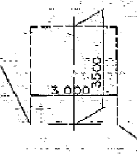




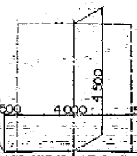
設計条件	
橋長	183.000m (上り線) 170.000m (下り線)
橋区区分	第1区 3.5段A規格
規格	TL-20 (YT-43)
型式	鋼2径間連続トラス
橋脚間	55.300+56.400 55.300+55.400
有効幅員	2 x 9.000m (上り線) 2 x 9.000+0.000 (下り線)
横断勾配	片勾配 2%
縦断勾配	2.000% ~ 1.05%
車道床厚	K=0.20m
床版コンクリート	強度 = 24.0 N/mm <sup>2</sup>
鋼材規格	材質 S555 G <sub>555</sub> = 1.400 kg/m <sup>2</sup>
道路方	送(並行)車(1.25)並行(並行)車(1.25)
使用材料	SS41 SM50Y SB63

交差条件

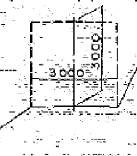
村道滝ノ沢支線



村道滝ノ沢線

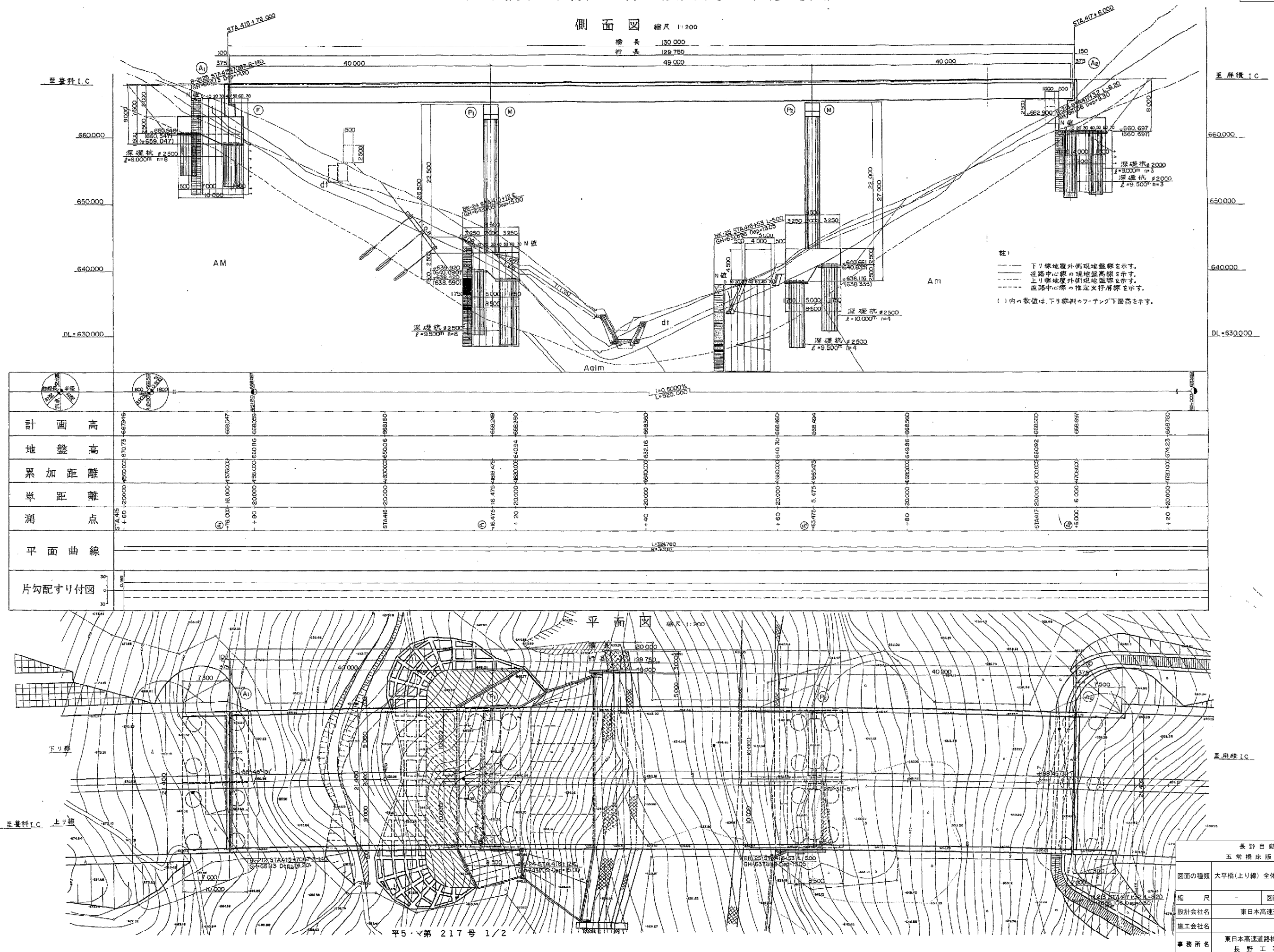


村道中北山線

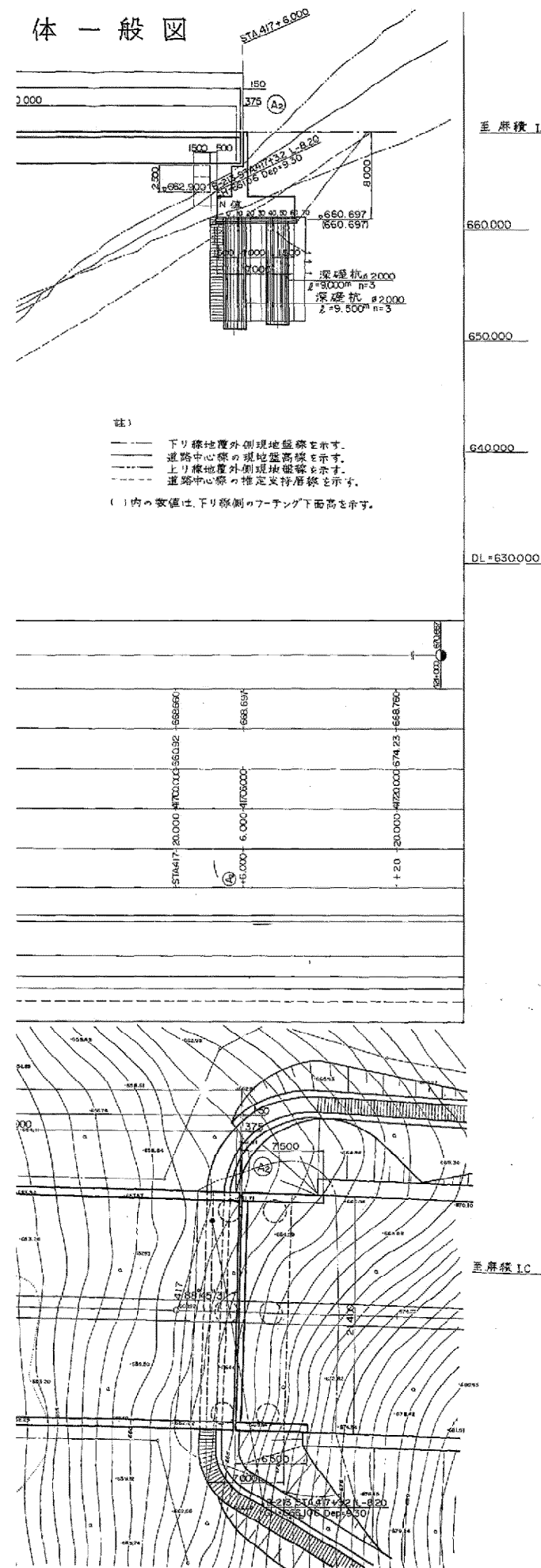


長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	滝ノ沢橋(上下線) 全体一般図(その3) (参考図)
縮尺	図面番号 524/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

大平橋(上り線) 全体一般図(その1)(参考図)



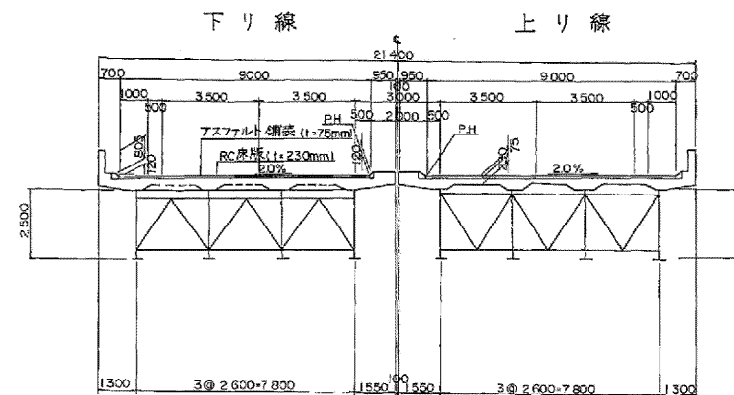
体一般図



注)  
--- 下り線位置外側現地盤線を示す。  
--- 道路中心線の現地盤高線を示す。  
--- 上り線位置外側現地盤線を示す。  
--- 道路中心線の推定支持層線を示す。  
( ) 内の数値は、下り線側のワーキング下面高を示す。

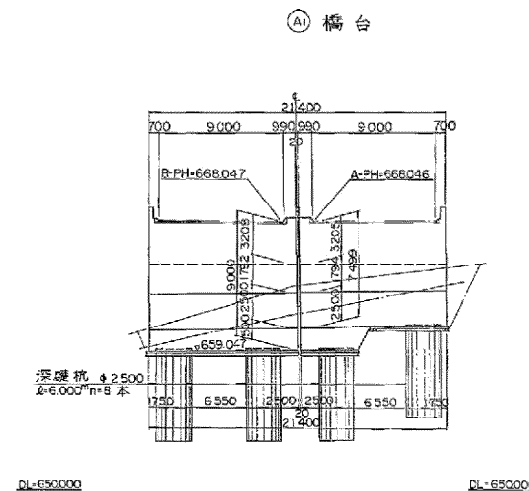
標準横断面図

縮尺 1:100



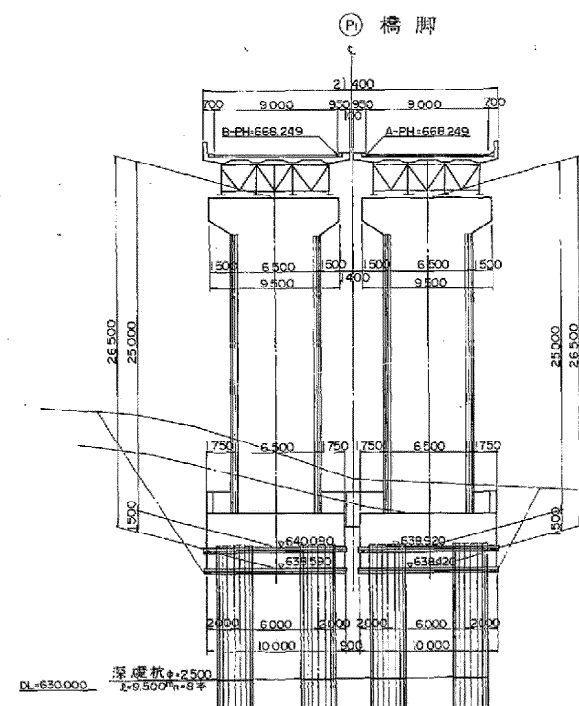
横断面図

縮尺 1:200



DL=650.000

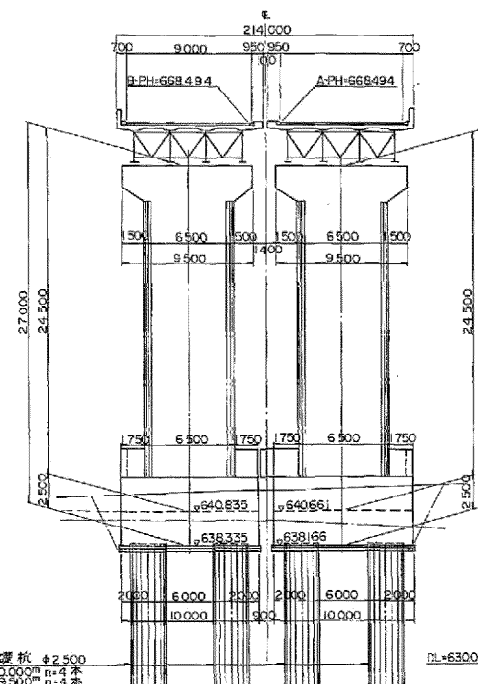
DL=650.000



DL=630.000

DL=630.000

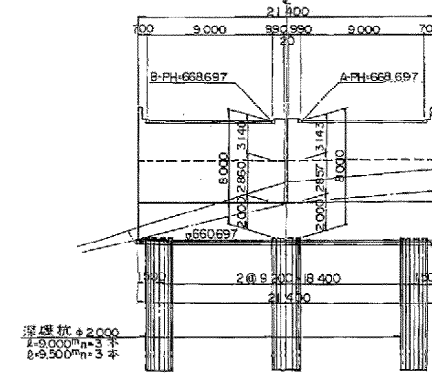
橋脚



DL=630.000

DL=630.000

橋台



DL=650.000

DL=650.000

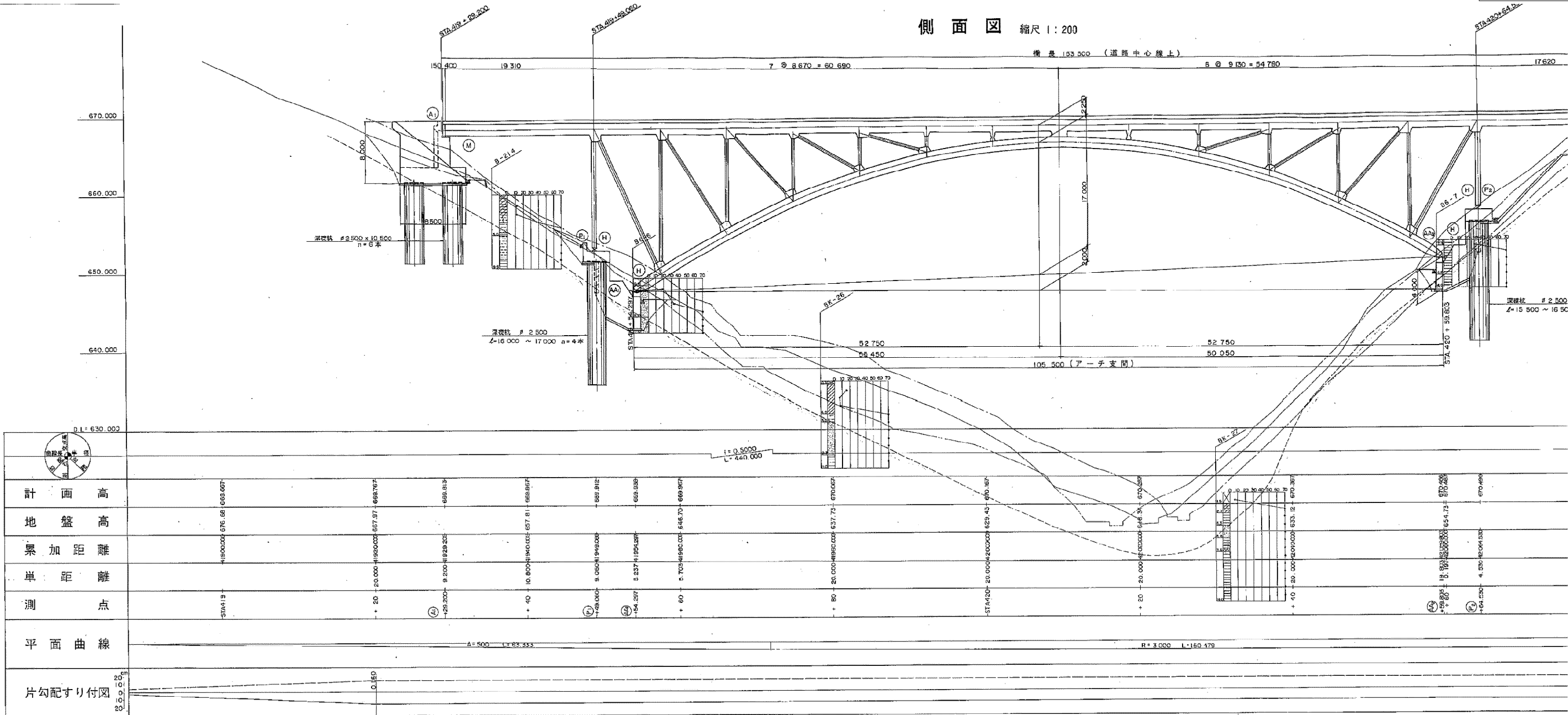
設計条件	
橋長	130.000
道路規格	1-3-A
荷重	TL-20 TT-43
型式	鋼3径間連続板橋
天間	40.000+49.000+40.000
有効幅員	20.9.000 桁間 A/A1 8.8'4.531" A/A2 8.8'4.531"
横断勾配	2.0%
縦断勾配	0.5%
地震係数	水平震度 Kh=0.18 鉛直震度 Kv=±0
床版コンクリート	圧縮強度 $\sigma_{ck}=240$ $\text{kg/cm}^2$
床版鉄筋	材質 S530B 許容引張応力 $\sigma_{sk}=1400\text{kg/cm}^2$
適用示方書	道路橋示方書 同解説 I.I.V.V
使用材質	SS41, SM50Y, SM53

長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	大平橋(上り線) 全体一般図(その2)(参考図)
縮尺	図面番号 526/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

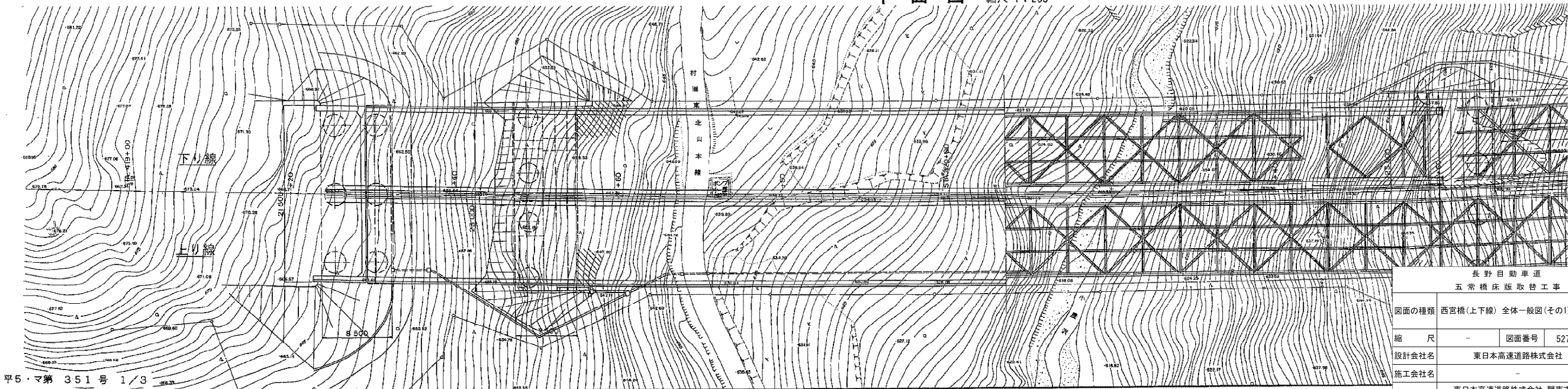
西宮橋(上下線) 全体一般図(その1)(参考図)

527/529

側面図 縮尺 1:200



平面図 縮尺 1:200



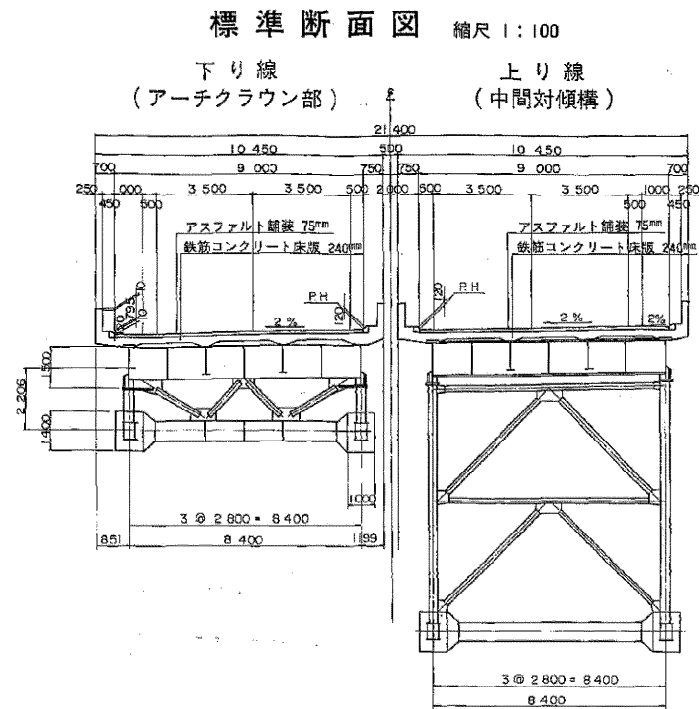
長野自動車道 五常橋床版取替工事	
図面の種類	西宮橋(上下線) 全体一般図(その1)(参考図)
縮尺	図面番号 527/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社
施工会社名	-
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所





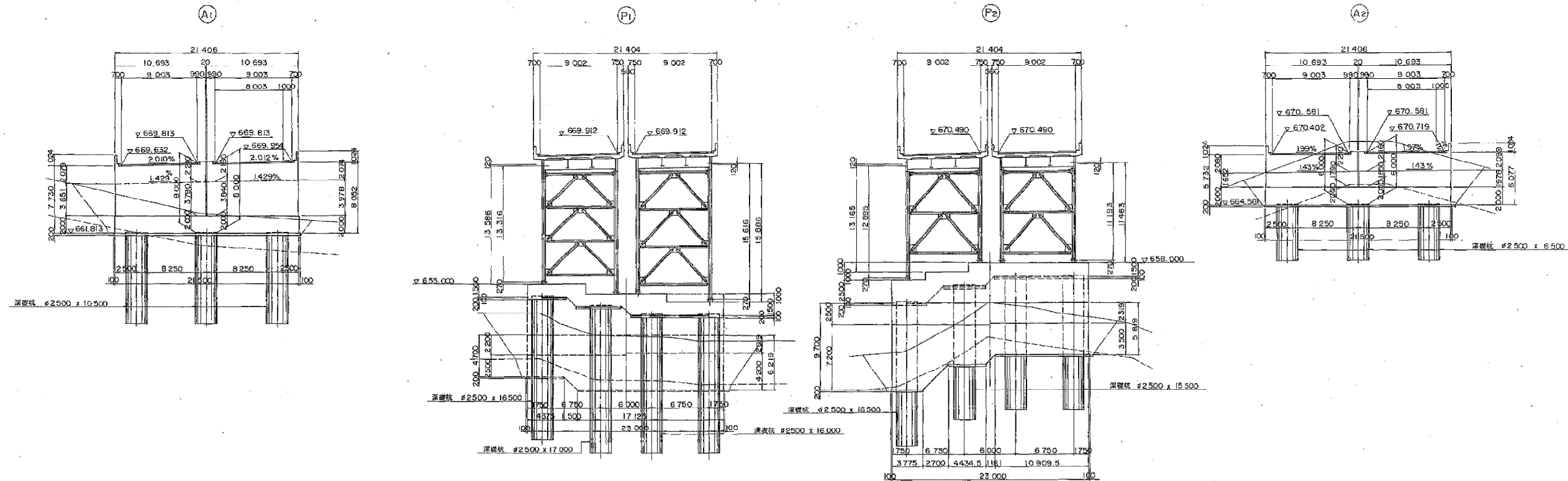
西宮橋(上下線) 全体一般図(その3) (参考図)

一般図



設計条件	
橋長	153 M 500
道路区分	1 種 3 級 A 規格
荷重	TL-20, TT-43
型式	上跨式鋼ローゼ桁
支間	19 M 314 + 115 M 470 + 17 M 524
有効巾員	9 M 000      斜角 $\frac{A_1}{A_2} = \frac{88^\circ 43' 00''}{88^\circ 33' 26''}$ 左
横断勾配	2 %
縦断勾配	0.5 %
地震係数	設計水平震度(上部工) $K_{H1} = 0.23$ 設計水平震度(下部工) $K_H = 0.18$
床版コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$
床版鉄筋	材質 SD 35    許容応力度 $\sigma_{se} = 1400 \text{ kg/cm}^2$
下部工コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$
適用示方書	設計要領第二集、道路橋示方書・同解説
使用材質	鋼材      SS41      SM50Y 鉄筋      SD 35

横断面図 縮尺 1:200



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	西宮橋(上下線) 全体一般図(その3) (参考図)		
縮尺	-	図面番号	529/529
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		